

京都市
ひとり親家庭実態調査
【結果報告書】

平成21年6月

京 都 市

目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的.....	2
2	調査概要.....	2
3	報告書の見方.....	2
II	調査結果のまとめ	3
1	ひとり親家庭の自立促進.....	4
III	調査結果	9
1	回答者の属性.....	10
2	家事の分担状況について.....	14
3	ひとり親家庭になったときの状況について.....	15
4	現在の仕事について.....	22
5	現在のお住まいについて.....	50
6	世帯の収入状況・生活費について.....	63
7	離婚の状況について.....	75
8	お子さんの育児や教育について.....	103
9	お子さんや近所の人等との関係について.....	111
10	日頃の悩みや相談のことについて.....	116
11	現在行われている福祉施策等について.....	124
12	行政施策等について.....	129
IV	経年比較 (母子家庭調査)	133
1	あなたご自身のこと・世帯の状況について.....	134
2	家事の分担状況について.....	138
3	ひとり親家庭になったときの状況について.....	139
4	現在の仕事について.....	143
5	お持ちの資格や技能について.....	154
6	現在のお住まいについて.....	156
7	世帯の収入状況・生活費について.....	159
8	離婚の状況について.....	166
9	お子さんの育児や教育について.....	171
10	お子さんや近所の人等との関係について.....	175
11	日頃の悩みや相談のことについて.....	177
12	現在行われている福祉施策等について.....	180
13	京都市母子寡婦福祉連合会について.....	181
14	行政施策等について.....	182

V	経年比較	(父子家庭調査)	183
1	あなたご自身のこと・世帯の状況について		184
2	家事の分担状況について		189
3	ひとり親家庭になったときの状況について		190
4	現在の仕事について		194
5	現在のお住まいについて		205
6	世帯の収入状況・生活費について		208
7	離婚の状況について		215
8	お子さんの育児や教育について		220
9	お子さんや近所の人等との関係について		224
10	日頃の悩みや相談のことについて		226
11	現在行われている福祉施策等について		229
12	行政施策等について		232
VI	資料編		233

I 調査の概要

1 調査の目的

京都市では、平成17年1月に策定した子育て支援施策の総合計画である新「京（みやこ）・子どもいきいきプラン」※1（以下「現行プラン」といいます。）に基づき、市民・地域ぐるみで子育てを支え合う子育て支援の風土づくりを進めてきましたが、現行プランの計画期間が平成21年度までとなっていることから、これを見直し、平成22年度から平成26年度までの5年間の計画期間とする新たな計画※2（以下「次期プラン」といいます。）を策定することとしています。

現行プランに一体として盛り込んでいる「ひとり親家庭自立促進計画」は、母子及び寡婦福祉法第11条に規定される「母子家庭及び寡婦自立促進計画」に位置付ける計画であり、本調査は、ひとり親家庭の生活実態や要望・意見等を把握し、次期プランに盛り込む新たな「ひとり親家庭自立促進計画」を策定するための基礎資料として活用する目的で実施しました。

※1 次世代育成支援対策推進法に規定される市町村行動計画の前期計画（計画期間：平成17～21年度）に位置付けるものです。

※2 次世代育成支援対策推進法に規定される市町村行動計画の後期計画（計画期間：平成22～26年度）に位置付けるものです。

2 調査概要

- ・ 調査地域 : 京都市全域
- ・ 調査対象者 : 平成20年11月1日現在、京都市内在住の母子・父子世帯
- ・ 調査期間 : 平成20年12月12日から12月26日まで
- ・ 調査方法 : 郵送配布・郵送回収

	調査票配布数	有効サンプル数	回収率
ひとり親家庭実態調査(母子家庭)	3,200	1,087	34.0%
ひとり親家庭実態調査(父子家庭)	1,800	343	19.1%
合計	5,000	1,430	28.6%

3 報告書の見方

●回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。

●複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。

●図表中の「N（number of case）」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。

II 調査結果のまとめ

1 ひとり親家庭の自立促進

(1) 子育て・生活の支援に向けた取組

【調査結果からみる現状】

アンケート調査から、家事の主な担当（母子 問 7, 父子 問 7）は、「母子家庭」、「父子家庭」とともに「掃除」、「洗濯」、「朝食の支度」、「夕食の支度」、「日用品の買物」のすべての項目について「本人」が最も高くなっているが、「母子家庭」ではすべての項目について「本人」が 8 割を超えているのに対し、「父子家庭」では「日用品の買物」を除き、「本人」が 7 割を下回っており、「子ども」や「その他の家族」の助けを借りて行っている状況です。

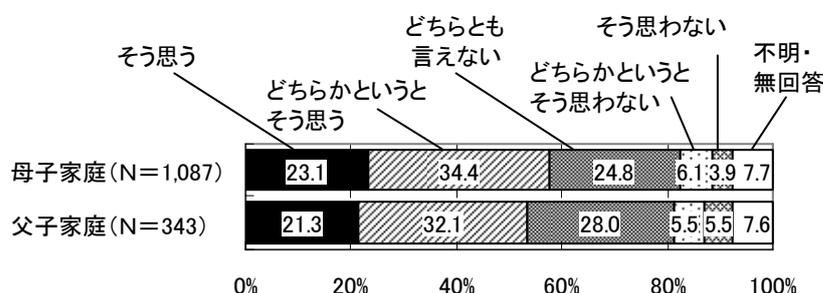
現在の住まいに「ひとり親になってから」住んでいる割合（母子 問 17, 父子 問 16）は、「父子家庭」の 34.7%に対し「母子家庭」では 65.2%と、30.5 ポイントの差が生じており、特に「母子家庭」においてひとり親になってから住まいを替える割合が高いことがうかがえます。また、現在の住宅についての悩み（母子 問 18, 父子 問 17）では、「母子家庭」「父子家庭」とともに「特にない」という意見が多いものの、「建物が古い・設備が悪い」「住宅費が高い」「建物が狭い」がそれぞれ 2 割～3 割を占めています。「母子家庭」においては、特に「建物が狭い」「建物が古い・設備が悪い」について「父子家庭」よりも高い傾向がみられ、「母子家庭」においてひとり親になってからの住まいの環境に十分に満足できていない現状がうかがえます。また、転居の希望がある回答者のうち、「母子家庭」では 62.6%、「父子家庭」では 47.9%の回答者が公営住宅への転居を希望（母子 問 19(2), 父子 問 18(2)）している状況です。

住民実感（母子 問 43, 父子 問 42）の「ふだん子育てが楽しいと感じるときが多い」をみると、「母子家庭」では『肯定的評価（「そう思う」と「どちらかというと思う」の合計、以下同様）』が 57.5%と、「父子家庭」では 53.4%と、ともに 6 割を下回っています。「就学前児童」「小学生児童」と比較すると、同項目について『肯定的評価』が 7 割～8 割を占めていることから、ひとり親家庭では子育てについて何らかの負担や不安が多いという現状がうかがえます。

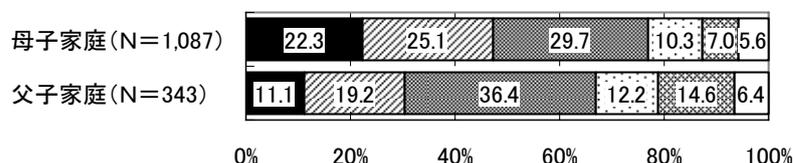
また、住民実感の「世間には、ひとり親家庭に対する偏見があると思う」をみると、『肯定的評価』が「母子家庭」では 47.4%、「父子家庭」では 30.3%と、17.1 ポイントの差が生じており、特に「母子家庭」で世間に受け入れられていないと感じている回答者が多いことがうかがえます。

【住民実感】

ふだん子育てが楽しいと感じるときが多い



世間には、ひとり親家庭に対する偏見があると思う



※母子家庭) 問 7, 17, 18, 19 (2), 43 父子家庭) 問 7, 16, 17, 18 (2), 42 結果から引用

(2) 就業の支援に向けた取組

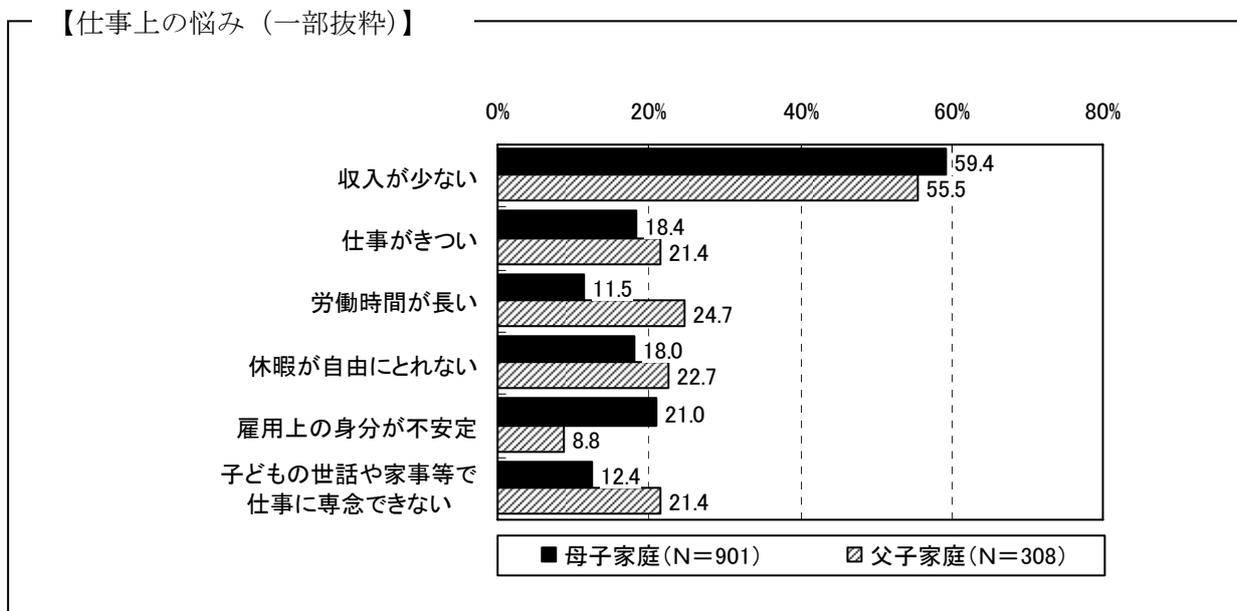
【調査結果からみる現状】

アンケート調査から、現在の仕事の有無(母子 問 12, 父子 問 12)について、「母子家庭」「父子家庭」ともに収入を伴う仕事をしている回答者が8割以上を占めています。

まず、「母子家庭」についてみると、ひとり親家庭になった当時の仕事の有無(母子 問 11, 父子 問 11)については、「仕事をしていなかった」回答者は「父子家庭」の5.8%に対し、「母子家庭」では43.0%と高くなっており、ひとり親になってから仕事を始めた回答者が多いことがうかがえます。また、ひとり親家庭になった当時困ったこと(母子 問 39, 父子 問 38)について、「母子家庭」では「生活費」が68.4%、「あなたの就職や仕事」が46.6%と高くなっており、ひとり親家庭になってからの就労が困難であった状況がうかがえます。現在の仕事の就労形態(母子 問 13(2))については、「母子家庭」では「正社員・正職員」の36.6%に対し、「パートタイマー」「アルバイト」等の臨時職が54.2%と高くなっています。仕事上の悩み(母子 問 13(7), 父子 問 13(7))についてみると、「母子家庭」「父子家庭」ともに「収入が少ない」が最も高くなっているほか、「母子家庭」では「雇用上の身分が不安定」が21.0%となっており、安定した雇用と収入を求めている回答者が多いことがうかがえます。ひとり親家庭の自立・安定を図るため、市や国に要望したいこと(母子 問 46, 父子 問 43)では、「職業訓練の場や働

く機会を増やすなど安定的な職業の支援を充実する」について、「父子家庭」の23.9%に対し、「母子家庭」では47.6%と23.7ポイント高い状況です。

一方、「父子家庭」についてみると、現在の仕事の就労形態（父子 問 13(2)）では「正社員・正職員」「自営業主」を合わせると8割以上となっています。仕事上の悩み（父子 問 13(7)）については、「父子家庭」では「労働時間が長い」「休暇が自由にとれない」「仕事がきつい」「子どもの世話や家事等で仕事に専念できない」が2割以上となっています。また、平均的な勤務時間（母子 問 13(6), 父子 問 13(6)）についてみると、仕事が終わって帰宅する時間は「母子家庭」では「18時台」が26.2%と最も高いのに対し、「父子家庭」では「20時以降」が38.6%と最も高く、「母子家庭」よりも帰宅時間が遅い傾向がうかがえます。こうした状況から、「父子家庭」では家庭よりも仕事を優先せざるをえない状況のなかで、仕事と子育ての両立が困難な状況がうかがえます。



※母子家庭) 問 11, 12, 13 (2) (6) (7), 39, 46 父子家庭) 問 11, 12, 13 (2) (6) (7), 38, 43
結果から引用

(3) 経済的支援及び養育費の確保を進めるための取組

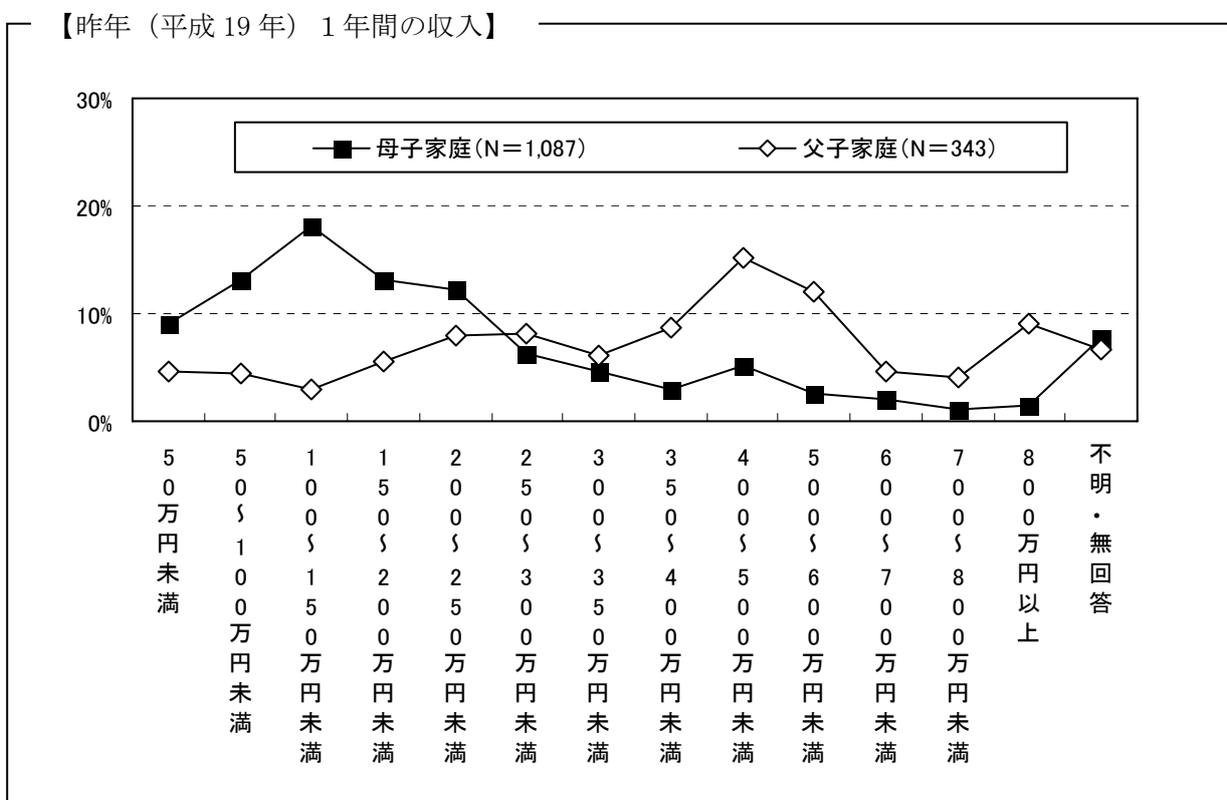
【調査結果からみる現状】

アンケート調査から、ひとり親家庭の昨年（平成 19 年）1 年間の収入（生活保護費は除く）（母子 問 21, 父子 問 20）については、母子家庭では「100～150 万円未満」が 18.1% と最も高く、父子家庭では「400～500 万円未満」が 15.2% と最も高くなっており、母子家庭と父子家庭で収入に大きな差があることがうかがえます。

ひとり親家庭の自立・安定を図るため、市や国に要望したいこと（母子 問 46, 父子 問 43）では、「年金・手当など経済的支援を充実する」について、「母子家庭」では 74.1%、「父子家庭」では 68.5% と、ともに最も高くなっている状況です。

現在行われている福祉施策等の認知度・利用度が最も高いもの（母子 問 42, 父子 問 41(1)）については、「母子家庭」では「児童扶養手当」, 「父子家庭」では「児童手当」となっています。全体的に「母子家庭」よりも「父子家庭」において、認知度・利用度が低い状況です。

また、離婚の際「養育費」に関する取り決め（母子 問 27, 父子 問 26）があった人で、取り決めどおりに支払われているかについては、「母子家庭」では「支払われている」が 37.3%、「支払われたり、支払われなかったりしている」と「支払われていない」の合計が 57.3% となっており、取り決めどおりに支払われていない割合が高いことがうかがえます。



※母子家庭) 問 21, 27, 42, 46 父子家庭) 問 20, 26, 41 (1), 43 結果から引用

(4) 相談・支援機構の充実強化に向けた取組

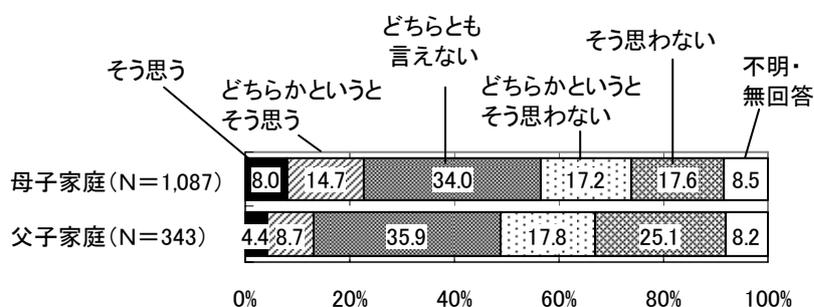
【調査結果からみる現状】

アンケート調査結果から、ひとり親家庭になった当時困ったこと（母子 問 39, 父子 問 38）については、「母子家庭」で「生活費」が68.4%と最も高くなっており、次いで「あなたの就職や仕事」「子どもの養育・教育」となっています。「父子家庭」では「家事」が最も高く、次いで「子どもの養育・教育」となっています。また、現在の悩みについては、上記の項目に加え、「母子家庭」「父子家庭」ともに「老後のこと」の割合が、ひとり親家庭になった当時よりも高くなっている傾向があります。このように、ひとり親家庭の悩みについては、「母子家庭」「父子家庭」によって、また時期によって異なっており、きめ細やかな対応が必要であることがわかります。

住民実感（母子 問 43, 父子 問 42）の「子育てに不安を感じたとき気軽に相談できるところがあるので安心できる」をみると、『肯定的評価（「そう思う」と「どちらかというと思う」の合計、以下同様）』が「母子家庭」では22.7%、「父子家庭」では13.1%となっています。同項目について「就学前児童」「小学生児童」ではともに『肯定的評価』が4割以上となっていることから、ひとり親家庭では気軽に相談ができていく割合が低いことがうかがえます。

【住民実感】

子育てに不安を感じたとき気軽に相談できるところがあるので安心できる

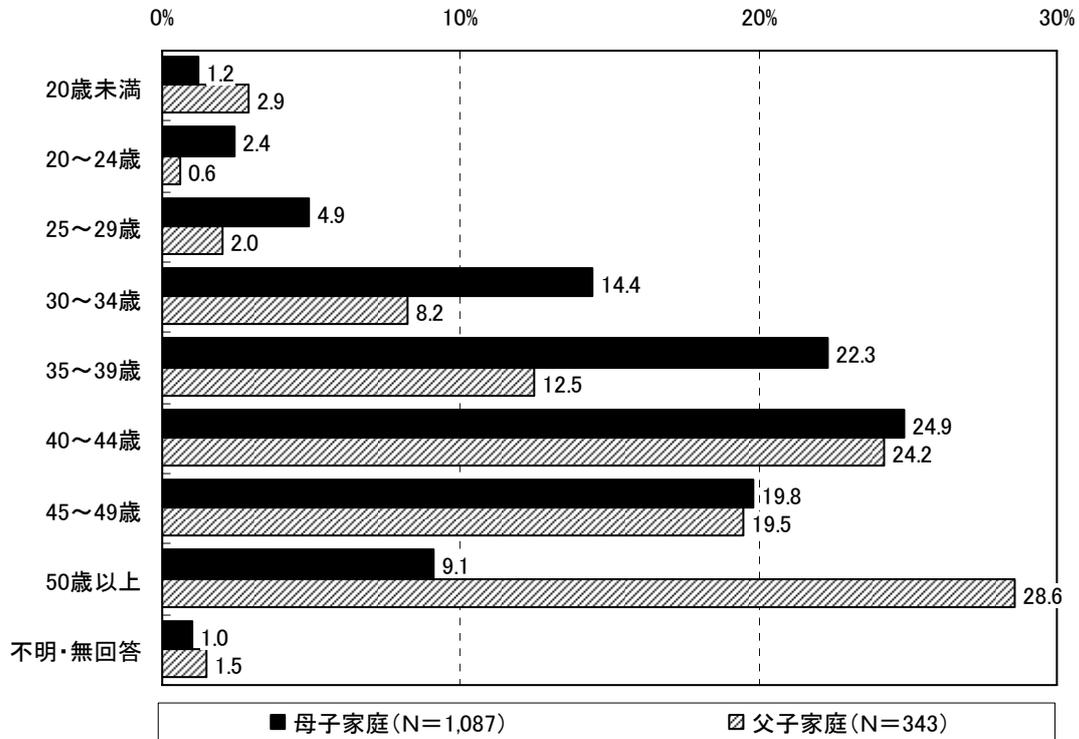


※母子家庭) 問 39, 43 父子家庭) 問 38, 42 結果から引用

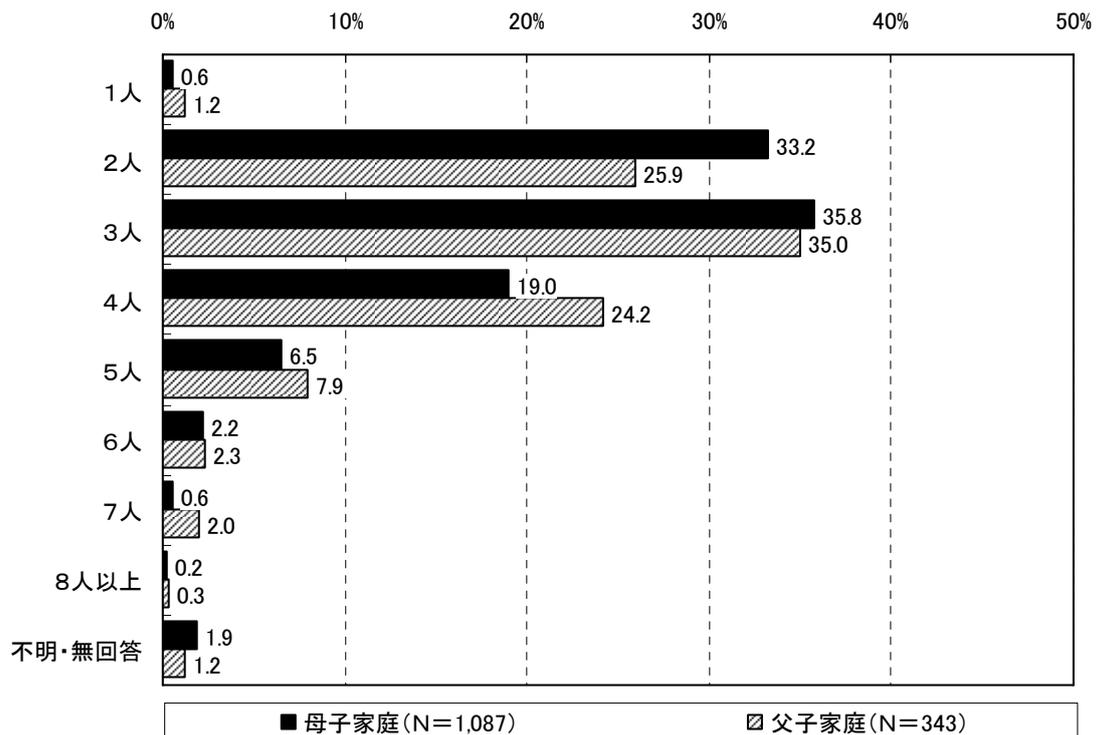
III 調査結果

1 回答者の属性

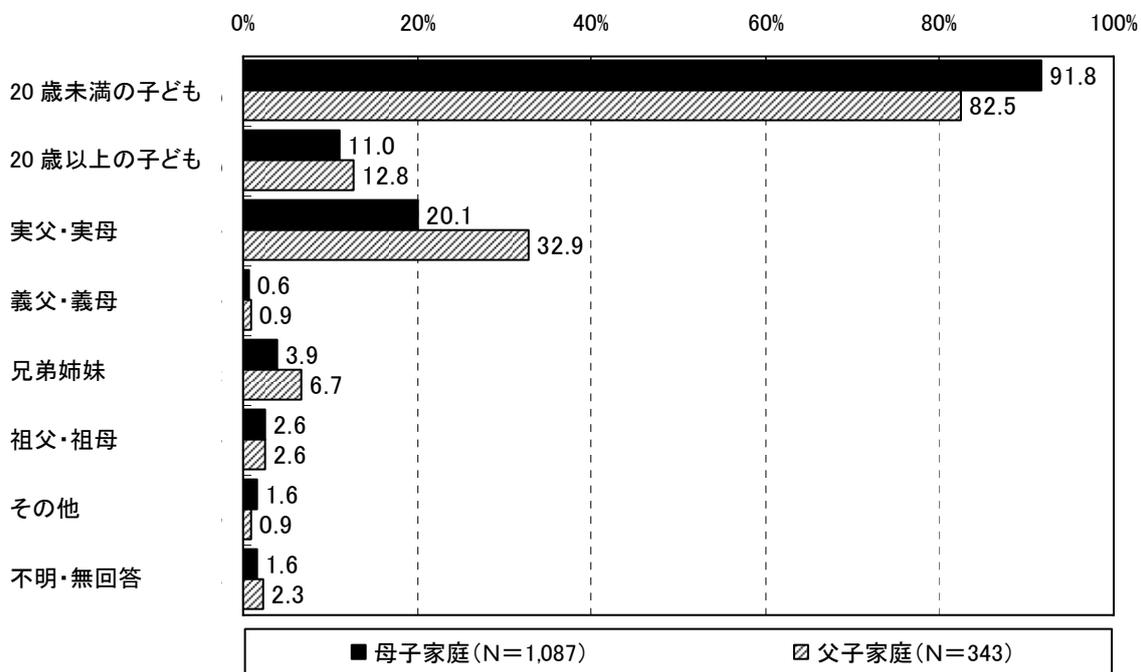
(1) あなたの現在の年齢についてお答えください。(平成20年12月1日現在)
(母子 問2, 父子 問2)



(2) あなたの世帯の「同居家族数」は、あなたも含め「何人家族」ですか。
(母子 問3, 父子 問3)



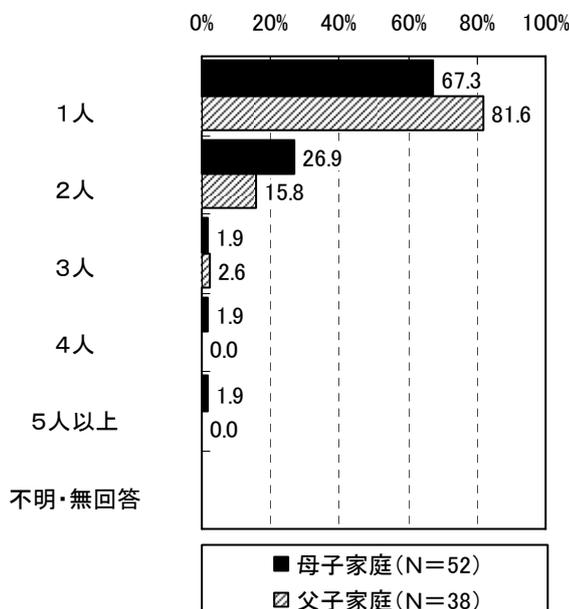
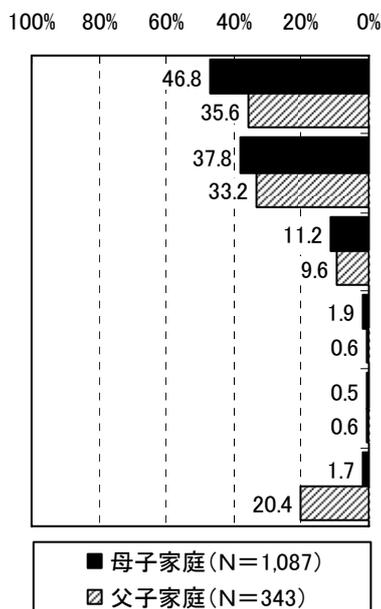
(3) 同居の家族はどなたがいらっしゃいますか。あなたからの続き柄でお答えください。(複数回答可) (母子 問4, 父子 問4)



(4) あなたのお子さんは、次のいずれに当てはまりますか。同居，別居別の人数を記入してください。(ここでは、就職，進学などで別居しているお子さん(生計上の扶養家族)も含めます)(複数回答可)(母子 問5, 父子 問5)

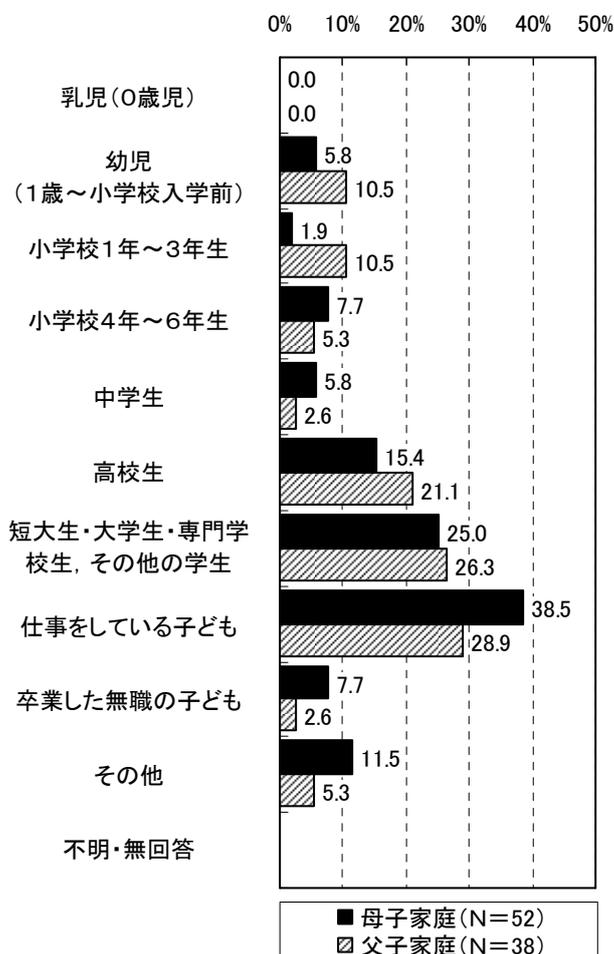
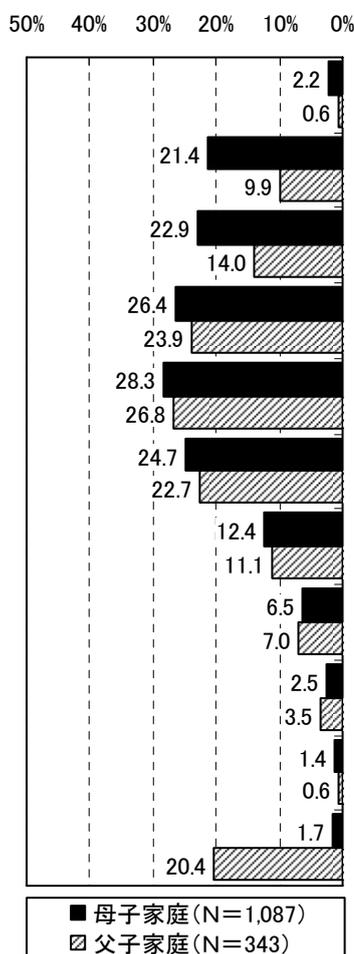
【同居している子どもの人数】

【別居している子どもの人数(回答者のみ)】



【同居している子どものライフステージ】

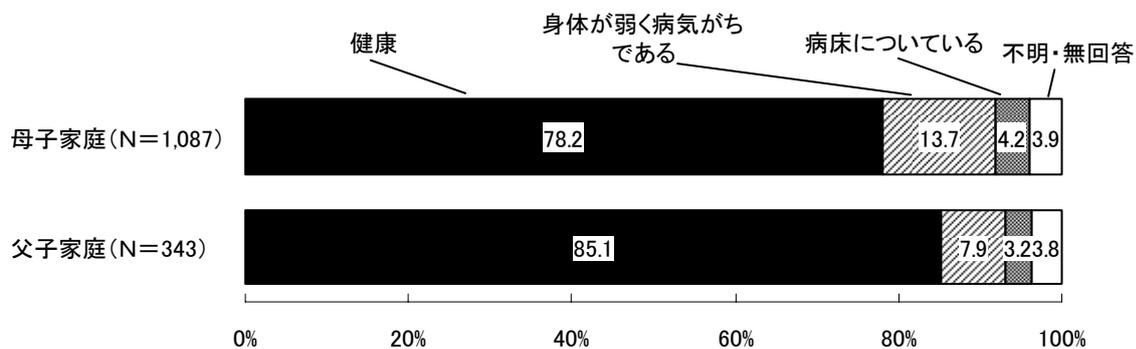
【別居している子どものライフステージ(回答者のみ)】



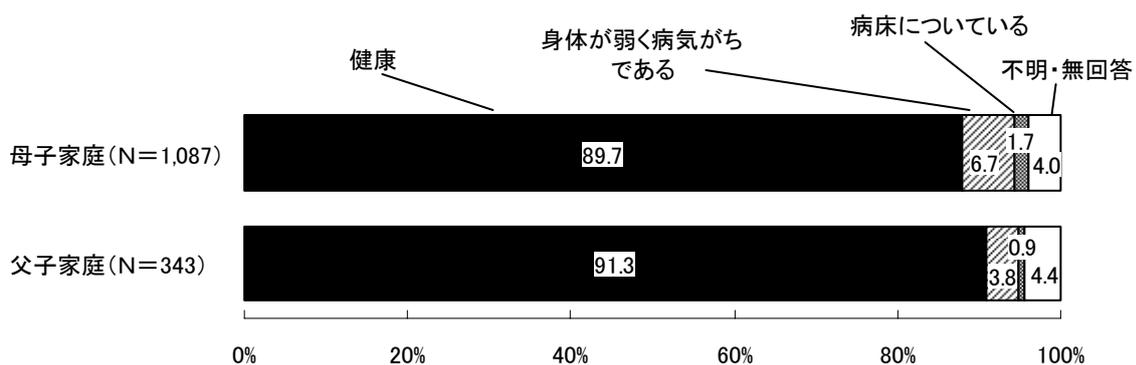
(5) あなたとお子さんの現在の健康状態はいかがですか。なお、お子さんが複数いる場合は、当てはまるすべての欄にお答えください。(複数回答可)

(母子 問6, 父子 問6)

【本人】



【子ども】



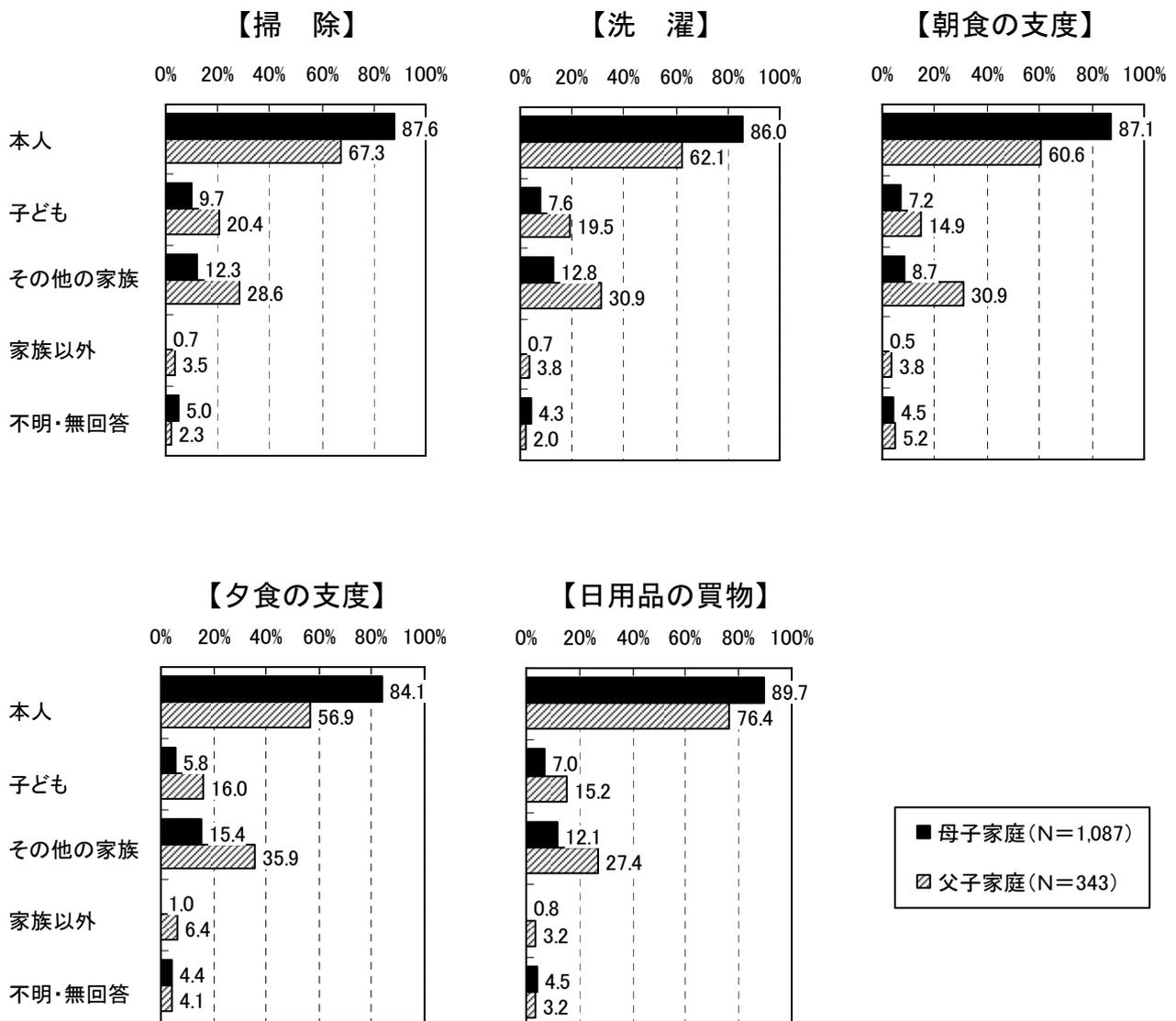
2 家事の分担状況について

(1) あなたのご家庭では、以下の家事は主にどなたが担当されていますか。

(複数回答可) (母子 問7, 父子 問7)

母子家庭では、すべてにおいて「本人」が最も高くなっていて、それぞれ、掃除が87.6%、洗濯が86.0%、朝食の支度が87.1%、夕食の支度が84.1%、日用品の買物が89.7%となっている。

父子家庭でも、すべてにおいて「本人」が最も高くなっていて、それぞれ、掃除が67.3%、洗濯が62.1%、朝食の支度が60.6%、夕食の支度が56.9%、日用品の買物が76.4%となっている。



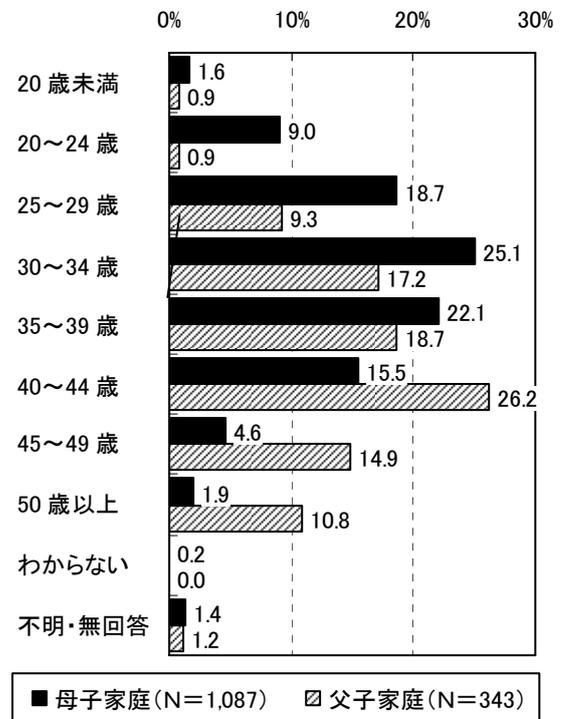
3 ひとり親家庭になったときの状況について

(1) ひとり親家庭になったときのあなたの年齢についてお答えください。

(母子 問 8, 父子 問 8)

母子家庭では「30～34 歳」が 25.1%と最も高く、次いで「35～39 歳」が 22.1%となっている。

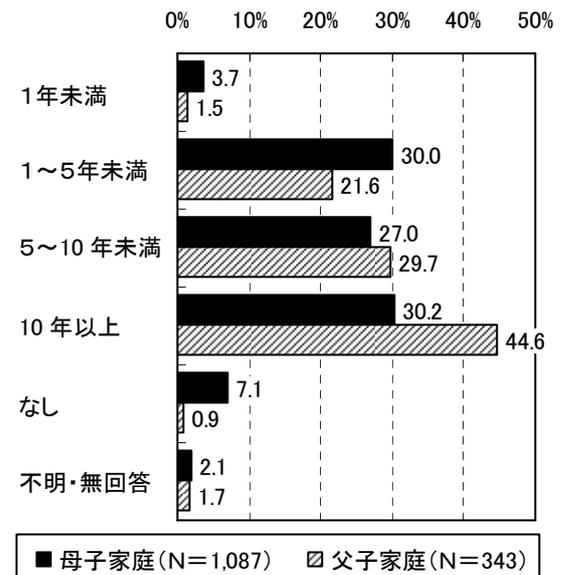
父子家庭では「40～44 歳」が 26.2%と最も高く、次いで「35～39 歳」が 18.7%となっている。



(2) 前配偶者との婚姻期間についてお答えください。(母子 問 9, 父子 問 9)

母子家庭では「10 年以上」が 30.2%と最も高く、次いで「1～5 年未満」が 30.0%となっている。

父子家庭では「10 年以上」が 44.6%と最も高く、次いで「5～10 年未満」が 29.7%となっている。



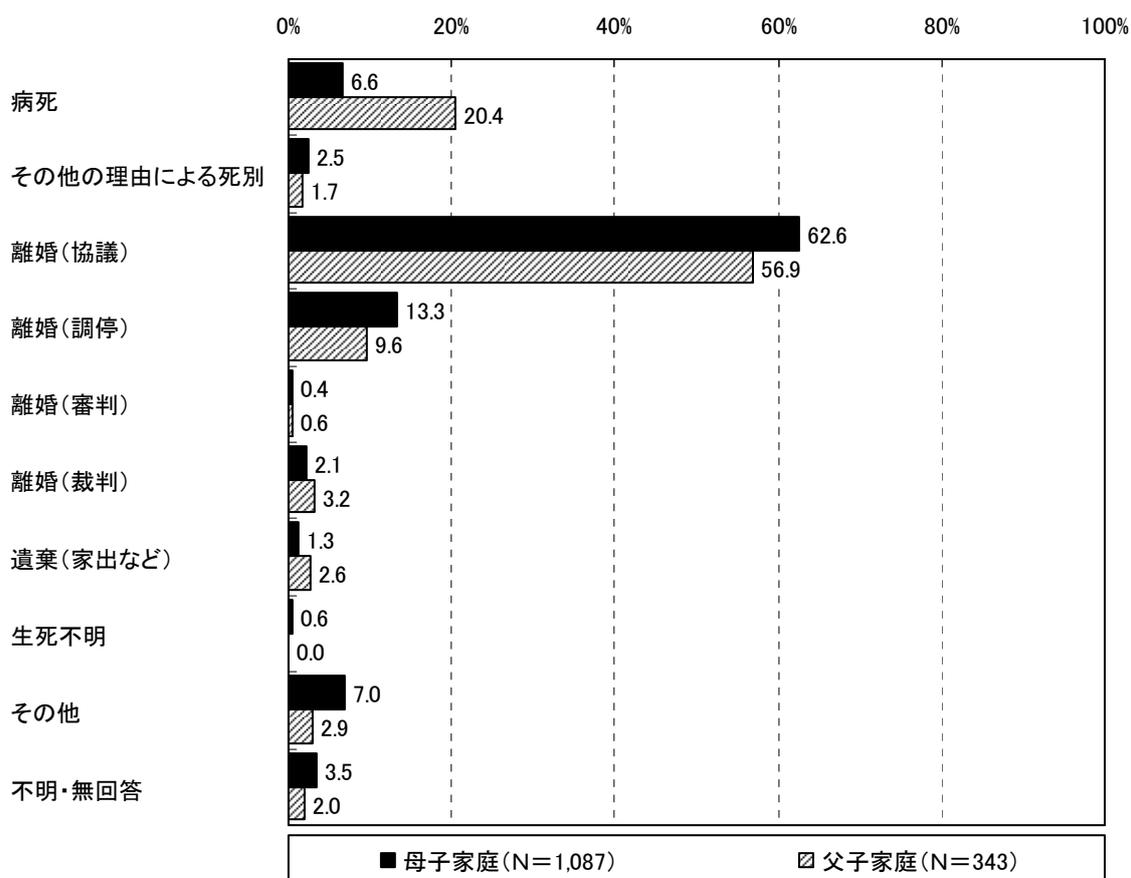
(3) ひとり親家庭となった理由についてお尋ねします。

① ひとり親になった理由についてお答えください。

(母子 問 10(1), 父子 問 10(1))

母子家庭では「離婚(協議)」が62.6%と最も高く、次いで「離婚(調停)」が13.3%となっている。

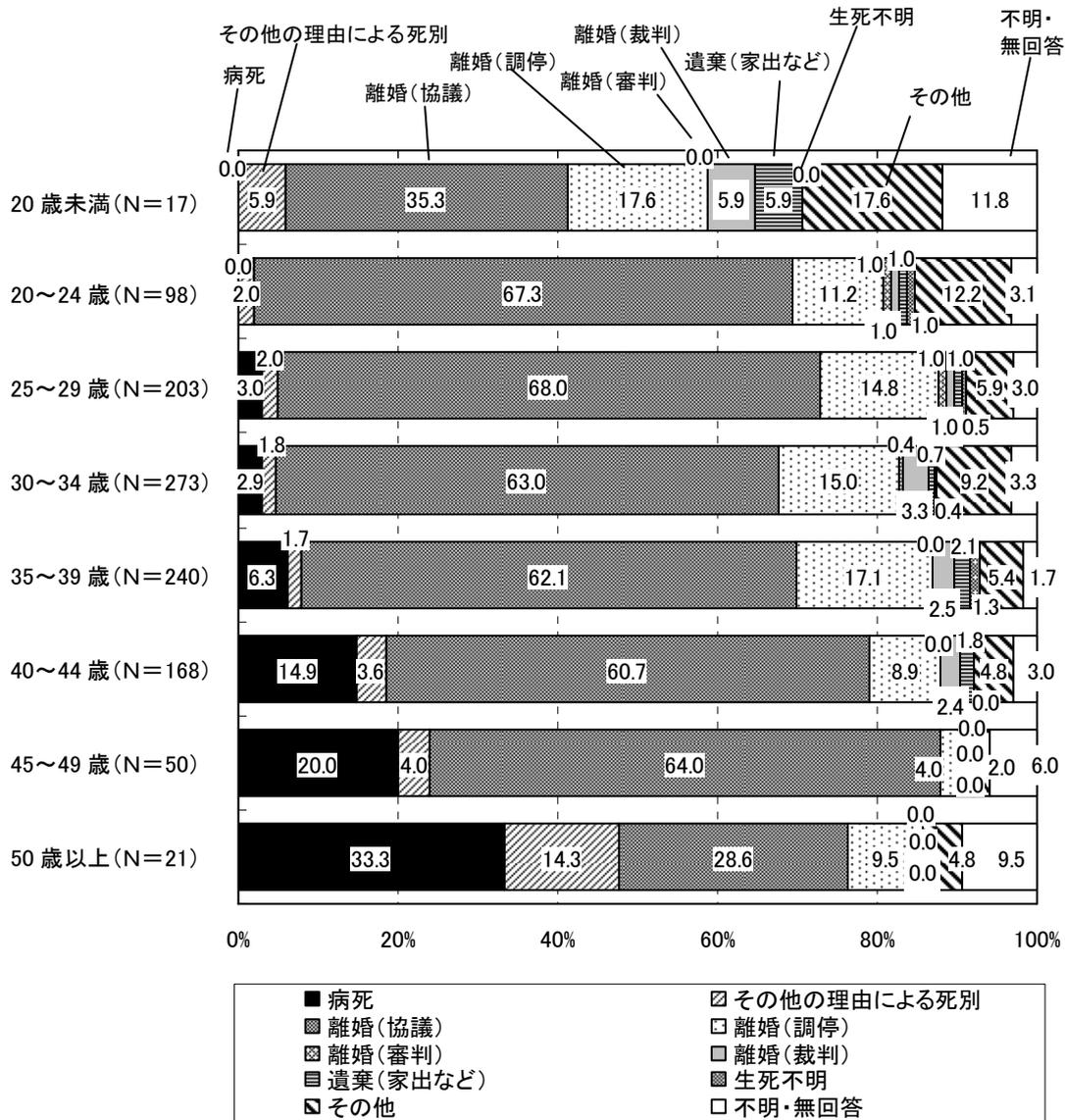
父子家庭では「離婚(協議)」が56.9%と最も高く、次いで「病死」が20.4%となっている。



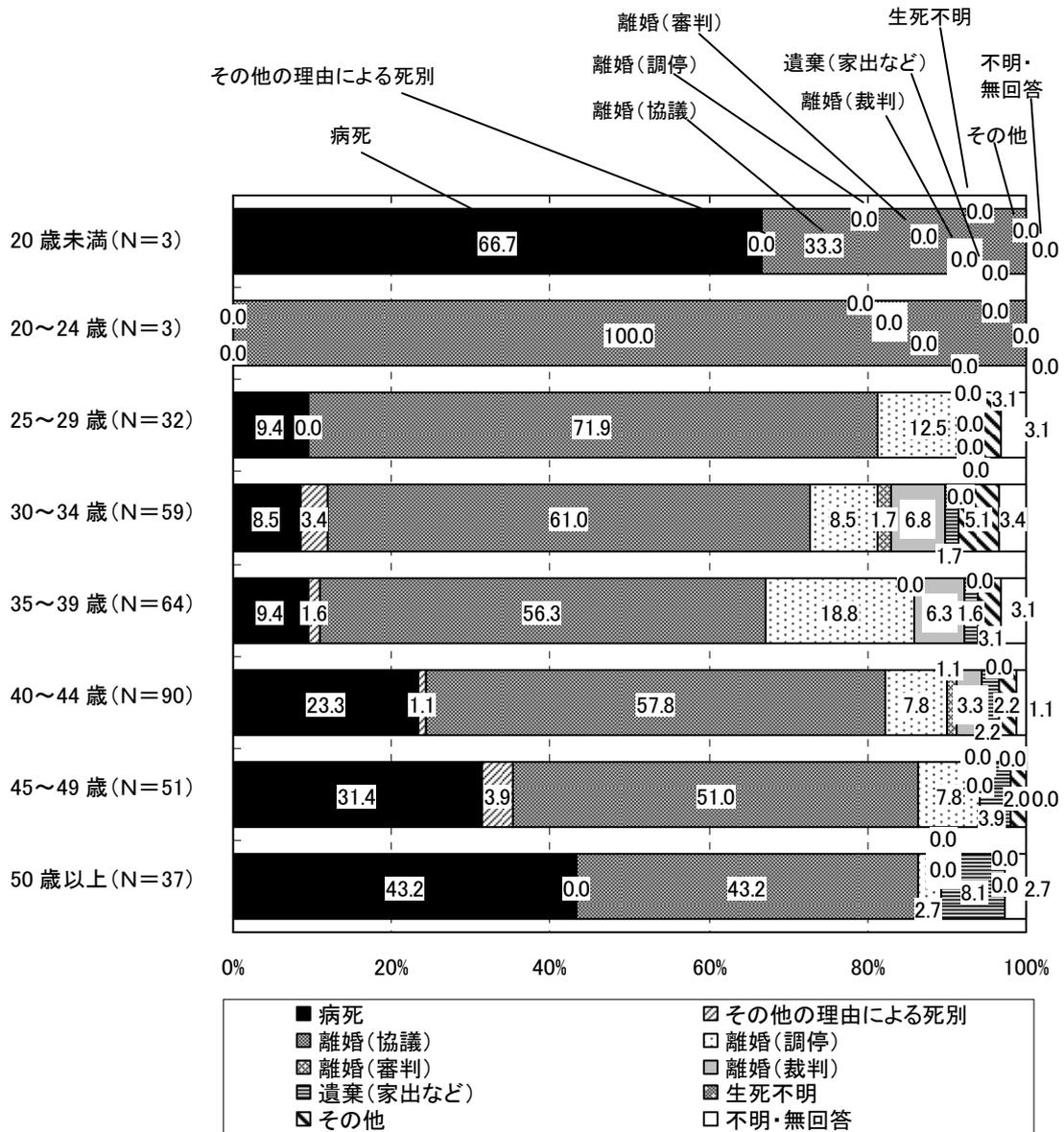
【ひとり親になった時の年齢別】

ひとり親になった時の年齢別にみると母子家庭，父子家庭ともに年齢が上がるにつれて「病死」の割合が高くなる傾向にある。

■ 母子家庭



■ 父子家庭

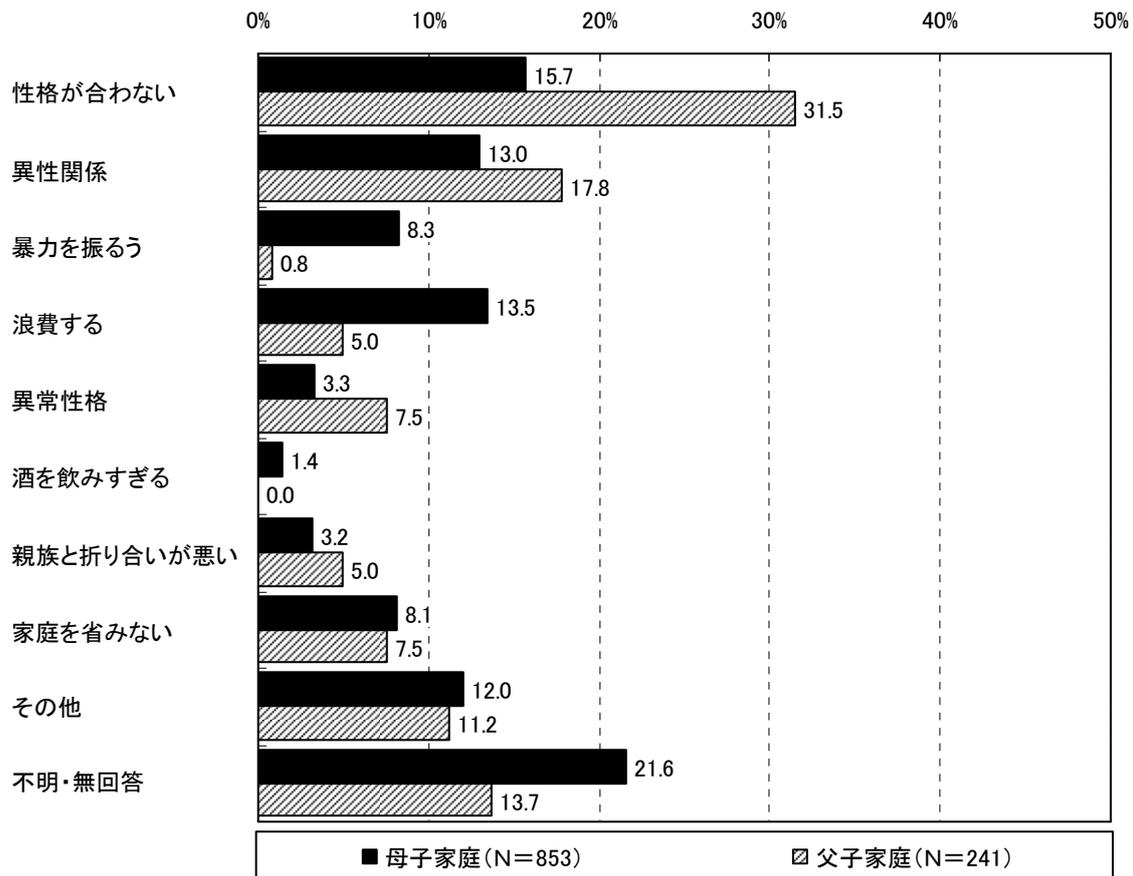


② 離婚（協議，調停，審判，裁判）を選択された方にお尋ねします。

離婚を決意された主たる要因は何ですか。（母子 問 10(2)，父子 問 10(2)）

母子家庭では「性格が合わない」が 15.7%と最も高く，次いで「浪費する」が 13.5%となっている。

父子家庭では「性格が合わない」が 31.5%と最も高く，次いで「異性関係」が 17.8%となっている。

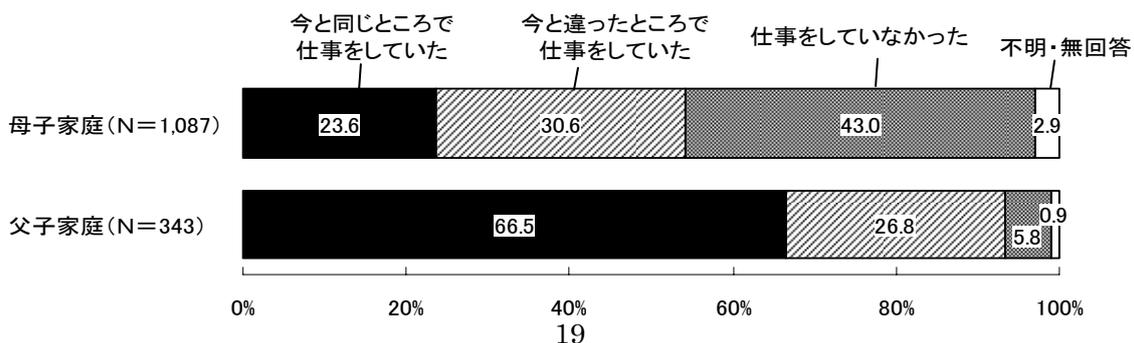


(4) ひとり親家庭になられたとき，あなたは仕事をしていましたか。

(母子 問 11，父子 問 11)

母子家庭では「仕事をしていなかった」が 43.0%と最も高く，次いで「今と違ったところで仕事をしていた」が 30.6%となっている。

父子家庭では「今と同じところで仕事をしていた」が 66.5%と最も高く，次いで「今と違ったところで仕事をしていた」が 26.8%となっている。

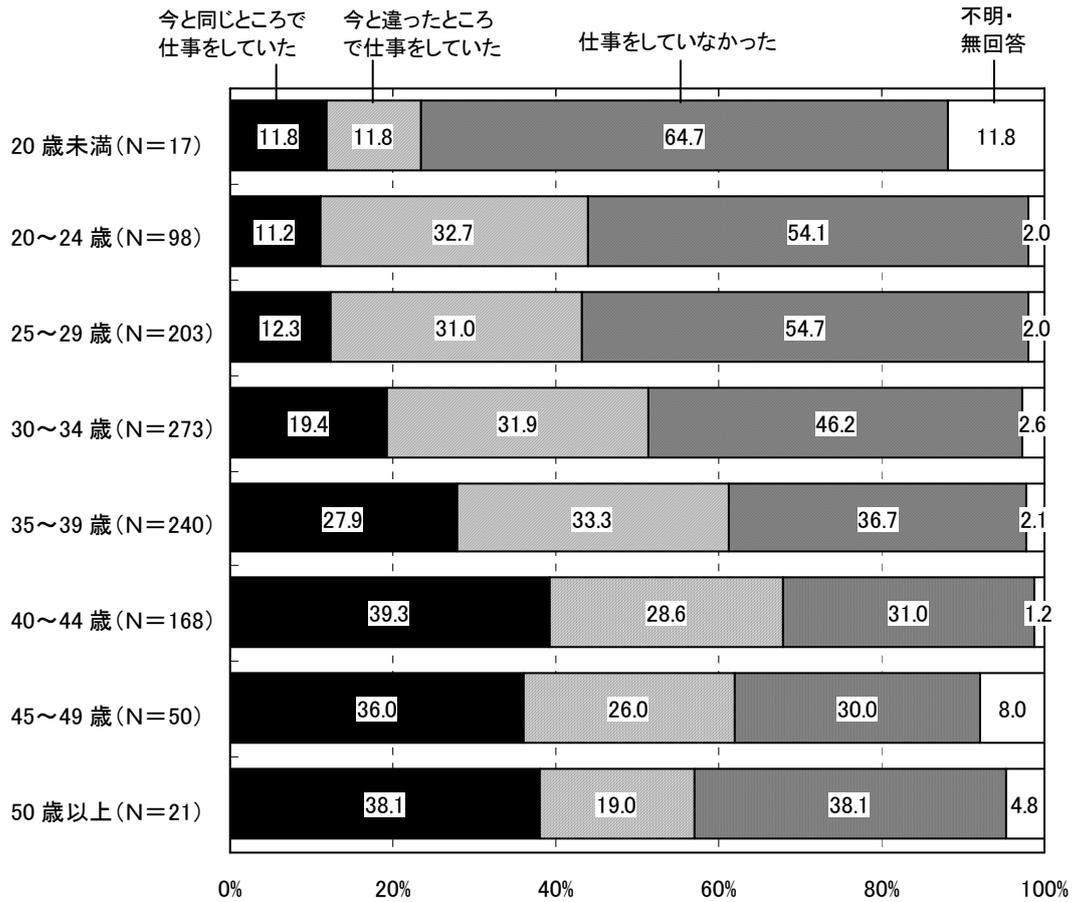


【ひとり親になった時の年齢別】

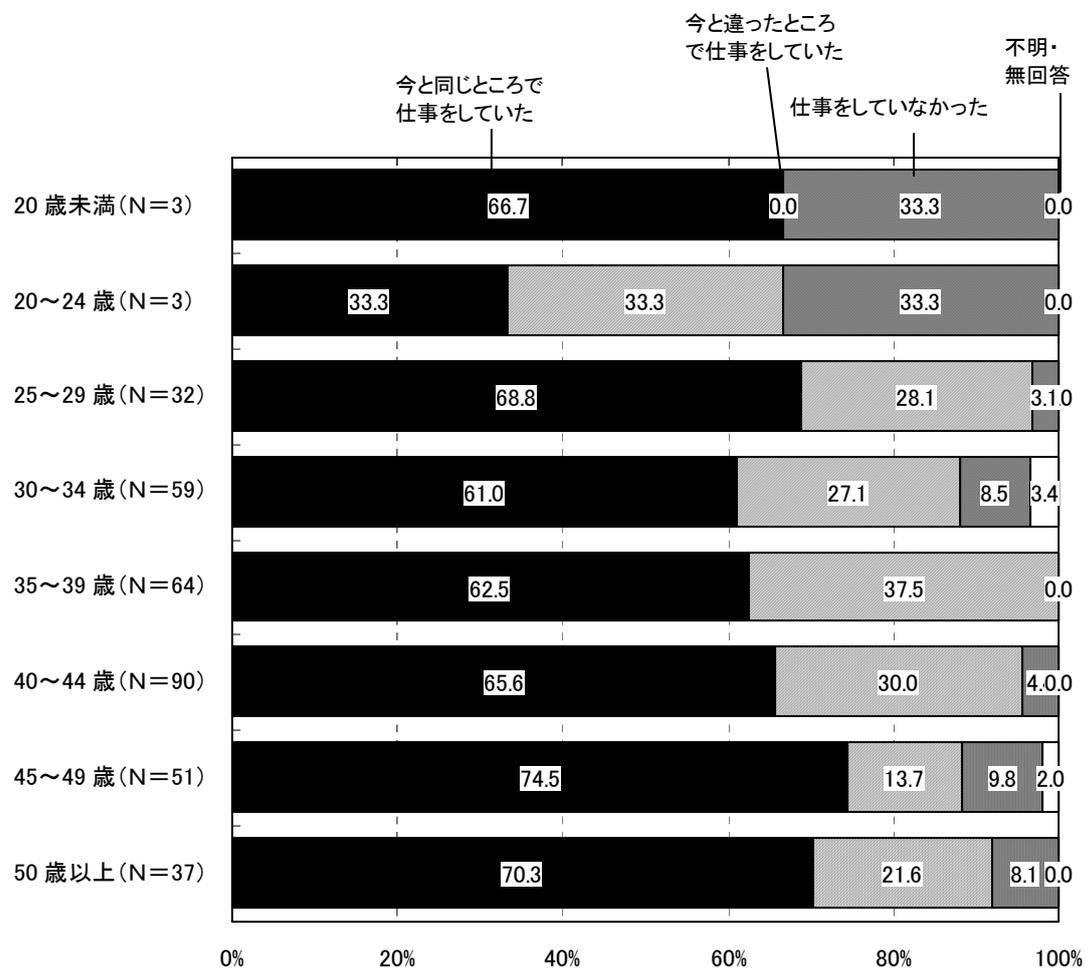
ひとり親になった時の年齢別にみると、母子家庭では、「50歳以上」を除き、年齢が上がるにつれて「仕事をしていなかった」が減少する傾向がある。

父子家庭では、すべての年齢層で「今と同じところで仕事をしていた」の割合が最も高くなっている。

■ 母子家庭



■ 父子家庭

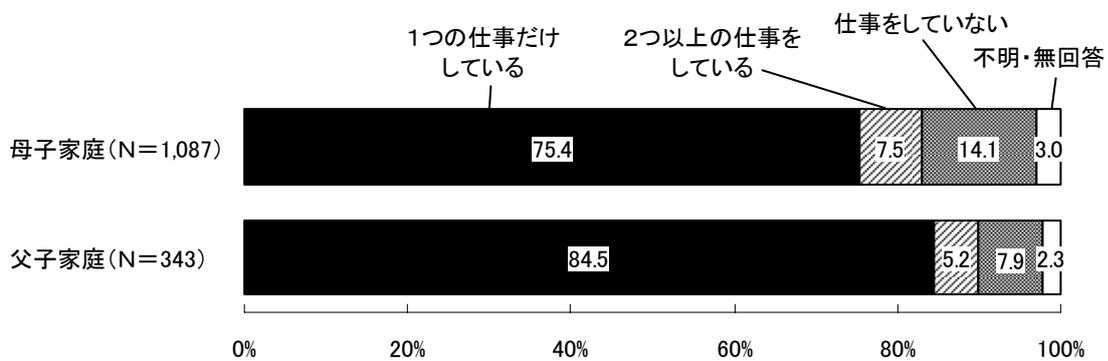


4 現在の仕事について

(1) あなたは現在、収入を伴う仕事をしていますか。(母子 問 12, 父子 問 12)

母子家庭では「1つの仕事だけしている」が75.4%と最も高く、次いで「仕事をしていない」が14.1%となっている。

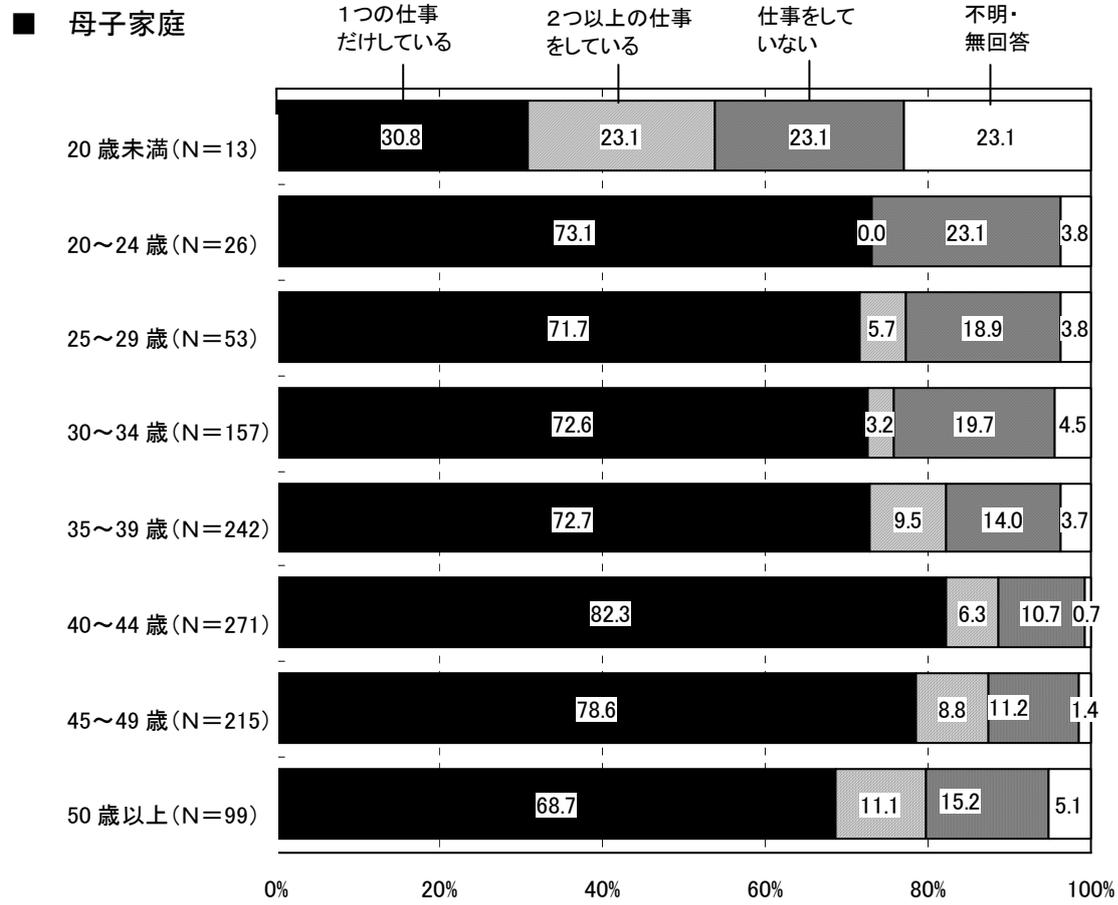
父子家庭でも、「1つの仕事だけしている」が84.5%と最も高く、次いで「仕事をしていない」が7.9%となっている。



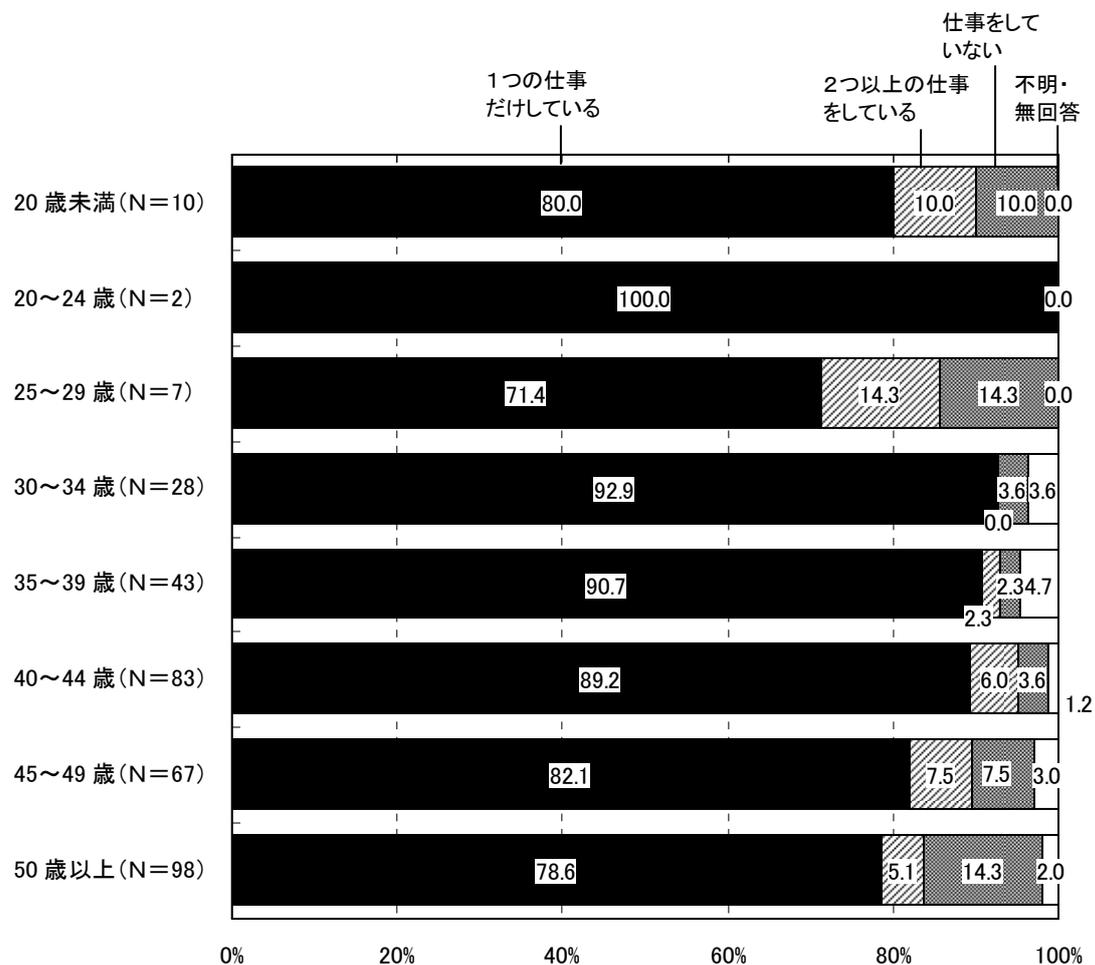
【年齢別】

年齢別にみると、母子家庭では、「20歳未満」を除き、すべての年齢層で「1つの仕事だけしている」の割合が7割を超えている。

父子家庭では、すべての年齢層で「1つの仕事だけしている」の割合が7割を超えている。



■ 父子家庭



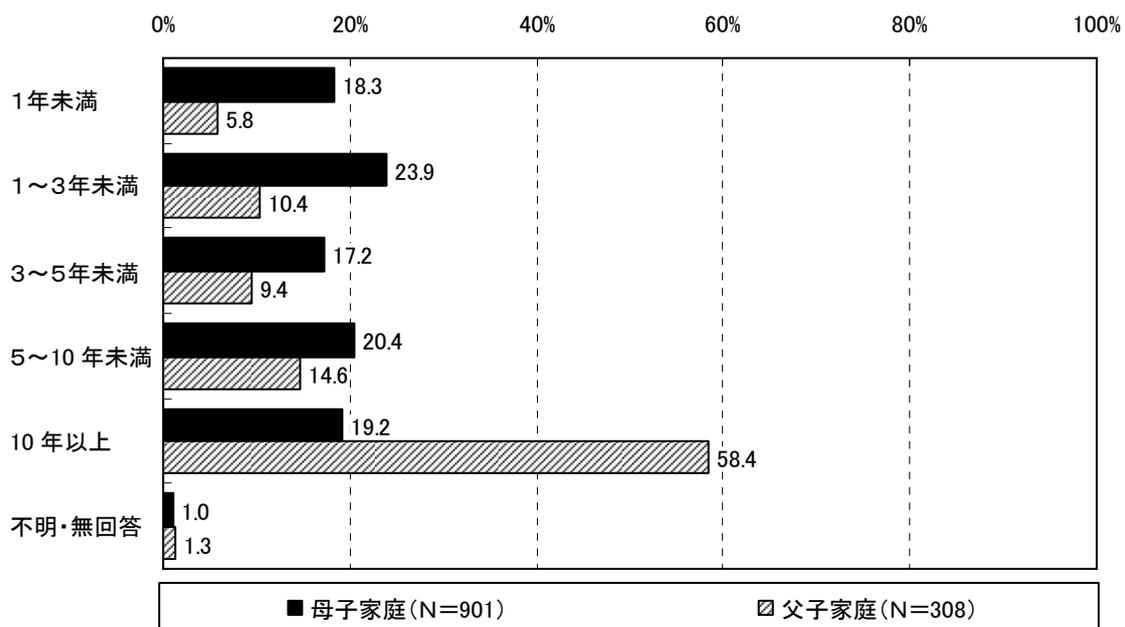
(2) 収入を伴う仕事をしている方だけにお尋ねします。

① あなたが現在の仕事につかれてから何年になりますか。

(母子 問 13(1), 父子 問 13(1))

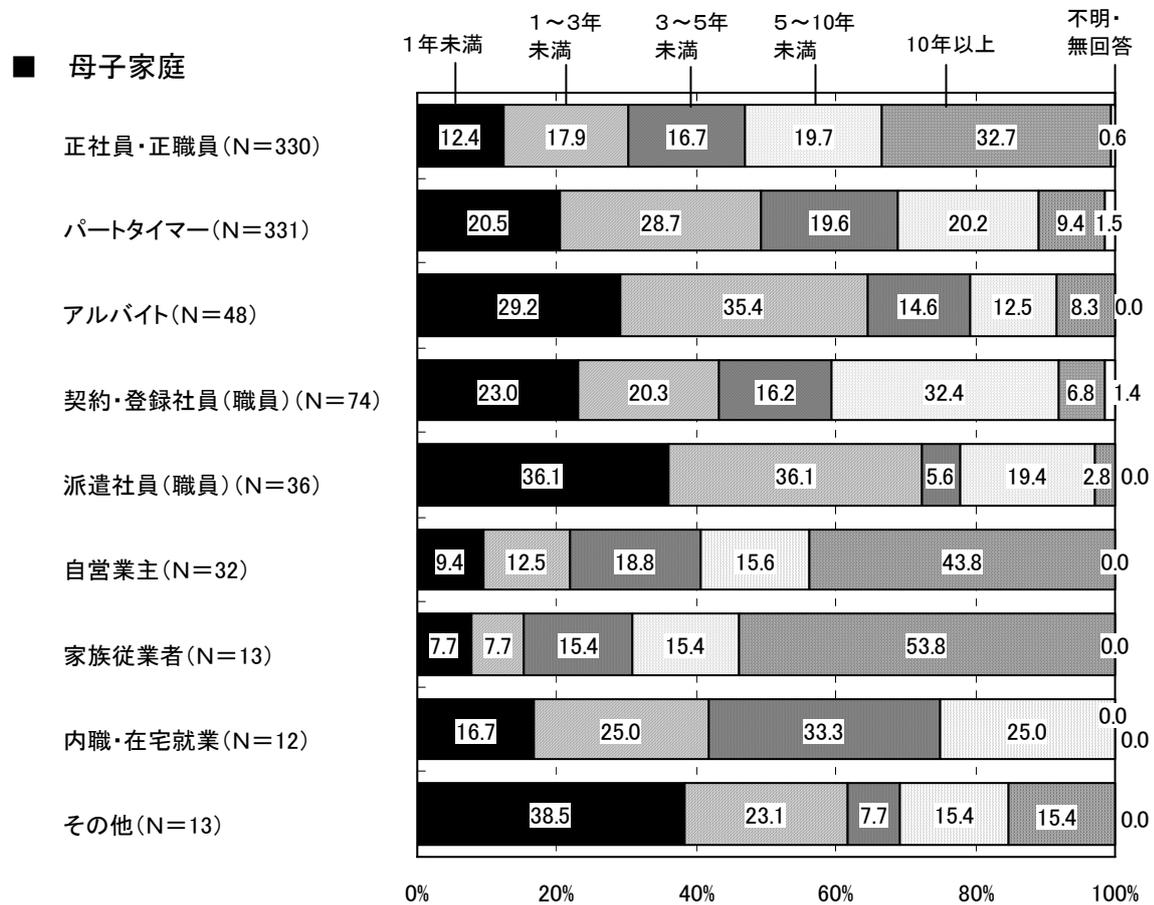
母子家庭では「1～3年未満」が23.9%と最も高く、次いで「5～10年未満」が20.4%となっている。

父子家庭では「10年以上」が58.4%と最も高く、次いで「5～10年未満」が14.6%となっている。

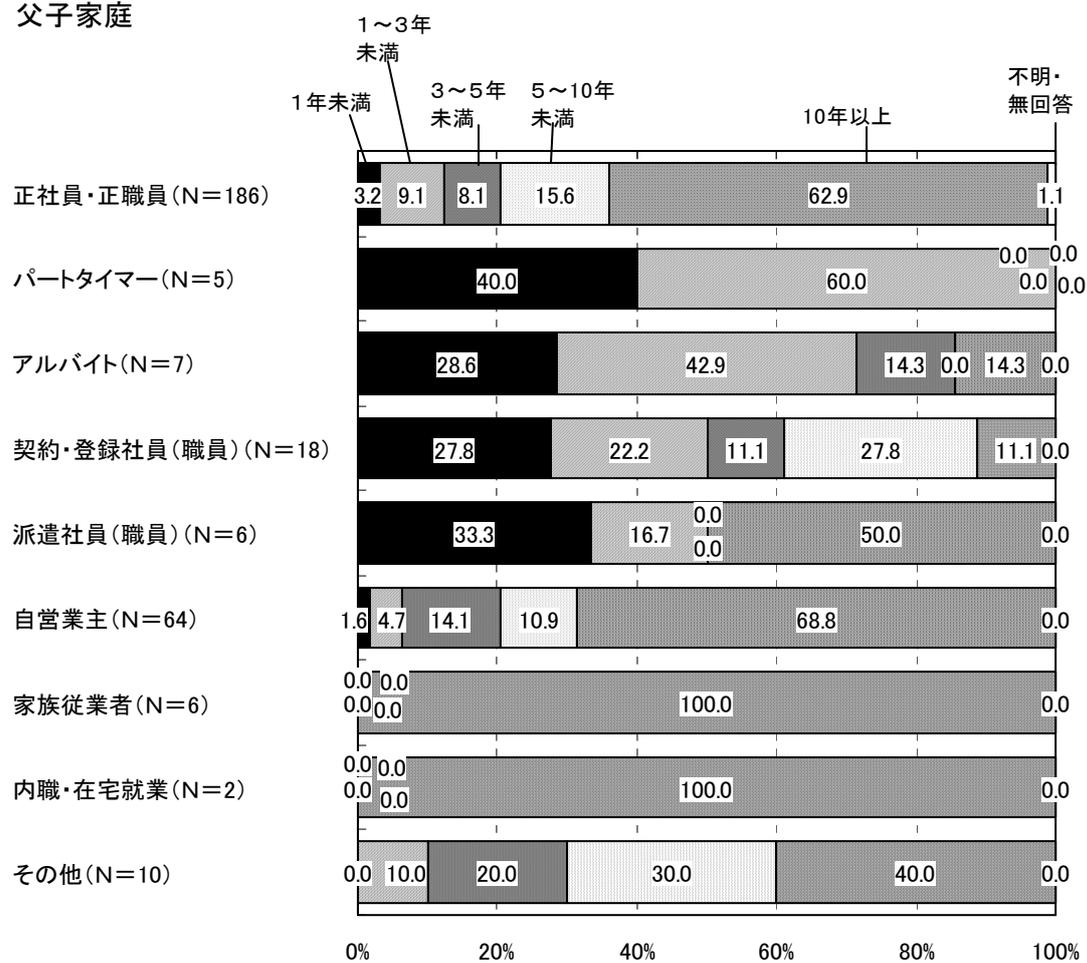


【就労形態別】

就労形態別にみると、母子家庭、父子家庭ともに「パートタイマー」、「アルバイト」、「契約・登録社員」、「派遣社員」について、「1年未満」の割合が高くなっている。



■ 父子家庭

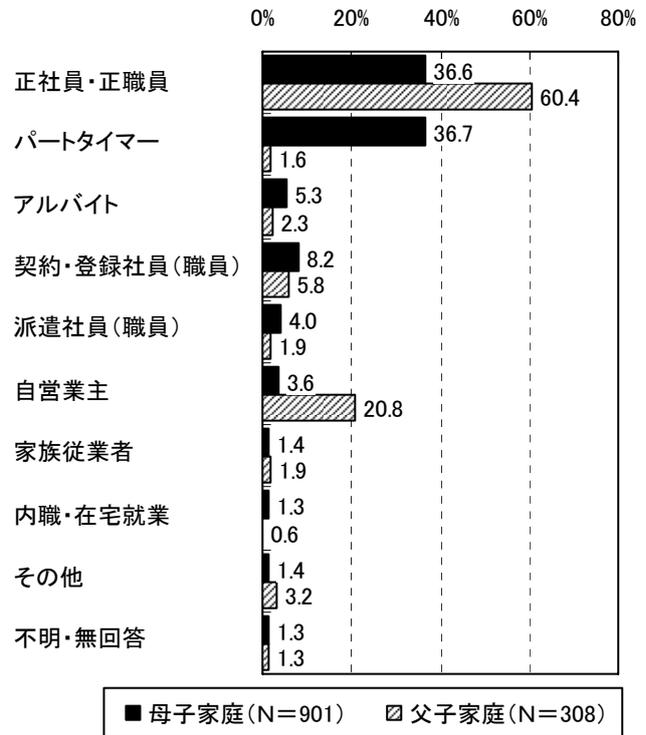


② あなたの就労形態についてお答えください。

(母子 問 13(2), 父子 問 13(2))

母子家庭では「パートタイマー」が36.7%と最も高く、次いで「正社員・正職員」が36.6%となっている。

父子家庭では「正社員・正職員」が60.4%と最も高く、次いで「自営業主」が20.8%となっている。

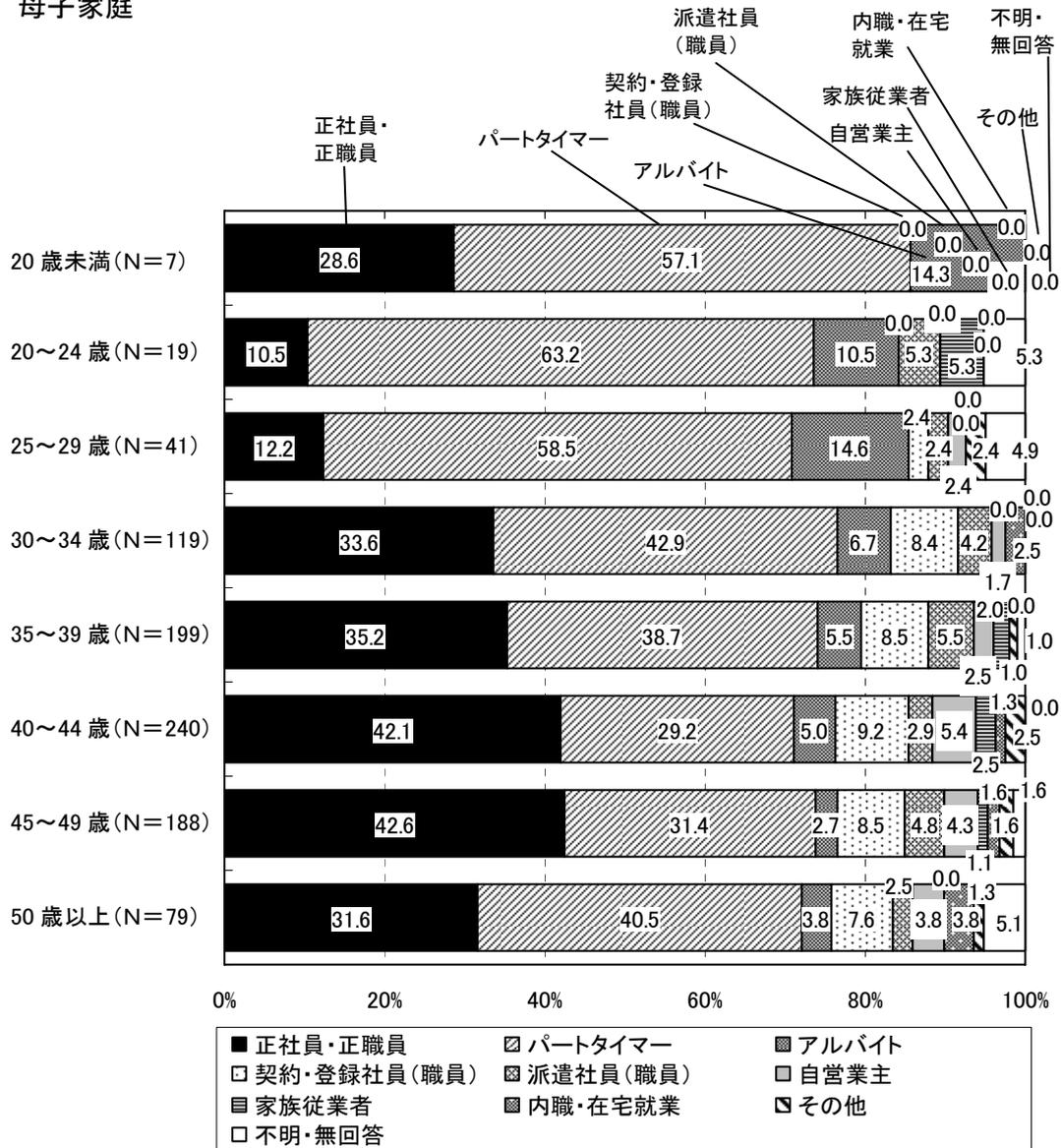


【年齢別】

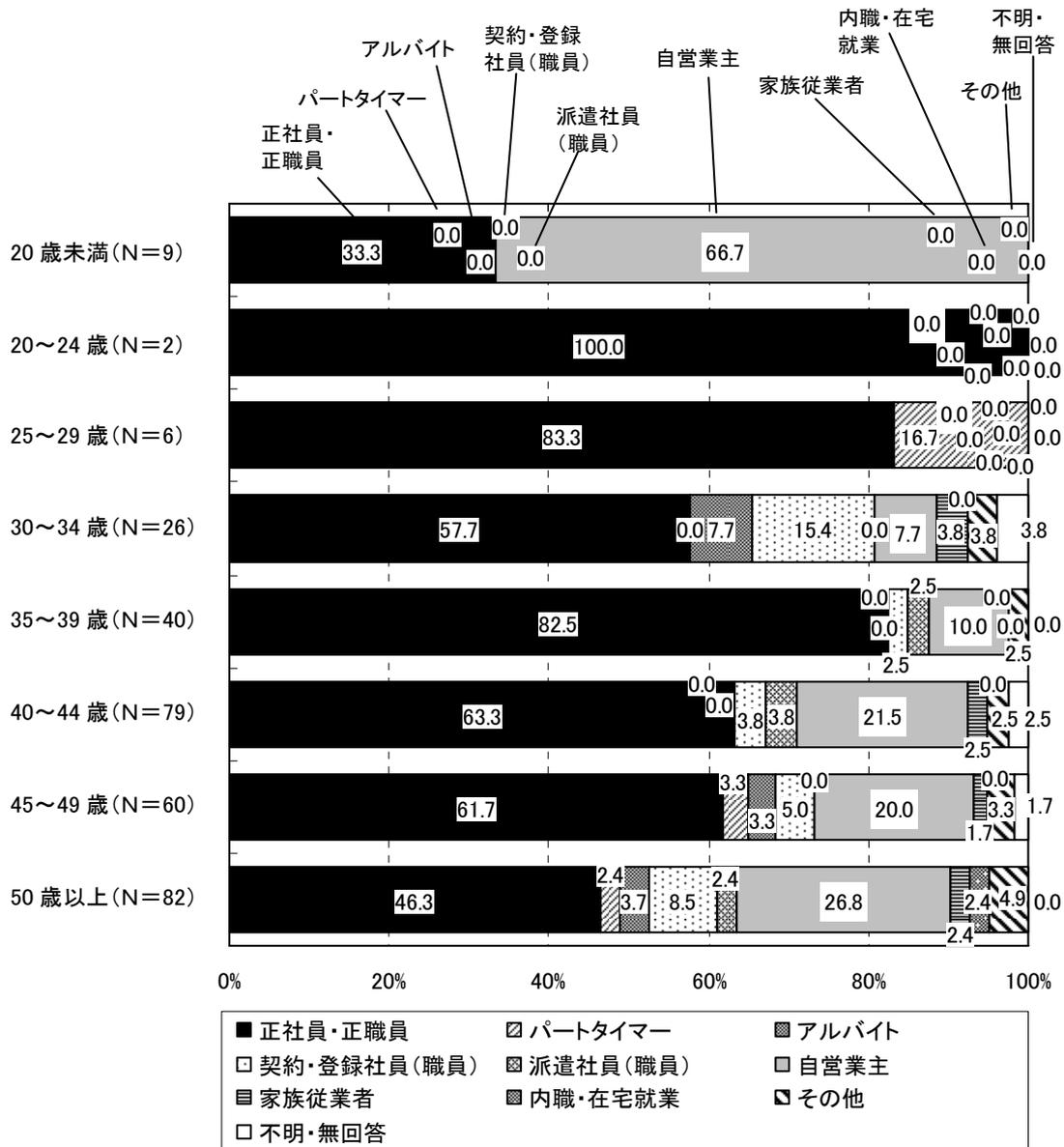
年齢別にみると、母子家庭では、「50歳以上」を除き、年齢が上がるにつれて「正社員・正職員」の割合が高くなる傾向がある。

父子家庭では、「20歳未満」を除き、すべての区分において「正社員・正職員」の割合が最も高くなっている。

■ 母子家庭



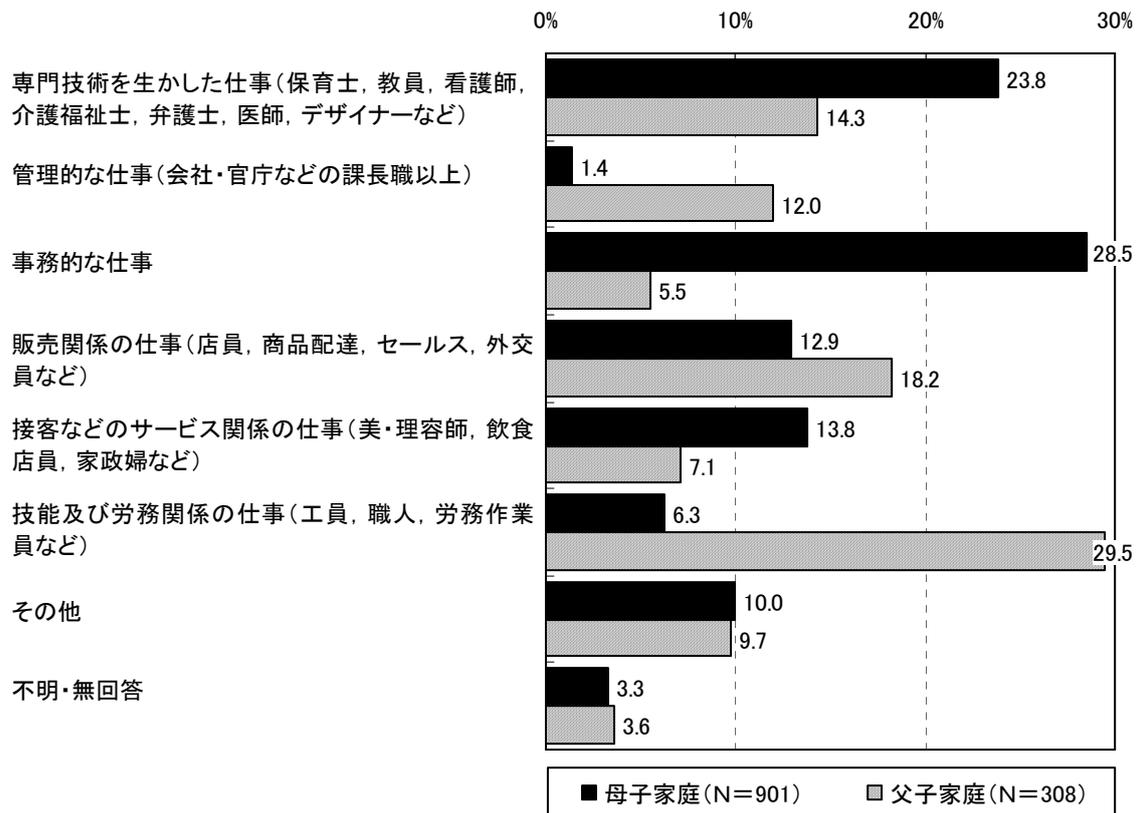
■ 父子家庭



③ その仕事の種類についてお答えください。(母子 問 13(3), 父子 問 13(3))

母子家庭では「事務的な仕事」が28.5%と最も高く、次いで「専門技術を生かした仕事」が23.8%となっている。

父子家庭では「技能及び労務関係の仕事」が29.5%と最も高く、次いで「販売関係の仕事」が18.2%となっている。

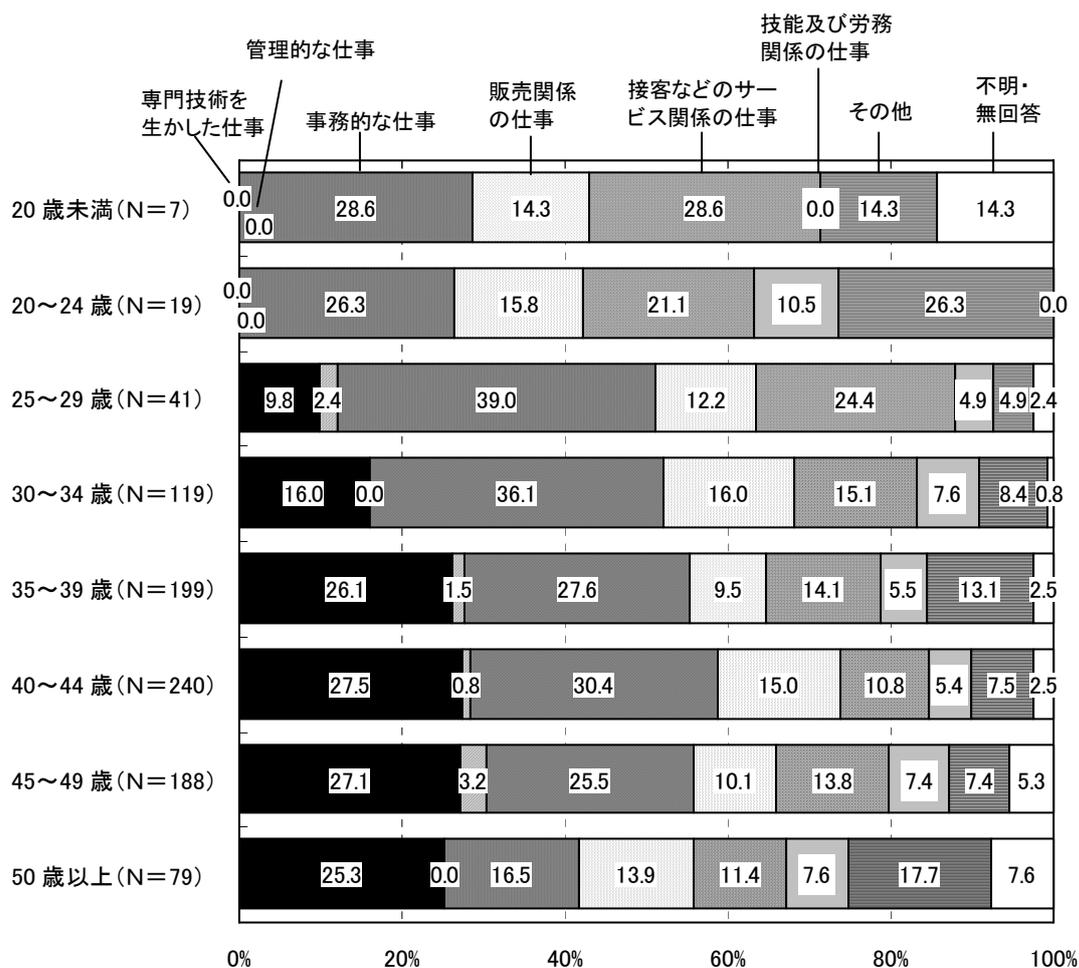


【年齢別】

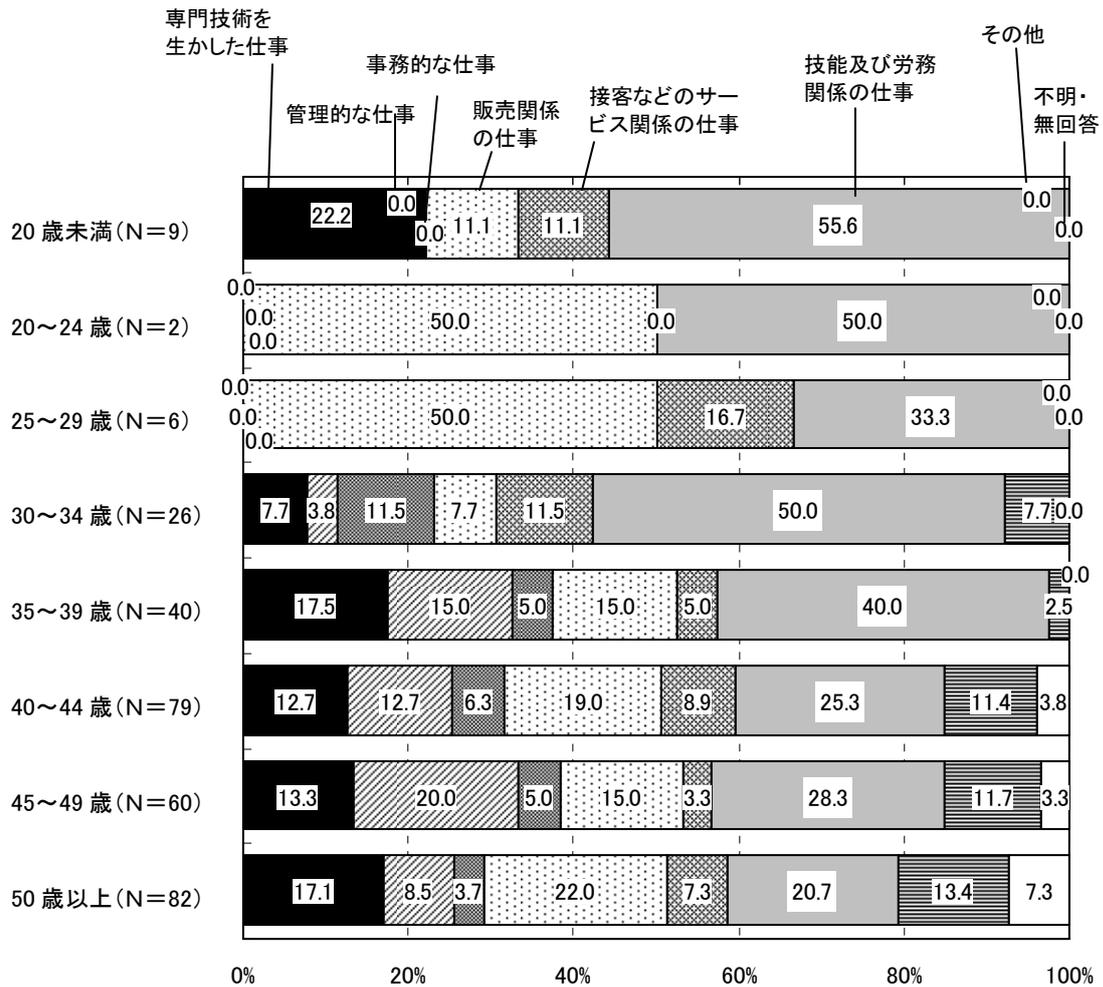
年齢別にみると、母子家庭では、年齢が上がるにつれて「専門技術を生かした仕事」の割合が高くなる傾向がある。

父子家庭では、「25～29歳」、「50歳以上」を除いたすべての年齢層で「技能及び労務関係の仕事」の割合が最も高くなっている。

■ 母子家庭



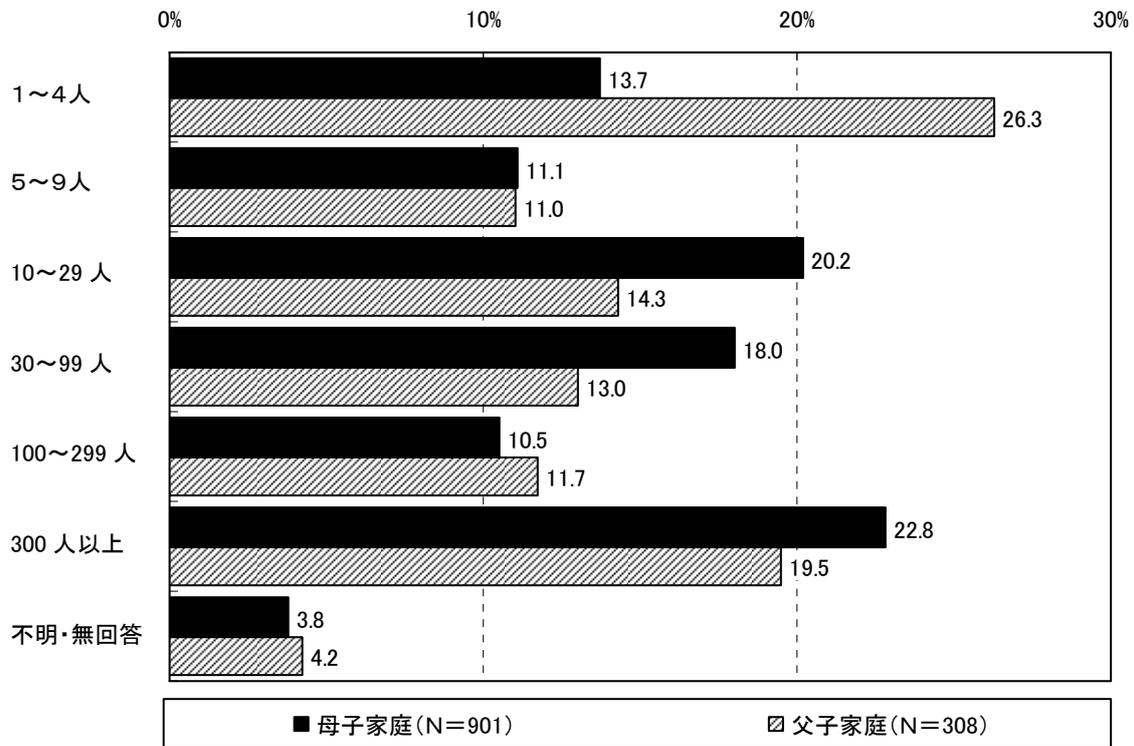
■ 父子家庭



④ 勤務先（自営業の方は家族従業者を含む）の規模（従業員数）についてお答えください。（母子 問 13(4)，父子 問 13(4)）

母子家庭では「300人以上」が22.8%と最も高く、次いで「10～29人」が20.2%となっている。

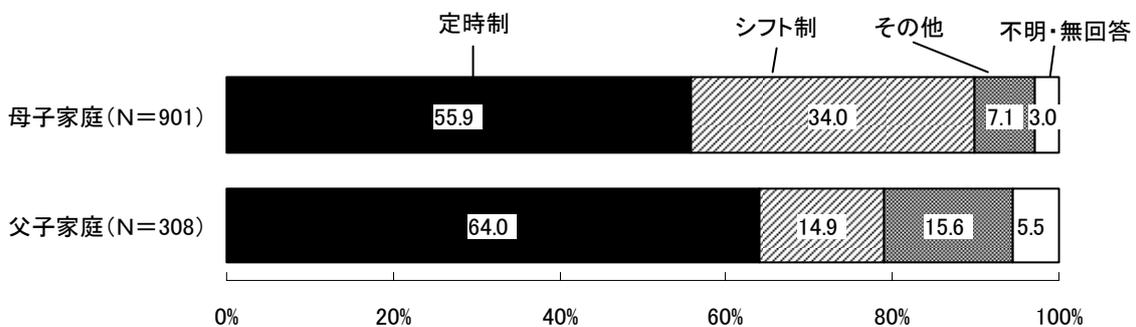
父子家庭では「1～4人」が26.3%と最も高く、次いで「300人以上」が19.5%となっている。



⑤ あなたの勤務体制についてお答えください。（母子 問 13(5)，父子 問 13(5)）

母子家庭では「定時制」が55.9%と最も高く、次いで「シフト制」が34.0%となっている。

父子家庭では「定時制」が64.0%最も高く、次いで、「シフト制」が14.9%となっている。

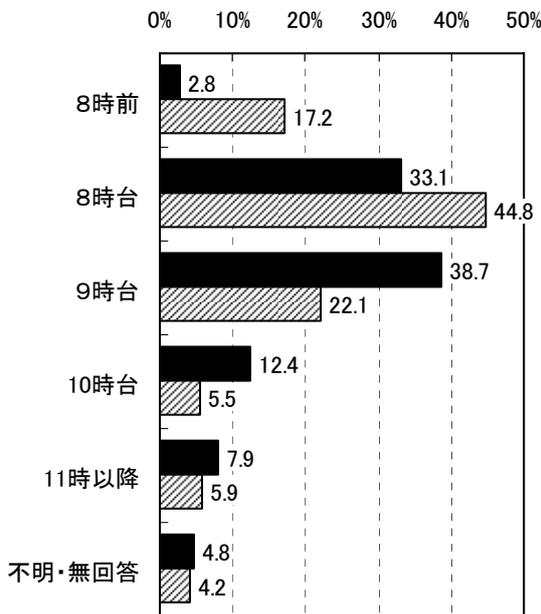


- ⑥ あなたの普段の平均的な勤務時間（残業が恒常的になっている方はその時間も含む）はどのようになっていますか。また、仕事が終わって帰宅するのは何時ごろですか。シフト制で働いている方は平均的な勤務時間を記入してください。（母子 問 13(6)，父子 問 13(6)）

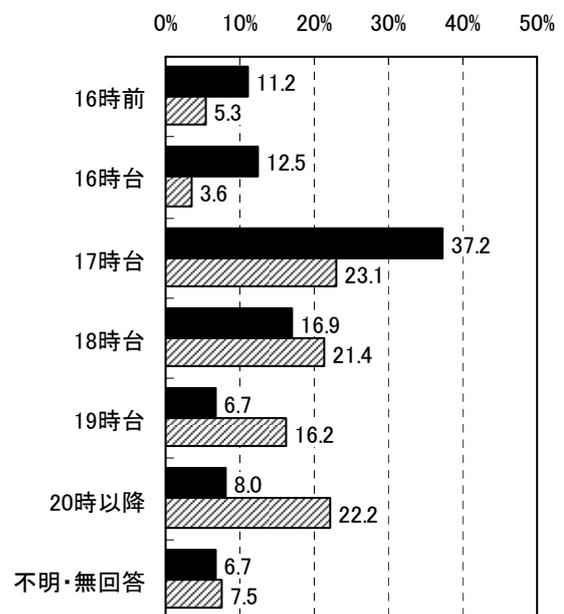
母子家庭では、始業時間では「9時台」が38.7%，終業時間では「17時台」が37.2%，帰宅時間では「18時台」が26.2%と最も高くなっている。

父子家庭では、始業時間では「8時台」が44.8%，終業時間では「17時台」が23.1%，帰宅時間では「20時以降」が38.6%と最も高くなっている。

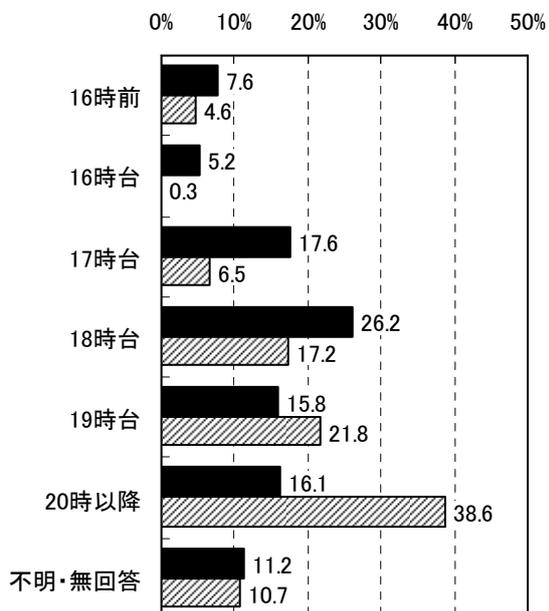
【始業時間】



【終業時間】



【帰宅時間】



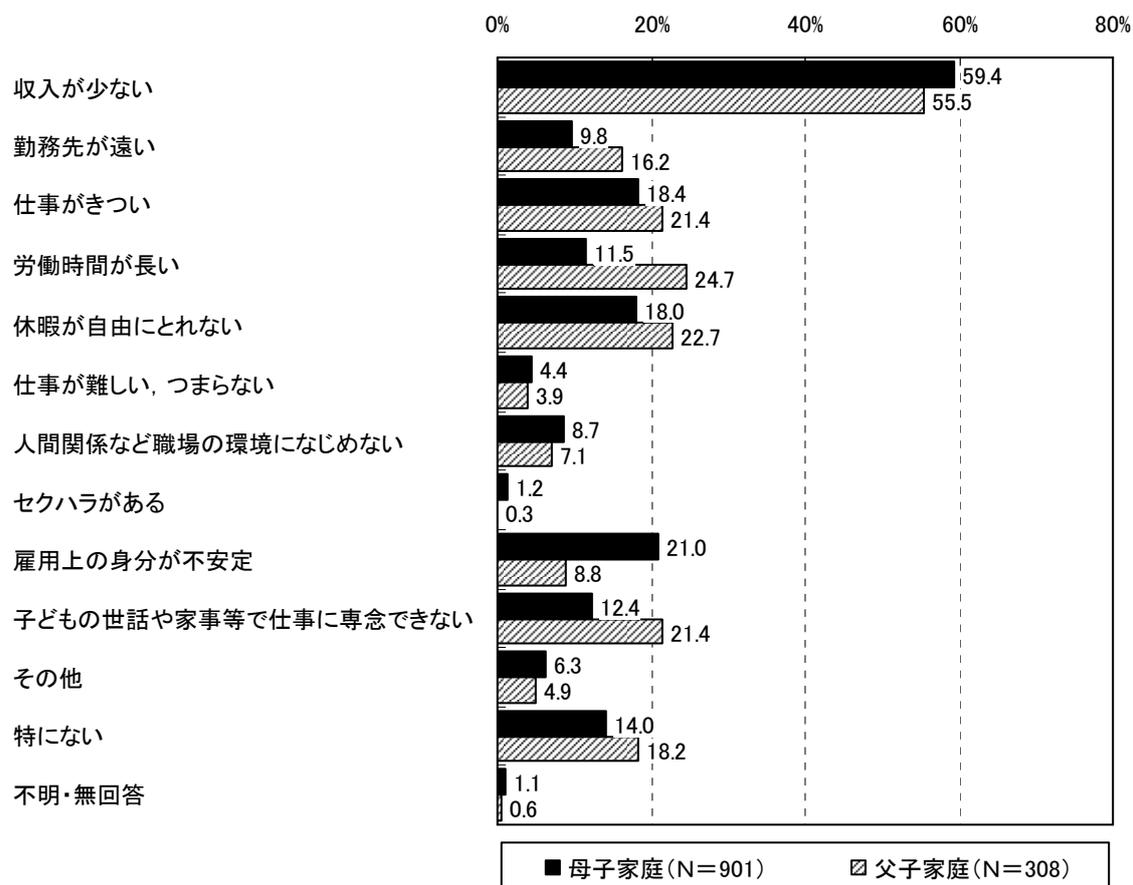
■ 母子家庭(N=901)
 ▨ 父子家庭(N=308)

⑦ あなたの仕事上の悩みについてお答えください。（複数回答可）

（母子 問 13(7), 父子 問 13(7)）

母子家庭では「収入が少ない」が59.4%と最も高く、次いで「雇用上の身分が不安定」が21.0%となっている。

父子家庭でも「収入が少ない」が55.5%と最も高く、次いで「労働時間が長い」が24.7%となっている。



【年齢別，就労形態別】

年齢別にみると，父子家庭では，「35～39 歳」について，他の区分と比較して「休暇が自由にとれない」の割合が高くなっている。

就労形態別にみると，母子家庭では，「契約・登録社員（職員）」，「派遣社員（職員）」について，他の区分と比較して「雇用上の身分が不安定」の割合が高くなっている。

■ 母子家庭

単位：％

		回答者数 (人)	収入が 少ない	勤務先が 遠い	仕事が きつい	労働時間が 長い	休暇が自由 にとれない	仕事が 難しい， つまらない	人間関係 など職場の 環境に なじめない	セクハラが ある
年齢別	20歳未満	7	57.1	14.3	28.6	14.3	28.6	-	-	-
	20～24歳	19	52.6	21.1	10.5	-	10.5	10.5	-	-
	25～29歳	41	56.1	7.3	12.2	2.4	4.9	2.4	9.8	2.4
	30～34歳	119	63.0	8.4	11.8	7.6	18.5	4.2	7.6	1.7
	35～39歳	199	60.8	9.5	20.1	9.5	14.6	2.5	9.5	2.0
	40～44歳	240	57.5	8.8	17.5	16.7	19.2	6.7	8.8	0.4
	45～49歳	188	57.4	9.0	22.9	13.8	24.5	3.7	10.1	1.1
	50歳以上	79	64.6	15.2	20.3	8.9	15.2	5.1	7.6	1.3
就労形態別	正社員・正職員	330	49.7	10.9	23.3	17.9	28.2	6.7	10.9	1.5
	パートタイマー	331	67.1	8.5	16.0	4.8	12.1	3.6	9.7	1.5
	アルバイト	48	62.5	8.3	10.4	8.3	8.3	2.1	8.3	2.1
	契約・登録社員（職員）	74	59.5	12.2	16.2	13.5	10.8	2.7	5.4	-
	派遣社員（職員）	36	75.0	11.1	25.0	11.1	13.9	2.8	5.6	-
	自営業主	32	53.1	-	3.1	25.0	25.0	6.3	-	-
	家族従業者	13	30.8	15.4	23.1	-	7.7	-	-	-
	内職・在宅就業	12	75.0	8.3	8.3	16.7	16.7	-	-	-
	その他	13	69.2	7.7	7.7	7.7	-	-	-	-

		回答者数 (人)	雇用上の 身分が 不安定	子どもの世 話や家事等 で仕事に専 念できない	その他	特にな い	不明・ 無回答
年齢別	20歳未満	7	14.3	28.6	-	14.3	-
	20～24歳	19	31.6	10.5	5.3	31.6	-
	25～29歳	41	14.6	17.1	9.8	12.2	-
	30～34歳	119	23.5	20.2	4.2	11.8	2.5
	35～39歳	199	20.1	10.6	5.5	14.6	1.0
	40～44歳	240	22.5	12.5	7.5	14.2	0.4
	45～49歳	188	20.7	11.7	6.9	12.2	1.6
	50歳以上	79	16.5	3.8	6.3	16.5	1.3
就労形態別	正社員・正職員	330	4.8	9.7	7.6	14.2	0.6
	パートタイマー	331	24.8	12.4	6.0	13.9	1.8
	アルバイト	48	39.6	12.5	2.1	20.8	4.2
	契約・登録社員（職員）	74	51.4	18.9	6.8	8.1	-
	派遣社員（職員）	36	69.4	-	2.8	2.8	-
	自営業主	32	3.1	34.4	3.1	15.6	-
	家族従業者	13	-	7.7	-	46.2	-
	内職・在宅就業	12	8.3	41.7	8.3	16.7	-
	その他	13	30.8	-	7.7	15.4	-

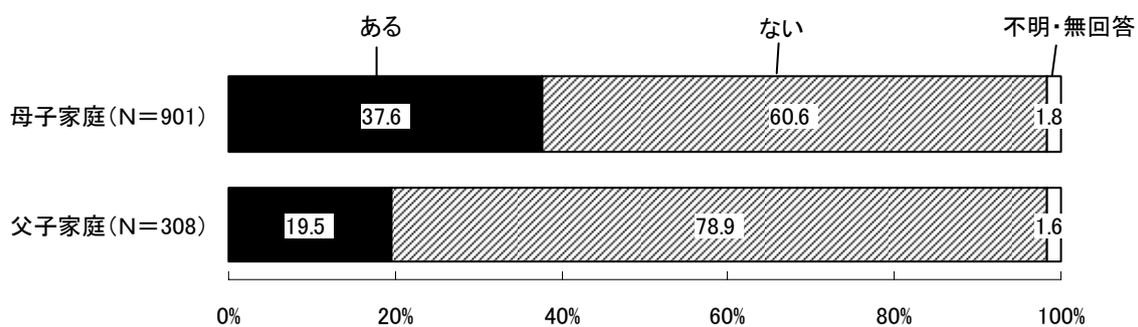
■ 父子家庭

単位：％

		回答者数 (人)	収入が 少ない	勤務先が 遠い	仕事が きつい	労働時間が 長い	休暇が自由 にとれない	仕事が 難しい、 つまらない	人間関係な ど職場の環 境になじめ ない	セクハラが ある
年齢別	20歳未満	9	44.4	33.3	-	11.1	-	-	-	-
	20～24歳	2	50.0	50.0	-	50.0	50.0	-	-	-
	25～29歳	6	66.7	16.7	33.3	16.7	16.7	-	-	-
	30～34歳	26	65.4	15.4	11.5	23.1	26.9	7.7	-	-
	35～39歳	40	40.0	22.5	30.0	30.0	40.0	7.5	17.5	-
	40～44歳	79	53.2	15.2	31.6	27.8	11.4	2.5	5.1	-
	45～49歳	60	61.7	13.3	16.7	20.0	28.3	5.0	11.7	1.7
	50歳以上	82	58.5	13.4	15.9	25.6	23.2	2.4	4.9	-
就労形態別	正社員・正職員	186	44.6	20.4	21.0	26.9	27.4	4.8	7.5	-
	パートタイマー	5	80.0	20.0	20.0	40.0	-	-	20.0	20.0
	アルバイト	7	85.7	-	28.6	-	-	14.3	-	-
	契約・登録社員(職員)	18	77.8	22.2	27.8	22.2	27.8	-	22.2	-
	派遣社員(職員)	6	100.0	-	33.3	16.7	-	-	-	-
	自営業主	64	65.6	9.4	18.8	21.9	15.6	1.6	1.6	-
	家族従業者	6	100.0	-	33.3	50.0	50.0	-	16.7	-
	内職・在宅就業	2	100.0	-	-	-	-	-	-	-
	その他	10	50.0	10.0	10.0	10.0	10.0	-	-	-

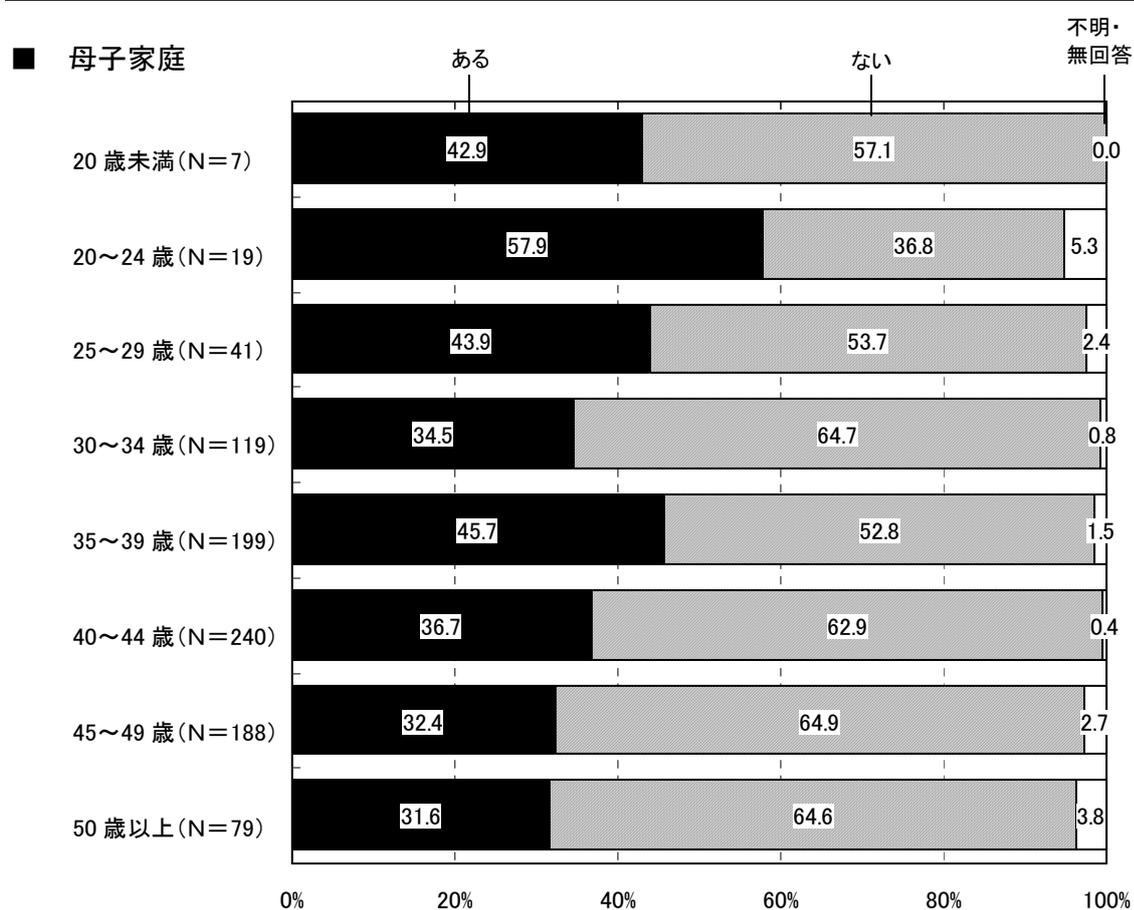
		回答者数 (人)	雇用上の 身分が 不安定	子どもの世 話や家事等 で仕事に専 念できない	その他	特にな い	不明・ 無回答
年齢別	20歳未満	9	11.1	11.1	-	33.3	-
	20～24歳	2	-	-	-	-	-
	25～29歳	6	33.3	33.3	16.7	16.7	-
	30～34歳	26	15.4	38.5	3.8	15.4	-
	35～39歳	40	15.0	25.0	5.0	17.5	-
	40～44歳	79	7.6	19.0	3.8	21.5	1.3
	45～49歳	60	6.7	23.3	8.3	15.0	-
	50歳以上	82	4.9	17.1	2.4	18.3	-
就労形態別	正社員・正職員	186	3.8	23.7	4.8	19.9	0.5
	パートタイマー	5	40.0	-	-	-	-
	アルバイト	7	14.3	-	-	14.3	-
	契約・登録社員(職員)	18	44.4	5.6	-	11.1	-
	派遣社員(職員)	6	16.7	16.7	-	-	-
	自営業主	64	9.4	18.8	4.7	21.9	-
	家族従業者	6	-	16.7	-	-	-
	内職・在宅就業	2	-	50.0	-	-	-
	その他	10	10.0	40.0	20.0	20.0	-

⑧ 現在、あなたは転職の希望がありますか。(母子 問 13(8), 父子 問 13(8))

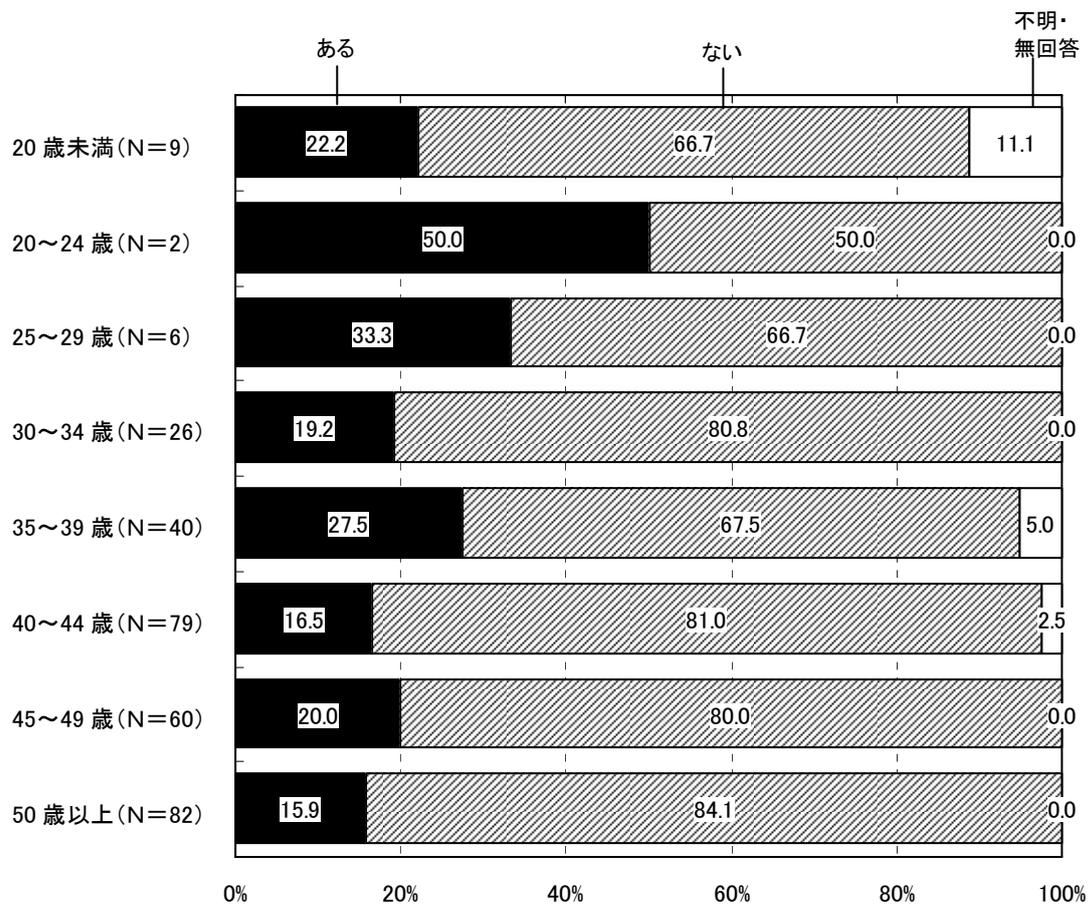


【年齢別】

年齢別にみると、母子家庭、父子家庭ともに、「20～24歳」について、他の区分と比較して「ある」の割合が高くなっている。



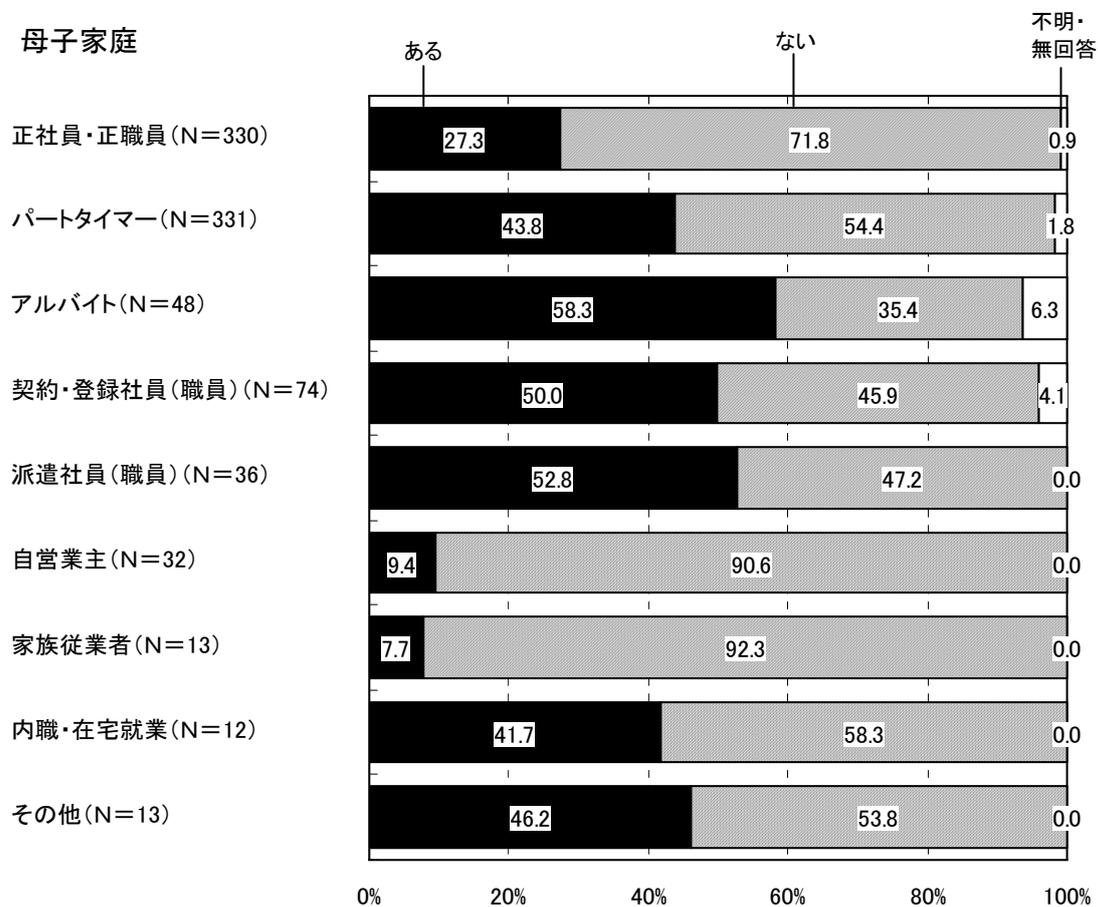
■ 父子家庭



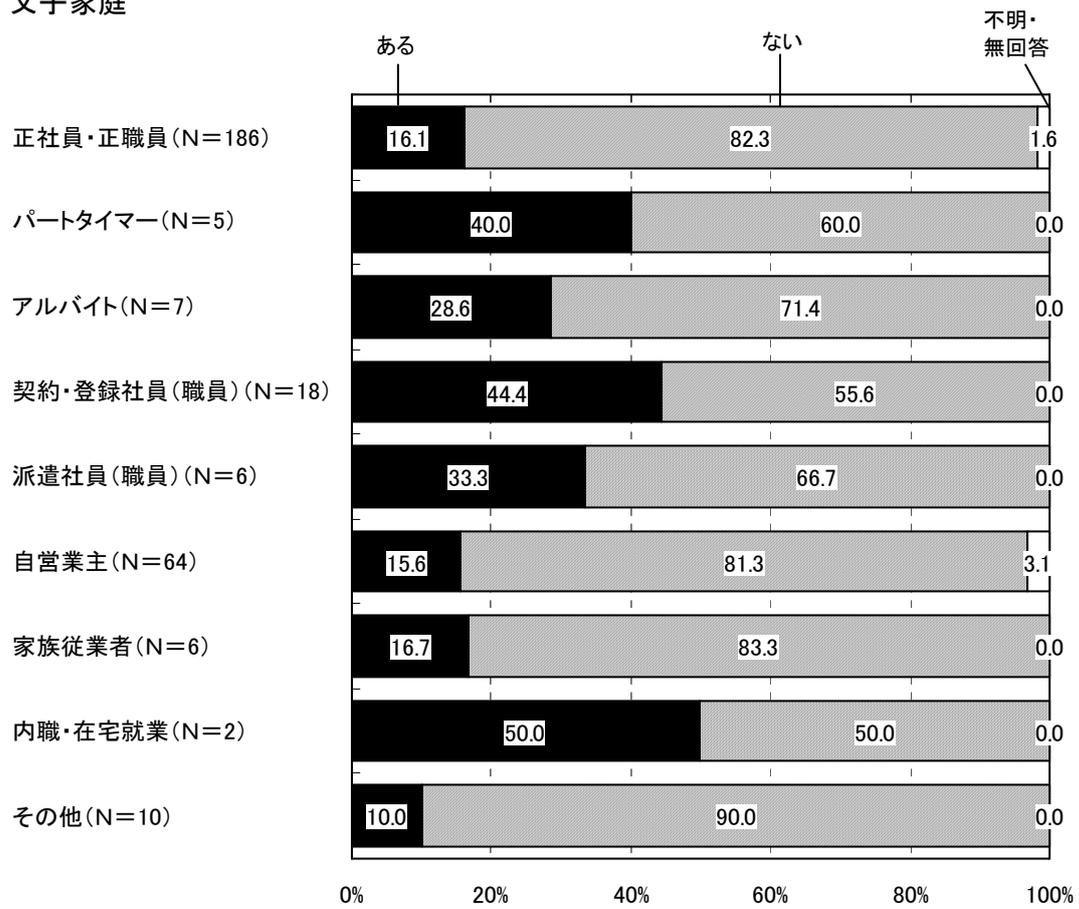
【就労形態別】

就労形態別にみると、母子家庭、父子家庭ともに「正社員・正職員」、「自営業主」、「家族従業者」について、他の区分と比較して「ない」の割合が高くなっている。

■ 母子家庭



■ 父子家庭



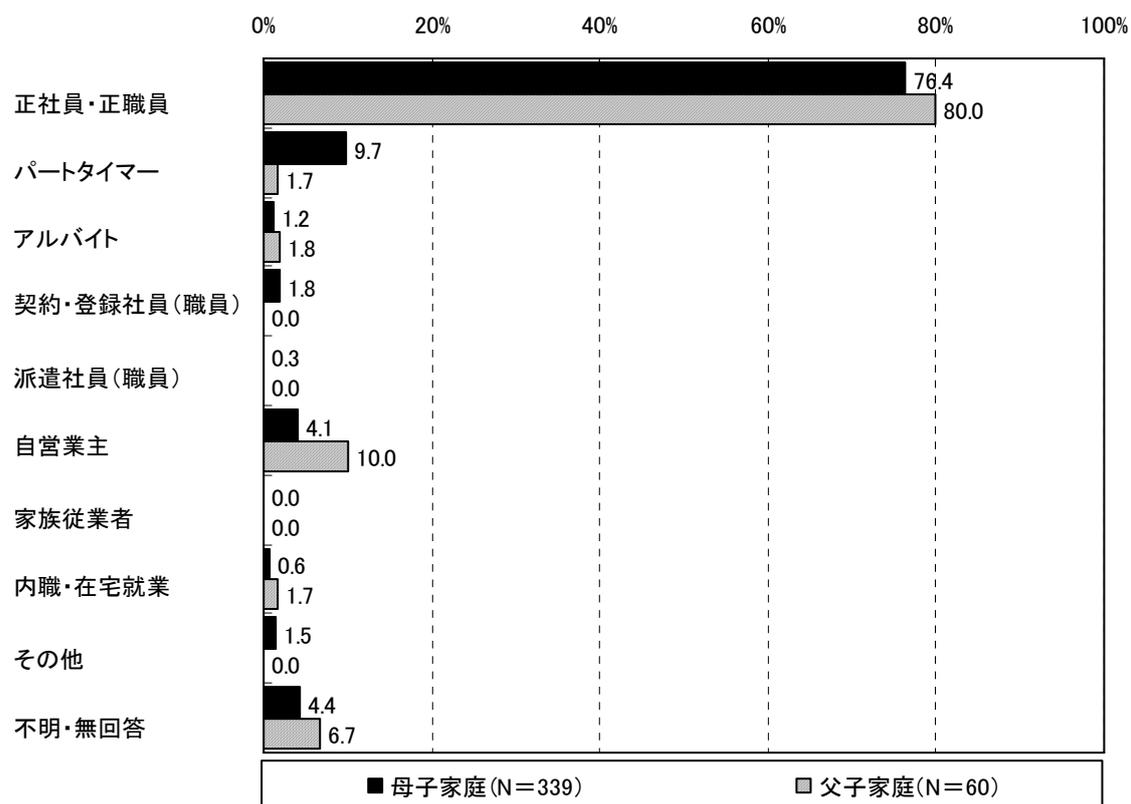
⑨ 今後、転職の希望がある方だけにお尋ねします。

(母子 問 13(9), 父子 問 13(9))

転職する場合、あなたは、どのような就労形態で働きたいと考えていますか。

母子家庭では「正社員・正職員」が76.4%と最も高くなっている。

父子家庭でも「正社員・正職員」が80.0%と最も高くなっている。

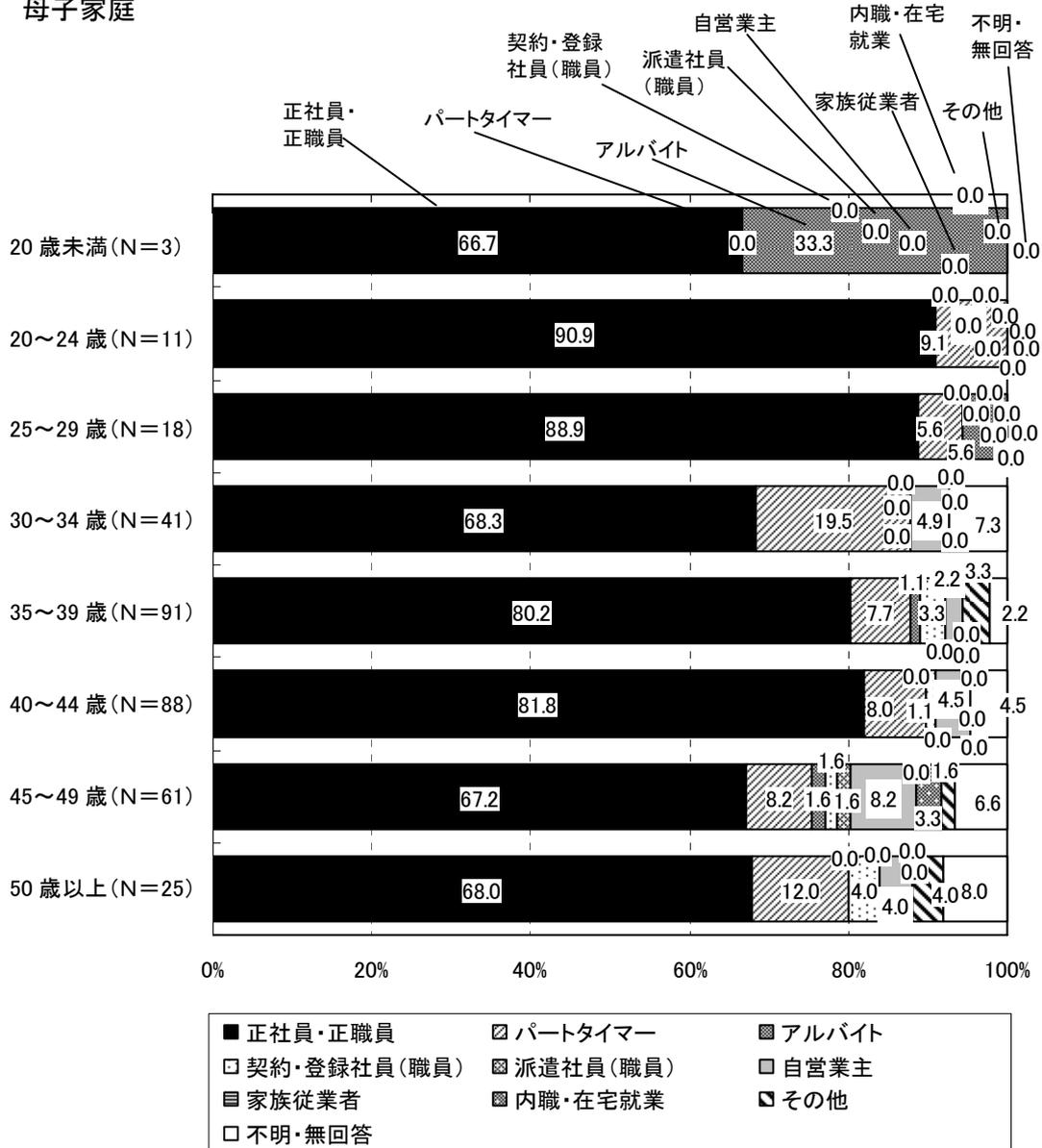


【年齢別】

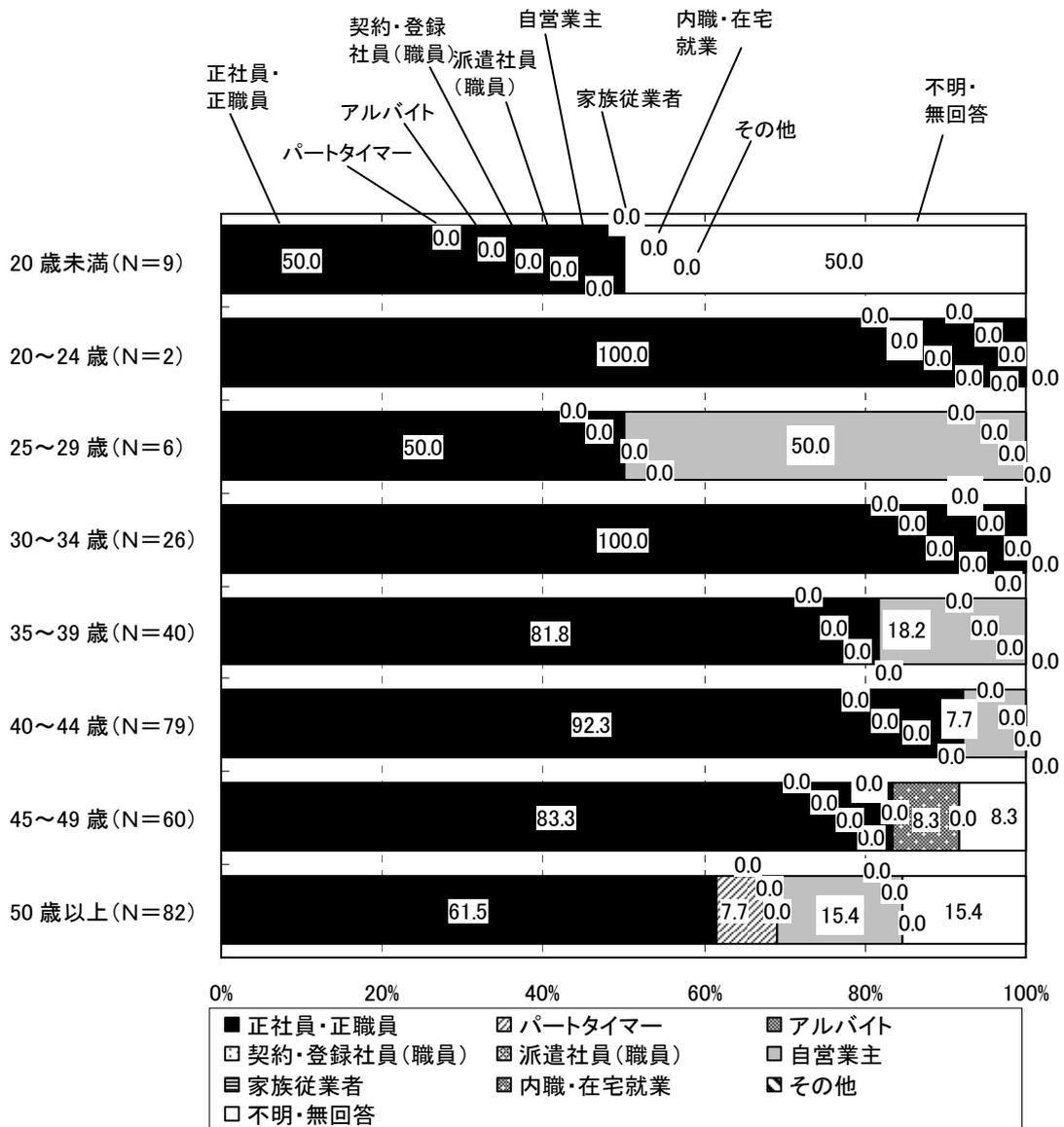
年齢別にみると、母子家庭では、「30～34 歳」について他の区分と比較して「パートタイマー」の割合が高くなっている。

父子家庭では、すべての年齢層で「正社員・正職員」の割合が最も高くなっている。

■ 母子家庭



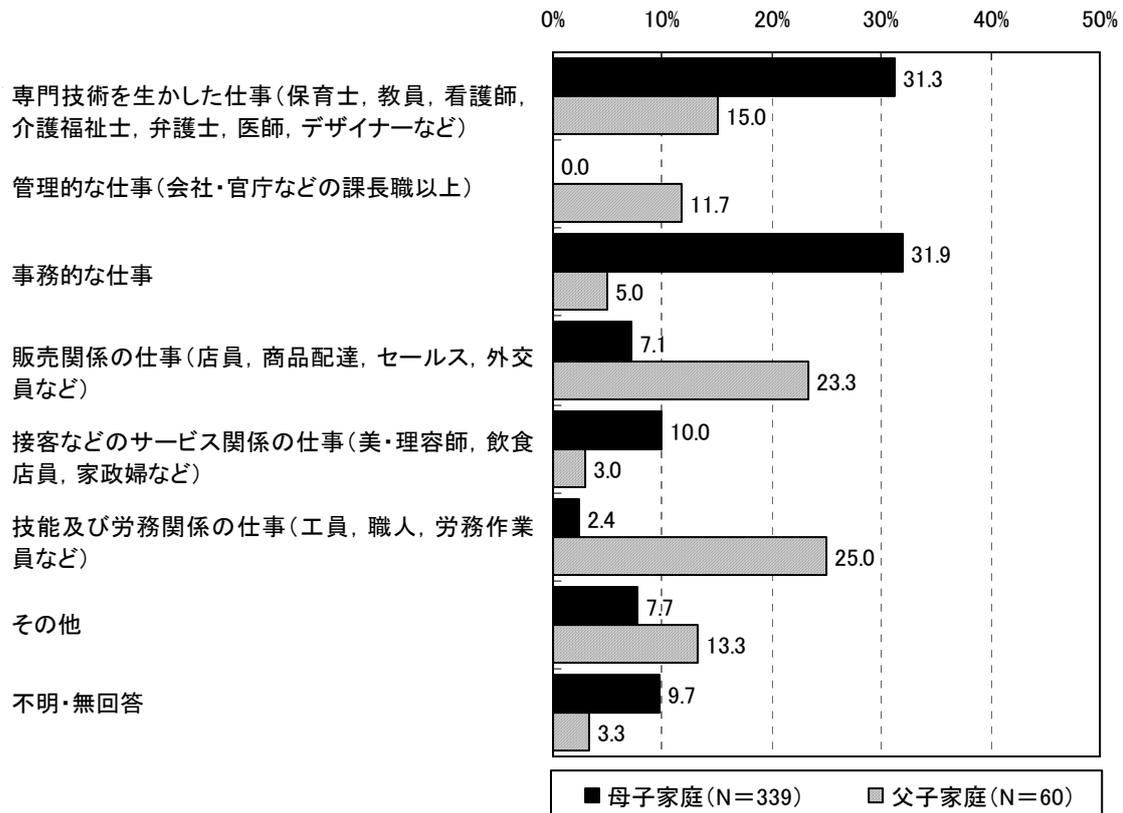
■ 父子家庭



・転職する場合、あなたは、どのような種類の仕事につきたいと考えていますか。

母子家庭では「事務的な仕事」が31.9%と最も高く、次いで「専門技術を生かした仕事」が31.3%となっている。

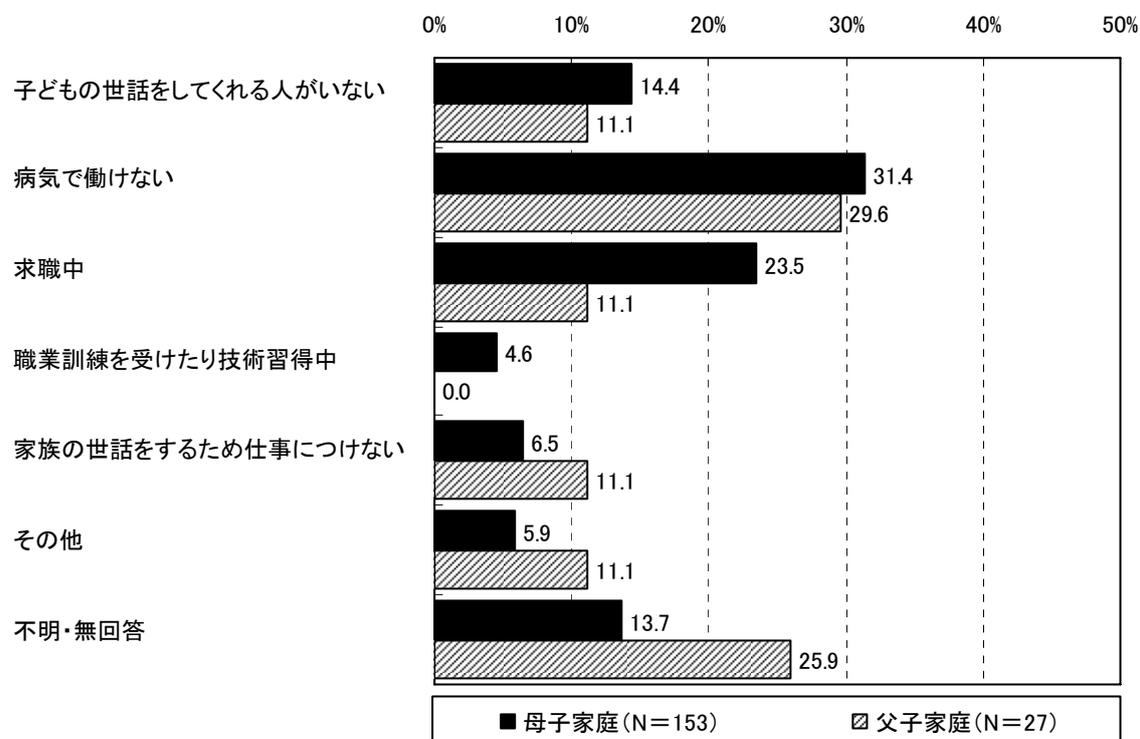
父子家庭では「技能及び労務関係の仕事」が25.0%と最も高く、次いで「販売関係の仕事」が23.3%となっている。



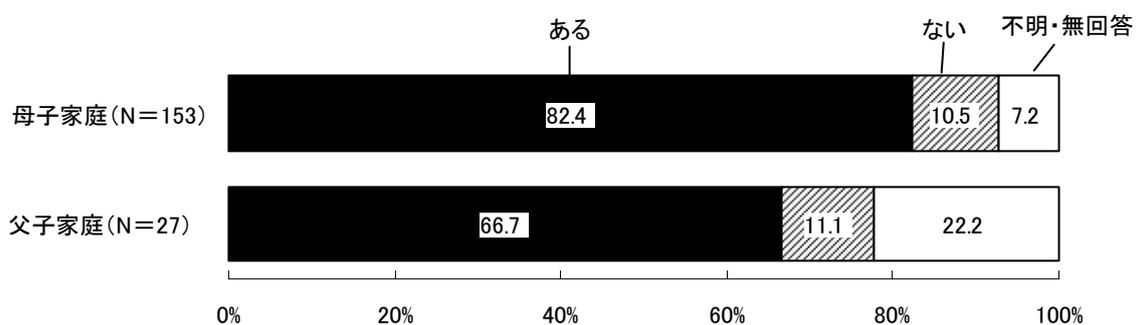
(3) 収入を伴う仕事がない方だけにお尋ねします。

① その理由は何ですか。(母子 問 14(1), 父子 問 14(1))

母子家庭では「病気で働けない」が31.4%と最も高く、次いで「求職中」が23.5%となっている。
父子家庭でも「病気で働けない」が29.6%と最も高くなっている。



② あなたは今後、就職の希望はありますか。(母子 問 14(2), 父子 問 14(2))

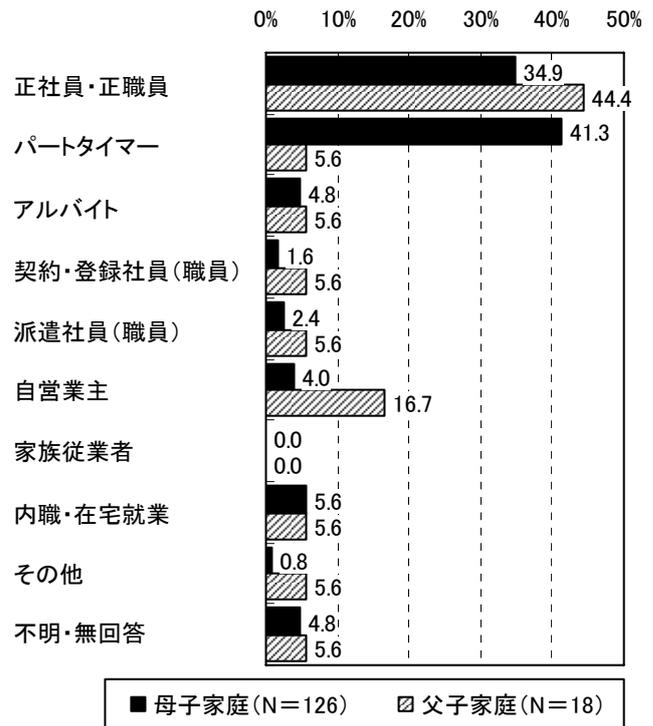


③ 就職の希望がある方だけにお尋ねします。(母子 問 14(3), 父子 問 14(3))

・就職する場合、あなたは、どのような就労形態で働きたいと考えていますか。

母子家庭では「パートタイマー」が41.3%と最も高く、次いで「正社員・正職員」が34.9%となっている。

父子家庭では「正社員・正職員」が44.4%と最も高く、次いで「自営業主」が16.7%となっている。



・就職する場合、あなたは、どのような種類の仕事につきたいと考えていますか。

母子家庭では「事務的な仕事」が28.6%と最も高く、次いで「接客などのサービス関係の仕事」が20.6%となっている。

父子家庭では「販売関係の仕事」, 「技能及び労務関係の仕事」が16.7%と高くなっている。

専門技術を生かした仕事(保育士, 教員, 看護師, 介護福祉士, 弁護士, 医師, デザイナーなど)

管理的な仕事(会社・官庁などの課長職以上)

事務的な仕事

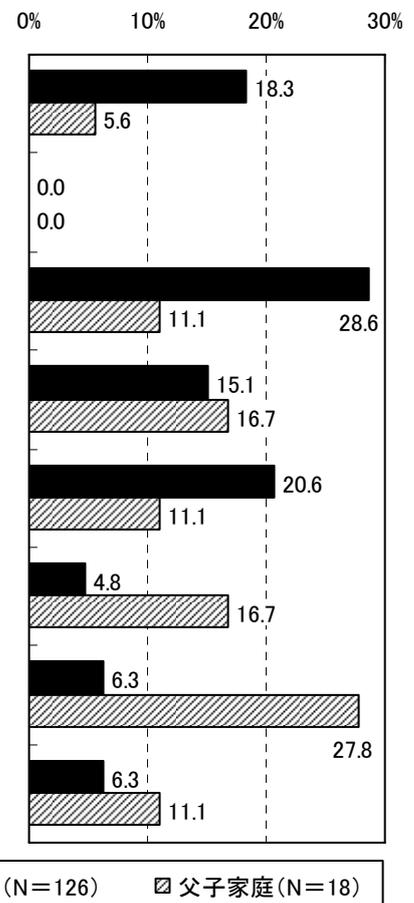
販売関係の仕事(店員, 商品配達, セールス, 外交員など)

接客などのサービス関係の仕事(美・理容師, 飲食店員, 家政婦など)

技能及び労務関係の仕事(工員, 職人, 労務作業員など)

その他

不明・無回答

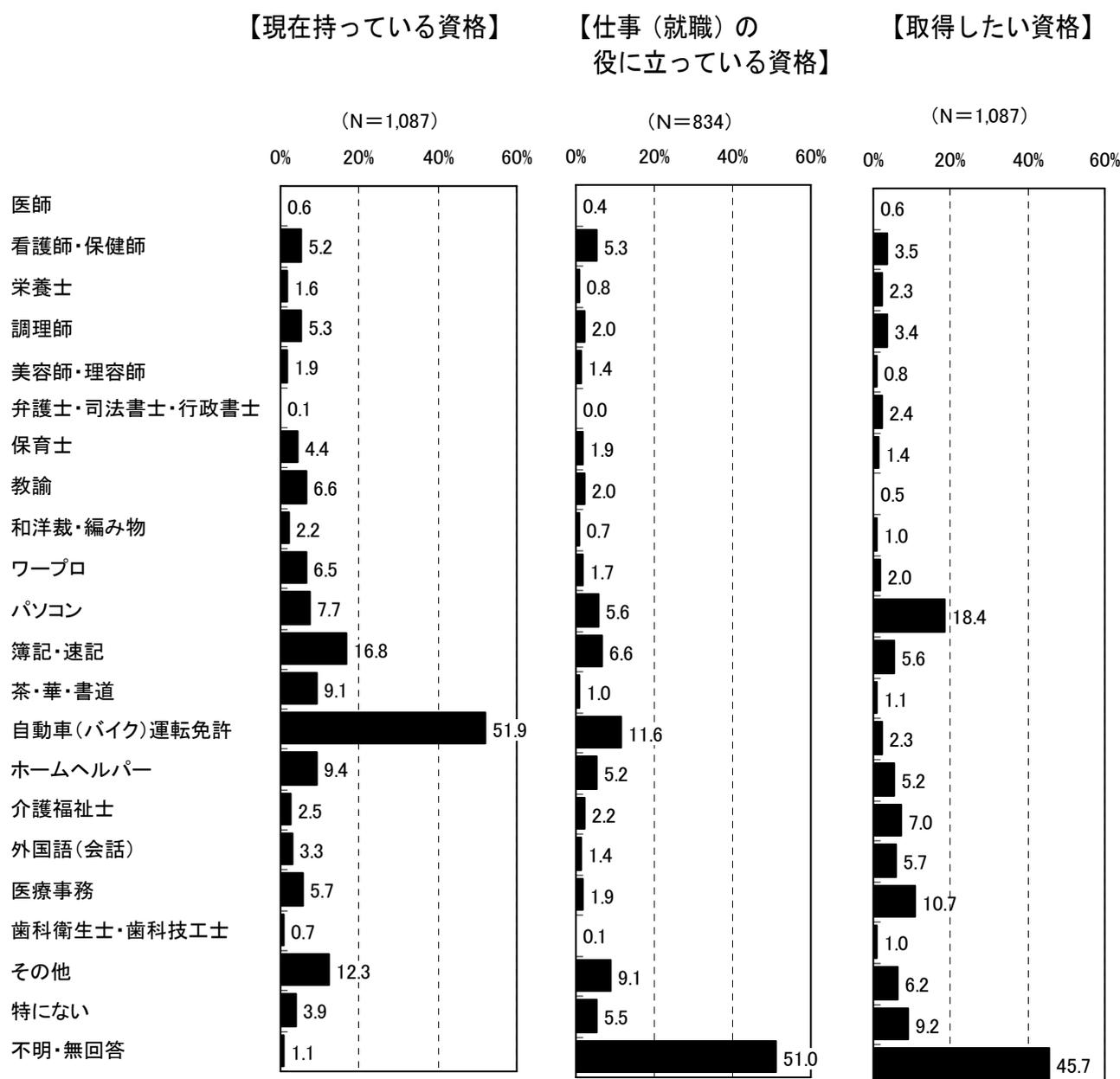


■ あなたがお持ちの資格や技能についてお尋ねします。(母子家庭のみの調査)

(4) 現在持っている資格(当てはまるものすべて)と、今後取得したいと思っ
ている資格など(主なものを3つまで)がありますか。(複数回答可) (母子 問15)

現在持っている資格では、「自動車(バイク)運転免許」が51.9%と最も高く、次いで「簿記・速記」が16.8%となっている。

仕事(就職)の役に立っている資格では、「自動車(バイク)運転免許」が11.6%となっている。
取得したい資格では、「パソコン」が18.4%となっている。

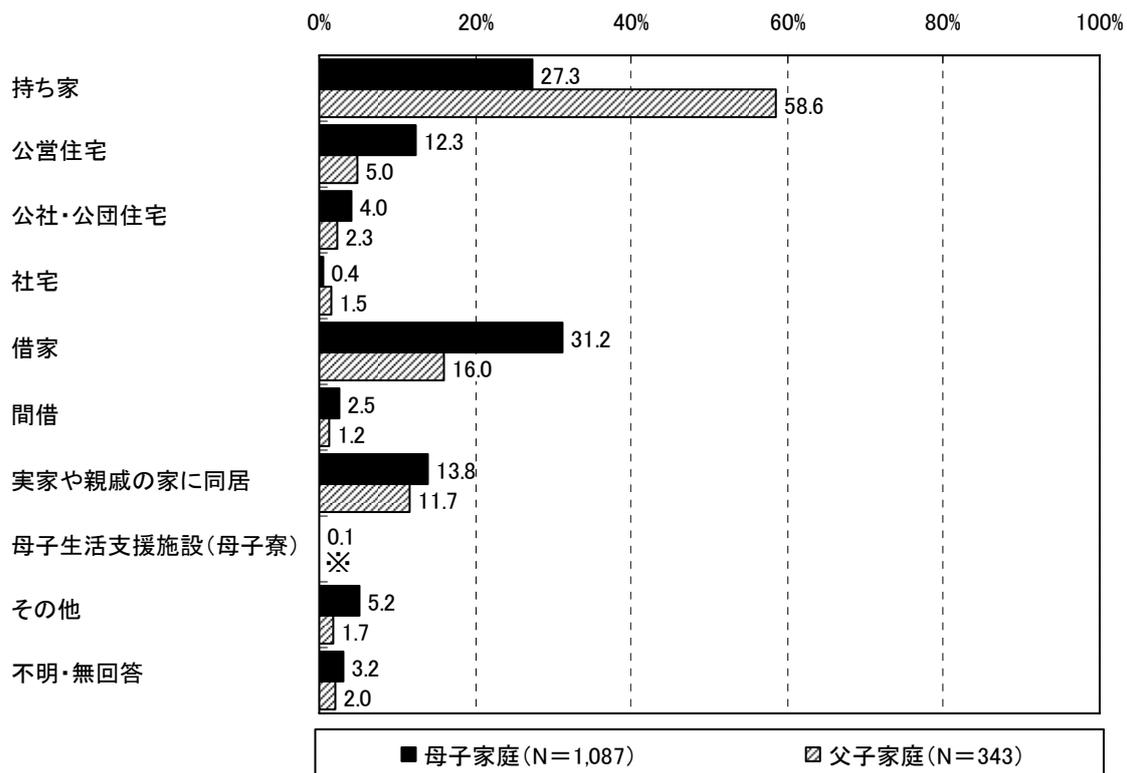


5 現在のお住まいについて

(1) お住まいになっている住宅の種類についてお答えください。

(母子 問 16, 父子 問 15)

母子家庭では「借家」が31.2%と最も高く、次いで「持ち家」が27.3%となっている。
父子家庭では「持ち家」が58.6%と最も高く、次いで「借家」が16.0%となっている。



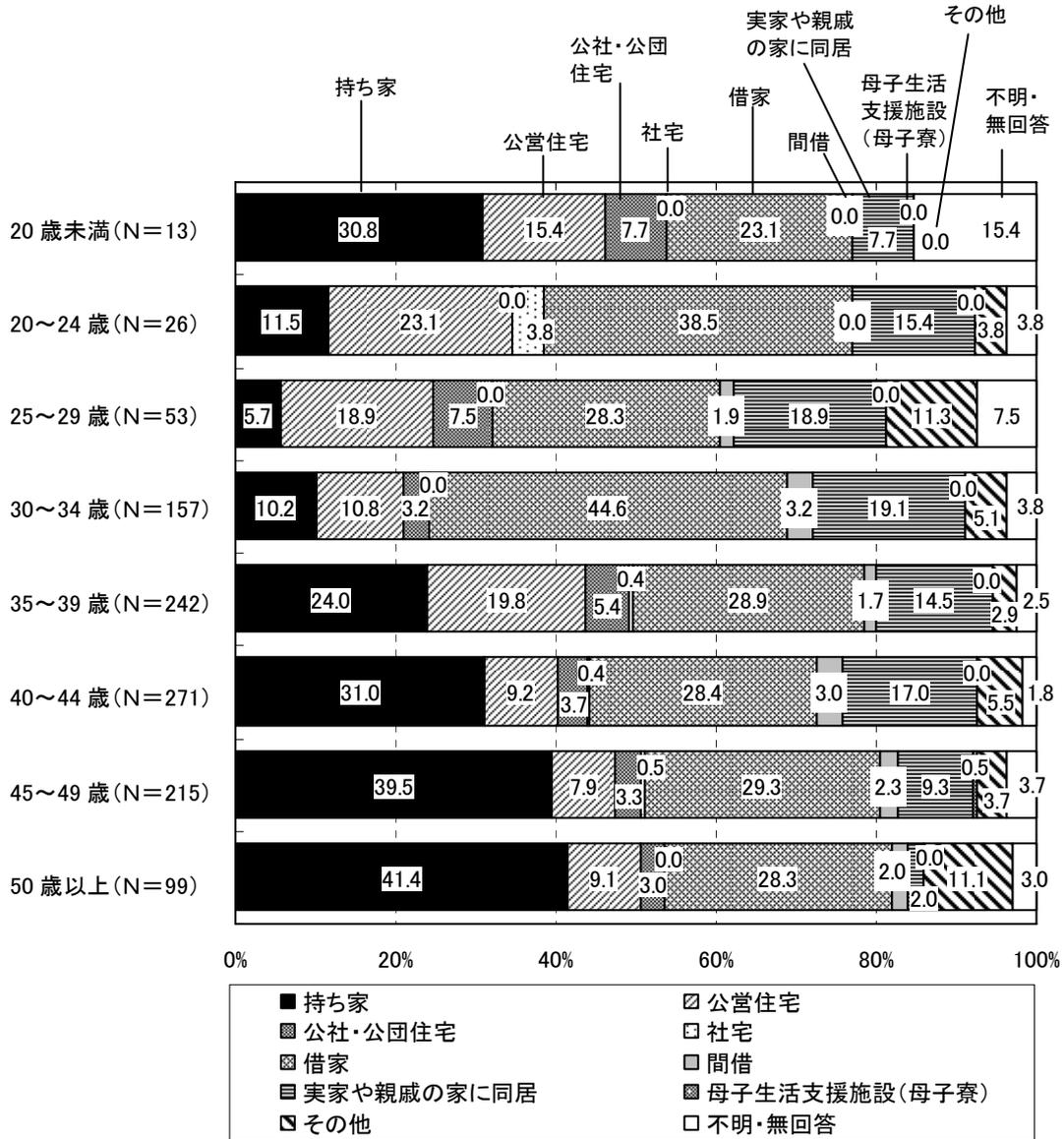
※「母子生活支援施設(母子寮)」は母子家庭用調査票のみの選択肢

【年齢別】

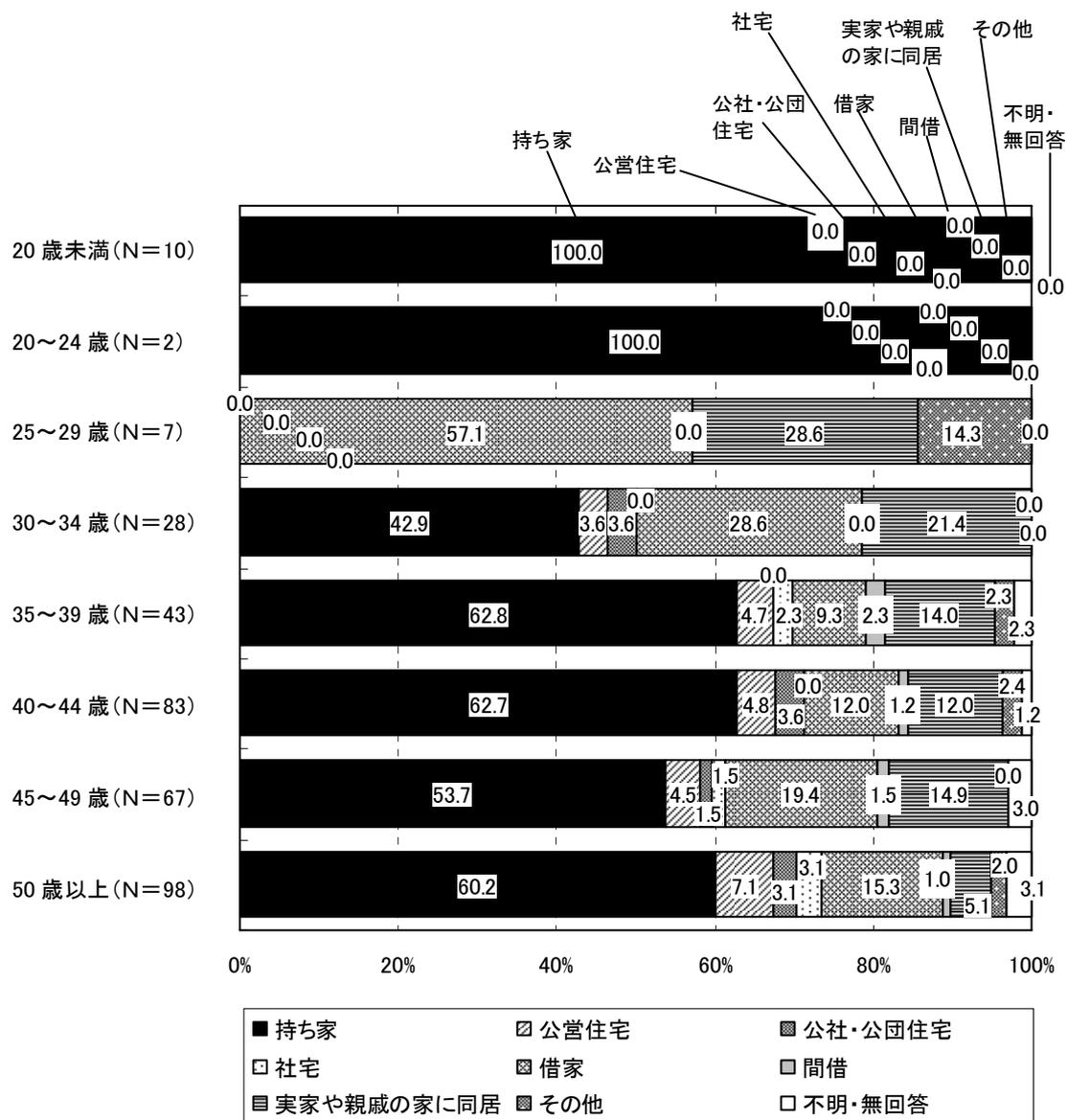
年齢別にみると、母子家庭では、「20歳未満」から「25～29歳未満」にかけて「持ち家」の割合が低くなり、「30～34歳」からは、年齢が上がるにつれて割合が高くなっている。

父子家庭では、「25～29歳」を除き、すべての年齢層で「持ち家」の割合が最も高くなっている。

■ 母子家庭



■ 父子家庭

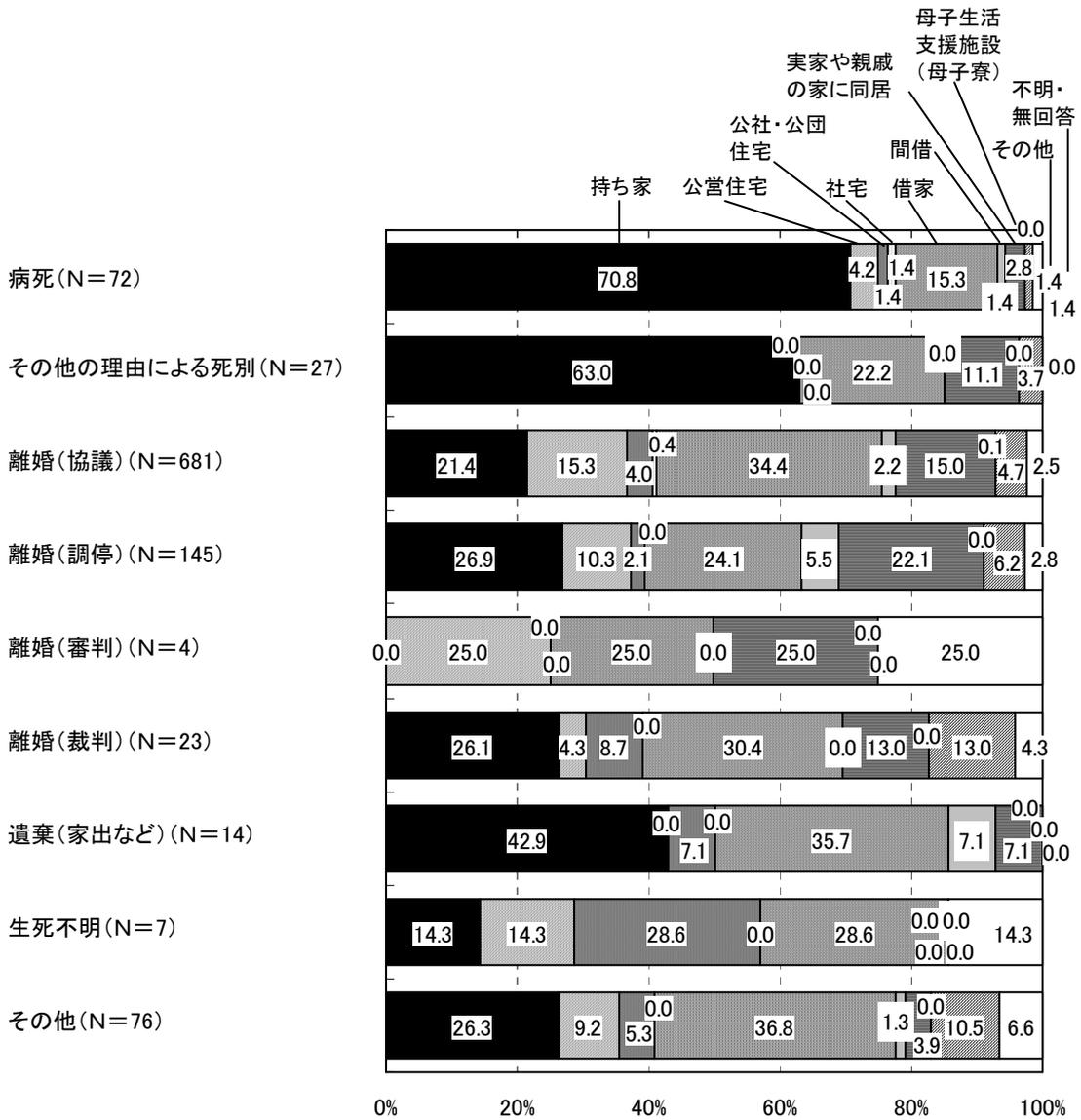


【ひとり親になった理由別】

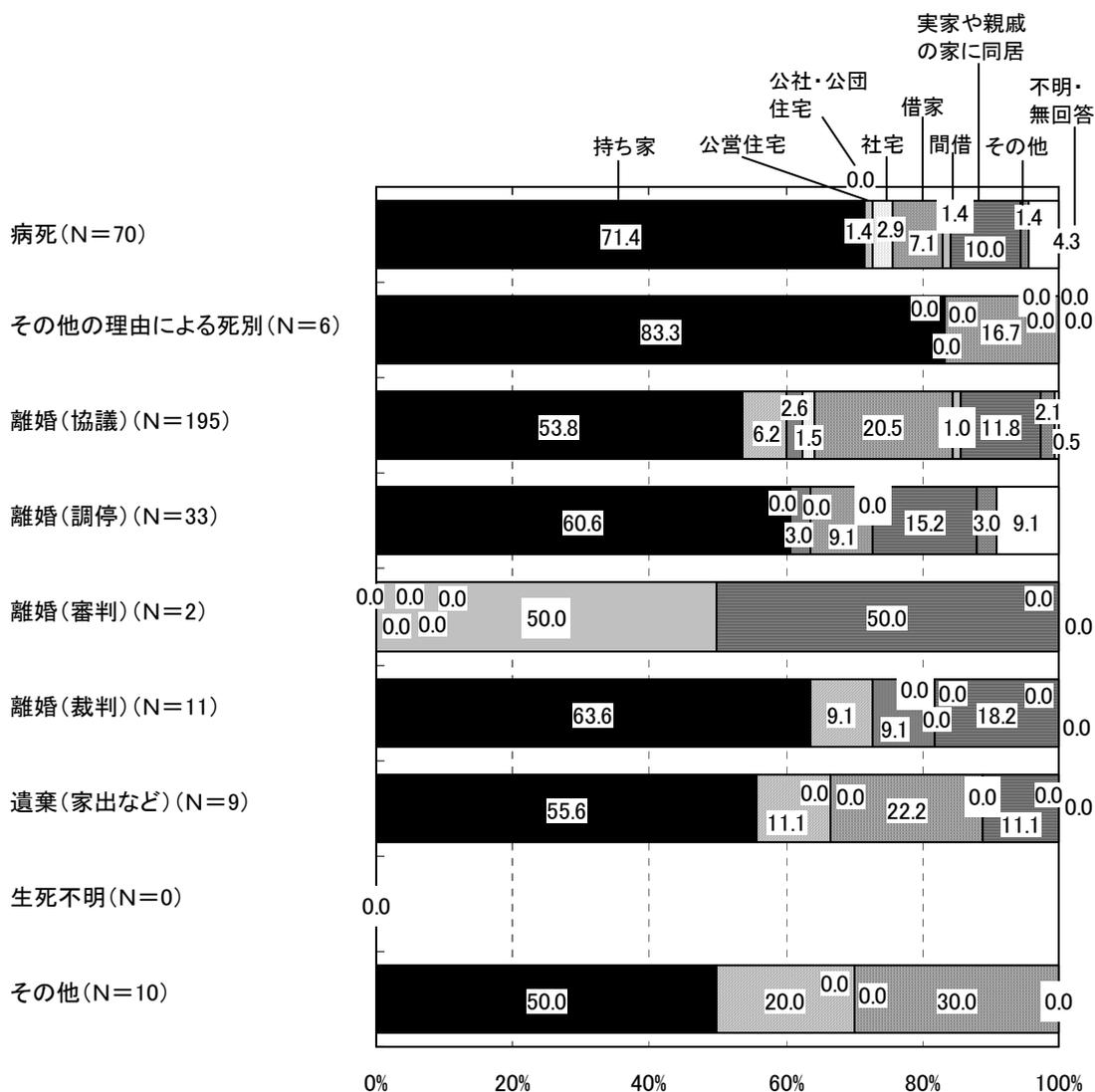
ひとり親になった理由別にみると、母子家庭では、「病死」、「その他の理由による死別」「遺棄（家出など）」について、他の区分と比較して「持ち家」の割合が高くなっている。

父子家庭では、「離婚（審判）」を除き、すべての区分で「持ち家」の割合が最も高くなっている。

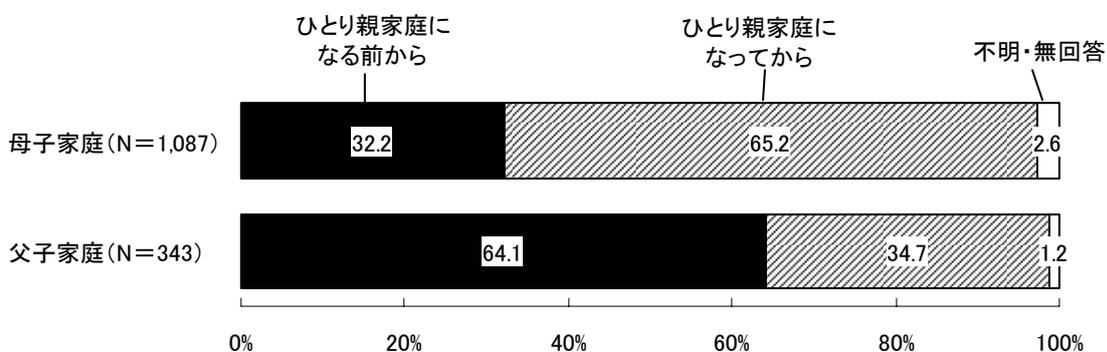
■ 母子家庭



■ 父子家庭



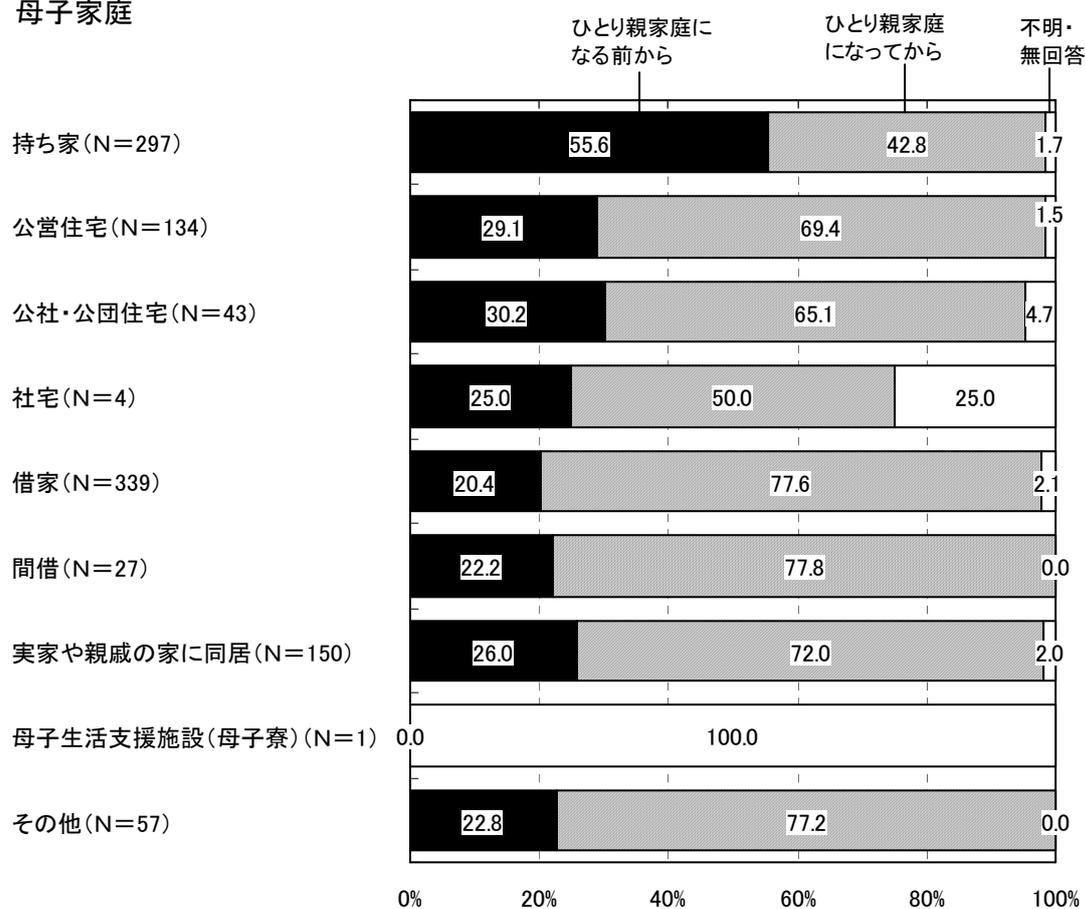
(2) 現在の住宅に住まれるようになったのは、ひとり親家庭になる前からですか。それともひとり親家庭になってからですか。(母子 問 17, 父子 問 16)



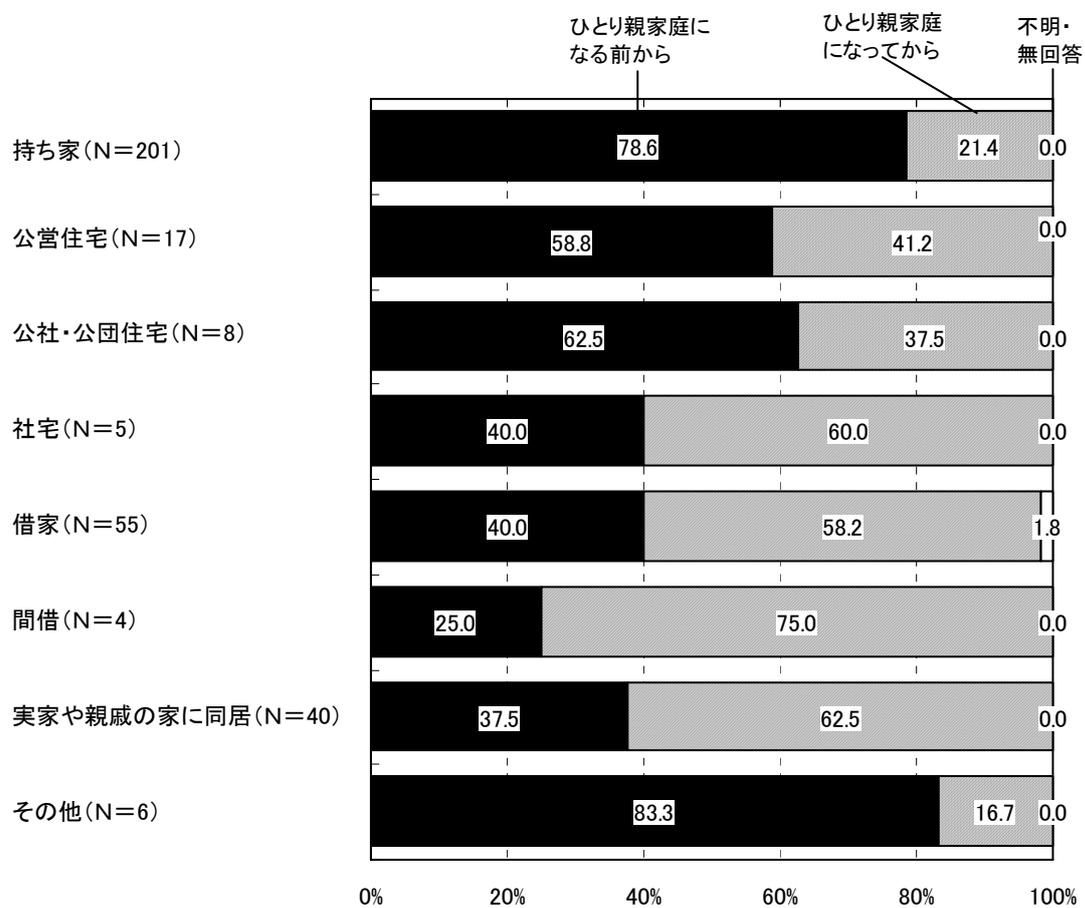
【住宅の種類別】

住宅の種類別にみると、母子家庭、父子家庭ともに、「持ち家」について、他の区分と比較して「ひとり親家庭になる前から」の割合が高くなっている。

■ 母子家庭



■ 父子家庭

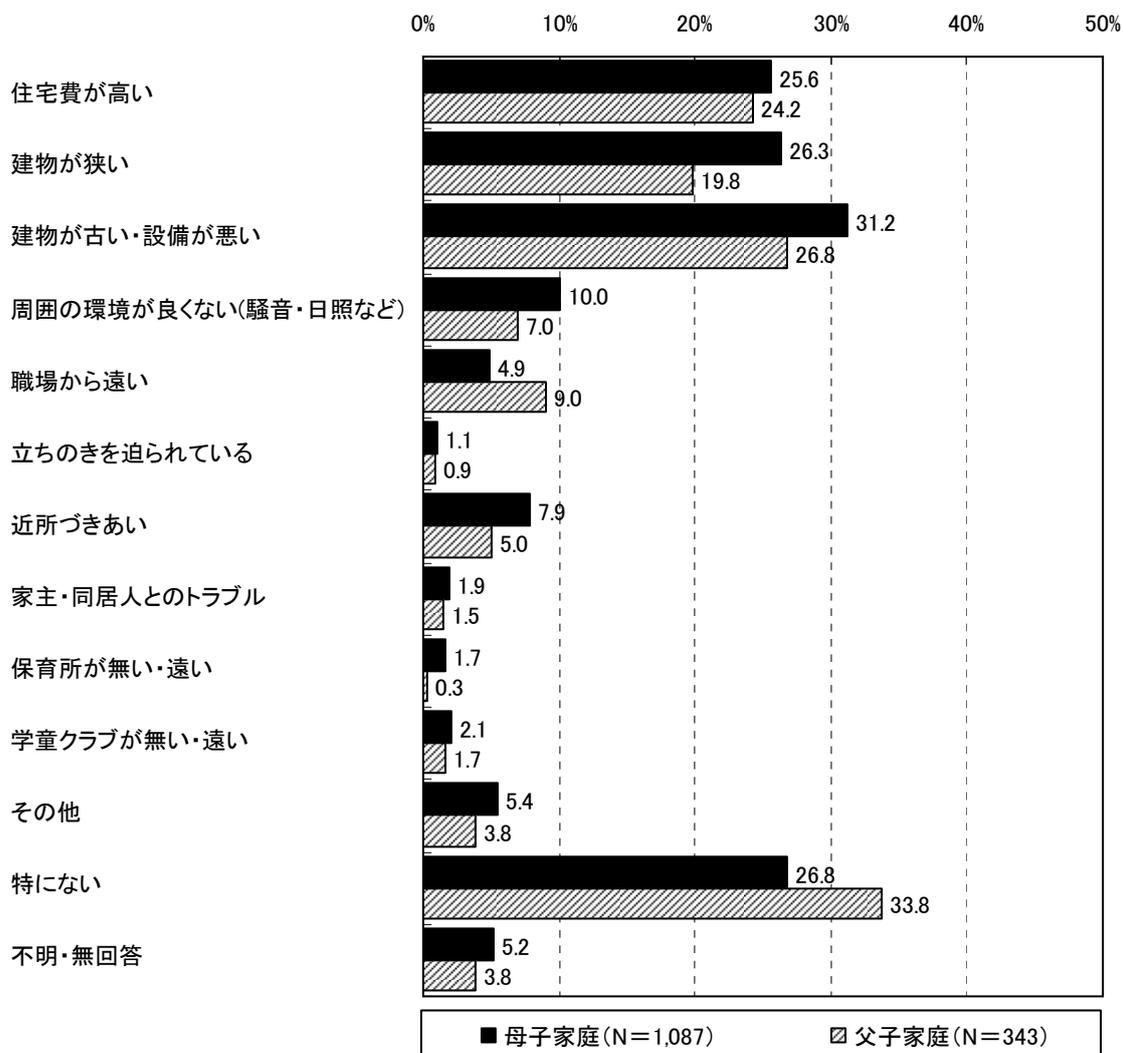


(3) 現在の住宅について、何か悩みがありますか。(複数回答可)

(母子 問 18, 父子 問 17)

現在の住宅についての悩みがある場合をみると、母子家庭では「建物が古い・設備が悪い」が31.2%と最も高く、次いで「建物が狭い」が26.3%となっている。

父子家庭では「建物が古い・設備が悪い」が26.8%、「住宅費が高い」が24.2%となっている。



【住宅の種類別】

住宅の種類別にみると、母子家庭では、「公社・公団住宅」、「借家」、「間借」について、他の区分と比較して「住宅費が高い」の割合が高くなっている。

父子家庭では「公社・公団住宅」、「借家」について、他の区分と比較して「住宅費が高い」の割合が高くなっている。

■ 母子家庭

単位：％

	回答者数 (人)	住宅費が 高い	建物が狭い	建物が 古い・設備 が悪い	周囲の環境 が良くない (騒音・日照 など)	職場から 遠い	立ちのきを 迫られて いる	近所 づきあい	家主・同居 人との トラブル	
住宅の 種類別	持ち家	297	13.8	17.5	19.9	7.4	6.7	-	7.7	0.3
	公営住宅	134	16.4	26.9	41.8	14.2	4.5	-	13.4	0.7
	公社・公団住宅	43	55.8	30.2	44.2	16.3	9.3	2.3	9.3	-
	社宅	4	-	-	-	-	-	-	-	-
	借家	339	44.8	31.6	40.7	13.6	3.5	2.1	8.3	1.2
	間借	27	33.3	29.6	22.2	7.4	3.7	-	3.7	7.4
	実家や親戚の家に同居	150	4.0	26.0	29.3	4.0	5.3	0.7	4.7	7.3
	母子生活支援施設(母子寮)	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	57	33.3	40.4	22.8	8.8	3.5	5.3	5.3	1.8

	回答者数 (人)	保育所が 無い・遠い	学童クラブ が無い・遠 い	その他	特にな い	不明・ 無回答	
住宅の 種類別	持ち家	297	1.0	2.0	6.4	41.8	4.4
	公営住宅	134	-	1.5	6.0	21.6	4.5
	公社・公団住宅	43	-	2.3	2.3	14.0	4.7
	社宅	4	-	-	-	75.0	25.0
	借家	339	2.4	1.5	3.5	14.5	3.5
	間借	27	7.4	3.7	3.7	29.6	7.4
	実家や親戚の家に同居	150	2.0	3.3	5.3	34.0	5.3
	母子生活支援施設(母子寮)	1	-	-	-	100.0	-
	その他	57	3.5	5.3	14.0	21.1	5.3

■ 父子家庭

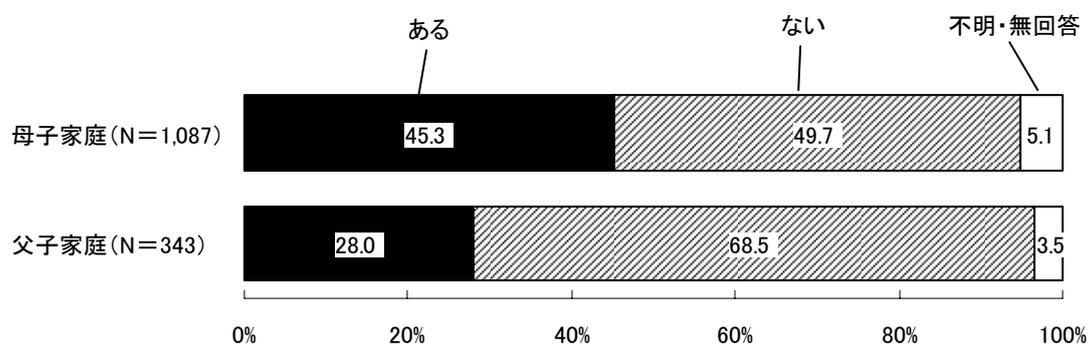
単位：％

	回答者数 (人)	住宅費が 高い	建物が狭い	建物が 古い・設備 が悪い	周囲の環境 が良くない (騒音・日照 など)	職場から 遠い	立ちのきを 迫られて いる	近所 づきあい	家主・同居 人との トラブル	
住宅の 種類別	持ち家	201	23.4	18.4	22.4	5.5	8.5	-	4.5	-
	公営住宅	17	11.8	29.4	47.1	5.9	-	5.9	5.9	-
	公社・公団住宅	8	50.0	25.0	12.5	12.5	12.5	-	-	12.5
	社宅	5	-	40.0	80.0	20.0	-	-	-	-
	借家	55	41.8	27.3	32.7	10.9	12.7	3.6	1.8	1.8
	間借	4	25.0	-	-	25.0	25.0	-	-	-
	実家や親戚の家に同居	40	12.5	12.5	35.0	5.0	10.0	-	12.5	7.5
	その他	6	16.7	33.3	33.3	16.7	-	-	16.7	-

	回答者数 (人)	保育所が 無い・遠い	学童クラブ が無い・遠 い	その他	特にな い	不明・ 無回答	
住宅の 種類別	持ち家	201	0.5	2.0	5.0	36.8	4.5
	公営住宅	17	-	-	11.8	11.8	5.9
	公社・公団住宅	8	-	-	-	25.0	-
	社宅	5	-	20.0	-	-	-
	借家	55	-	1.8	-	21.8	1.8
	間借	4	-	-	-	50.0	-
	実家や親戚の家に同居	40	-	-	2.5	42.5	-
	その他	6	-	-	-	50.0	-

(4) 転居の希望についてお尋ねします。

① 今後、転居の希望はありますか。(母子 問 19(1), 父子 問 18(1))

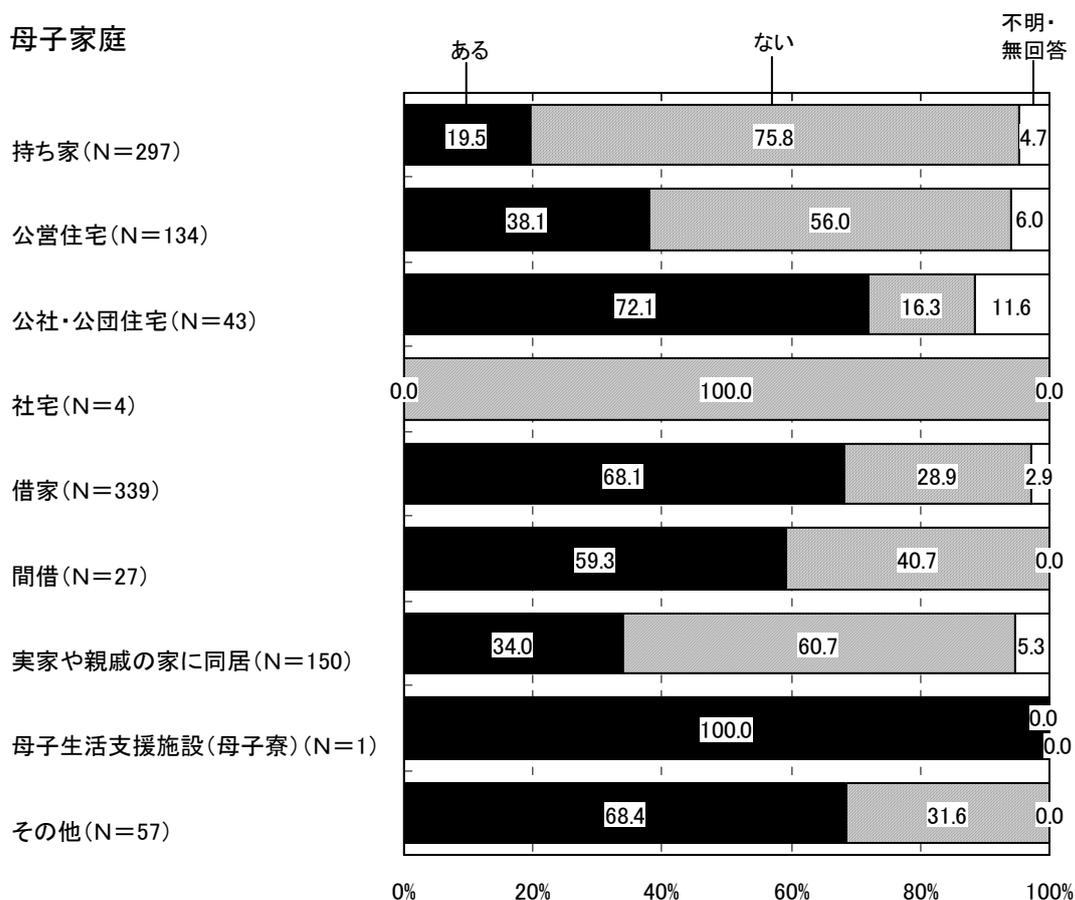


【住宅の種類別】

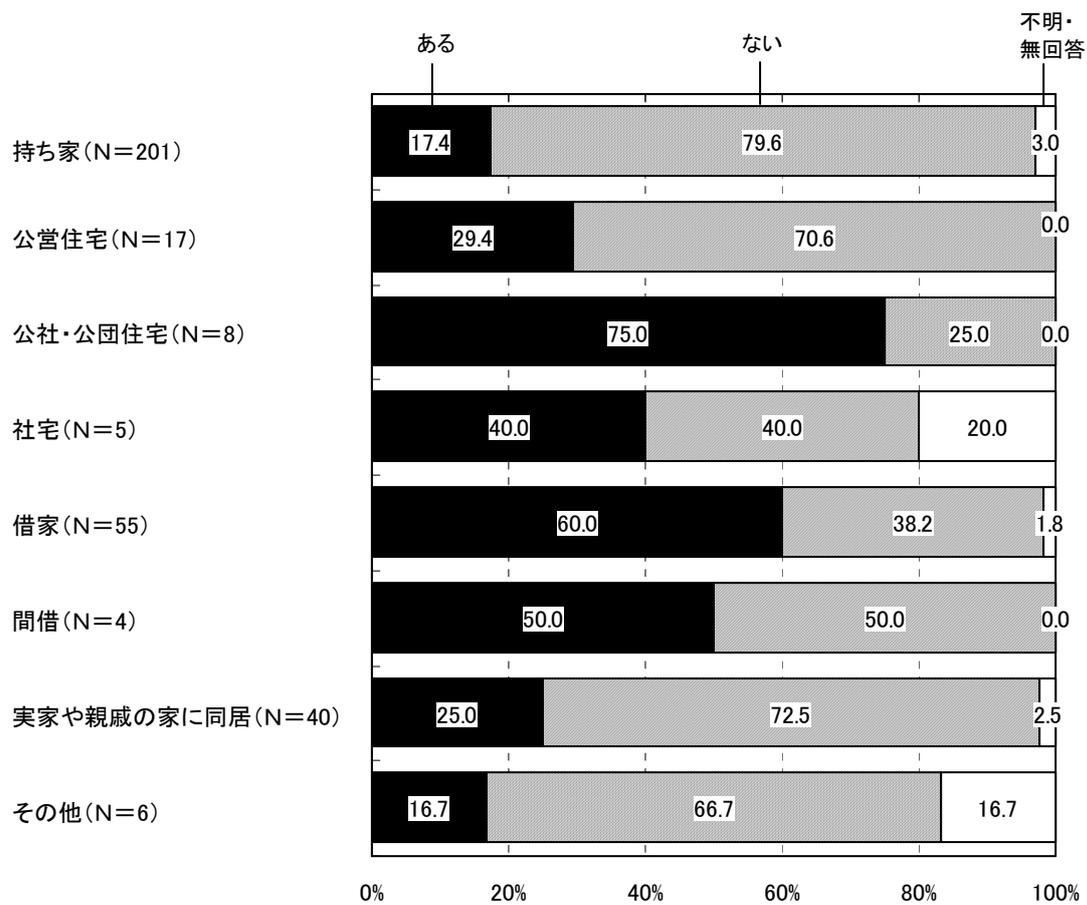
住宅の種類別にみると、母子家庭では、「公社・公団住宅」、「借家」について、他の区分と比較して「ある」の割合が高くなっている。

父子家庭では「公社・公団住宅」、「借家」について、他の区分と比較して「ある」の割合が高くなっている。

■ 母子家庭



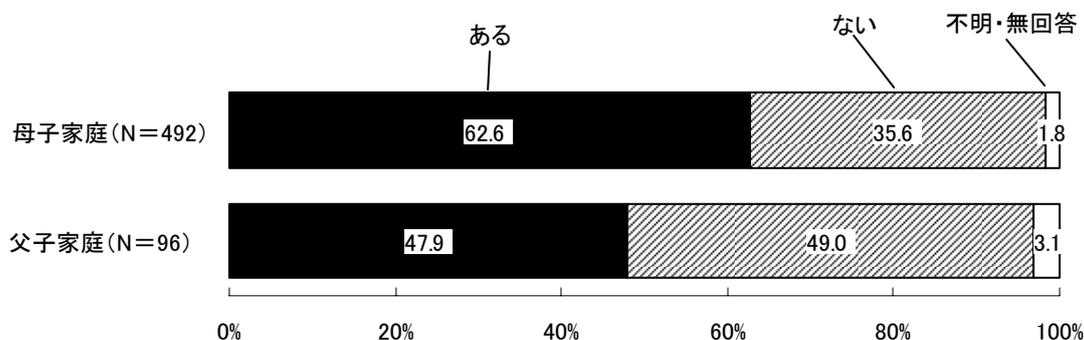
■ 父子家庭



■ 転居希望があると答えた方のみにお尋ねします。

② 公営住宅（府・市営）への転居の希望はありますか。

（母子 問 19(2)，父子 問 18(2)）

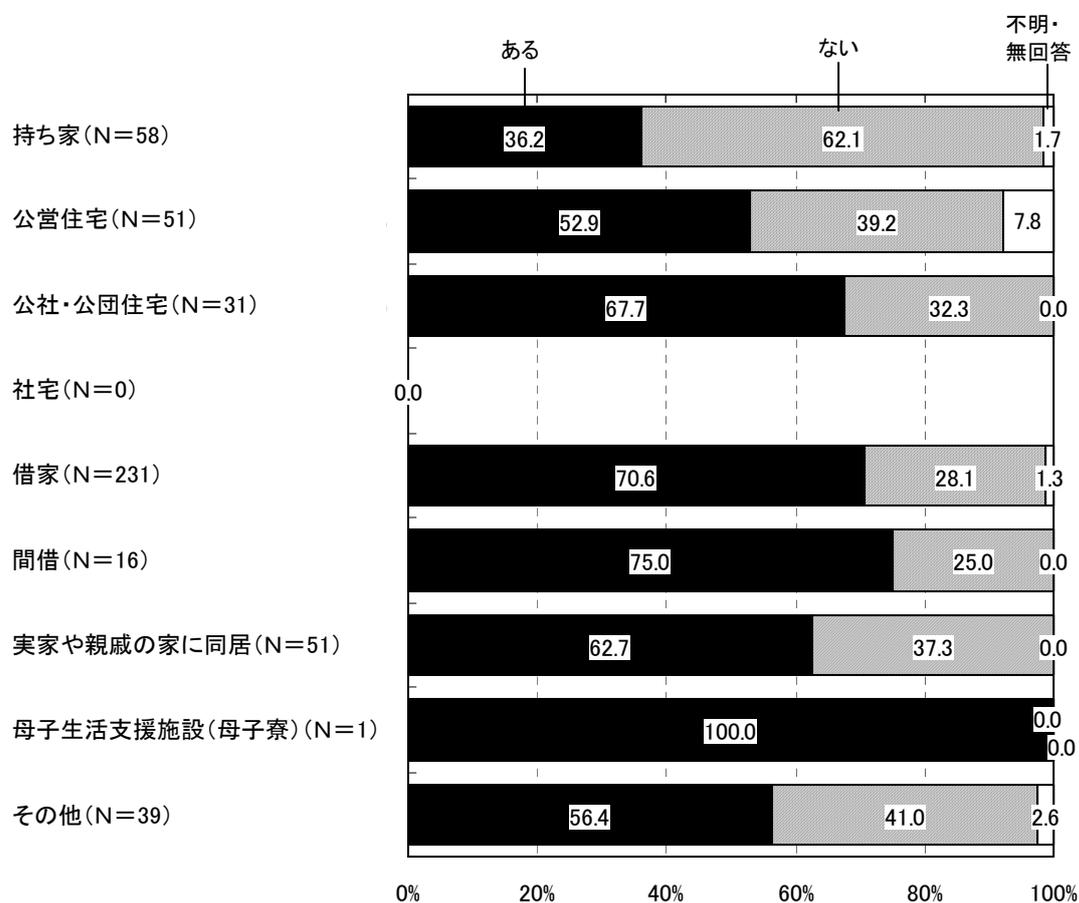


【住宅の種類別】

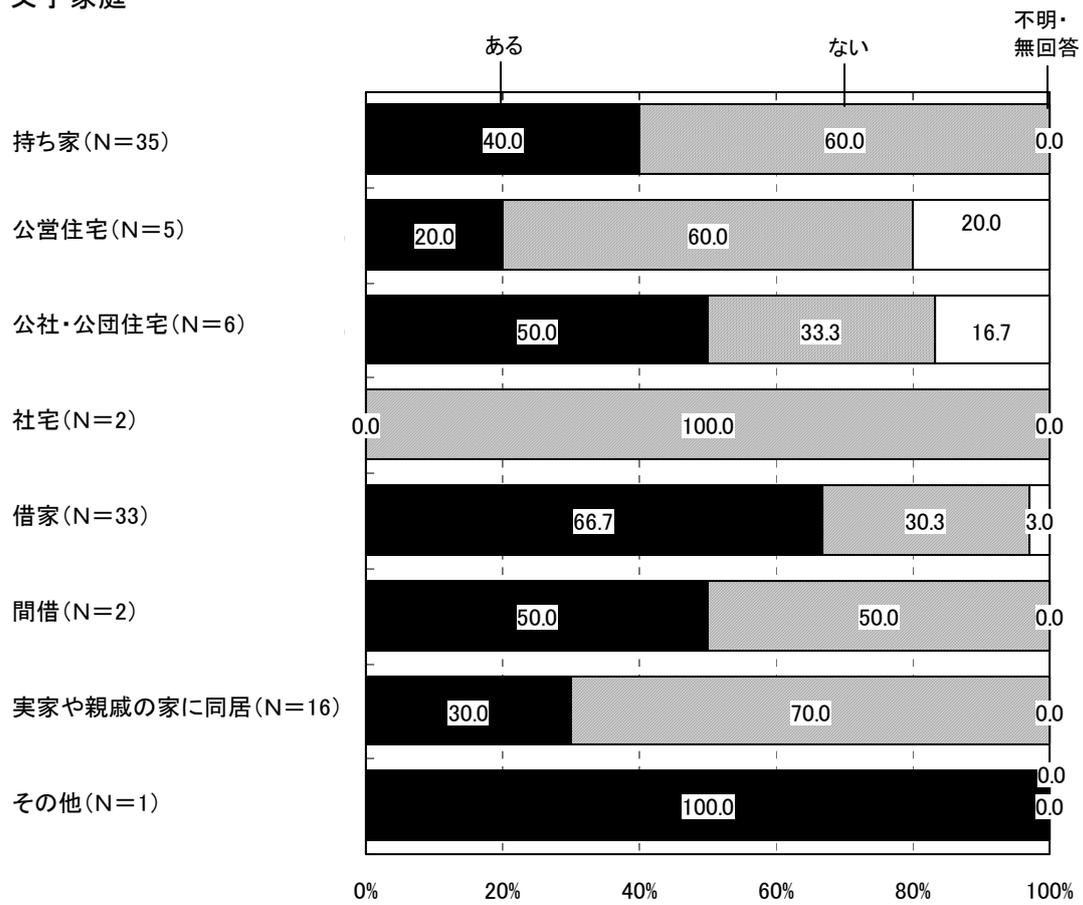
住宅の種類別にみると、母子家庭では、「持ち家」について、他の区分と比較して「ない」の割合が高くなっている。

父子家庭では、「借家」について、他の区分と比較して「ある」の割合が高くなっている。

■ 母子家庭



■ 父子家庭



6 世帯の収入状況・生活費について

(1) あなたの世帯の収入は、何によってまかなわれていますか。

(母子 問 20, 父子 問 19)

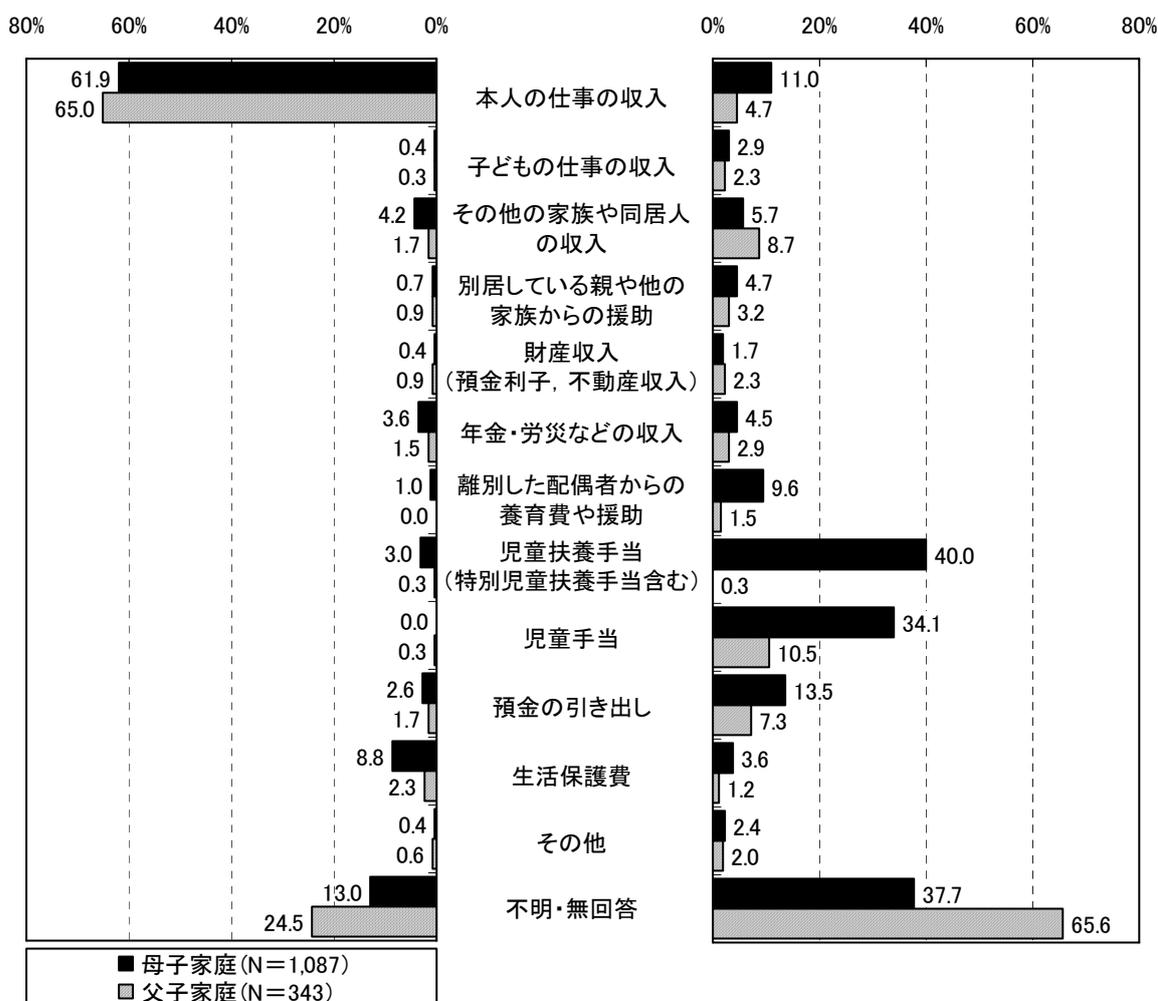
最も収入の多いものでは、「本人の仕事の収入」が母子家庭、父子家庭ともに 61.9%、65.0%と最も高くなっている。

それ以外の収入では、母子家庭では「児童扶養手当(特別児童扶養手当)」が 40.0%と最も高く、次いで「児童手当」が 34.1%となっている。

父子家庭では、「児童手当」が 10.5%、次いで「その他の家族や同居人の収入」が 8.7%となっている。

【最も収入の多いもの】

【それ以外の収入】(複数回答可)



それ以外の収入【年齢別】

年齢別にみると、母子家庭では、「20歳未満」から「30～34歳」にかけては「児童手当」の割合が高く、「35～39歳」から「50歳以上」にかけては「児童扶養手当（特別児童扶養手当含む）」の割合が高くなっている。

父子家庭では、「20歳未満」から「40～44歳」にかけて「児童手当」の割合が高くなっている。

■ 母子家庭

単位：％

年齢別	回答者数 (人)	本人の仕事 の収入	子どもの仕事 の収入	その他の家族 や同居人の 収入	別居している 親や他の 家族からの 援助	財産収入 (預金利 子、不動産 収入)	年金・労災 などの収入	離別した配 偶者からの 養育費や 援助	児童扶養手 当(特別児 童扶養手 当を含む)
20歳未満	13	15.4	-	-	7.7	-	7.7	7.7	23.1
20～24歳	26	3.8	3.8	3.8	3.8	-	-	7.7	50.0
25～29歳	53	17.0	1.9	1.9	5.7	3.8	3.8	17.0	54.7
30～34歳	157	11.5	1.3	5.1	2.5	0.6	0.6	9.6	44.6
35～39歳	242	11.6	2.5	5.0	3.3	0.4	2.9	10.7	48.8
40～44歳	271	8.9	1.8	6.3	6.6	1.8	3.7	8.9	38.0
45～49歳	215	10.7	4.7	7.4	5.1	2.3	7.4	11.2	35.3
50歳以上	99	14.1	5.1	6.1	4.0	4.0	12.1	2.0	21.2

年齢別	回答者数 (人)	児童手当	預金の 引出し	生活保護費	その他	不明・ 無回答
20歳未満	13	30.8	15.4	-	-	53.8
20～24歳	26	61.5	11.5	3.8	-	34.6
25～29歳	53	64.2	15.1	3.8	3.8	20.8
30～34歳	157	52.2	9.6	3.8	1.3	38.2
35～39歳	242	47.5	10.7	6.6	3.3	34.3
40～44歳	271	26.6	12.2	3.0	2.2	40.6
45～49歳	215	17.7	19.5	1.4	3.3	33.0
50歳以上	99	6.1	17.2	2.0	1.0	55.6

■ 父子家庭

単位：％

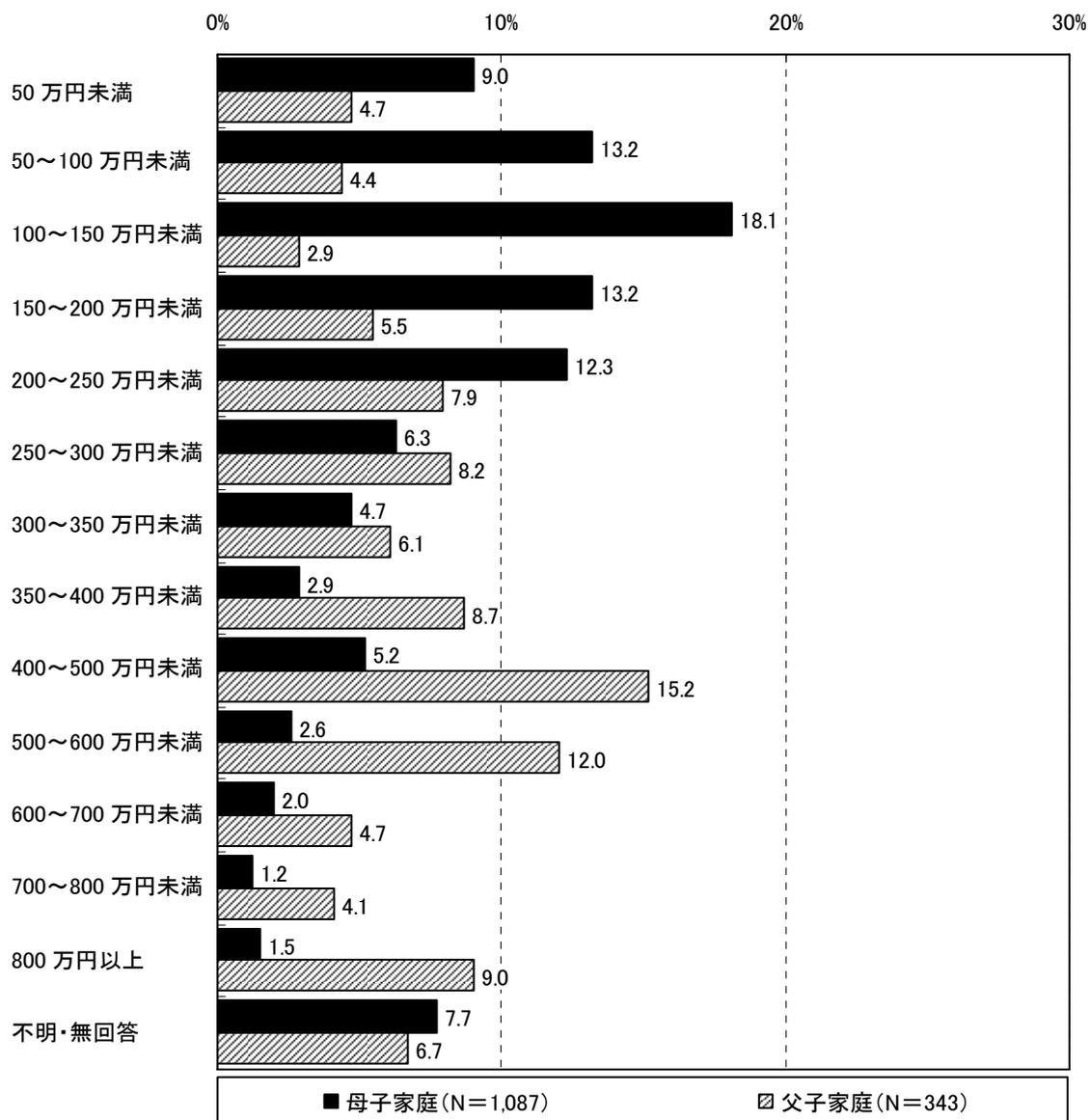
年齢別	回答者数 (人)	本人の仕事 の収入	子どもの仕事 の収入	その他の家族 や同居人の 収入	別居している 親や他の 家族からの 援助	財産収入 (預金利 子、不動産 収入)	年金・労災 などの収入	離別した配 偶者からの 養育費や 援助	児童扶養手 当(特別児 童扶養手 当を含む)
20歳未満	10	-	-	10.0	10.0	-	-	-	-
20～24歳	2	-	-	-	-	-	-	-	-
25～29歳	7	-	-	-	-	-	-	-	-
30～34歳	28	7.1	3.6	17.9	10.7	3.6	-	-	-
35～39歳	43	4.7	2.3	9.3	2.3	2.3	2.3	4.7	2.3
40～44歳	83	3.6	1.2	7.2	1.2	-	3.6	2.4	-
45～49歳	67	-	-	11.9	3.0	-	3.0	-	-
50歳以上	98	9.2	5.1	6.1	3.1	6.1	4.1	1.0	-

年齢別	回答者数 (人)	児童手当	預金の 引出し	生活保護費	その他	不明・ 無回答
20歳未満	10	20.0	10.0	-	-	60.0
20～24歳	2	-	-	-	-	100.0
25～29歳	7	14.3	-	-	-	85.7
30～34歳	28	25.0	3.6	3.6	-	46.4
35～39歳	43	20.9	14.0	-	-	58.1
40～44歳	83	12.0	4.8	-	3.6	68.7
45～49歳	67	7.5	7.5	1.5	1.5	70.1
50歳以上	98	2.0	8.2	2.0	3.1	65.3

(2) あなたの世帯の昨年（平成 19 年）1 年間の収入はどのくらいでしたか（税込みで生活保護費は除きます）。（母子 問 21，父子 問 20）

母子家庭では「100～150 万円未満」が 18.1%と最も高く、次いで「50～100 万円未満」、
「150～200 万円未満」が 13.2%となっている。

父子家庭では「400～500 万円未満」が 15.2%と最も高く、次いで「500～600 万円未満」
が 12.0%となっている。



【年齢別，仕事の有無別，就労形態別】

年齢別にみると，母子家庭，父子家庭ともに年齢が上がるにつれて1年間の収入も上がる傾向がある。

仕事の有無別にみると，母子家庭，父子家庭ともに「仕事をしていない」について，他の区分と比較して「50万円未満」の割合が高くなっている。

就労形態別にみると，母子家庭では，「パートタイマー」，「アルバイト」，「家族従事者」，「内職・在宅就業」について，他の区分と比較して収入が低くなっており，父子家庭では，「パートタイマー」，「アルバイト」，「内職・在宅就業」について，他の区分と比較して収入が低くなっている。

■ 母子家庭

単位：%

		回答者数 (人)	50万円 未満	50~100 万円未満	100~150 万円未満	150~200 万円未満	200~250 万円未満	250~300 万円未満	300~350 万円未満
年齢別	20歳未満	13	7.7	7.7	30.8	7.7	7.7	-	7.7
	20~24歳	26	19.2	26.9	23.1	3.8	7.7	-	-
	25~29歳	53	18.9	15.1	30.2	3.8	5.7	7.5	3.8
	30~34歳	157	14.0	20.4	17.8	13.4	11.5	3.8	2.5
	35~39歳	242	8.7	12.8	21.9	12.8	12.4	6.6	3.7
	40~44歳	271	4.1	12.5	18.1	13.7	13.7	6.3	4.8
	45~49歳	215	7.4	10.7	12.1	15.3	14.9	8.4	6.5
	50歳以上	99	12.1	7.1	14.1	16.2	11.1	5.1	8.1
有仕事 無仕事の 別	1つの仕事だけしている	820	6.0	12.7	20.4	13.7	13.3	7.3	4.6
	2つ以上の仕事をしている	81	6.2	17.3	14.8	19.8	12.3	6.2	8.6
	仕事をしていない	153	26.8	16.3	8.5	9.8	7.2	2.0	2.6
就労 形態別	正社員・正職員	330	2.4	2.4	8.2	10.3	15.5	10.9	8.8
	パートタイマー	331	8.8	23.3	31.7	15.7	9.7	3.6	2.1
	アルバイト	48	8.3	31.3	27.1	10.4	10.4	2.1	-
	契約・登録社員(職員)	74	2.7	5.4	13.5	25.7	23.0	9.5	5.4
	派遣社員(職員)	36	2.8	5.6	19.4	25.0	22.2	8.3	2.8
	自営業主	32	15.6	9.4	9.4	12.5	6.3	15.6	3.1
	家族従業者	13	-	30.8	23.1	7.7	7.7	7.7	7.7
	内職・在宅就業	12	33.3	8.3	16.7	16.7	-	-	8.3
	その他	13	7.7	15.4	38.5	7.7	15.4	-	-

		回答者数 (人)	350~400 万円未満	400~500 万円未満	500~600 万円未満	600~700 万円未満	700~800 万円未満	800万円 以上	不明・ 無回答
年齢別	20歳未満	13	-	-	-	-	-	-	30.8
	20~24歳	26	-	-	3.8	-	-	-	15.4
	25~29歳	53	3.8	-	1.9	1.9	1.9	-	5.7
	30~34歳	157	2.5	4.5	0.6	-	-	0.6	8.3
	35~39歳	242	1.7	4.1	2.5	1.2	0.8	0.8	9.9
	40~44歳	271	4.8	6.3	3.7	3.3	0.4	1.1	7.4
	45~49歳	215	2.8	4.7	3.3	2.8	2.8	3.7	4.7
	50歳以上	99	2.0	10.1	2.0	3.0	3.0	2.0	4.0
有仕事 無仕事の 別	1つの仕事だけしている	820	3.4	5.6	3.3	2.6	1.5	1.7	4.0
	2つ以上の仕事をしている	81	2.5	4.9	1.2	-	-	1.2	4.9
	仕事をしていない	153	0.7	3.3	-	0.7	-	-	22.2
就労 形態別	正社員・正職員	330	7.6	12.1	6.4	5.8	2.7	3.6	3.3
	パートタイマー	331	0.6	1.5	0.3	0.3	0.3	-	2.1
	アルバイト	48	-	-	4.2	2.1	-	-	4.2
	契約・登録社員(職員)	74	2.7	2.7	1.4	-	-	-	8.1
	派遣社員(職員)	36	-	2.8	2.8	-	2.8	-	5.6
	自営業主	32	-	6.3	-	-	3.1	6.3	12.5
	家族従業者	13	-	-	7.7	-	-	-	7.7
	内職・在宅就業	12	8.3	-	-	-	-	-	8.3
	その他	13	-	-	-	-	-	-	15.4

■ 父子家庭

単位：%

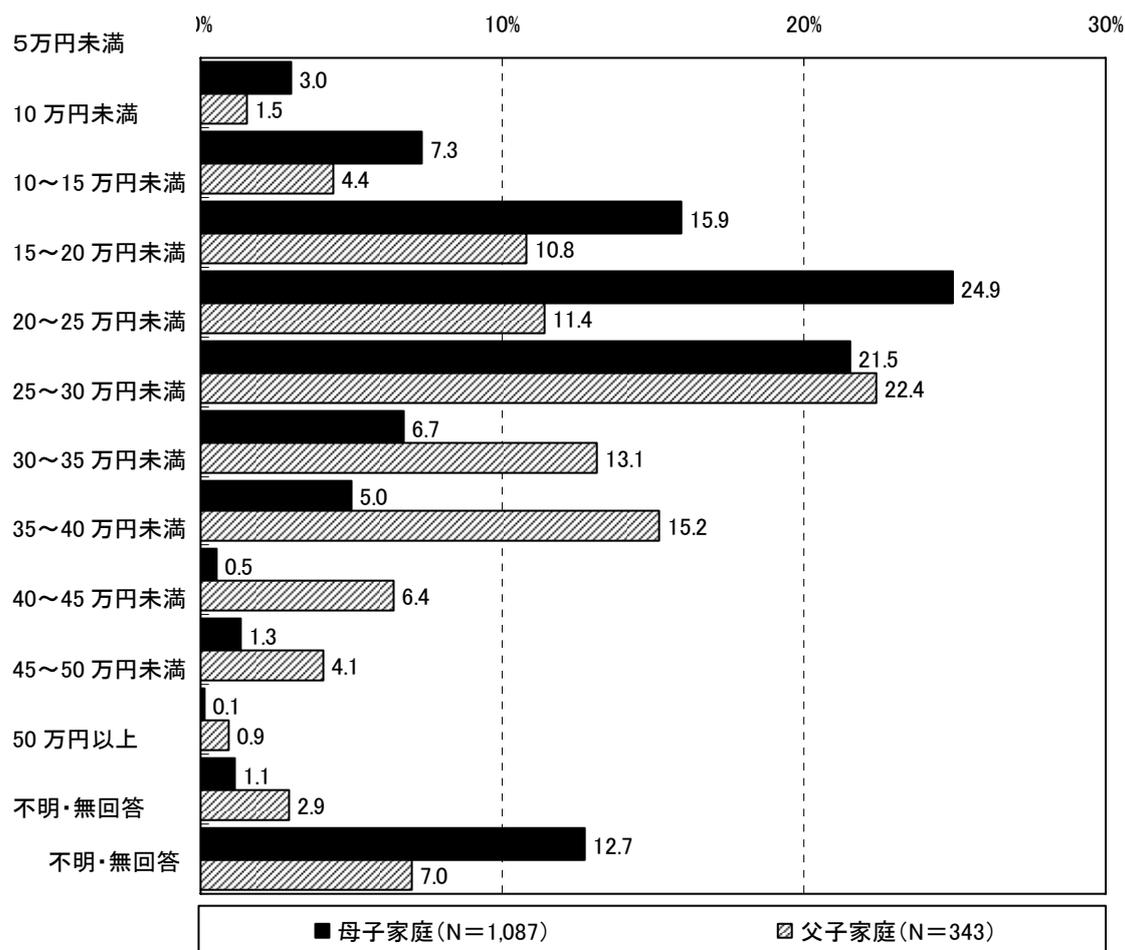
		回答者数 (人)	50万円 未満	50~100 万円未満	100~150 万円未満	150~200 万円未満	200~250 万円未満	250~300 万円未満	300~350 万円未満
年齢別	20歳未満	10	10.0	-	10.0	-	30.0	-	-
	20~24歳	2	-	-	-	-	-	50.0	-
	25~29歳	7	-	-	14.3	28.6	14.3	14.3	-
	30~34歳	28	3.6	3.6	10.7	3.6	7.1	3.6	7.1
	35~39歳	43	4.7	2.3	-	7.0	9.3	7.0	14.0
	40~44歳	83	4.8	7.2	-	3.6	6.0	8.4	7.2
	45~49歳	67	1.5	1.5	1.5	4.5	7.5	9.0	3.0
	50歳以上	98	6.1	6.1	4.1	7.1	7.1	9.2	5.1
有仕無事別の	1つの仕事だけしている	290	3.8	3.8	3.1	4.8	7.6	7.6	6.6
	2つ以上の仕事をしている	18	5.6	-	-	16.7	11.1	22.2	5.6
	仕事をしていない	27	11.1	11.1	3.7	7.4	11.1	7.4	-
就労形態別の	正社員・正職員	186	2.2	0.5	-	3.2	4.8	5.9	6.5
	パートタイマー	5	-	-	40.0	-	-	20.0	-
	アルバイト	7	-	-	14.3	28.6	28.6	-	-
	契約・登録社員(職員)	18	-	5.6	16.7	11.1	16.7	-	11.1
	派遣社員(職員)	6	-	16.7	-	33.3	-	-	-
	自営業主	64	9.4	9.4	1.6	4.7	14.1	12.5	6.3
	家族従業者	6	-	16.7	-	16.7	-	33.3	-
	内職・在宅就業	2	50.0	-	50.0	-	-	-	-
	その他	10	10.0	10.0	-	10.0	10.0	20.0	10.0

		回答者数 (人)	350~400 万円未満	400~500 万円未満	500~600 万円未満	600~700 万円未満	700~800 万円未満	800万円 以上	不明・ 無回答
年齢別	20歳未満	10	-	20.0	-	10.0	-	-	20.0
	20~24歳	2	-	-	-	-	-	50.0	-
	25~29歳	7	14.3	-	-	-	-	-	14.3
	30~34歳	28	14.3	17.9	7.1	-	3.6	7.1	10.7
	35~39歳	43	4.7	9.3	23.3	9.3	4.7	4.7	-
	40~44歳	83	14.5	13.3	14.5	3.6	7.2	4.8	4.8
	45~49歳	67	6.0	20.9	13.4	7.5	3.0	14.9	6.0
	50歳以上	98	7.1	15.3	8.2	3.1	2.0	11.2	8.2
有仕無事別の	1つの仕事だけしている	290	9.7	15.9	13.4	5.5	4.8	9.7	3.8
	2つ以上の仕事をしている	18	5.6	22.2	-	-	-	11.1	-
	仕事をしていない	27	-	-	3.7	-	-	3.7	40.7
就労形態別の	正社員・正職員	186	10.8	17.7	18.3	5.9	7.0	14.0	3.2
	パートタイマー	5	20.0	20.0	-	-	-	-	-
	アルバイト	7	14.3	-	-	-	-	-	14.3
	契約・登録社員(職員)	18	11.1	16.7	5.6	-	5.6	-	-
	派遣社員(職員)	6	-	33.3	-	-	-	-	16.7
	自営業主	64	7.8	12.5	6.3	4.7	-	6.3	4.7
	家族従業者	6	-	33.3	-	-	-	-	-
	内職・在宅就業	2	-	-	-	-	-	-	-
	その他	10	-	10.0	-	20.0	-	-	-

(3) あなたの世帯の月平均の生活費を記入してください。(約 万円程度)
(母子 問 22, 父子 問 21)

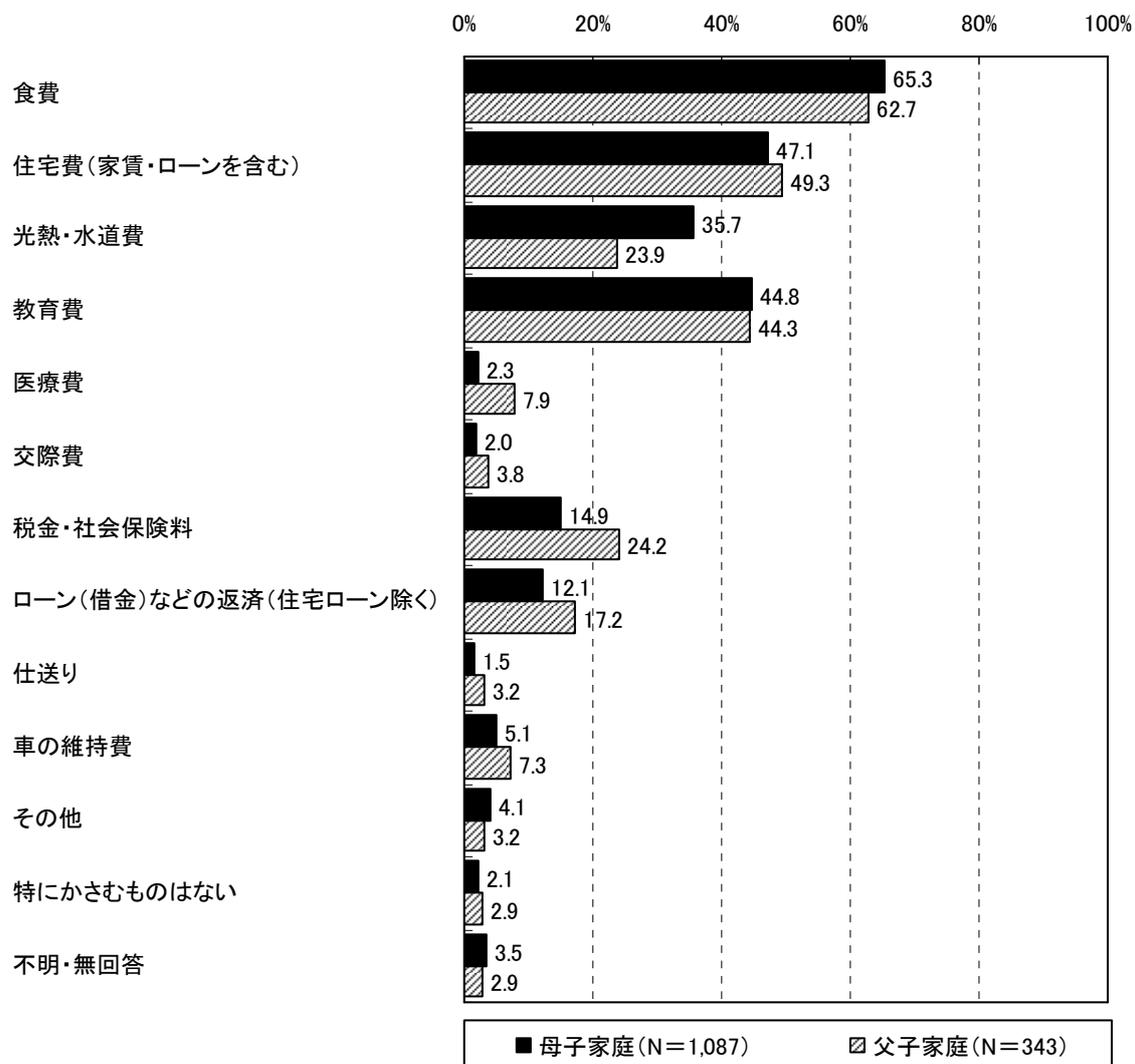
母子家庭では「15～20万円未満」が24.9%と最も高く、次いで「20～25万円未満」が21.5%となっている。

父子家庭では「20～25万円未満」が22.4%と最も高く、次いで「30～35万円未満」が15.2%となっている。



(4) あなたの世帯の生活費の中で、特に支出のかさむものは何ですか。主なもの3つまでをお答えください。(複数回答可) (母子 問 23, 父子 問 22)

母子家庭では「食費」が65.3%と最も高く、次いで「住宅費」が47.1%となっている。
父子家庭でも「食費」が62.7%と最も高く、次いで「住宅費」が49.3%となっている。



【年齢別，世帯構成別，世帯年収別】

年齢別にみると，母子家庭では，「20歳未満」について「光熱・水道費」の割合が高く，その他の年齢では，「食費」の割合が高くなっている。

父子家庭では，「20～24歳」から「35～39歳」について，「住宅費（家賃・ローンを含む）」の割合が高くなっている。

世帯構成別にみると，母子家庭，父子家庭ともに，ほとんどの年齢層について，「食費」の割合が高くなっている。

世帯年収別にみると，母子家庭では，「300～350万円未満」，「600～700万円未満」，「700～800万円未満」，「800万円以上」について，他の区分と比較して「教育費」の割合が高くなっている。

父子家庭では，「400～500万円未満」，「600～700万円未満」について，他の区分と比較して「住宅費（家賃・ローンを含む）」の割合が高くなっている。

■ 母子家庭

単位：％

		回答者数 (人)	食費	住宅費 (家賃・ローンを含む)	光熱・ 水道費	教育費	医療費	交際費	税金・ 社会保険料	ローン(借 金)などの 返済(住宅 ローン除く)
年齢別	20歳未満	13	38.5	15.4	46.2	30.8	-	7.7	15.4	7.7
	20～24歳	26	50.0	46.2	26.9	19.2	3.8	3.8	7.7	23.1
	25～29歳	53	71.7	50.9	45.3	24.5	1.9	1.9	11.3	13.2
	30～34歳	157	63.7	54.8	37.6	23.6	-	1.3	12.7	12.7
	35～39歳	242	69.8	50.8	37.6	41.3	1.7	2.5	10.3	9.5
	40～44歳	271	63.5	48.7	33.2	49.8	2.2	1.5	21.4	9.2
	45～49歳	215	65.6	38.6	31.6	61.9	3.3	3.3	14.9	15.8
	50歳以上	99	64.6	41.4	42.4	55.6	6.1	-	17.2	13.1

		回答者数 (人)	仕送り	車の維持費	その他	特にかさむ ものはない	不明・ 無回答
年齢別	20歳未満	13	-	23.1	-	7.7	23.1
	20～24歳	26	-	11.5	7.7	3.8	3.8
	25～29歳	53	1.9	5.7	3.8	3.8	1.9
	30～34歳	157	0.6	5.7	7.0	3.2	3.2
	35～39歳	242	0.4	5.4	3.7	0.4	3.7
	40～44歳	271	1.1	4.8	3.0	3.0	2.2
	45～49歳	215	3.3	3.3	3.7	0.9	3.7
	50歳以上	99	3.0	3.0	5.1	3.0	4.0

■ 父子家庭

単位：％

		回答者数 (人)	食費	住宅費 (家賃・ローンを含む)	光熱・水道費	教育費	医療費	交際費	税金・ 社会保険料	ローン(借 金)などの 返済(住宅 ローン除く)
年齢別	20歳未満	10	50.0	20.0	-	40.0	10.0	-	20.0	20.0
	20～24歳	2	50.0	100.0	-	50.0	-	-	50.0	-
	25～29歳	7	57.1	57.1	28.6	14.3	-	14.3	-	14.3
	30～34歳	28	60.7	60.7	25.0	14.3	3.6	3.6	21.4	17.9
	35～39歳	43	62.8	62.8	18.6	44.2	11.6	4.7	25.6	23.3
	40～44歳	83	65.1	54.2	22.9	41.0	7.2	1.2	26.5	25.3
	45～49歳	67	62.7	53.7	26.9	50.7	6.0	6.0	20.9	19.4
	50歳以上	98	64.3	35.7	27.6	52.0	10.2	4.1	25.5	6.1

		回答者数 (人)	仕送り	車の維持費	その他	特にかさむ ものはない	不明・ 無回答
年齢別	20歳未満	10	-	-	-	-	20.0
	20～24歳	2	-	-	-	-	-
	25～29歳	7	-	14.3	-	14.3	-
	30～34歳	28	-	21.4	7.1	3.6	10.7
	35～39歳	43	4.7	9.3	4.7	2.3	-
	40～44歳	83	3.6	7.2	3.6	1.2	2.4
	45～49歳	67	1.5	3.0	1.5	1.5	1.5
	50歳以上	98	5.1	6.1	2.0	5.1	2.0

■ 母子家庭

単位：％

		回答者数 (人)	食費	住宅費 (家賃・ローンを含む)	光熱・水道費	教育費	医療費	交際費	税金・ 社会保険料	ローン(借金)などの 返済(住宅ローン除く)
世帯 構成 別	母子家庭(20歳未満の子どものみ)	725	62.6	54.2	33.8	43.9	1.0	1.9	12.7	11.6
	母子家庭(20歳以上の子ども含む)	101	63.4	36.6	34.7	55.4	5.0	1.0	17.8	21.8
	母子家庭(実父母同居)	218	73.9	28.4	43.1	43.1	4.6	1.8	23.9	8.7
	母子家庭(義父母同居)	3	100.0	33.3	33.3	66.7	33.3	33.3	-	-
	母子家庭(兄弟姉妹同居、親なし)	6	100.0	66.7	83.3	33.3	-	-	-	-
	母子家庭(その他親族含む)	9	44.4	44.4	22.2	55.6	-	-	-	22.2
	その他	7	71.4	28.6	42.9	14.3	28.6	14.3	-	42.9
世帯 年 収 別	50万円未満	98	68.4	51.0	42.9	38.8	1.0	2.0	9.2	14.3
	50～100万円未満	144	64.6	43.8	44.4	35.4	2.8	2.1	9.0	9.7
	100～150万円未満	197	67.0	46.2	40.1	38.6	1.0	1.5	9.6	13.7
	150～200万円未満	144	76.4	52.1	35.4	47.9	1.4	2.1	16.7	17.4
	200～250万円未満	134	66.4	45.5	39.6	48.5	4.5	0.7	16.4	14.9
	250～300万円未満	68	69.1	41.2	39.7	51.5	1.5	2.9	19.1	5.9
	300～350万円未満	51	52.9	58.8	27.5	62.7	-	3.9	31.4	13.7
	350～400万円未満	32	84.4	53.1	31.3	46.9	3.1	3.1	15.6	6.3
	400～500万円未満	56	51.8	62.5	12.5	51.8	3.6	3.6	28.6	12.5
	500～600万円未満	28	67.9	50.0	25.0	53.6	3.6	7.1	32.1	3.6
	600～700万円未満	22	77.3	54.5	18.2	77.3	-	-	22.7	-
700～800万円未満	13	53.8	46.2	-	61.5	7.7	7.7	23.1	15.4	
800万円以上	16	75.0	31.3	18.8	75.0	-	-	25.0	6.3	

		回答者数 (人)	仕送り	車の維持費	その他	特にかさむ ものはない	不明・ 無回答
世帯 構成 別	母子家庭(20歳未満の子どものみ)	725	1.2	5.2	4.6	2.2	3.3
	母子家庭(20歳以上の子ども含む)	101	3.0	4.0	4.0	2.0	1.0
	母子家庭(実父母同居)	218	1.4	4.6	3.2	2.3	4.1
	母子家庭(義父母同居)	3	-	-	-	-	-
	母子家庭(兄弟姉妹同居、親なし)	6	-	16.7	-	-	-
	母子家庭(その他親族含む)	9	-	-	11.1	-	11.1
	その他	7	14.3	-	-	-	14.3
世帯 年 収 別	50万円未満	98	-	2.0	7.1	3.1	1.0
	50～100万円未満	144	0.7	7.6	7.6	1.4	1.4
	100～150万円未満	197	0.5	5.6	1.5	3.0	1.5
	150～200万円未満	144	-	3.5	5.6	3.5	-
	200～250万円未満	134	0.7	6.0	3.0	0.7	0.7
	250～300万円未満	68	-	5.9	2.9	4.4	1.5
	300～350万円未満	51	-	9.8	2.0	-	-
	350～400万円未満	32	6.3	9.4	9.4	-	-
	400～500万円未満	56	3.6	7.1	-	3.6	-
	500～600万円未満	28	10.7	3.6	7.1	-	-
	600～700万円未満	22	4.5	4.5	-	-	-
700～800万円未満	13	15.4	-	-	-	15.4	
800万円以上	16	12.5	-	-	-	-	

■ 父子家庭

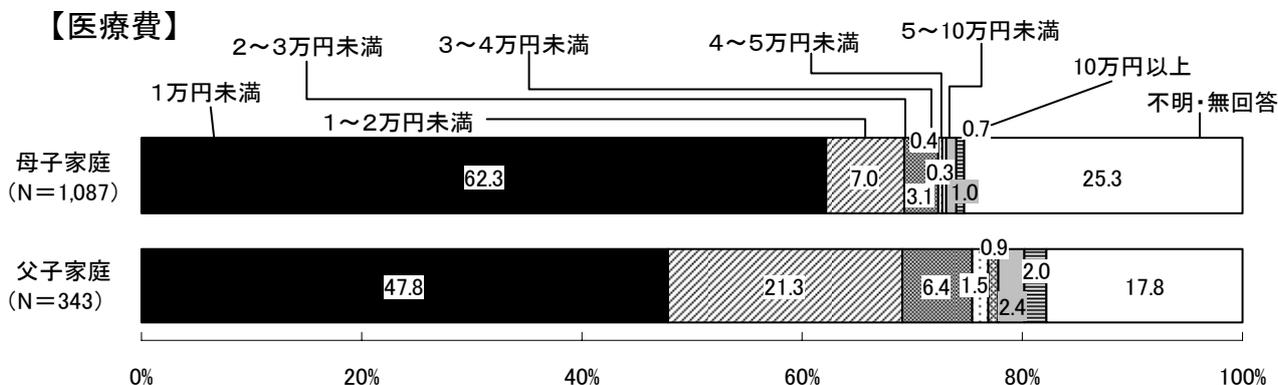
単位：％

		回答者数 (人)	食費	住宅費 (家賃・ローンを含む)	光熱・水道費	教育費	医療費	交際費	税金・ 社会保険料	ローン(借金)などの 返済(住宅ローン除く)
世帯 構成 別	父子家庭(20歳未満の子どものみ)	175	60.0	60.6	17.7	42.3	6.9	4.6	24.0	17.1
	父子家庭(20歳以上の子ども含む)	35	60.0	45.7	28.6	51.4	8.6	-	20.0	5.7
	父子家庭(実父母同居)	113	66.4	33.6	31.0	45.1	9.7	4.4	21.2	20.4
	父子家庭(義父母同居)	2	100.0	50.0	50.0	50.0	-	-	50.0	-
	父子家庭(兄弟姉妹同居、親なし)	4	50.0	100.0	25.0	50.0	-	-	-	50.0
	父子家庭(その他親族含む)	4	50.0	-	50.0	-	25.0	-	75.0	25.0
	その他	2	100.0	50.0	-	50.0	-	-	-	-
世帯 年収 別	50万円未満	16	37.5	18.8	18.8	43.8	18.8	6.3	31.3	31.3
	50～100万円未満	15	66.7	46.7	33.3	20.0	13.3	-	26.7	13.3
	100～150万円未満	10	80.0	40.0	30.0	30.0	20.0	-	10.0	-
	150～200万円未満	19	84.2	36.8	26.3	26.3	5.3	5.3	21.1	26.3
	200～250万円未満	27	63.0	37.0	29.6	37.0	11.1	3.7	22.2	14.8
	250～300万円未満	28	64.3	60.7	28.6	50.0	3.6	3.6	42.9	25.0
	300～350万円未満	21	85.7	61.9	19.0	38.1	9.5	4.8	19.0	28.6
	350～400万円未満	30	60.0	56.7	10.0	56.7	6.7	-	26.7	23.3
	400～500万円未満	52	51.9	63.5	25.0	51.9	3.8	1.9	19.2	15.4
	500～600万円未満	41	78.0	53.7	31.7	46.3	17.1	2.4	19.5	14.6
	600～700万円未満	16	43.8	62.5	12.5	56.3	6.3	18.8	56.3	6.3
700～800万円未満	14	64.3	50.0	28.6	57.1	7.1	-	7.1	21.4	
800万円以上	31	61.3	48.4	16.1	51.6	-	9.7	32.3	16.1	

		回答者数 (人)	仕送り	車の維持費	その他	特にかさむ ものはない	不明・ 無回答
世帯 構成 別	父子家庭(20歳未満の子どものみ)	175	2.3	8.0	4.0	3.4	2.3
	父子家庭(20歳以上の子ども含む)	35	11.4	2.9	-	2.9	2.9
	父子家庭(実父母同居)	113	2.7	8.0	2.7	2.7	4.4
	父子家庭(義父母同居)	2	-	-	-	-	-
	父子家庭(兄弟姉妹同居、親なし)	4	-	-	-	-	-
	父子家庭(その他親族含む)	4	-	25.0	-	-	-
	その他	2	-	-	-	-	-
世帯 年収 別	50万円未満	16	6.3	-	-	-	-
	50～100万円未満	15	-	13.3	6.7	-	-
	100～150万円未満	10	-	-	-	-	-
	150～200万円未満	19	-	15.8	-	10.5	-
	200～250万円未満	27	-	33.3	3.7	3.7	-
	250～300万円未満	28	3.6	7.1	3.6	-	3.6
	300～350万円未満	21	-	4.8	-	-	-
	350～400万円未満	30	6.7	3.3	-	3.3	-
	400～500万円未満	52	1.9	3.8	9.6	-	-
	500～600万円未満	41	4.9	4.9	2.4	4.9	-
	600～700万円未満	16	6.3	-	-	-	-
700～800万円未満	14	-	14.3	7.1	7.1	-	
800万円以上	31	6.5	3.2	-	3.2	-	

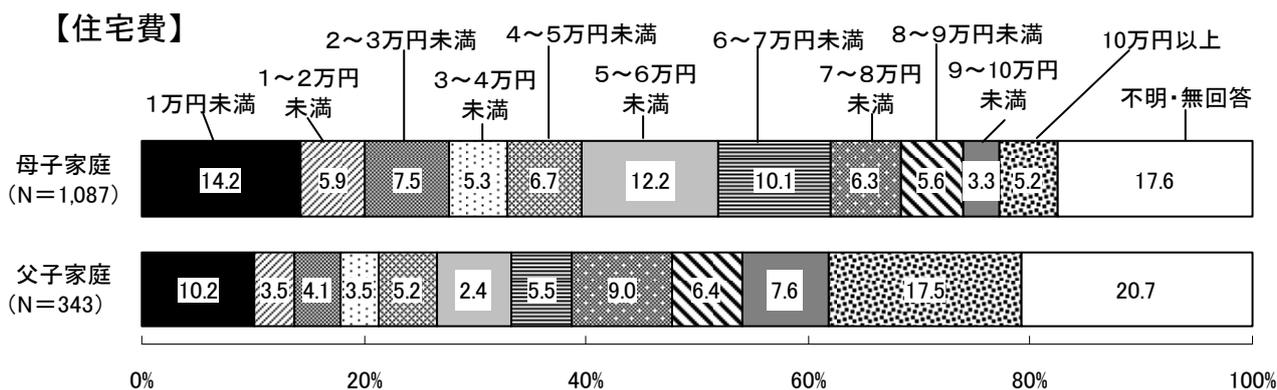
(5) あなたの世帯の生活費の中で、医療費、住宅費（家賃・ローン返済を含む）、教育費の月平均支出額はどの程度ですか（平成19年分）。また、それらの支出のためにローンなどでお金を借りていますか。（母子 問24, 父子 問23）

【医療費】



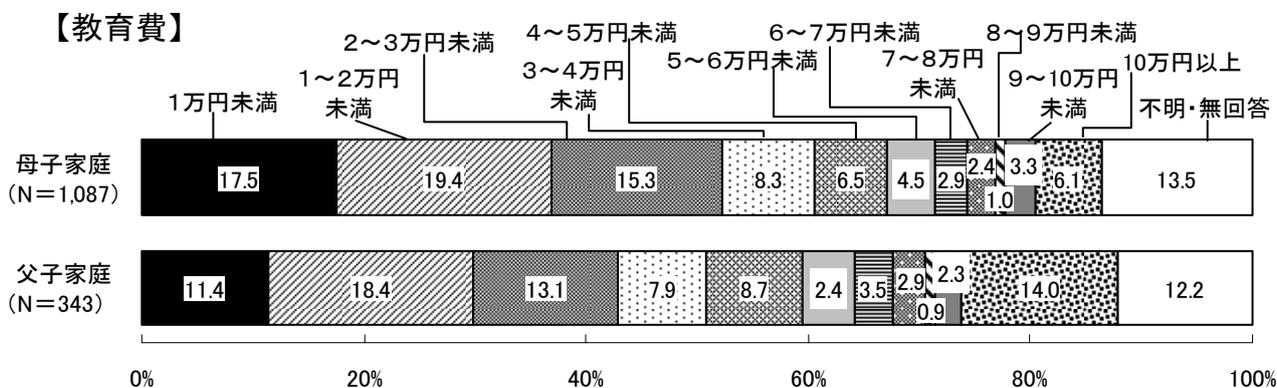
医療費のローン借入の有無については、母子家庭では、「ない」が98.7%、「ある」が1.3%となっていて、父子家庭では、「ない」が98.0%、「ある」が2.0%となっている。

【住宅費】



住宅費のローン借入の有無については、母子家庭では、「ない」が91.5%、「ある」が8.5%となっていて、父子家庭では、「ない」が78.1%、「ある」が21.9%となっている。

【教育費】



教育費のローン借入の有無については、母子家庭では、「ない」が92.8%、「ある」が7.2%となっていて、父子家庭では、「ない」が91.3%、「ある」が8.7%となっている。

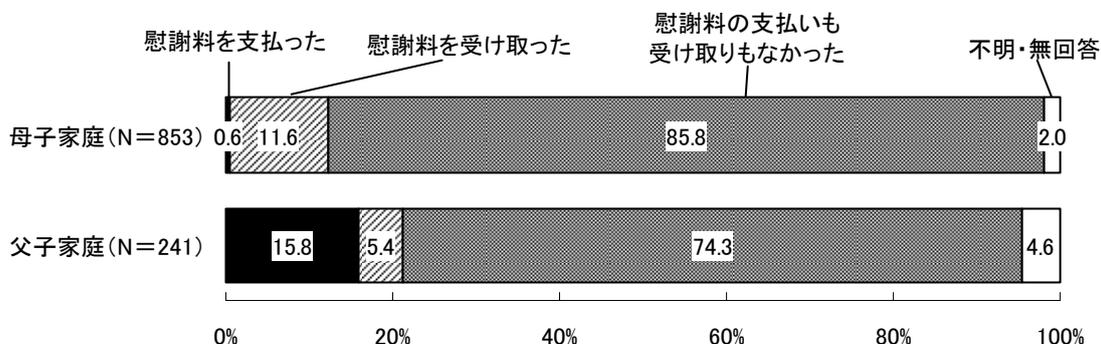
7 離婚の状況について

■ 離婚された方だけにお尋ねします。

(1) あなたは、離婚した配偶者との間で「慰謝料」の支払いや受け取りがありましたか。(母子 問 25, 父子 問 24)

母子家庭では「慰謝料の支払いも受け取りもなかった」が 85.8%と最も高く、次いで「慰謝料を受け取った」が 11.6%となっている。

父子家庭では「慰謝料の支払いも受け取りもなかった」が 74.3%と最も高く、次いで「慰謝料を支払った」が 15.8%となっている。

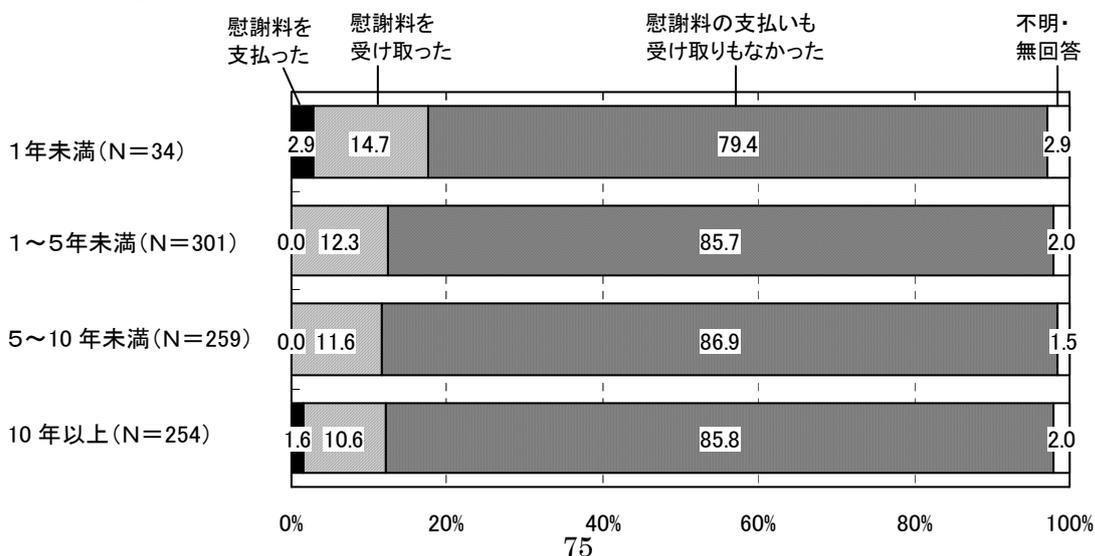


【婚姻期間別】

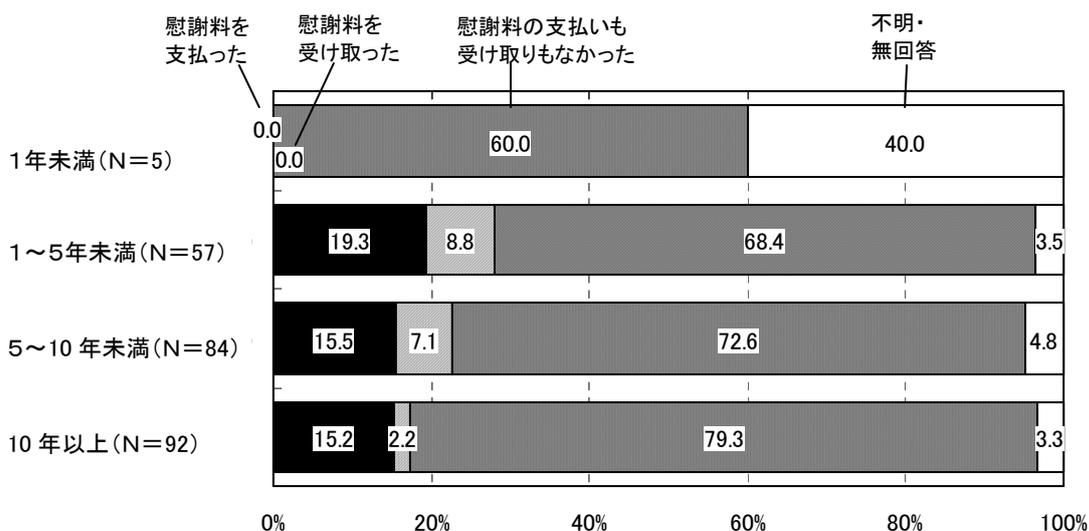
婚姻期間別にみると、母子家庭では、すべての区分について際立った差はみられない。

父子家庭では、婚姻期間が長くなるにつれて、「慰謝料の支払いも受け取りもなかった」の割合が高くなる傾向がある。

■ 母子家庭



■ 父子家庭

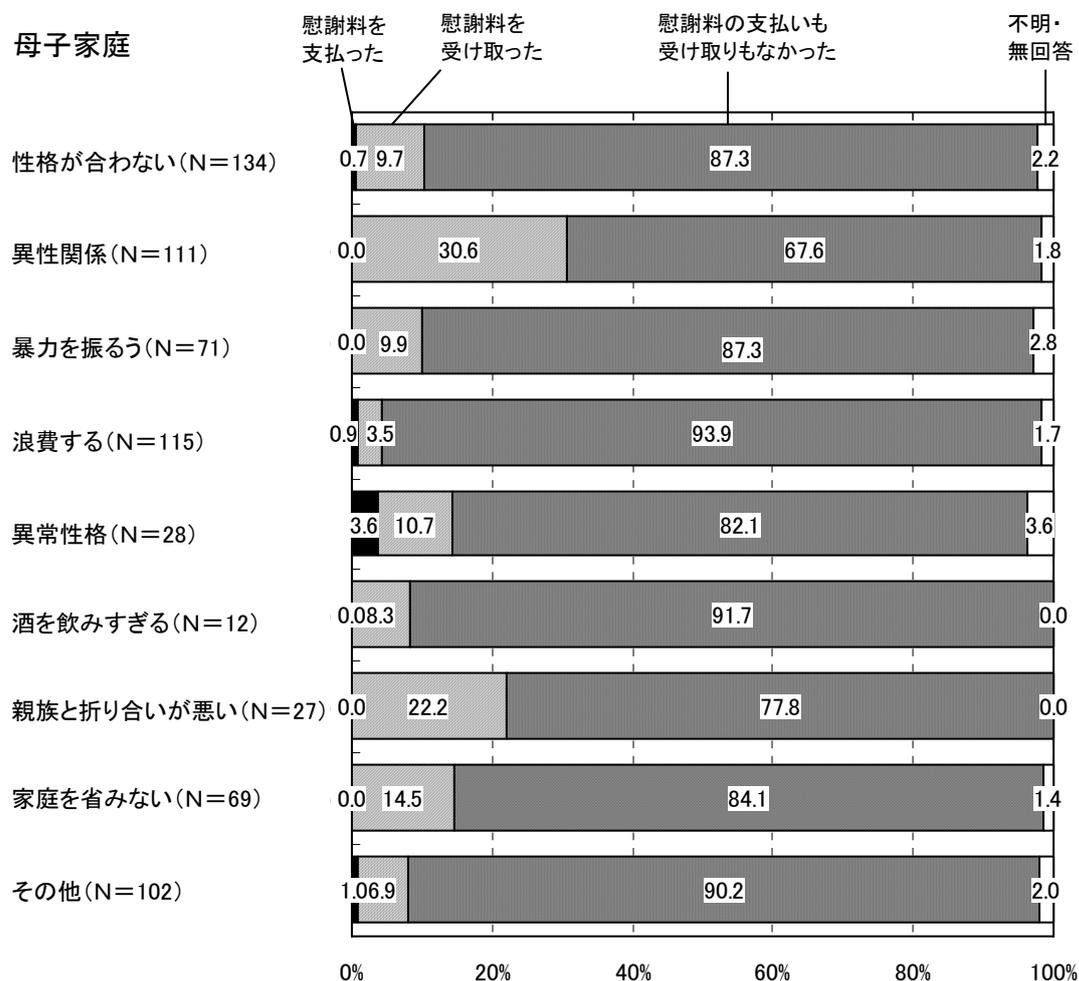


【離婚の理由別】

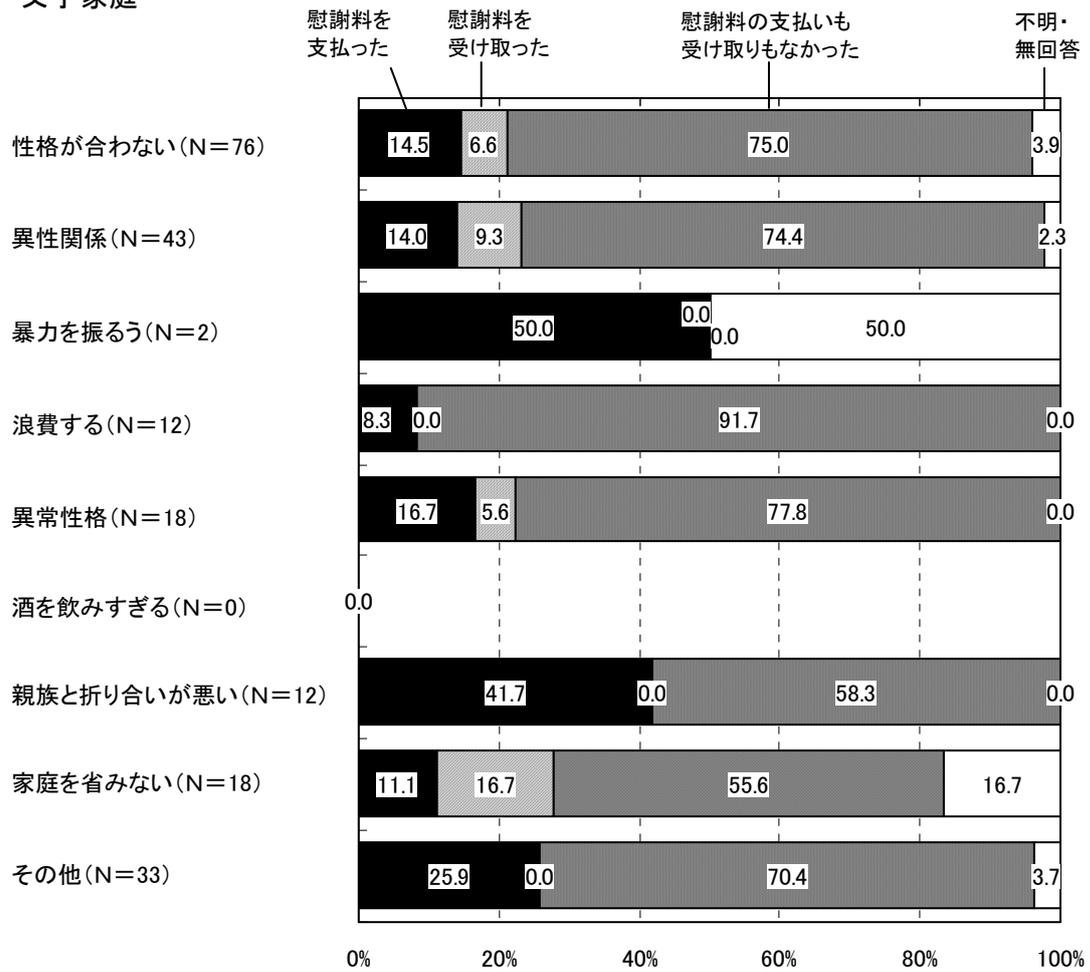
離婚の理由別にみると、母子家庭では、「異性関係」について、他の区分と比較して「慰謝料を受け取った」の割合が高くなっている。

父子家庭では、「暴力を振るう」、「親族と折り合いが悪い」について、他の区分と比較して「慰謝料を支払った」の割合が高くなっている。

■ 母子家庭



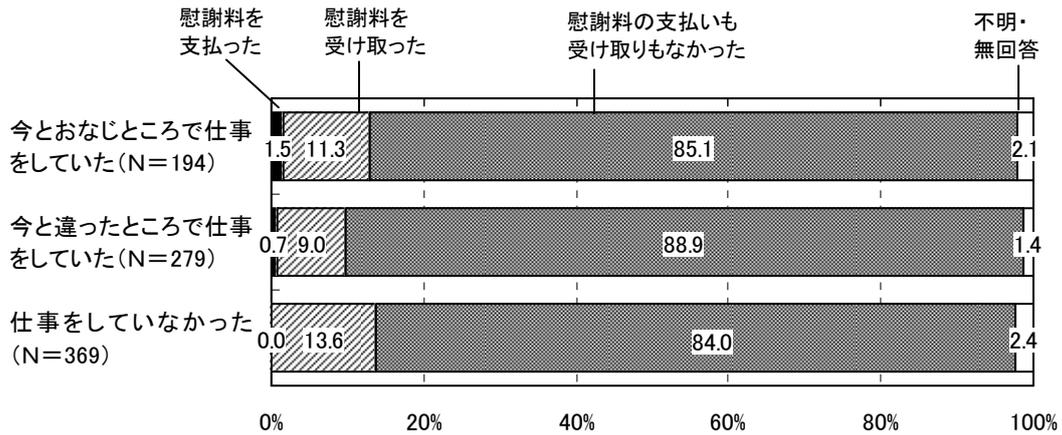
■ 父子家庭



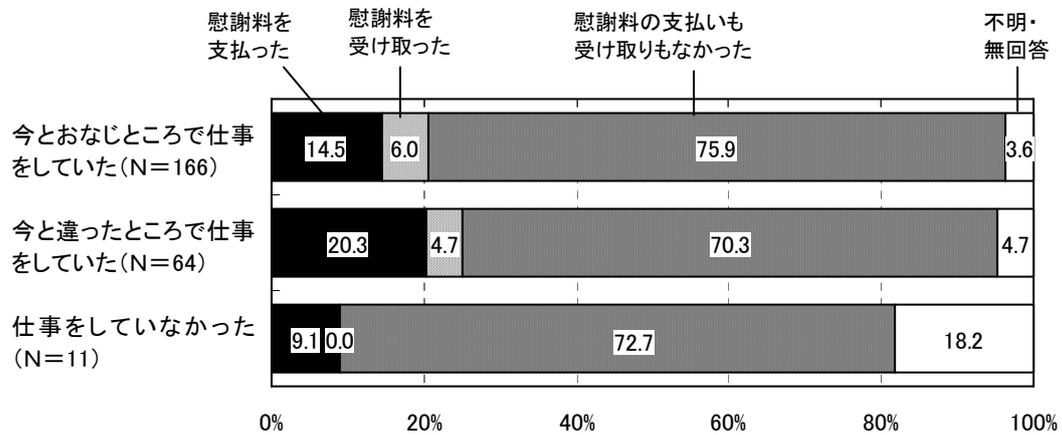
【ひとり親になった時の就労状況別】

ひとり親になった時の就労状況別にみると、母子家庭では、あまり大きな差はみられない。父子家庭では、「今と違ったところで仕事をしていた」について、他の区分と比較して「慰謝料を支払った」の割合が高くなっている。

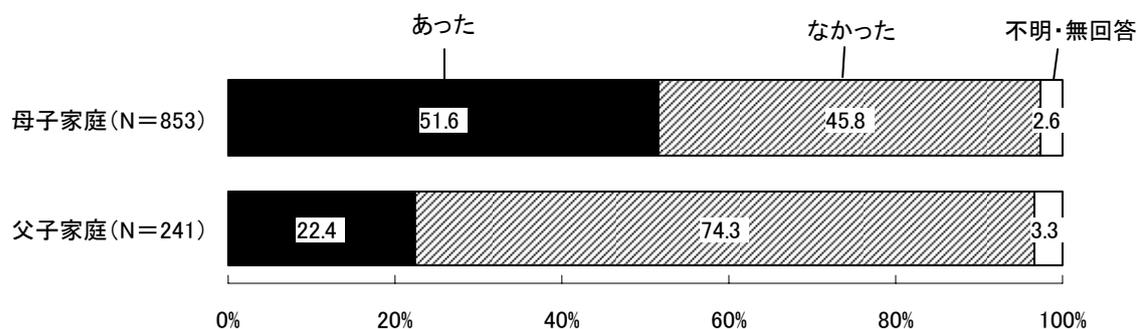
■ 母子家庭



■ 父子家庭



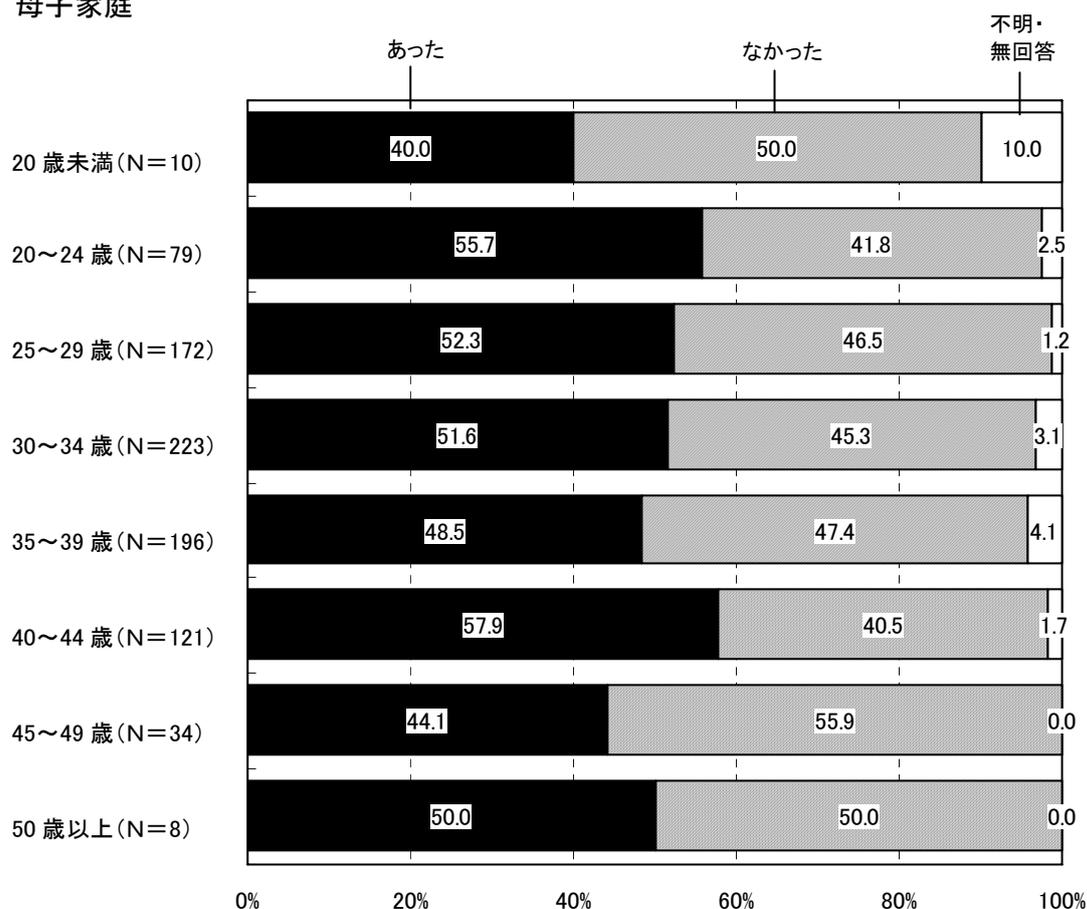
(2) あなたは、離婚した配偶者との間に「養育費」に関する取り決めがありましたか。(母子 問 26, 父子 問 25)



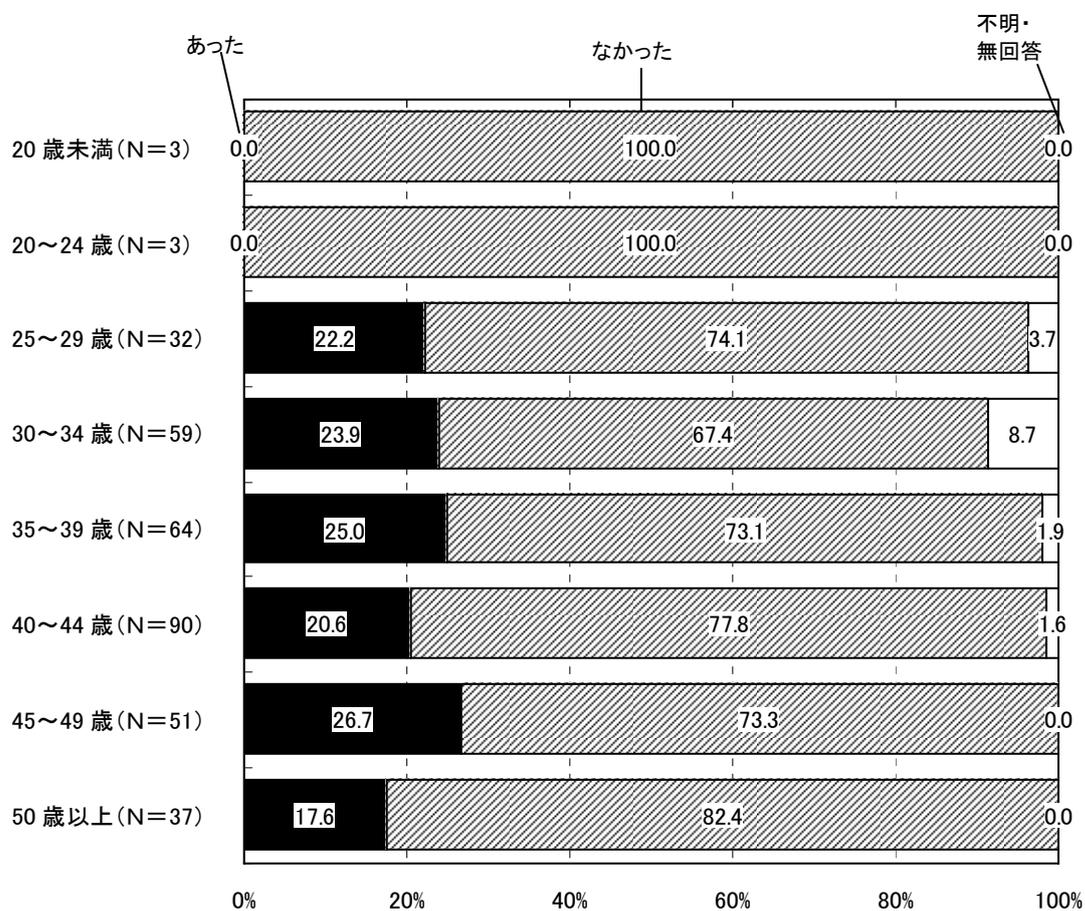
【ひとり親になった時の年齢別】

ひとり親になった時の年齢別にみると、母子家庭、父子家庭ともに年齢によって大きな差はみられない。

■ 母子家庭



■ 父子家庭

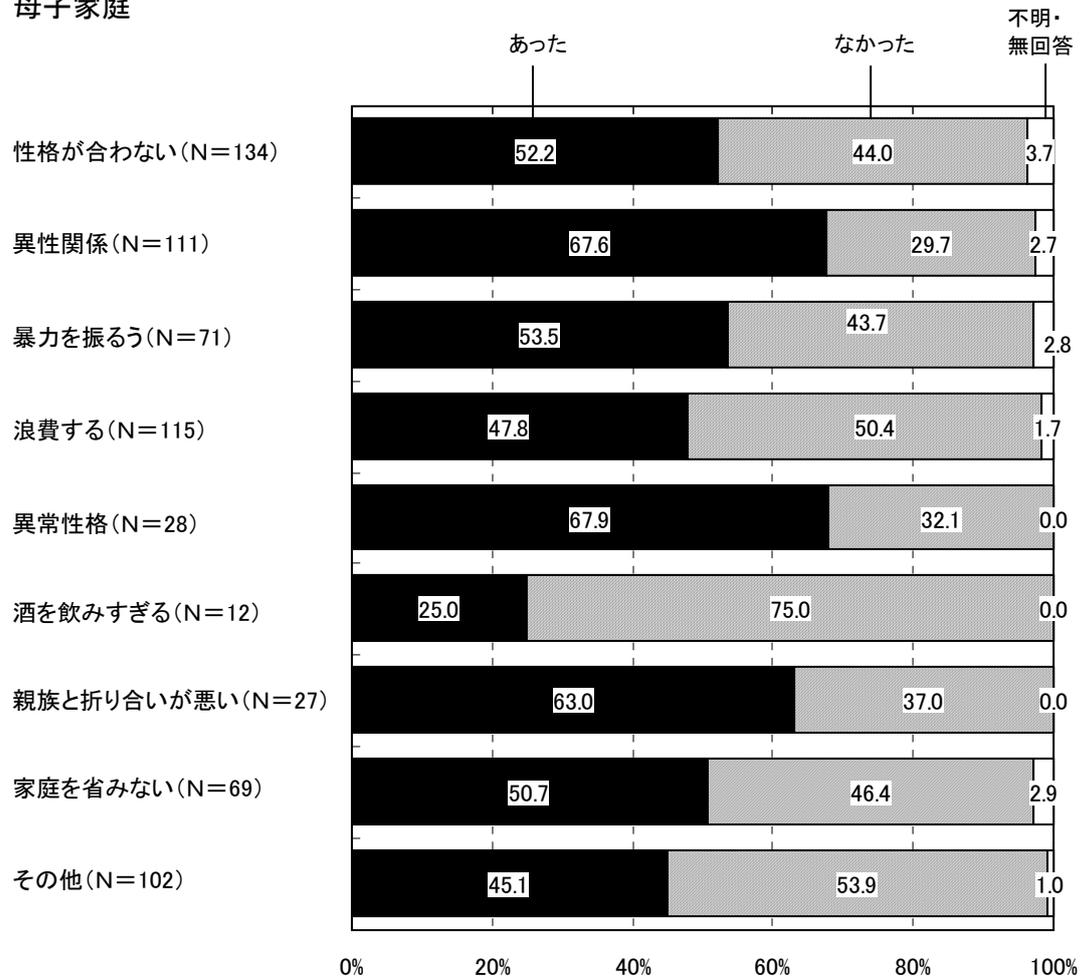


【離婚の理由別】

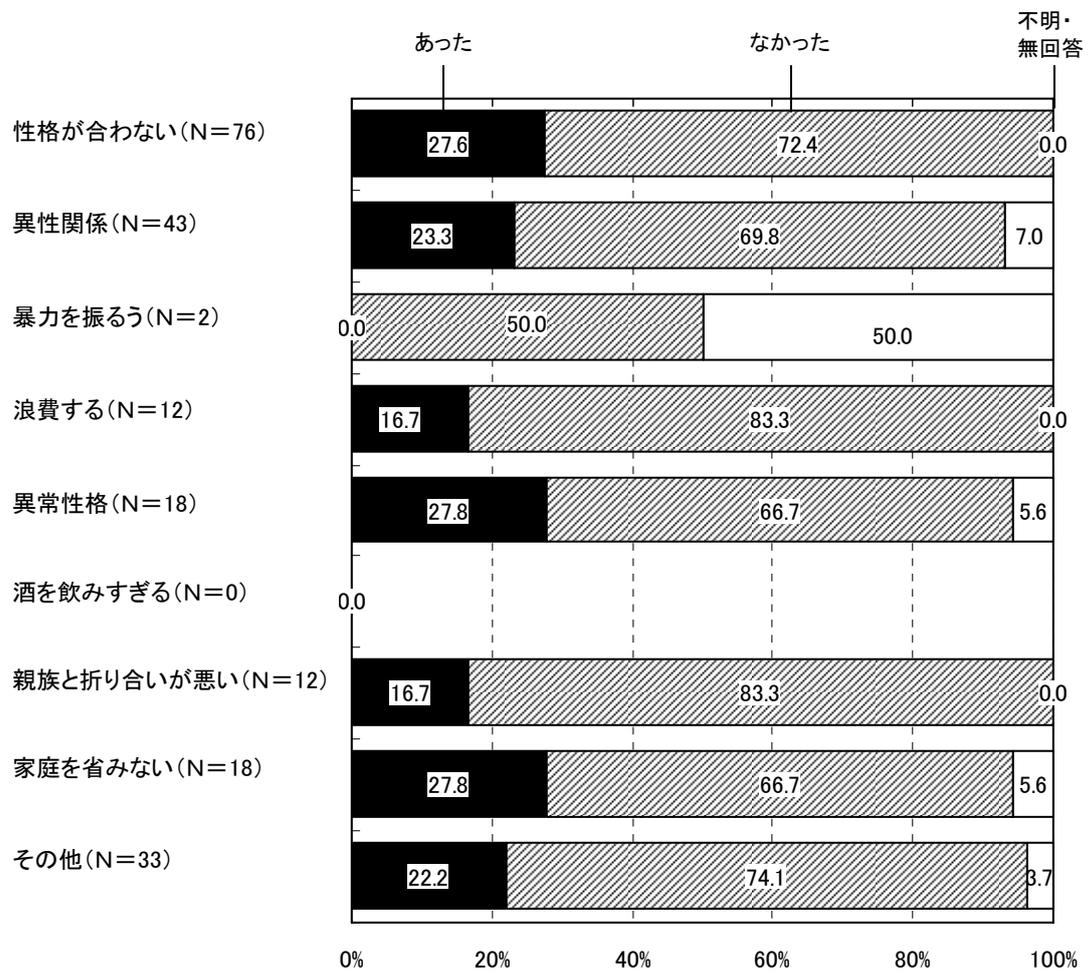
離婚の理由別にみると、母子家庭では、「酒を飲みすぎる」について、他の区分と比較して「なかった」の割合が高くなっている。

父子家庭では、「浪費する」、「親族と折り合いが悪い」について、「なかった」の割合が8割を超えている。

■ 母子家庭



■ 父子家庭



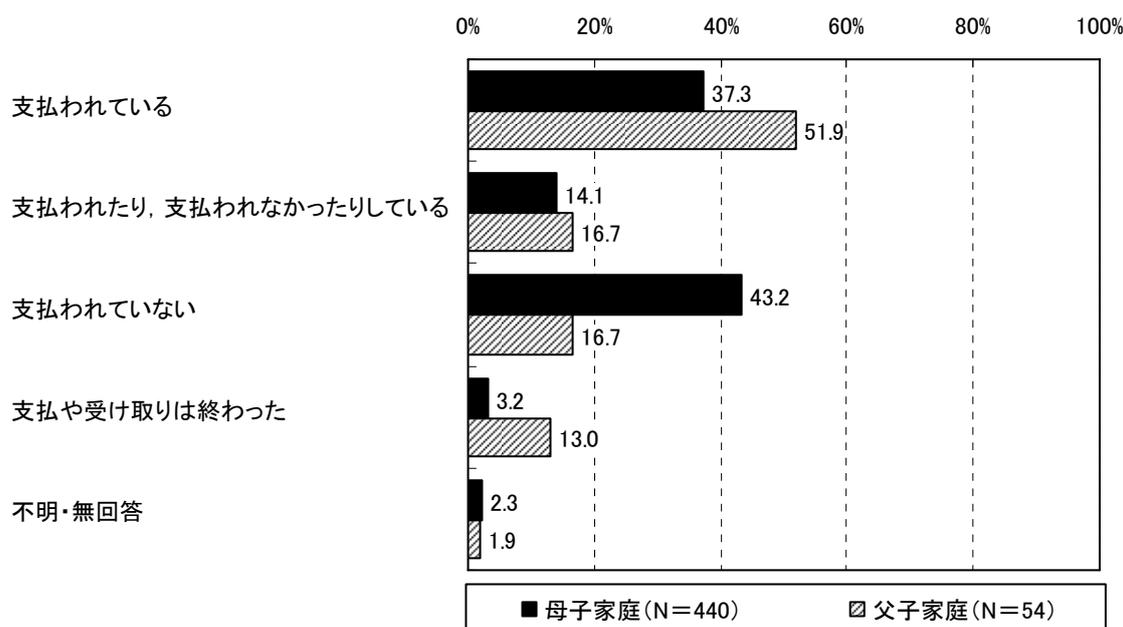
(3) 「養育費」に関する取り決めがあった方だけにお尋ねします。

「養育費」は取り決めどおりに支払われていますか。

(母子 問 27, 父子 問 26)

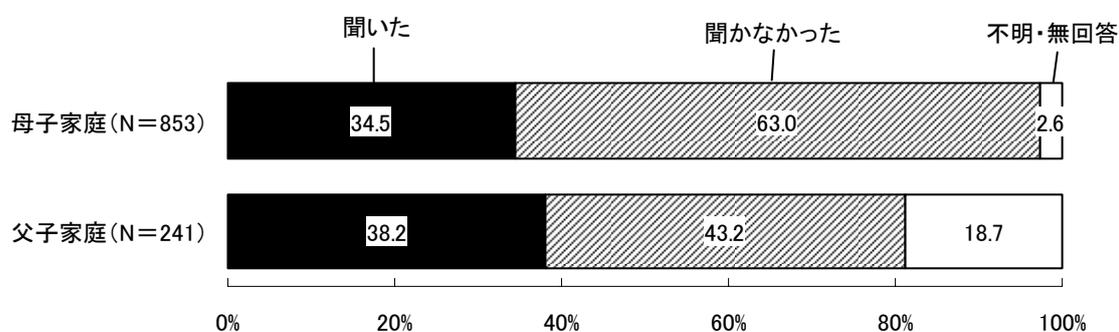
母子家庭では「支払われていない」が43.2%と最も高く、次いで「支払われている」が37.3%となっている。

父子家庭では「支払われている」が51.9%と最も高く、次いで「支払われたり、支払われなかったりしている」, 「支払われていない」が16.7%となっている。



(4) 離婚の際、あなたはお子さんにどちらの配偶者と暮らしたいかを聞きましたか。

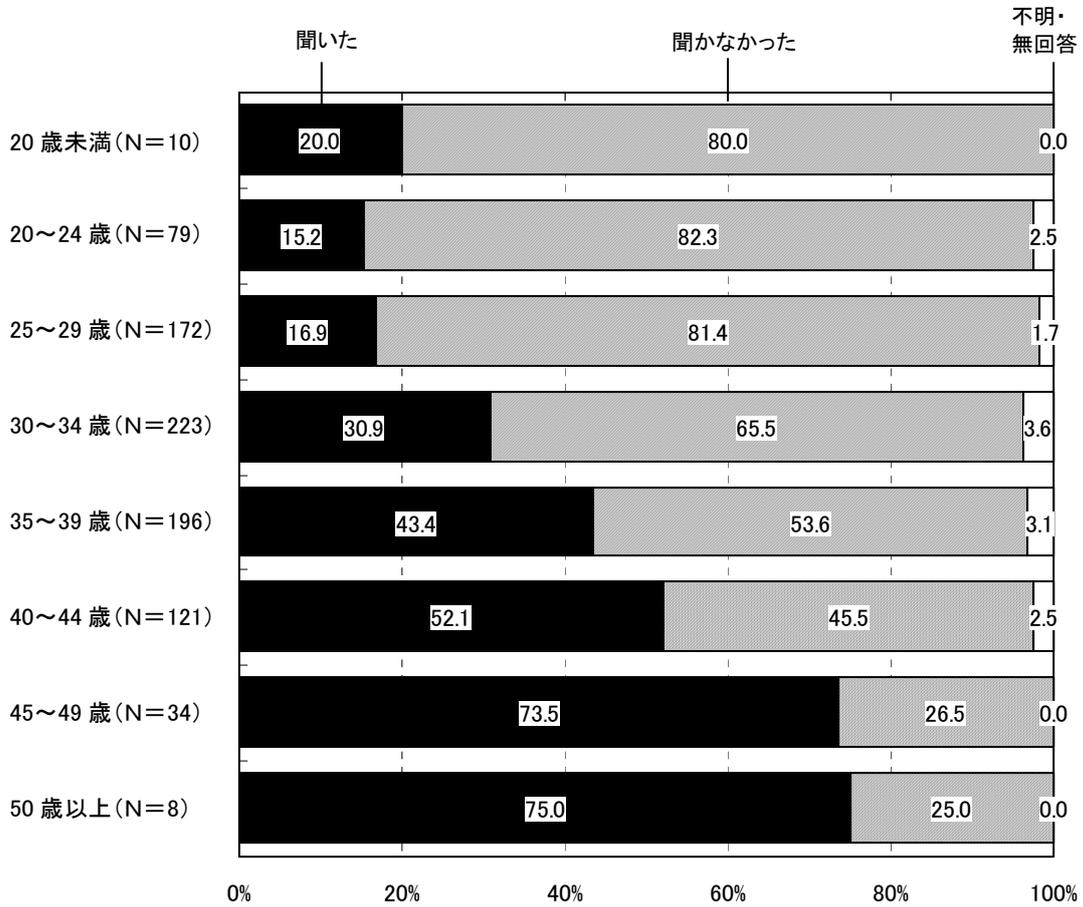
(母子 問 28, 父子 問 27)



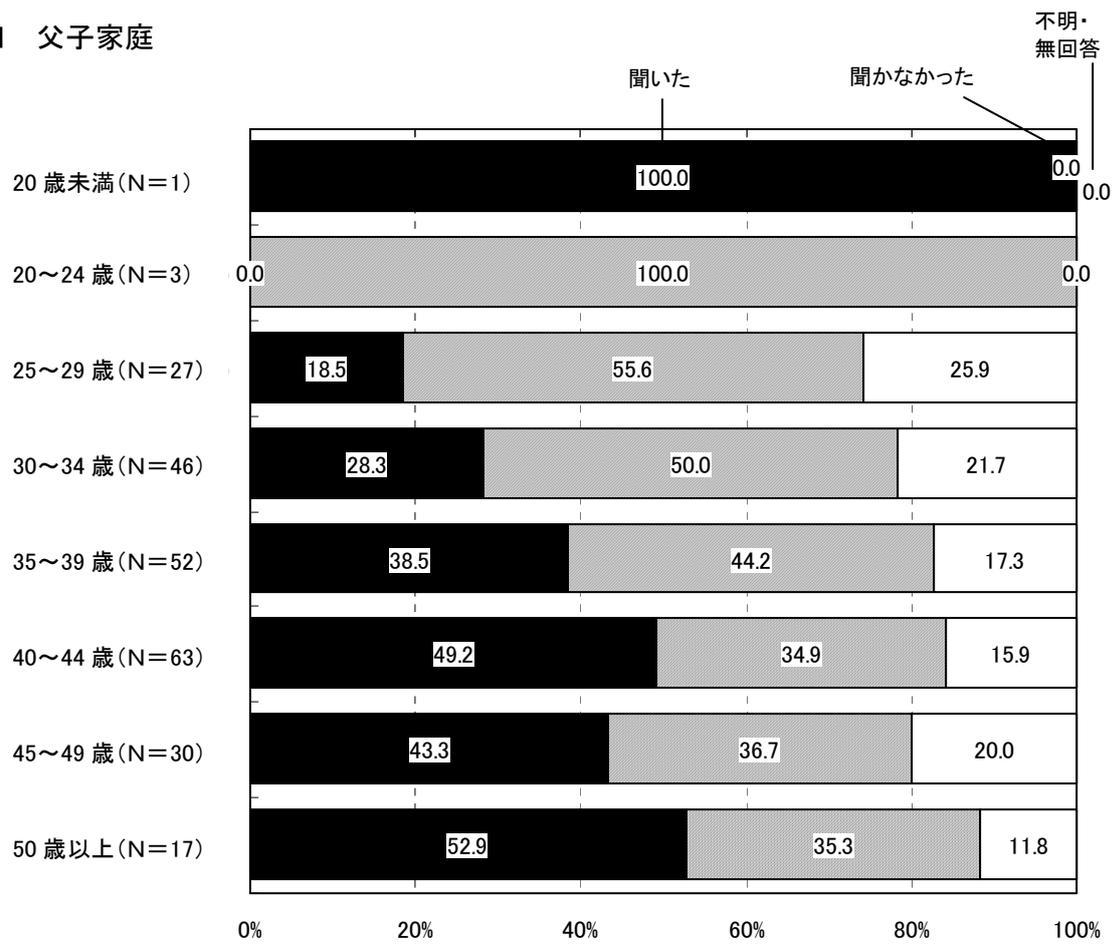
【ひとり親になった時の年齢別】

ひとり親になった時の年齢別にみると、母子家庭、父子家庭ともに年齢が上がるにつれて「聞いた」の割合が高くなっている。

■ 母子家庭



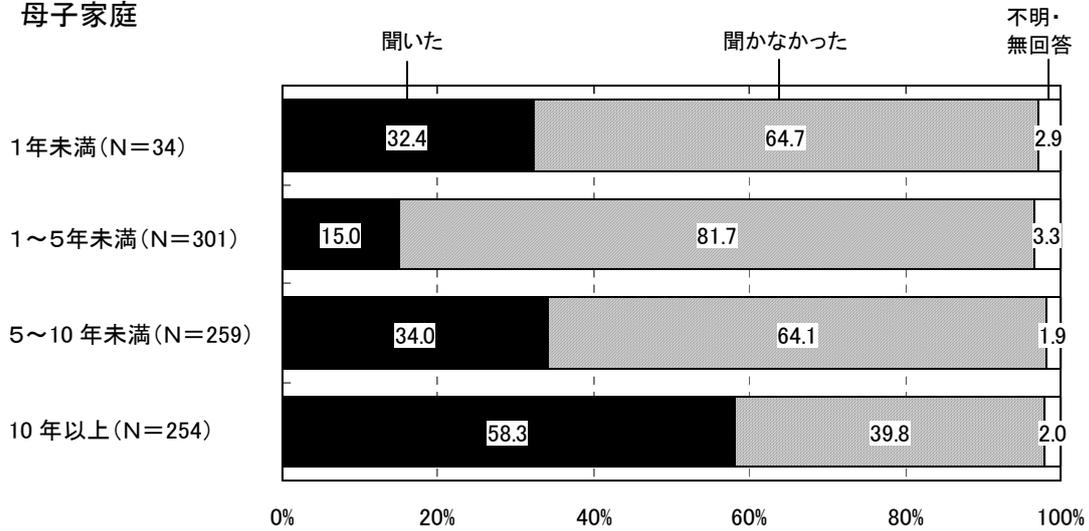
■ 父子家庭



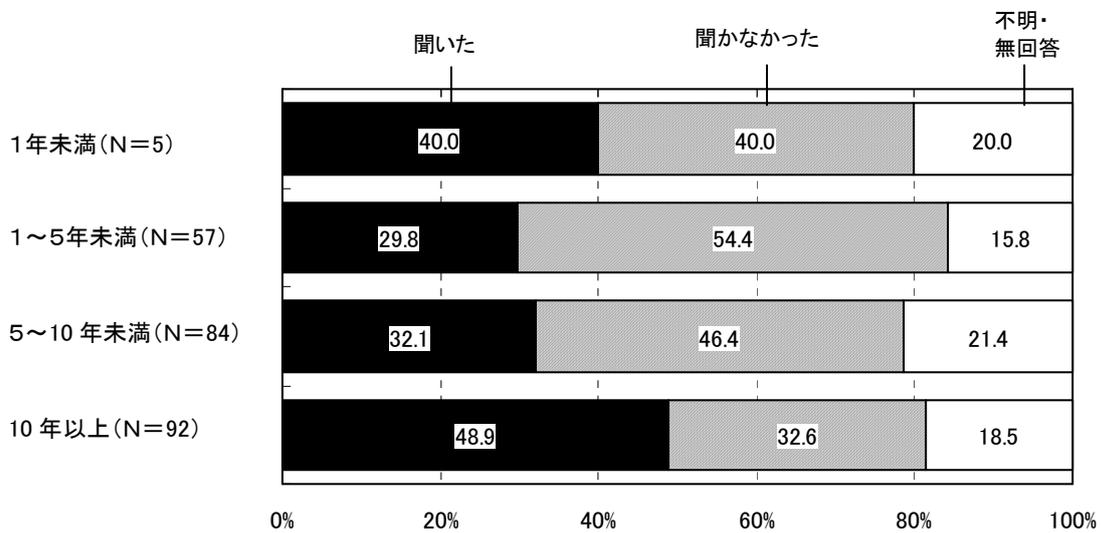
【婚姻期間別】

婚姻期間別にみると、母子家庭、父子家庭ともに「1年未満」を除き、婚姻期間が長くなるにつれて「聞いた」の割合が高くなる傾向がある。

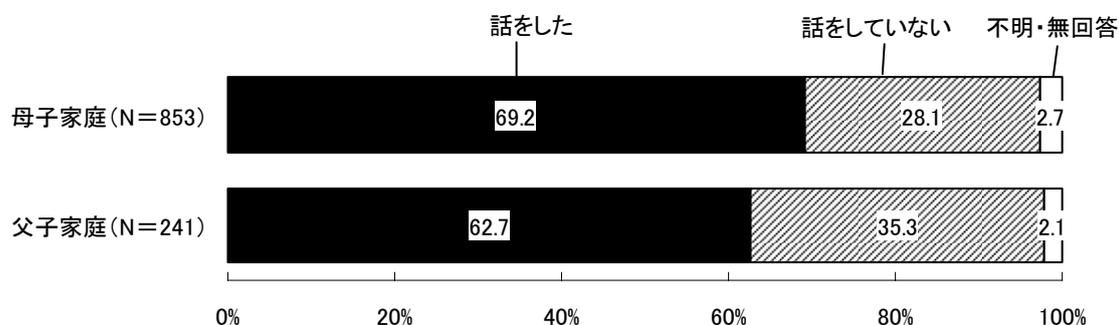
■ 母子家庭



■ 父子家庭



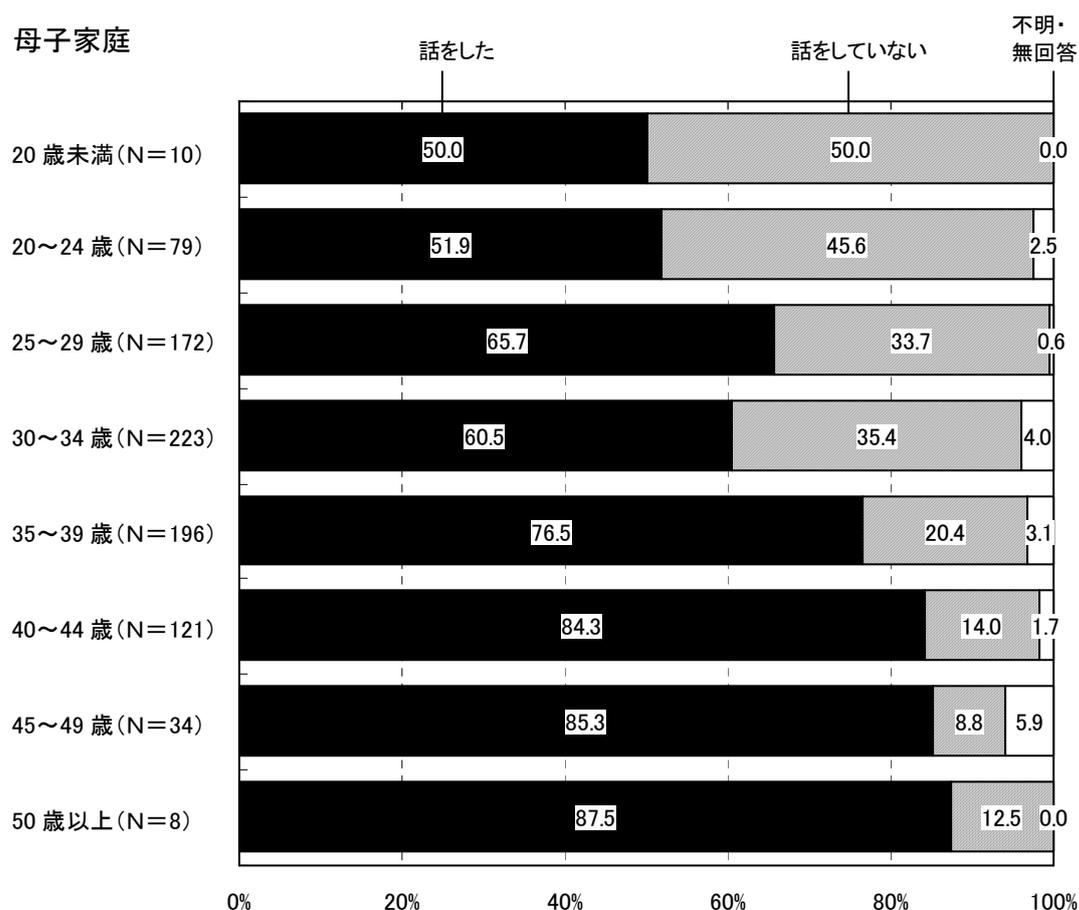
(5) あなたは、これまでにお子さんに離婚の理由や別れた配偶者のことを話しましたか。(母子 問 29, 父子 問 28)



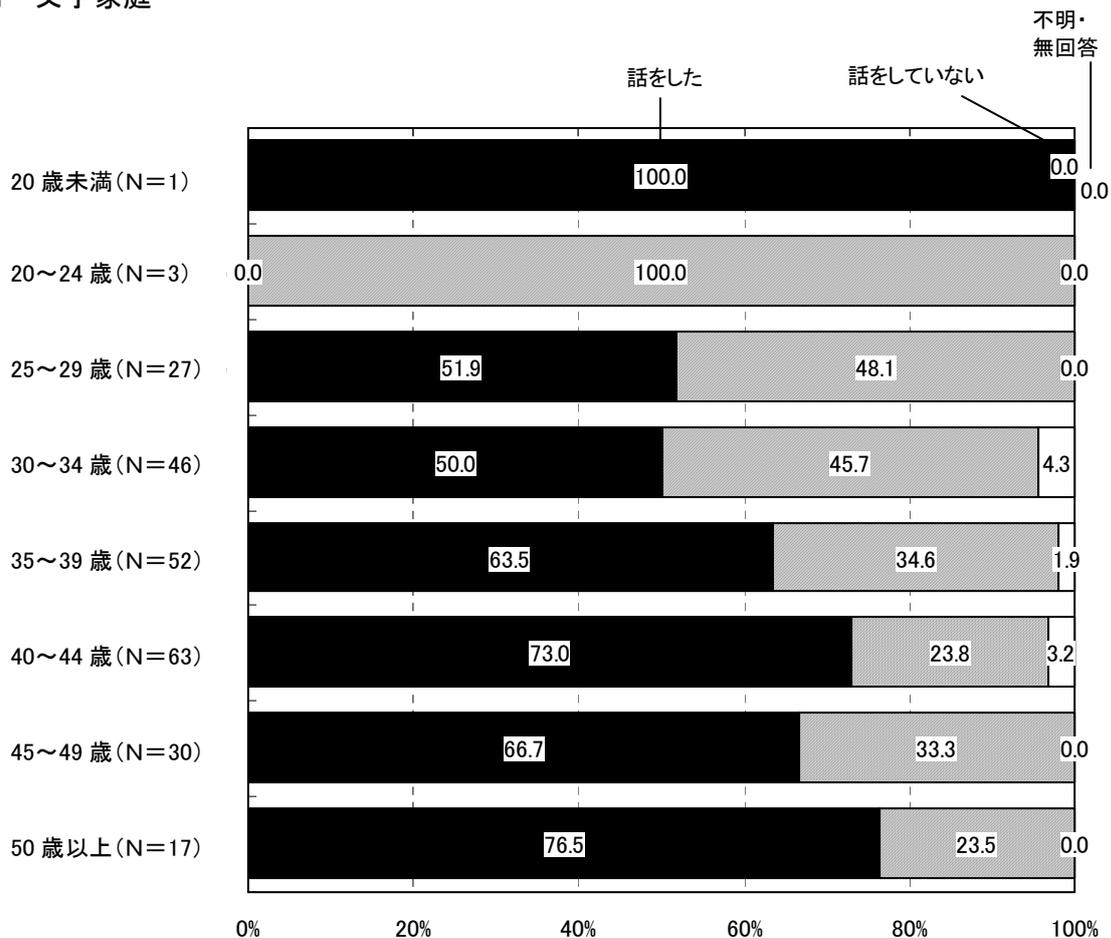
【ひとり親になった時の年齢別】

ひとり親になった時の年齢別にみると、母子家庭、父子家庭ともに、年齢が上がるにつれて「話をした」の割合が高くなる傾向がある。

■ 母子家庭



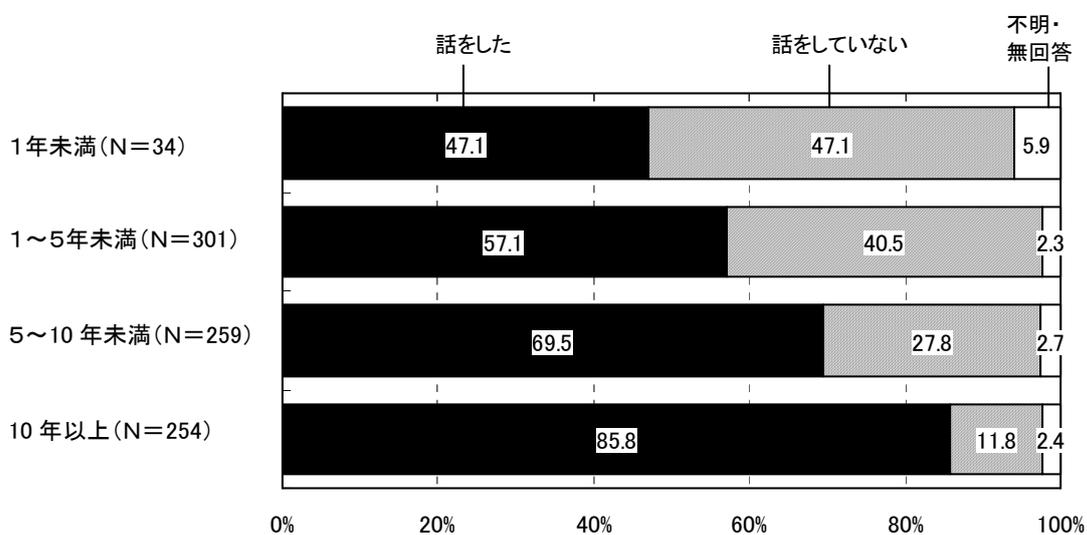
■ 父子家庭



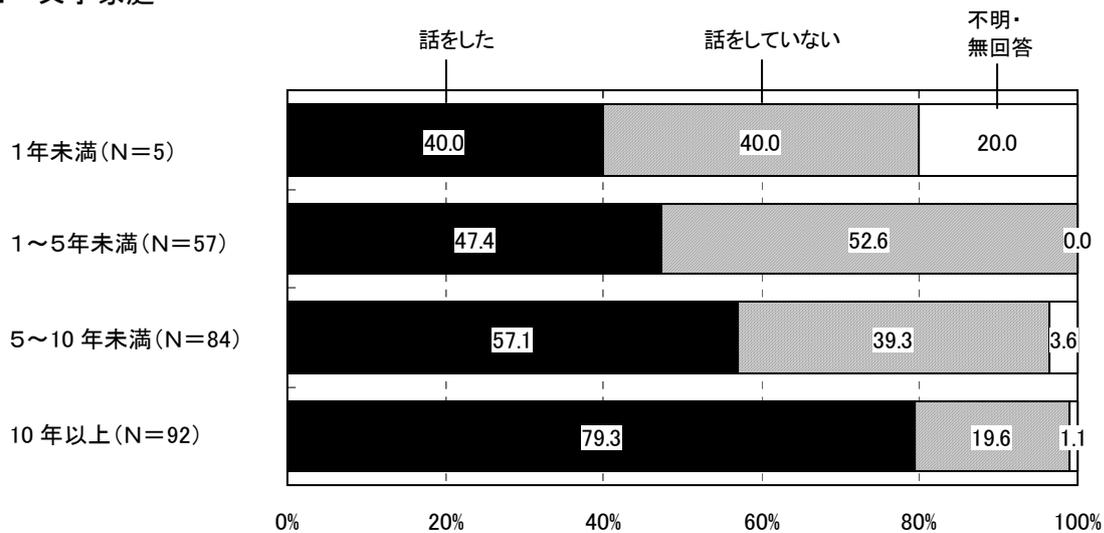
【婚姻期間別】

婚姻期間別にみると、母子家庭、父子家庭ともに、期間が長くなるにつれて「話をした」の割合が高くなる傾向がある。

■ 母子家庭



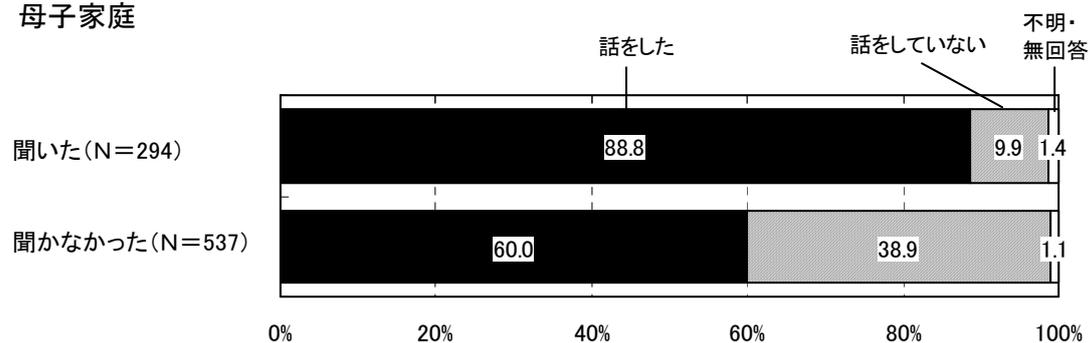
■ 父子家庭



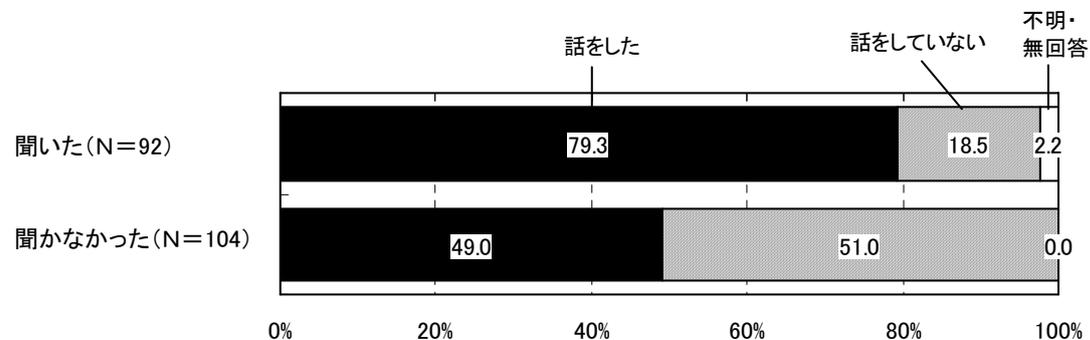
【子どもに対しての意思確認の有無別】

子どもに対しての意思確認の有無別にみると、母子家庭、父子家庭ともに、「聞かなかった」よりも「聞いた」のほうが「話をした」の割合が高くなっている。

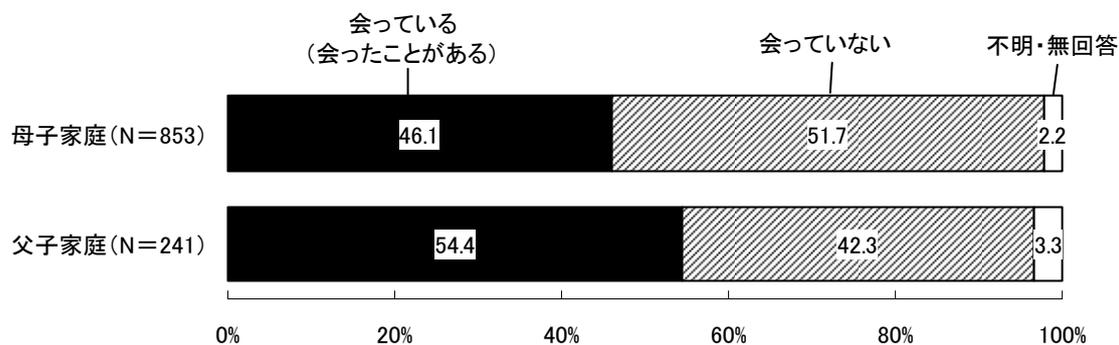
■ 母子家庭



■ 父子家庭



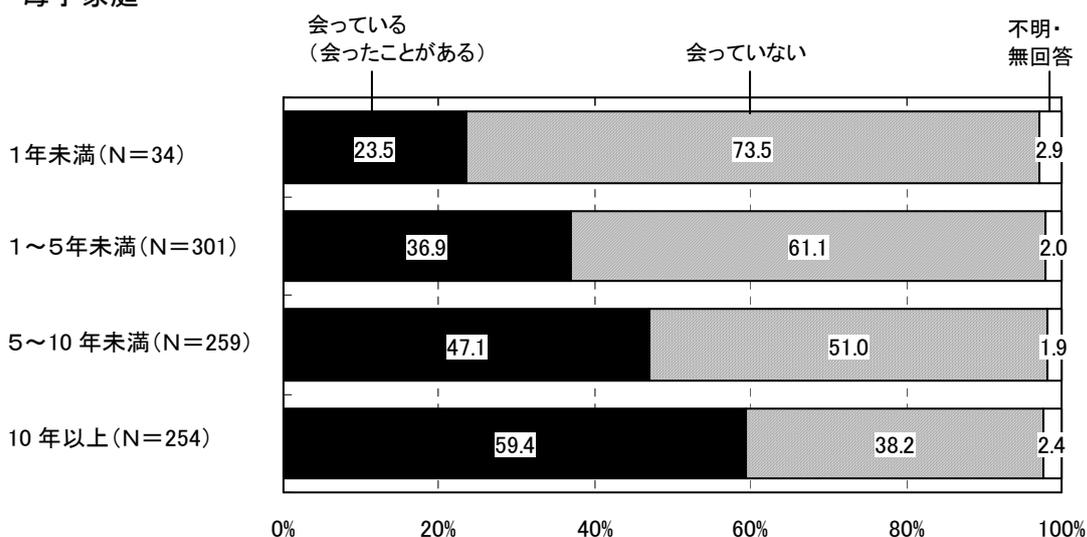
(6) お子さんは別れた配偶者と会っていますか。(母子 問30, 父子 問29)



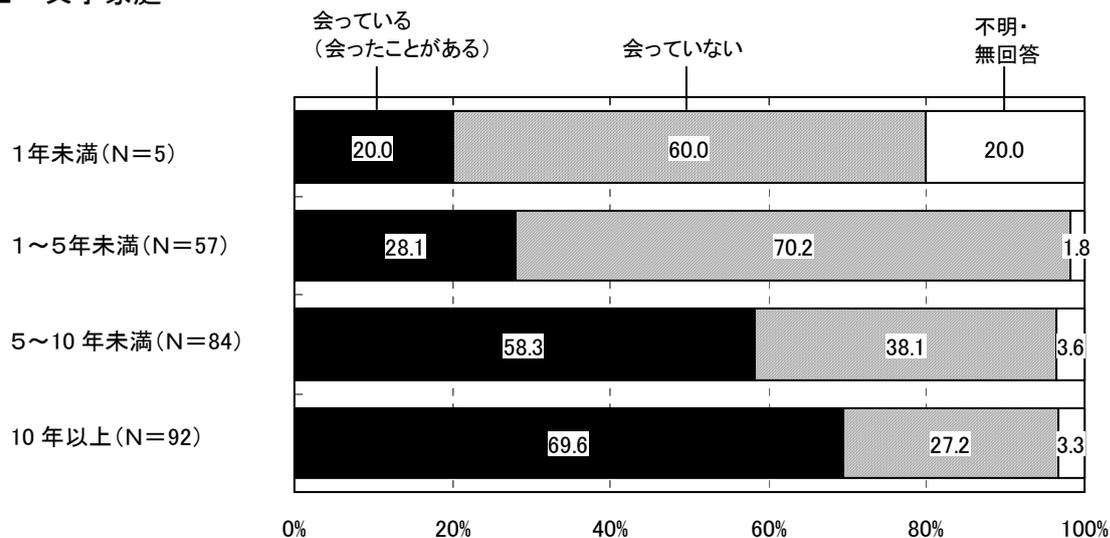
【婚姻期間別】

婚姻期間別にみると、母子家庭、父子家庭ともに、期間が長くなるにつれて「会っている (会ったことがある)」の割合が高くなる傾向がある。

■ 母子家庭



■ 父子家庭

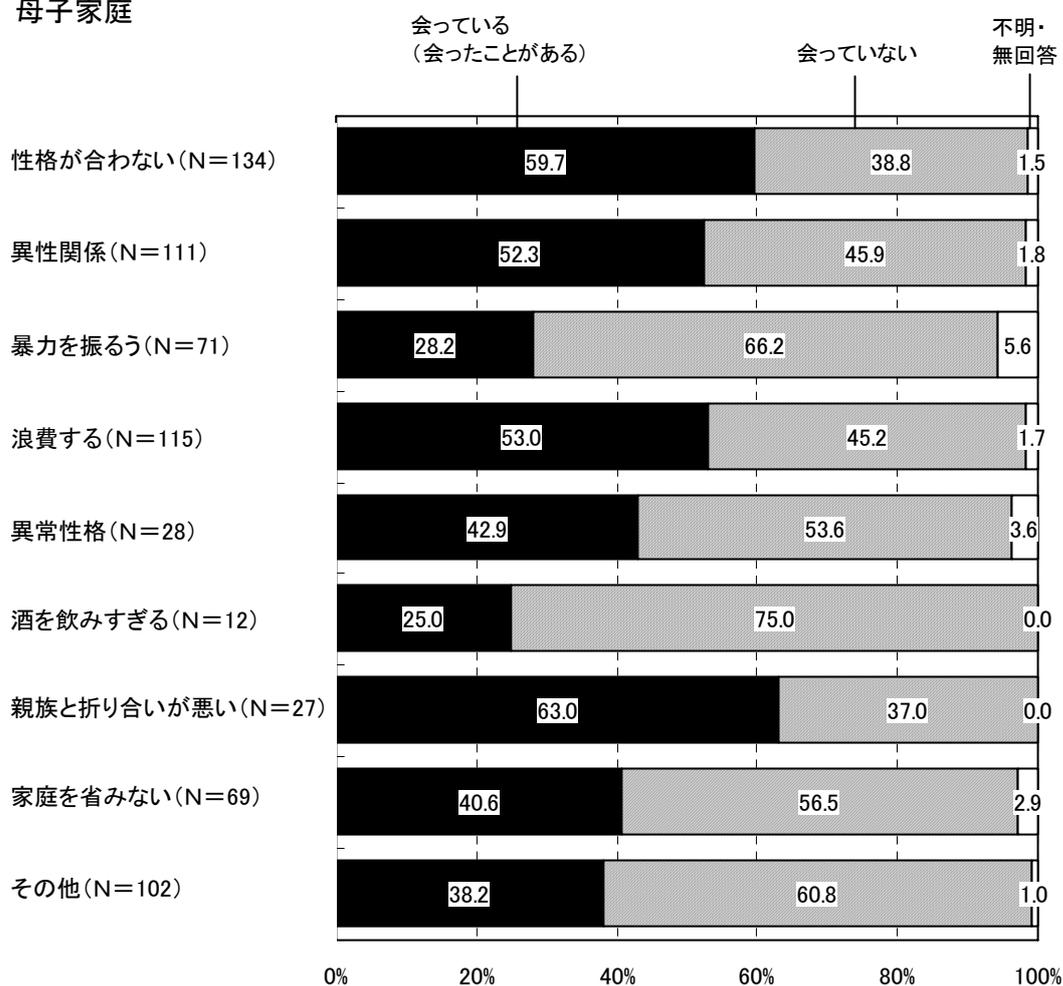


【離婚の理由別】

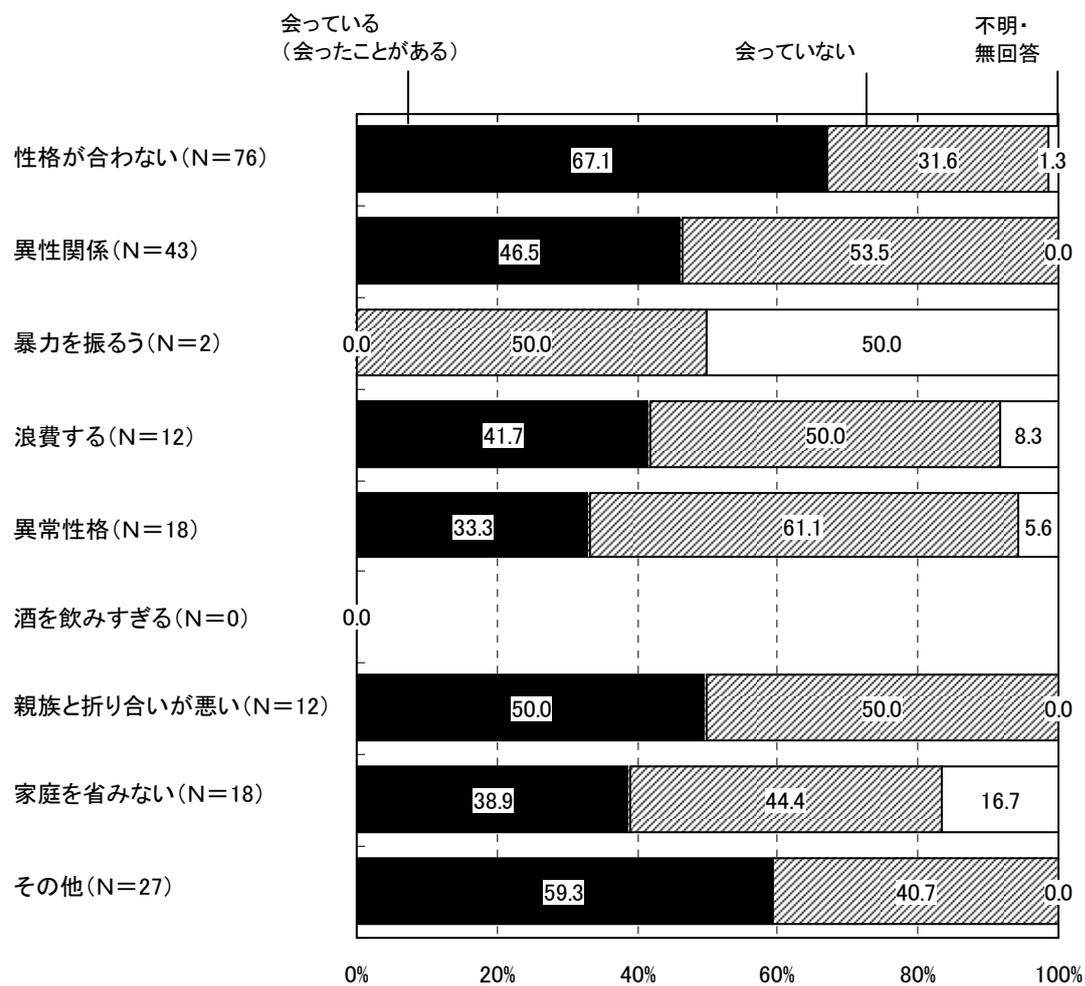
離婚の理由別にみると、母子家庭では、「暴力を振るう」、「酒を飲みすぎる」について、他の区分と比較して「会っていない」の割合が高くなっている。

父子家庭では、「異常性格」について、他の区分と比較して「会っていない」の割合が高くなっている。

■ 母子家庭



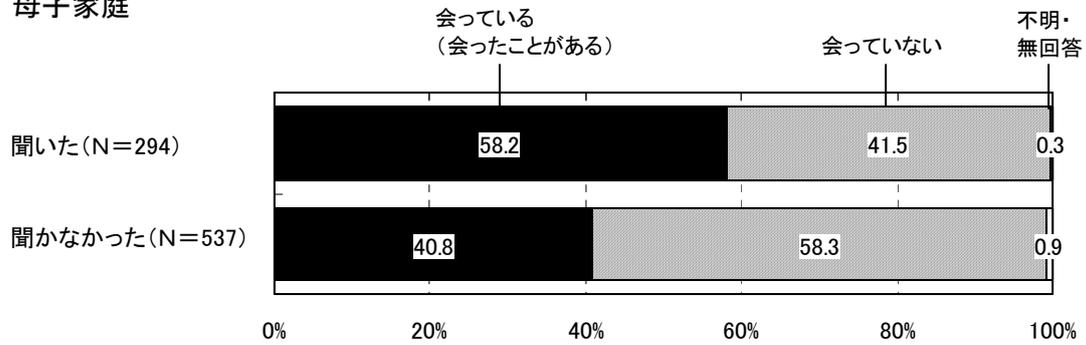
■ 父子家庭



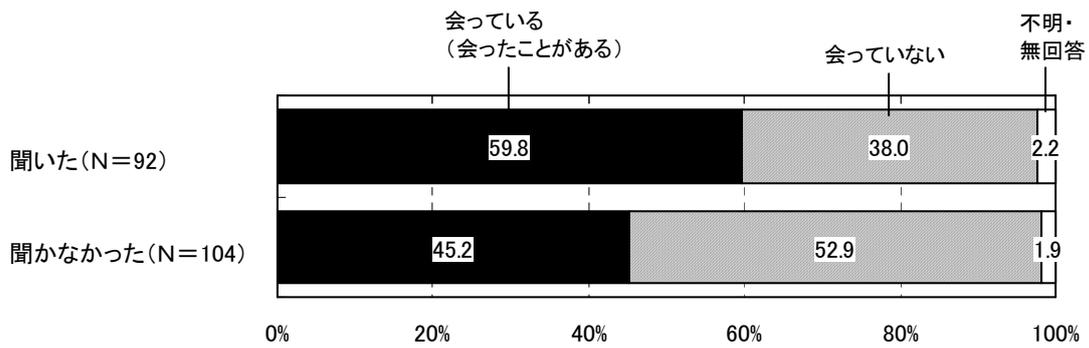
【子どもに対しての意思確認の有無別】

子どもに対しての意思確認の有無別にみると、母子家庭、父子家庭ともに、「聞かなかった」よりも「聞いた」のほうが「会っている（会ったことがある）」の割合が高くなっている。

■ 母子家庭



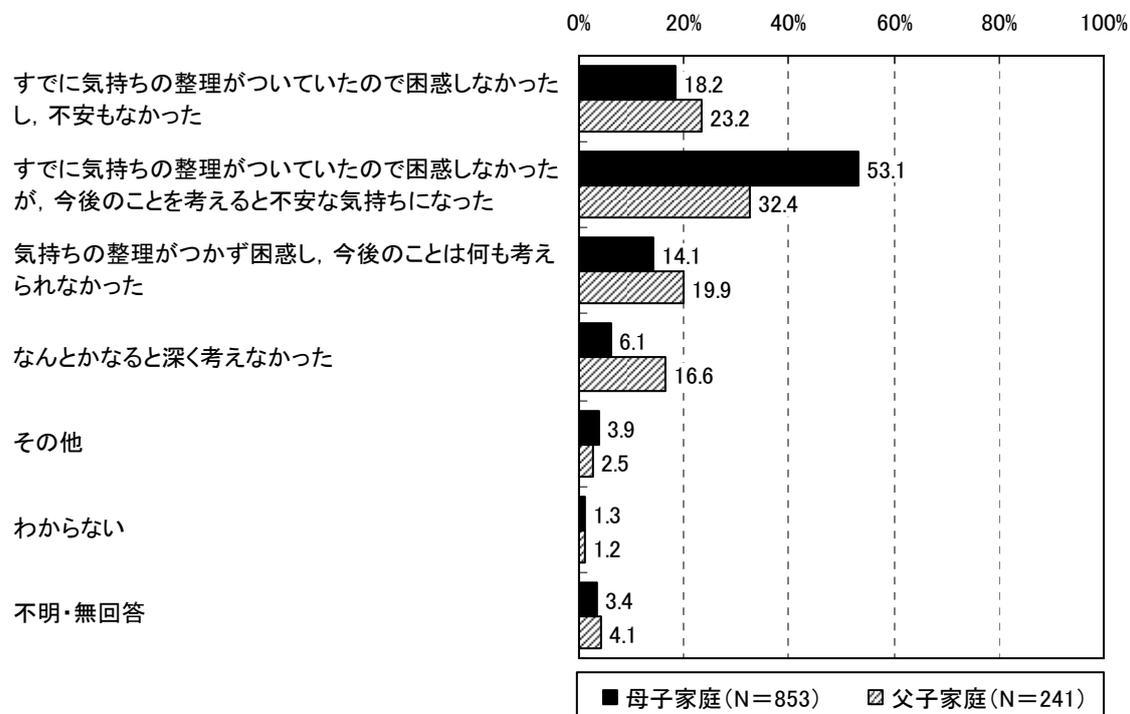
■ 父子家庭



(7) ひとり親家庭になられた直後のお気持ちはどうでしたか。

(母子 問 31, 父子 問 30)

母子家庭, 父子家庭ともに「すでに気持ちの整理がついていたので困惑しなかったが, 今後のことを考えると不安な気持ちになった」が53.1%, 32.4%と最も高くなっている。

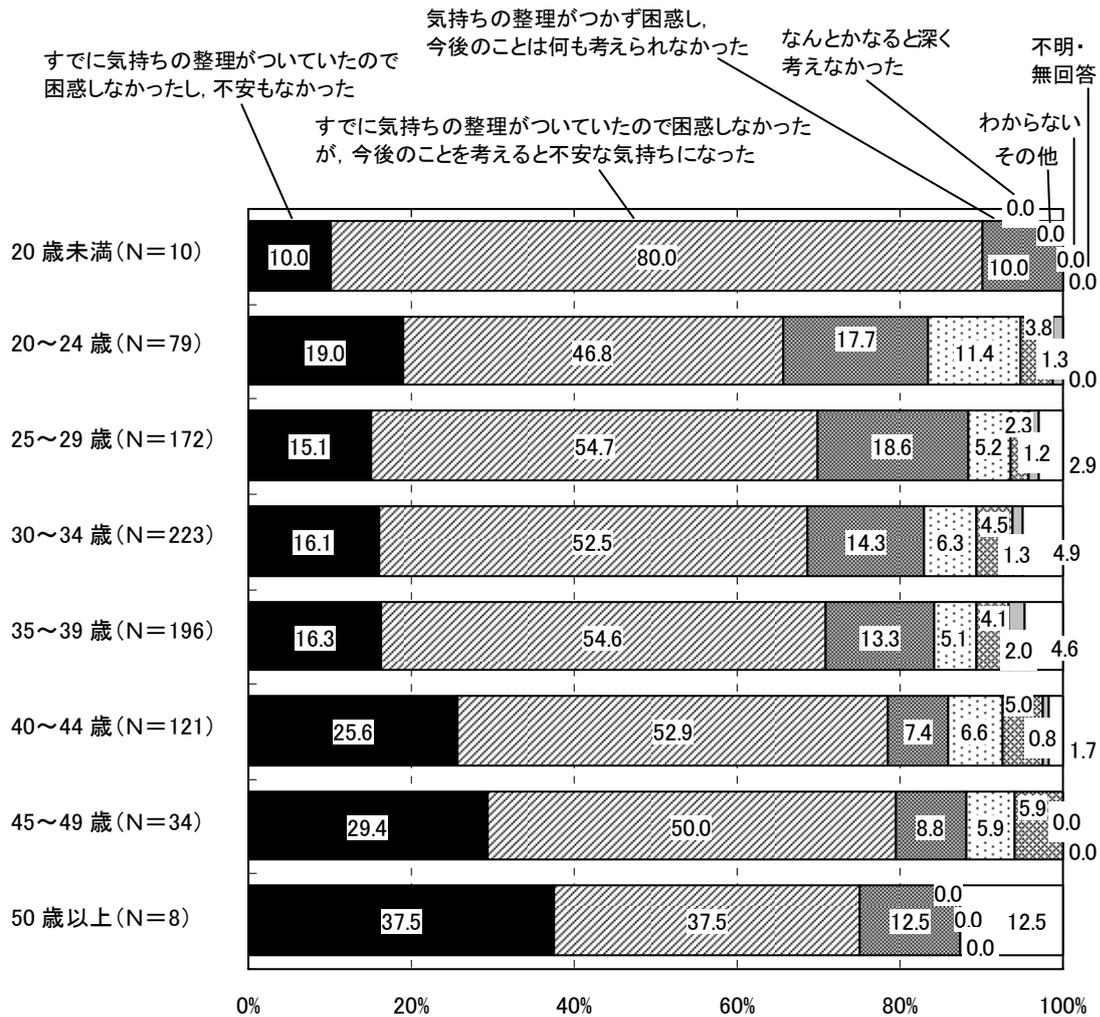


【ひとり親になった時の年齢別】

ひとり親になった時の年齢別にみると、母子家庭では、年齢が上がるにつれて「すでに気持ちの整理がついていたので困惑しなかったし、不安もなかった」の割合が高くなる傾向がある。

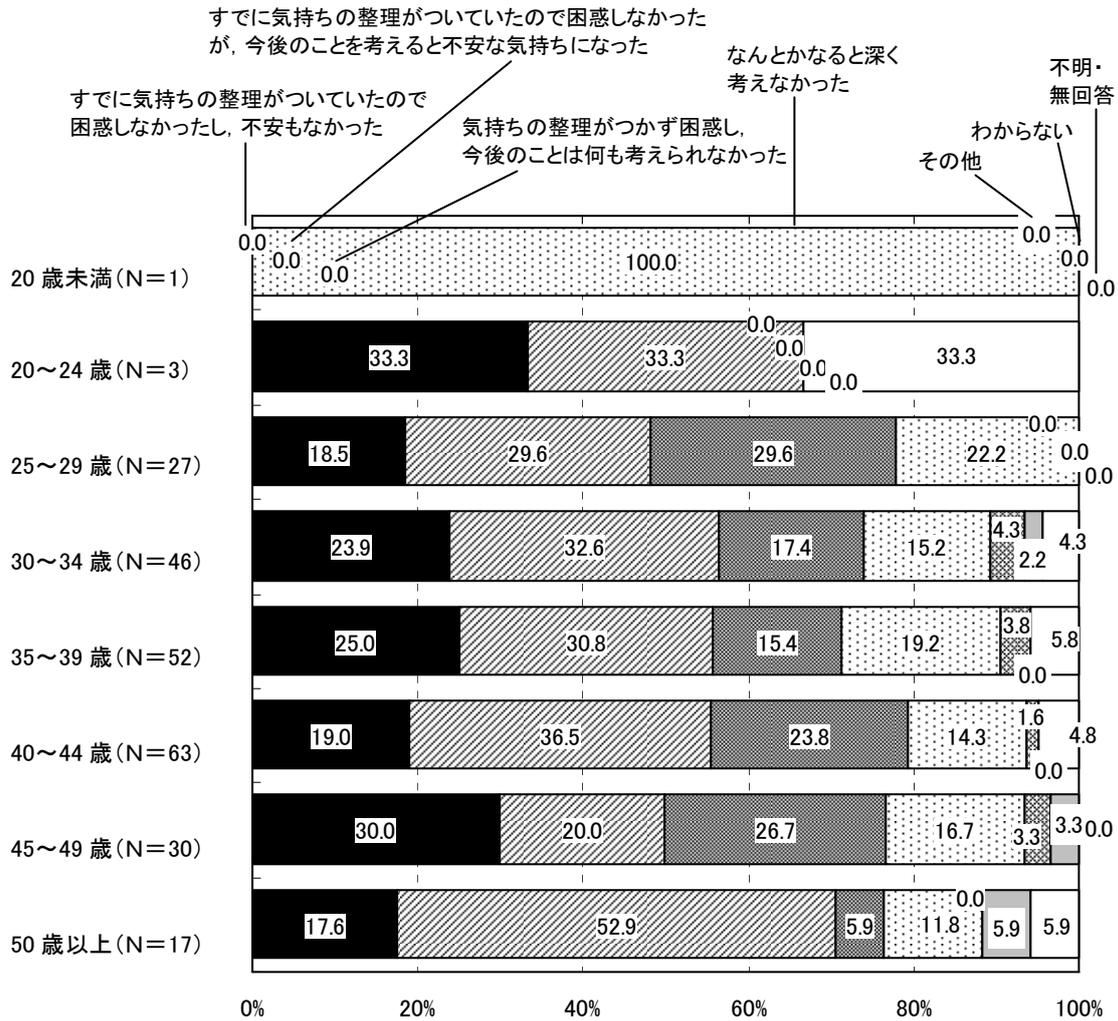
父子家庭では、「50歳以上」について、「すでに気持ちの整理がついていたし、困惑しなかったが、今後のことを考えると不安な気持ちになった」の割合が高くなっている。

■ 母子家庭



- すでに気持ちの整理がついていたので困惑しなかったし、不安もなかった
- ▨すでに気持ちの整理がついていたので困惑しなかったが、今後のことを考えると不安な気持ちになった
- ▩気持ちの整理がつかず困惑し、今後のことは何も考えられなかった
- なんとなくかと深く考えなかった
- ▤その他
- わからない
- 不明・無回答

■ 父子家庭

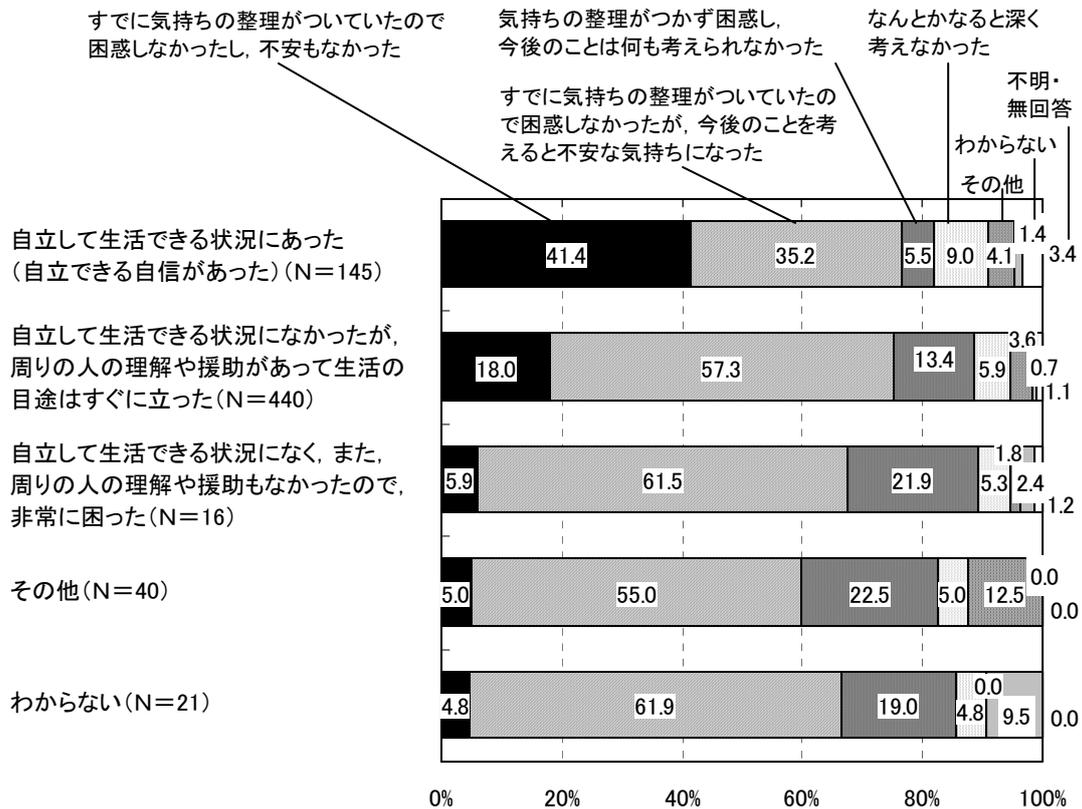


- すでに気持ちの整理がついていたので困惑しなかったし、不安もなかった
- ▣ すでに気持ちの整理がついていたので困惑しなかったが、今後のことを考えると不安な気持ちになった
- ▨ 気持ちの整理がつかず困惑し、今後のことは何も考えられなかった
- なんとかなんとかと深く考えなかった
- ▩ その他
- わからない
- 不明・無回答

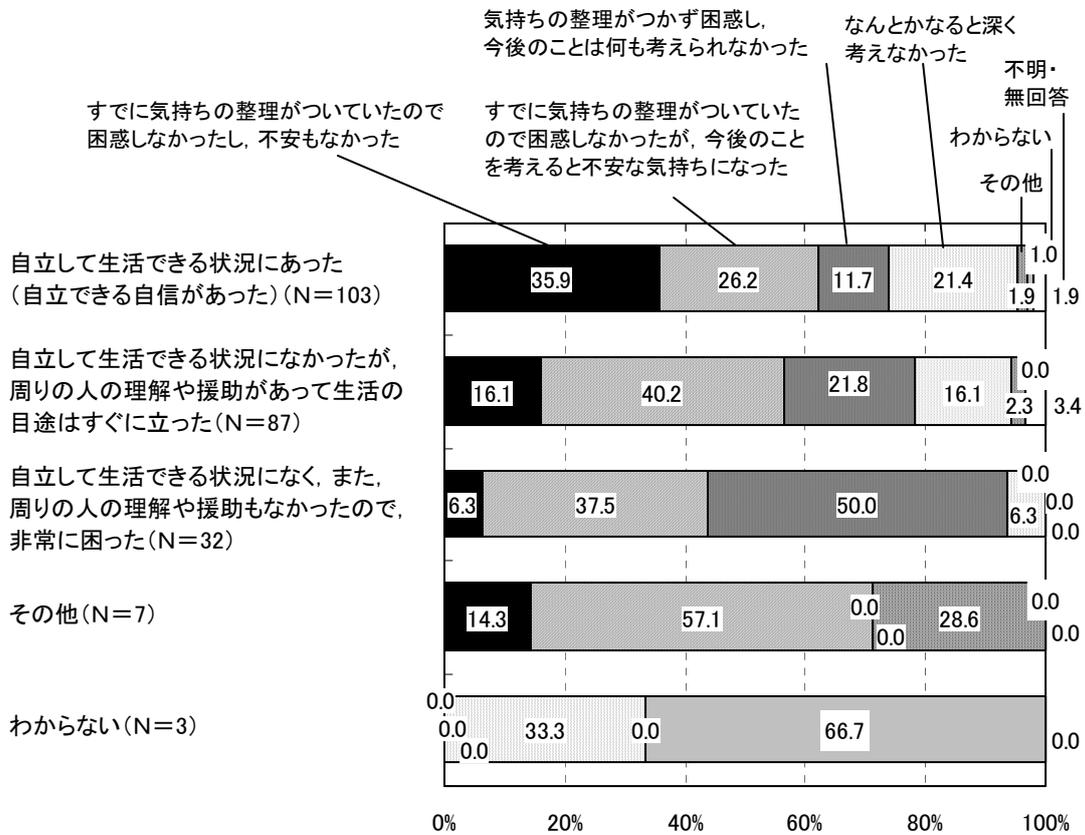
【ひとり親家庭になった直後の生活状況別】

ひとり親家庭になった直後の生活状況年齢別にみると、母子家庭、父子家庭ともに、「自立して生活できる状況にあった（自立できる自信があった）」について、他の区分と比較して「すでに気持ちの整理がついていたので困惑しなかったし、不安もなかった」の割合が高くなっている。

■ 母子家庭



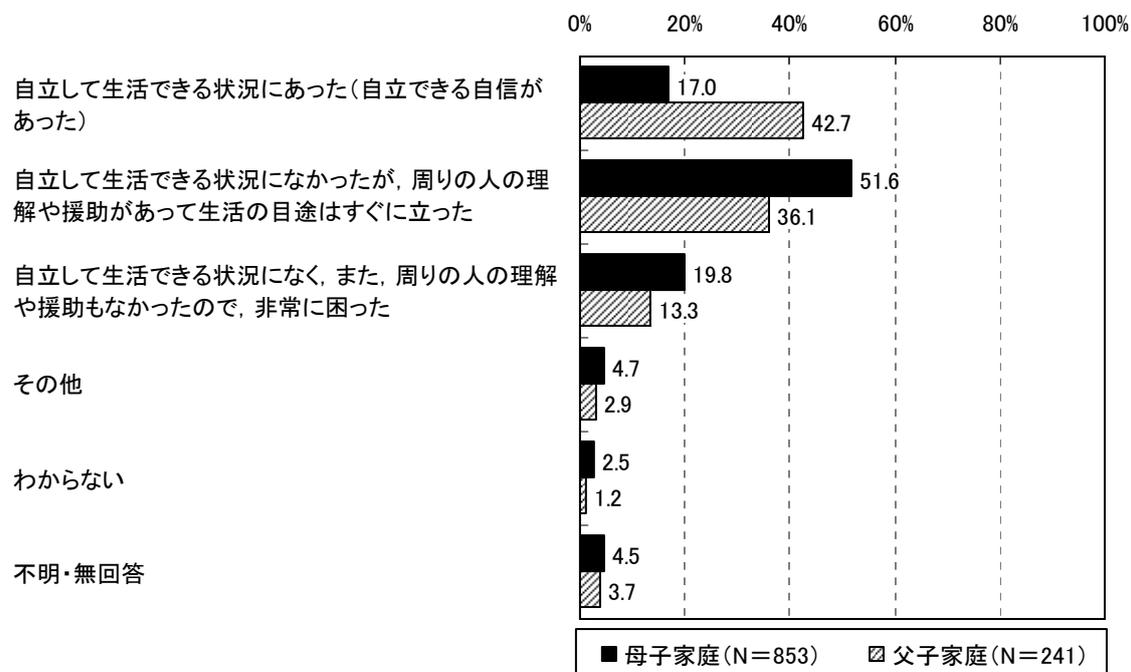
■ 父子家庭



(8) ひとり親家庭になられた直後の生活状況はどうでしたか。

(母子 問 32, 父子 問 31)

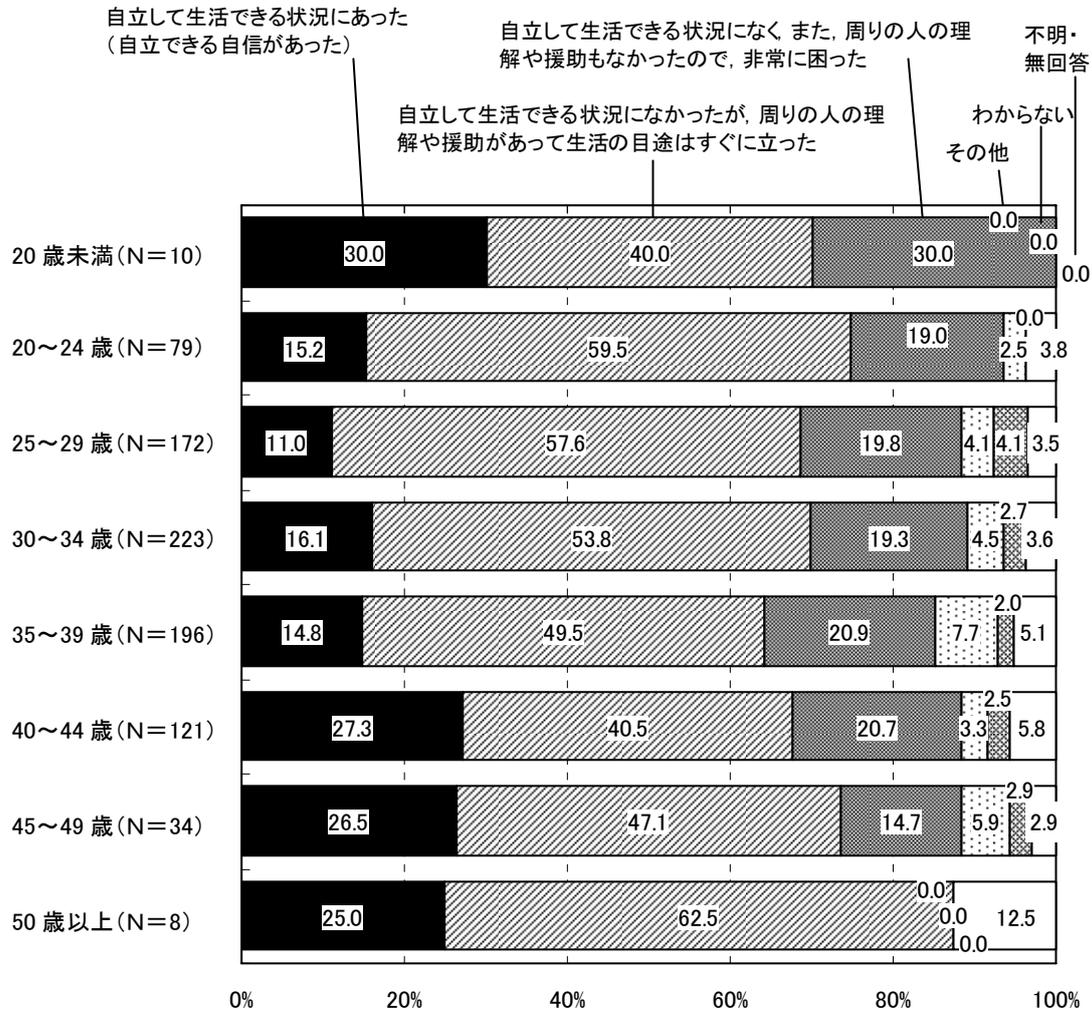
母子家庭では「自立して生活できる状況になかったが、周りの人の理解や援助があって生活の目途はすぐに立った」が 51.6%と最も高く、父子家庭では「自立して生活できる状況にあった（自立できる自信があった）」が 42.7%と最も高くなっている。



【ひとり親になった時の年齢別】

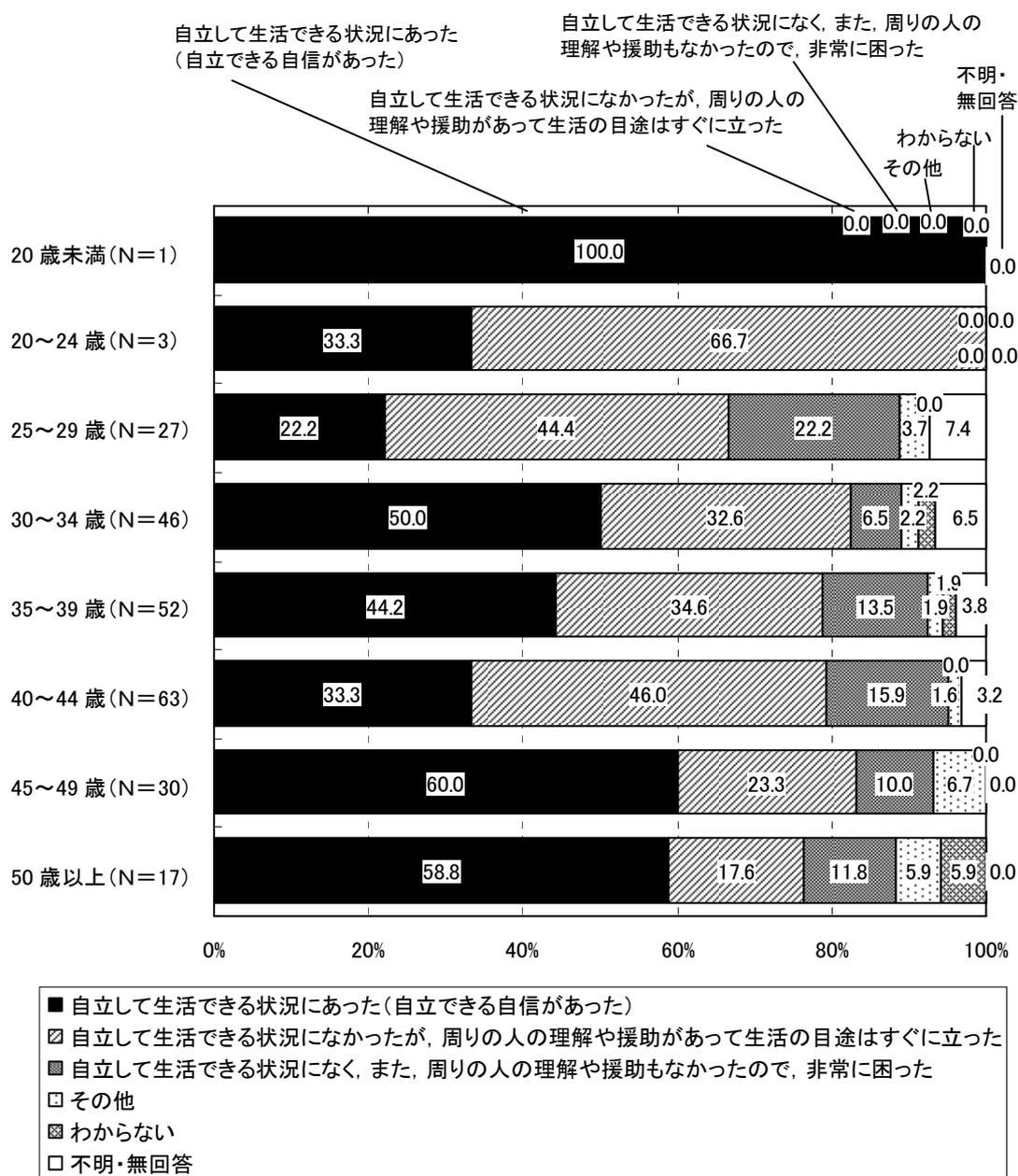
ひとり親になった時の年齢別にみると、母子家庭、父子家庭ともに、すべての年齢区分において、「自立して生活できる状況になく、また、周りの人の理解や援助もなかったため、非常に困った」の割合は3割以下となっている。

■ 母子家庭



- 自立して生活できる状況にあった(自立できる自信があった)
- ▨ 自立して生活できる状況になかったが、周りの人の理解や援助があって生活の目途はすぐに立った
- 自立して生活できる状況になく、また、周りの人の理解や援助もなかったため、非常に困った
- その他
- ▨ わからない
- 不明・無回答

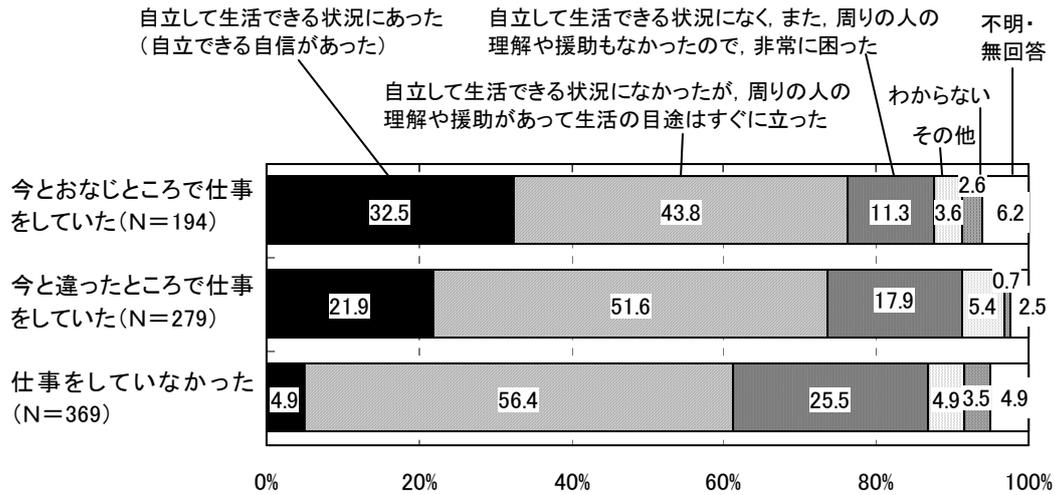
■ 父子家庭



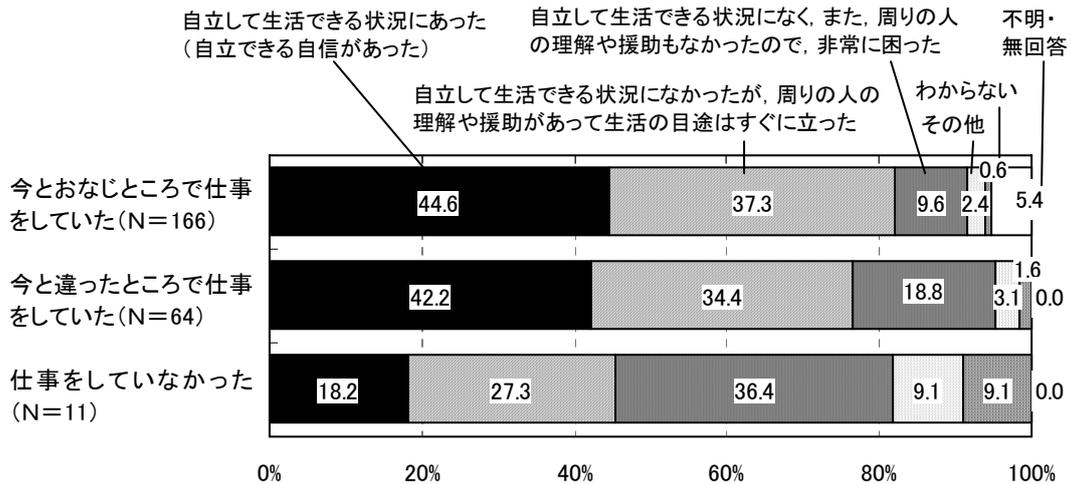
【ひとり親になった時の就労状況別】

ひとり親になった時の就労状況別にみると、母子家庭、父子家庭ともに、「仕事をしていなかった」については、他の区分と比較すると、「自立して生活できる状況にあった(自立できる自信があった)」の割合が低くなっている。

■ 母子家庭



■ 父子家庭



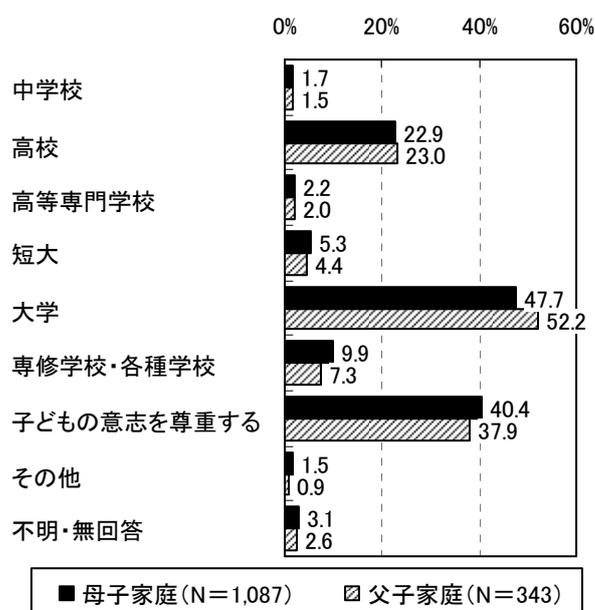
8 お子さんの育児や教育について

(1) お子さんにはどこまで進学してほしいと思っていますか。(お子さんが複数いて進学希望先が異なる場合は、すべてお答えください)。(複数回答可)

(母子 問 33, 父子 問 32)

母子家庭では「大学」が 47.7%と最も高く、次いで「子どもの意志を尊重する」が 40.4%となっている。

父子家庭でも「大学」が 52.2%と最も高く、次いで「子どもの意志を尊重する」が 37.9%となっている。



【世帯年収別】

世帯年収別にみると、母子家庭では、「50万円未満」、「50～100万円未満」、「100～150万円未満」について、他の区分より「大学」の割合が低くなっている。

父子家庭では、250万円未満の各区分について、他の区分より「大学」の割合が低くなっている。

■ 母子家庭

単位：%

	回答者数 (人)	中学校	高校	高等専門学校	短大	大学	専修学校・各種学校	子どもの意志を尊重する	その他	不明・無回答
50万円未満	98	2.0	28.6	3.1	2.0	37.8	7.1	29.6	2.0	7.1
50～100万円未満	144	2.1	33.3	4.2	4.9	38.2	14.6	43.8	1.4	2.1
100～150万円未満	197	3.0	27.4	3.6	6.6	35.0	8.6	48.2	2.0	2.5
150～200万円未満	144	1.4	26.4	0.7	7.6	46.5	10.4	38.2	2.1	1.4
200～250万円未満	134	1.5	14.9	0.7	9.0	60.4	9.0	41.8	-	0.7
250～300万円未満	68	1.5	16.2	-	4.4	60.3	10.3	32.4	-	1.5
300～350万円未満	51	-	13.7	2.0	3.9	70.6	15.7	33.3	-	2.0
350～400万円未満	32	-	15.6	-	-	59.4	-	37.5	-	6.3
400～500万円未満	56	-	10.7	-	1.8	64.3	10.7	44.6	-	1.8
500～600万円未満	28	-	14.3	3.6	3.6	60.7	10.7	39.3	-	3.6
600～700万円未満	22	-	4.5	-	4.5	63.6	9.1	50.0	-	4.5
700～800万円未満	13	-	-	-	-	69.2	7.7	15.4	7.7	-
800万円以上	16	-	-	-	6.3	75.0	6.3	31.3	25.0	-

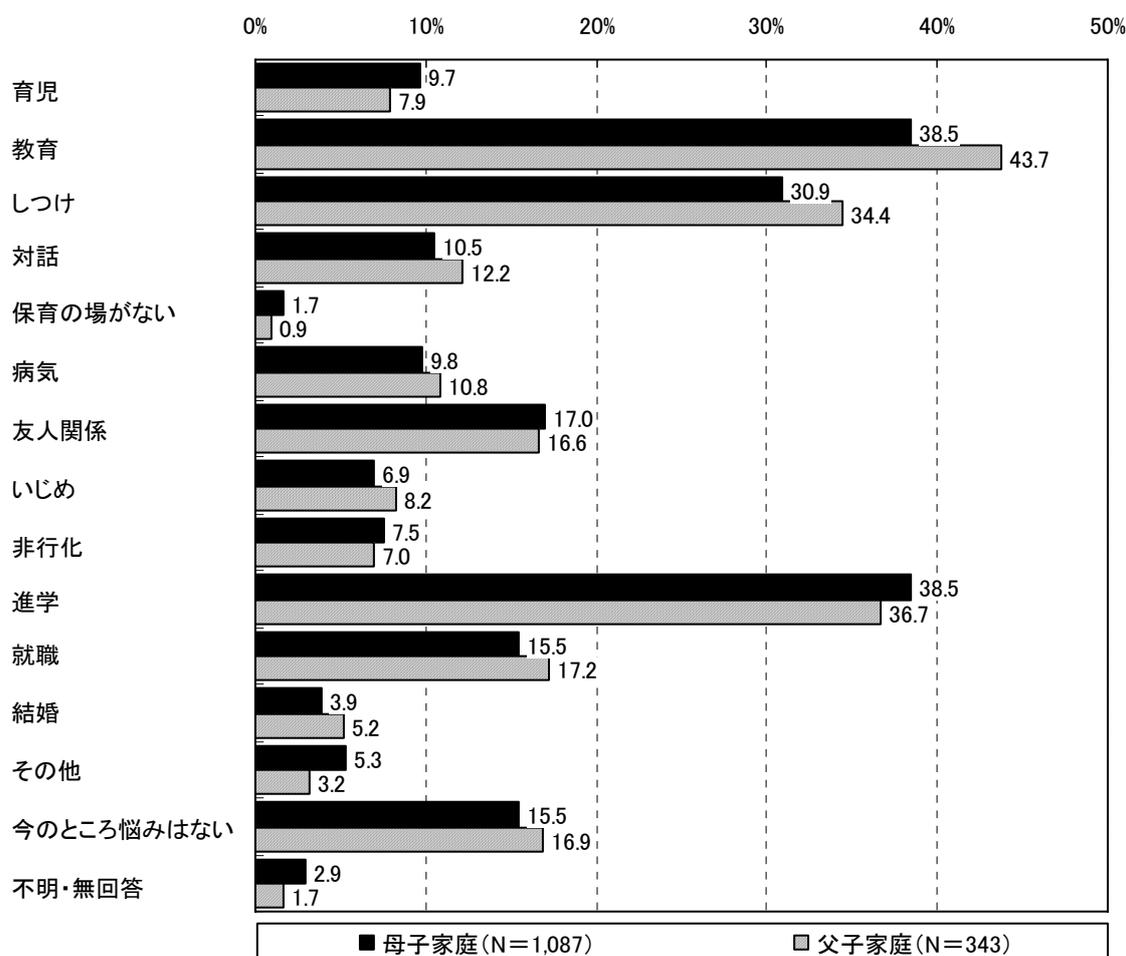
■ 父子家庭

単位：％

		回答者数 (人)	中学校	高校	高等専門 学校	短大	大学	専修学校・ 各種学校	子どもの 意志を尊重 する	その他	不明・ 無回答
世帯 年 収 別	50万円未満	16	-	18.8	6.3	-	37.5	6.3	56.3	6.3	6.3
	50～100万円未満	15	13.3	40.0	-	-	40.0	6.7	40.0	-	-
	100～150万円未満	10	-	30.0	-	-	60.0	-	30.0	-	-
	150～200万円未満	19	-	21.1	5.3	-	26.3	5.3	52.6	-	10.5
	200～250万円未満	27	7.4	48.1	3.7	3.7	37.0	11.1	37.0	-	-
	250～300万円未満	28	3.6	25.0	-	3.6	60.7	7.1	39.3	-	-
	300～350万円未満	21	-	38.1	-	4.8	42.9	-	28.6	-	-
	350～400万円未満	30	-	13.3	3.3	-	50.0	6.7	46.7	-	-
	400～500万円未満	52	-	26.9	3.8	11.5	50.0	5.8	26.9	-	1.9
	500～600万円未満	41	-	12.2	-	-	70.7	14.6	41.5	-	4.9
	600～700万円未満	16	-	-	-	-	62.5	-	56.3	-	-
700～800万円未満	14	-	7.1	-	7.1	57.1	14.3	35.7	7.1	-	
800万円以上	31	-	3.2	3.2	12.9	80.6	9.7	29.0	-	-	

(2) お子さんについて現在どのようなことで悩みをお持ちですか。(複数回答可)
(母子 問 34, 父子 問 33)

母子家庭では「教育」、「進学」が38.5%と最も高く、次いで「しつけ」が30.9%となっている。
父子家庭では「教育」が43.7%と最も高く、次いで「進学」が36.7%となっている。



【同居している子どものライフステージ別，子どもとの団らん程度別】

同居している子どものライフステージ別にみると，母子家庭，父子家庭ともに，「中学生」，「高校生」について，他の区分と比較して「進学」の割合が高くなっている。

子どもとの団らん程度別にみると，母子家庭，父子家庭ともに，多くの項目について「十分にとれている」，「だいたいとれている」よりも「あまりとれていない」，「全くとれていない」の方が悩みを持っている割合が高くなっている。

■ 母子家庭

単位：％

		回答者数 (人)	育児	教育	しつけ	対話	保育の場がない	病気	友人関係	いじめ
同居している 子どもの ライフステージ別	乳児(0歳児)	24	29.2	16.7	25.0	4.2	8.3	12.5	12.5	12.5
	幼児(1歳～小学校入学前)	233	24.5	36.9	42.1	9.9	4.7	11.2	13.7	6.9
	小学校1年～3年生	249	13.7	45.0	45.0	11.2	2.0	11.6	18.9	6.8
	小学校4年～6年生	287	8.0	51.9	40.8	10.5	1.4	10.8	26.5	10.5
	中学生	308	2.3	43.5	22.4	9.1	1.0	6.8	18.5	5.8
	高校生	269	3.0	29.4	17.5	7.8	1.1	8.2	14.9	3.3
	短大生・大学生・専門学校生， その他の学生	135	1.5	23.7	11.1	10.4	0.7	9.6	11.1	2.2
	仕事をしている子ども	71	2.8	18.3	11.3	5.6	1.4	7.0	2.8	2.8
	卒業した無職の子ども	27	-	33.3	14.8	3.7	-	14.8	25.9	7.4
	その他	15	6.7	33.3	6.7	6.7	13.3	26.7	6.7	-
子どもとの 団らん程度別	十分にとれている	127	8.7	25.2	13.4	2.4	2.4	10.2	11.8	5.5
	だいたいとれている	531	6.4	36.2	28.4	6.2	1.7	7.7	17.9	6.8
	あまりとれていない	336	13.4	48.2	42.6	18.5	0.6	12.5	19.3	8.3
	全くとれていない	31	25.8	38.7	29.0	25.8	9.7	25.8	9.7	3.2
	わからない	12	33.3	75.0	50.0	33.3	-	8.3	33.3	25.0

		回答者数 (人)	非行化	進学	就職	結婚	その他	今のところ 悩みはない	不明・ 無回答
同居している 子どもの ライフステージ別	乳児(0歳児)	24	4.2	4.2	-	-	4.2	41.7	4.2
	幼児(1歳～小学校入学前)	233	4.7	17.6	4.3	2.1	6.9	20.2	2.6
	小学校1年～3年生	249	8.4	28.1	4.8	1.2	4.8	16.9	2.4
	小学校4年～6年生	287	12.9	51.2	9.1	3.5	4.2	12.5	1.4
	中学生	308	10.7	66.2	15.6	1.6	5.8	7.8	1.3
	高校生	269	6.7	55.4	32.3	4.5	7.8	12.6	2.2
	短大生・大学生・専門学校生， その他の学生	135	3.0	34.8	43.0	10.4	5.9	17.0	3.0
	仕事をしている子ども	71	1.4	28.2	31.0	16.9	4.2	19.7	7.0
	卒業した無職の子ども	27	18.5	18.5	59.3	18.5	3.7	7.4	3.7
	その他	15	6.7	13.3	53.3	26.7	33.3	-	6.7
子どもとの 団らん程度別	十分にとれている	127	2.4	35.4	15.0	3.1	6.3	26.0	3.1
	だいたいとれている	531	6.0	38.4	14.3	2.3	5.1	19.6	1.5
	あまりとれていない	336	9.8	41.1	17.9	4.8	6.0	7.7	0.9
	全くとれていない	31	25.8	29.0	19.4	22.6	3.2	3.2	6.5
	わからない	12	16.7	58.3	16.7	-	8.3	-	-

■ 父子家庭

単位：%

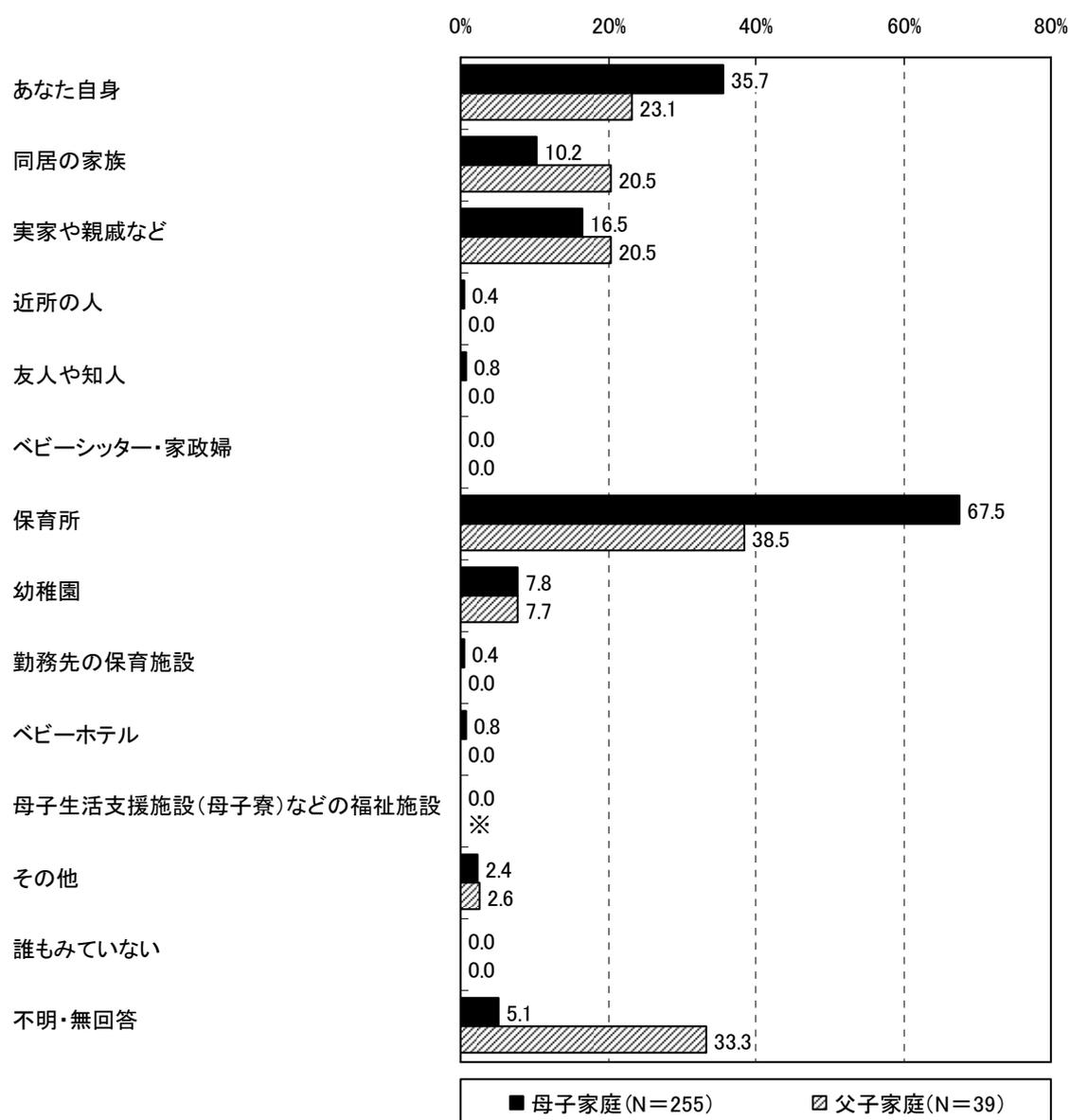
		回答者数 (人)	育児	教育	しつけ	対話	保育の場がない	病気	友人関係	いじめ
同居している子どものライフステージ別	乳児(0歳児)	2	-	-	50.0	-	-	-	-	-
	幼児(1歳～小学校入学前)	34	26.5	41.2	52.9	14.7	-	8.8	2.9	11.8
	小学校1年～3年生	48	18.8	56.3	52.1	12.5	4.2	12.5	27.1	18.8
	小学校4年～6年生	82	11.0	57.3	43.9	14.6	1.2	14.6	24.4	17.1
	中学生	92	5.4	55.4	33.7	9.8	-	14.1	21.7	7.6
	高校生	78	1.3	29.5	17.9	10.3	-	9.0	11.5	1.3
	短大生・大学生・専門学校生、 その他の学生	38	-	28.9	15.8	10.5	-	7.9	15.8	2.6
	仕事をしている子ども	24	4.2	29.2	16.7	12.5	-	8.3	12.5	-
	卒業した無職の子ども	12	-	25.0	25.0	16.7	-	8.3	8.3	-
	その他	2	-	50.0	-	-	-	-	-	-
子どもとの関わり程度別	十分にとれている	54	7.4	42.6	31.5	3.7	-	11.1	11.1	9.3
	だいたいとれている	140	6.4	42.9	30.0	6.4	1.4	10.7	14.3	7.9
	あまりとれていない	119	10.9	45.4	40.3	19.3	0.8	10.9	23.5	8.4
	全くとれていない	11	-	54.5	54.5	54.5	-	9.1	9.1	18.2
	わからない	4	-	25.0	25.0	-	-	25.0	-	-

		回答者数 (人)	非行化	進学	就職	結婚	その他	今のところ 悩みはない	不明・ 無回答
同居している子どものライフステージ別	乳児(0歳児)	2	-	-	-	-	-	50.0	-
	幼児(1歳～小学校入学前)	34	8.8	2.9	2.9	8.8	-	20.6	5.9
	小学校1年～3年生	48	4.2	18.8	8.3	6.3	2.1	16.7	-
	小学校4年～6年生	82	11.0	41.5	9.8	4.9	4.9	14.6	-
	中学生	92	8.7	57.6	12.0	2.2	-	13.0	-
	高校生	78	2.6	52.6	23.1	5.1	5.1	19.2	-
	短大生・大学生・専門学校生、 その他の学生	38	5.3	34.2	42.1	5.3	2.6	21.1	2.6
	仕事をしている子ども	24	4.2	41.7	29.2	12.5	-	20.8	-
	卒業した無職の子ども	12	8.3	8.3	50.0	16.7	16.7	8.3	-
	その他	2	-	-	50.0	-	-	50.0	-
子どもとの関わり程度別	十分にとれている	54	9.3	35.2	11.1	5.6	7.4	24.1	-
	だいたいとれている	140	6.4	35.7	15.0	3.6	2.9	17.1	-
	あまりとれていない	119	6.7	40.3	21.8	6.7	1.7	15.1	0.8
	全くとれていない	11	9.1	45.5	36.4	9.1	-	-	-
	わからない	4	25.0	-	-	-	-	50.0	-

(3) 小学校入学前のお子さんがいらっしゃる方にお尋ねします。

日常、昼間お子さんの世話を中心となっていてされているのはどなたですか。(複数回答可) (母子 問 35, 父子 問 34)

母子家庭では「保育所」が67.5%と最も高く、次いで「あなた自身」が35.7%となっている。父子家庭でも「保育所」が38.5%と最も高く、次いで「あなた自身」が23.1%となっている。



※「母子生活支援施設(母子寮)などの福祉施設」は母子家庭用調査票のみの選択肢

【世帯構成別】

世帯構成別にみると、母子家庭では、「母子家庭（実父母同居）」よりも「母子家庭（20歳未満の子どものみ）」の方が、「保育所」の割合が高くなっている。

父子家庭では、「父子家庭（実父母同居）」よりも「父子家庭（20歳未満の子どものみ）」の方が、「保育所」の割合が高くなっている。

■ 母子家庭

単位：％

		回答者数 (人)	あなた自身	同居の家族	実家や親戚 など	近所の人	友人や知人	ベビーシッ ター・家政 婦	保育所	幼稚園
世帯 構成 別	母子家庭(20歳未満の子どものみ)	182	36.3	1.6	16.5	0.5	1.1	-	73.1	5.5
	母子家庭(20歳以上の子ども含む)	1	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	母子家庭(実父母同居)	61	37.7	32.8	19.7	-	-	-	50.8	13.1
	母子家庭(義父母同居)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	母子家庭(兄弟姉妹同居, 親なし)	2	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	母子家庭(その他親族含む)	3	-	66.7	-	-	-	-	66.7	-
	その他	2	50.0	50.0	-	-	-	-	50.0	50.0

		回答者数 (人)	勤務先の 保育施設	ベビー ホテル	母子生活支 援施設(母 子寮)など の福祉施設	その他	誰もみて いない	不明・ 無回答
世帯 構成 別	母子家庭(20歳未満の子どものみ)	182	0.5	1.1	-	3.3	-	3.8
	母子家庭(20歳以上の子ども含む)	1	-	-	-	-	-	-
	母子家庭(実父母同居)	61	-	-	-	-	-	8.2
	母子家庭(義父母同居)	-	-	-	-	-	-	-
	母子家庭(兄弟姉妹同居, 親なし)	2	-	-	-	-	-	-
	母子家庭(その他親族含む)	3	-	-	-	-	-	-
	その他	2	-	-	-	-	-	-

■ 父子家庭

単位：％

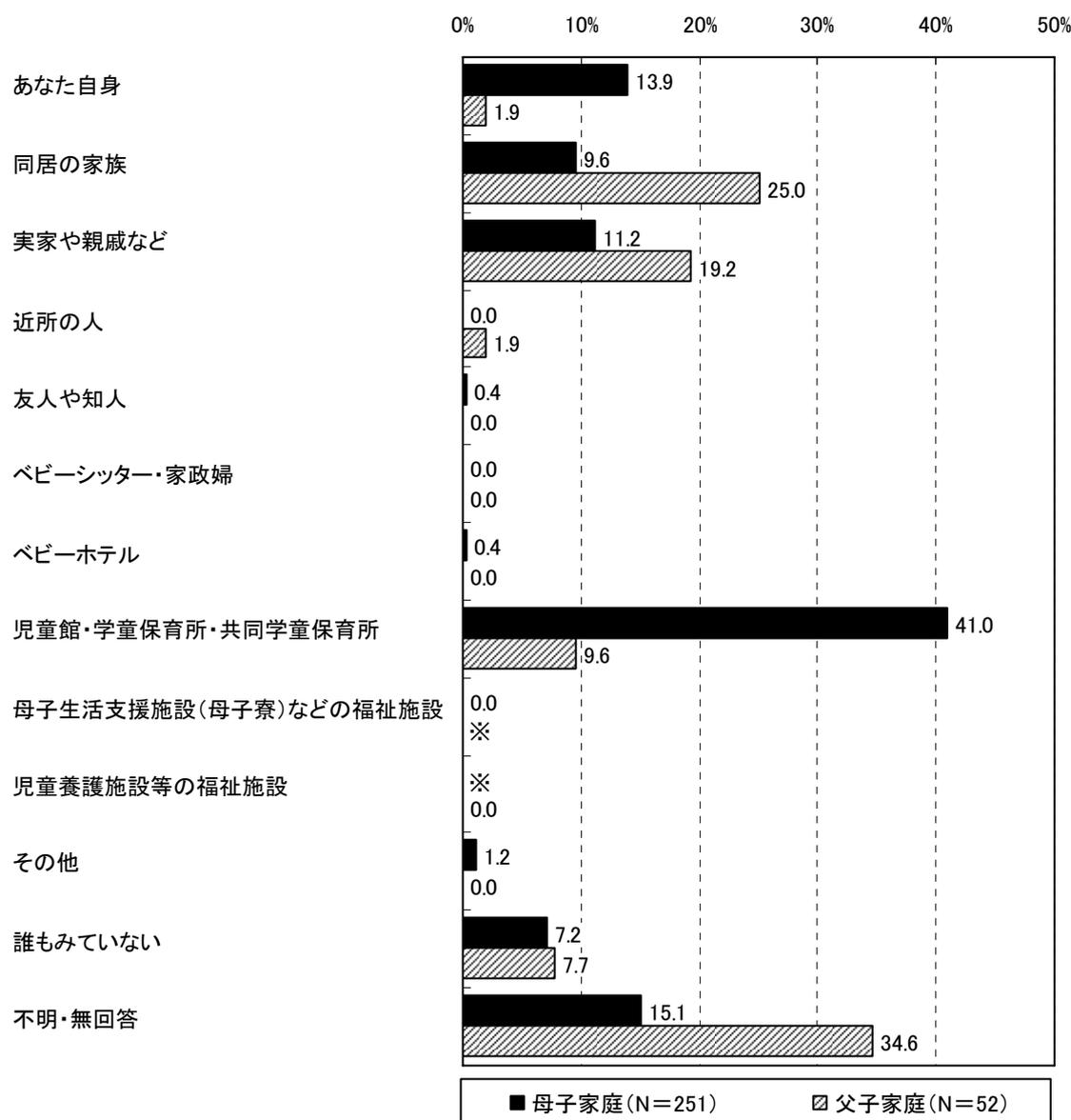
		回答者数 (人)	あなた自身	同居の家族	実家や親戚 など	近所の人	友人や知人	ベビーシッ ター・家政 婦	保育所	幼稚園
世帯 構成 別	父子家庭(20歳未満の子どものみ)	23	21.7	-	26.1	-	-	-	47.8	13.0
	父子家庭(20歳以上の子ども含む)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	父子家庭(実父母同居)	12	25.0	66.7	8.3	-	-	-	25.0	-
	父子家庭(義父母同居)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	父子家庭(兄弟姉妹同居, 親なし)	2	50.0	-	-	-	-	-	50.0	-
	父子家庭(その他親族含む)	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	1	-	-	100.0	-	-	-	-	-

		回答者数 (人)	勤務先の 保育施設	ベビー ホテル	その他	誰もみて いない	不明・ 無回答
世帯 構成 別	父子家庭(20歳未満の子どものみ)	23	-	-	-	-	34.8
	父子家庭(20歳以上の子ども含む)	-	-	-	-	-	-
	父子家庭(実父母同居)	12	-	-	-	-	25.0
	父子家庭(義父母同居)	-	-	-	-	-	-
	父子家庭(兄弟姉妹同居, 親なし)	2	-	-	50.0	-	50.0
	父子家庭(その他親族含む)	1	-	-	-	-	100.0
	その他	1	-	-	-	-	-

(4) 小学校1年生から3年生までのお子さんがいらっしゃる方にお尋ねします。
 放課後、または小学校長期休暇中、そのお子さんをどなたがみていますか。
 (母子 問36, 父子 問35)

母子家庭では「児童館・学童保育所・共同学童保育所」が41.0%と最も高く、次いで「あなた自身」が13.9%となっている。

父子家庭では「同居の家族」が25.0%と最も高く、次いで「実家や親戚など」が19.2%となっている。



※「母子生活支援施設(母子寮)などの福祉施設」は母子家庭用調査票のみ選択肢
 「児童養護施設等の福祉施設」は父子家庭用調査票のみの選択肢

【世帯構成別】

世帯構成別にみると、母子家庭では、「母子家庭（実父母同居）」よりも「母子家庭（20歳未満の子どものみ）」の方が、「児童館・学童保育所・共同学童保育所」の割合が高くなっている。

父子家庭では、すべての世帯構成区分で、「児童館・学童保育所・共同学童保育所」よりも「同居の家族」、「実家や親戚など」の割合が高くなっている。

■ 母子家庭

単位：%

		回答者数 (人)	あなた自身	同居の 家族	実家や 親戚など	近所の人	友人や 知人	ベビー シッター・ 家政婦
世帯 構成 別	母子家庭(20歳未満の子どものみ)	193	14.5	1.6	13.5	-	0.5	-
	母子家庭(20歳以上の子ども含む)	-	-	-	-	-	-	-
	母子家庭(実父母同居)	49	10.2	40.8	2.0	-	-	-
	母子家庭(義父母同居)	2	50.0	50.0	-	-	-	-
	母子家庭(兄弟姉妹同居、親なし)	2	-	-	-	-	-	-
	母子家庭(その他親族含む)	2	-	-	-	-	-	-
	その他	1	-	-	-	-	-	-

		回答者数 (人)	ベビー ホテル	児童館・学 童保育所・ 共同学童保 育所	母子生活支 援施設(母 子寮)など の福祉施設	その他	誰もみて いない	不明・ 無回答
世帯 構成 別	母子家庭(20歳未満の子どものみ)	193	0.5	45.1	-	1.6	8.3	14.5
	母子家庭(20歳以上の子ども含む)	-	-	-	-	-	-	-
	母子家庭(実父母同居)	49	-	28.6	-	-	2.0	16.3
	母子家庭(義父母同居)	2	-	-	-	-	-	-
	母子家庭(兄弟姉妹同居、親なし)	2	-	50.0	-	-	50.0	-
	母子家庭(その他親族含む)	2	-	-	-	-	-	100.0
	その他	1	-	100.0	-	-	-	-

■ 父子家庭

単位：%

		回答者数 (人)	あなた自身	同居の 家族	実家や 親戚など	近所の人	友人や 知人	ベビー シッター・ 家政婦
世帯 構成 別	父子家庭(20歳未満の子どものみ)	26	3.8	3.8	34.6	3.8	-	-
	父子家庭(20歳以上の子ども含む)	2	-	-	-	-	-	-
	父子家庭(実父母同居)	21	-	52.4	4.8	-	-	-
	父子家庭(義父母同居)	-	-	-	-	-	-	-
	父子家庭(兄弟姉妹同居、親なし)	1	-	100.0	-	-	-	-
	父子家庭(その他親族含む)	1	-	-	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-	-	-	-

		回答者数 (人)	ベビー ホテル	児童館・学 童保育所・ 共同学童保 育所	児童養護施 設等の福祉 施設	その他	誰もみて いない	不明・ 無回答
世帯 構成 別	父子家庭(20歳未満の子どものみ)	26	-	11.5	-	-	11.5	30.8
	父子家庭(20歳以上の子ども含む)	2	-	-	-	-	-	100.0
	父子家庭(実父母同居)	21	-	9.5	-	-	-	33.3
	父子家庭(義父母同居)	-	-	-	-	-	-	-
	父子家庭(兄弟姉妹同居、親なし)	1	-	-	-	-	-	-
	父子家庭(その他親族含む)	1	-	-	-	-	-	100.0
	その他	-	-	-	-	-	-	-

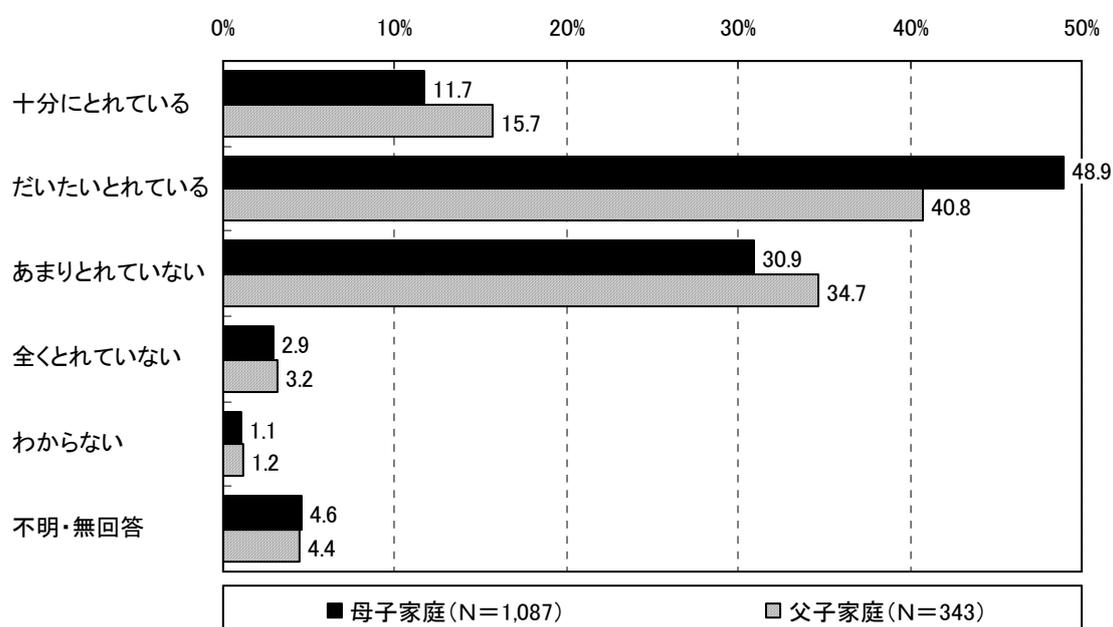
9 お子さんや近所の人等との関係について

(1) あなたは、お子さんとの団らんの時間がとれていると思いますか。

(母子 問 37, 父子 問 36)

母子家庭では「だいたいとれている」が 48.9%と最も高く、次いで「あまりとれていない」が 30.9%となっている。

父子家庭でも「だいたいとれている」が 40.8%と最も高く、次いで「あまりとれていない」が 34.7%となっている。

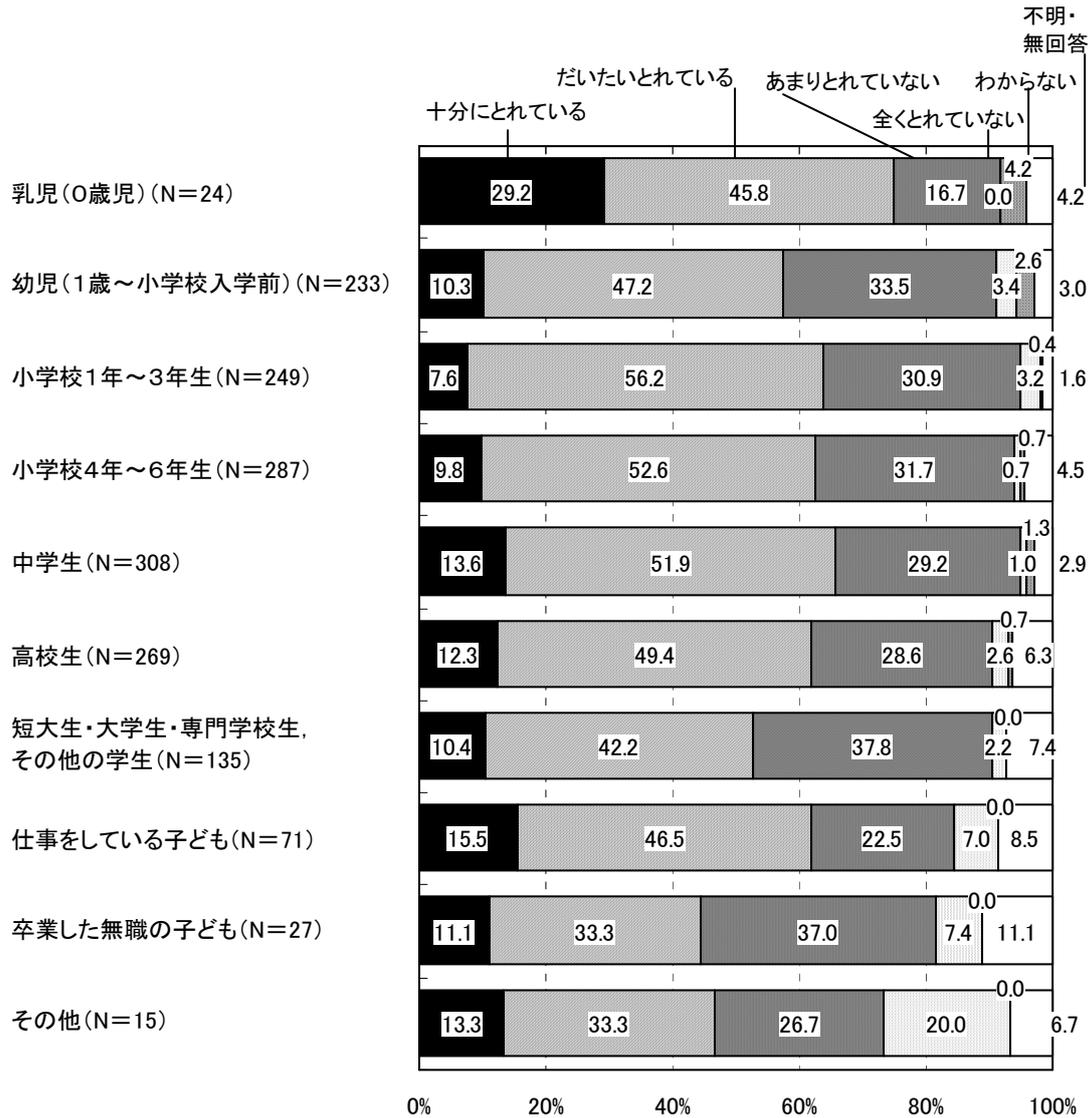


【同居している子どものライフステージ別】

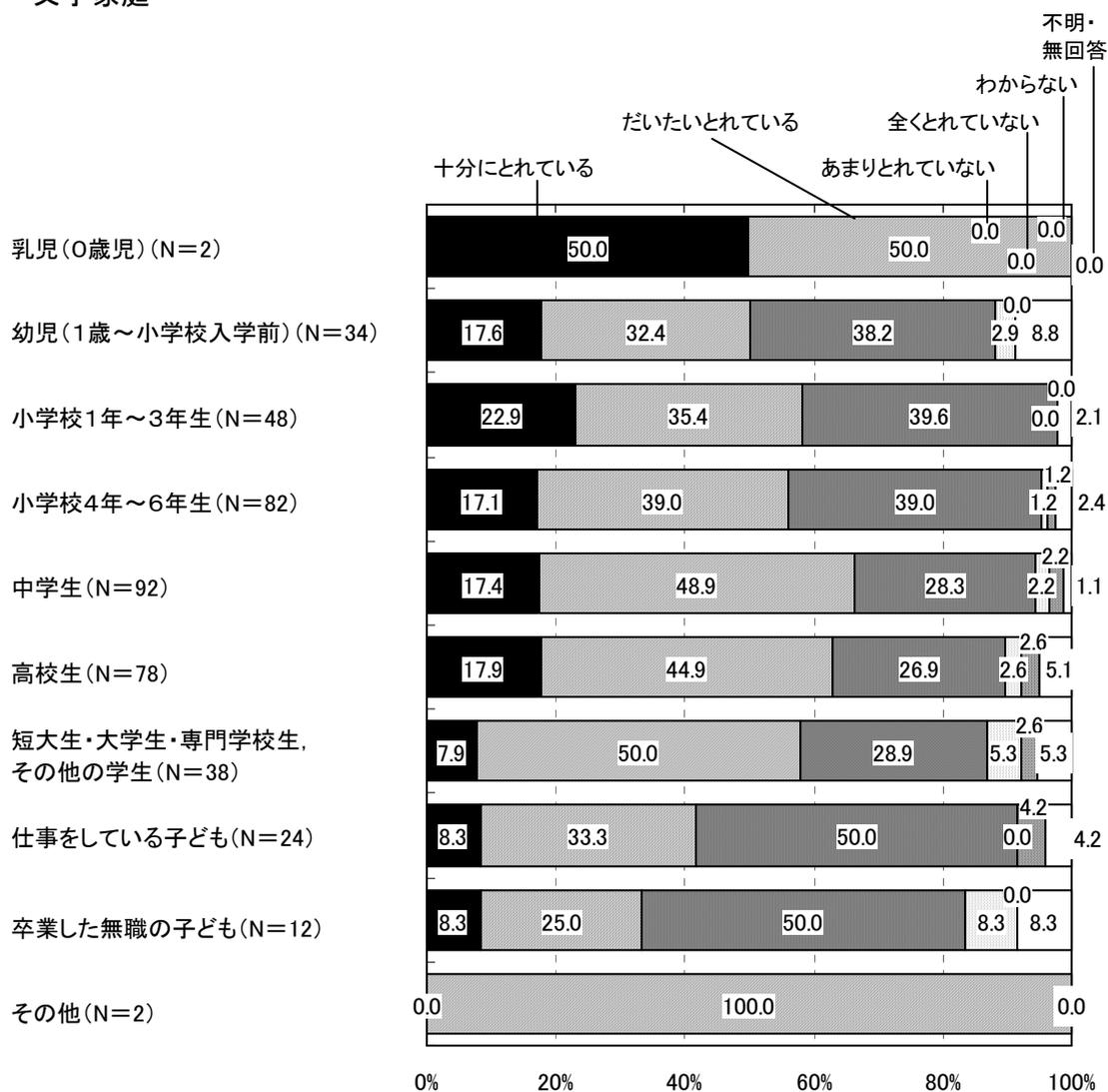
同居している子どものライフステージ別にみると、母子家庭では、「乳児（0歳児）」について、他の区分と比較して「十分にとれている」の割合が高くなっている。

父子家庭では、「短大生・大学生・専門学校生、その他の学生」、「仕事をしている子ども」、「卒業した無職の子ども」について、他の区分より「十分にとれている」の割合が低くなっている。

■ 母子家庭



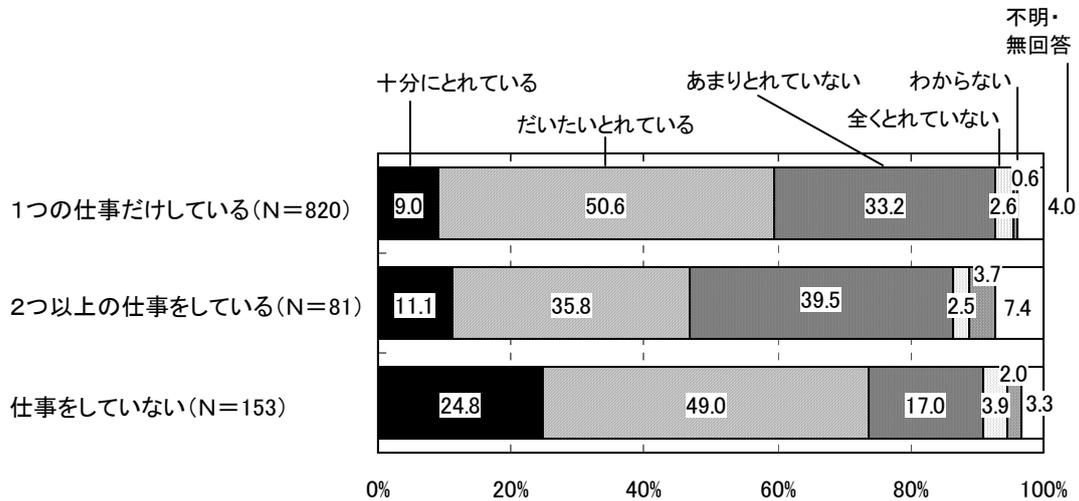
■ 父子家庭



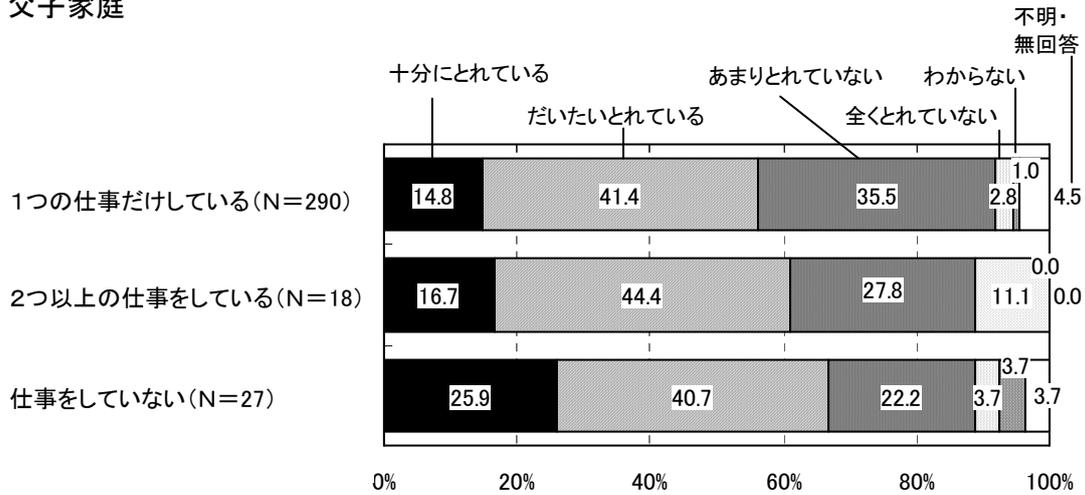
【仕事の有無別】

仕事の有無別にみると、母子家庭、父子家庭ともに、「仕事をしていない」について、他の区分と比較して「十分にとれている」の割合が高くなっている。

■ 母子家庭



■ 父子家庭

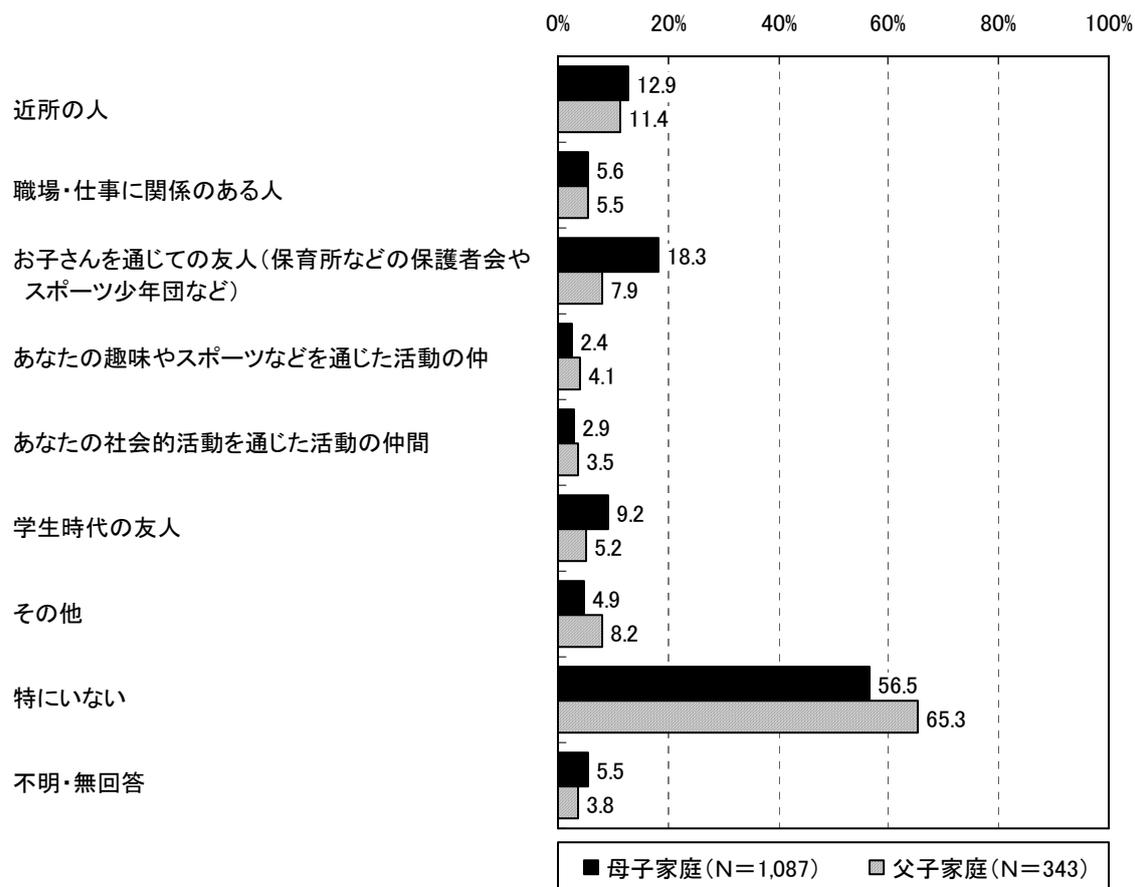


(2) 家族・親戚以外で、あなたが日頃からお子さんを見てもらったりすることのできる深いつき合いのある人はどなたですか。(複数回答可)

(母子 問 38, 父子 問 37)

母子家庭では「特にいない」が56.5%と最も高く、次いで「お子さんを通じての友人」が18.3%となっている。

父子家庭では「特にいない」が65.3%と最も高く、次いで「近所の人」が11.4%となっている。



10 日頃の悩みや相談のことについて

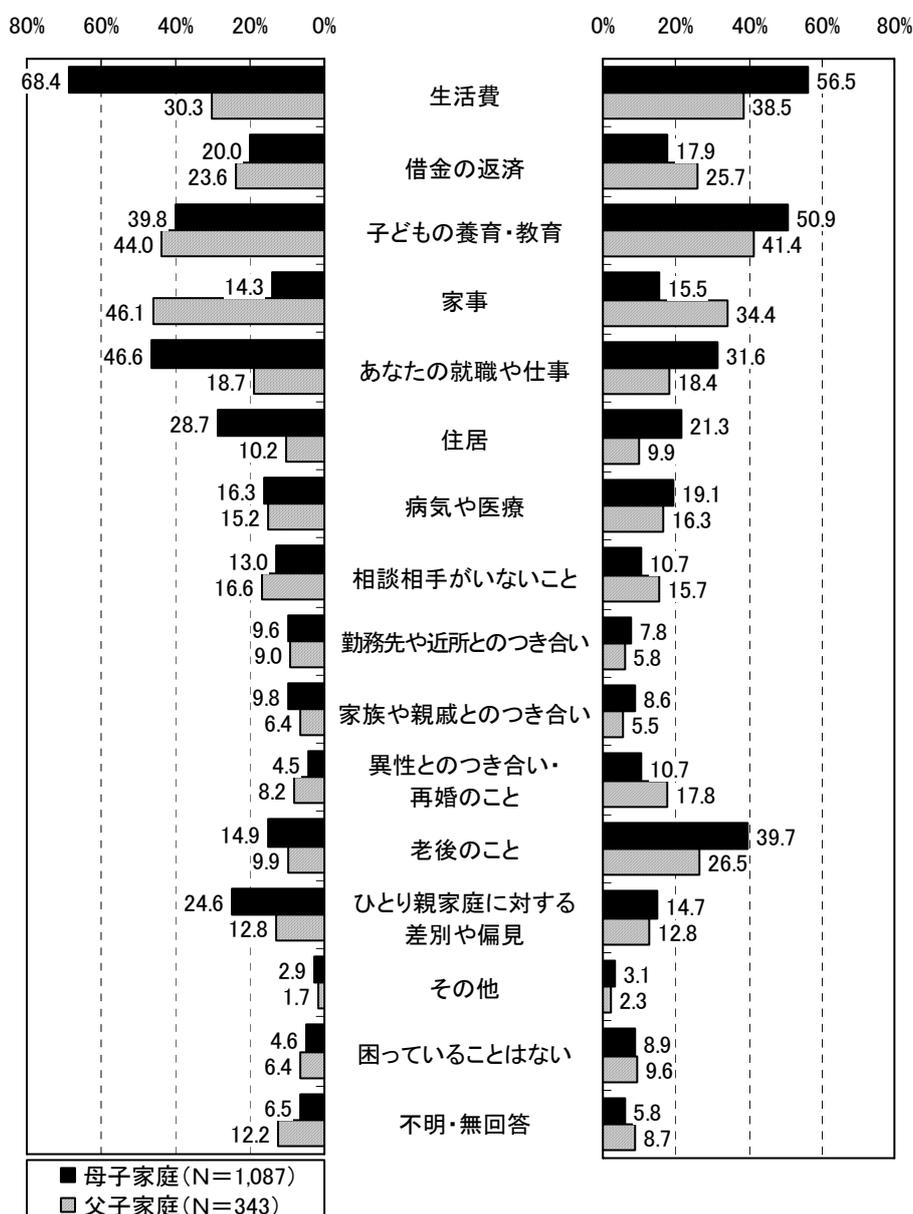
(1) あなたが、ひとり親家庭になられた当時、困ったことは何ですか。また、現在困っていることがありますか。(複数回答可)(母子 問 39, 父子 問 38)

母子家庭では、当時では「生活費」が68.4%と最も高く、次いで「あなたの就職や仕事」が46.6%となっている。現在では「生活費」が56.5%と最も高く、次いで「子どもの養育・教育」が50.9%となっている。

父子家庭では、当時では「家事」が46.1%と最も高く、次いで「子どもの養育・教育」が44.0%となっている。現在では「子どもの養育・教育」が41.4%と最も高く、次いで「生活費」が38.5%となっている。

【当時】

【現在】



当時【ひとり親になった時の年齢別、ひとり親になった理由別】

ひとり親になった時の年齢別にみると、母子家庭では年齢が上がるにつれて「ひとり親家庭に対する差別や偏見」の割合が低くなる傾向がある。

父子家庭では、「35～39歳」について、他の区分と比較して「借金の返済」の割合が高くなっている。

ひとり親になった時の理由別にみると、母子家庭では「病死」を除いて、「生活費」の割合が最も高くなっている。

父子家庭では、ほとんどの区分について、「家事」の割合が高くなっている。

■ 母子家庭

単位：%

	回答者数 (人)	生活費	借金の返済	子どもの 養育・教育	家事	あなたの 就職や仕事	住居	病気や医療	相談相手が いないこと	
ひとり親 になった 時の 年齢別	20歳未満	17	64.7	11.8	35.3	5.9	47.1	29.4	17.6	11.8
	20～24歳	98	73.5	22.4	36.7	20.4	56.1	28.6	17.3	16.3
	25～29歳	203	79.8	23.6	38.9	12.8	51.7	31.0	14.3	14.8
	30～34歳	273	70.0	16.8	40.3	15.8	47.6	31.1	17.6	9.9
	35～39歳	240	70.4	16.7	43.3	15.4	49.2	28.3	14.2	13.3
	40～44歳	168	50.6	25.0	38.1	8.3	35.7	24.4	16.7	13.7
	45～49歳	50	58.0	18.0	36.0	8.0	32.0	28.0	24.0	12.0
	50歳以上	21	66.7	19.0	52.4	33.3	42.9	19.0	23.8	23.8
ひとり親 になった 時の 理由別	病死	72	38.9	12.5	40.3	11.1	29.2	9.7	12.5	23.6
	その他の理由による死別	27	40.7	14.8	29.6	7.4	40.7	14.8	3.7	25.9
	離婚(協議)	681	71.4	21.7	39.1	15.1	46.7	29.4	15.0	11.2
	離婚(調停)	145	71.7	14.5	48.3	11.0	54.5	33.1	20.0	14.5
	離婚(審判)	4	100.0	50.0	100.0	25.0	100.0	75.0	50.0	25.0
	離婚(裁判)	23	73.9	30.4	56.5	26.1	52.2	39.1	26.1	8.7
	遺棄(家出など)	14	85.7	35.7	57.1	7.1	42.9	14.3	21.4	14.3
	生死不明	7	71.4	-	14.3	28.6	57.1	57.1	14.3	-
その他	76	71.1	19.7	28.9	13.2	42.1	31.6	18.4	13.2	

	回答者数 (人)	勤務先や 近所との つき合い	家族や 親戚との つき合い	異性との つき合い・ 再婚のこと	老後のこと	ひとり親 家庭に対す る差別や 偏見	その他	困っている ことはない	不明・ 無回答
ひとり親 になった 時の 年齢別	20歳未満	17	-	-	5.9	11.8	47.1	-	11.8
	20～24歳	98	6.1	10.2	14.3	13.3	38.8	2.0	3.1
	25～29歳	203	13.8	12.8	7.4	13.8	30.5	3.0	1.0
	30～34歳	273	9.5	10.3	3.7	13.6	24.9	1.1	4.8
	35～39歳	240	11.3	8.8	2.9	15.4	23.8	4.2	3.3
	40～44歳	168	6.5	10.1	1.2	17.3	11.9	3.6	10.1
	45～49歳	50	6.0	4.0	-	24.0	10.0	8.0	12.0
	50歳以上	21	14.3	4.8	-	14.3	23.8	4.8	4.8
ひとり親 になった 時の 理由別	病死	72	8.3	18.1	-	12.5	22.2	9.7	6.9
	その他の理由による死別	27	3.7	7.4	7.4	14.8	18.5	-	11.1
	離婚(協議)	681	10.7	8.4	5.1	15.1	22.9	2.1	5.0
	離婚(調停)	145	7.6	11.0	4.8	20.0	32.4	4.8	4.1
	離婚(審判)	4	-	-	-	-	25.0	-	-
	離婚(裁判)	23	13.0	13.0	4.3	21.7	26.1	-	4.3
	遺棄(家出など)	14	7.1	21.4	-	7.1	7.1	-	7.1
	生死不明	7	-	-	14.3	14.3	28.6	-	14.3
その他	76	5.3	13.2	2.6	6.6	30.3	2.6	1.3	

■ 父子家庭

単位：％

	回答者数 (人)	生活費	借金の返済	子どもの 養育・教育	家事	あなたの 就職や仕事	住居	病気や医療	相談相手がい ないこと
ひとり親にな った時の 年齢別	20歳未満	3	-	-	33.3	66.7	-	-	33.3
	20～24歳	3	33.3	-	33.3	-	33.3	-	-
	25～29歳	32	37.5	21.9	40.6	50.0	25.0	12.5	28.1
	30～34歳	59	27.1	20.3	55.9	47.5	18.6	13.6	18.6
	35～39歳	64	34.4	35.9	40.6	48.4	21.9	7.8	7.8
	40～44歳	90	32.2	23.3	43.3	52.2	23.3	13.3	22.2
	45～49歳	51	25.5	19.6	47.1	35.3	11.8	3.9	7.8
	50歳以上	37	27.0	18.9	35.1	43.2	8.1	5.4	5.4
ひとり親にな った時の 理由別	病死	70	15.7	7.1	47.1	48.6	12.9	8.6	12.9
	その他の理由による死別	6	33.3	16.7	66.7	66.7	16.7	16.7	-
	離婚(協議)	195	33.3	27.7	44.6	47.2	19.5	9.2	17.9
	離婚(調停)	33	36.4	33.3	48.5	33.3	12.1	18.2	9.1
	離婚(審判)	2	50.0	-	-	50.0	50.0	50.0	50.0
	離婚(裁判)	11	27.3	27.3	36.4	45.5	27.3	9.1	18.2
	遺棄(家出など)	9	22.2	-	11.1	44.4	22.2	-	-
	生死不明	0	-	-	-	-	-	-	-
その他	10	30.0	40.0	40.0	30.0	50.0	20.0	10.0	

	回答者数 (人)	勤務先や 近所との つき合い	家族や 親戚との つき合い	異性との つき合い・ 再婚のこと	老後のこと	ひとり親 家庭に対す る差別や 偏見	その他	困っている ことはない	不明・ 無回答
ひとり親にな った時の 年齢別	20歳未満	3	-	-	-	-	-	-	33.3
	20～24歳	3	-	-	-	-	33.3	-	33.3
	25～29歳	32	18.8	6.3	21.9	3.1	18.8	3.1	3.1
	30～34歳	59	16.9	8.5	13.6	10.2	20.3	-	6.8
	35～39歳	64	6.3	3.1	9.4	12.5	18.8	-	6.3
	40～44歳	90	7.8	11.1	4.4	8.9	8.9	4.4	5.6
	45～49歳	51	2.0	2.0	5.9	11.8	5.9	-	9.8
	50歳以上	37	8.1	5.4	-	10.8	5.4	-	5.4
ひとり親にな った時の 理由別	病死	70	7.1	5.7	1.4	8.6	2.9	2.9	5.7
	その他の理由による死別	6	16.7	16.7	16.7	16.7	-	-	-
	離婚(協議)	195	9.2	6.7	8.2	9.2	16.4	1.5	6.7
	離婚(調停)	33	18.2	6.1	12.1	15.2	18.2	-	9.1
	離婚(審判)	2	-	-	-	50.0	-	-	-
	離婚(裁判)	11	-	-	18.2	18.2	9.1	-	-
	遺棄(家出など)	9	-	11.1	-	-	-	-	22.2
	生死不明	0	-	-	-	-	-	-	-
その他	10	10.0	10.0	20.0	10.0	20.0	10.0	-	

現在【年齢別，世帯年収別】

年齢別にみると，母子家庭では，「35～39歳」を除いて，「生活費」の割合が最も高くなっている。

父子家庭では「20歳未満」を除いて「子どもの養育・教育」の割合が高くなっている。

世帯年収別にみると，母子家庭では『350万円未満』，「400～500万円未満」については，「生活費」が最も高くなっている。

父子家庭では，「50万円未満」について，他の区分と比較して「ひとり親家庭に対する差別や偏見」の割合が高くなっている。

■ 母子家庭

単位：%

	回答者数 (人)	生活費	借金の返済	子どもの 養育・教育	家事	あなたの 就職や仕事	住居	病気や医療	相談相手がい ないこと
年齢別	20歳未満	13	61.5	15.4	53.8	23.1	38.5	15.4	7.7
	20～24歳	26	65.4	23.1	42.3	19.2	46.2	30.8	7.7
	25～29歳	53	58.5	17.0	47.2	17.0	35.8	24.5	11.3
	30～34歳	157	53.5	15.9	49.0	16.6	29.3	21.0	15.3
	35～39歳	242	57.9	15.7	58.7	21.5	41.7	21.9	19.4
	40～44歳	271	57.6	19.6	49.4	11.1	29.2	23.6	21.8
	45～49歳	215	54.0	18.6	47.9	15.3	25.1	19.5	16.3
	50歳以上	99	57.6	19.2	47.5	10.1	25.3	13.1	32.3
世帯 年収別	50万円未満	98	65.3	27.6	54.1	21.4	49.0	26.5	34.7
	50～100万円未満	144	61.8	18.1	55.6	16.7	31.3	22.9	23.6
	100～150万円未満	197	65.0	17.3	51.3	14.2	36.0	28.4	19.3
	150～200万円未満	144	59.0	21.5	56.3	15.3	37.5	20.8	20.1
	200～250万円未満	134	59.7	14.9	56.0	10.4	30.6	25.4	13.4
	250～300万円未満	68	54.4	19.1	52.9	10.3	23.5	14.7	10.3
	300～350万円未満	51	54.9	23.5	45.1	17.6	21.6	9.8	13.7
	350～400万円未満	32	31.3	9.4	37.5	9.4	9.4	9.4	6.3
	400～500万円未満	56	39.3	14.3	35.7	12.5	16.1	12.5	10.7
	500～600万円未満	28	28.6	10.7	32.1	14.3	3.6	10.7	17.9
	600～700万円未満	22	36.4	13.6	50.0	13.6	18.2	9.1	9.1
	700～800万円未満	13	23.1	7.7	23.1	7.7	23.1	7.7	15.4
800万円以上	16	12.5	-	31.3	37.5	25.0	6.3	-	

	回答者数 (人)	勤務先や 近所との つき合い	家族や 親戚との つき合い	異性との つき合い・ 再婚のこと	老後のこと	ひとり親 家庭に対す る差別や 偏見	その他	困っている ことはない	不明・ 無回答
年齢別	20歳未満	13	-	-	7.7	30.8	-	-	23.1
	20～24歳	26	7.7	11.5	23.1	23.1	26.9	-	3.8
	25～29歳	53	5.7	7.5	20.8	24.5	15.1	3.8	15.1
	30～34歳	157	12.1	8.3	19.7	37.6	19.1	3.2	9.6
	35～39歳	242	9.1	9.9	13.6	36.8	16.1	2.5	8.3
	40～44歳	271	6.6	5.9	6.6	41.3	12.2	1.8	8.5
	45～49歳	215	6.0	10.7	4.7	41.4	13.5	4.7	10.7
	50歳以上	99	8.1	9.1	2.0	52.5	14.1	5.1	7.1
世帯 年収別	50万円未満	98	8.2	9.2	13.3	41.8	26.5	5.1	5.1
	50～100万円未満	144	10.4	9.7	13.2	44.4	18.1	2.8	6.9
	100～150万円未満	197	8.6	7.1	11.2	40.1	15.2	1.5	6.6
	150～200万円未満	144	8.3	12.5	10.4	46.5	16.0	4.2	6.9
	200～250万円未満	134	7.5	5.2	11.9	41.8	10.4	3.7	9.7
	250～300万円未満	68	4.4	2.9	13.2	35.3	10.3	-	4.4
	300～350万円未満	51	9.8	7.8	7.8	29.4	19.6	-	11.8
	350～400万円未満	32	6.3	6.3	6.3	37.5	9.4	-	9.4
	400～500万円未満	56	3.6	3.6	10.7	37.5	1.8	3.6	19.6
	500～600万円未満	28	3.6	21.4	7.1	17.9	3.6	10.7	17.9
	600～700万円未満	22	4.5	4.5	4.5	22.7	-	-	31.8
	700～800万円未満	13	-	-	7.7	38.5	15.4	7.7	15.4
800万円以上	16	-	-	12.5	12.5	-	6.3	37.5	

■ 父子家庭

単位：％

		回答者数 (人)	生活費	借金の返済	子どもの 養育・教育	家事	あなたの 就職や仕事	住居	病気や医療	相談相手が いないこと
年齢別	20歳未満	10	20.0	20.0	10.0	30.0	20.0	-	-	10.0
	20～24歳	2	50.0	50.0	50.0	50.0	-	-	50.0	-
	25～29歳	7	42.9	28.6	42.9	-	14.3	14.3	14.3	-
	30～34歳	28	46.4	21.4	46.4	25.0	21.4	10.7	25.0	10.7
	35～39歳	43	41.9	34.9	44.2	32.6	27.9	7.0	18.6	30.2
	40～44歳	83	42.2	37.3	42.2	33.7	21.7	13.3	13.3	10.8
	45～49歳	67	32.8	26.9	38.8	34.3	17.9	7.5	10.4	11.9
	50歳以上	98	37.8	12.2	42.9	41.8	11.2	10.2	19.4	19.4
世帯年収別	50万円未満	16	37.5	25.0	50.0	37.5	31.3	12.5	43.8	25.0
	50～100万円未満	15	66.7	33.3	40.0	66.7	46.7	20.0	26.7	46.7
	100～150万円未満	10	50.0	30.0	10.0	20.0	20.0	10.0	20.0	-
	150～200万円未満	19	68.4	36.8	26.3	31.6	26.3	31.6	15.8	10.5
	200～250万円未満	27	55.6	25.9	40.7	33.3	29.6	11.1	14.8	18.5
	250～300万円未満	28	57.1	46.4	57.1	28.6	25.0	10.7	14.3	14.3
	300～350万円未満	21	47.6	28.6	47.6	28.6	14.3	-	23.8	23.8
	350～400万円未満	30	36.7	30.0	43.3	43.3	16.7	13.3	23.3	10.0
	400～500万円未満	52	38.5	30.8	46.2	34.6	15.4	5.8	13.5	11.5
	500～600万円未満	41	26.8	19.5	24.4	26.8	14.6	7.3	14.6	12.2
	600～700万円未満	16	25.0	12.5	37.5	18.8	6.3	18.8	6.3	12.5
	700～800万円未満	14	21.4	21.4	64.3	21.4	7.1	14.3	7.1	7.1
800万円以上	31	12.9	12.9	51.6	45.2	3.2	-	9.7	22.6	

		回答者数 (人)	勤務先や 近所との つき合い	家族や 親戚との つき合い	異性との つき合い・ 再婚のこと	老後のこと	ひとり親 家庭に対す る差別や 偏見	その他	困っている ことはない	不明・ 無回答
年齢別	20歳未満	10	10.0	10.0	10.0	40.0	-	-	10.0	20.0
	20～24歳	2	-	-	-	-	-	-	-	-
	25～29歳	7	-	-	42.9	-	14.3	-	-	42.9
	30～34歳	28	-	3.6	39.3	21.4	21.4	-	7.1	7.1
	35～39歳	43	20.9	4.7	23.3	18.6	25.6	2.3	14.0	2.3
	40～44歳	83	4.8	9.6	19.3	25.3	13.3	2.4	12.0	7.2
	45～49歳	67	1.5	1.5	17.9	22.4	9.0	3.0	9.0	11.9
	50歳以上	98	5.1	6.1	8.2	36.7	9.2	3.1	7.1	7.1
世帯年収別	50万円未満	16	-	-	6.3	43.8	50.0	6.3	18.8	-
	50～100万円未満	15	6.7	6.7	20.0	46.7	33.3	6.7	-	-
	100～150万円未満	10	10.0	10.0	10.0	-	10.0	-	-	20.0
	150～200万円未満	19	5.3	5.3	10.5	15.8	10.5	-	-	5.3
	200～250万円未満	27	3.7	3.7	18.5	33.3	14.8	-	11.1	3.7
	250～300万円未満	28	3.6	14.3	25.0	32.1	17.9	3.6	3.6	10.7
	300～350万円未満	21	14.3	-	14.3	28.6	4.8	4.8	9.5	4.8
	350～400万円未満	30	-	6.7	20.0	23.3	3.3	6.7	6.7	3.3
	400～500万円未満	52	3.8	1.9	23.1	26.9	9.6	1.9	11.5	9.6
	500～600万円未満	41	12.2	4.9	17.1	24.4	17.1	2.4	19.5	7.3
	600～700万円未満	16	12.5	-	18.8	31.3	12.5	-	6.3	12.5
	700～800万円未満	14	-	21.4	21.4	14.3	7.1	-	7.1	7.1
800万円以上	31	3.2	3.2	9.7	22.6	3.2	-	16.1	9.7	

(2) あなたが、ひとり親家庭になられた当時、困った問題が起きた場合、どなたに相談されましたか。また、現在どなたに相談されますか。(複数回答可)

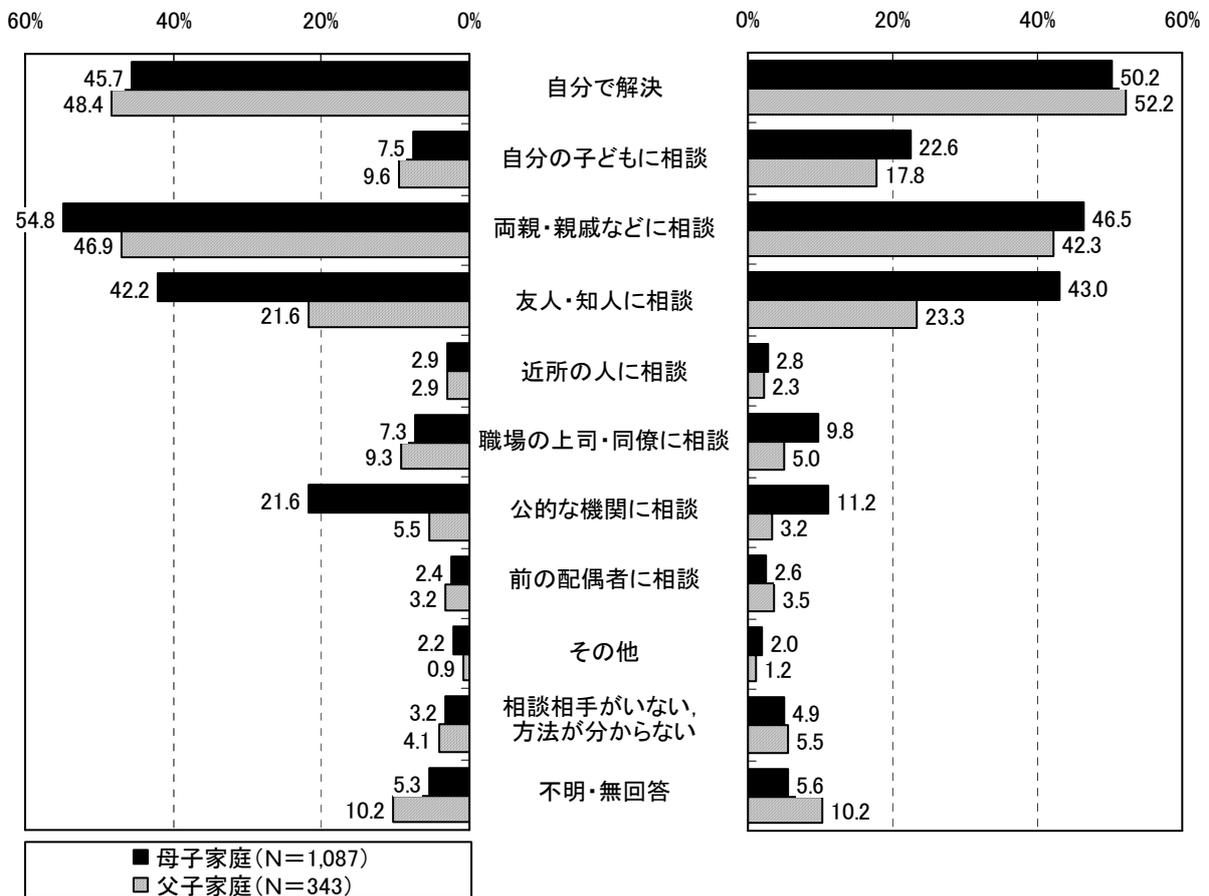
(母子 問 40, 父子 問 39)

母子家庭では、当時では「両親・親戚などに相談」が54.8%と最も高く、次いで「自分で解決」が45.7%となっている。現在では「自分で解決」が50.2%と最も高く、次いで「両親・親戚などに相談」が46.5%となっている。

父子家庭では、当時では「自分で解決」が48.4%と最も高く、次いで「両親・親戚などに相談」が46.9%となっていて、現在でも「自分で解決」が52.2%と最も高く、次いで「両親・親戚などに相談」が42.3%となっている。

【当時】

【現在】



現在【年齢別】

年齢別にみると、母子家庭では、年齢が上がるにつれて「自分で解決」の割合が高くなる傾向がある。

また、父子家庭では、年齢が上がるにつれて「友人・知人に相談」の割合が低くなる傾向がある。

■ 母子家庭

単位：％

		回答者数 (人)	自分で解決	自分の 子ども に相談	両親・親戚 などに相談	友人・知人 に相談	近所の人に 相談	職場の 上司・同僚 に相談	公的な機関 に相談	前の配偶者 に相談
年齢別	20歳未満	13	15.4	15.4	23.1	30.8	-	15.4	-	-
	20～24歳	26	30.8	3.8	46.2	50.0	-	3.8	15.4	-
	25～29歳	53	56.6	9.4	58.5	34.0	1.9	9.4	9.4	3.8
	30～34歳	157	46.5	12.1	56.7	57.3	3.2	13.4	10.8	2.5
	35～39歳	242	50.0	18.2	55.0	41.7	2.1	9.9	9.9	3.3
	40～44歳	271	52.4	24.0	43.9	40.2	3.0	9.2	11.8	4.1
	45～49歳	215	53.5	34.4	38.1	40.5	3.7	8.8	12.1	0.9
	50歳以上	99	48.5	31.3	34.3	37.4	3.0	6.1	12.1	1.0

		回答者数 (人)	その他	相談相手がい ない、 方法が分 からない	不明・ 無回答
年齢別	20歳未満	13	-	15.4	23.1
	20～24歳	26	-	3.8	11.5
	25～29歳	53	-	1.9	1.9
	30～34歳	157	2.5	3.2	-
	35～39歳	242	2.1	7.9	3.7
	40～44歳	271	3.0	3.3	7.0
	45～49歳	215	1.9	5.6	7.9
	50歳以上	99	1.0	3.0	9.1

■ 父子家庭

単位：％

		回答者数 (人)	自分で解決	自分の 子ども に相談	両親・親戚 などに相談	友人・知人 に相談	近所の人に 相談	職場の 上司・同僚 に相談	公的な機関 に相談	前の配偶者 に相談
年齢別	20歳未満	10	50.0	20.0	40.0	20.0	-	20.0	-	-
	20～24歳	2	100.0	-	-	-	-	-	-	-
	25～29歳	7	28.6	-	42.9	57.1	-	-	-	14.3
	30～34歳	28	28.6	10.7	71.4	35.7	-	10.7	-	3.6
	35～39歳	43	60.5	32.6	51.2	30.2	2.3	7.0	-	7.0
	40～44歳	83	56.6	15.7	49.4	28.9	1.2	4.8	4.8	2.4
	45～49歳	67	46.3	17.9	43.3	16.4	6.0	4.5	3.0	6.0
	50歳以上	98	58.2	16.3	23.5	16.3	2.0	2.0	5.1	1.0

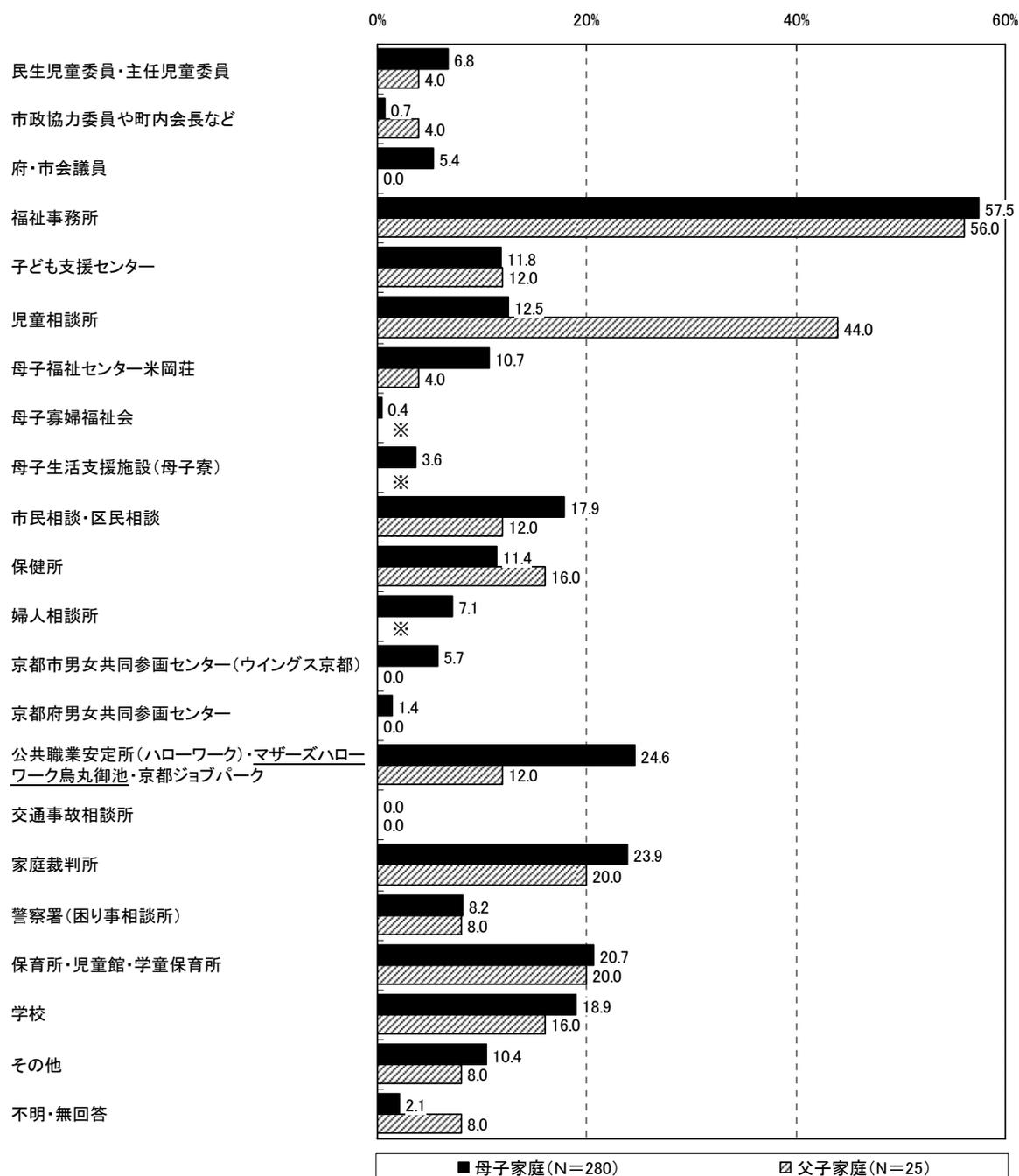
		回答者数 (人)	その他	相談相手がい ない、 方法が分 からない	不明・ 無回答
年齢別	20歳未満	10	-	-	10.0
	20～24歳	2	-	-	-
	25～29歳	7	-	-	28.6
	30～34歳	28	-	-	14.3
	35～39歳	43	2.3	2.3	4.7
	40～44歳	83	-	4.8	3.6
	45～49歳	67	4.5	7.5	11.9
	50歳以上	98	-	9.2	14.3

(3) (2)で「公的な機関に相談」を選んだ方にお尋ねします。

あなたが、これまで悩みごとなどを相談されたことがある公の機関等はどれですか。(複数回答可)(母子 問41, 父子 問40)

母子家庭では「福祉事務所」が57.5%と最も高く、次いで「公共職業安定所(ハローワーク)・マザーズハローワーク烏丸御池・京都ジョブパーク」が24.6%となっている。

父子家庭では「福祉事務所」が56.0%と最も高く、次いで「児童相談所」が44.0%となっている。



※「母子寡婦福祉会」「母子生活支援施設(母子寮)」「婦人相談所」は母子家庭用調査票のみの選択肢
「マザーズハローワーク烏丸御池」の項目は母子家庭用調査票にのみ記載

11 現在行われている福祉施策等について

(1) あなたが知っている、又は利用したことのある制度・施策についてお答えください。(複数回答可) (母子 問 42, 父子 問 41(1))

福祉施策の認知状況及び利用状況について、母子家庭では、

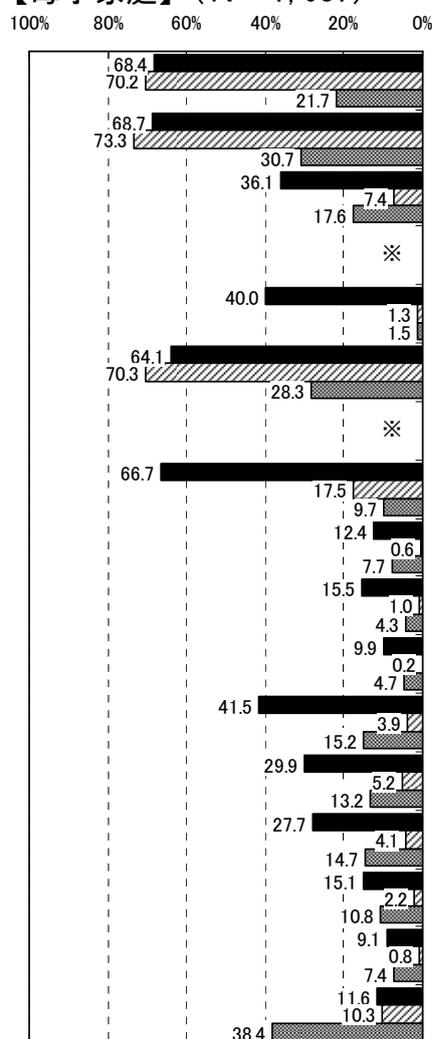
知っているもの 「児童扶養手当」 68.7%, 「児童手当」 68.4%
 利用したことのあるもの 「児童扶養手当」 73.3%, 「母子家庭等医療費支給制度」 70.3%
 今後利用したいもの 「児童扶養手当」 30.7%, 「母子家庭等医療費支給制度」 28.3%

父子家庭では、

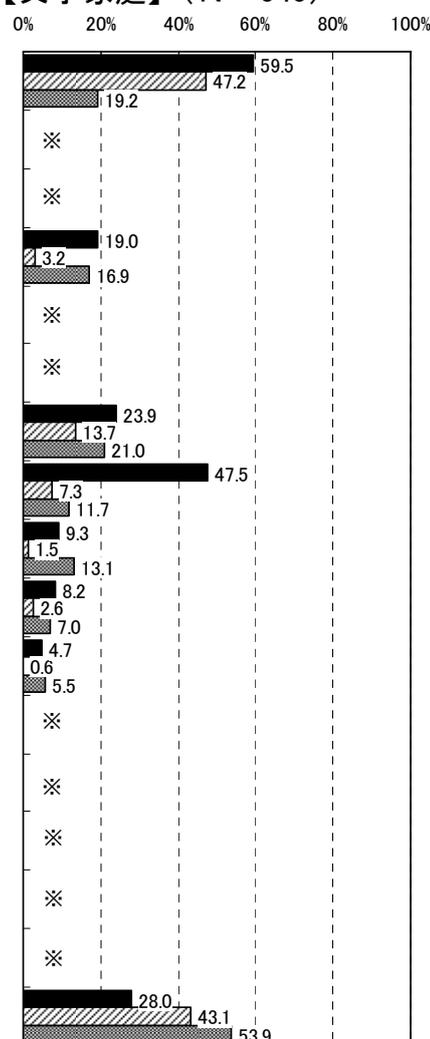
知っているもの 「児童手当」 59.5%, 「生活保護」 47.5%
 利用したことのあるもの 「児童手当」 47.2%, 「子ども医療費支給制度」 13.7%
 今後利用したいもの 「子ども医療費支給制度」 21.0%, 「児童手当」 19.2%

となっている。

【母子家庭】 (N=1,087)



【父子家庭】 (N=343)



■ 知っているもの □ 利用したことのあるもの ▨ 今後利用したいもの

※ 「児童扶養手当」「母子福祉資金貸付制度」「母子生活支援施設(母子寮)」「母子家庭等医療費支給制度」「公営住宅の優先入居」「職業訓練手当支給制度」「母子福祉センター事業」「自立支援訓練給付金事業」「高等技能訓練促進費事業」は母子家庭用調査票のみの選択肢
 生活福祉資金貸付制度」「子ども医療費支給制度」は父子家庭用調査票のみの選択肢

知っている制度・施策【年齢別】

年齢別にみると、母子家庭では、「20歳未満」について、他の区分と比較して「児童扶養手当」の割合が低くなっている。

父子家庭では、『44歳以下』については「児童手当」、『45歳以上』については「生活保護」の割合が高くなっている。

■ 母子家庭

単位：％

		回答者数 (人)	児童手当	児童扶養 手当	母子福祉 資金貸付 制度	母子生活 支援施設 (母子寮)	母子家庭等 医療費支給 制度	生活保護	ひとり親 家庭日常 生活支援 事業	ショート ステイ
年齢別	20歳未満	13	53.8	46.2	30.8	30.8	46.2	53.8	7.7	7.7
	20～24歳	26	73.1	76.9	26.9	38.5	61.5	69.2	-	11.5
	25～29歳	53	56.6	52.8	30.2	41.5	52.8	75.5	13.2	20.8
	30～34歳	157	73.2	70.1	29.3	38.9	63.1	66.2	10.2	14.6
	35～39歳	242	74.0	72.7	37.6	43.8	68.6	71.9	12.8	16.9
	40～44歳	271	73.1	73.1	41.3	42.8	68.3	69.0	14.8	15.1
	45～49歳	215	58.1	64.2	34.9	34.4	58.1	57.7	13.0	15.3
	50歳以上	99	63.6	64.6	35.4	36.4	64.6	63.6	10.1	14.1

		回答者数 (人)	トワイライト ステイ	公営住宅の 優先入居	職業訓練 手当支給 制度	母子福祉 センター 事業	自立支援 訓練給付金 事業	高等技能 訓練促進費 事業	不明・ 無回答
年齢別	20歳未満	13	-	23.1	30.8	15.4	-	-	30.8
	20～24歳	26	3.8	46.2	11.5	3.8	3.8	7.7	7.7
	25～29歳	53	18.9	50.9	30.2	30.2	17.0	17.0	3.8
	30～34歳	157	10.2	43.9	31.2	24.8	13.4	9.6	8.3
	35～39歳	242	9.1	46.3	29.8	28.9	16.9	11.2	9.1
	40～44歳	271	10.3	40.6	33.2	30.6	14.4	7.7	9.6
	45～49歳	215	9.8	35.8	27.0	25.6	16.3	7.9	19.1
	50歳以上	99	10.1	36.4	30.3	32.3	14.1	8.1	14.1

■ 父子家庭

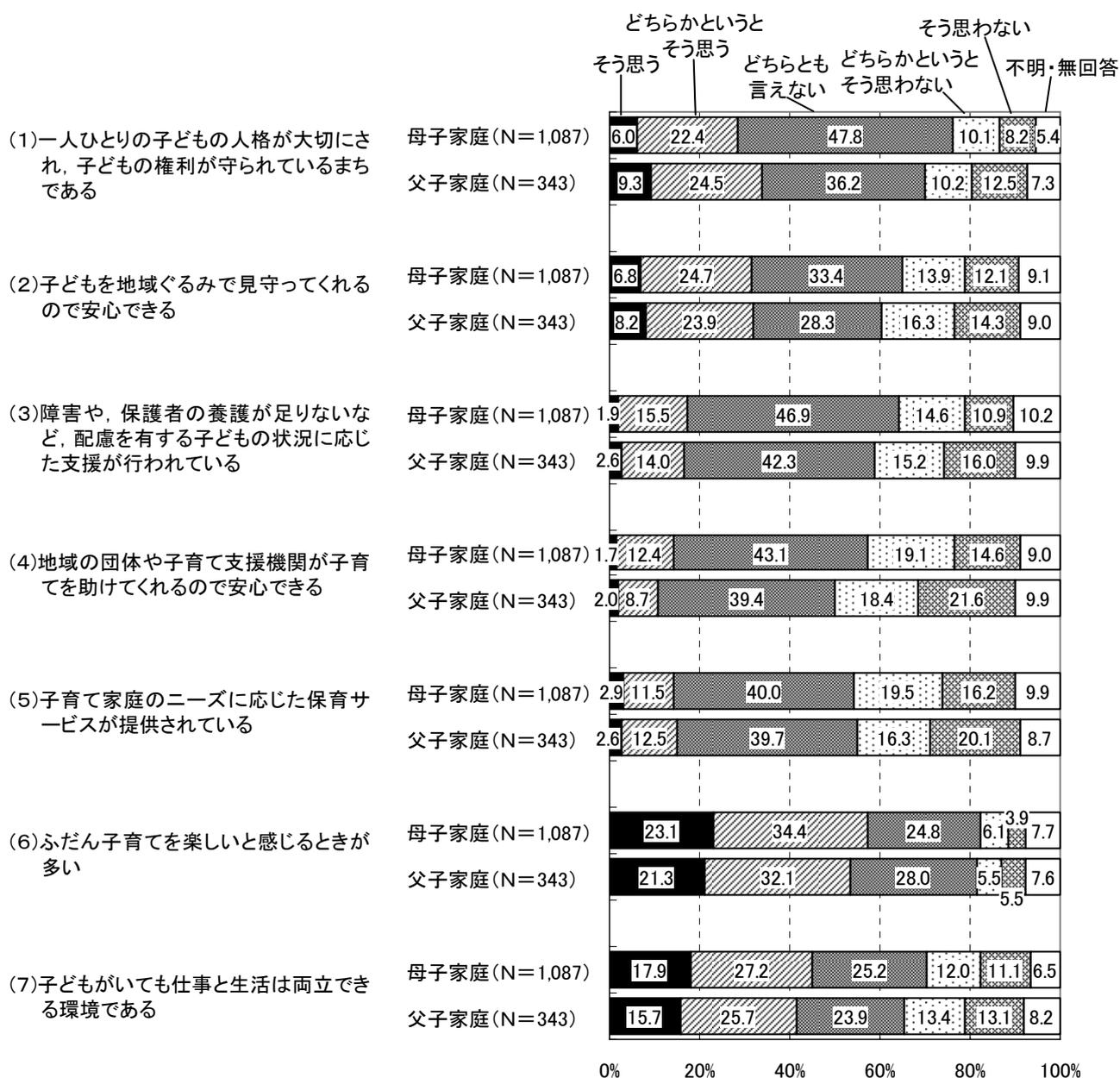
単位：％

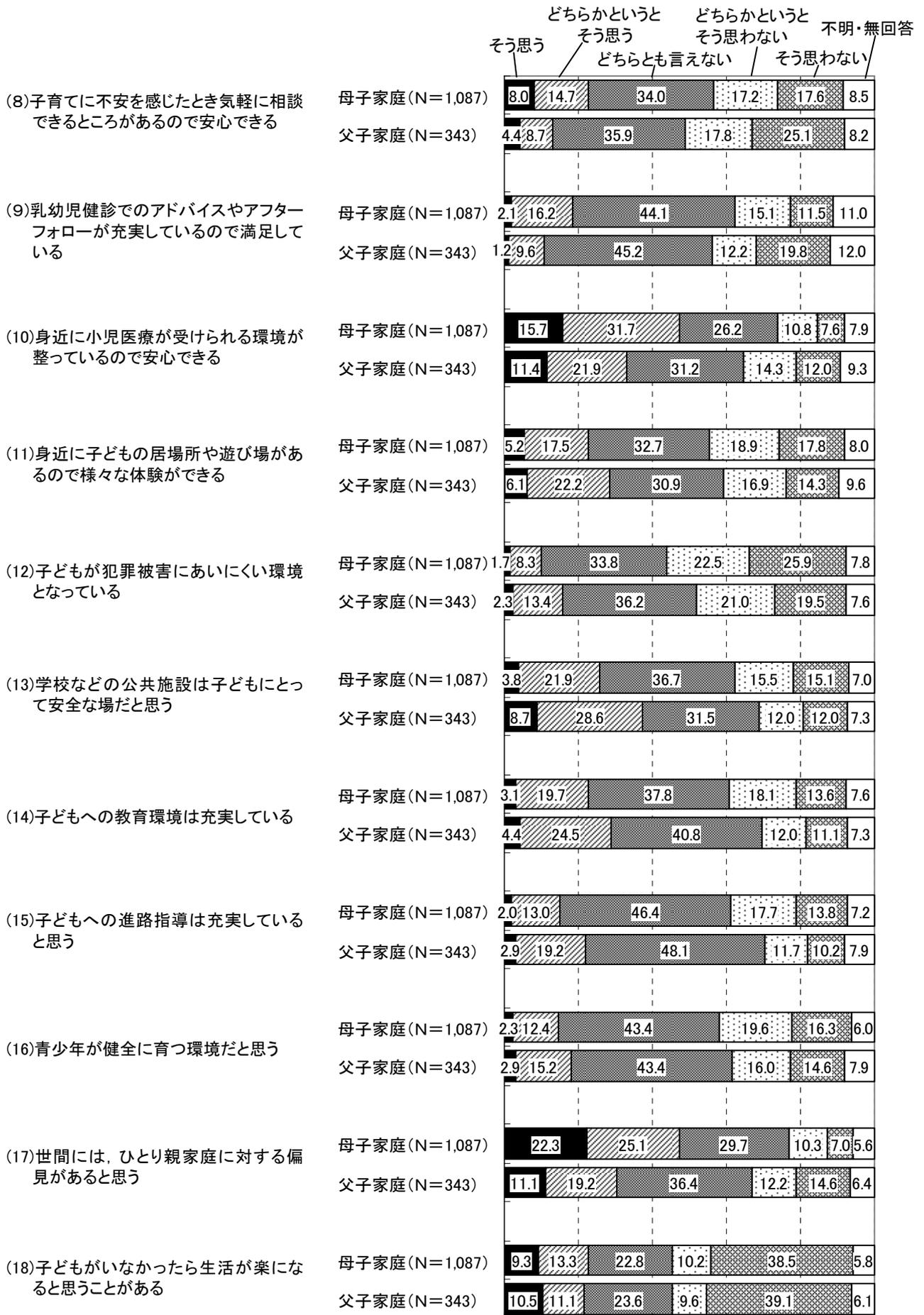
		回答者数 (人)	児童手当	生活福祉 資金貸付 制度	子ども 医療費 支給制度	生活保護	ひとり親 家庭日常 生活支援 事業	ショート ステイ	トワイライト ステイ	不明・ 無回答
年齢別	20歳未満	10	60.0	10.0	-	20.0	-	-	-	40.0
	20～24歳	2	100.0	-	50.0	-	-	-	-	-
	25～29歳	7	71.4	28.6	57.1	57.1	14.3	14.3	14.3	14.3
	30～34歳	28	53.6	14.3	35.7	39.3	10.7	10.7	3.6	25.0
	35～39歳	43	79.1	14.0	34.9	58.1	23.3	11.6	9.3	9.3
	40～44歳	83	73.5	21.7	22.9	44.6	7.2	4.8	2.4	15.7
	45～49歳	67	55.2	16.4	14.9	56.7	3.0	4.5	3.0	31.3
	50歳以上	98	42.9	22.4	22.4	44.9	9.2	11.2	6.1	43.9

(2) 現在行われている福祉施策等について、あなたの実感に近いものを項目ごとにお答えください。(母子 問 43, 父子 問 42)

各項目ごとの問いに対して、実感に近いものについてみると、『思う』(「思う」「どちらかという」と「思う」の合計)の割合が高いものでは、母子家庭では、「(6) ふだん子育てを楽しんでいると感じるときが多い」が57.5%、「(17) 世間には、ひとり親家庭に対する偏見があると思う」が47.4%、「(7) 子どもがいても仕事と生活は両立できる環境である」が45.1%となっている。

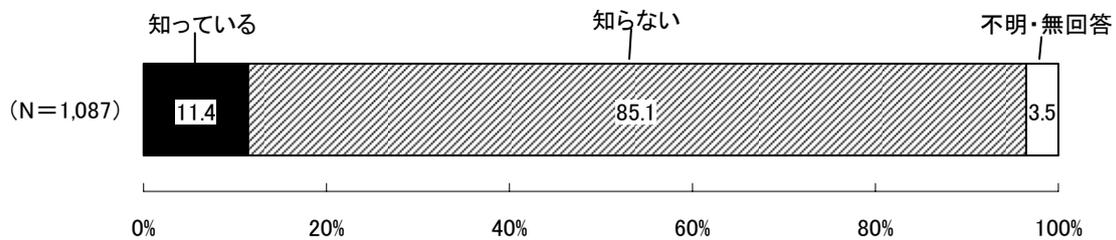
父子家庭では、「(6) ふだん子育てを楽しんでいると感じるときが多い」が53.4%、「(7) 子どもがいても仕事と生活は両立できる環境である」が41.4%、「(13) 学校などの公共施設は子どもにとって安全な場だと思う」が37.3%となっている。





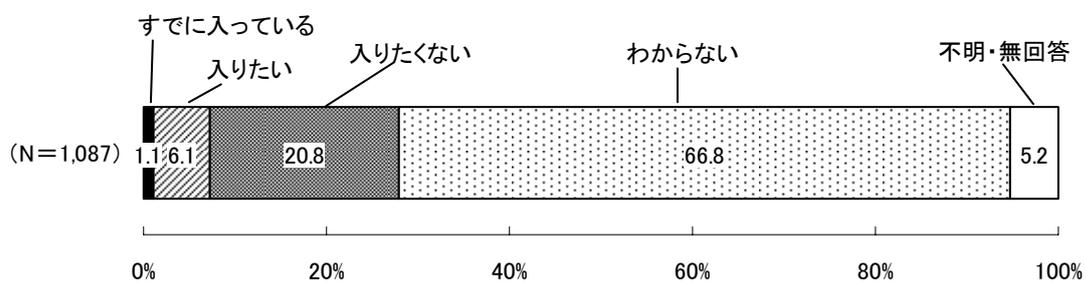
■京都市母子寡婦福祉連合会についてお尋ねします。(母子家庭のみの調査)

(3) 京都市母子寡婦福祉連合会のことを知っていますか。(母子 問44)



(4) 母子寡婦福祉会に入りたいと思いますか。(母子 問45)

「わからない」が66.8%と最も高く、次いで「入りたくない」が20.8%となっている。

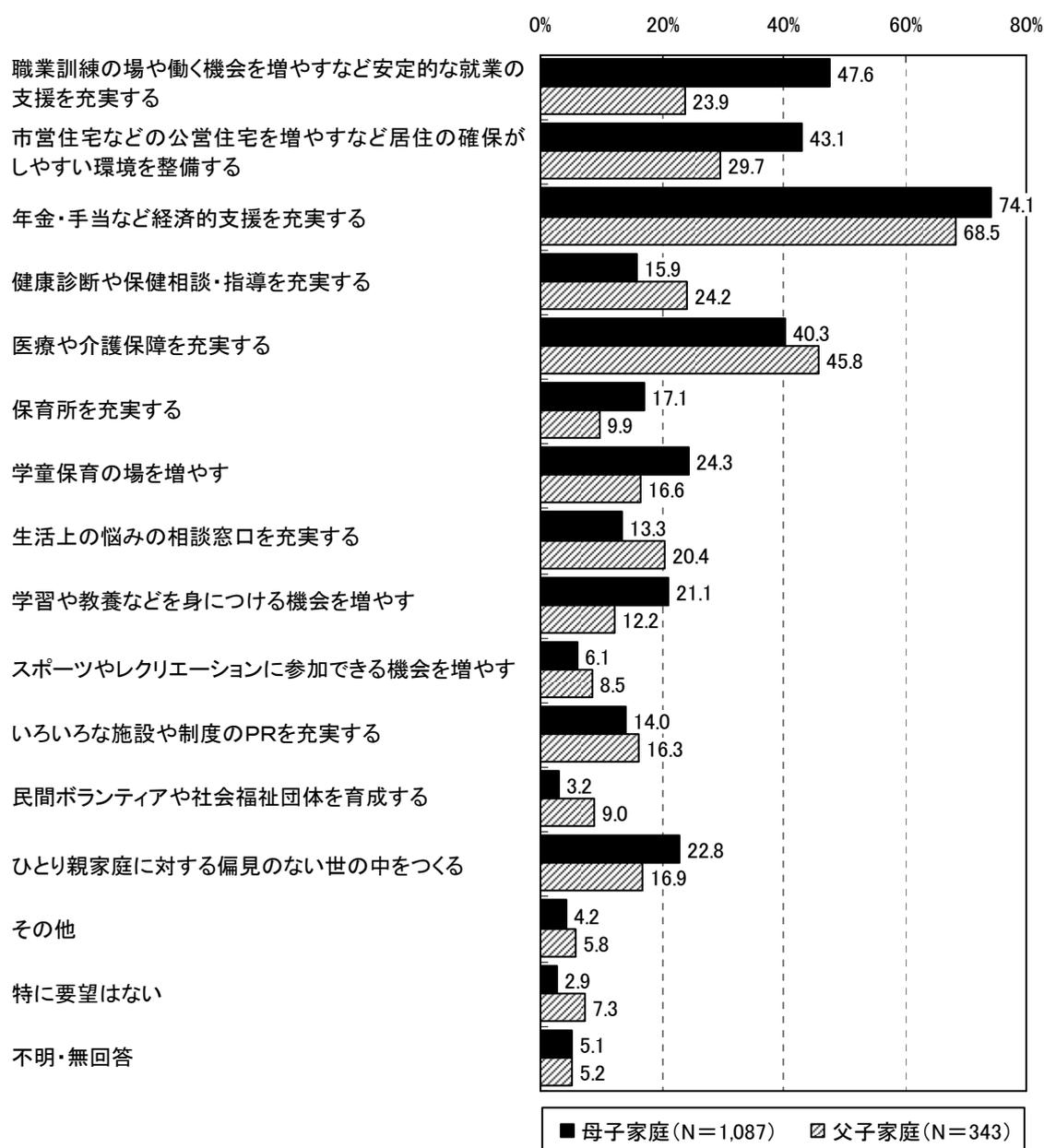


12 行政施策等について

(1) ひとり親家庭の自立・安定を図るため、あなたが市や国に要望したいことは何ですか。5つまでお答えください。(複数回答可) (母子 問46, 父子 問43)

母子家庭では「年金・手当など経済的支援を充実する」が74.1%と最も高く、次いで「職業訓練の場や働く機会を増やすなど安定的な就業の支援を充実する」が47.6%となっている。

父子家庭では「年金・手当など経済的支援を充実する」が68.5%と最も高く、次いで「医療や介護保障を充実する」が45.8%となっている。



【年齢別】

年齢別にみると、母子家庭では、年齢が上がるにつれて「年金・手当など経済的支援を充実する」の割合が高くなる傾向がある。

父子家庭では、「20～24歳」を除いて、「年金・手当など経済的支援を充実する」の割合が最も高くなっている。

■ 母子家庭

単位：%

	回答者数 (人)	職業訓練の 場や働く機 会を増やす など安定的 な就業の支 援を充実 する	市営住宅な どの公営住 宅を増やす など居住の 確保がしや すい環境を 整備する	年金・手当 など経済的 支援を充実 する	健康診断や 保健相談・ 指導を充実 する	医療や介護 保障を充実 する	保育所を 充実する	学童保育の 場を増やす	生活上の悩 みの相談 窓口を充実 する	
年齢別	20歳未満	13	38.5	61.5	69.2	-	30.8	15.4	23.1	15.4
	20～24歳	26	46.2	53.8	57.7	3.8	26.9	46.2	23.1	11.5
	25～29歳	53	47.2	43.4	67.9	26.4	22.6	26.4	22.6	7.5
	30～34歳	157	47.1	49.7	74.5	14.0	33.8	26.1	32.5	8.3
	35～39歳	242	46.3	44.6	75.2	19.8	36.8	14.9	26.9	9.9
	40～44歳	271	44.3	43.5	75.6	13.3	42.1	15.1	25.8	16.2
	45～49歳	215	50.2	35.8	74.0	16.3	47.0	12.1	18.6	19.1
	50歳以上	99	60.6	38.4	76.8	15.2	54.5	12.1	14.1	12.1

	回答者数 (人)	学習や教養 などを身に つける機会 を増やす	スポーツや レクリエー ションに参 加できる機 会を増やす	いろいろな 施設や制度 のPRを充 実する	民間ボラン ティアや社 会福祉団体 を育成する	ひとり親家 庭に対する 偏見のない 世の中を つくる	その他	特に要望は ない	不明・ 無回答
年齢別	20歳未満	13	15.4	-	7.7	-	46.2	-	15.4
	20～24歳	26	7.7	3.8	11.5	-	34.6	3.8	3.8
	25～29歳	53	18.9	7.5	15.1	3.8	24.5	5.7	1.9
	30～34歳	157	21.7	6.4	8.3	2.5	21.0	4.5	6.4
	35～39歳	242	24.8	9.1	13.6	4.1	26.0	5.4	3.7
	40～44歳	271	20.3	6.6	12.5	2.2	22.5	4.8	4.4
	45～49歳	215	21.9	3.7	15.3	4.7	18.1	2.8	6.0
	50歳以上	99	16.2	3.0	23.2	3.0	23.2	3.0	5.1

■ 父子家庭

単位：％

	回答者数 (人)	職業訓練の 場や働く機 会を増やす など安定的 な就業の支 援を充実 する	市営住宅な どの公営住 宅を増やす など居住の 確保がしや すい環境を 整備する	年金・手当 など経済的 支援を充実 する	健康診断や 保健相談・ 指導を充実 する	医療や介護 保障を充実 する	保育所を 充実する	学童保育の 場を増やす	生活上の悩 みの相談 窓口を充実 する	
年齢別	20歳未満	10	30.0	20.0	90.0	10.0	60.0	-	-	20.0
	20～24歳	2	-	-	50.0	-	50.0	-	-	-
	25～29歳	7	42.9	42.9	42.9	-	-	28.6	28.6	14.3
	30～34歳	28	10.7	32.1	82.1	25.0	32.1	14.3	17.9	7.1
	35～39歳	43	27.9	27.9	76.7	32.6	51.2	14.0	20.9	11.6
	40～44歳	83	20.5	30.1	65.1	25.3	44.6	8.4	18.1	21.7
	45～49歳	67	23.9	23.9	71.6	20.9	43.3	9.0	13.4	25.4
	50歳以上	98	26.5	34.7	61.2	25.5	51.0	8.2	17.3	25.5

	回答者数 (人)	学習や教養 などを身に つける機会 を増やす	スポーツや レクリエー ションに参 加できる機 会を増やす	いろいろな 施設や制度 のPRを充 実する	民間ボラン ティアや社 会福祉団体 を育成する	ひとり親家 庭に対する 偏見のない 世の中を つくる	その他	特に要望は ない	不明・ 無回答	
年齢別	20歳未満	10	40.0	-	20.0	-	10.0	-	-	10.0
	20～24歳	2	50.0	-	-	-	-	-	-	-
	25～29歳	7	28.6	14.3	-	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3
	30～34歳	28	3.6	21.4	17.9	3.6	21.4	10.7	3.6	3.6
	35～39歳	43	14.0	18.6	23.3	14.0	20.9	4.7	9.3	-
	40～44歳	83	10.8	2.4	9.6	3.6	21.7	3.6	9.6	4.8
	45～49歳	67	10.4	10.4	19.4	4.5	14.9	9.0	1.5	4.5
	50歳以上	98	11.2	5.1	17.3	16.3	12.2	5.1	10.2	7.1

IV 経年比較

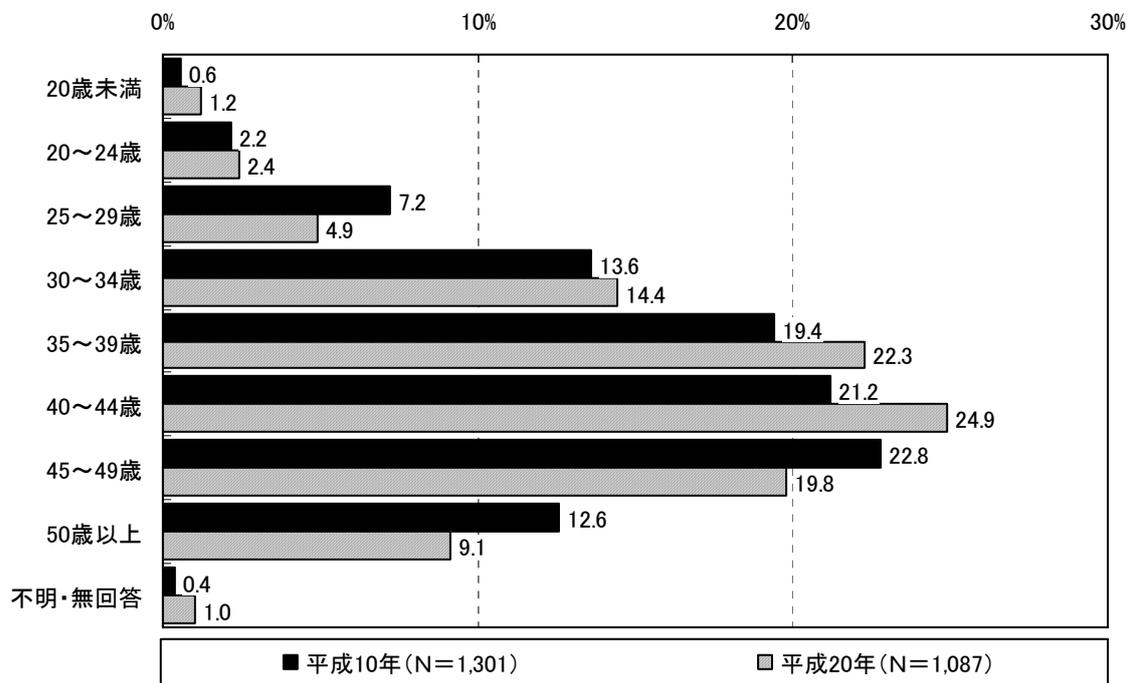
(母子家庭調査)

1 あなたご自身のこと・世帯の状況について

問2 あなたの現在の年齢について、当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

現在の年齢についてみると、「40～44歳」の割合が最も高く、次いで「35～39歳」の割合が高くなっている。

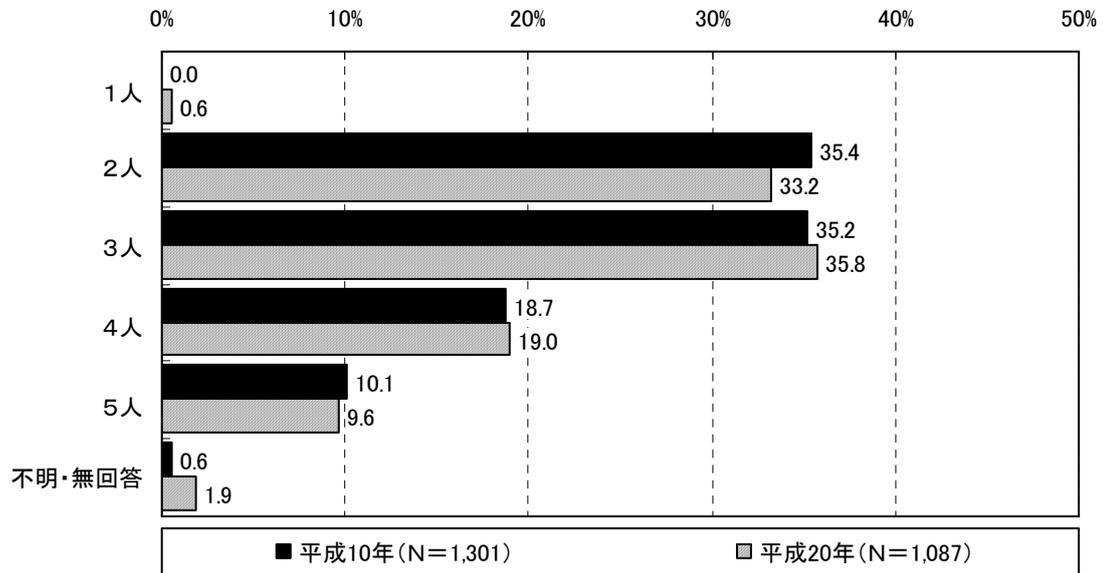
前回調査と比較しても大きな変化はみられない。



問3 あなたの世帯の「同居家族数」は、あなたも含め「何人家族」ですか。

家族の人数についてみると、「3人家族」の割合が最も高く、次いで「2人家族」の割合が高くなっている。

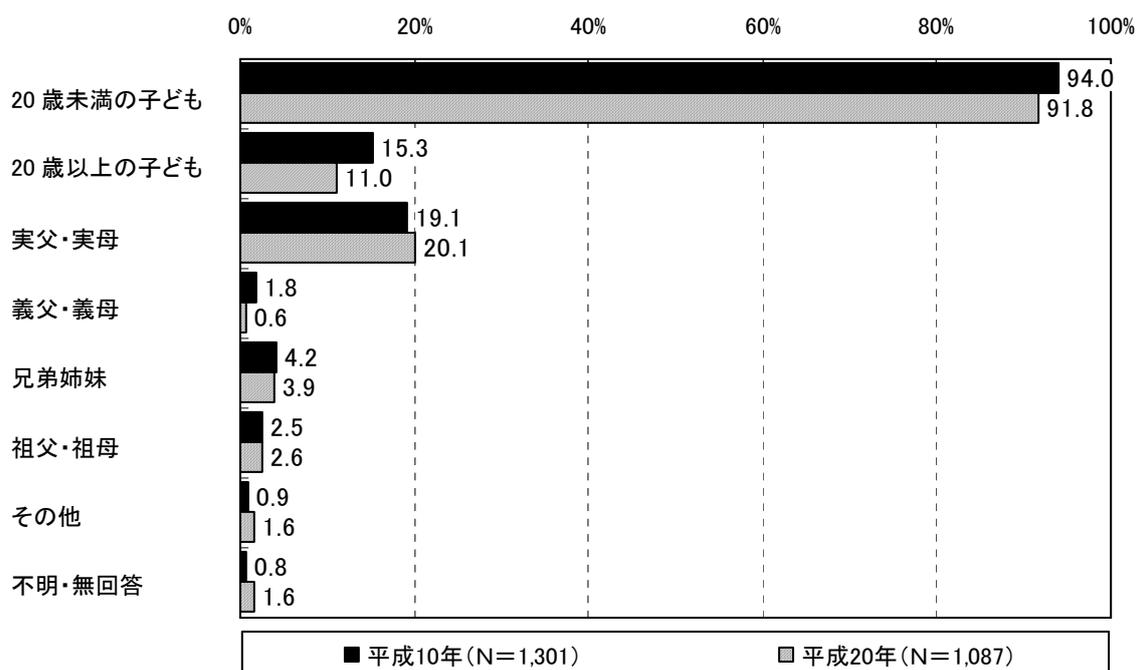
前回調査と比較しても大きな変化はみられない。



問4 同居の家族はどなたがいらっしゃいますか。あなたからの続き柄で当てはまるものすべてに○をつけてください。

同居の家族についてみると、「20歳未満の子ども」の割合が最も高く、次いで「実父・実母」の割合が高くなっている。

前回調査と比較しても大きな変化はみられない。

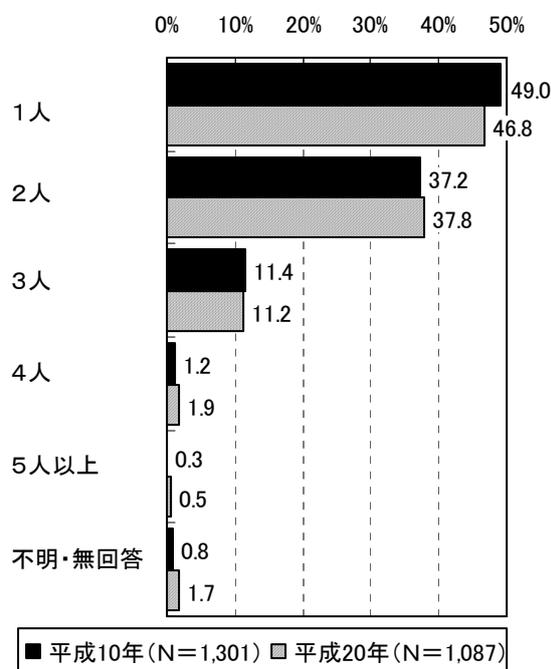


問5 あなたのお子さんは、次のいずれに当てはまりますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、同居、別居別の人数を記入してください。（ここでは、就職、進学などで別居しているお子さん（生計上の扶養家族）も含めます）

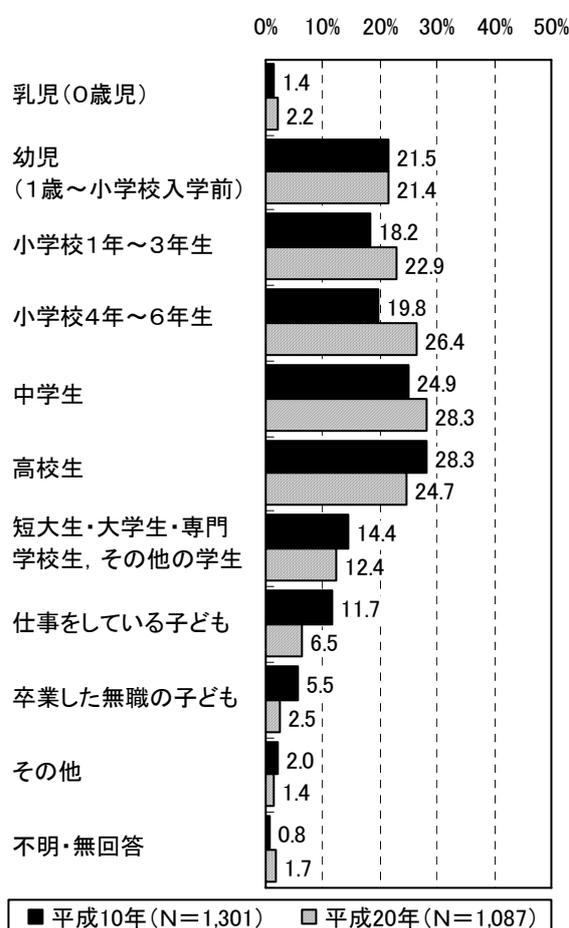
同居している子どもについてみると、子どもの人数では「1人」の割合が最も高く、次いで「2人」の割合が高くなっている。子どものライフステージでは「中学生」の割合が最も高く、次いで「小学校4年～6年生」の割合が高くなっている。

前回調査と比較すると、子どもの人数では大きな変化はみられない。子どものライフステージでは「小学校4年～6年生」について+6.6ポイントの差が生じている。

【同居している子どもの人数】



【同居している子どものライフステージ】

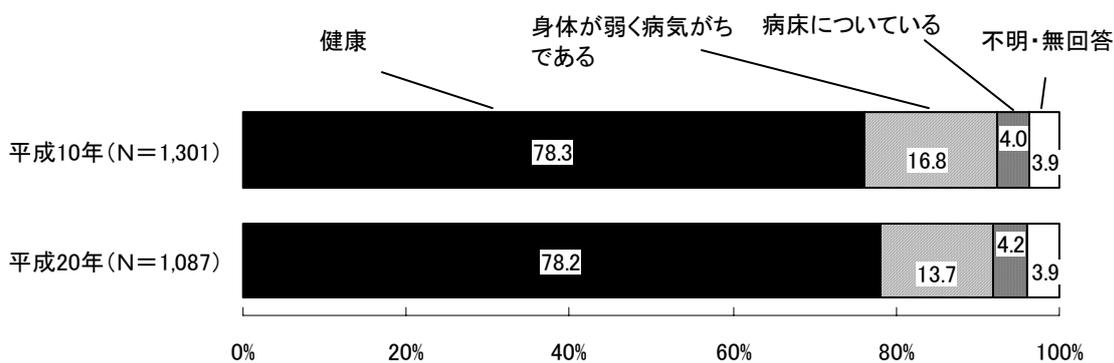


問6 あなたとお子さんの現在の健康状態はいかがですか。当てはまる欄に○を記入してください。なお、お子さんが複数いる場合は、当てはまるすべての欄に○を記入してください。

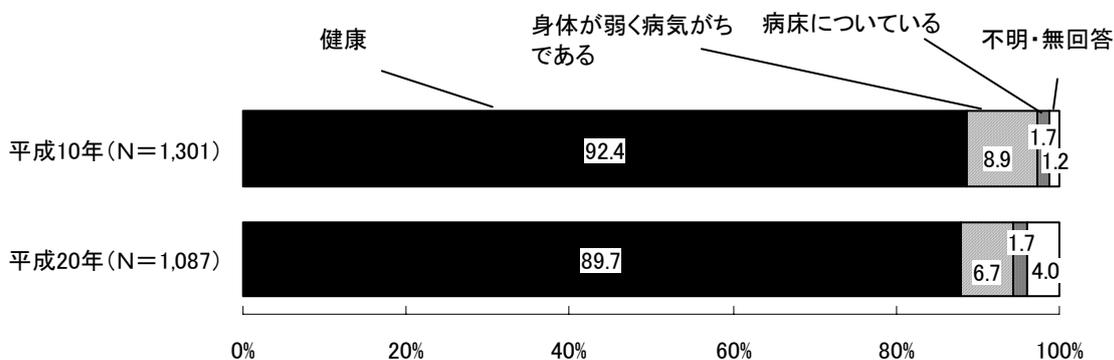
本人とお子さんの現在の健康状態についてみると、本人、子どもともに「健康」の割合が最も高く、次いで「身体が弱く病気がちである」の割合が高くなっている。

前回調査と比較しても本人、子どもともに大きな変化はみられない。

【本人】



【子ども】

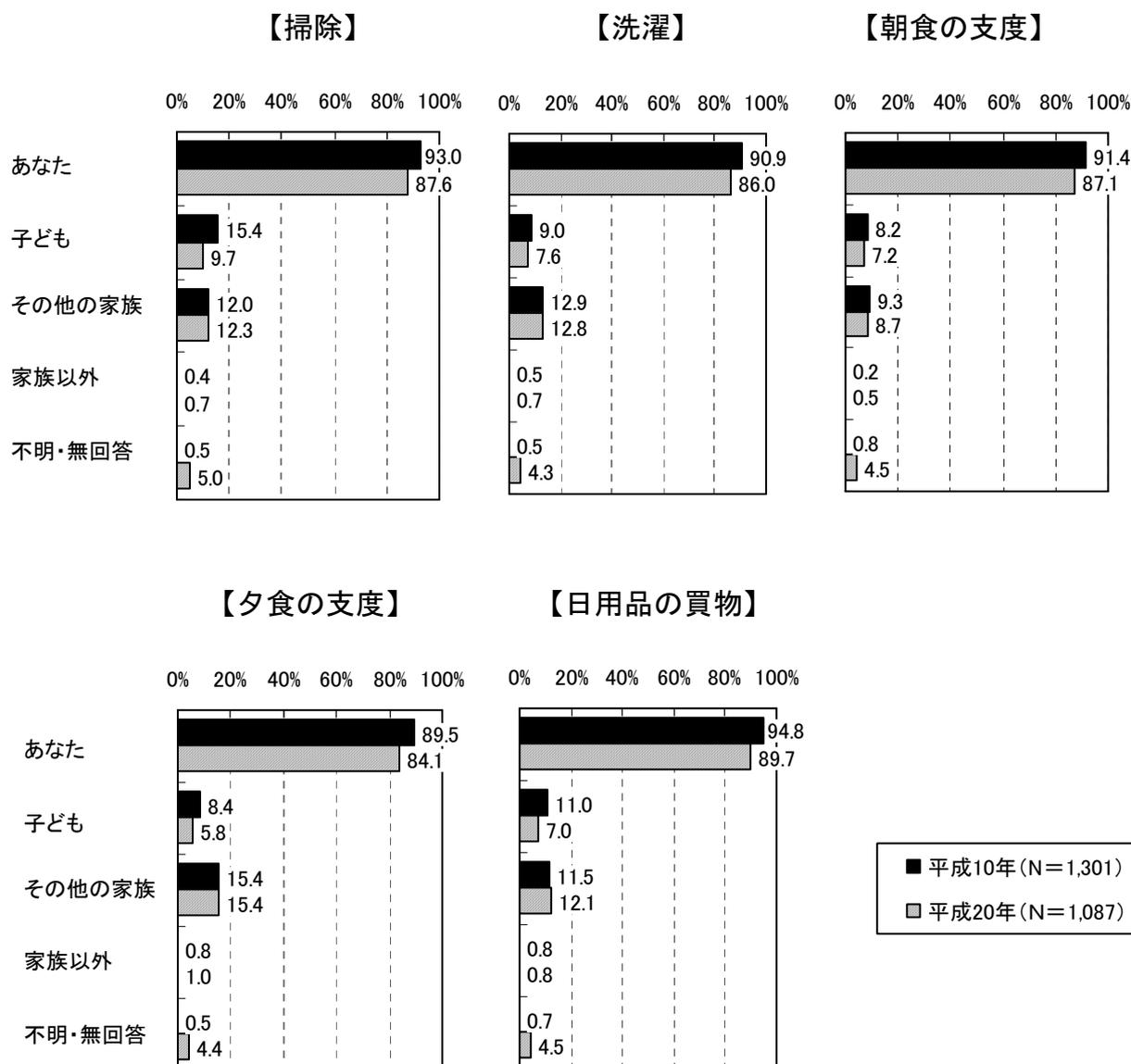


2 家事の分担状況について

問7 あなたのご家庭では、以下の家事は主にどなたが担当されていますか。当てはまるすべての欄に○を記入してください。

家庭での家事の主な担当についてみると、すべてにおいて「あなた」の割合が最も高く、それぞれ、掃除が87.6%、洗濯が86.0%、朝食の支度が87.1%、夕食の支度が84.1%、日用品の買物が89.7%となっている。

前回調査と比較すると、掃除では「子ども」について-5.7ポイント、「あなた」について-5.4ポイント、夕食の支度では「あなた」について-5.4ポイント、日用品の買物でも「あなた」について-5.1ポイントの差が生じている。

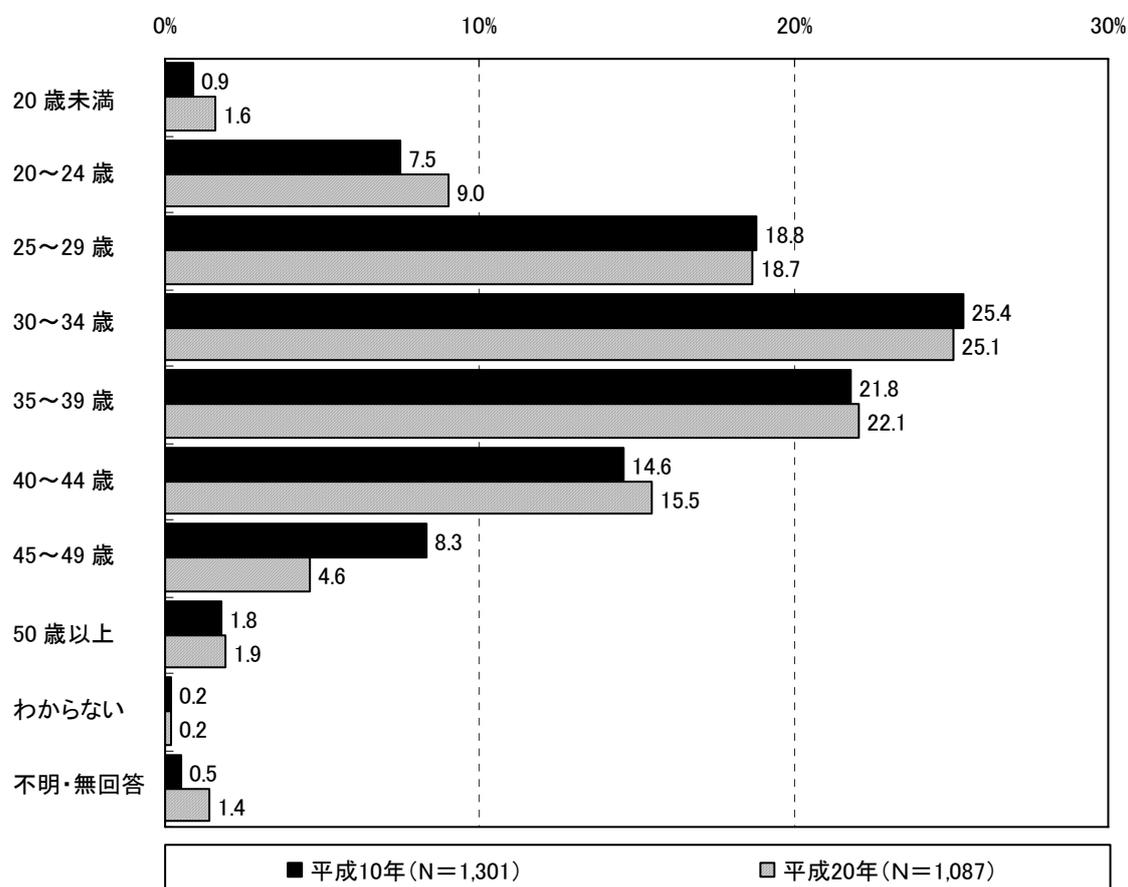


3 ひとり親家庭になったときの状況について

問8 ひとり親家庭になったときのあなたの年齢について、当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

ひとり親家庭になったときの年齢についてみると、「30～34歳」の割合が最も高く、次いで「35～39歳」の割合が高くなっている。

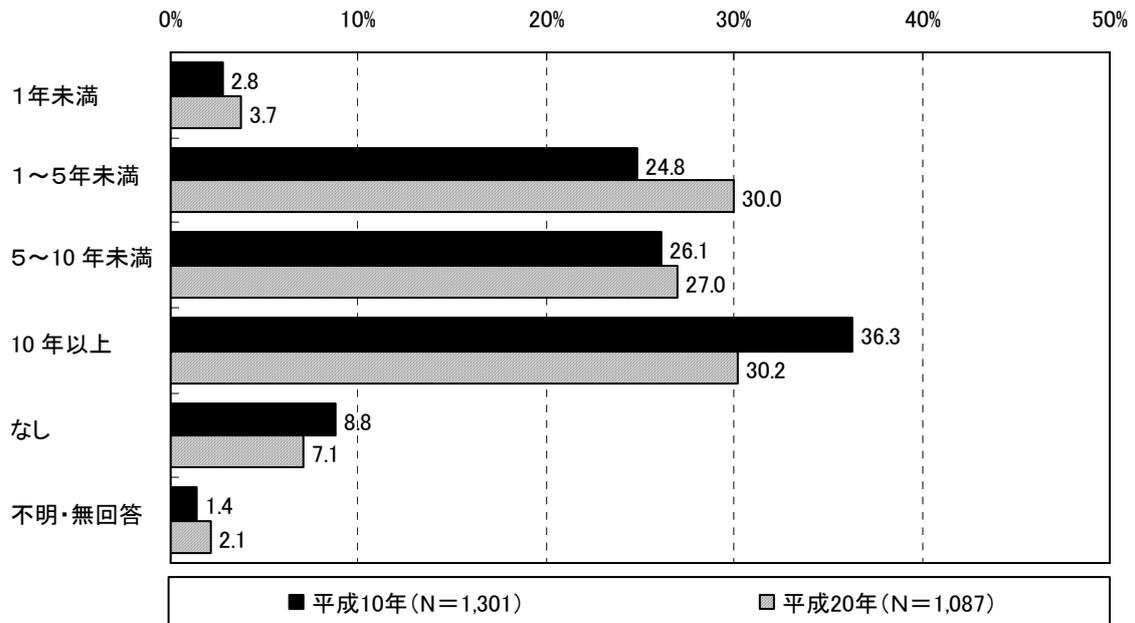
前回調査と比較しても大きな変化はみられない。



問9 前配偶者との婚姻期間について、当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

前配偶者との婚姻期間についてみると、「10年以上」の割合が最も高く、次いで「1～5年未満」の割合が高くなっている。

前回調査と比較すると、「10年以上」について-6.1ポイント、「1～5年未満」について+5.2ポイントの差が生じている。

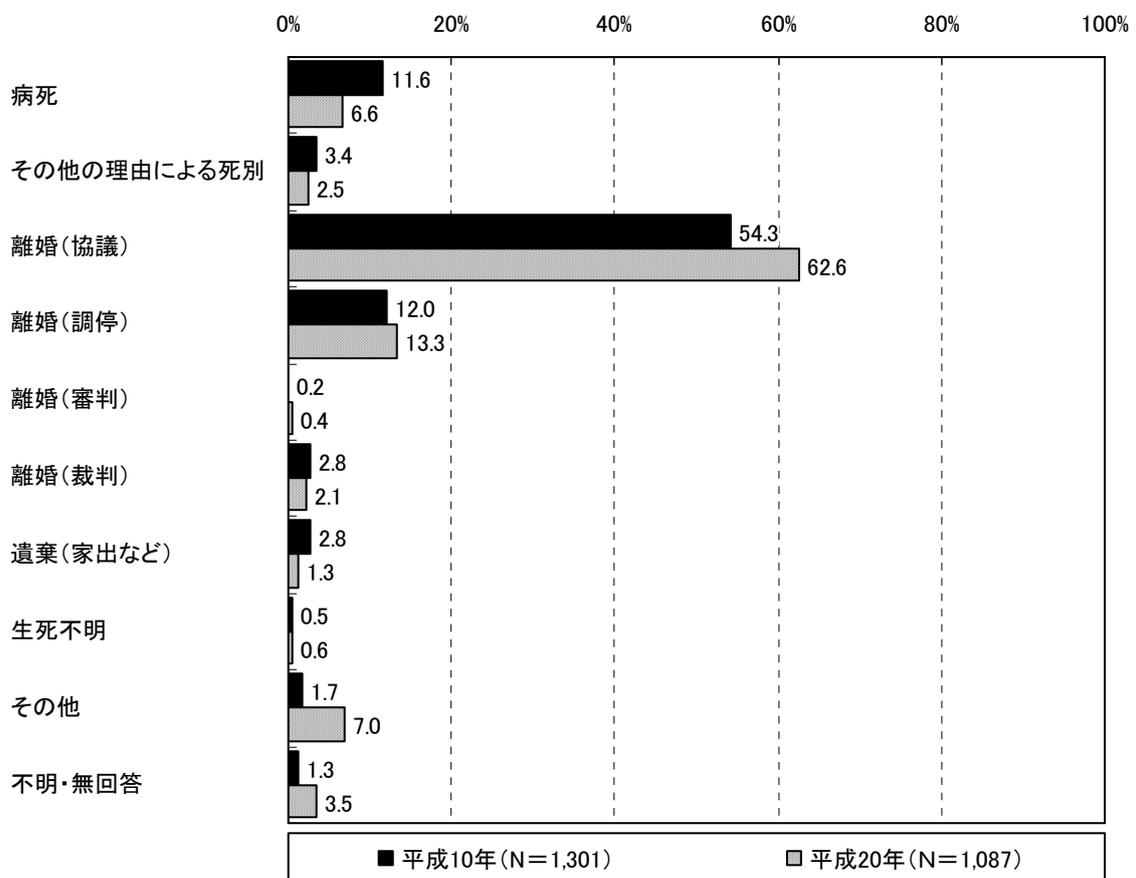


問 10 ひとり親家庭となった理由についてお尋ねします。

(1) ひとり親になった理由について、当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

ひとり親になった理由についてみると、「離婚（協議）」の割合が最も高く、次いで「離婚（調停）」の割合が高くなっている。

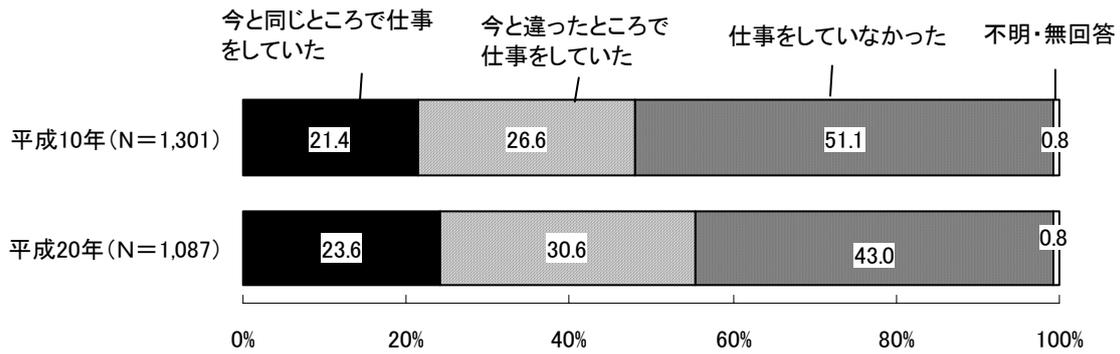
前回調査と比較すると、「離婚（協議）」について+8.3ポイント、「病死」について-5.0ポイントの差が生じている。



問 11 ひとり親家庭になられたとき、あなたは仕事をしていましたか。当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

ひとり親家庭になったとき、仕事をしていたかについてみると、「仕事をしていなかった」の割合が最も高く、次いで「今と違ったところで仕事をしていた」の割合が高くなっている。

前回調査と比較すると、「仕事をしていなかった」について-8.1ポイントの差が生じている。

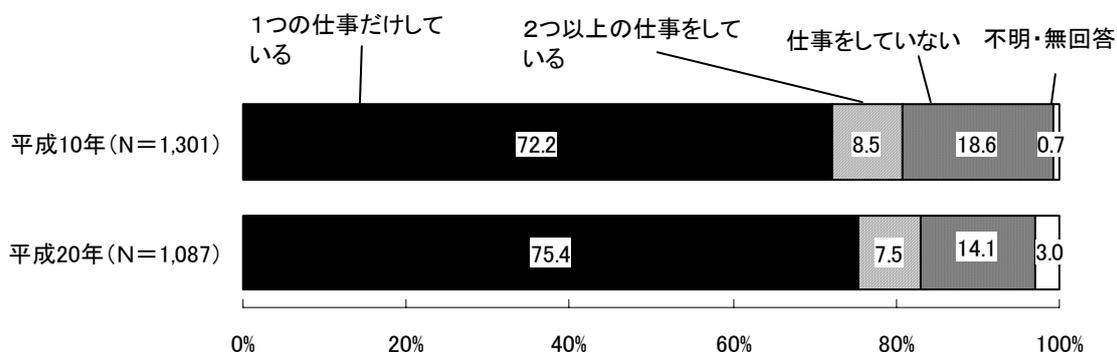


4 現在の仕事について

問 12 あなたは現在、収入を伴う仕事をしていますか。当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

現在、収入を伴う仕事をしているかについてみると、「1つの仕事だけしている」の割合が最も高く、次いで「仕事をしていない」の割合が高くなっている。

前回調査と比較しても大きな変化はみられない。

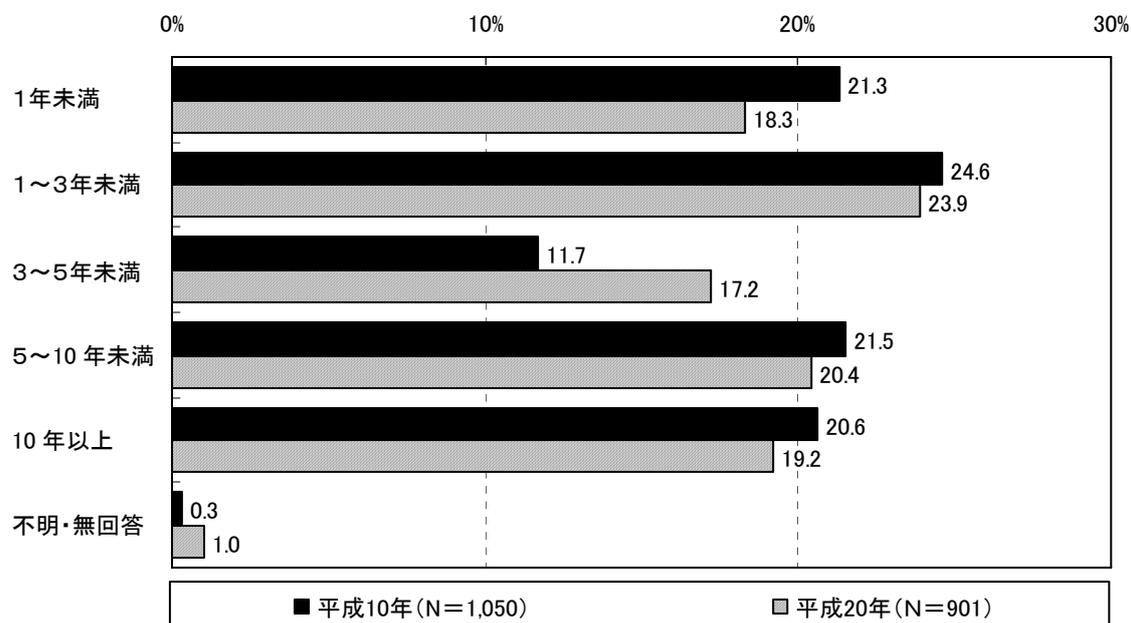


問 13 収入を伴う仕事をしている方だけにお尋ねします。

(1) あなたが現在の仕事につかれてから何年になりますか。当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

現在の仕事について何年になるかについてみると、「1～3年未満」の割合が最も高く、次いで「5～10年未満」の割合が高くなっている。

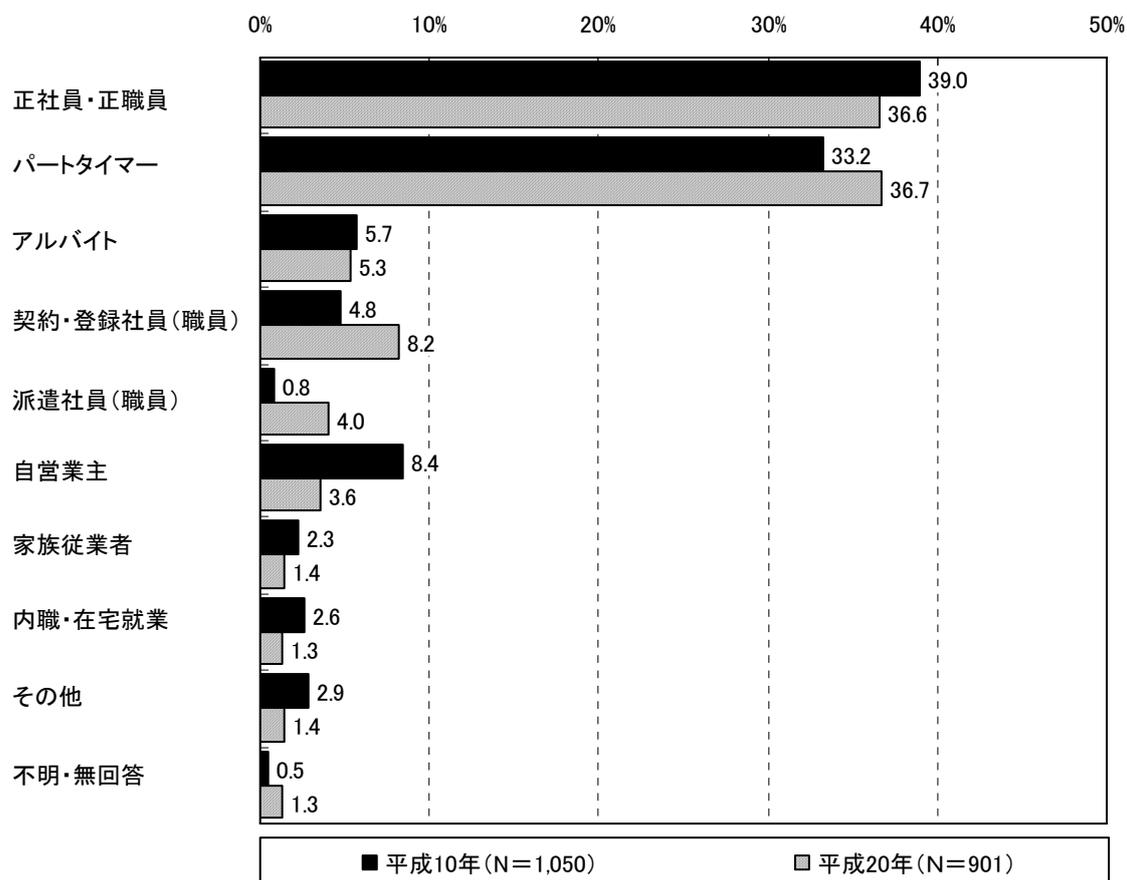
前回調査と比較すると、「3～5年未満」について+5.5ポイントの差が生じている。



(2) あなたの就労形態について、当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

就労形態についてみると、「パートタイマー」の割合が最も高く、次いで「正社員・正職員」の割合が高くなっている。

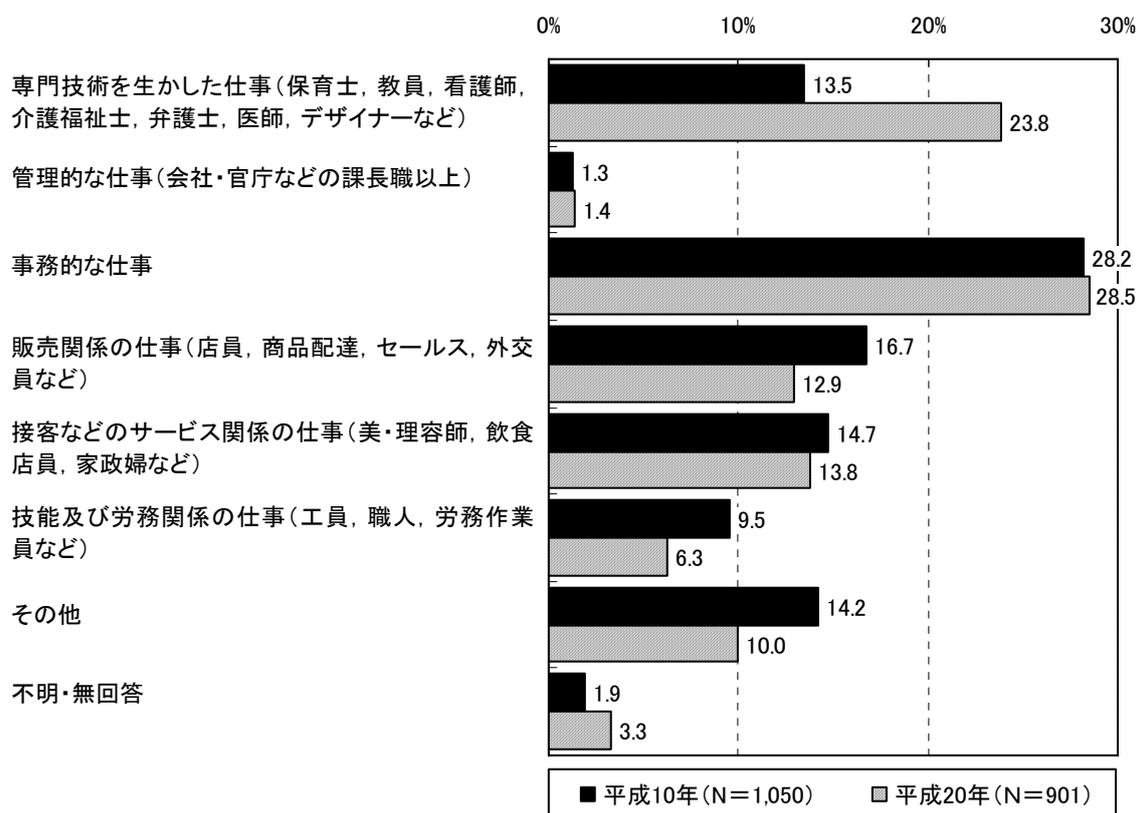
前回調査と比較すると、「契約・登録社員（職員）」について+3.4ポイント、「派遣社員（職員）」について+3.2ポイントの差が生じている。



(3) その仕事の種類について、当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

その仕事の種類についてみると、「事務的な仕事」の割合が最も高く、次いで「専門技術を生かした仕事（保育士，教員，看護師，介護福祉士，弁護士，医師，デザイナーなど）」の割合が高くなっている。

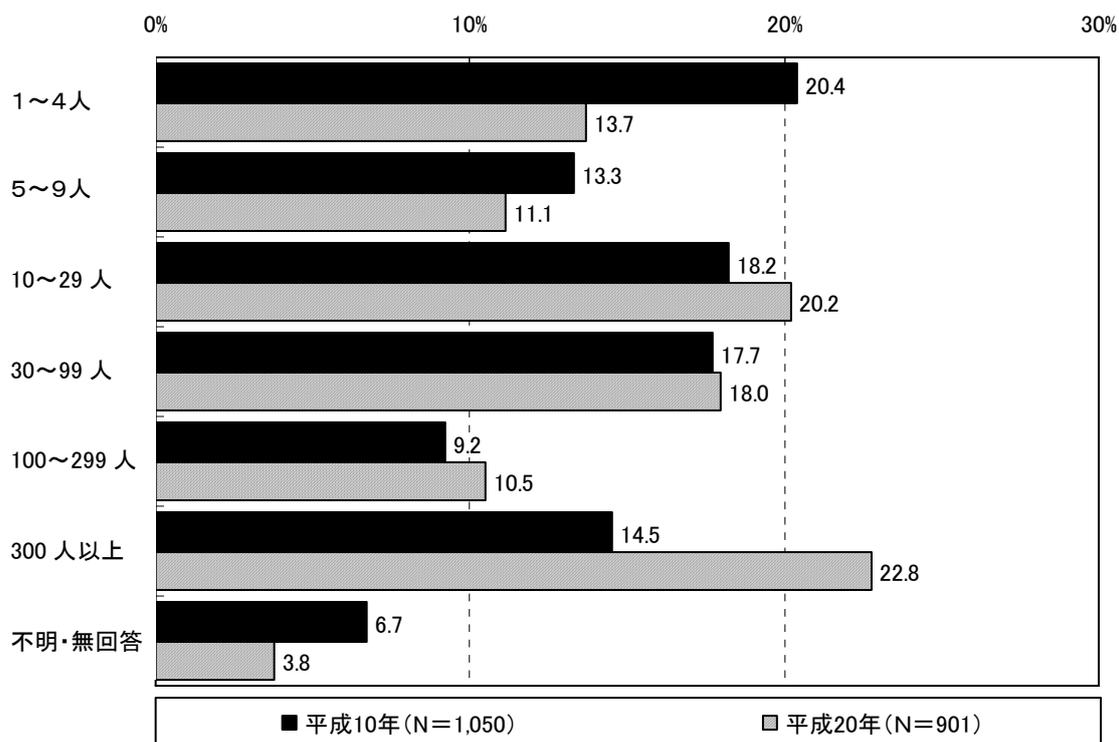
前回調査と比較すると、「専門技術を生かした仕事」について+10.3ポイントの差が生じている。



(4) 勤務先（自営業の方は家族従業者を含む）の規模（従業員数）について、当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

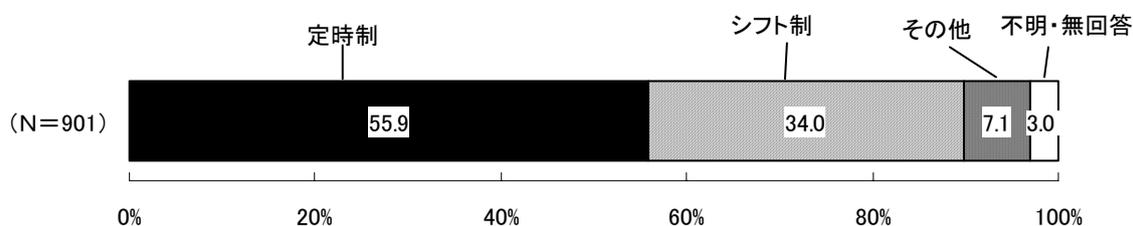
勤務先（自営業の方は家族従業者を含む）の規模（従業員数）についてみると、「300人以上」の割合が最も高く、次いで「10～29人」の割合が高くなっている。

前回調査と比較すると、「300人以上」について+8.3ポイント、「1～4人」について-6.7の差が生じている。



(5) あなたの勤務体制について、当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

勤務体制についてみると、「定時制」が55.9%、「シフト制」が34.0%となっている。

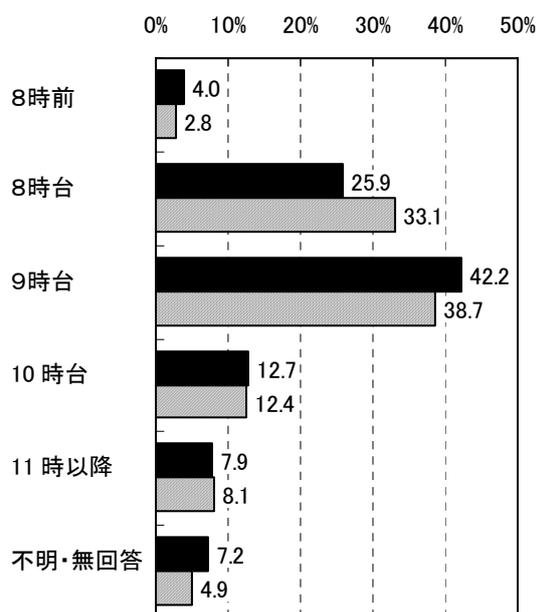


(6) あなたの普段の平均的な勤務時間（残業が恒常的になっている方はその時間も含む）はどのようになっていますか。また、仕事が終わって帰宅するのは何時ごろですか。シフト制で働いている方は平均的な勤務時間を記入してください。

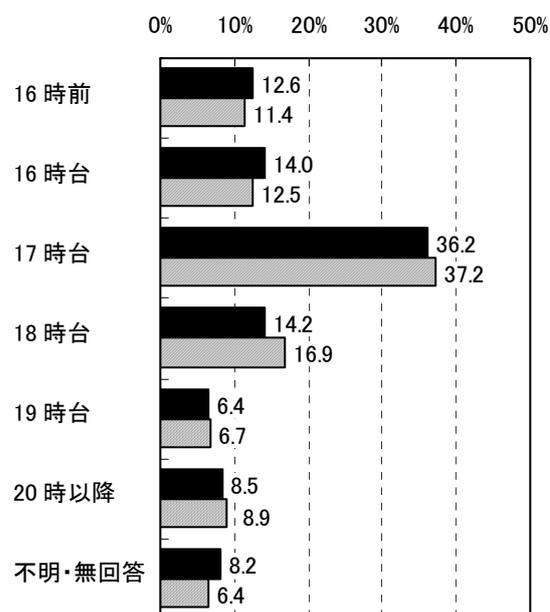
普段の平均的な勤務時間についてみると、始業時間では「9時台」、終業時間では「17時台」、帰宅時間では「18時台」が最も高くなっている。

前回調査と比較すると、始業時間では「8時台」について+7.2ポイント、帰宅時間では「20時以降」について+5.1ポイントの差が生じている。終業時間では前回調査と比較しても大きな変化はみられない。

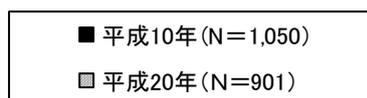
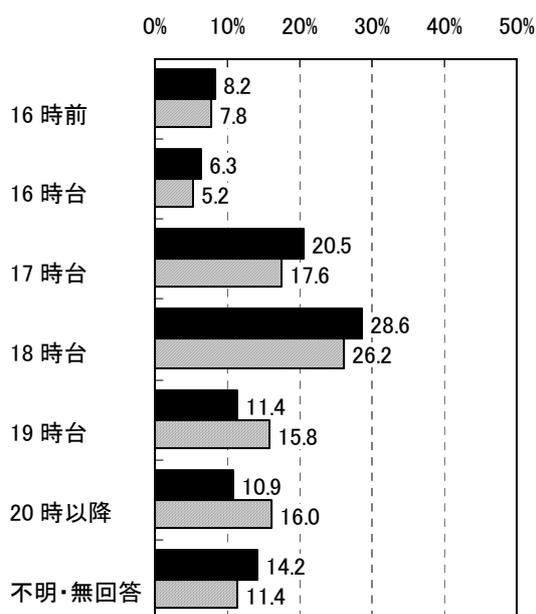
【始業時間】



【終業時間】



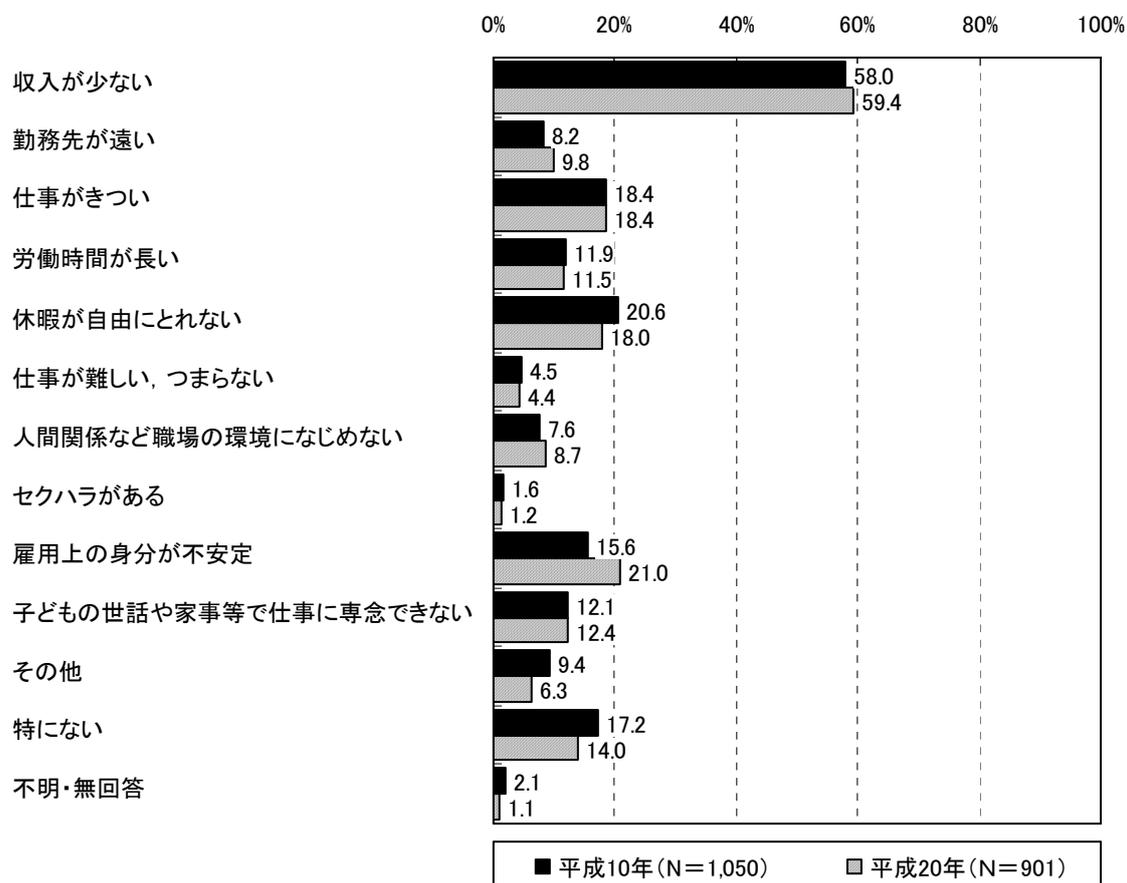
【帰宅時間】



(7) あなたの仕事上の悩みについて、当てはまるものすべてに○をつけてください。

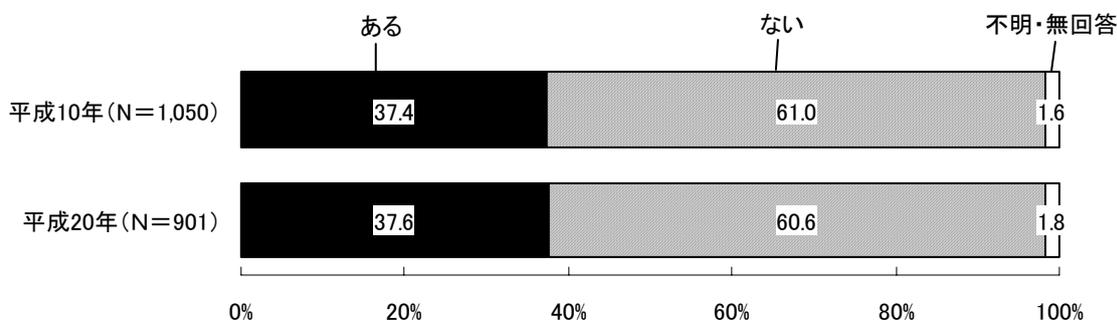
仕事上の悩みについてみると、「収入が少ない」の割合が最も高く、次いで「雇用上の身分が不安定」の割合が高くなっている。

前回調査と比較すると、「雇用上の身分が不安定」について+5.4ポイントの差が生じている。



(8) 現在、あなたは転職の希望がありますか。当てはまるものに○をつけてください。

現在、転職の希望があるかについてみると、「ない」が60.6%、「ある」が37.6%となっている。前回調査と比較しても大きな変化はみられない。



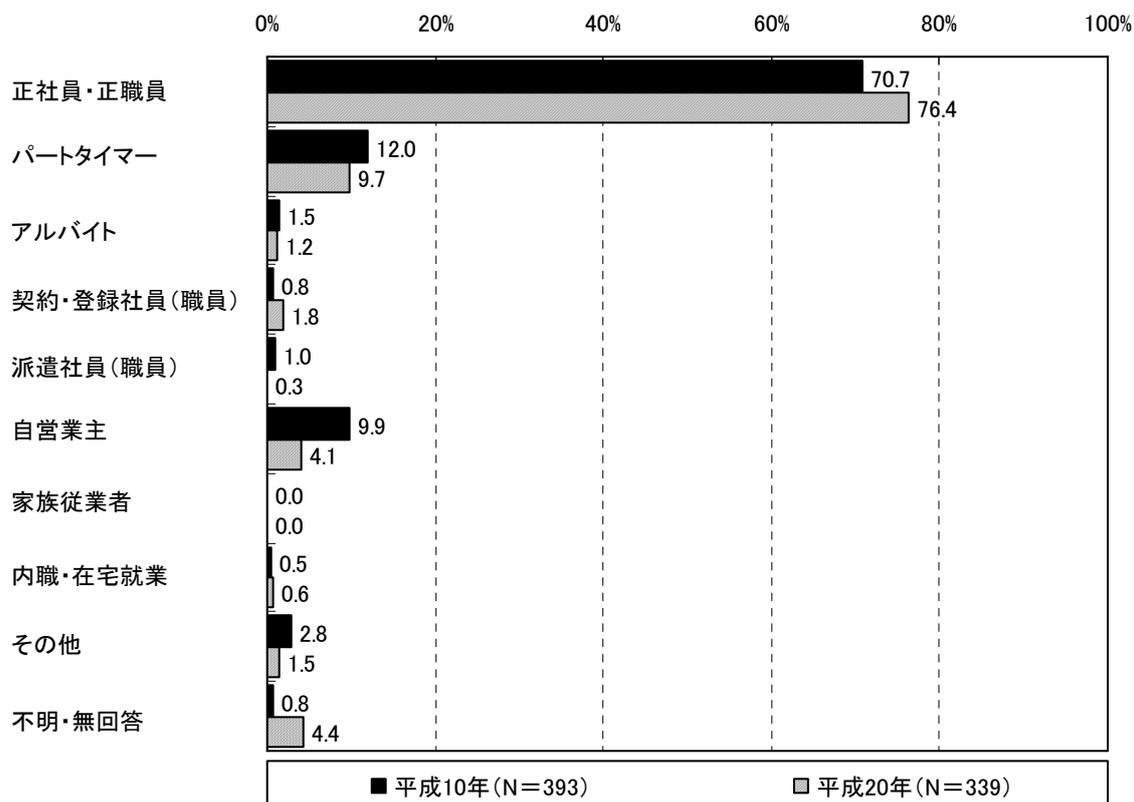
(9) 今後、転職の希望がある方だけにお尋ねします。

・転職する場合、あなたは、どのような就労形態で働きたいと考えていますか。当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

今後、転職の希望する場合、どのような就労形態で働きたいと考えているかについてみると、「正社員・正職員」の割合が最も高くなっている。

前回調査と比較すると、「正社員・正職員」について+5.7ポイント、「自営業主」について-5.8の差が生じている。

【希望する就労形態】

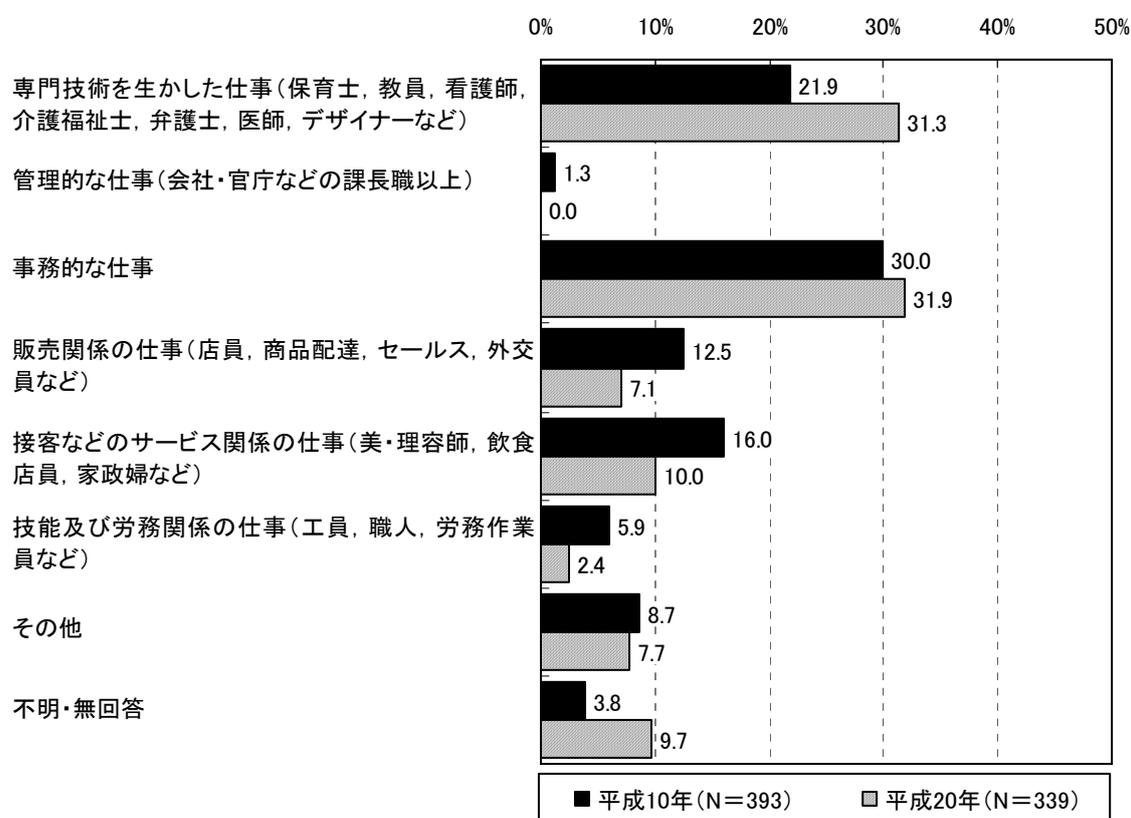


・転職する場合、あなたは、どのような種類の仕事につきたいと考えていますか。
当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

転職する場合、どのような種類の仕事につきたいと考えるかについてみると、「事務的な仕事」の割合が最も高く、次いで「専門技術を生かした仕事（保育士、教員、看護師、介護福祉士、弁護士、医師、デザイナーなど）」の割合が高くなっている。

前回調査と比較すると、「専門技術を生かした仕事（保育士、教員、看護師、介護福祉士、弁護士、医師、デザイナーなど）」について+9.4ポイント、「接客などのサービス関係の仕事（美・理容師、飲食店員など）」について-6.0ポイント、「販売関係の仕事（店員、商品配達、セールス、外交員など）」について-5.4ポイントの差が生じている。

【希望する仕事の種類】

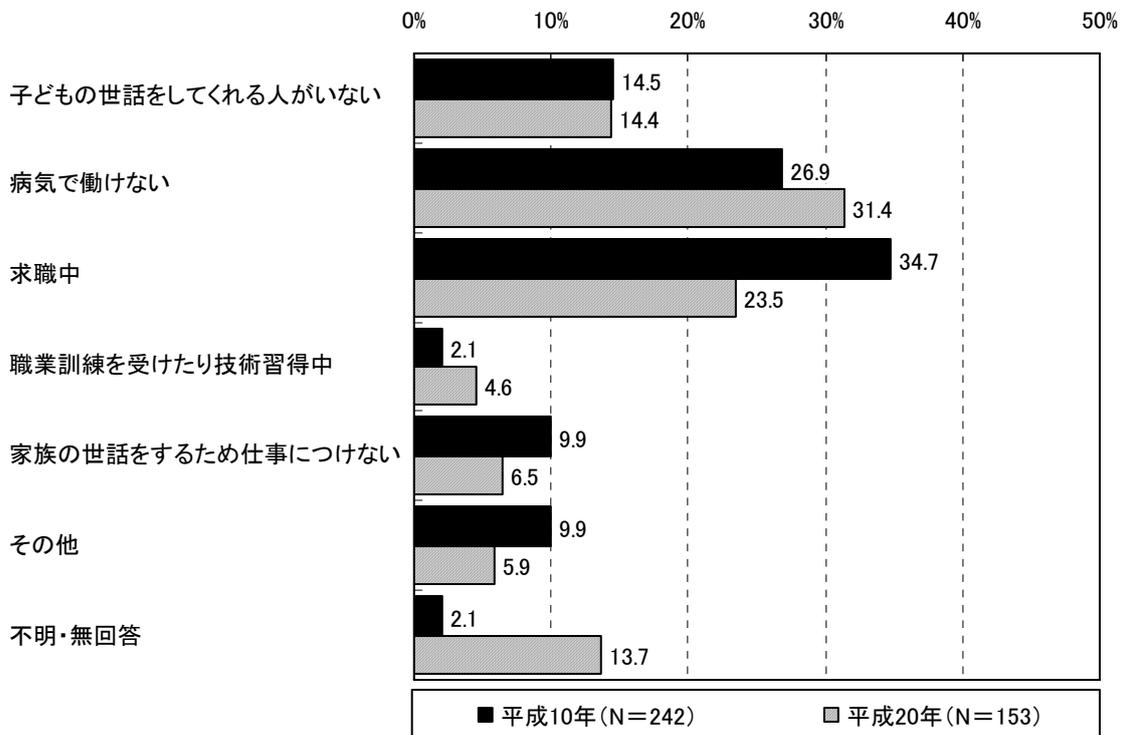


問 14 収入を伴う仕事がない方だけにお尋ねします。

(1) その理由は何ですか。当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

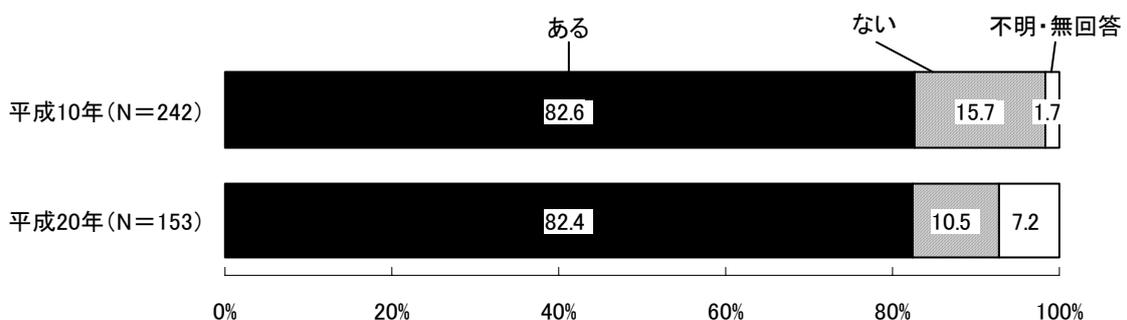
収入を伴う仕事がない方の理由についてみると、「病気で働けない」の割合が最も高く、次いで「求職中」が高くなっている。

前回調査と比較すると、「求職中」について-11.2ポイントの差が生じている。



(2) あなたは今後、就職の希望はありますか。当てはまるものに○をつけてください。

今後、就職の希望についてみると、「ある」が82.4%、「ない」が10.5%となっている。前回調査と比較すると、「ない」について-5.2ポイントの差が生じている。



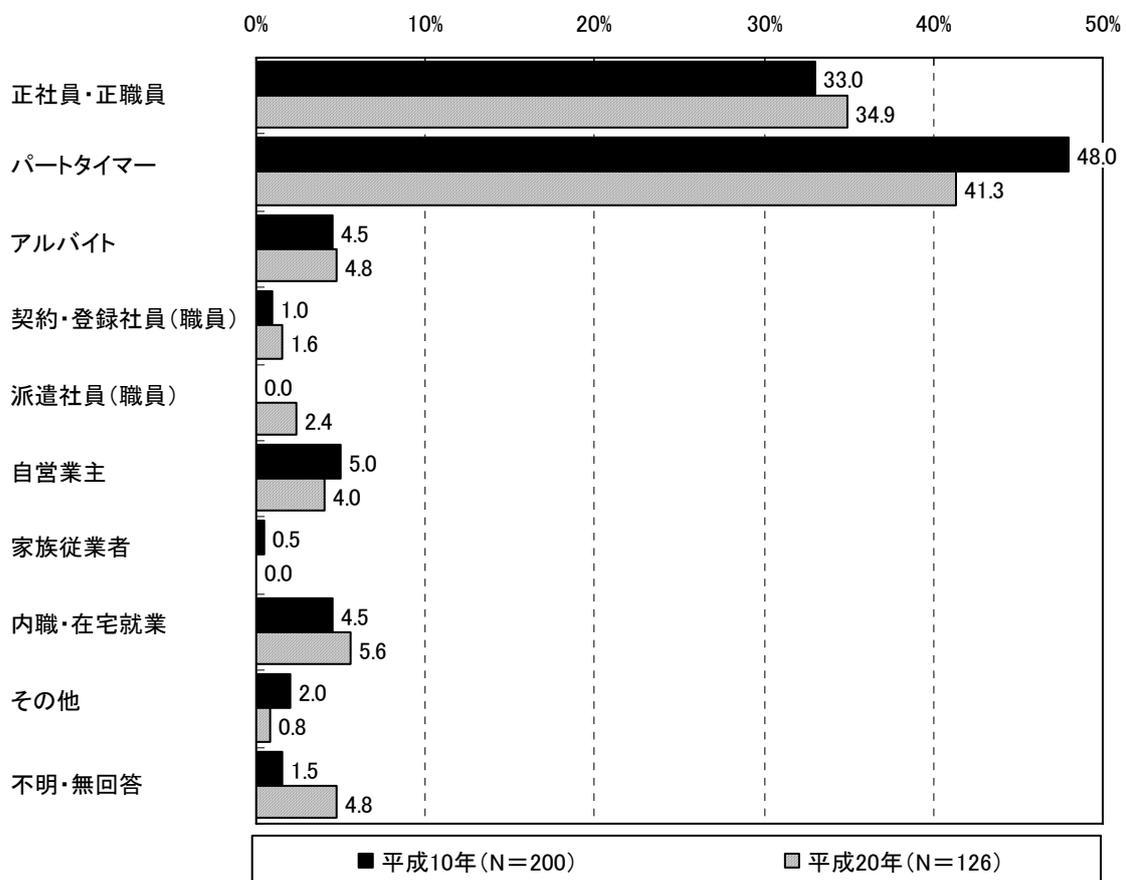
(3) 就職の希望がある方だけにお尋ねします。

- ・就職する場合、あなたは、どのような就労形態で働きたいと考えていますか。
当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

就職の希望がある方に、就職する場合、どのような就労形態で働きたいと考えているかについて聞いてみると、「パートタイマー」の割合が最も高く、次いで「正社員・正職員」の割合が高くなっている。

前回調査と比較すると、「パートタイマー」について-6.7ポイントの差が生じている。

【希望する就労形態】

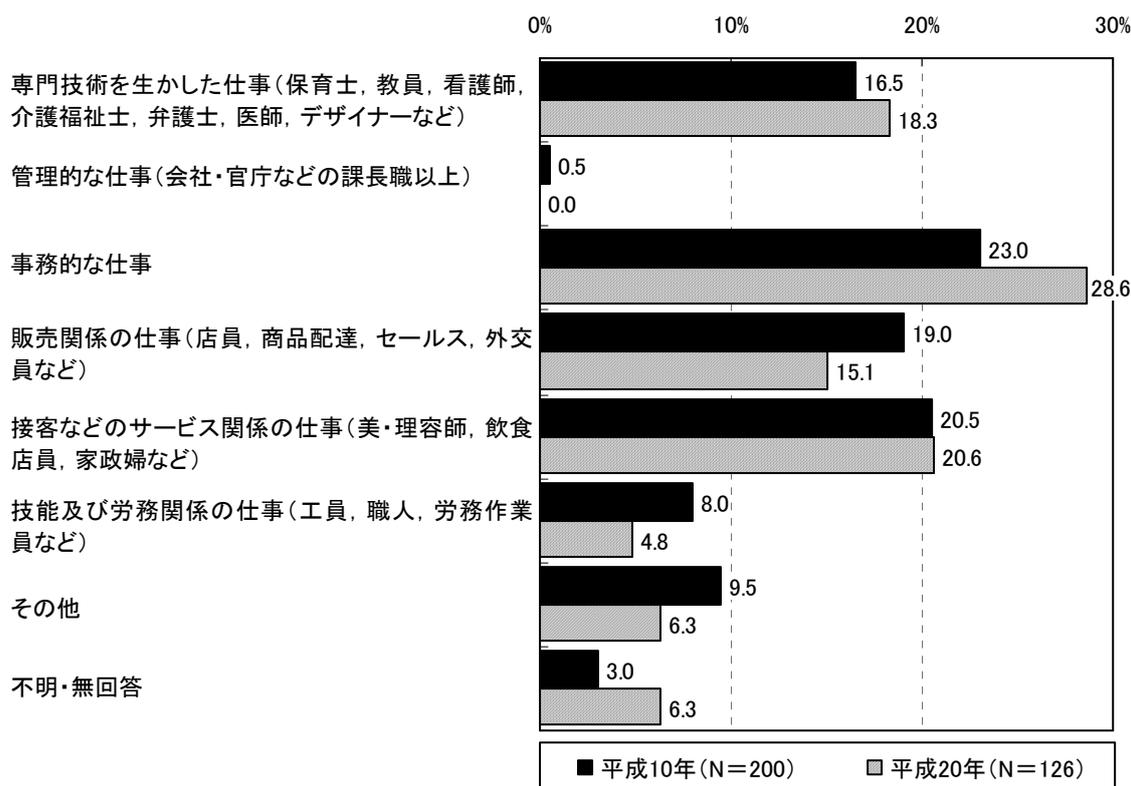


・就職する場合、あなたは、どのような種類の仕事につきたいと考えていますか。
 当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

就職の希望がある方に、就職する場合、どのような種類の仕事につきたいと考えているかについて聞いてみると、「事務的な仕事」の割合が最も高く、次いで「接客などのサービス関係の仕事（美・理容師、飲食店員、家政婦など）」の割合が高くなっている。

前回調査と比較すると、「事務的な仕事」について+5.6ポイントの差が生じている。

【希望する仕事の種類】



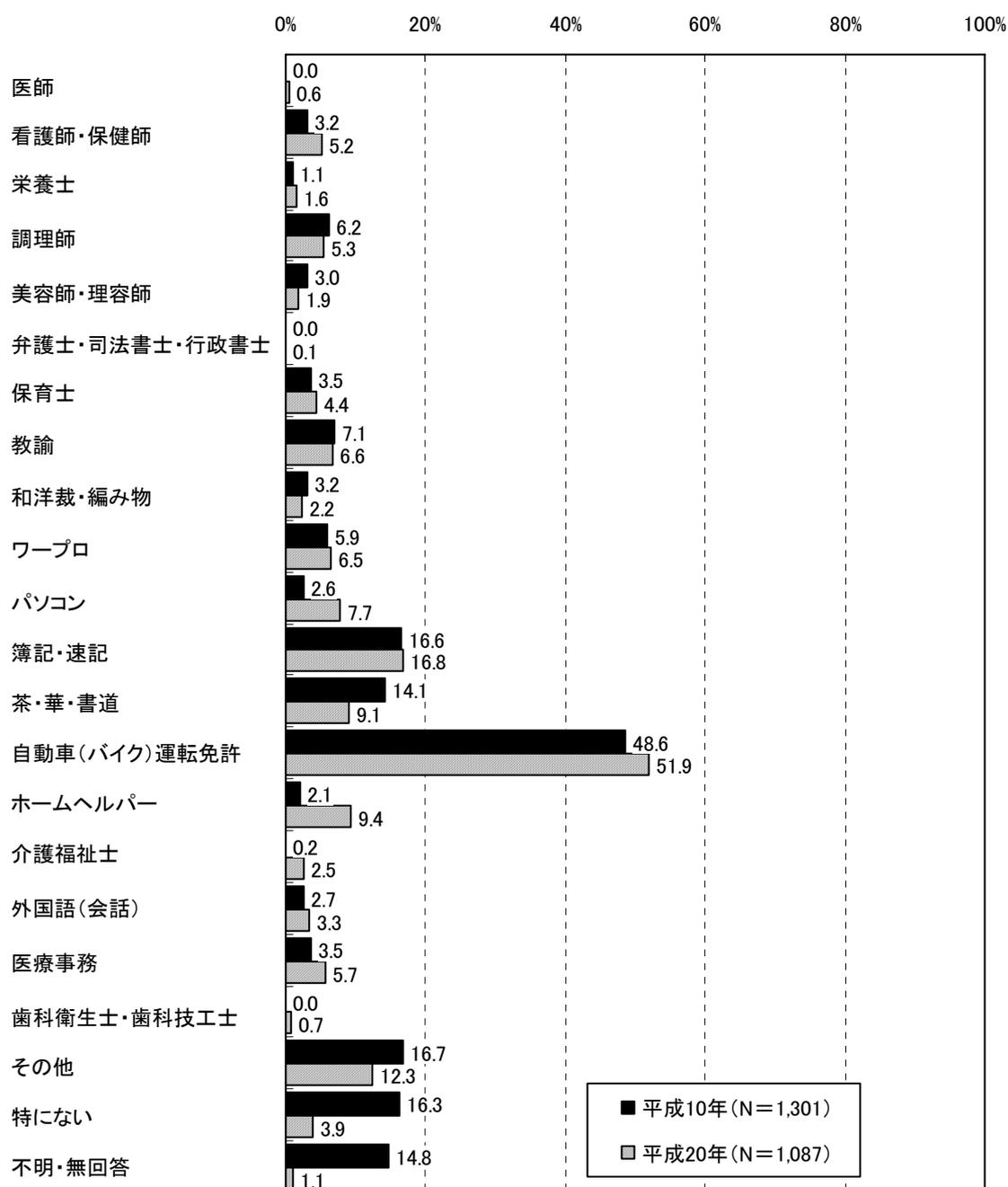
5 お持ちの資格や技能について

問 15 現在持っている資格など(当てはまるものすべて)と、今後取得したいと思っている資格など(主なものを3つまで)がありますか。

現在持っている資格についてみると、「自動車(バイク)運転免許」の割合が最も高く、次いで「簿記・速記」の割合が高くなっている。

前回調査と比較すると、「ホームヘルパー」について+7.3ポイント、「パソコン」について+5.1ポイントの差が生じている。

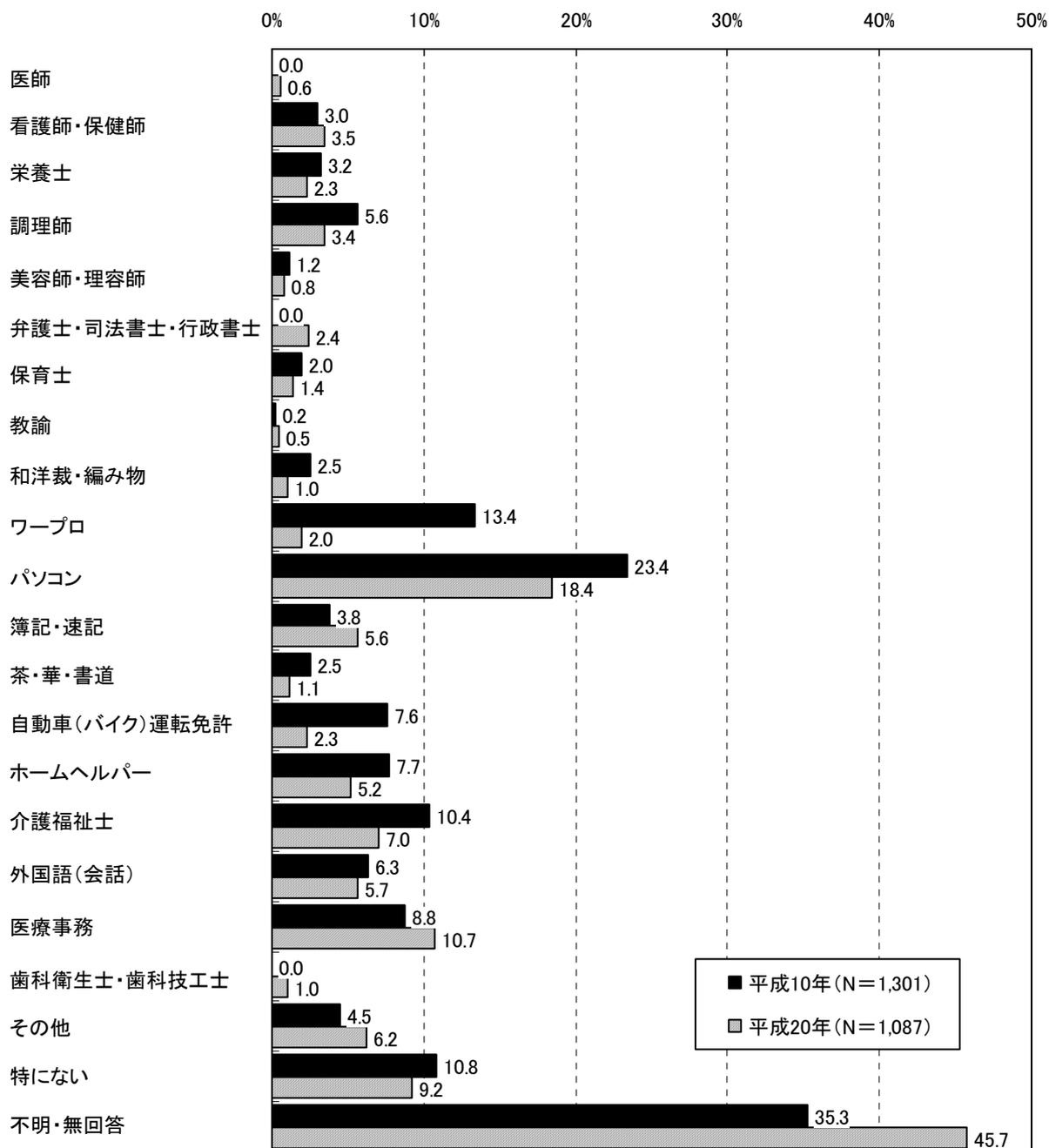
【現在持っている資格】



※医師，弁護士・司法書士・行政書士，歯科衛生士・歯科技工士は今回調査のみ

取得したい資格についてみると、「パソコン」の割合が最も高くなっている。
 前回調査と比較すると、「ワープロ」について-11.4ポイント、「自動車（バイク）運転免許」について-5.3ポイントの差が生じている。

【取得したい資格】

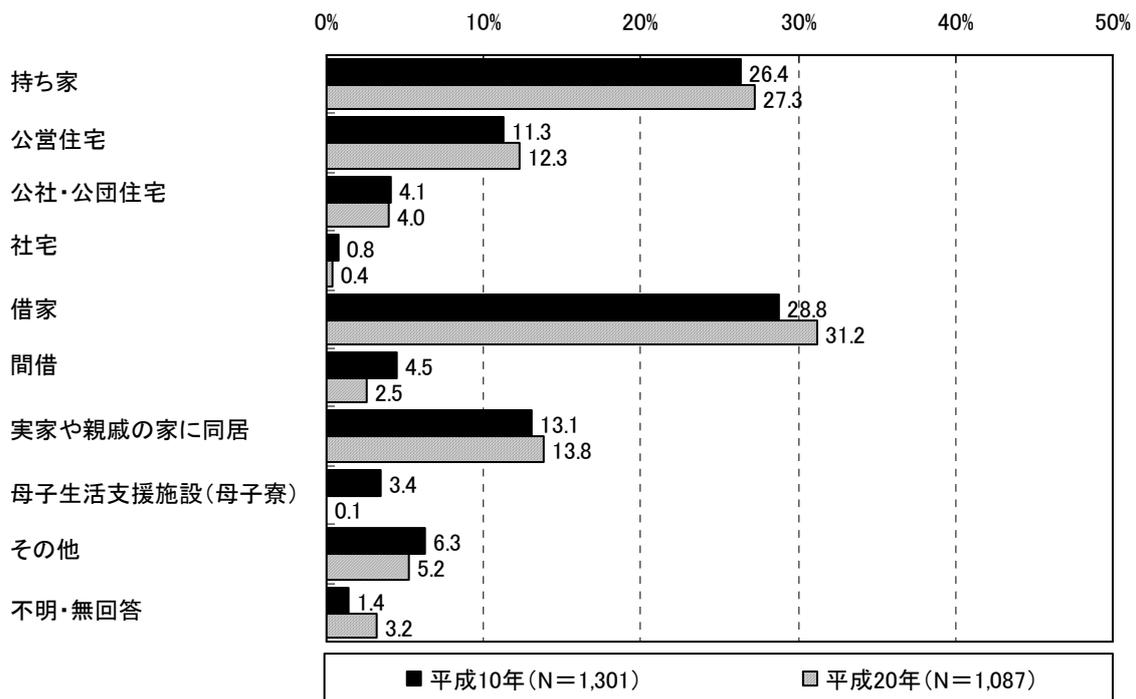


6 現在のお住まいについて

問 16 お住まいになっている住宅の種類について、当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

お住まいになっている住宅の種類についてみると、「借家」の割合が最も高く、次いで「持ち家」の割合が高くなっている。

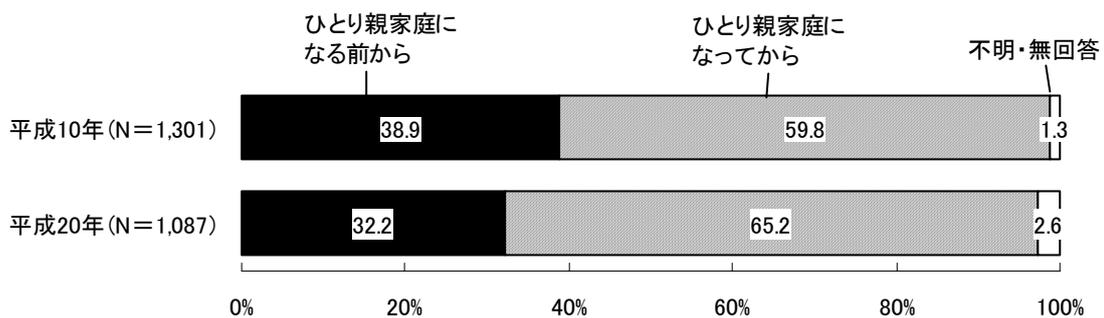
前回調査と比較しても大きな変化はみられない。



問 17 現在の住宅に住まれるようになったのは、ひとり親家庭になる前からですか。それともひとり親家庭になってからですか。当てはまるものに○をつけてください。

現在の住宅に住むようになったのは、ひとり親家庭になる前からかについてみると、「ひとり親家庭になってから」が65.2%、「ひとり親家庭になる前から」が32.2%となっている。

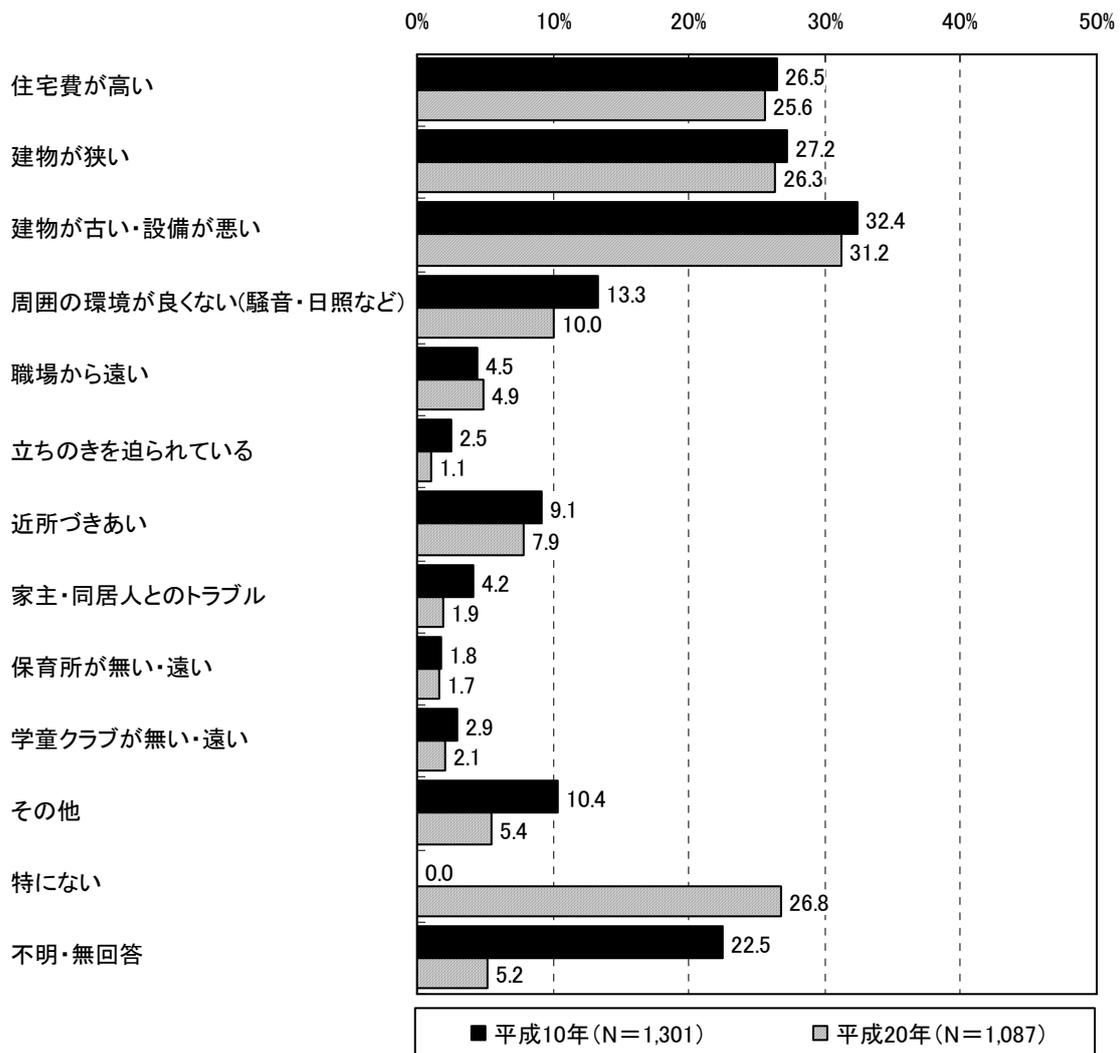
前回調査と比較すると、「ひとり親家庭になる前から」について-6.7ポイント、「ひとり親家庭になってから」について+5.4ポイントの差が生じている。



問 18 現在の住宅について、何か悩みがありますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

現在の住宅について、何か悩みあるかについてみると、「建物が古い・設備が悪い」の割合が最も高く、次いで「特にない」の割合が高くなっている。

前回調査と比較しても大きな変化はみられない。

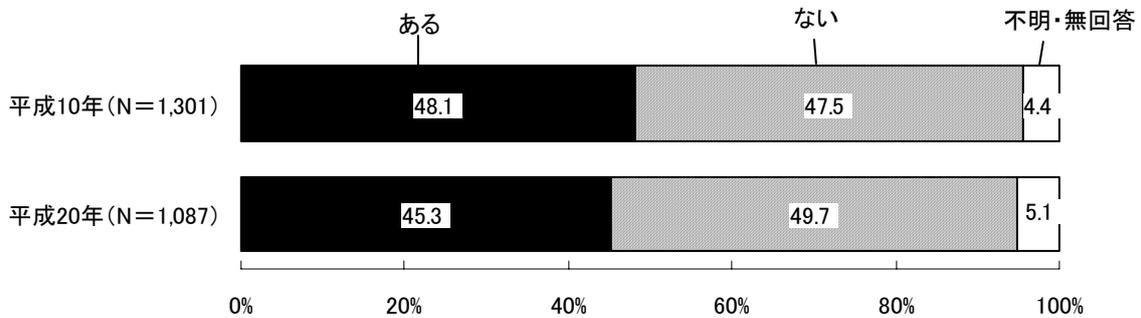


※「特にない」は今回調査のみ

問 19 転居の希望についてお尋ねします。

(1) 今後、転居の希望はありますか。当てはまるものに○をつけてください。

今後、転居の希望があるかについてみると、「ない」が49.7%、「ある」が45.3%となっている。
前回調査と比較しても大きな変化はみられない。

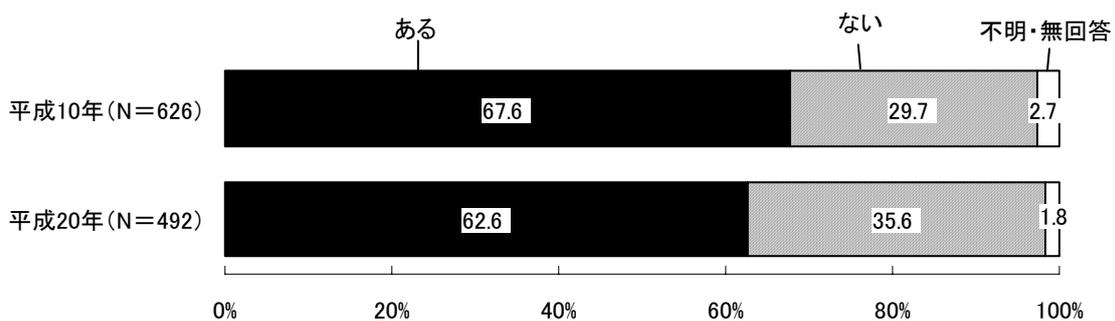


■ 転居希望があると答えた方のみにお尋ねします。

(2) 公営住宅（府・市営）への転居の希望はありますか。当てはまるものに○をつけてください。

公営住宅（府・市営）への転居の希望があるかについてみると、「ある」が62.6%、「ない」が35.6%となっている。

前回調査と比較すると、「ない」について+5.9ポイント、「ある」について-5.0ポイントの差が生じている。



7 世帯の収入状況・生活費について

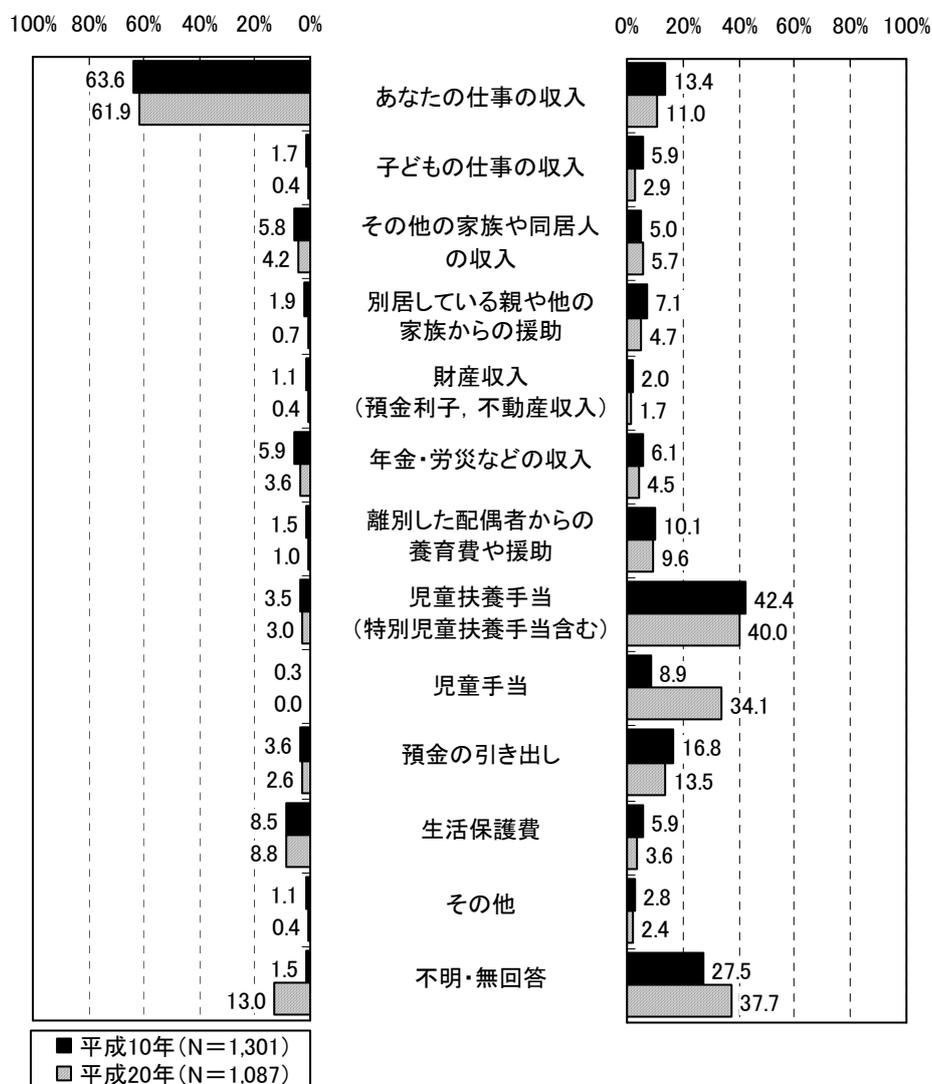
問 20 あなたの世帯の収入は、何によってまかなわれていますか。

世帯の収入は、何によってまかなわれているかについてみると、最も収入の多いものでは「あなたの仕事の収入」の割合が最も高くなっている。それ以外の収入では「児童扶養手当（特別児童扶養手当含む）」の割合が最も高く、次いで「児童手当」の割合が高くなっている。

前回調査と比較すると、最も収入の多いものでは大きな変化はみられないが、それ以外の収入では「児童手当」について+25.2ポイントの差が生じている。

【最も収入の多いもの】（単数回答）

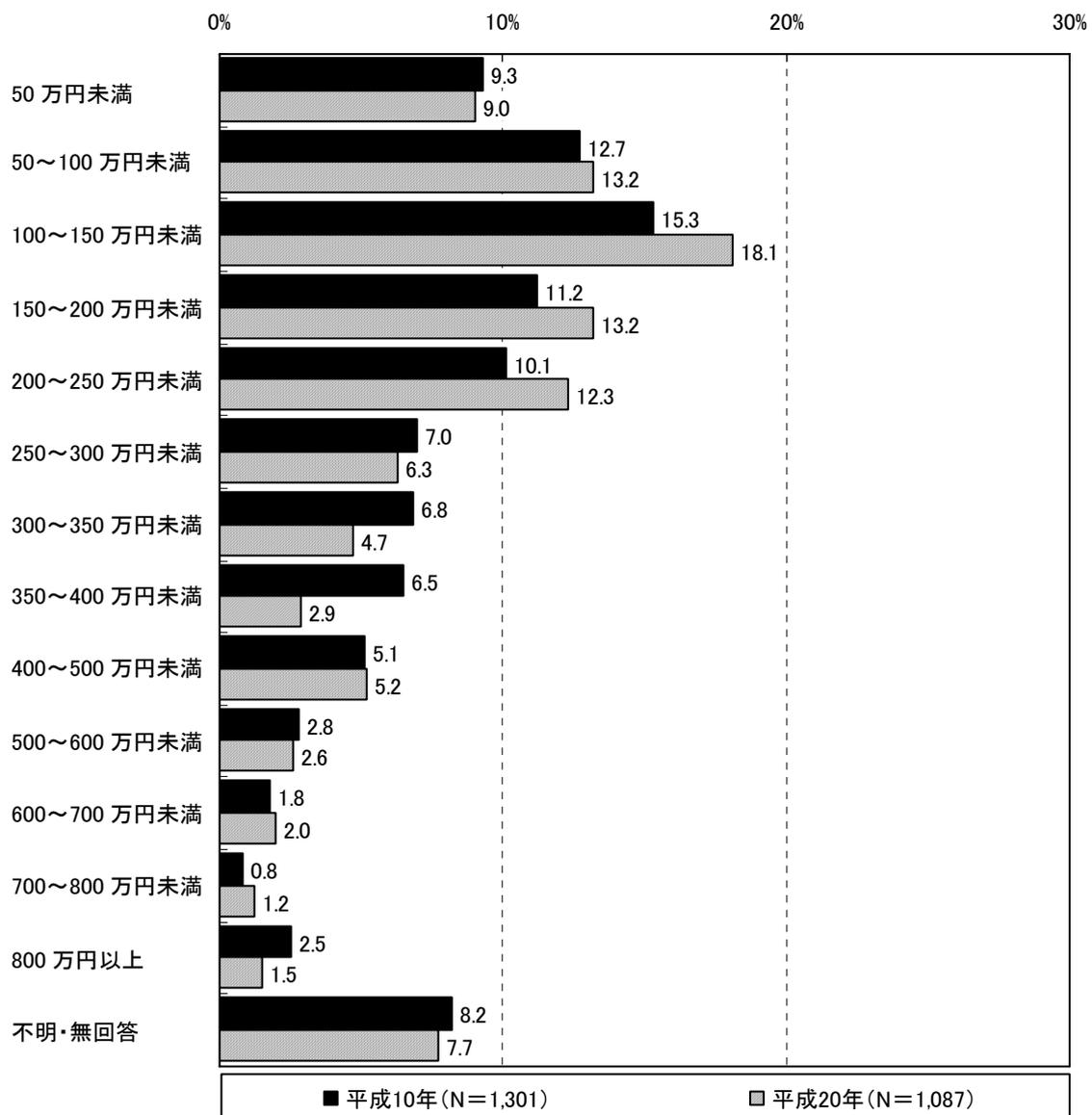
【それ以外の収入】（複数回答）



問 21 あなたの世帯の昨年（平成 19 年）1 年間の収入はどのくらいでしたか（税込みで生活保護費は除きます）。当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

世帯の昨年（平成 19 年）1 年間の収入はどのくらいかについてみると、「100～150 万円未満」の割合が最も高く、次いで「50～100 万円未満」「150～200 万円未満」の割合が高くなっている。

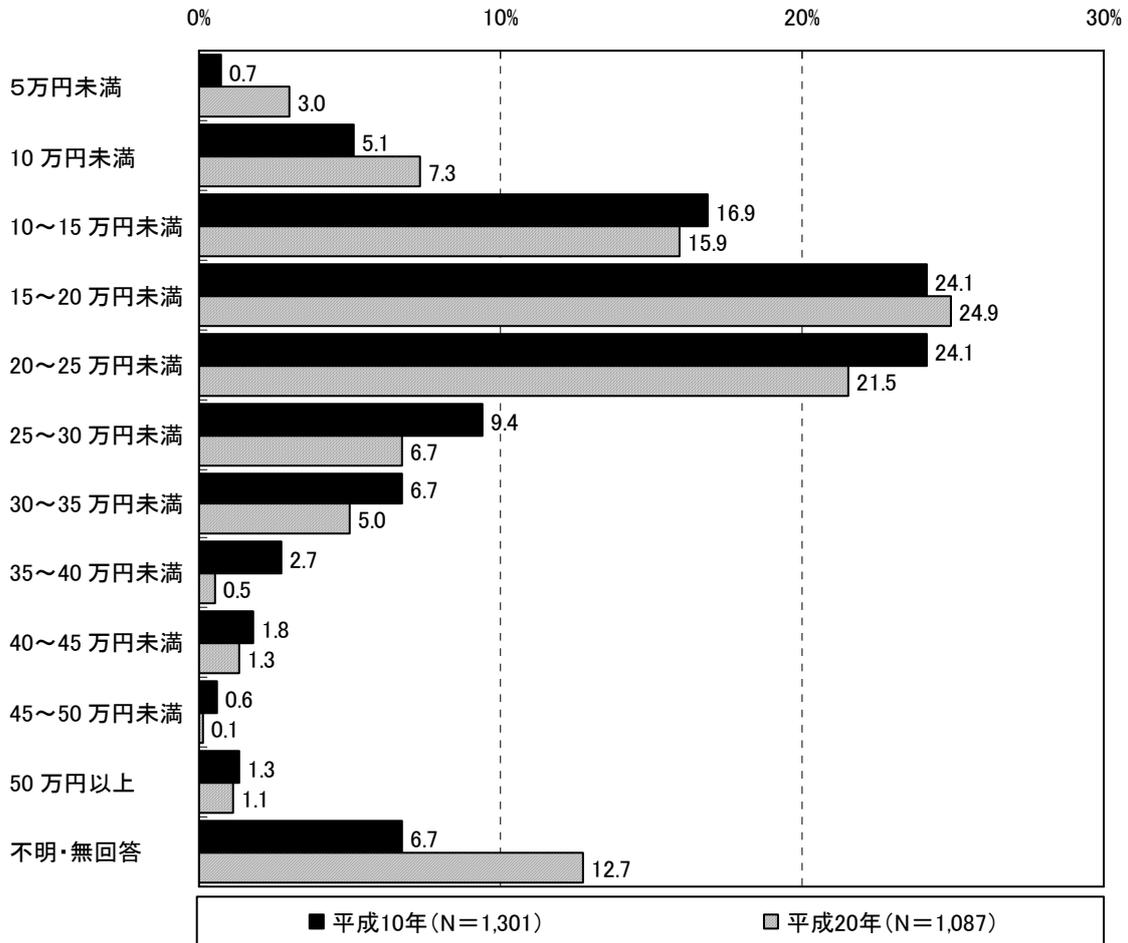
前回調査と比較すると、「50～250 万円未満」の各区分が増え、「250～400 万円未満」が減っている。



問 22 あなたの世帯の月平均の生活費を記入してください。

世帯の月平均の生活費についてみると、「15～20万円未満」の割合が最も高く、次いで「20～25万円未満」の割合が高くなっている。

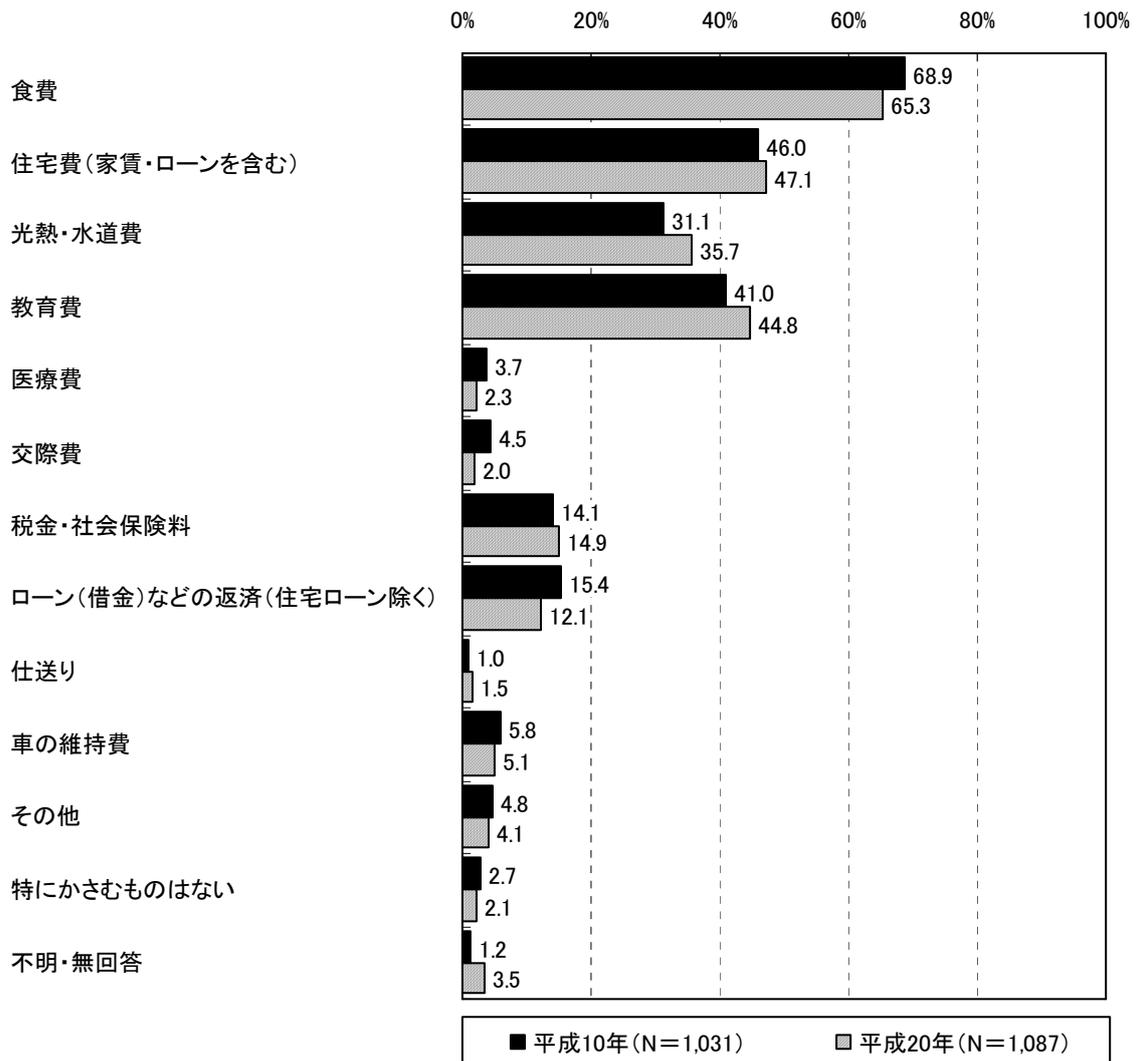
前回調査と比較しても大きな変化はみられない。



問 23 あなたの世帯の生活費の中で、特に支出のかさむものは何ですか。主なものに3つまで○をつけてください。

世帯の生活費の中で、特に支出のかさむものは何かについてみると、「食費」の割合が最も高く、次いで「住宅費（家賃・ローンを含む）」の割合が高くなっている。

前回調査と比較しても大きな変化はみられない。

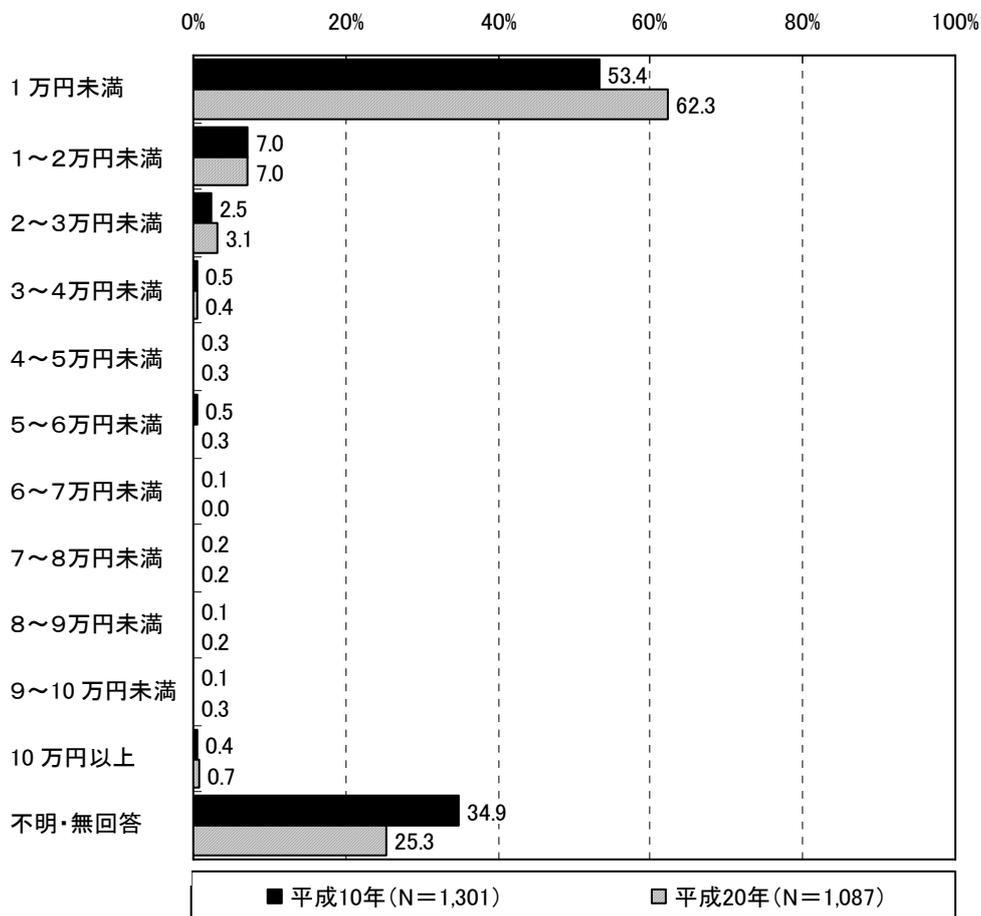


問 24 あなたの世帯の生活費の中で、医療費、住宅費（家賃・ローン返済を含む）、教育費の月平均支出額はどの程度ですか（平成19年分）。それぞれ当てはまる欄に○を記入してください。また、それらの支出のためにローンなどでお金を借りていますか。お金を借りている場合は「ローンの借入」の欄に○を記入してください。

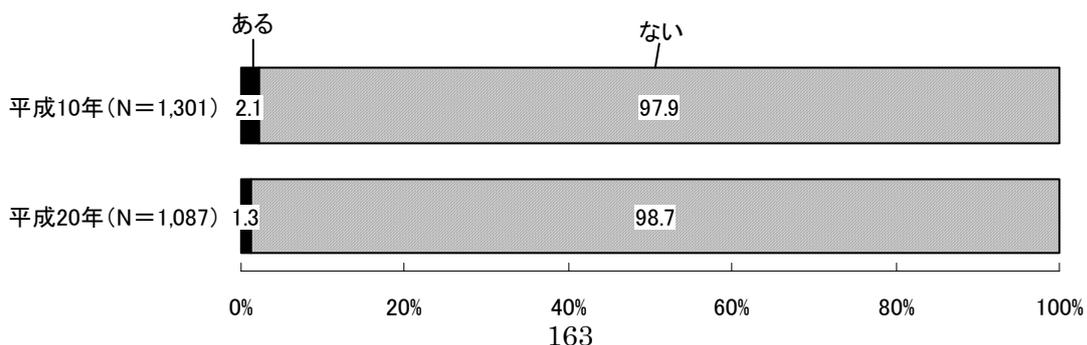
世帯の生活費の中で、医療費、住宅費（家賃・ローン返済を含む）、教育費の月平均支出額はどの程度かについてみると、医療費では「1万円未満」の割合が最も高くなっている。ローン借入の有無については「ない」が98.7%、「ある」が1.3%となっている。

前回調査と比較すると、医療費では「1万円未満」について+8.9ポイントの差が生じている。ローン借入の有無では大きな変化はみられない。

【医療費】



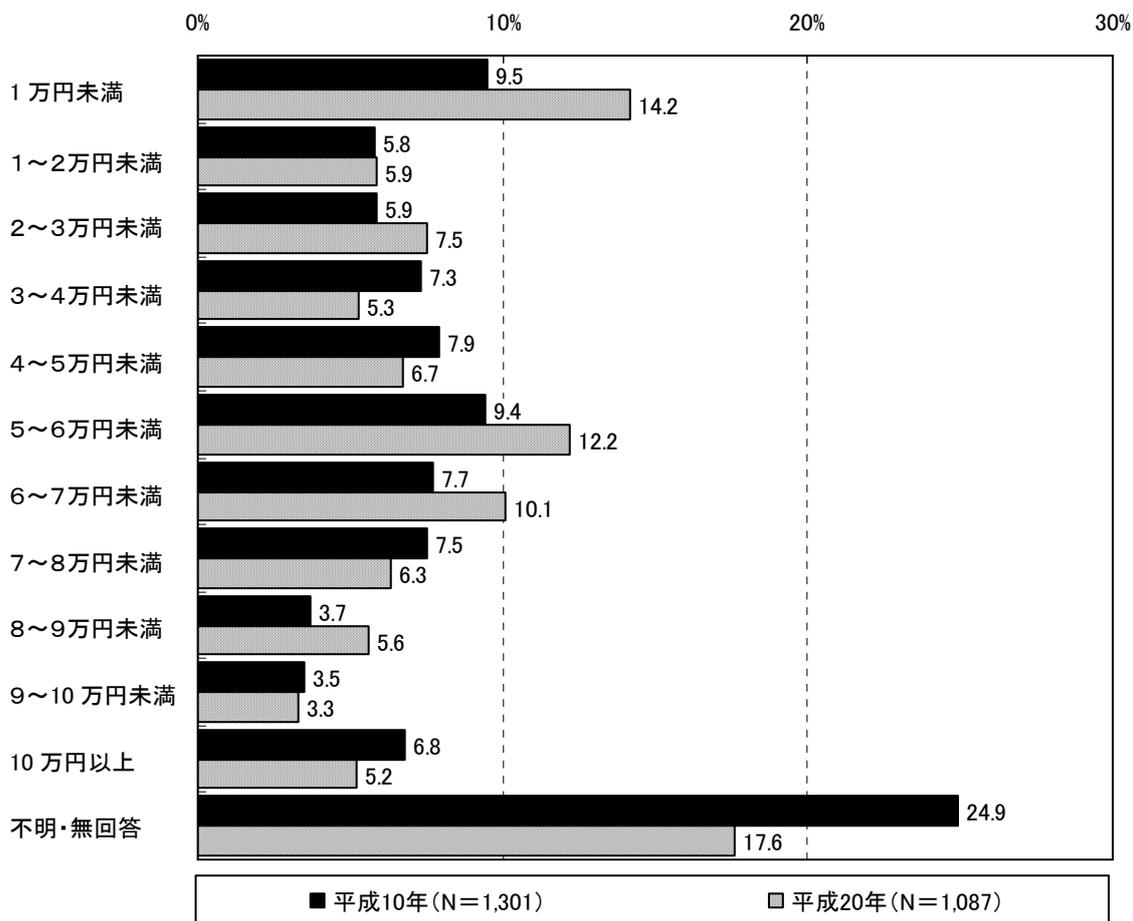
【医療費のローン借入の有無】



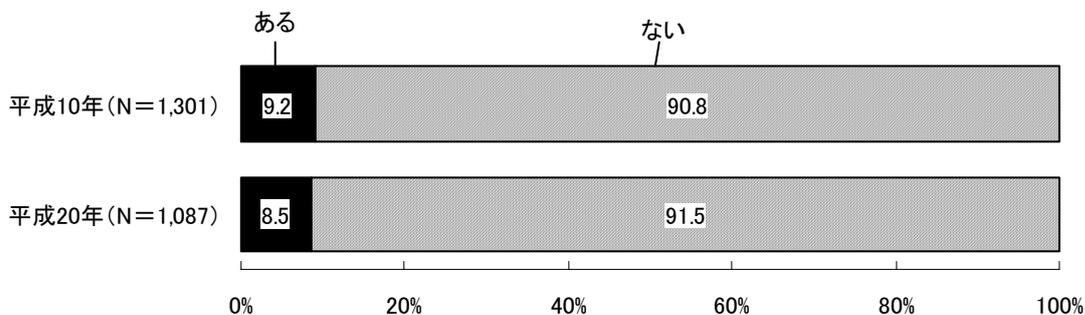
住宅費では「1万円未満」の割合が最も高く、次いで「5～6万円未満」の割合が高くなっている。ローン返済の有無については「ない」が91.5%、「ある」が8.5%となっている。

前回調査と比較すると「1万円未満」について、+4.7ポイントの差が生じている。

【住宅費】



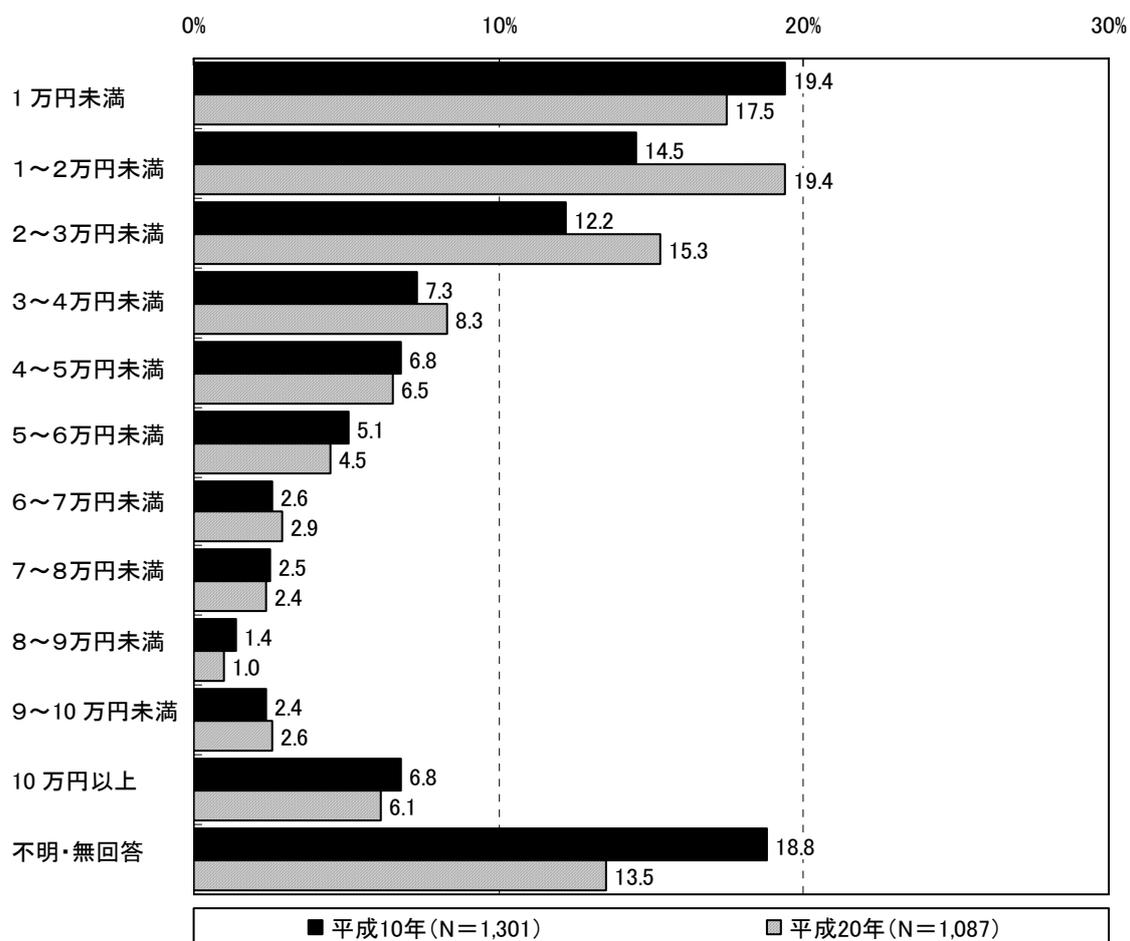
【住宅費のローン借入の有無】



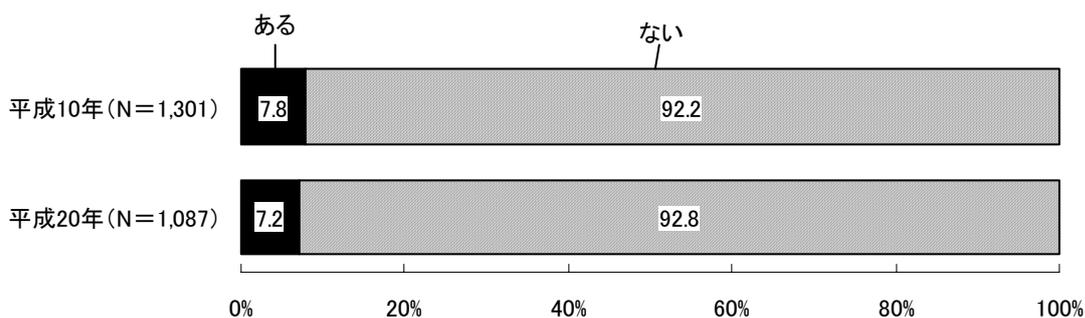
教育費では「1～2万円未満」の割合が最も高く、次いで「1万円未満」の割合が高くなっている。ローンの有無については「ない」が92.8%、「ある」が7.2%となっている。

前回調査と比較すると、「1～2万円未満」について+4.9ポイント、「2～3万円未満」について+3.1ポイントの差が生じている。

【教育費】



【教育費のローン借入の有無】



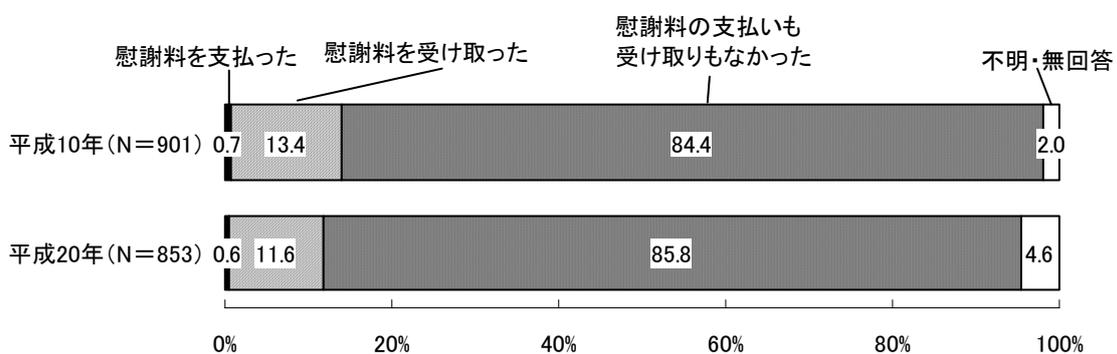
8 離婚の状況について

■離婚された方だけにお尋ねします。

問 25 あなたは、離婚した配偶者との間で「慰謝料」の支払いや受け取りがありましたか。当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

離婚した配偶者との間で慰謝料の支払いや受け取りについてみると、「慰謝料の支払いも受け取りもなかった」の割合が最も高く、次いで「慰謝料を受け取った」の割合が高くなっている。

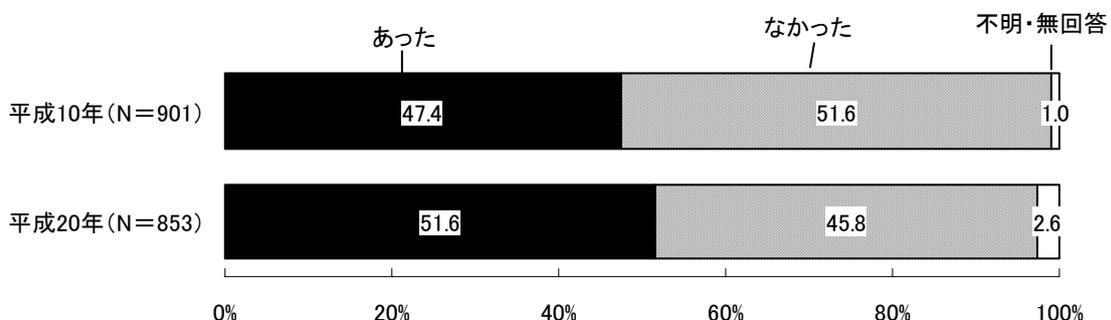
前回調査と比較しても大きな変化はみられない。



問 26 あなたは、離婚した配偶者との間に「養育費」に関する取り決めがありましたか。当てはまるものに○をつけてください。

離婚した配偶者との間に養育費に関する取り決めについてみると、「あった」が 51.6%、「なかった」が 45.8%となっている。

前回調査と比較すると、「なかった」について-5.8ポイントの差が生じている。

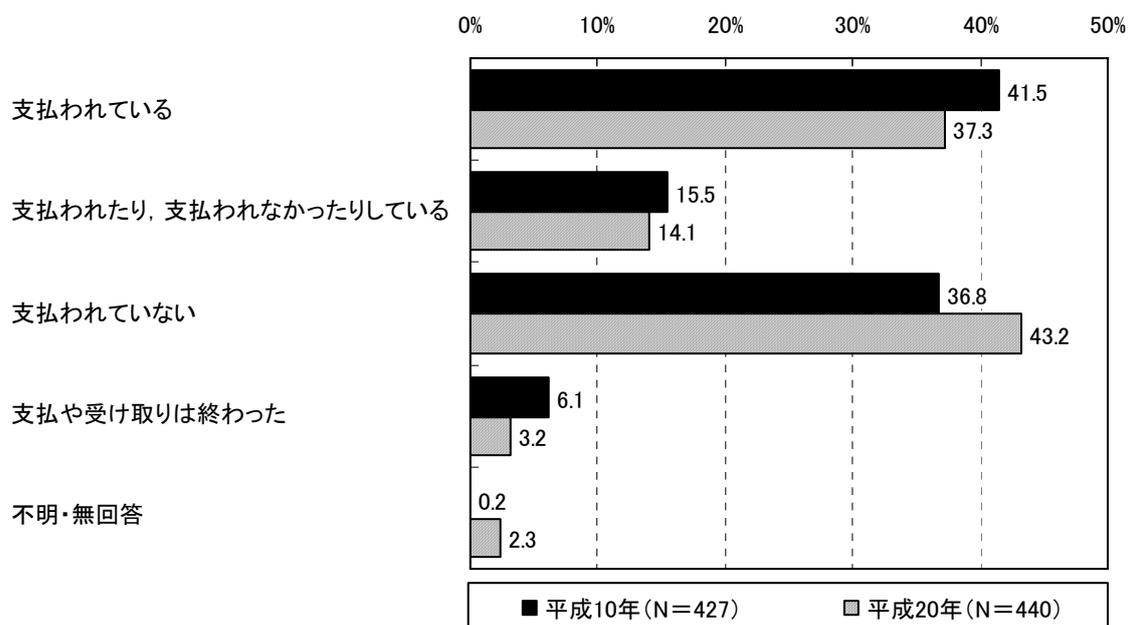


問 27 「養育費」に関する取り決めがあった方だけにお尋ねします。

「養育費」は取り決めどおりに支払われていますか。当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

養育費に関する取り決めがあった方に、養育費は取り決めどおりに支払われているかについて聞いてみると、「支払われていない」の割合が最も高く、次いで「支払われている」の割合が高くなっている。

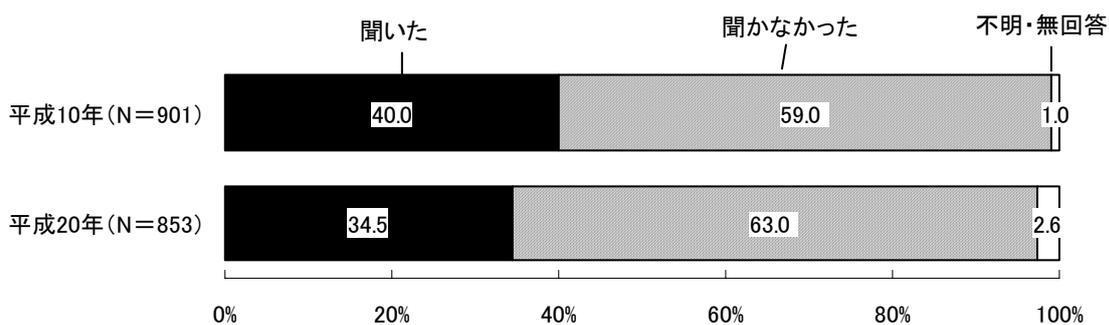
前回調査と比較すると、「支払われていない」について+6.4ポイントの差が生じている。



問 28 離婚の際、あなたはお子さんにどちらの配偶者と暮らしたいかを聞きましたか。当てはまるものに○をつけてください。

離婚の際、あなたはお子さんにどちらの配偶者と暮らしたいかを聞いたかについてみると、「聞かなかった」が63.0%、「聞いた」が34.5%となっている。

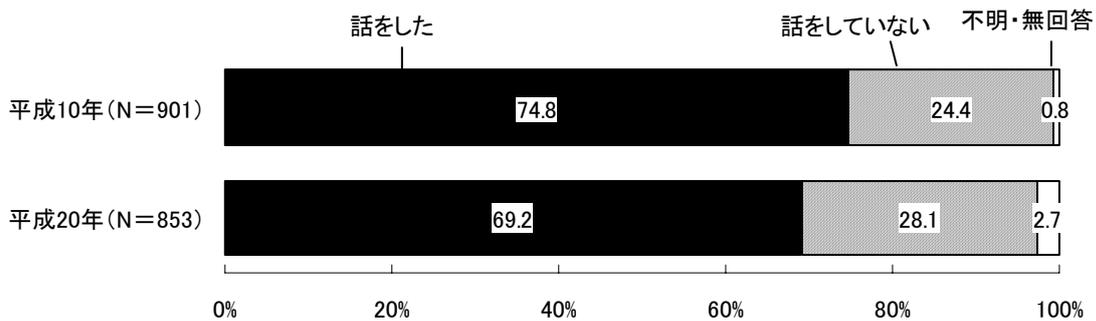
前回調査と比較すると、「聞いた」について-5.5ポイントの差が生じている。



問 29 あなたは、これまでにお子さんに離婚の理由や別れた配偶者のことを話しましたか。当てはまるものに○をつけてください。

これまでにお子さんに離婚の理由や別れた配偶者のことを話したかについてみると、「話をした」が69.2%、「話をしていない」が28.1%となっている。

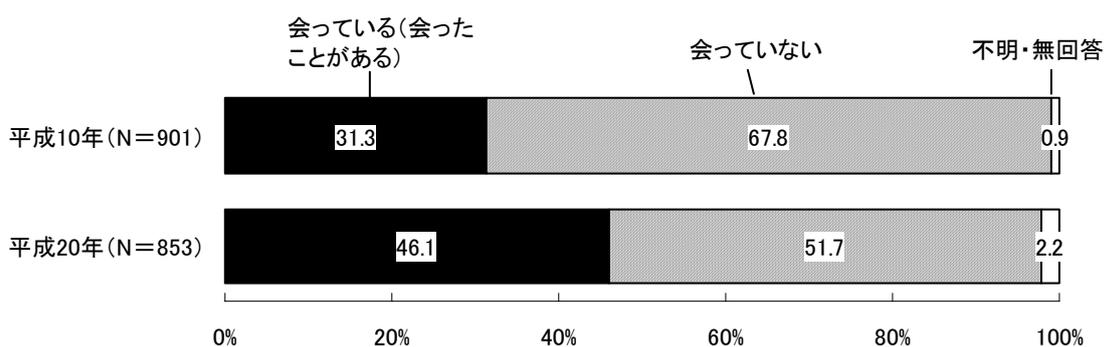
前回調査と比較すると、「話をした」について-5.6ポイントの差が生じている。



問 30 お子さんは別れた配偶者と会っていますか。当てはまるものに○をつけてください。

お子さんは別れた配偶者と会っているかについてみると、「会っていない」が51.7%、「会っている（会ったことがある）」が46.1%となっている。

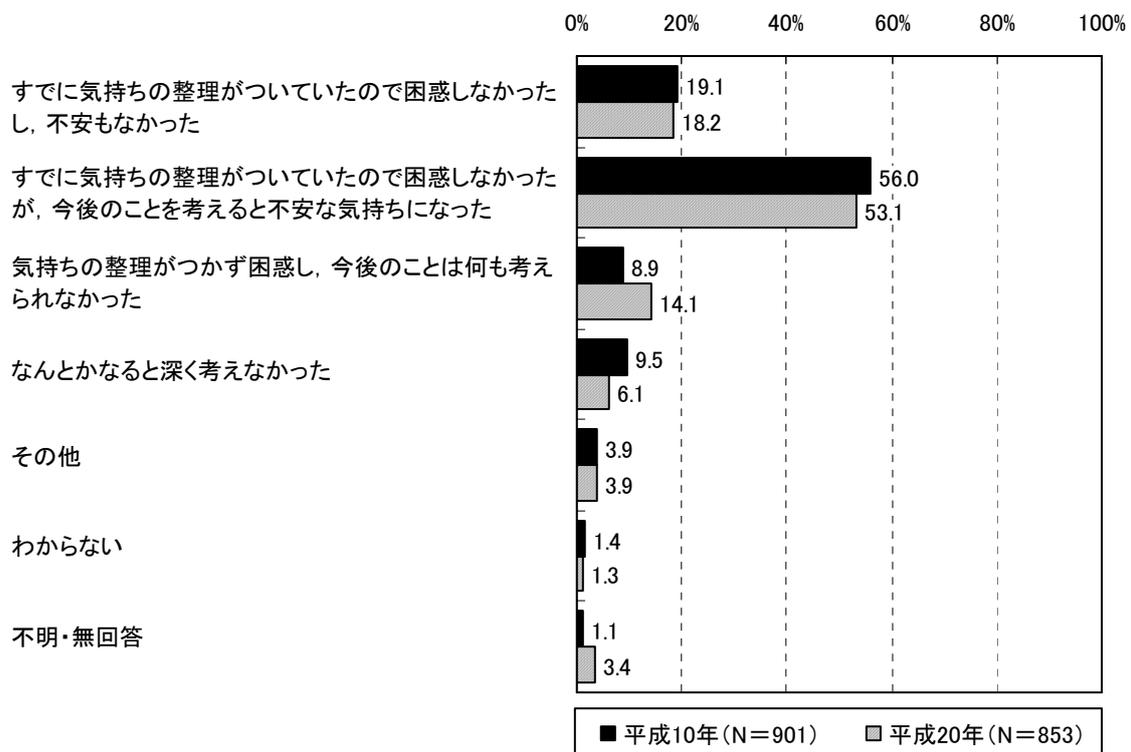
前回調査と比較すると、「会っていない」について-16.1ポイント、「会っている（会ったことがある）」について+14.8ポイントの差が生じている。



問 31 ひとり親家庭になられた直後のお気持ちはどうでしたか。当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

ひとり親家庭になられた直後のお気持ちはどうだったかについてみると、「すでに気持ちの整理がついていたので困惑しなかったが、今後のことを考えると不安な気持ちになった」の割合が最も高く、次いで「すでに気持ちの整理がついていたので困惑しなかったし、不安もなかった」の割合が高くなっている。

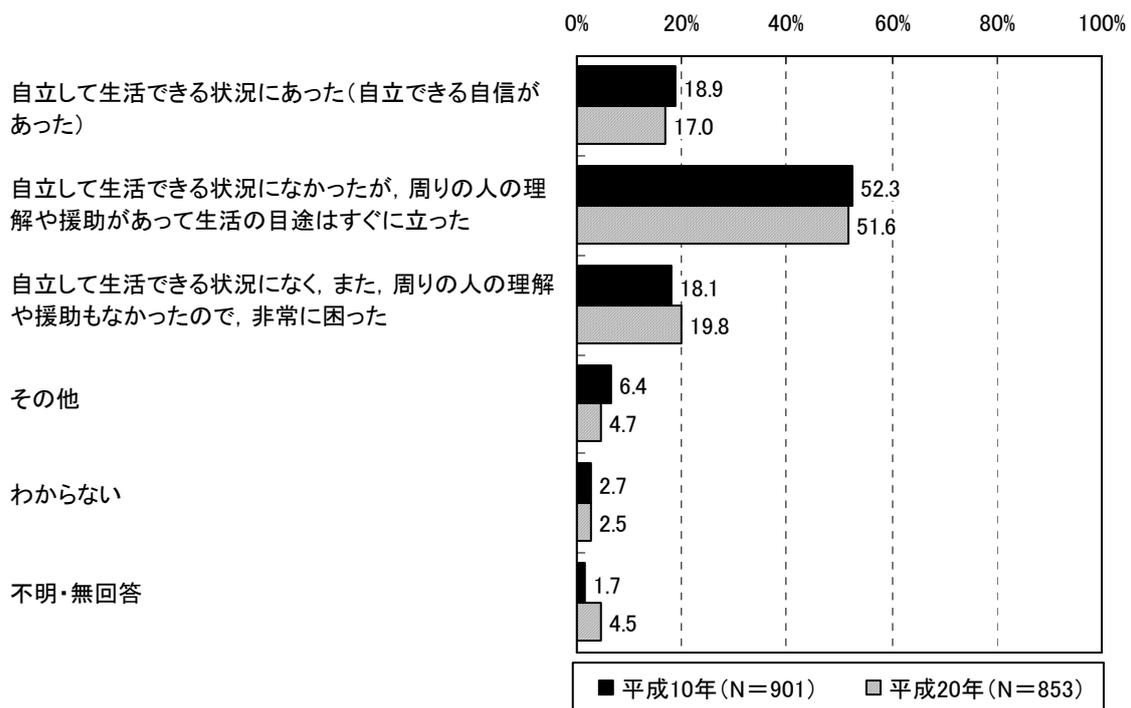
前回調査と比較すると、「気持ちの整理がつかず困惑し、今後のことは何も考えられなかった」について+5.2ポイントの差が生じている。



問 32 ひとり親家庭になられた直後の生活状況はどうでしたか。当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

ひとり親家庭になられた直後の生活状況についてみると、「自立して生活できる状況になかったが、周りの人の理解や援助があって生活の目途はすぐに立った」の割合が最も高く、次いで「自立して生活できる状況になく、また、周りの人の理解や援助もなかったので、非常に困った」の割合が高くなっている。

前回調査と比較しても大きな変化はみられない。

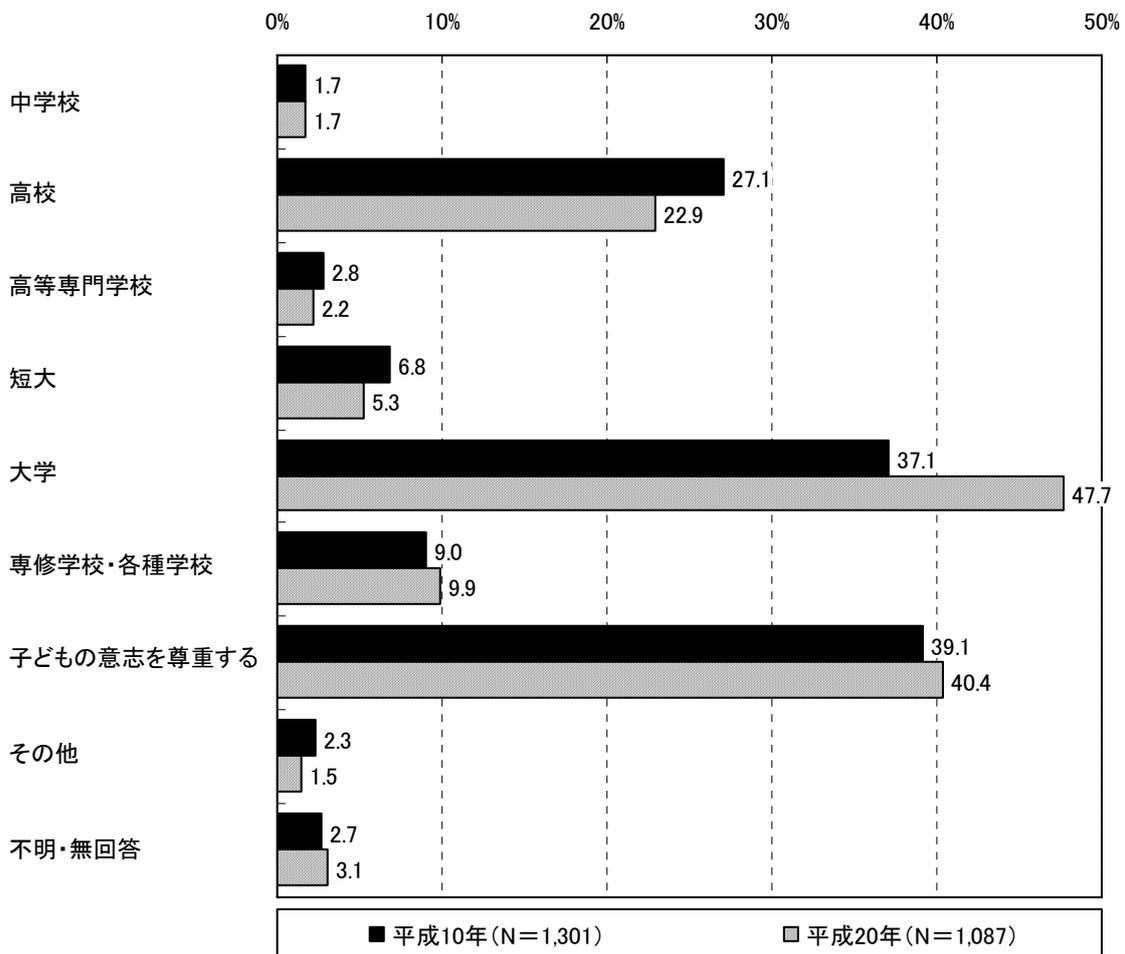


9 お子さんの育児や教育について

問 33 お子さんにはどこまで進学してほしいと思っていますか。当てはまるものに○をつけてください（お子さんが複数いて進学希望先が異なる場合は、当てはまる番号すべてに○をつけてください）。

お子さんにはどこまで進学してほしいと思っているかについてみると、「大学」の割合が最も高く、次いで「子どもの意志を尊重する」の割合が高くなっている。

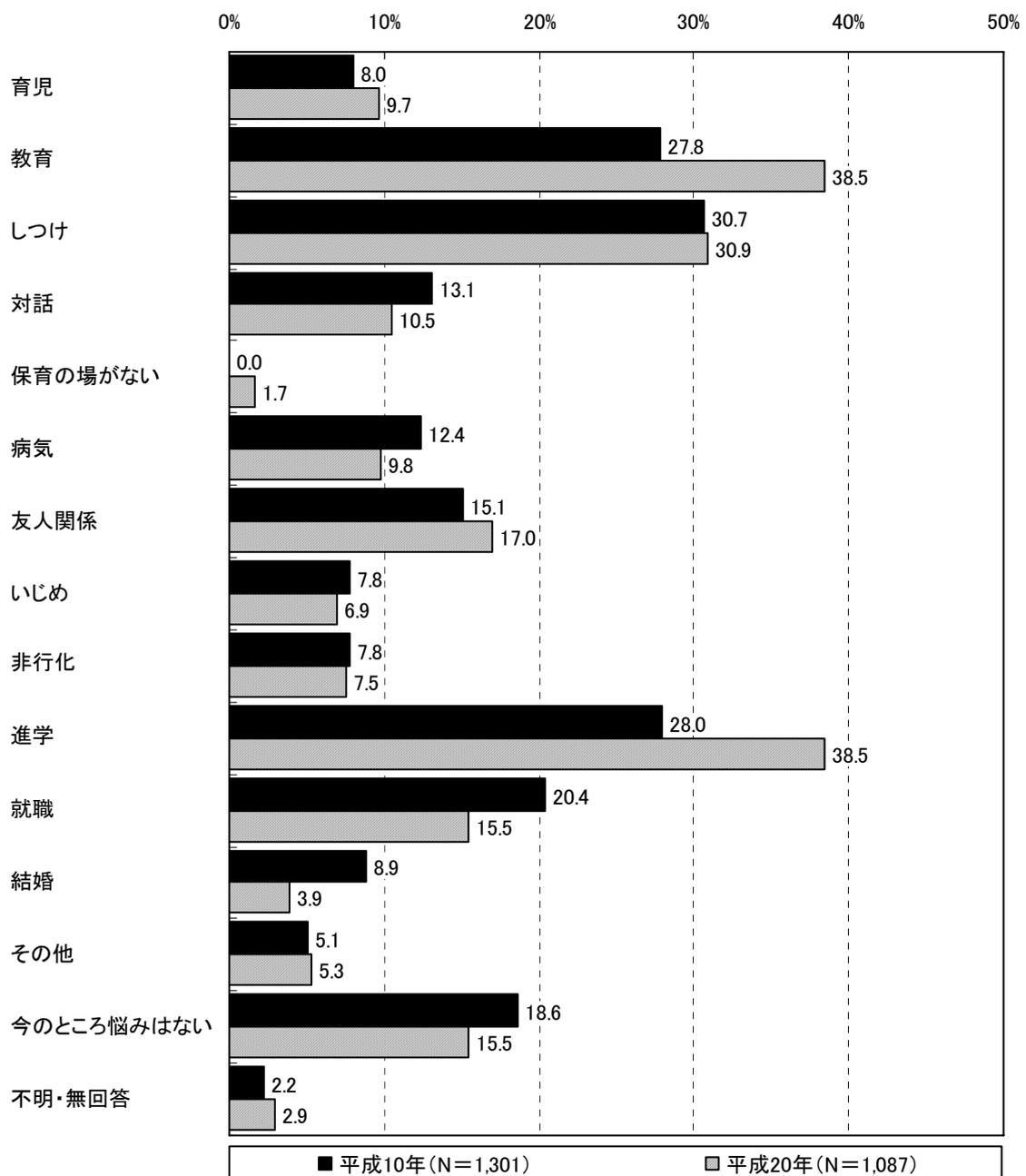
前回調査と比較すると、「大学」について+10.6ポイントの差が生じている。



問 34 お子さんについて現在どのようなことで悩みをお持ちですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

お子さんについて現在どのようなことで悩みを持っているかについてみると、「教育」「進学」の割合が最も高く、次いで「しつけ」の割合が高くなっている。

前回調査と比較すると、「教育」について+10.7ポイント、「進学」について+10.5ポイントの差が生じている。



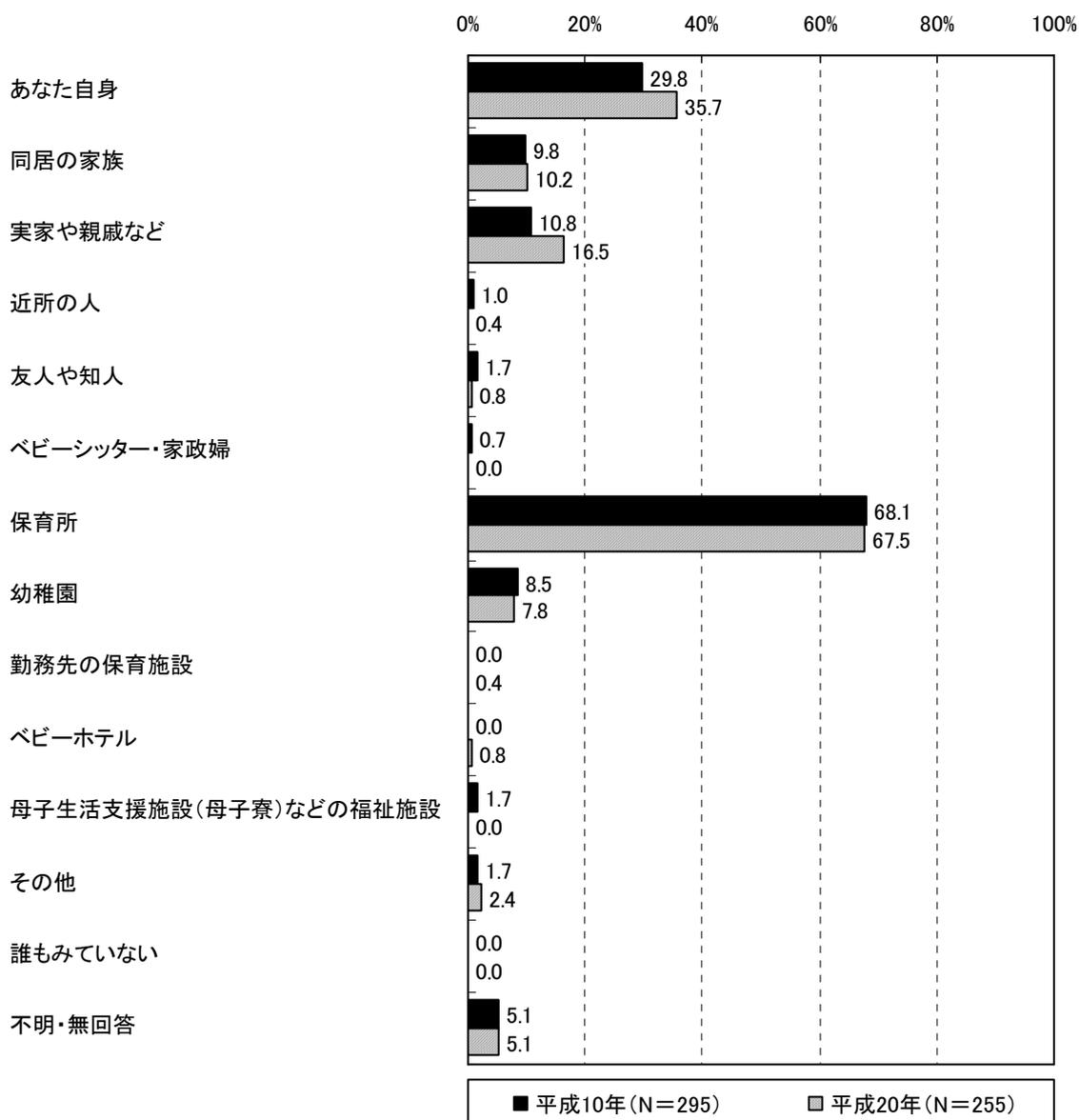
※「保育の場がない」は今回調査のみ

問 35 小学校入学前のお子さんがいらっしゃる方にお尋ねします。

日常、昼間お子さんの世話を中心となっていてされているのはどなたですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

日常、昼間お子さんの世話を中心となっていてやっている方についてみると、「保育所」の割合が最も高く、次いで「あなた自身」の割合が高くなっている。

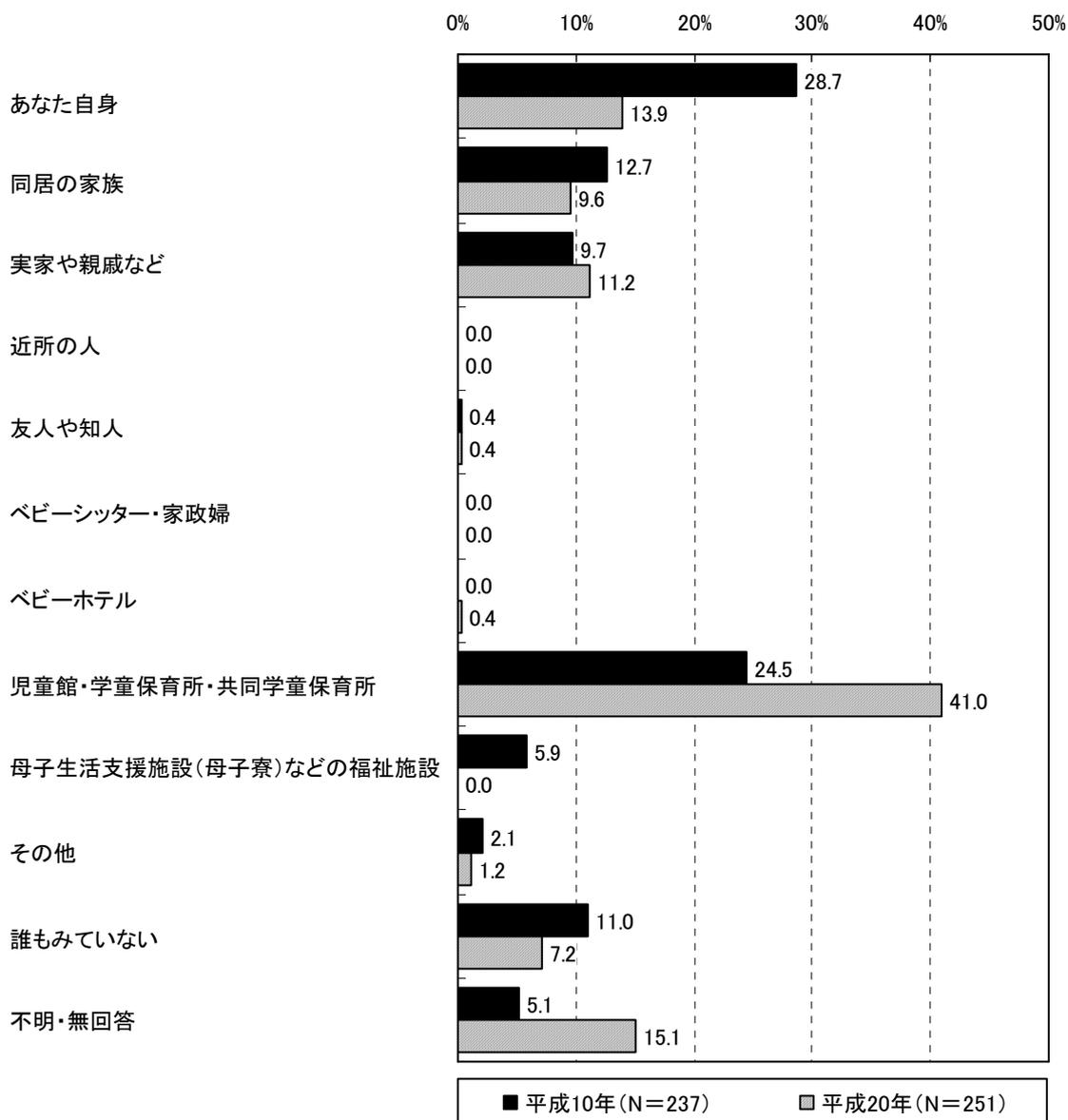
前回調査と比較すると、「あなた自身」について+5.9ポイント、「実家や親戚など」について+5.7ポイントの差が生じている。



問 36 小学校 1 年生から 3 年生までのお子さんがいらっしゃる方にお尋ねします。
 放課後、または小学校長期休暇中、そのお子さんをどなたがみていますか。当
 てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

放課後、または小学校長期休暇中、そのお子さんをだれがみているかについてみると、「児童館・
 学童保育所・共同学童保育所」の割合が最も高く、次いで「あなた自身」の割合が高くなっている。

前回調査と比較すると、「児童館・学童保育所・共同学童保育所」について+16.5 ポイント、「あ
 なた自身」について-14.8 ポイントの差が生じている。

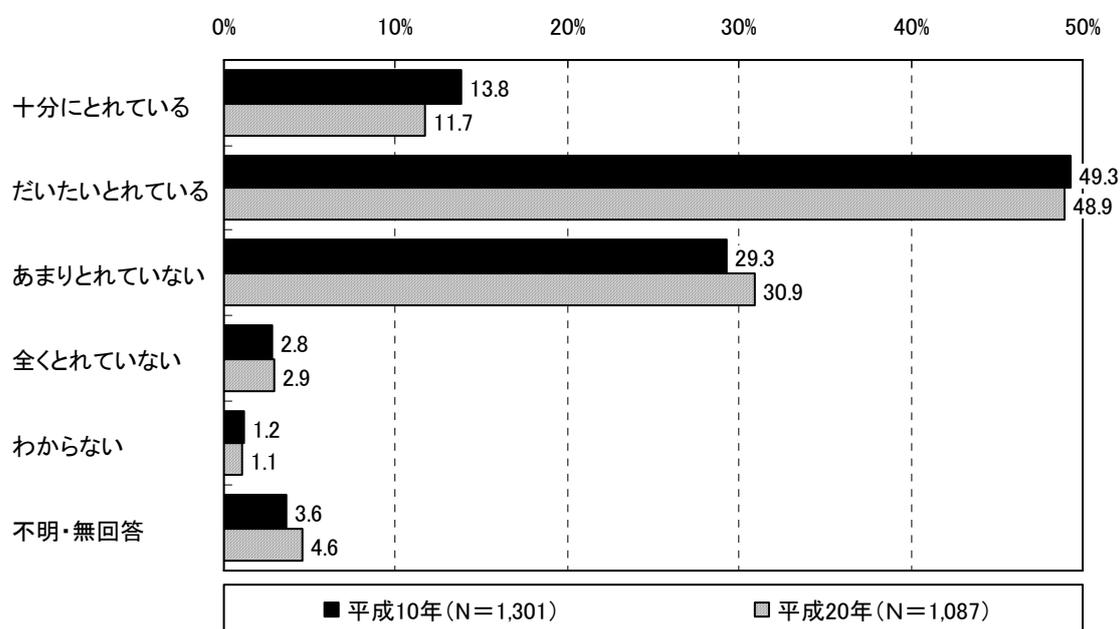


10 お子さんや近所の人等との関係について

問 37 あなたは、お子さんとの団らんの時間がとれていると思いますか。当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

お子さんとの団らんの時間がとれていると思うかについてみると、「だいたいとれている」の割合が最も高く、次いで「あまりとれていない」の割合が高くなっている。

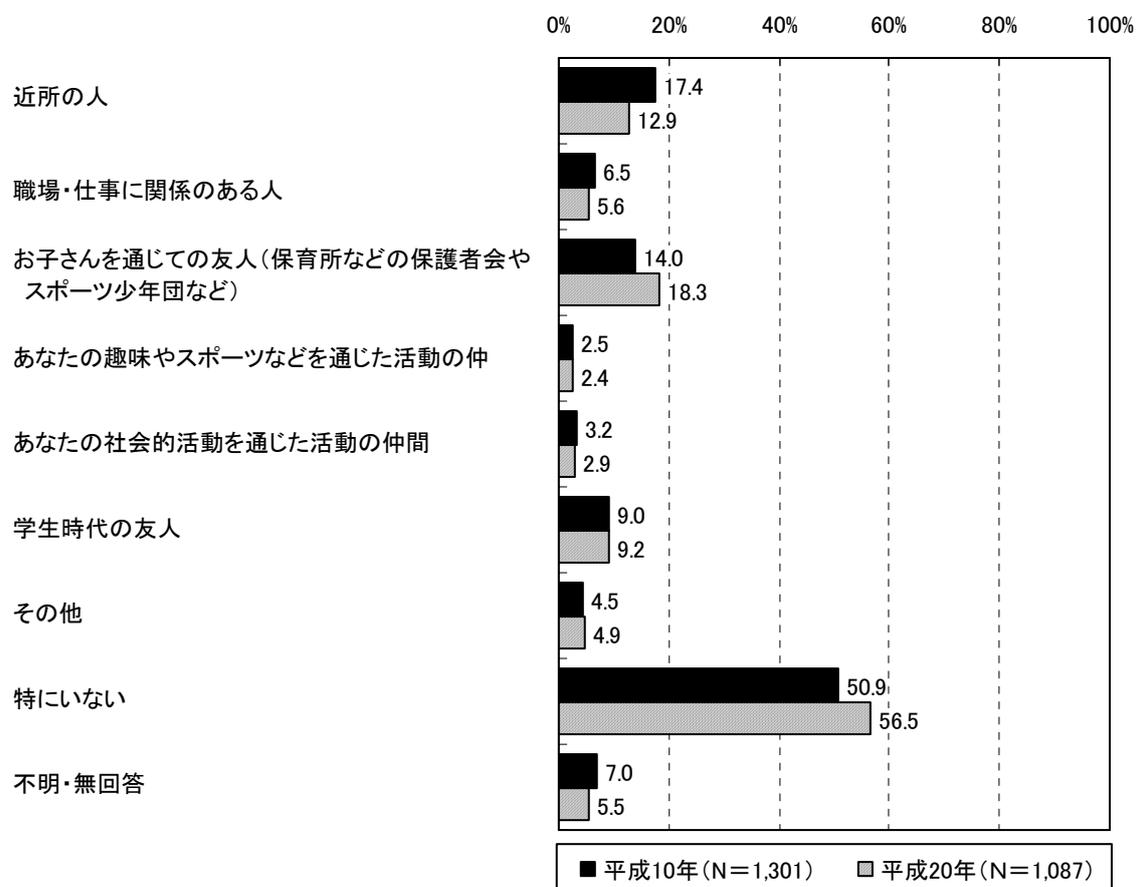
前回調査と比較しても大きな変化はみられない。



問 38 家族・親戚以外で、あなたが日頃からお子さんを見てもらったりすることのできる深いつき合いのある人はどなたですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

家族・親戚以外で、あなたが日頃からお子さんを見てもらったりすることのできる深いつき合いのある人についてみると、「特にいない」の割合が最も高く、次いで「お子さんを通じての友人（保育所などの保護者会やスポーツ少年団など）」の割合が高くなっている。

前回調査と比較すると、「特にいない」について+5.6ポイントの差が生じている。



11 日頃の悩みや相談のことについて

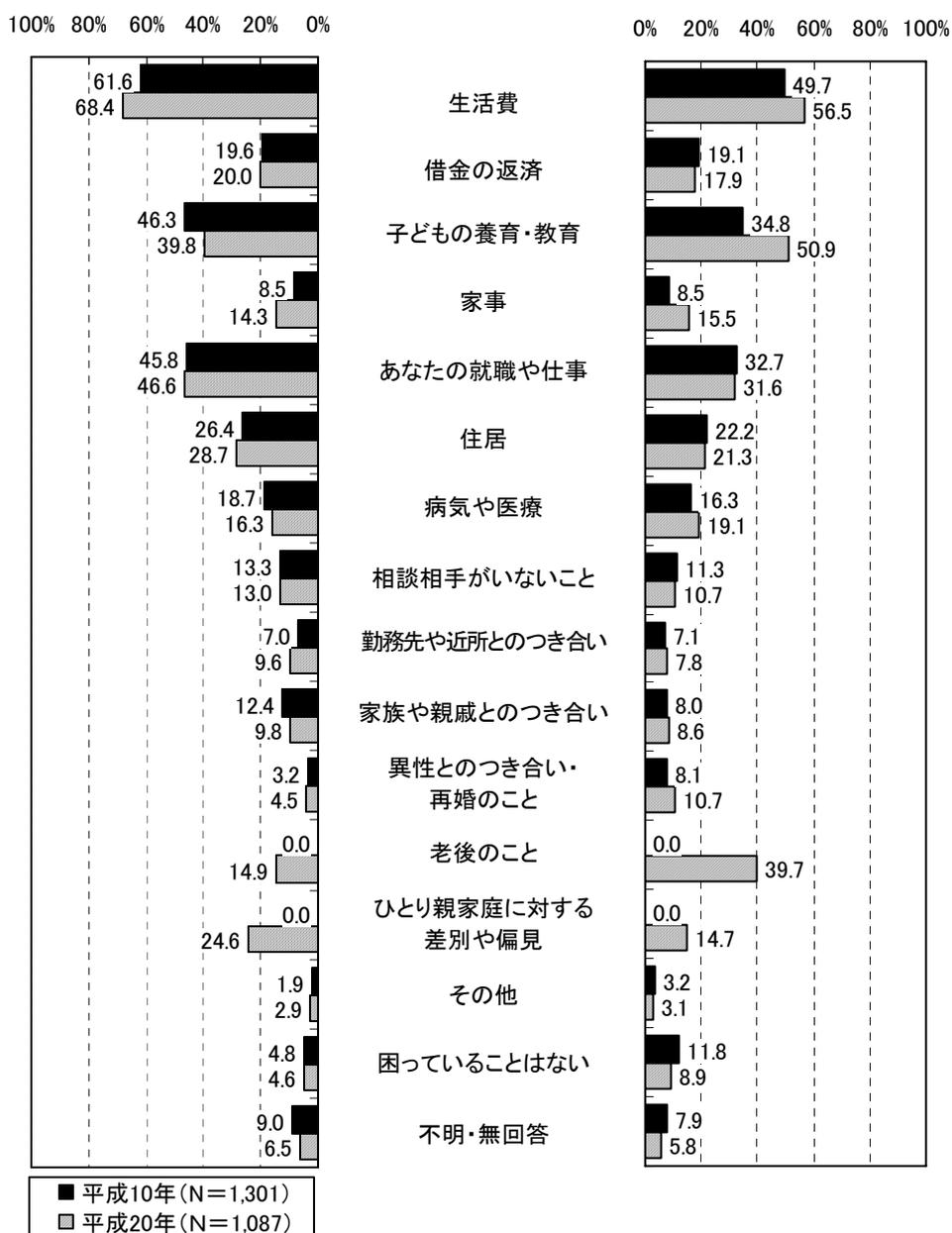
問 39 あなたが、ひとり親家庭になられた当時、困ったことは何ですか。また、現在困っていることがありますか。当てはまるすべての欄に○を記入してください。

ひとり親家庭になられた当時、困ったことについてみると、当時では「生活費」の割合が最も高く、次いで「あなたの就職や仕事」の割合が高くなっている。現在では「生活費」の割合が最も高く、次いで「子どもの養育・教育」の割合が高くなっている。

前回調査と比較すると、当時では「生活費」について+6.8ポイント、現在では「子どもの養育・教育」について+16.1ポイントの差が生じている。

【当時】

【現在】



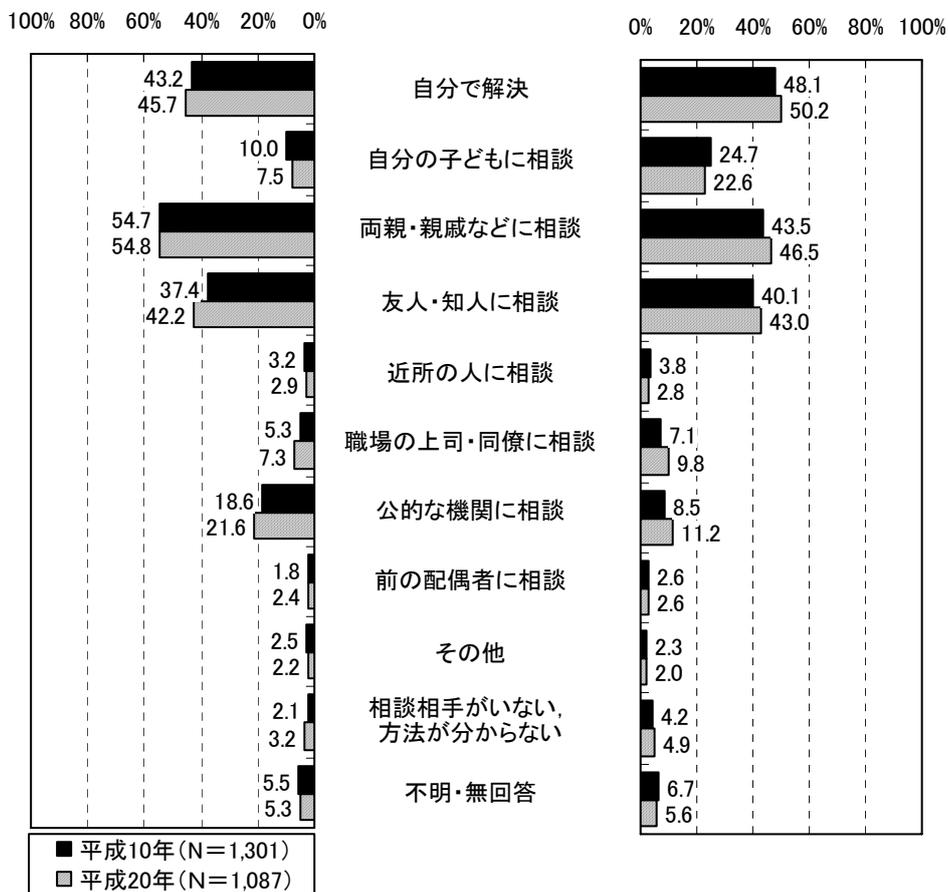
問 40 あなたが、ひとり親家庭になられた当時、困った問題が起きた場合、どなたに相談されましたか。また、現在どなたに相談されますか。当てはまるすべての欄に○を記入してください。

ひとり親家庭になられた当時、困った問題が起きた場合、だれに相談したかについてみると、当時では「両親・親戚などに相談」の割合が最も高く、次いで「自分で解決」の割合が高くなっている。現在では「自分で解決」の割合が最も高く、次いで「両親・親戚などに相談」の割合が高くなっている。

前回調査と比較しても、当時、現在ともに大きな変化はみられない。

【当時】

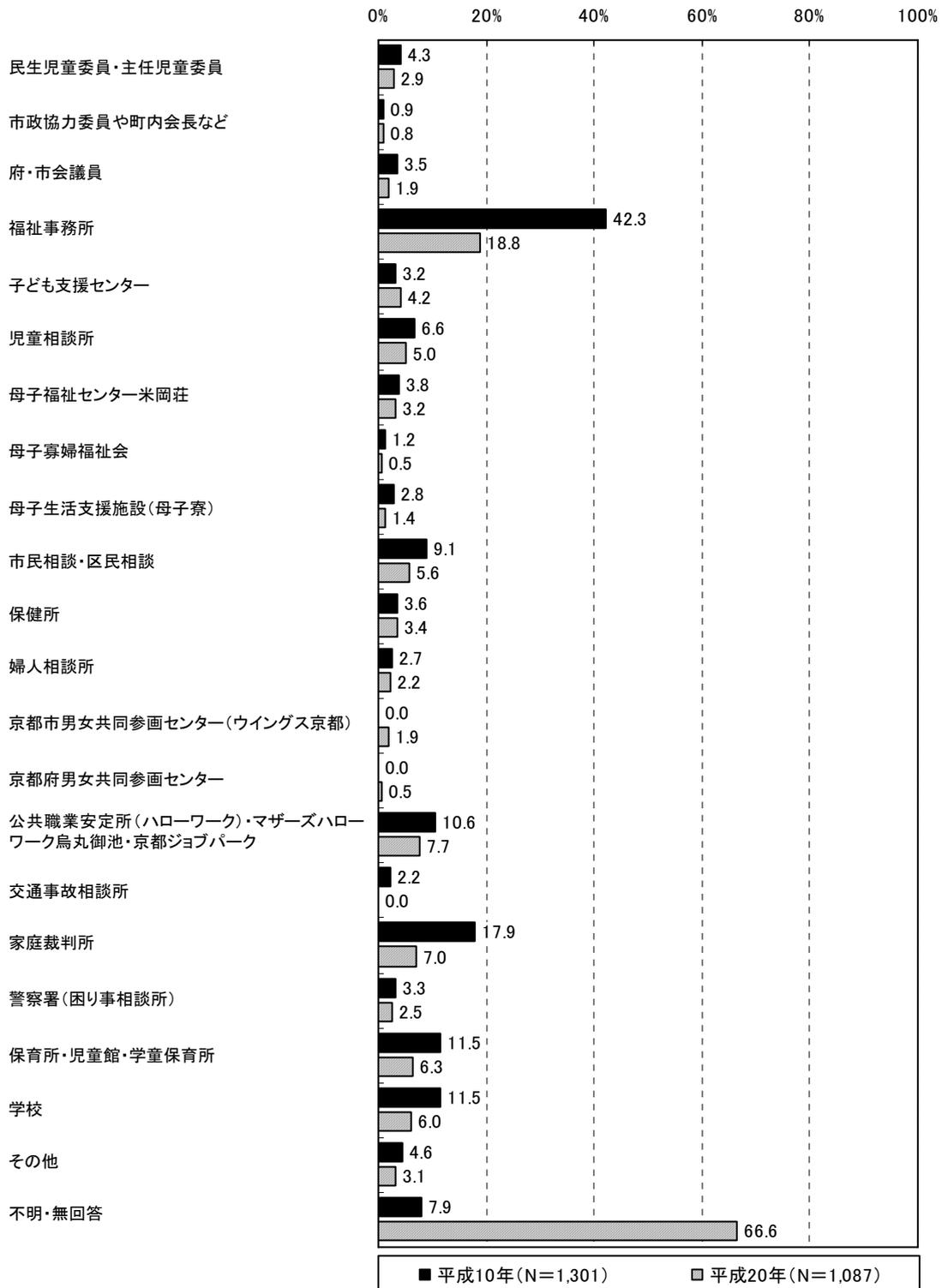
【現在】



問 41 あなたが、これまで悩みごとなどを相談されたことがある公の機関等はいずれですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

これまで悩みごとなどを相談されたことがある公の機関等について聞いてみると、「福祉事務所」の割合が最も高くなっている。

前回調査と比較すると、「福祉事務所」について-23.5ポイントの差が生じている。



※今回調査より「母子福祉センター米岡荘」「京都市男女共同参画センター(ウイングス京都)」「京都府男女共同参画センター」が追加
「公共職業安定所」が「公共職業安定所(ハローワーク)・京都ジョブパーク」に変更
「家庭児童相談室」が「子ども支援センター」に変更

12 現在行われている福祉施策等について

問 42 福祉施策の認知状況及び利用状況はいかがですか。

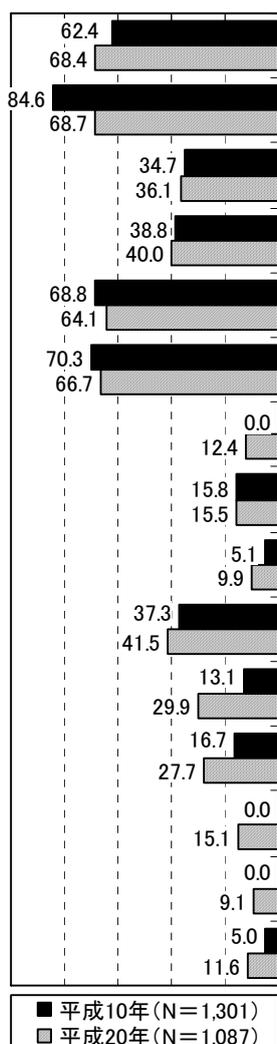
あなたが知っている、または利用したことのある制度・施策について、当てはまるすべての欄に○を記入してください。

福祉施策の認知状況及び利用状況についてみると、知っているものでは「児童扶養手当」の割合が最も高く、次いで「児童手当」の割合が高くなっている。利用したことのあるものでは「児童扶養手当」の割合が最も高く、次いで「母子家庭等医療費支給制度」の割合が高くなっている。

前回調査と比較すると、知っているものでは「職業訓練手当支給制度」について+16.8ポイント、「児童扶養手当」について-15.9ポイントの差が生じている。利用したことのあるものでは「児童手当」について+36.1ポイントの差が、「母子家庭等医療費支給制度」について+13.0ポイントの差が生じている。

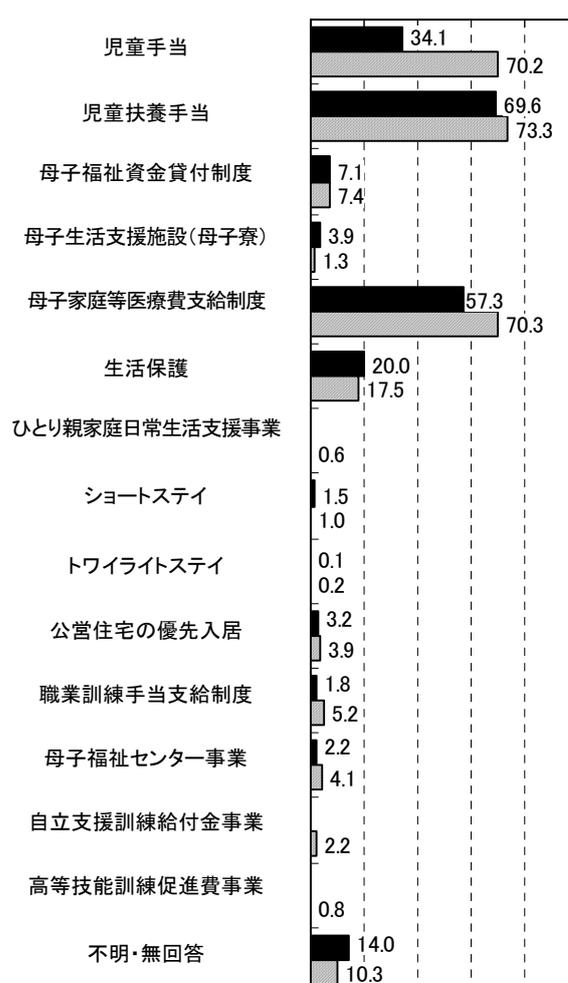
【知っているもの】

100% 80% 60% 40% 20% 0%



【利用したことのあるもの】

0% 20% 40% 60% 80% 100%



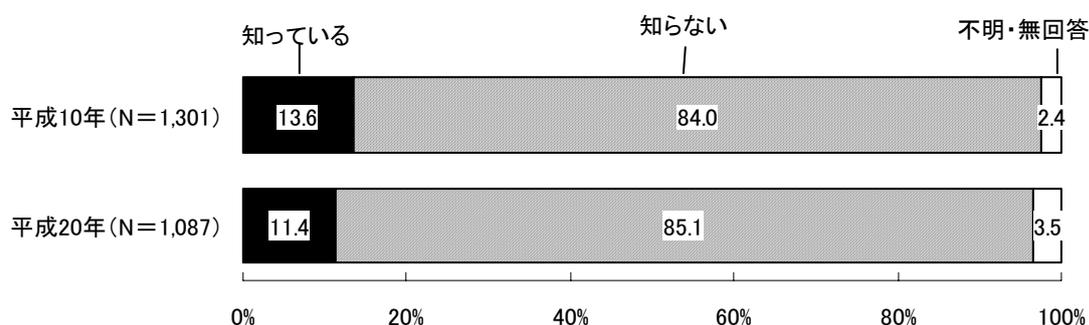
※「ひとり親家庭日常生活支援事業」「自立支援訓練給付金事業」「高等技能訓練促進費事業」は今回調査のみ

13 京都市母子寡婦福祉連合会について

問 44 京都市母子寡婦福祉連合会のことを知っていますか。当てはまるものに○をつけてください。

京都市母子寡婦福祉連合会についてみると、「知らない」が85.1%、「知っている」が11.4%となっている。

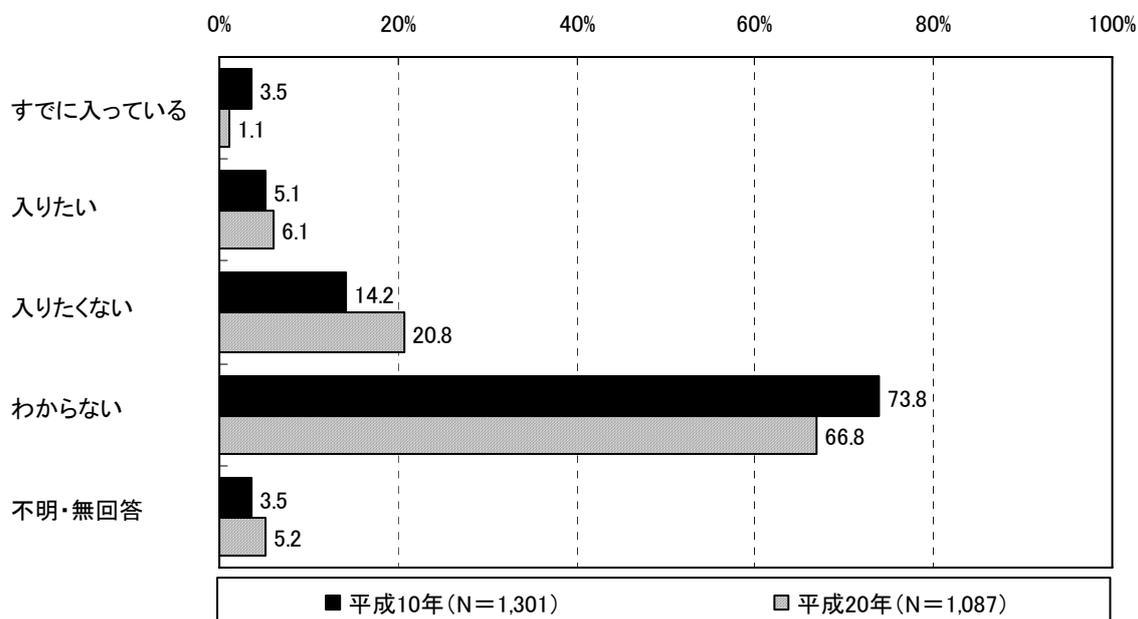
前回調査と比較しても、当時、現在ともに大きな変化はみられない。



問 45 母子寡婦福祉会に入りたいと思いますか。当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

母子寡婦福祉会についてみると、「わからない」の割合が最も高く、次いで「入りたくない」の割合が高くなっている。

前回調査と比較すると、「わからない」について-7.0ポイント、「入りたくない」について+6.6ポイントの差が生じている。

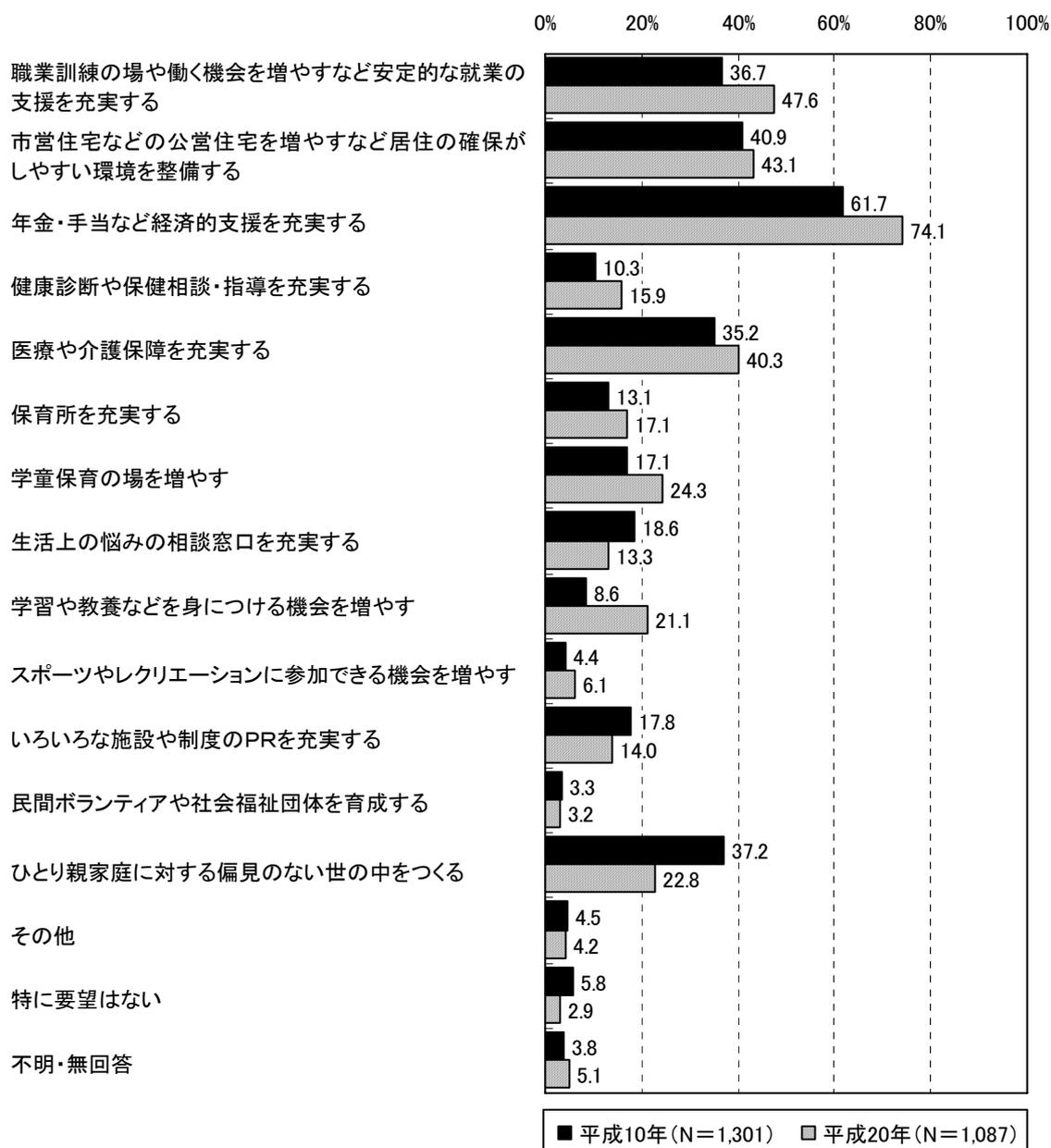


14 行政施策等について

問 46 ひとり親家庭の自立・安定を図るため、あなたが市や国に要望したいことは何ですか。当てはまるものに5つまで○をつけてください。

ひとり親家庭の自立・安定を図るため、市や国に要望したいことについてみると、「年金・手当など経済的支援を充実する」の割合が最も高く、次いで「職業訓練の場や働く機会を増やすなど安定的な就業の支援を充実する」の割合が高くなっている。

前回調査と比較すると、「ひとり親家庭に対する偏見のない世の中をつくる」について-14.4ポイント、「学習や教養などを身につける機会を増やす」について+12.5ポイントの差が生じている。



V 経年比較

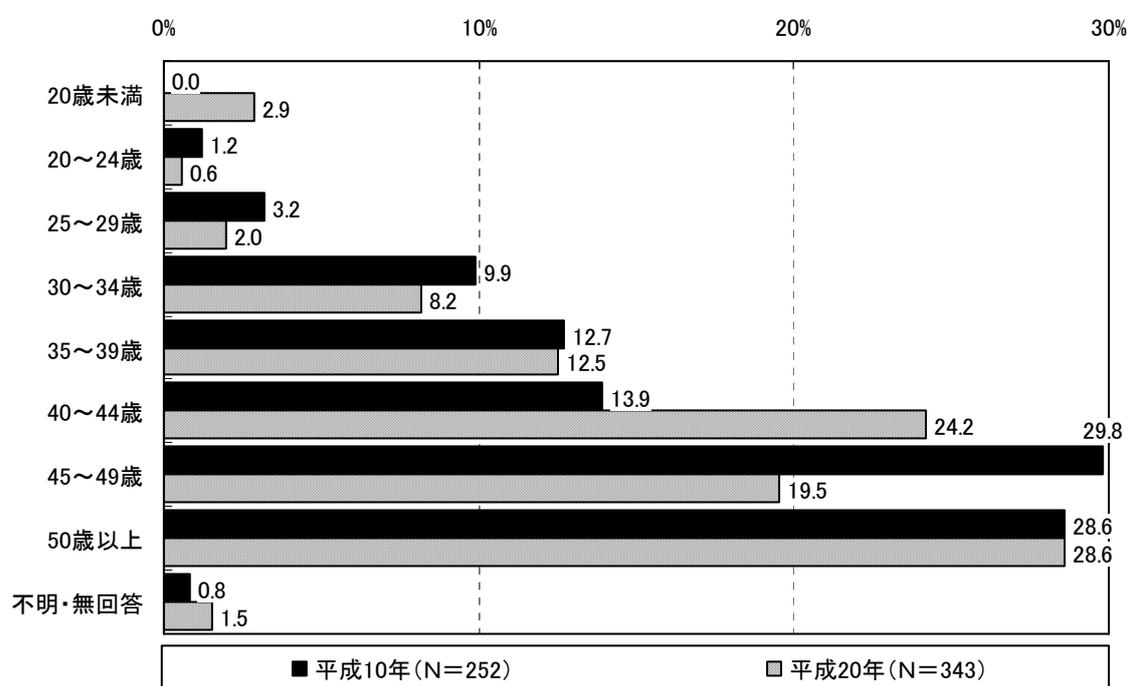
(父子家庭調査)

1 あなたご自身のこと・世帯の状況について

問2 あなたの現在の年齢について、当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

現在の年齢についてみると、「50歳以上」の割合が最も高く、次いで「40～44歳」の割合が高くなっている。

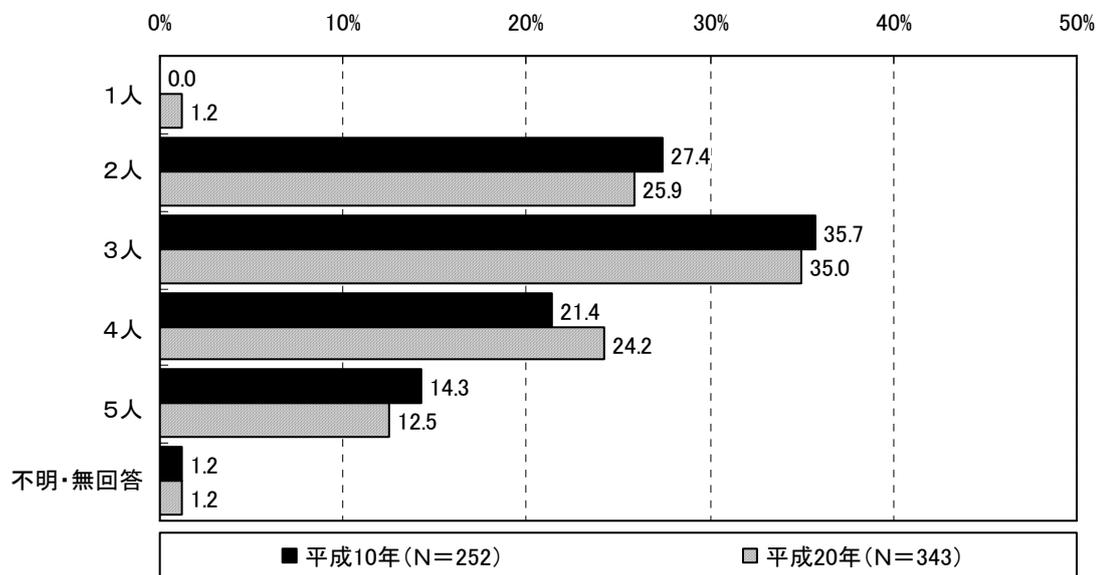
前回調査と比較すると「40～44歳」で+10.3ポイント、「45～49歳」で-10.3ポイントの差が生じている。



問3 あなたの世帯の「同居家族数」は、あなたも含め「何人家族」ですか。

家族の人数についてみると、「3人家族」の割合が最も高く、次いで「2人家族」の割合が高くなっている。

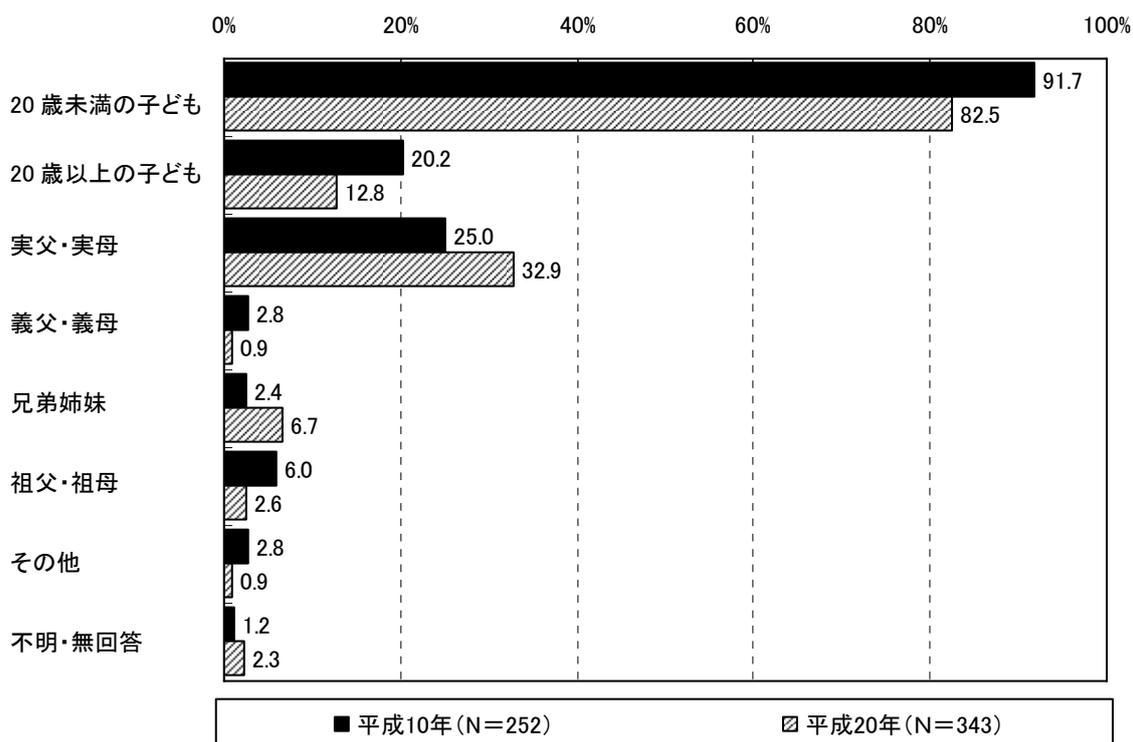
前回調査と比較しても大きな変化はみられない。



問4 同居の家族はどなたがいらっしゃいますか。あなたからの続き柄で当てはまるものすべてに○をつけてください。

同居の家族についてみると、「20歳未満の子ども」の割合が最も高く、次いで「実父・実母」の割合が高くなっている。

前回調査と比較すると、「20歳未満の子ども」について-9.2ポイント、「実父・実母」で+7.9ポイントの差が生じている。

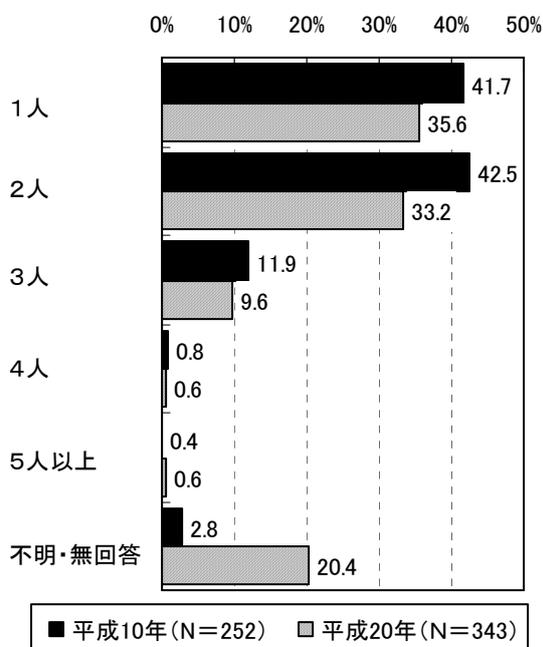


問5 あなたのお子さんは、次のいずれに当てはまりますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、同居、別居別の人数を記入してください。（ここでは、就職、進学などで別居しているお子さん（生計上の扶養家族）も含めます）

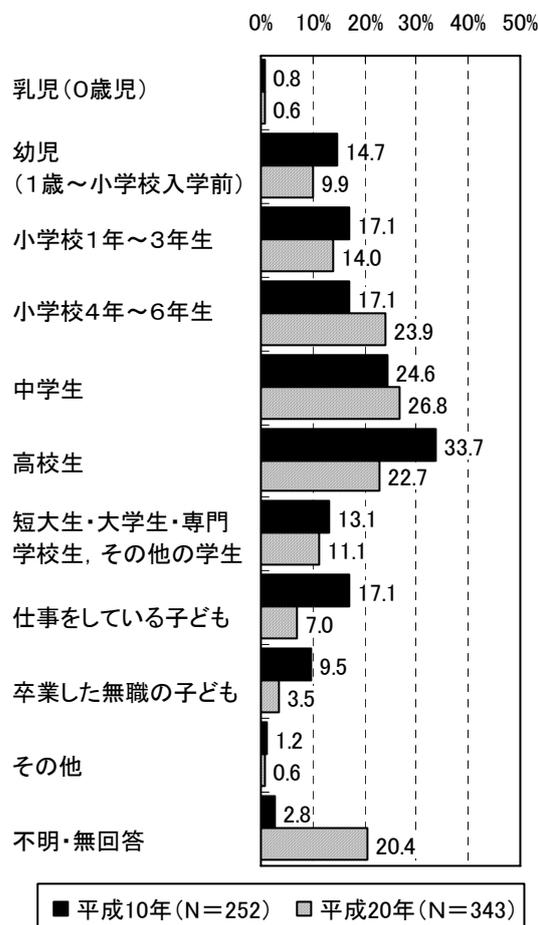
同居している子どもについてみると、子どもの人数では「1人」の割合が最も高く、次いで「2人」の割合が高くなっている。子どものライフステージでは「中学生」の割合が最も高く、次いで「小学校4年～6年生」の割合が高くなっている。

前回調査と比較すると、子どもの人数では「2人」について-9.3ポイント、「1人」について-6.1ポイントの差が生じている。子どものライフステージでは「高校生」について-11.0ポイントの差が生じている。

【同居している子どもの人数】



【同居している子どものライフステージ】

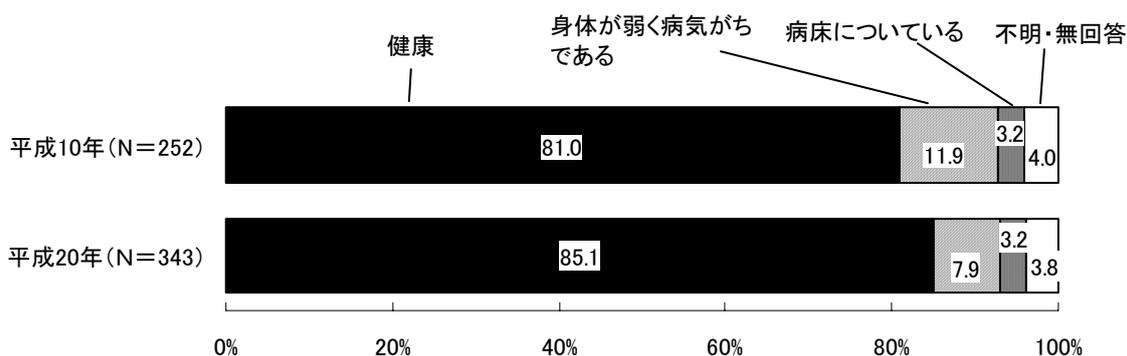


問6 あなたとお子さんの現在の健康状態はいかがですか。当てはまる欄に○を記入してください。なお、お子さんが複数いる場合は、当てはまるすべての欄に○を記入してください。

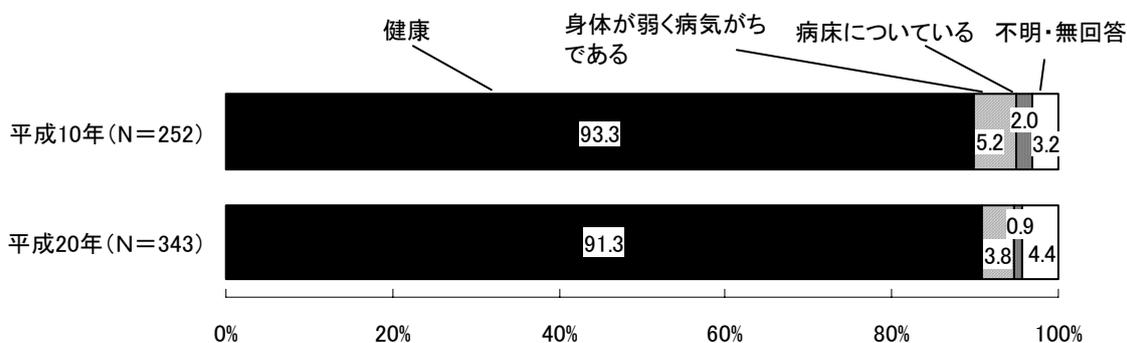
本人とお子さんの現在の健康状態についてみると、本人、子どもともに「健康」の割合が最も高く、次いで「身体が弱く病気がちである」の割合が高くなっている。

前回調査と比較しても本人、子どもともに大きな変化はみられない。

【本人】



【子ども】

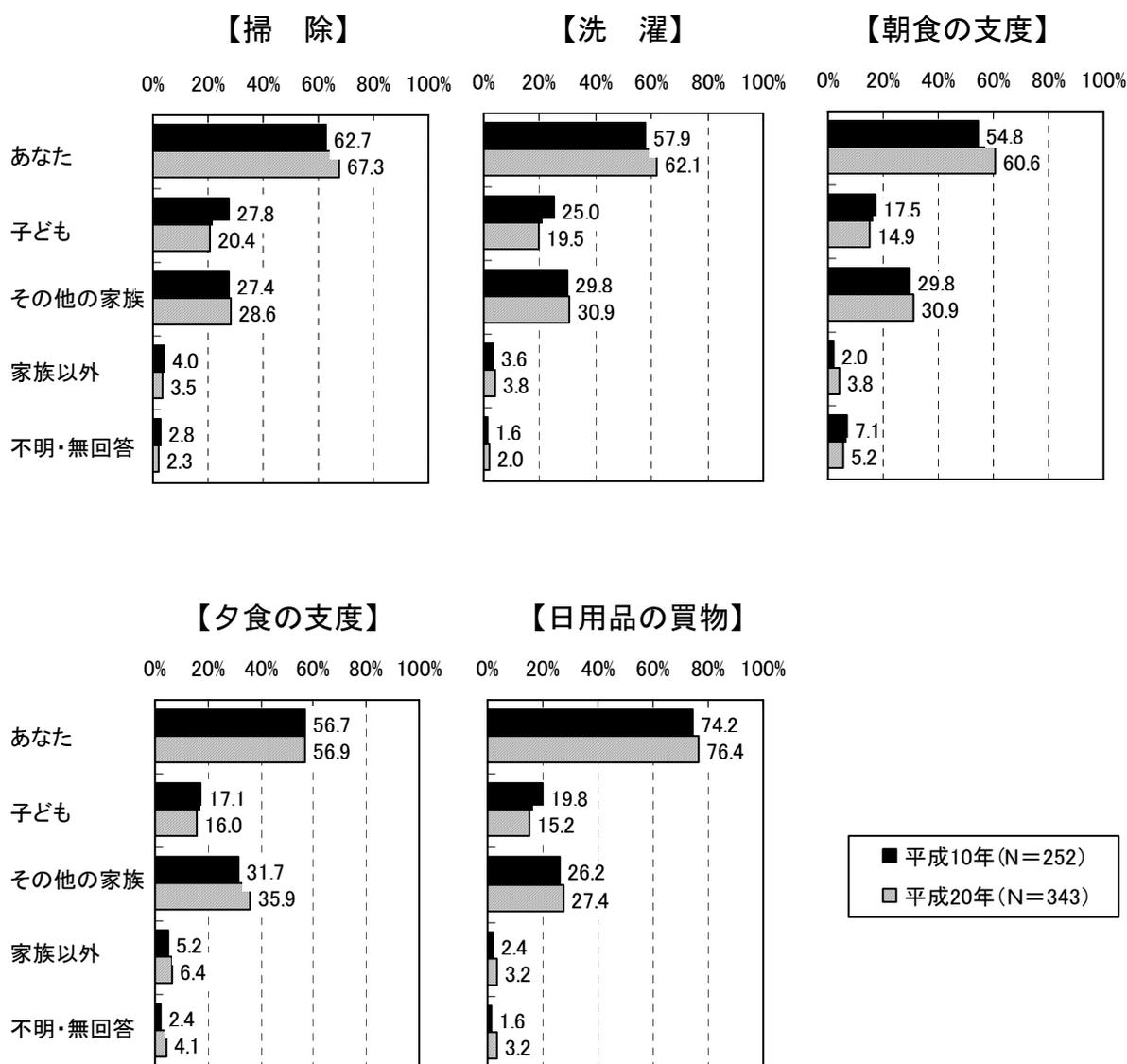


2 家事の分担状況について

問7 あなたのご家庭では、以下の家事は主にどなたが担当されていますか。当てはまるすべての欄に○を記入してください。

家庭での家事の主な担当についてみると、すべてにおいて「あなた」の割合が最も高く、次いで「その他の家族」の割合が高くなっている。

前回調査と比較すると、掃除では「子ども」について-7.4ポイント、洗濯でも「子ども」について-5.5ポイント、朝食の支度は「あなた」について+5.8ポイントの差が生じている。

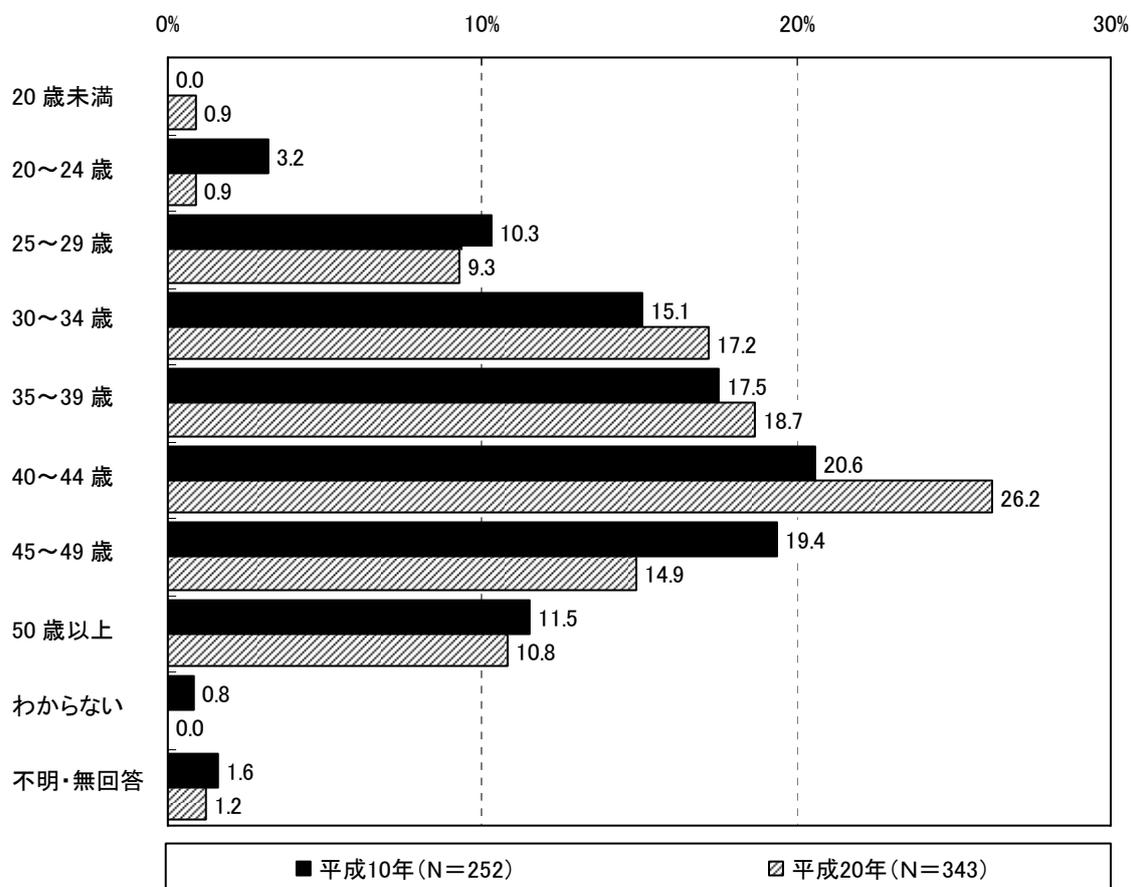


3 ひとり親家庭になったときの状況について

問8 ひとり親家庭になったときのあなたの年齢について、当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

ひとり親家庭になったときの年齢についてみると、「40～44歳」の割合が最も高く、次いで「35～39歳」の割合が高くなっている。

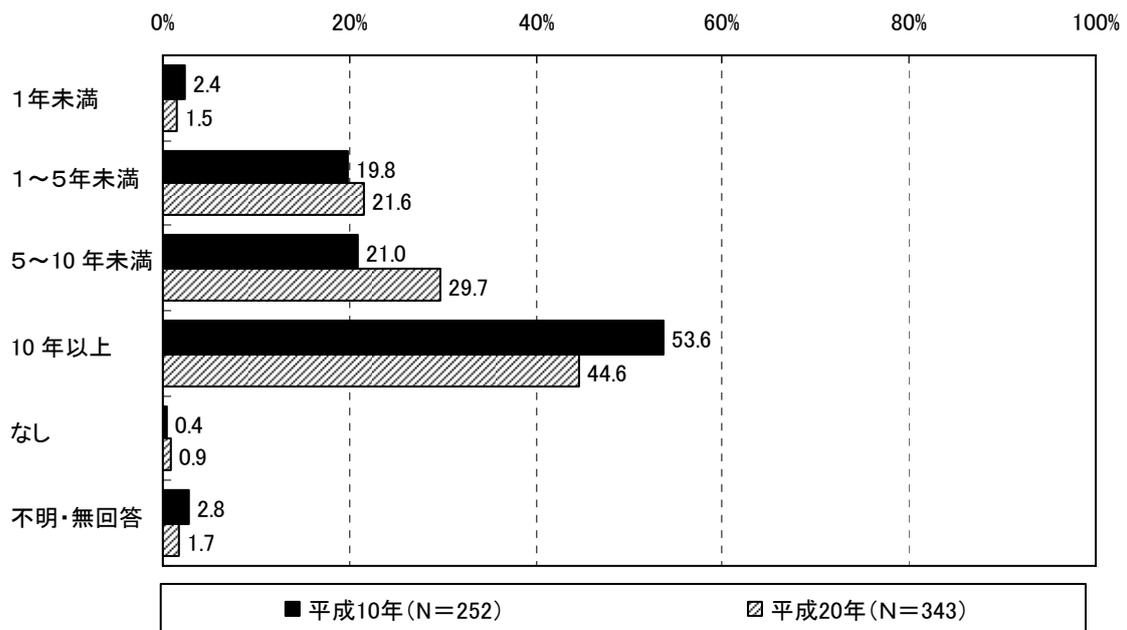
前回調査と比較すると、「40～44歳」について+5.6ポイントの差が生じている。



問9 前配偶者との婚姻期間について、当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

前配偶者との婚姻期間についてみると、「10年以上」の割合が最も高く、次いで「5～10年未満」の割合が高くなっている。

前回調査と比較すると、「10年以上」について-9.0ポイント、「5～10年以上」について+8.7ポイントの差が生じている。

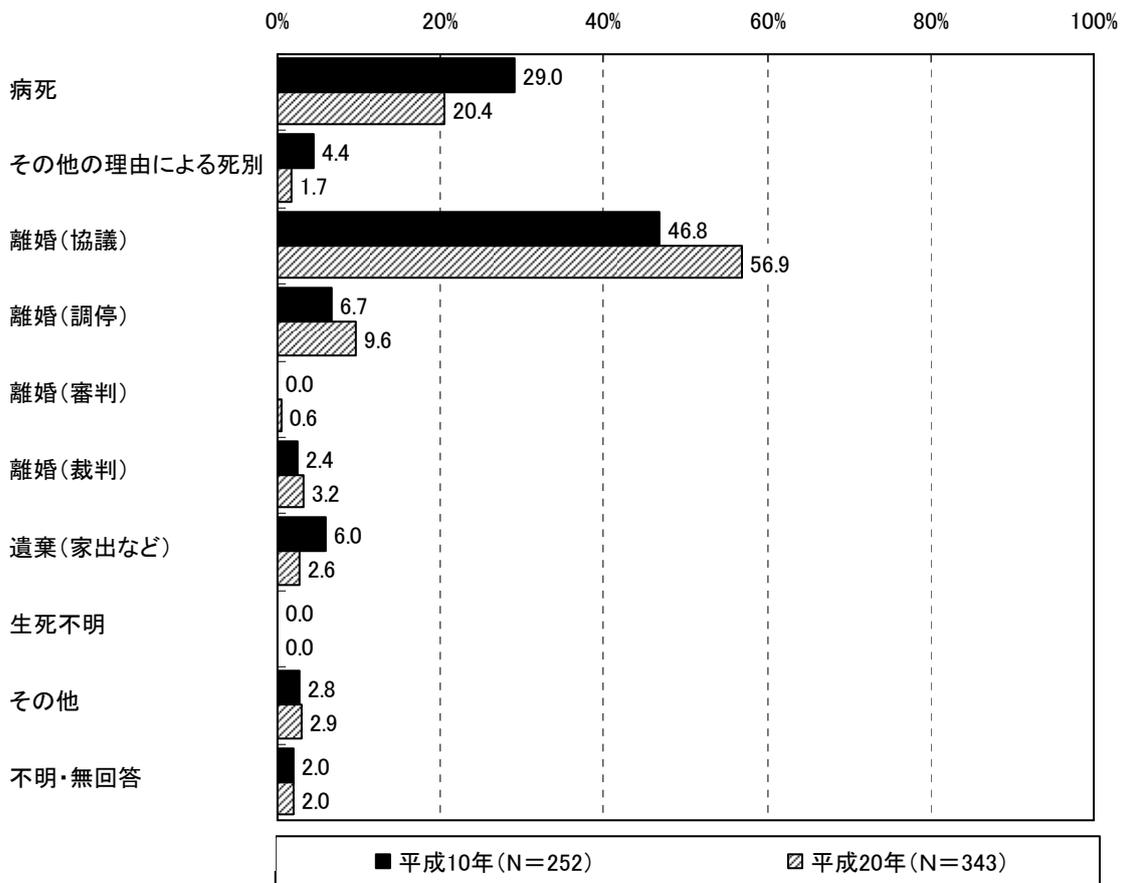


問 10 ひとり親家庭となった理由についてお尋ねします。

(1) ひとり親になった理由について、当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

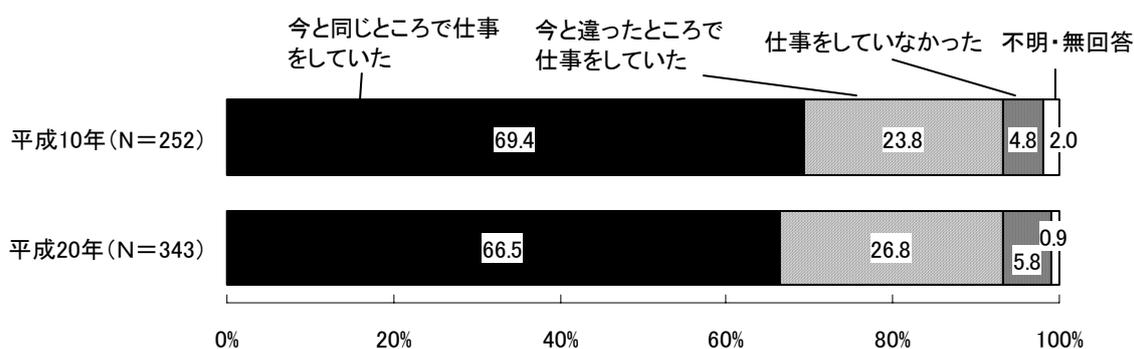
ひとり親になった理由についてみると、「離婚（協議）」の割合が最も高く、次いで「病死」の割合が高くなっている。

前回調査と比較すると、「離婚（協議）」について+10.1ポイント、「病死」について-8.6ポイントの差が生じている。



問 11 ひとり親家庭になられたとき、あなたは仕事をしていましたか。当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

ひとり親家庭になったとき、仕事をしていたかについてみると、「今と同じところで仕事をしていた」の割合が最も高く、次いで「今と違ったところで仕事をしていた」の割合が高くなっている。前回調査と比較しても大きな変化はみられない。

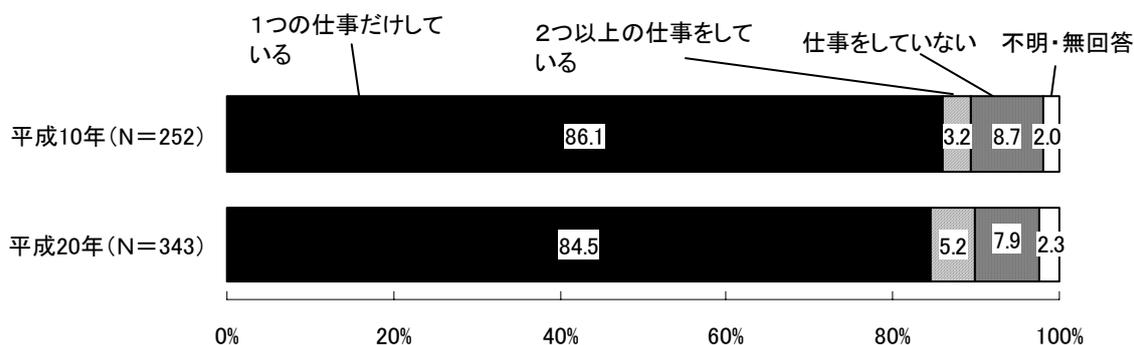


4 現在の仕事について

問 12 あなたは現在、収入を伴う仕事をしていますか。当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

現在、収入を伴う仕事をしているかについてみると、「1つの仕事だけしている」の割合が最も高く、次いで「仕事をしていない」の割合が高くなっている。

前回調査と比較しても大きな変化はみられない。

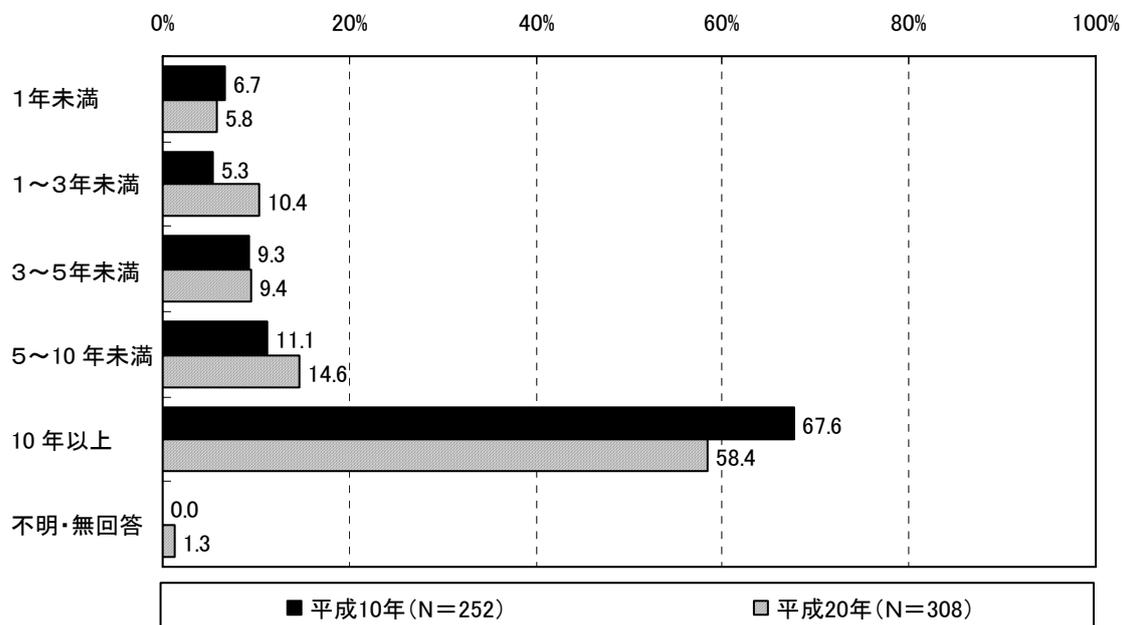


問 13 収入を伴う仕事をしている方だけにお尋ねします。

(1) あなたが現在の仕事につかれてから何年になりますか。当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

現在の仕事について何年になるかについてみると、「10年以上」の割合が最も高く、次いで「5～10年未満」の割合が高くなっている。

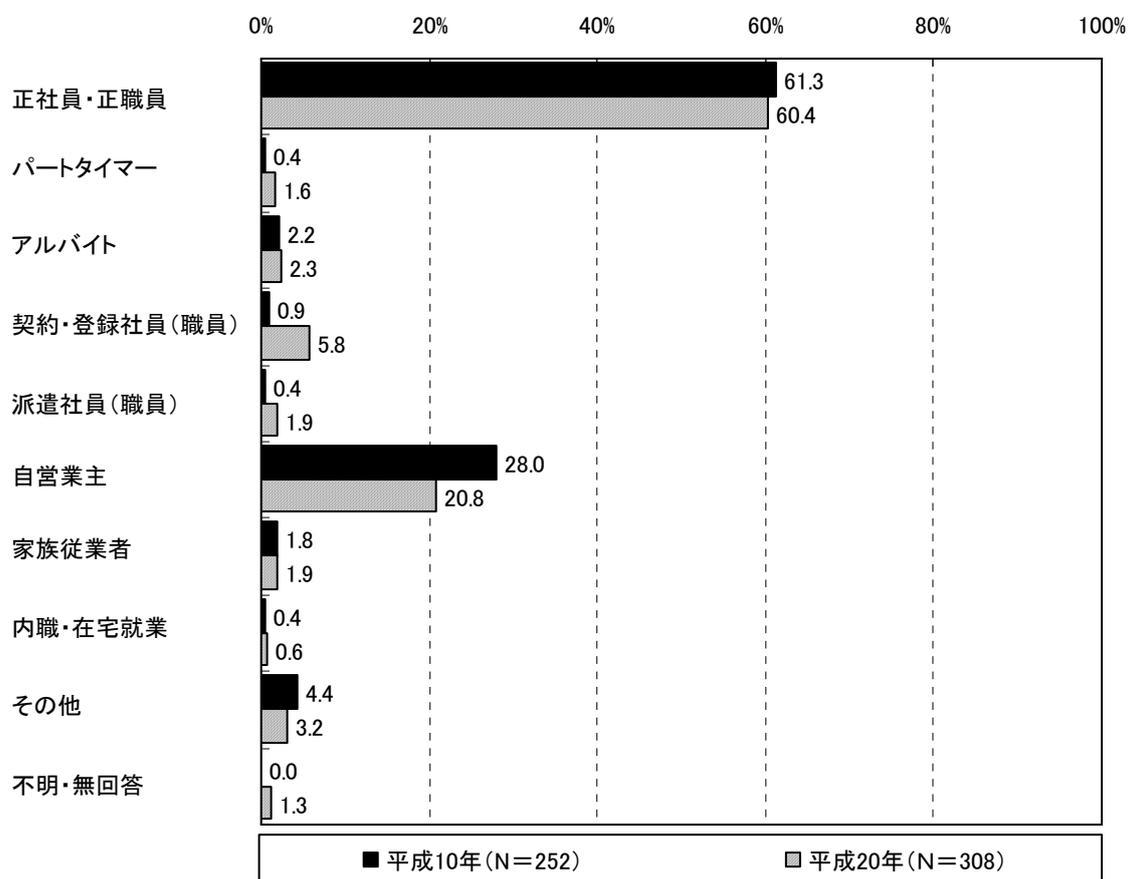
前回調査と比較すると、「10年以上」について-9.2ポイントの差が生じている。



(2) あなたの就労形態について、当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

就労形態についてみると、「正社員・正職員」の割合が最も高く、次いで「自営業主」の割合が高くなっている。

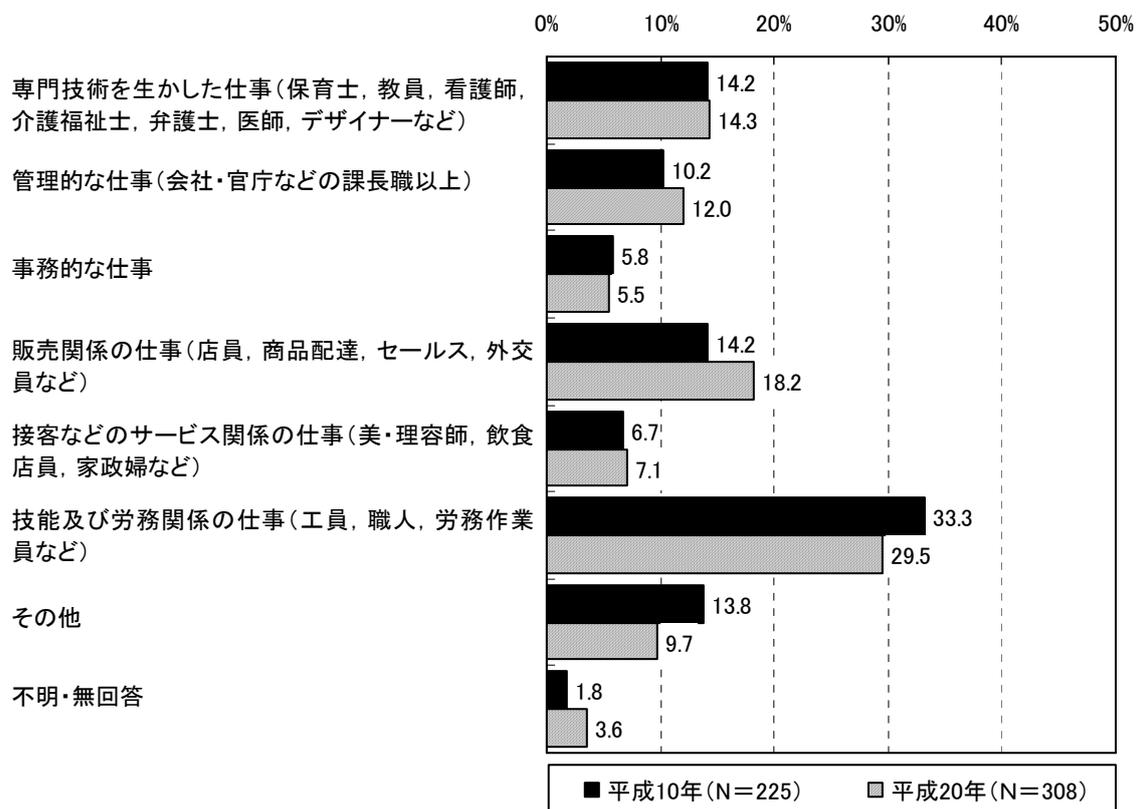
前回調査と比較すると、「自営業主」について-7.2ポイントの差が生じている。



(3) その仕事の種類について、当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

その仕事の種類についてみると、「技能及び労務関係の仕事（工員，職人，労務作業員など）」の割合が最も高く，次いで「販売関係の仕事（店員，商品配達，セールス，外交員など）」の割合が高くなっている。

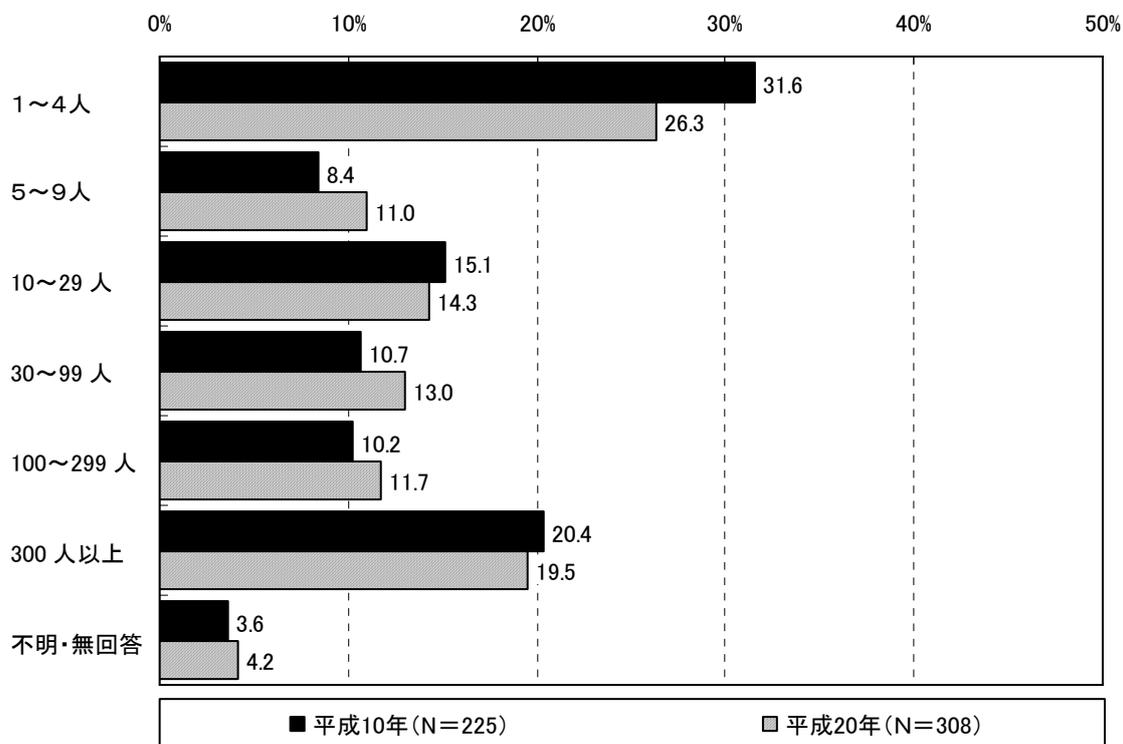
前回調査と比較しても大きな変化はみられない。



(4) 勤務先（自営業の方は家族従業者を含む）の規模（従業員数）について、当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

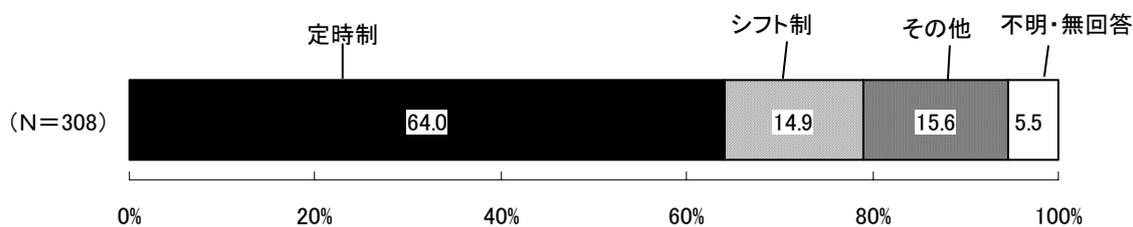
勤務先（自営業の方は家族従業者を含む）の規模（従業員数）についてみると、「1～4人」の割合が最も高く、次いで「300人以上」の割合が高くなっている。

前回調査と比較すると、「1～4人」について-5.3ポイントの差が生じている。



(5) あなたの勤務体制について、当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

勤務体制についてみると、「定時制」が64.0%、「シフト制」が14.9%となっている。

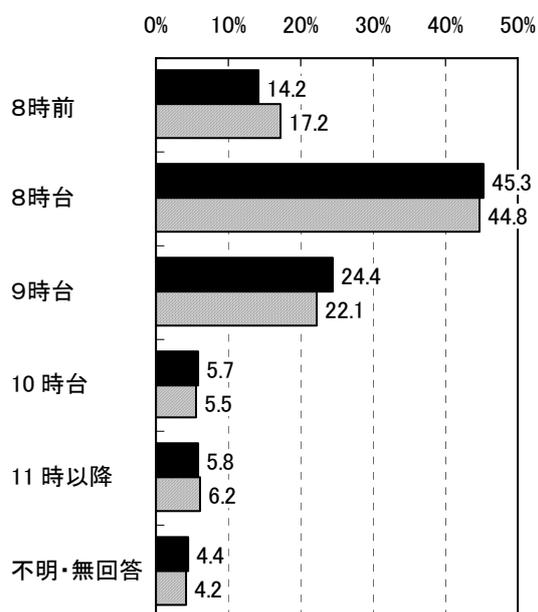


(6) あなたの普段の平均的な勤務時間（残業が恒常的になっている方はその時間も含む）はどのようになっていますか。また、仕事が終わって帰宅するのは何時ごろですか。シフト制で働いている方は平均的な勤務時間を記入してください。

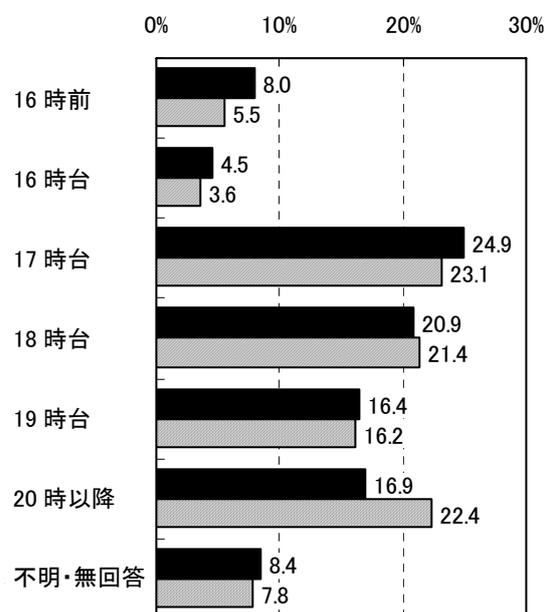
普段の平均的な勤務時間についてみると、始業時間では「8時台」、終業時間では「17時台」、帰宅時間では「20時以降」が最も高くなっている。

前回調査と比較すると、終業時間では「20時以降」について+5.5ポイント、帰宅時間では「20時以降」について+8.8ポイントの差が生じている。始業時間では前回調査と比較しても大きな変化はみられない。

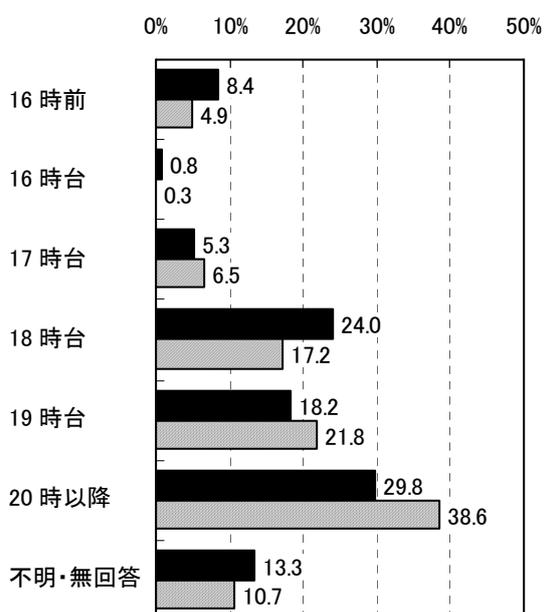
【始業時間】



【終業時間】



【帰宅時間】

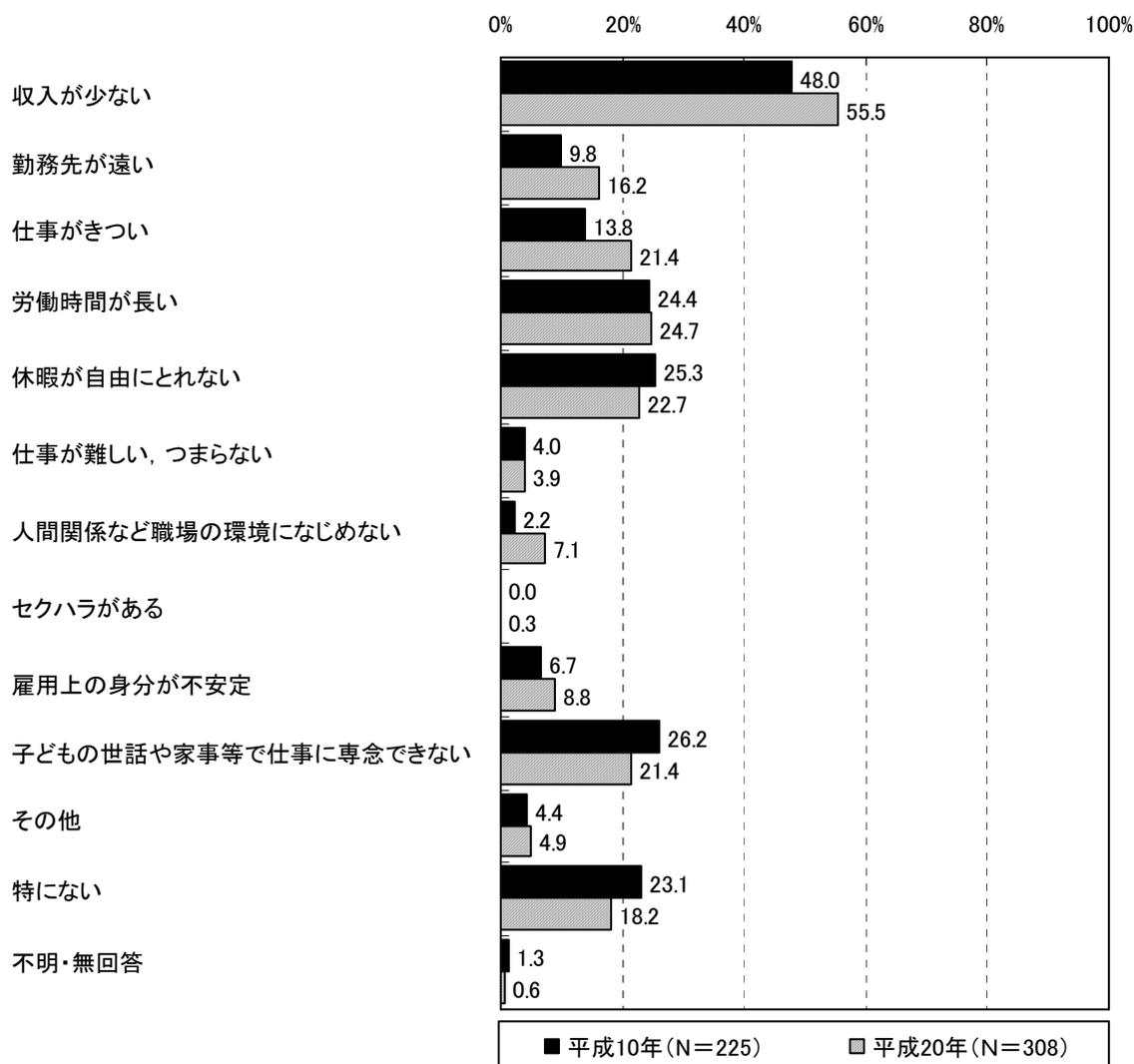


■ 平成10年 (N=225)
 □ 平成20年 (N=308)

(7) あなたの仕事上の悩みについて、当てはまるものすべてに○をつけてください。

仕事上の悩みについてみると、「収入が少ない」の割合が最も高く、次いで「労働時間が長い」の割合が高くなっている。

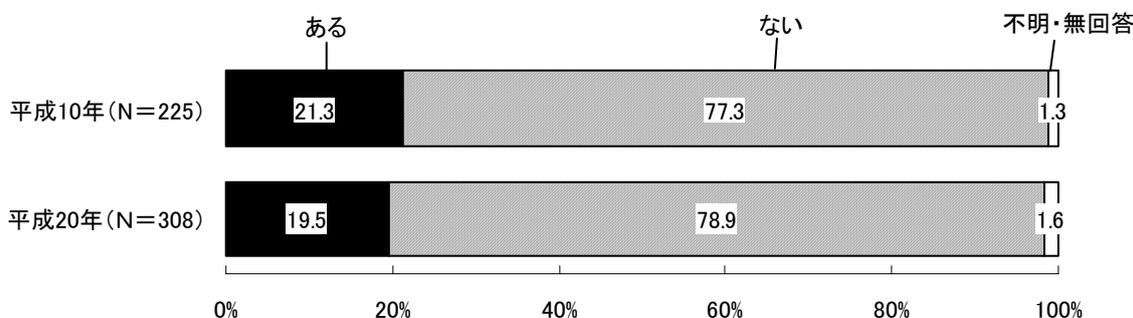
前回調査と比較すると、「仕事がつい」について+7.6ポイント、「収入が少ない」について+7.5ポイントの差が生じている。



※「セクハラがある」は今回調査のみ

(8) 現在、あなたは転職の希望がありますか。当てはまるものに○をつけてください。

現在、転職の希望があるかについてみると、「ない」が78.9%、「ある」が19.5%となっている。前回調査と比較しても大きな変化はみられない。



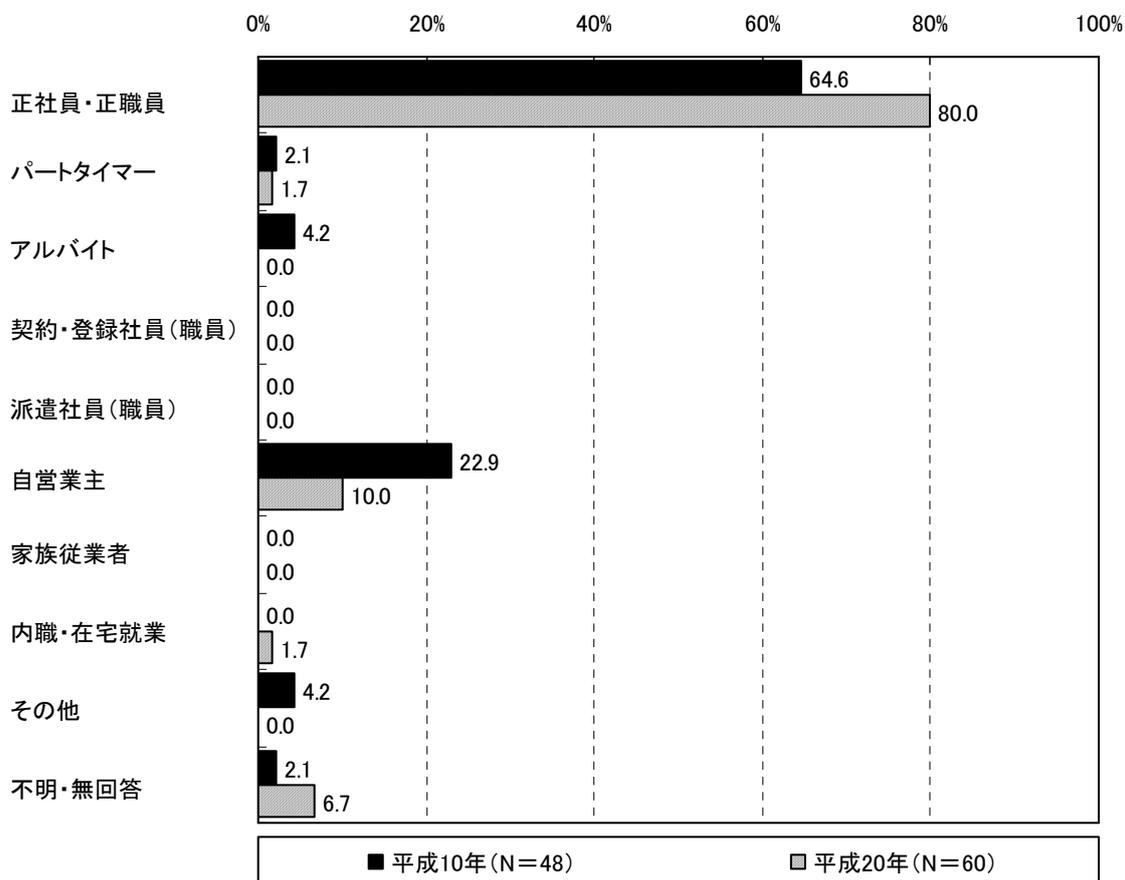
(9) 今後、転職の希望がある方だけにお尋ねします。

- ・ 転職する場合、あなたは、どのような就労形態で働きたいと考えていますか。当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

今後、転職を希望する場合、どのような就労形態で働きたいと考えているかについてみると、「正社員・正職員」の割合が最も高く、次いで「自営業主」の割合が高くなっている。

前回調査と比較すると、「正社員・正職員」について+15.4 ポイント、「自営業主」について-12.9 ポイントの差が生じている。

【希望する就労形態】

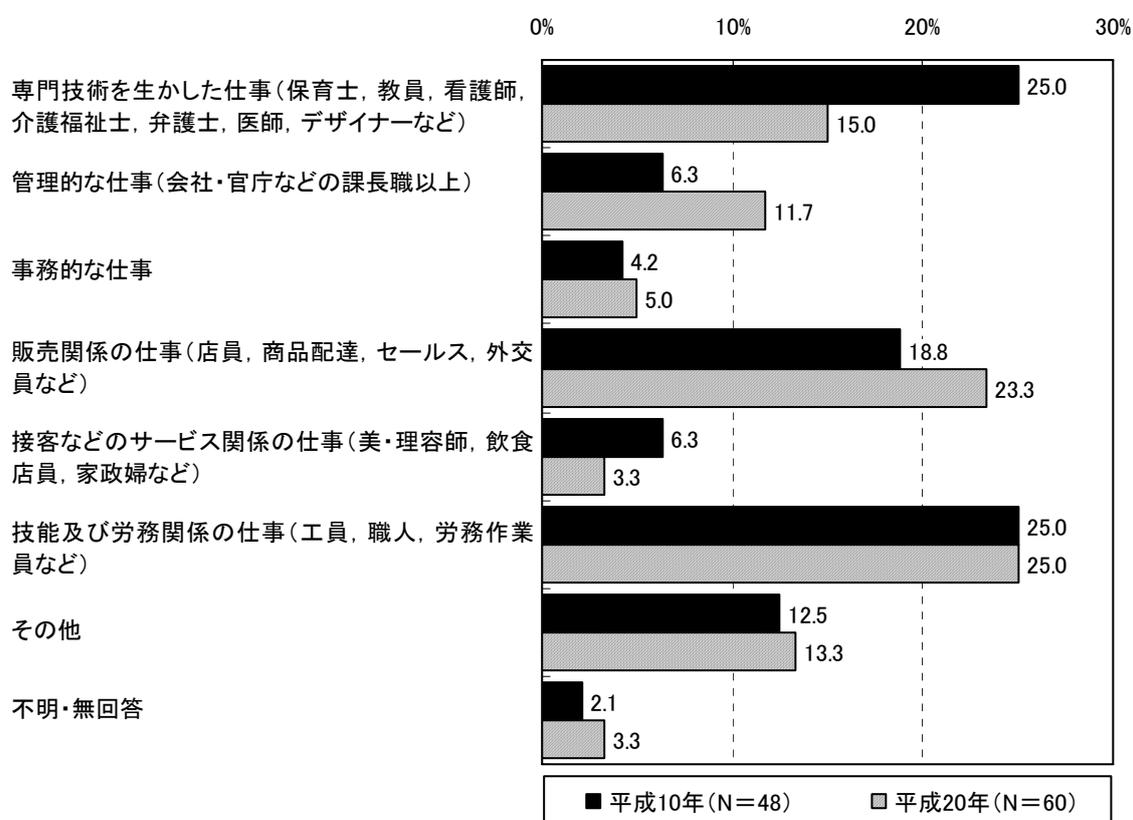


・転職する場合、あなたは、どのような種類の仕事につきたいと考えていますか。
当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

転職する場合、どのような種類の仕事につきたいと考えるかについてみると、「技能及び労務関係の仕事（工員、職人、労務作業員など）」の割合が最も高く、次いで「販売関係の仕事（店員、商品配達、セールス、外交員など）」の割合が高くなっている。

前回調査と比較すると、「専門技術を生かした仕事（保育士、教員、看護師、介護福祉士、弁護士、医師、デザイナーなど）」について-10.0ポイント、「管理的な仕事（会社・官庁などの課長職以上）」について+5.4ポイントの差が生じている。

【希望する仕事の種類】

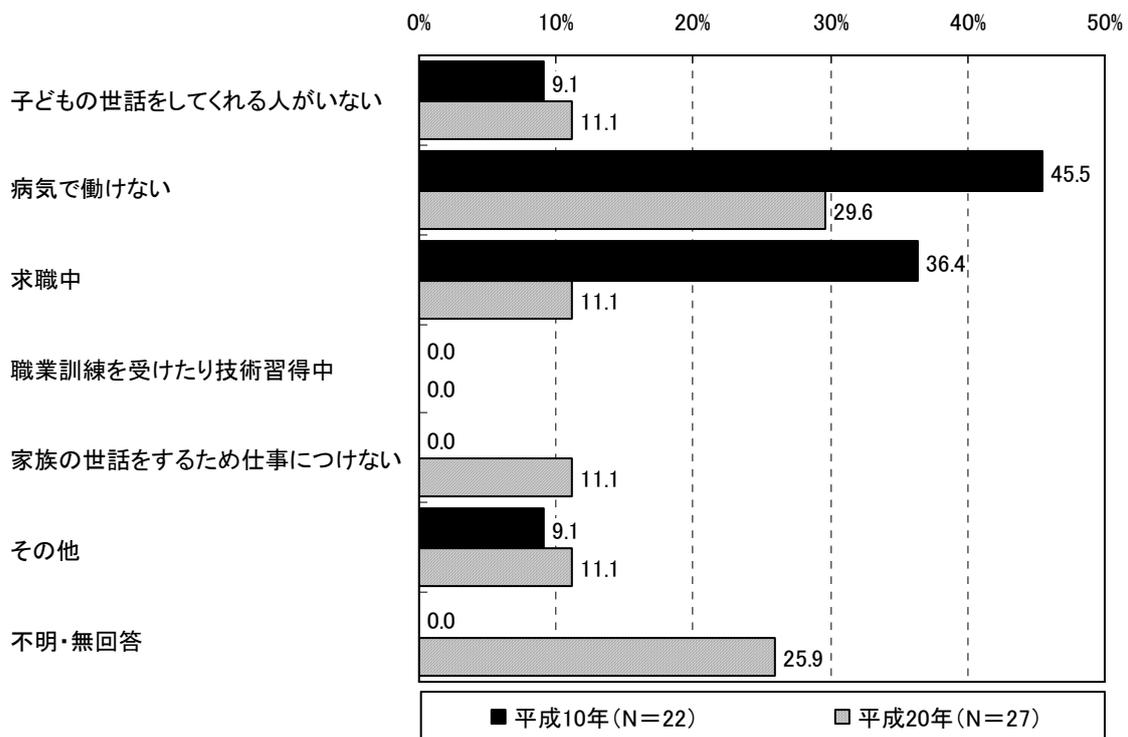


問 14 収入を伴う仕事がない方だけにお尋ねします。

(1) その理由は何ですか。当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

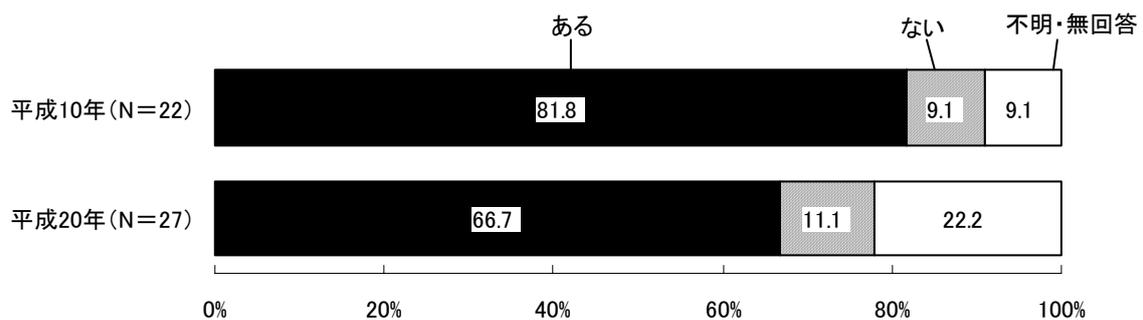
収入を伴う仕事がない方の理由についてみると、「病気で働けない」の割合が最も高くなっている。

前回調査と比較すると、「求職中」について-25.3ポイント、「病気で働けない」について-15.9ポイントの差が生じている。



(2) あなたは今後、就職の希望はありますか。当てはまるものに○をつけてください。

今後、就職の希望についてみると、「ある」が66.7%、「ない」が11.1%となっている。前回調査と比較すると、「ある」について-15.1ポイントの差が生じている。



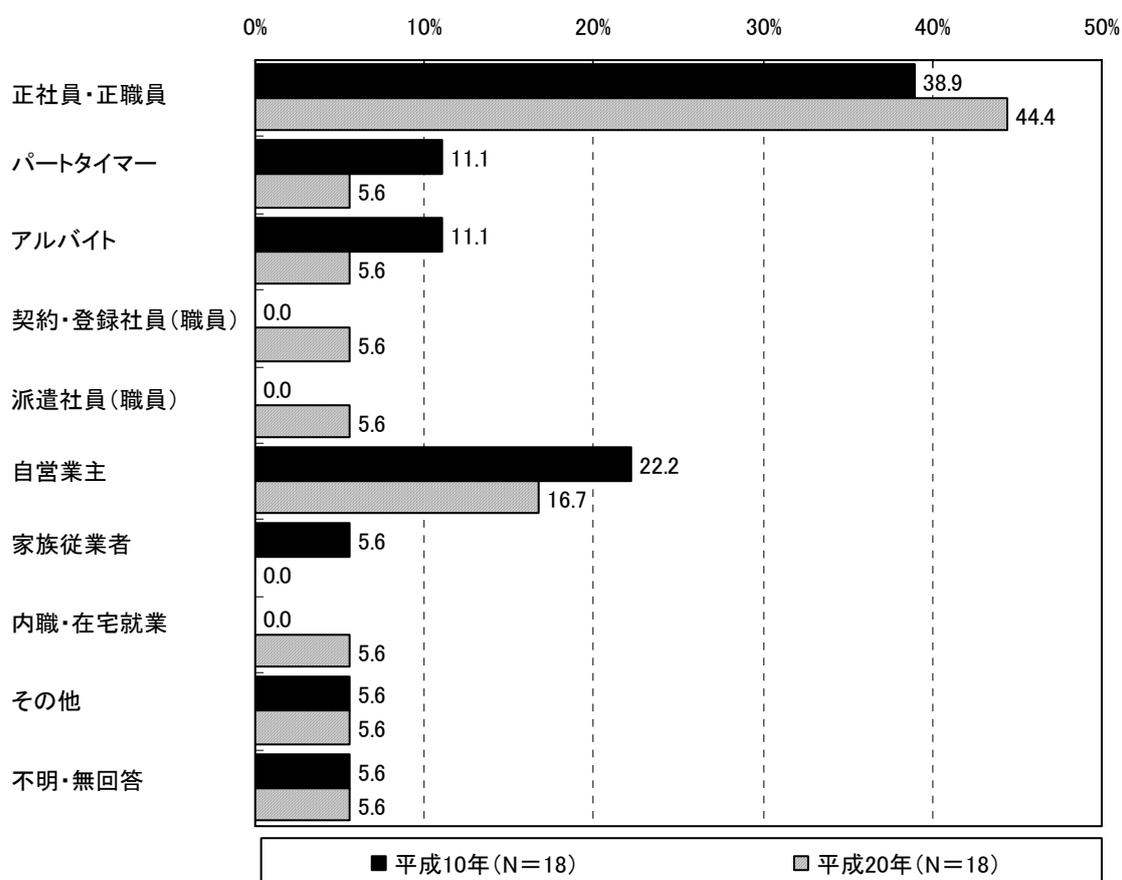
(3) 就職の希望がある方だけにお尋ねします。

- ・就職する場合、あなたは、どのような就労形態で働きたいと考えていますか。
当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

就職の希望がある方に、就職する場合、どのような就労形態で働きたいと考えているかについて聞いてみると、「正社員・正職員」の割合が最も高く、次いで「自営業主」の割合が高くなっている。

前回調査と比較すると、すべてについて±5.5ポイント程度の差が生じている。

【希望する就労形態】

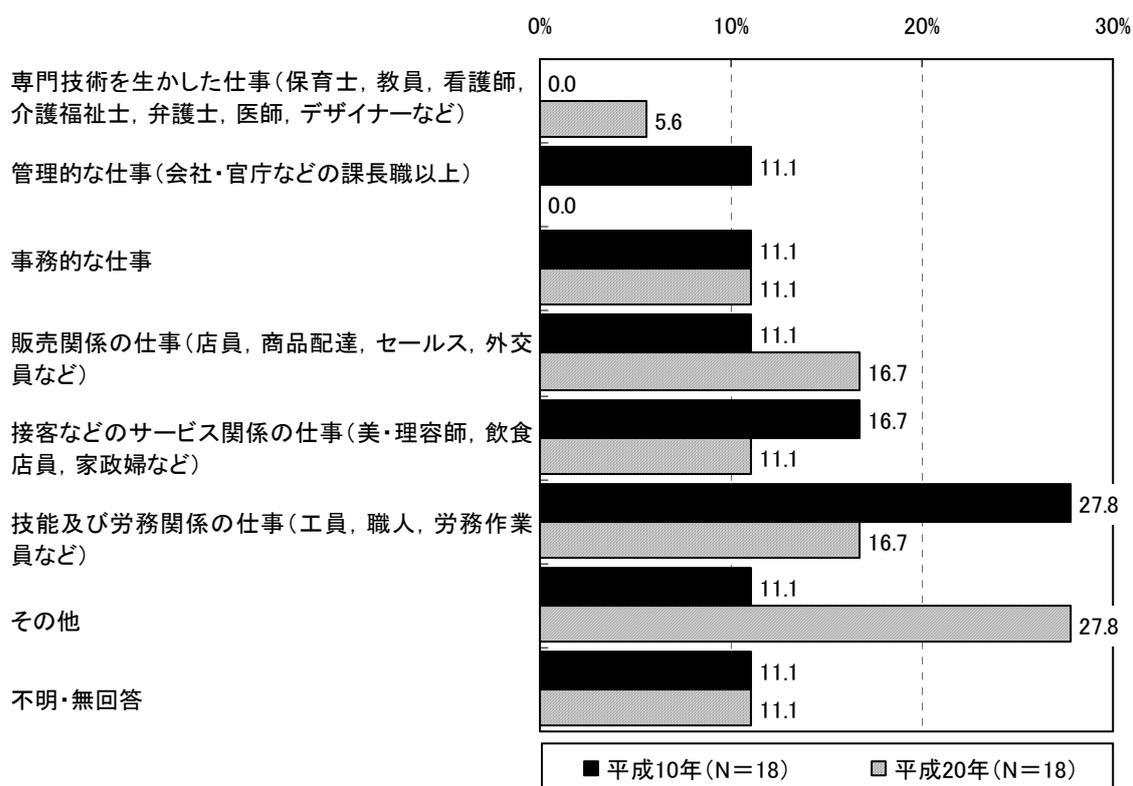


・就職する場合、あなたは、どのような種類の仕事につきたいと考えていますか。
 当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

就職の希望がある方に、就職する場合、どのような種類の仕事につきたいと考えているかについて聞いてみると、「販売関係の仕事（店員、商品配達、セールス、外交員など）」、「技能及び労務関係の仕事（工員、職人、労務作業員など）」の割合が最も高くなっている。

前回調査と比較すると、「管理的な仕事（会社・官庁などの課長職以上）」、「技能及び労務関係の仕事（工員、職人、労務作業員など）」について－11.1ポイントの差が生じている。

【希望する仕事の種類】

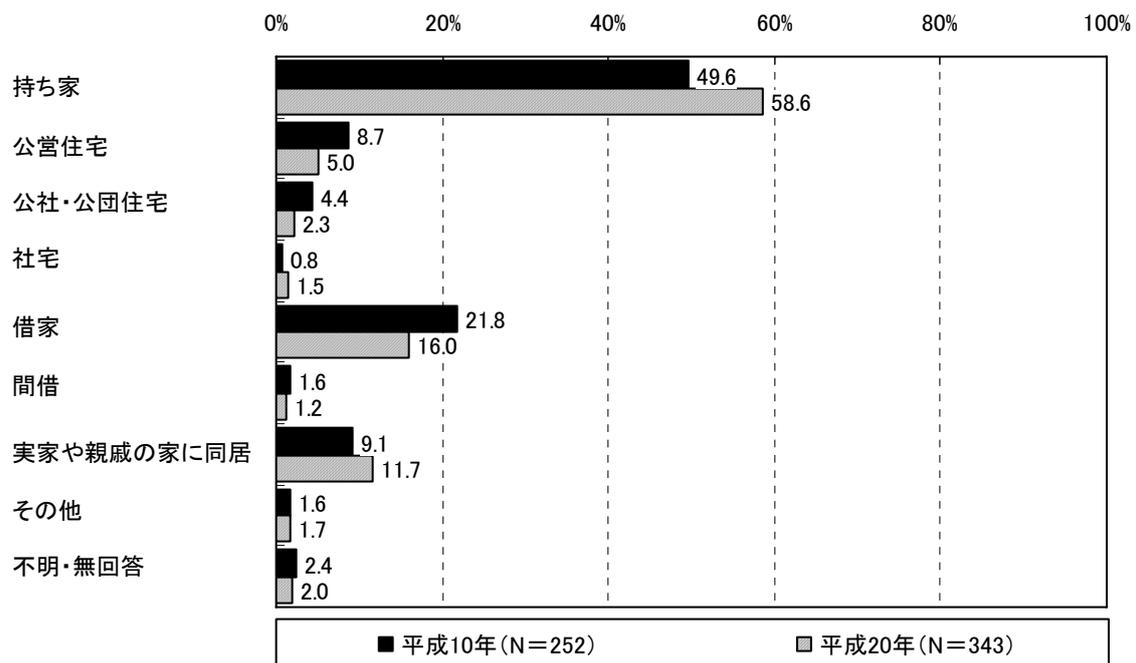


5 現在のお住まいについて

問 15 お住まいになっている住宅の種類について、当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

お住まいになっている住宅の種類についてみると、「持ち家」の割合が最も高く、次いで「借家」の割合が高くなっている。

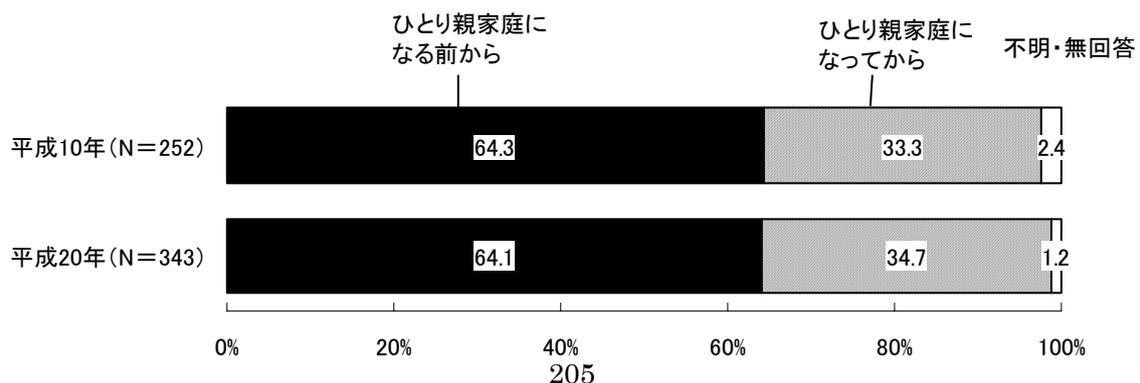
前回調査と比較すると、「持ち家」について+9.0ポイント、「借家」について-5.8ポイントの差が生じている。



問 16 現在の住宅に住まれるようになったのは、ひとり親家庭になる前からですか。それともひとり親家庭になってからですか。当てはまるものに○をつけてください。

現在の住宅に住むようになったのは、ひとり親家庭になる前からかについてみると、「ひとり親家庭になる前から」が64.1%、「ひとり親家庭になってから」が34.7%となっている。

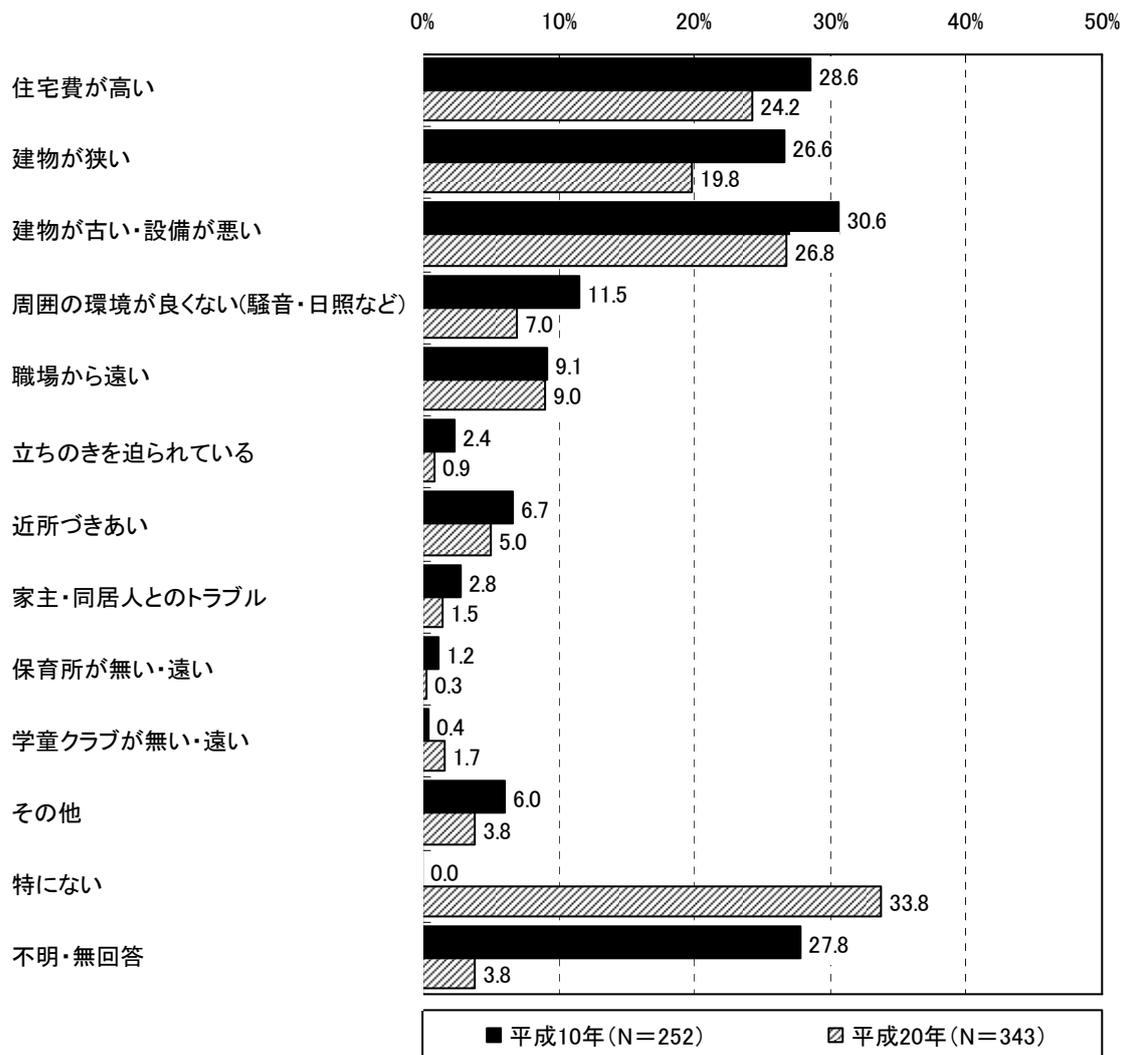
前回調査と比較しても大きな変化はみられない。



問 17 現在の住宅について、何か悩みがありますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

現在の住宅について、何か悩みあるかについてみると、「特にない」の割合が最も高く、次いで「建物が古い・設備が悪い」の割合が高くなっている。

前回調査と比較すると、「建物が狭い」について-6.8ポイントの差が生じている。

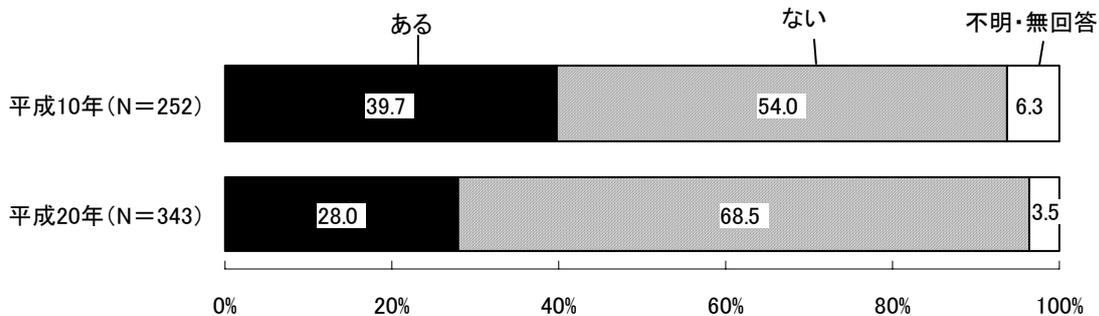


※「特にない」は今回調査のみ

問 18 転居の希望についてお尋ねします。

(1) 今後、転居の希望はありますか。当てはまるものに○をつけてください。

今後、転居の希望があるかについてみると、「ない」が68.5%、「ある」が28.0%となっている。前回調査と比較すると、「ない」について+14.5ポイントの差が生じている。

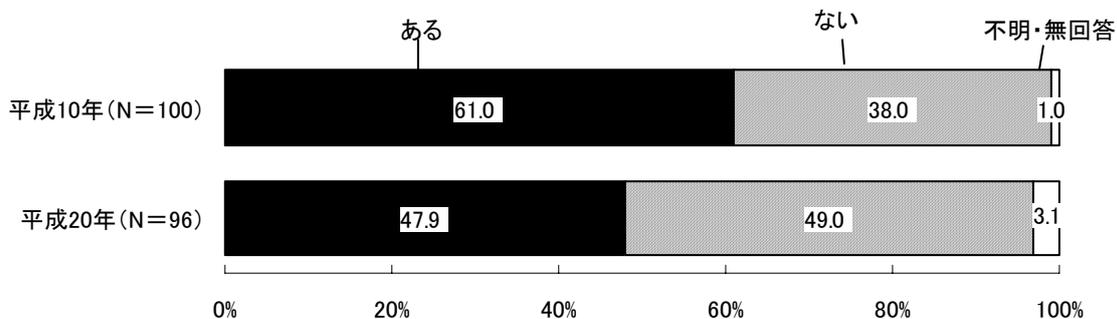


■転居希望があると答えた方のみにお尋ねします。

(2) 公営住宅（府・市営）への転居の希望はありますか。当てはまるものに○をつけてください。

公営住宅（府・市営）への転居の希望があるかについてみると、「ない」が49.0%、「ある」が47.9%となっている。

前回調査と比較すると、「ある」について-13.1ポイントの差が生じている。



6 世帯の収入状況・生活費について

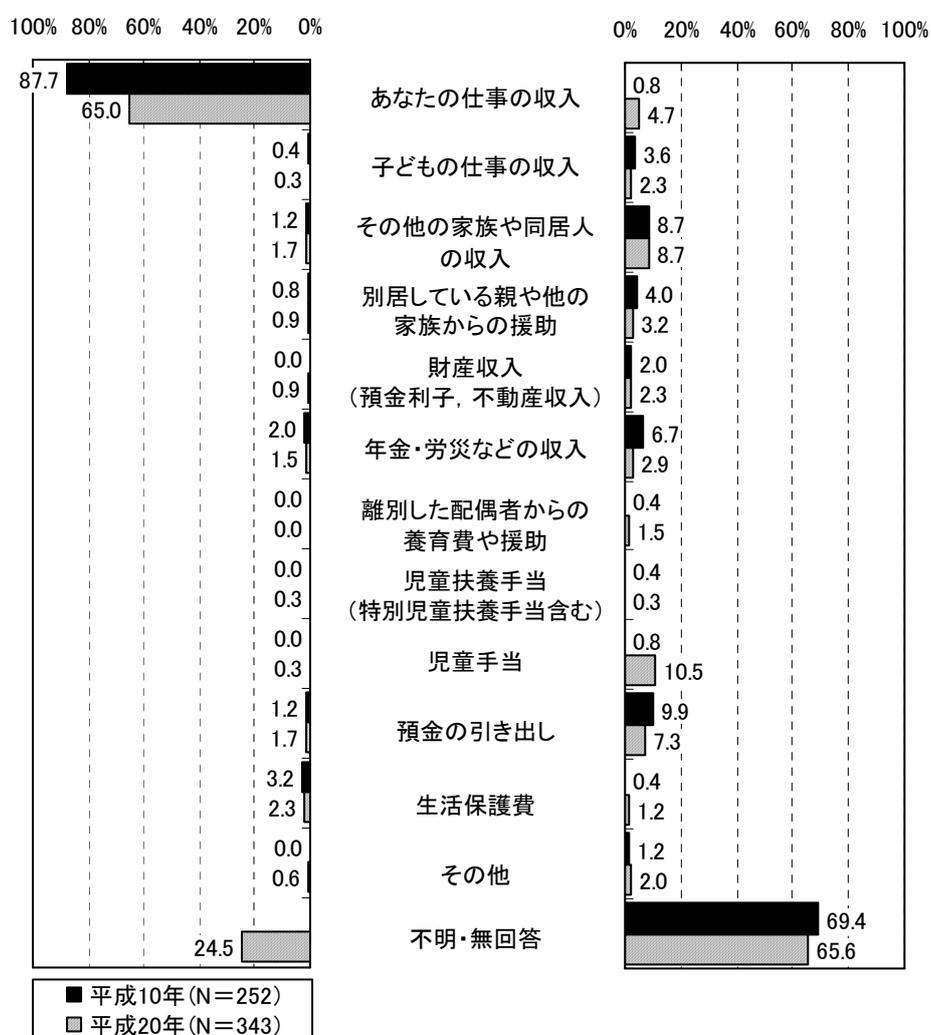
問 19 あなたの世帯の収入は、何によってまかなわれていますか。

世帯の収入は、何によってまかなわれているかについてみると、最も収入の多いものでは「あなたの仕事の収入」の割合が最も高くなっている。それ以外の収入では「児童手当」の割合が最も高く、次いで「その他の家族や同居人の収入」の割合が高くなっている。

前回調査と比較すると、最も多い収入ものでは「あなたの仕事の収入」について-22.7ポイントの差が生じている。また、それ以外の収入では「児童手当」について+9.7ポイントの差が生じている。

【最も収入の多いもの】（単数回答）

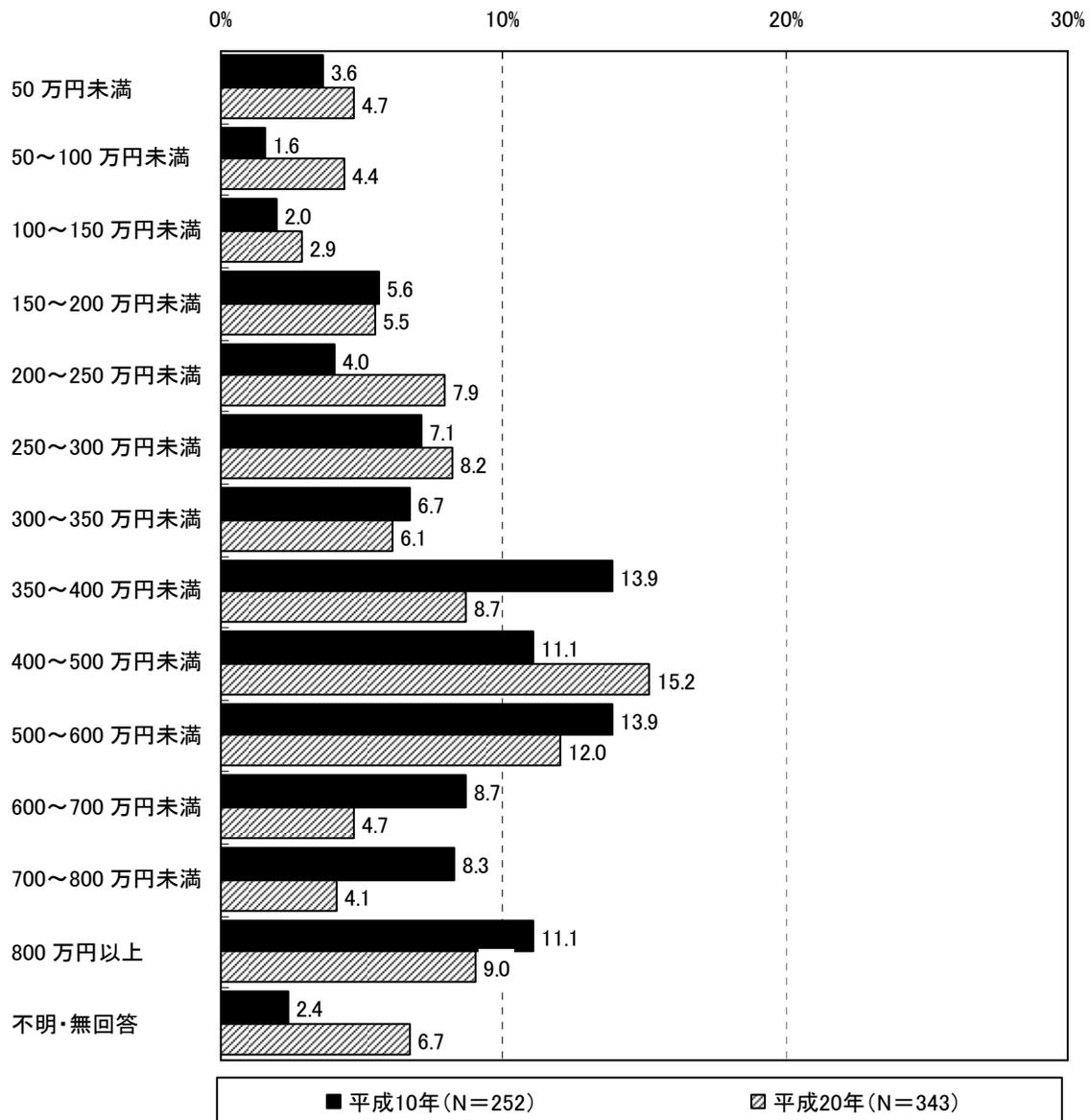
【それ以外の収入】（複数回答）



問 20 あなたの世帯の昨年（平成 19 年）1 年間の収入はどのくらいでしたか（税込みで生活保護費は除きます）。当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

世帯の昨年（平成 19 年）1 年間の収入はどのくらいかについてみると、「400～500 万円未満」の割合が最も高く、次いで「500～600 万円未満」の割合が高くなっている。

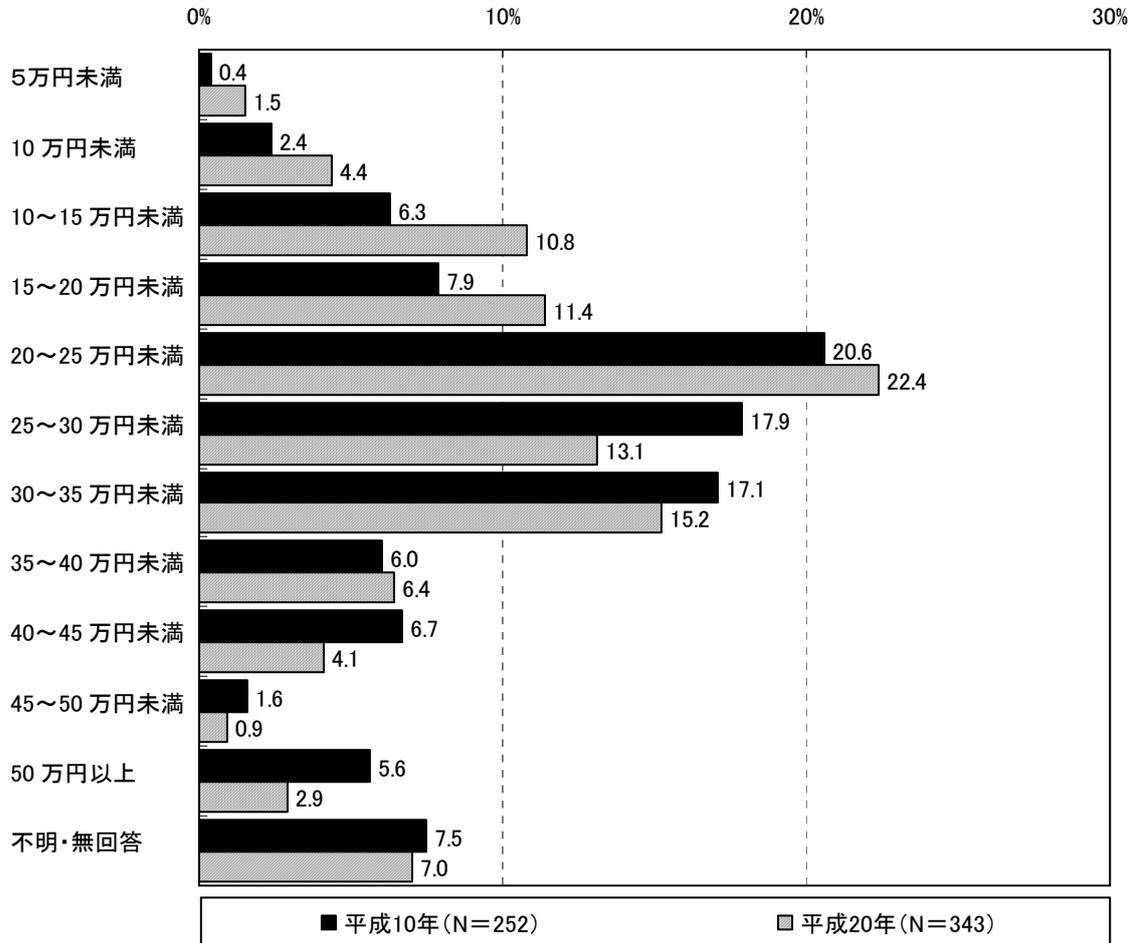
前回調査と比較すると、「350～400 万円未満」について－5.2 ポイントの差が生じている。



問 21 あなたの世帯の月平均の生活費を記入してください。

世帯の月平均の生活費についてみると、「20～25万円未満」の割合が最も高く、次いで「30～35万円未満」の割合が高くなっている。

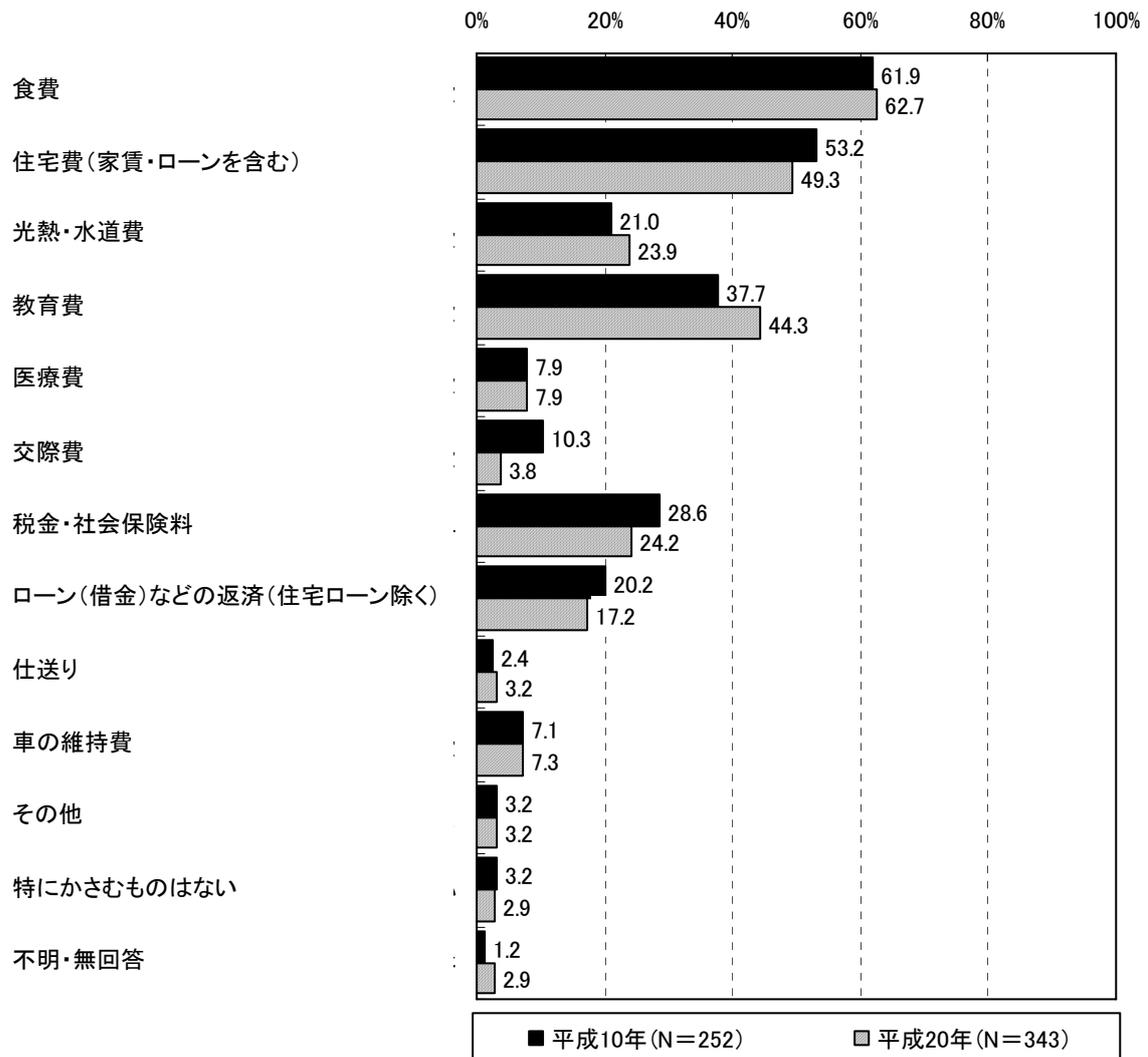
前回調査と比較すると、「25万円未満」のすべての区分でプラスとなっている。



問 22 あなたの世帯の生活費の中で、特に支出のかさむものは何ですか。主なものに3つまで○をつけてください。

世帯の生活費の中で、特に支出のかさむものは何かについてみると、「食費」の割合が最も高く、次いで「住宅費（家賃・ローンを含む）」の割合が高くなっている。

前回調査と比較すると、「教育費」について+6.6ポイントの差が生じている。

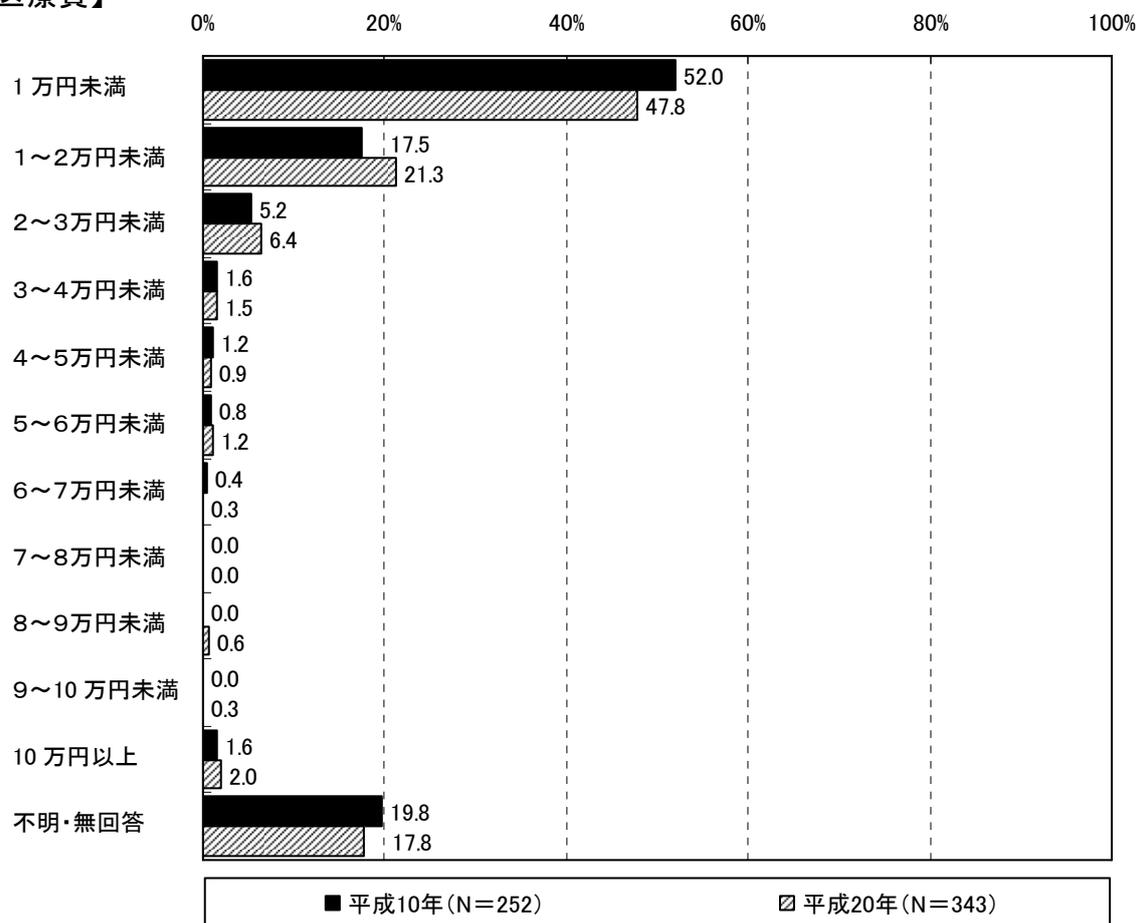


問 23 あなたの世帯の生活費の中で、医療費、住宅費（家賃・ローン返済を含む）、教育費の月平均支出額はどの程度ですか（平成 19 年分）。それぞれ当てはまる欄に○を記入してください。また、それらの支出のためにローンなどでお金を借りていますか。お金を借りている場合は「ローンの借入」の欄に○を記入してください。

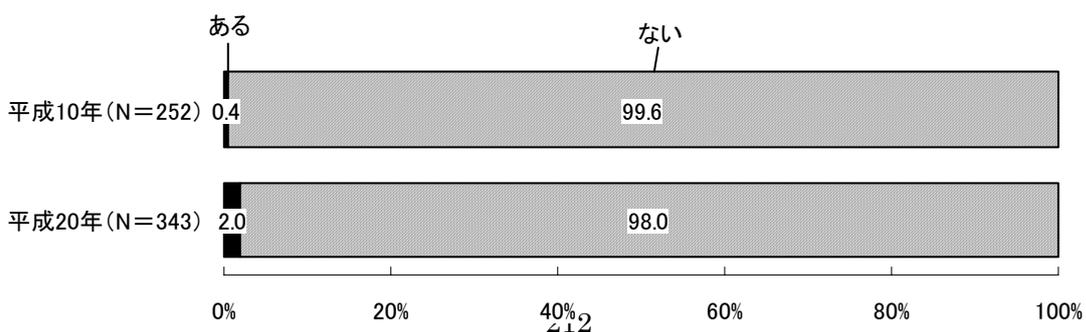
世帯の生活費の中で、医療費、住宅費（家賃・ローン返済を含む）、教育費の月平均支出額はどの程度かについてみると、医療費では「1万円未満」の割合が最も高く、次いで「1～2万円未満」の割合が高くなっている。ローン借入の有無については「ない」が98.0%、「ある」が2.0%となっている。

前回調査と比較しても大きな変化はみられない。

【医療費】



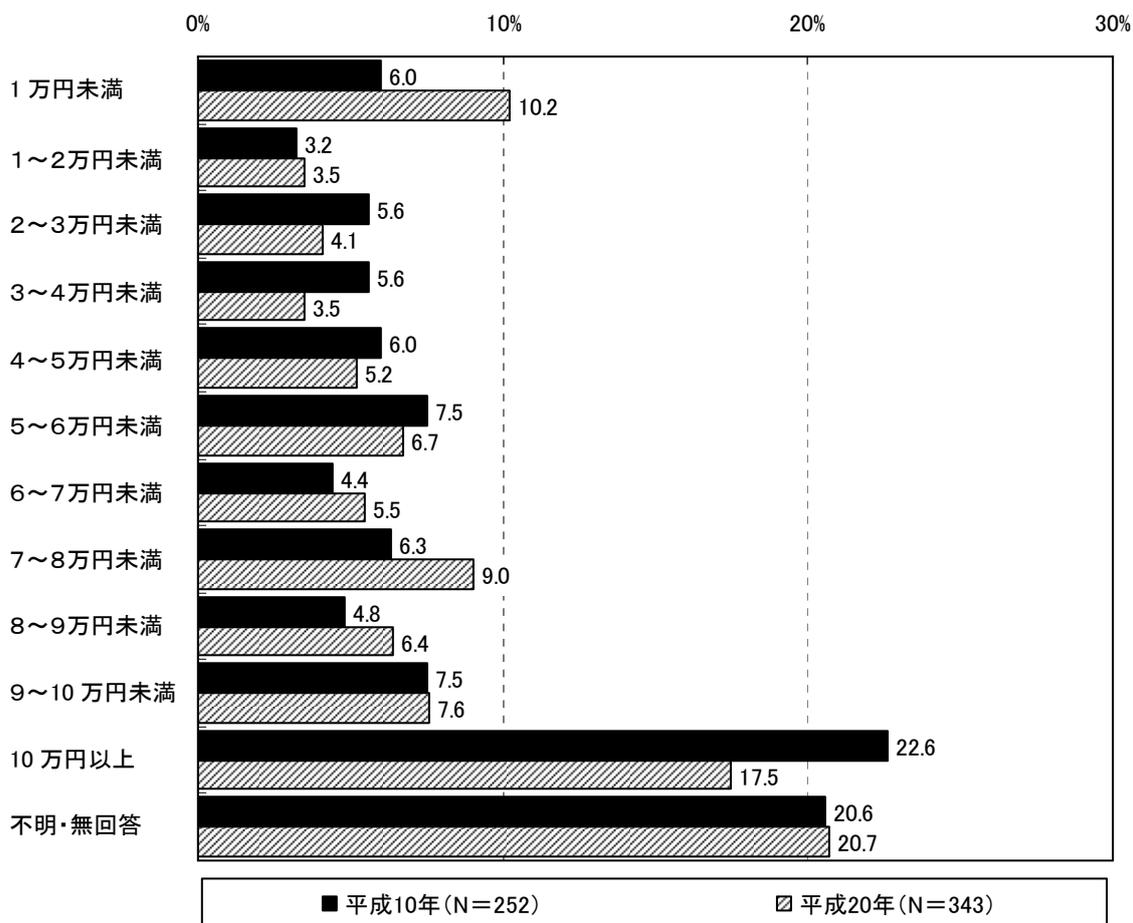
【医療費のローン借入の有無】



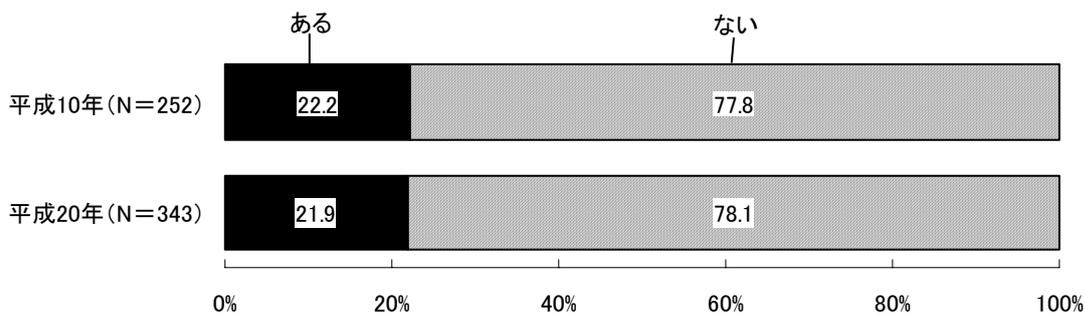
住宅費では「10万円以上」の割合が最も高く、次いで「1万円未満」の割合が高くなっている。ローン借入の有無については「ない」が78.1%、「ある」が21.9%となっている。

前回調査と比較すると、住宅費では「10万円以上」について-5.1ポイントの差が生じている。ローン借入の有無では大きな変化はみられない。

【住宅費】



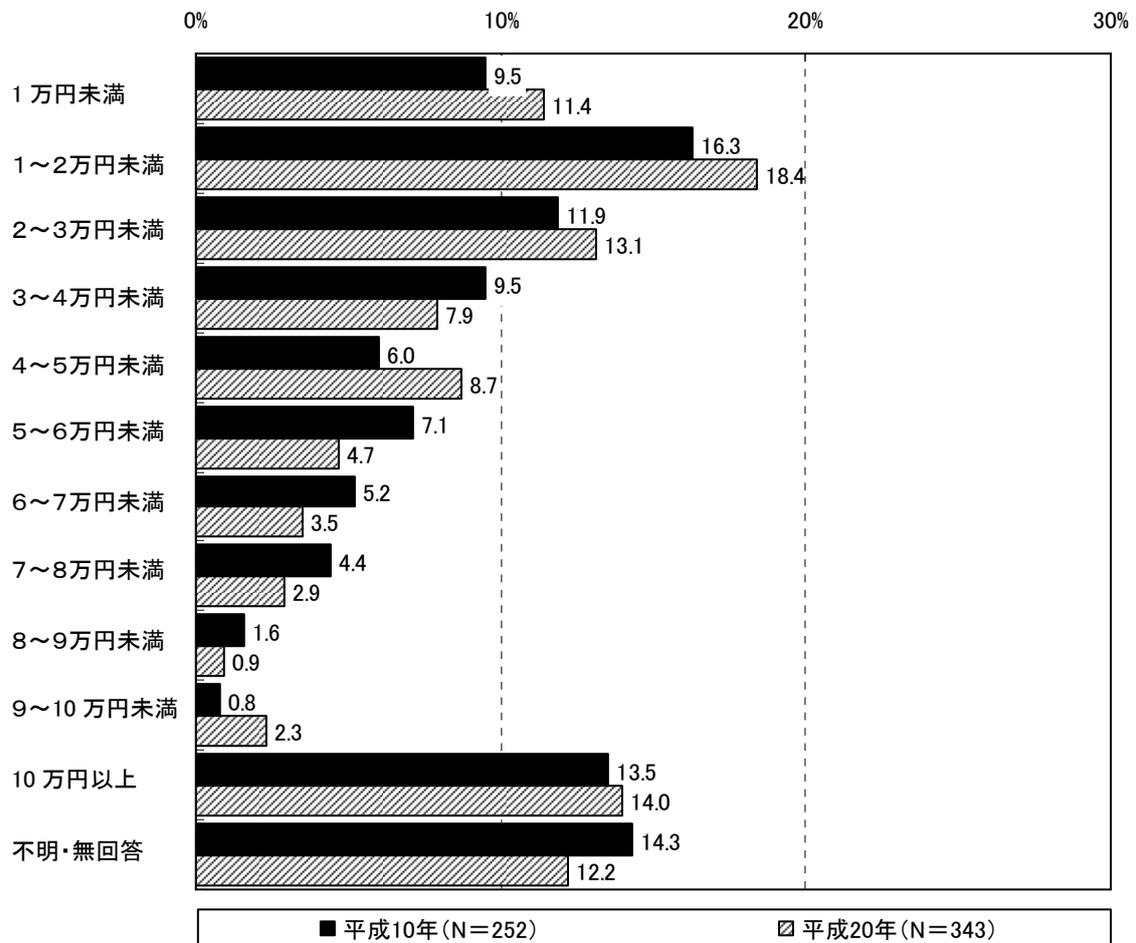
【住宅費のローン借入の有無】



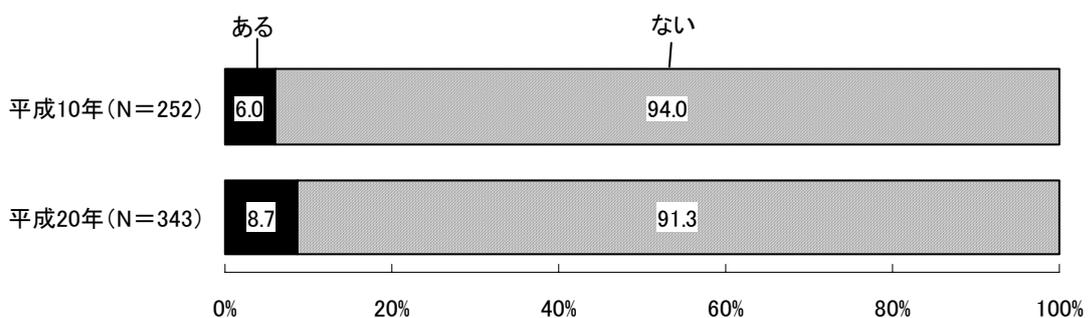
教育費では「1～2万円未満」の割合が最も高く、次いで「10万円以上」の割合が高くなっている。ローン借入の有無については「ない」が91.3%、「ある」が8.7%となっている。

前回調査と比較しても大きな変化はみられない。

【教育費】



【教育費のローン借入の有無】



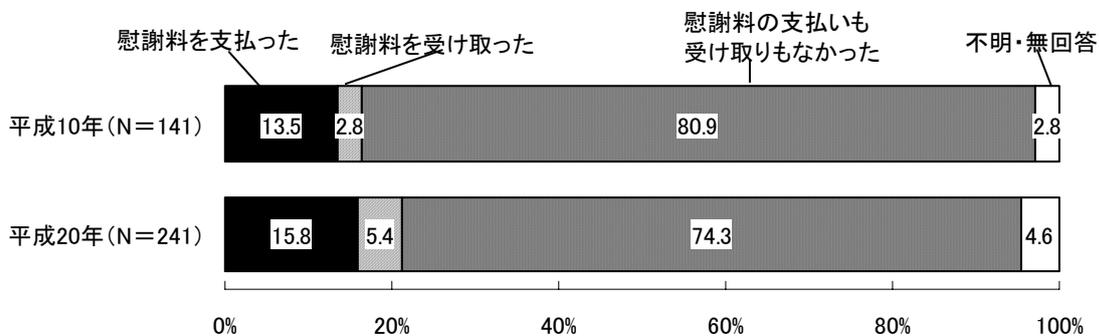
7 離婚の状況について

■離婚された方だけにお尋ねします。

問 24 あなたは、離婚した配偶者との間で「慰謝料」の支払いや受け取りがありましたか。当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

離婚した配偶者との間で慰謝料の支払いや受け取りについてみると、「慰謝料の支払いも受け取りもなかった」の割合が最も高く、次いで「慰謝料を支払った」の割合が高くなっている。

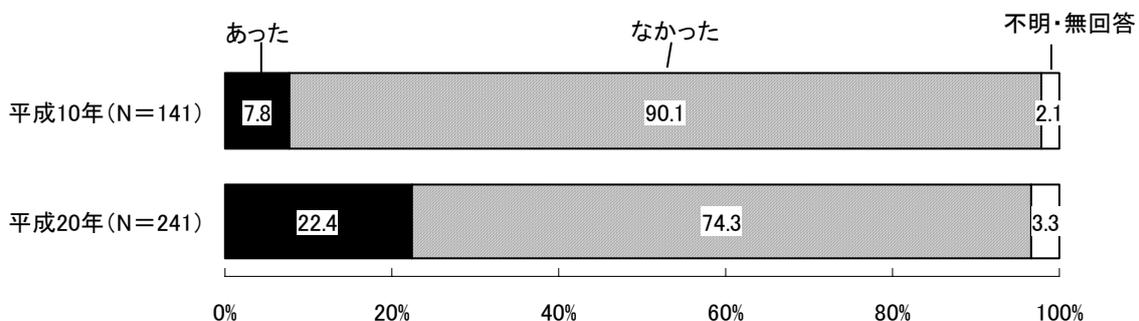
前回調査と比較すると、「慰謝料の支払いも受け取りもなかった」について-6.6ポイントの差が生じている。



問 25 あなたは、離婚した配偶者との間に「養育費」に関する取り決めがありましたか。当てはまるものに○をつけてください。

離婚した配偶者との間に養育費に関する取り決めについてみると、「なかった」が74.3%、「あった」が22.4%となっている。

前回調査と比較すると、「なかった」について-15.8ポイント、「あった」について+14.6ポイントの差が生じている。

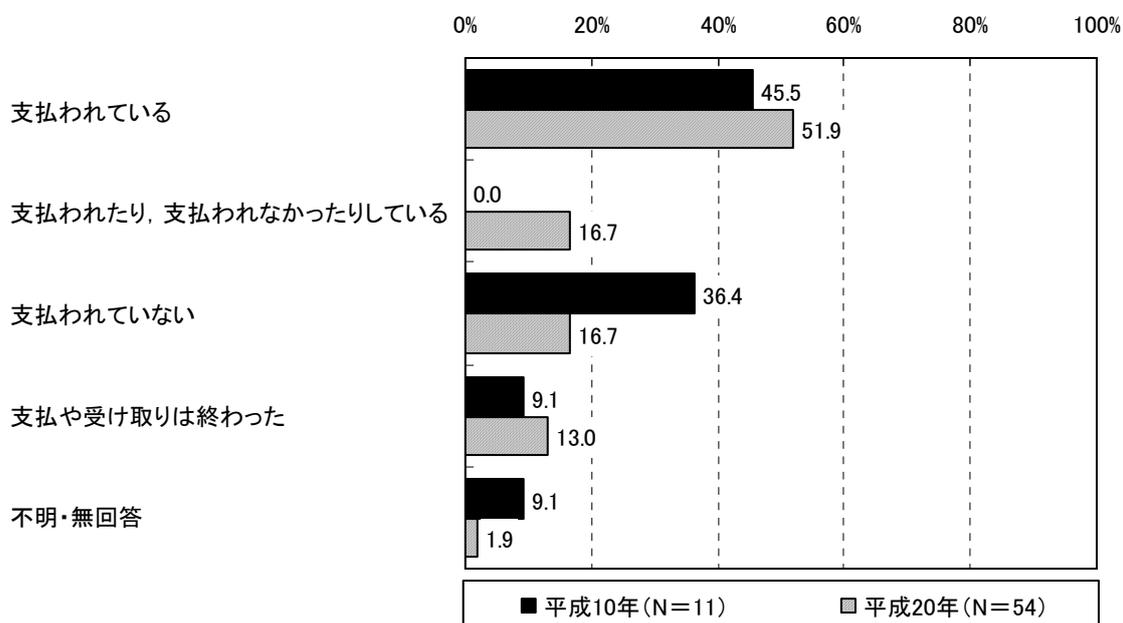


問 26 「養育費」に関する取り決めがあった方だけにお尋ねします。

「養育費」は取り決めどおりに支払われていますか。当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

養育費に関する取り決めがあった方に、養育費は取り決めどおりに支払われているかについて聞いてみると、「支払われている」の割合が最も高く、次いで「支払われたり、支払われてなかったりしている」、「支払われていない」の割合が高くなっている。

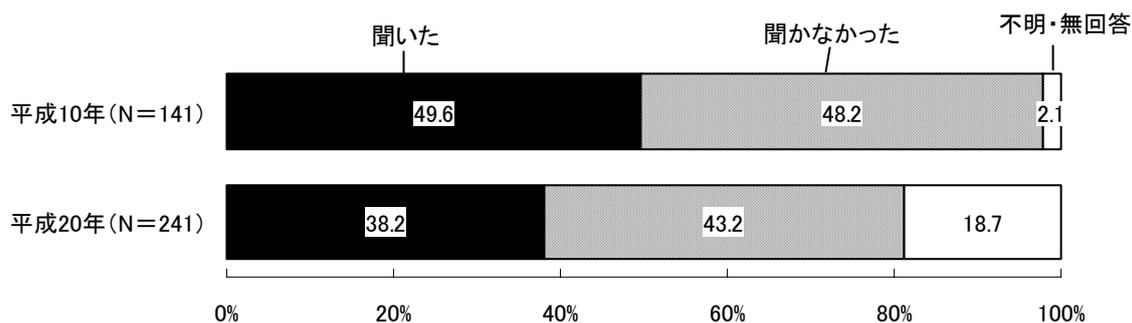
前回調査と比較すると、「支払われていない」について-19.7 ポイント、「支払われたり、支払われてなかったりしている」について+16.7 ポイントの差が生じている。



問 27 離婚の際、あなたはお子さんにどちらの配偶者と暮らしたいかを聞きましたか。当てはまるものに○をつけてください。

離婚の際、あなたはお子さんにどちらの配偶者と暮らしたいかを聞いたかについてみると、「聞かなかった」が43.2%、「聞いた」が38.2%となっている。

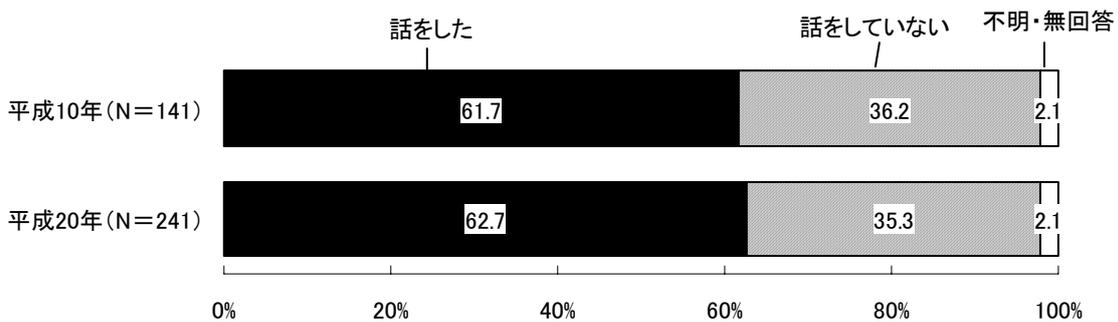
前回調査と比較すると、「聞いた」について-11.4 ポイント、「聞かなかった」に-5.0 ポイントの差が生じている。



問 28 あなたは、これまでにお子さんに離婚の理由や別れた配偶者のことを話しましたか。当てはまるものに○をつけてください。

これまでにお子さんに離婚の理由や別れた配偶者のことを話したかについてみると、「話をした」が62.7%、「話をしていない」が35.3%となっている。

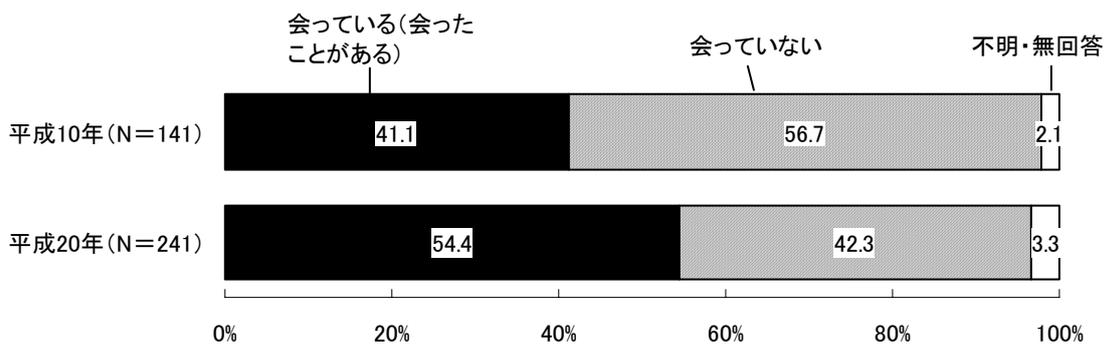
前回調査と比較しても大きな変化はみられない。



問 29 お子さんは別れた配偶者と会っていますか。当てはまるものに○をつけてください。

お子さんは別れた配偶者と会っているかについてみると、「会っている（会ったことがある）」が54.4%、「会っていない」が42.3%となっている。

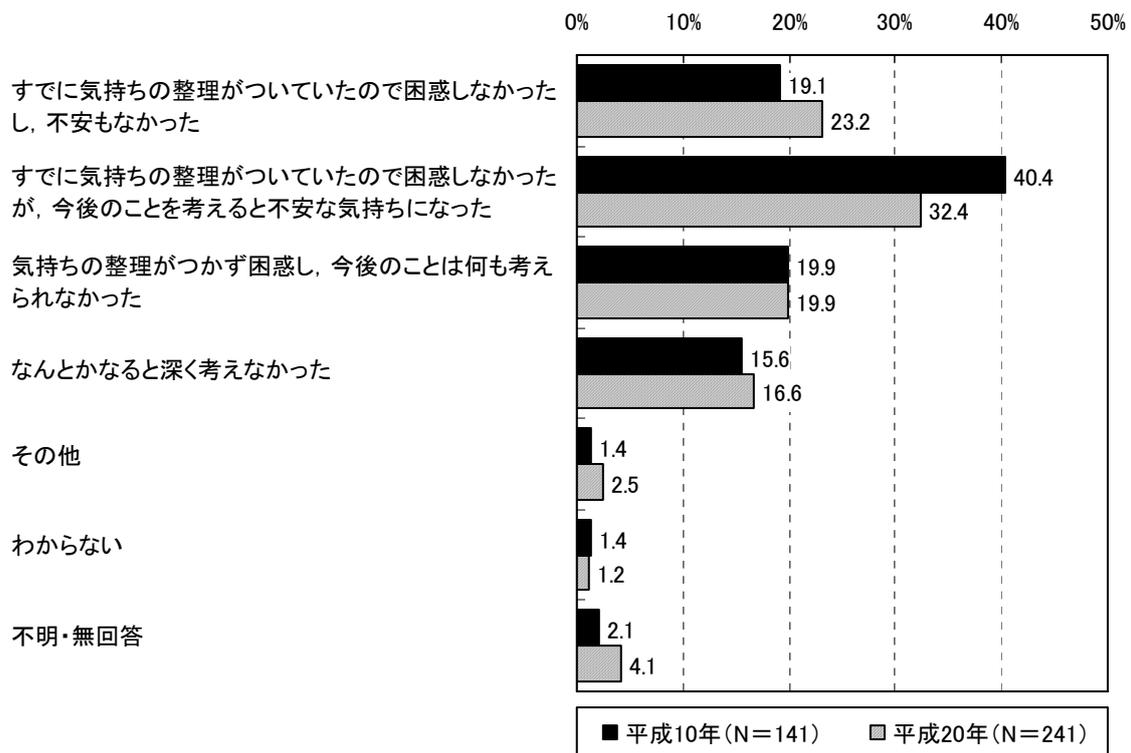
前回調査と比較すると、「会っていない」について-14.4ポイントの差が生じている。



問 30 ひとり親家庭になられた直後のお気持ちはどうでしたか。当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

ひとり親家庭になられた直後のお気持ちはどうだったかについてみると、「すでに気持ちの整理がついていたので困惑しなかったが、今後のことを考えると不安な気持ちになった」の割合が最も高く、次いで「すでに気持ちの整理がついていたので困惑しなかったし、不安もなかった」の割合が高くなっている。

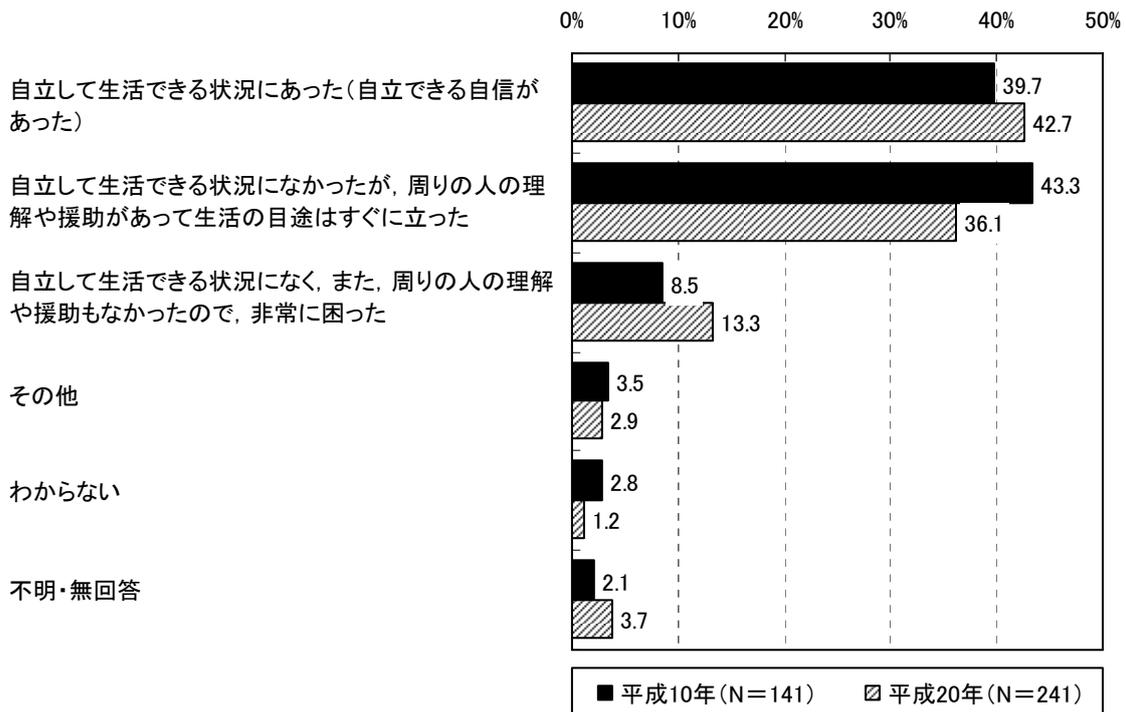
前回調査と比較すると、「すでに気持ちの整理がついていたので困惑しなかったが、今後のことを考えると不安な気持ちになった」について-8.0ポイントの差が生じている。



問 31 ひとり親家庭になられた直後の生活状況はどうでしたか。当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

ひとり親家庭になられた直後の生活状況についてみると、「自立して生活できる状況にあった（自立できる自信があった）」の割合が最も高く、次いで「自立して生活できる状況になかったが、周りの人の理解や援助があって生活の目途はすぐに立った」の割合が最も高くなっている。

前回調査と比較すると、「自立して生活できる状況になかったが、周りの人の理解や援助があって生活の目途はすぐに立った」について-7.2ポイントの差が生じている。

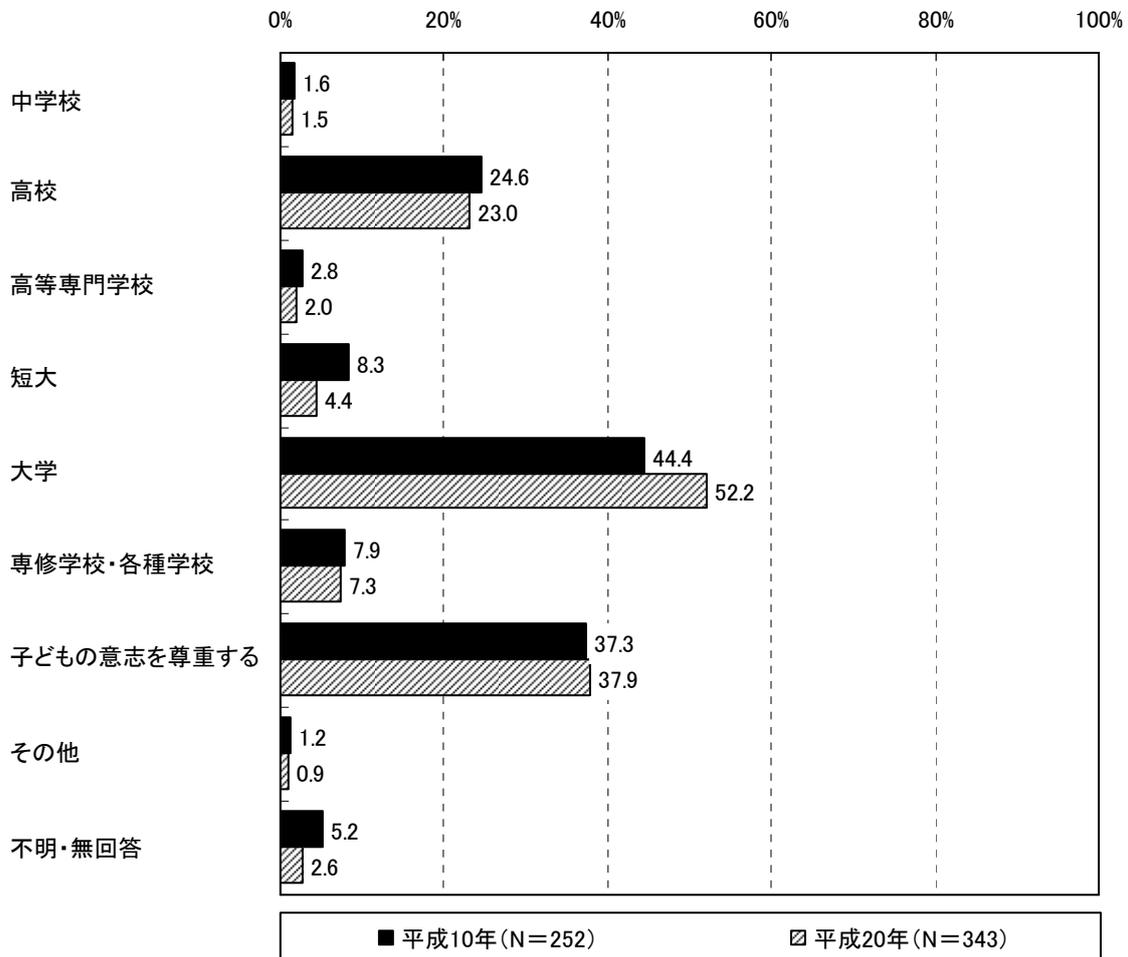


8 お子さんの育児や教育について

問 32 お子さんにはどこまで進学してほしいと思っていますか。当てはまるものに○をつけてください（お子さんが複数いて進学希望先が異なる場合は、当てはまる番号すべてに○をつけてください）。

お子さんにはどこまで進学してほしいと思っているかについてみると、「大学」の割合が最も高く、次いで「子どもの意志を尊重する」の割合が高くなっている。

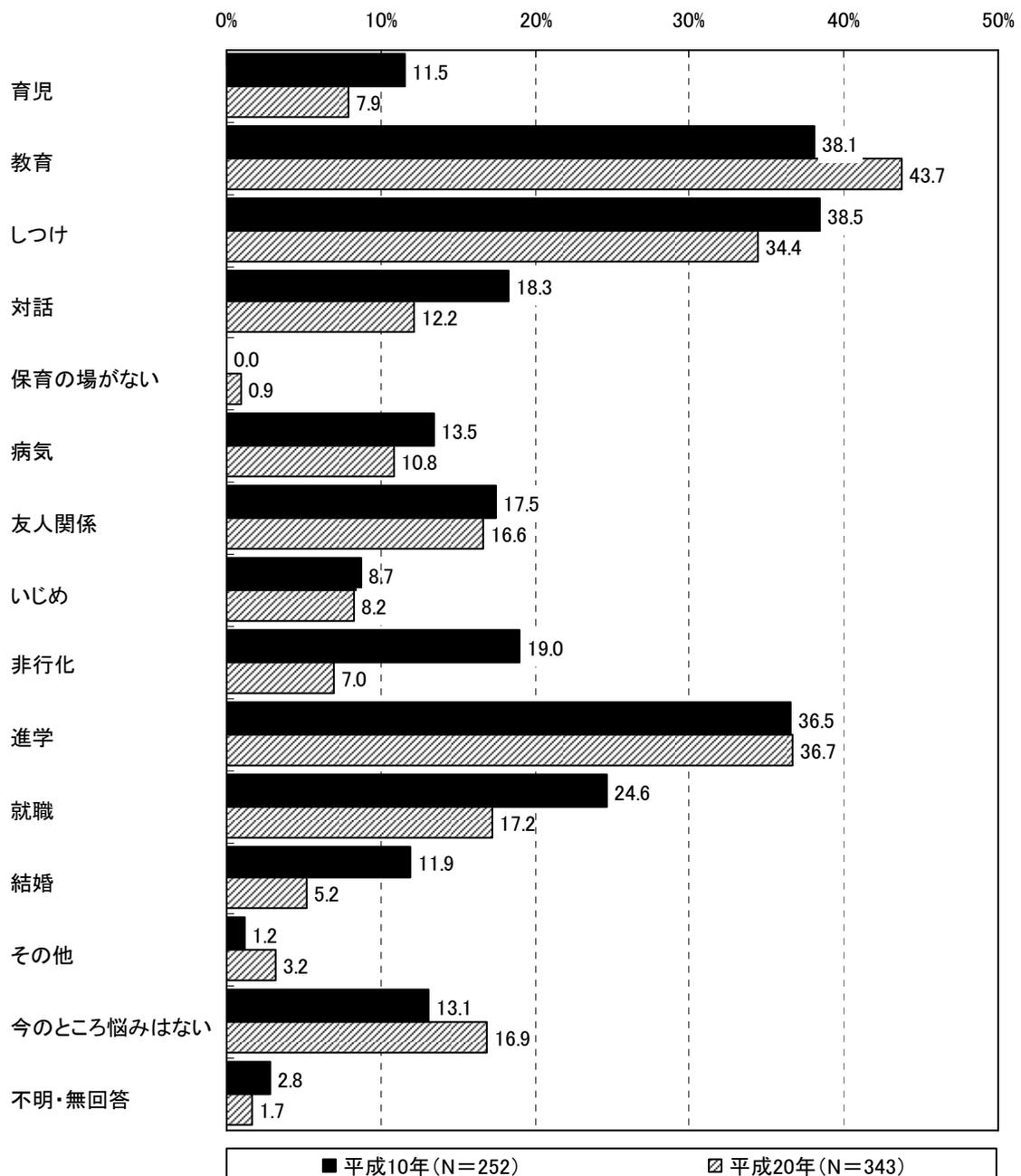
前回調査と比較すると、「大学」について+7.8ポイントの差が生じている。



問 33 お子さんについて現在どのようなことで悩みをお持ちですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

お子さんについて現在どのようなことで悩みを持っているかについてみると、「教育」の割合が最も高く、次いで「進学」の割合が高くなっている。

前回調査と比較すると、「非行化」について-12.0ポイントの差が生じている。



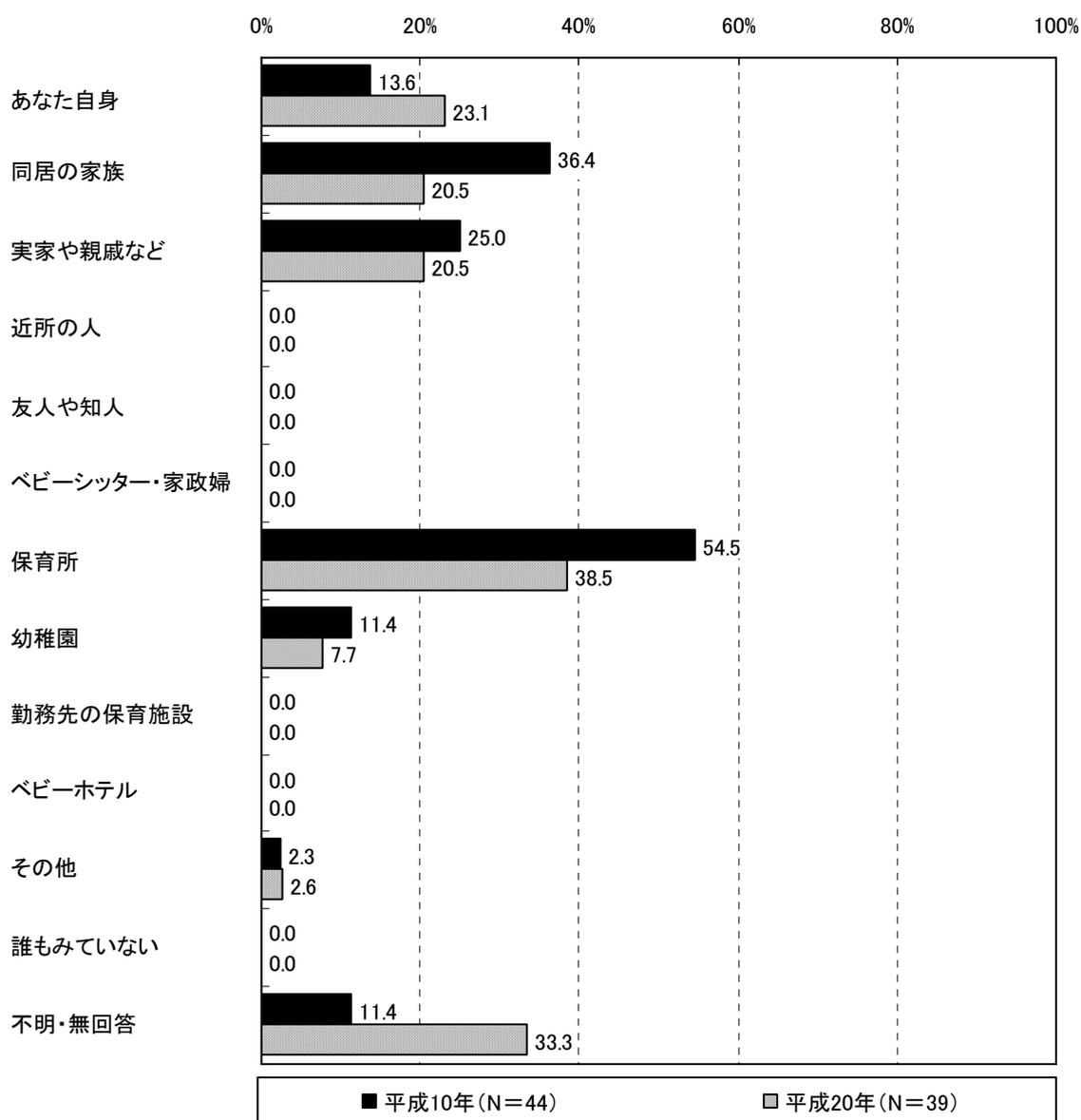
※「保育の場がない」は今回調査のみ

問 34 小学校入学前のお子さんがいらっしゃる方にお尋ねします。

日常、昼間お子さんの世話を中心となっていてされているのはどなたですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

日常、昼間お子さんの世話を中心となっていてしている方についてみると、「保育所」の割合が最も高く、次いで「あなた自身」の割合が高くなっている。

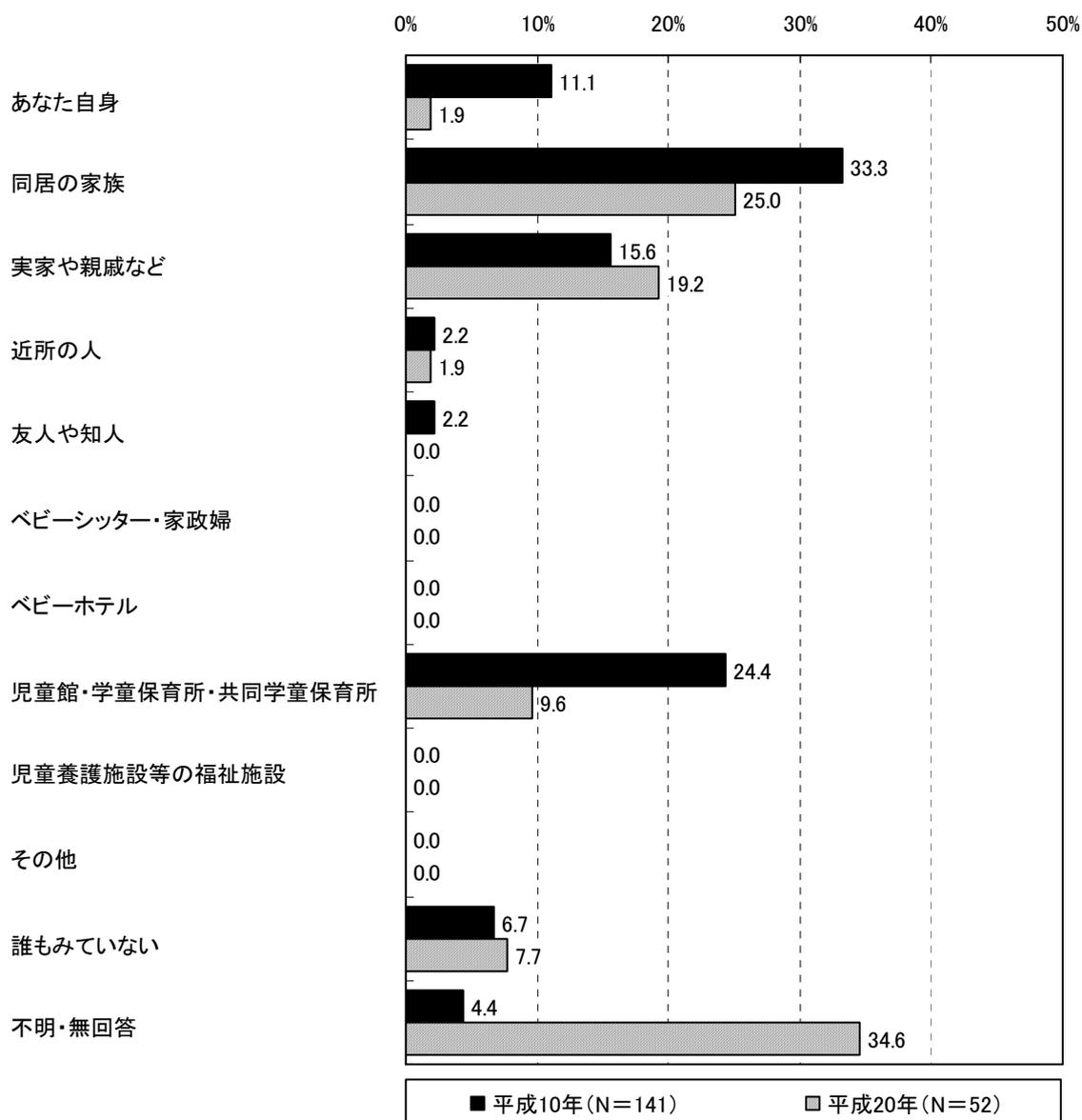
前回調査と比較すると、「保育所」について-16.0ポイント、「同居の家族」について-15.9ポイントの差が生じている。



問 35 小学校 1 年生から 3 年生までのお子さんがいらっしゃる方にお尋ねします。
 放課後，または小学校長期休暇中，そのお子さんをどなたがみていますか。当
 てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

放課後，または小学校長期休暇中，そのお子さんをだれがみているかについてみると，「同居の家
 族」の割合が最も高く，次いで「実家や親戚など」の割合が高くなっている。

前回調査と比較すると，「児童館・学童保育所・共同学童保育所」について－14.8 ポイント，「あ
 なた自身」について－9.2 ポイントの差が生じている。

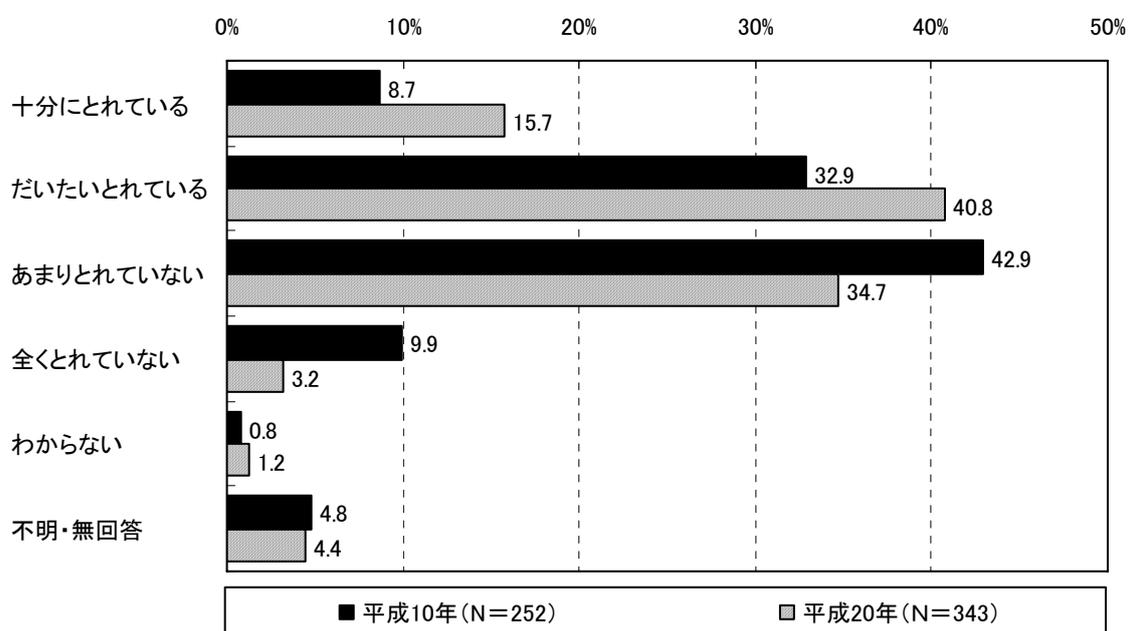


9 お子さんや近所の人等との関係について

問 36 あなたは、お子さんとの団らんの時間がとれていると思いますか。当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

お子さんとの団らんの時間がとれていると思うかについてみると、「だいたいとれている」の割合が最も高く、次いで「あまりとれていない」の割合が高くなっている。

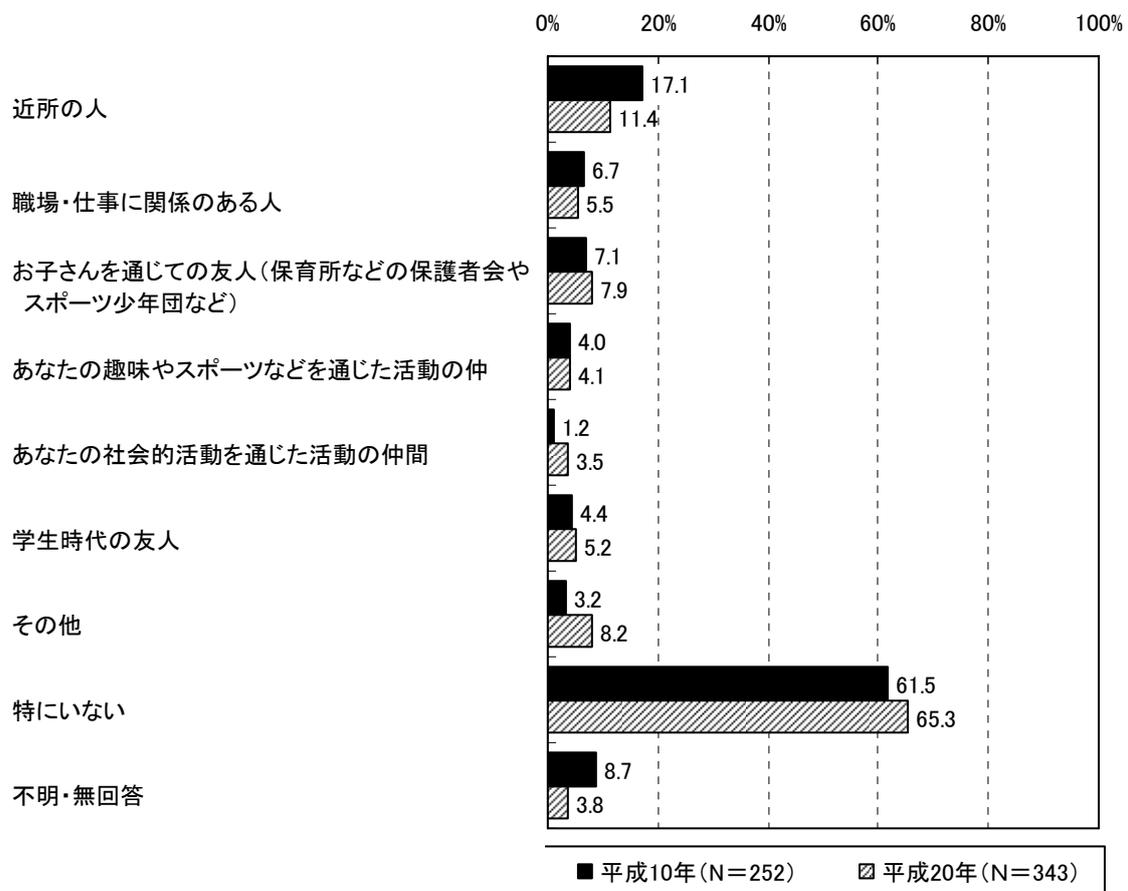
前回調査と比較すると、「あまりとれていない」について-8.2ポイント、「だいたいとれている」について+7.9ポイントの差が生じている。



問 37 家族・親戚以外で、あなたが日頃からお子さんを見てもらったりすることのできる深いつき合いのある人はどなたですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

家族・親戚以外で、あなたが日頃からお子さんを見てもらったりすることのできる深いつき合いのある人についてみると、「特にいない」の割合が最も高く、次いで「近所の人」の割合が高くなっている。

前回調査と比較すると、「近所の人」について-5.7ポイントの差が生じている。



10 日頃の悩みや相談のことについて

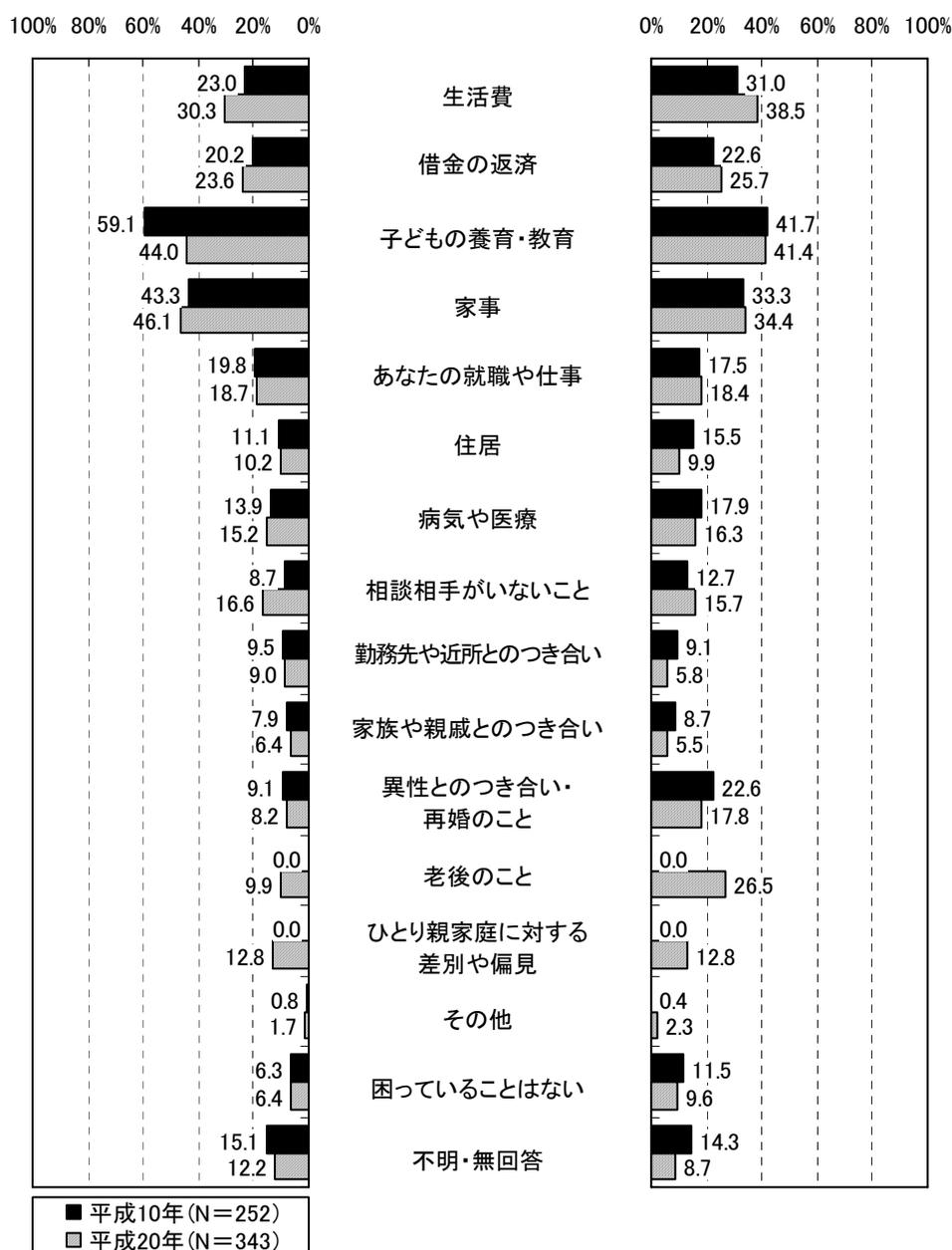
問 38 あなたが、ひとり親家庭になられた当時、困ったことは何ですか。また、現在困っていることがありますか。当てはまるすべての欄に○を記入してください。

ひとり親家庭になられた当時、困ったことについてみると、当時では「家事」の割合が最も高く、次いで「子どもの養育・教育」の割合が高くなっている。現在では「子どもの養育・教育」の割合が最も高く、次いで「生活費」の割合が高くなっている。

前回調査と比較すると、当時では「子どもの養育・教育」について-15.1ポイント、現在では「生活費」について+7.5ポイントの差が生じている。

【当時】

【現在】



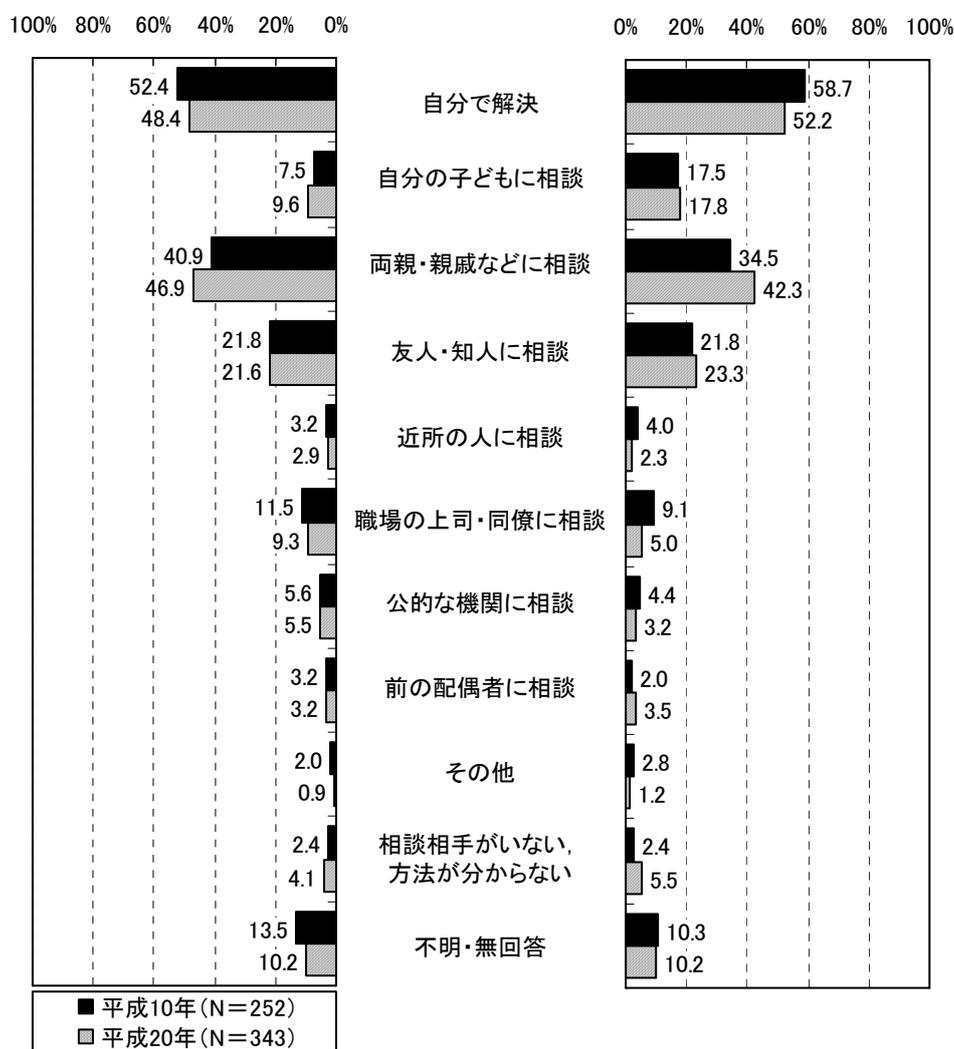
問 39 あなたが、ひとり親家庭になられた当時、困った問題が起きた場合、どなたに相談されましたか。また、現在どなたに相談されますか。当てはまるすべての欄に○を記入してください。

ひとり親家庭になられた当時、困った問題が起きた場合、だれに相談したかについてみると、当時、現在ともに「自分で解決」の割合が最も高く、次いで「両親・親戚などに相談」の割合が高くなっている。

前回調査と比較すると、当時では「両親・親戚などに相談」について+6.0ポイント、現在でも「両親・親戚などに相談」について+7.8ポイントの差が生じている。

【当時】

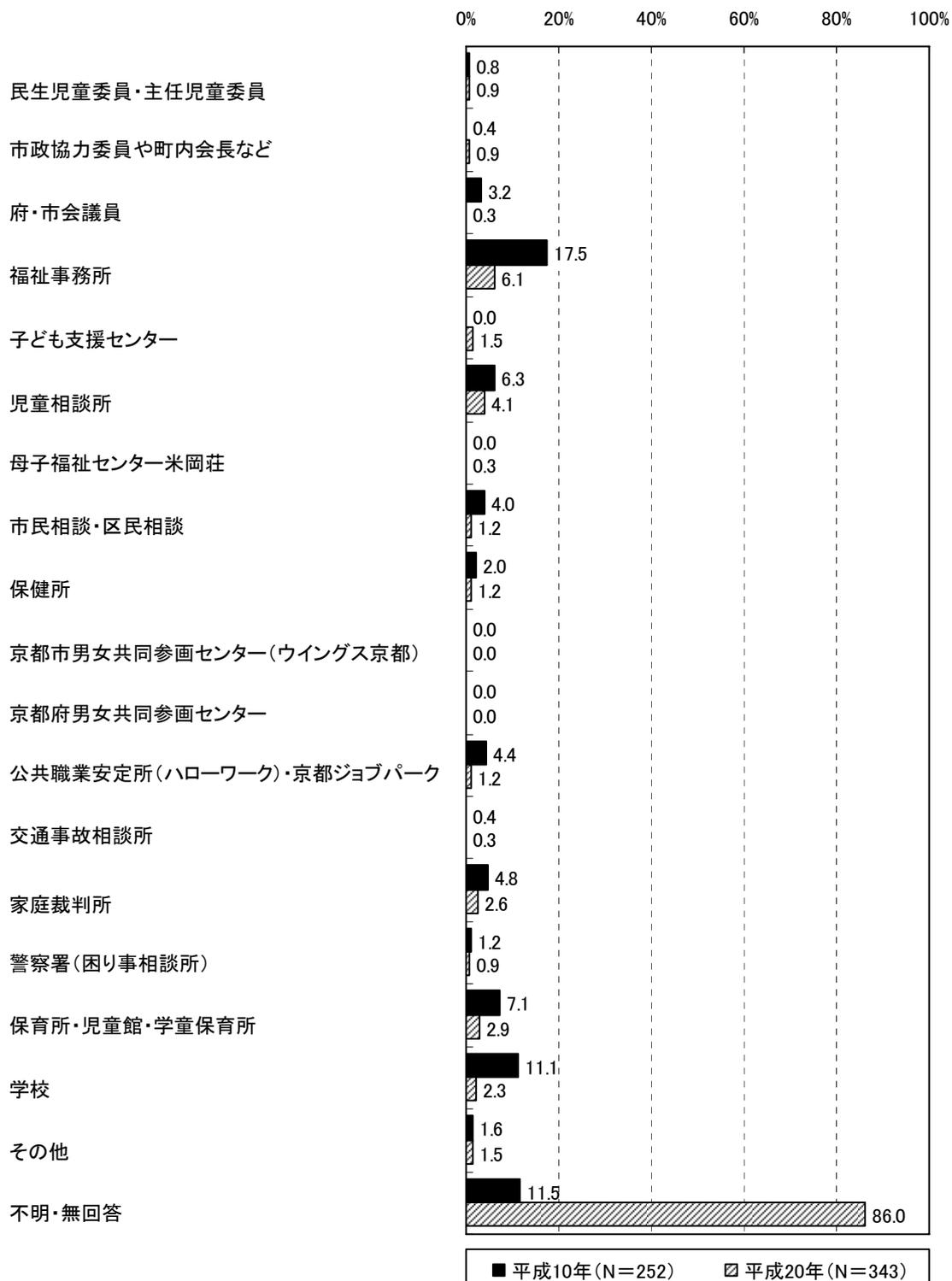
【現在】



問 40 あなたが、これまで悩みごとなどを相談されたことがある公の機関等はいずれですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

これまで悩みごとなどを相談されたことがある公の機関等について聞いてみると、「福祉事務所」の割合が最も高く、次いで「児童相談所」の割合が高くなっている。

前回調査と比較すると、「福祉事務所」について－11.4ポイントの差が生じている。



※今回調査より「母子福祉センター米岡荘」「京都市男女共同参画センター(ウイングス京都)」「京都府男女共同参画センター」が追加
 「公共職業安定所」が「公共職業安定所(ハローワーク)・京都ジョブパーク」に変更
 「家庭児童相談室」が「子ども支援センター」に変更

11 現在行われている福祉施策等について

問 41 福祉施策の認知状況及び利用状況はいかがですか。

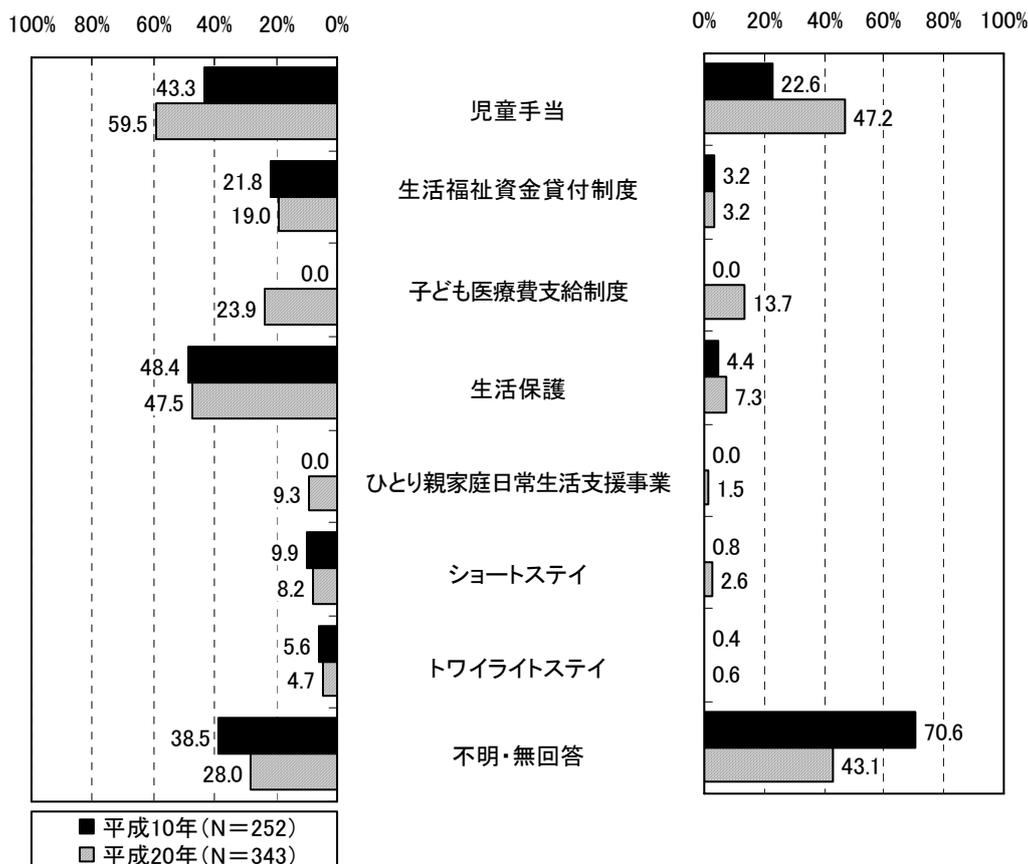
(1) あなたが知っている、または利用したことのある制度・施策について、当てはまるすべての欄に○を記入してください。

福祉施策の認知状況及び利用状況について、あなたが知っている、または利用したことのある制度・施策についてみると、知っているものでは「児童手当」の割合が最も高く、次いで「生活保護」の割合が高くなっている。利用したことのあるものでは「児童手当」の割合が最も高く、次いで「子ども医療費支給制度」の割合が高くなっている。

前回調査と比較すると、知っているものでは「児童手当」について+16.2ポイントの差が、利用したことのあるものでも「児童手当」について+24.6ポイントの差が生じている。

【知っているもの】

【利用したことのあるもの】



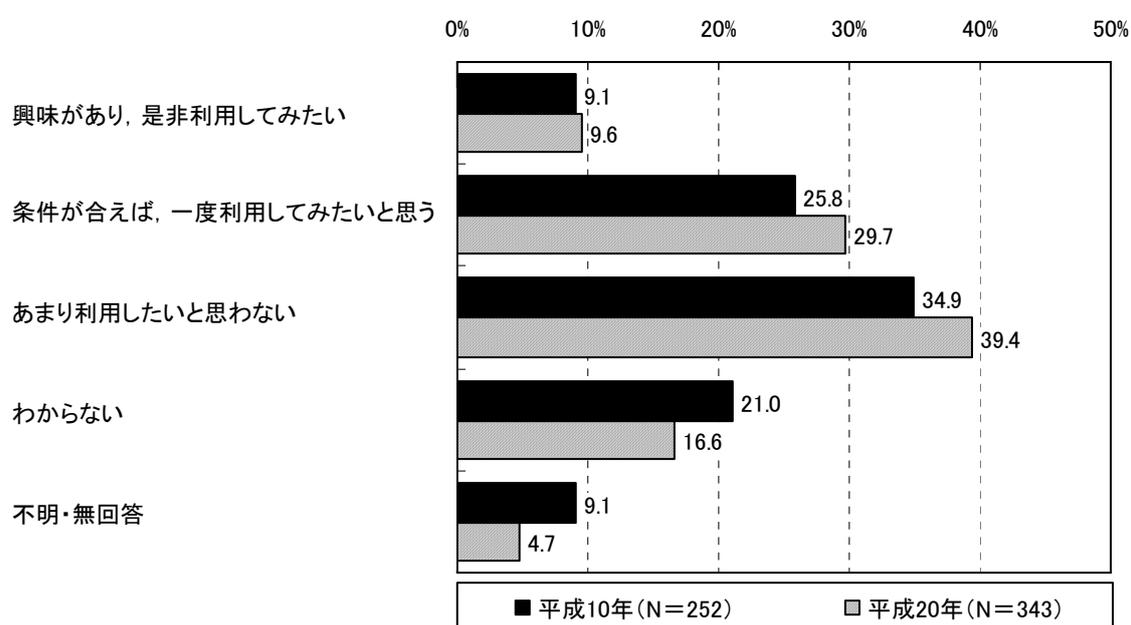
※「子ども医療費支給制度」「ひとり親家庭日常生活支援事業」は今回調査のみ

(2) 次のような事業について、あなたはどのようにお考えになりますか。当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

- ① ボランティアが家庭を訪問し、子どもさんが、日頃感じていることや思っていることについて気軽に相談にのれるようにするとともに、必要に応じて子どもの学習指導や簡単な家事指導を行う事業

学習ボランティア訪問事業についてみると、「あまり利用したいと思わない」の割合が最も高く、次いで「条件が合えば、一度利用してみたいと思う」の割合が高くなっている。

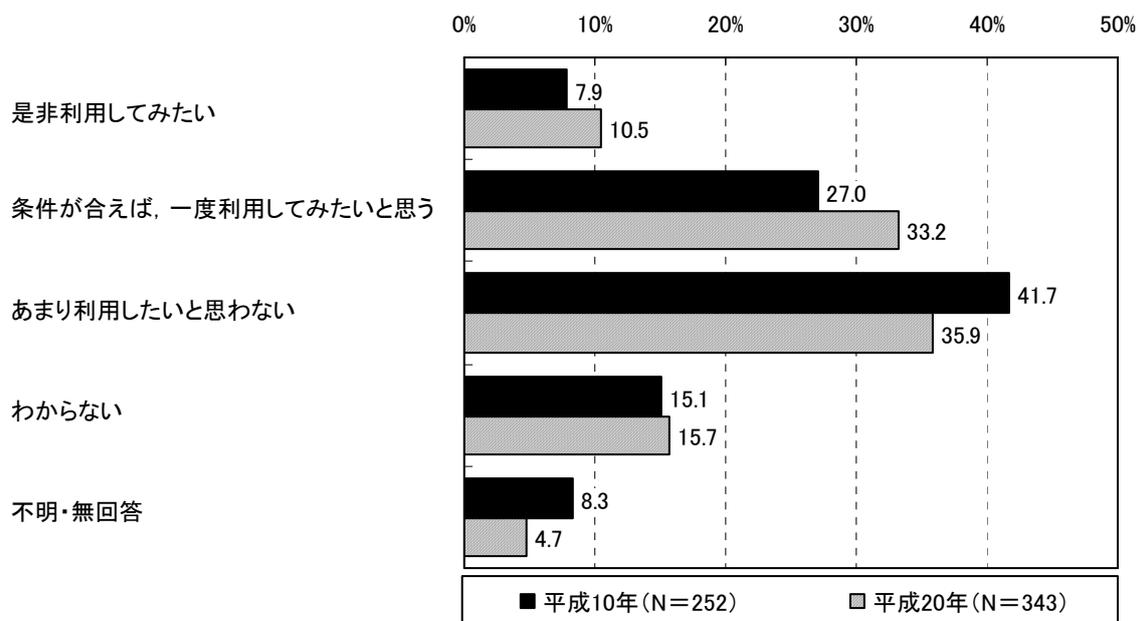
前回調査と比較しても大きな変化はみられない。



② 父子家庭の方が定期的に集える機会をつくることにより，参加者同士での情報交換や意見交換ができるようにし，相互の交流を促進する事業

父子家庭相互の交流を促進する事業についてみると、「あまり利用したいと思わない」の割合が最も高く，次いで「条件が合えば，一度利用してみたいと思う」の割合が高くなっている。

前回調査と比較すると、「条件が合えば，一度利用してみたいと思う」について+6.2ポイントの差が生じている。

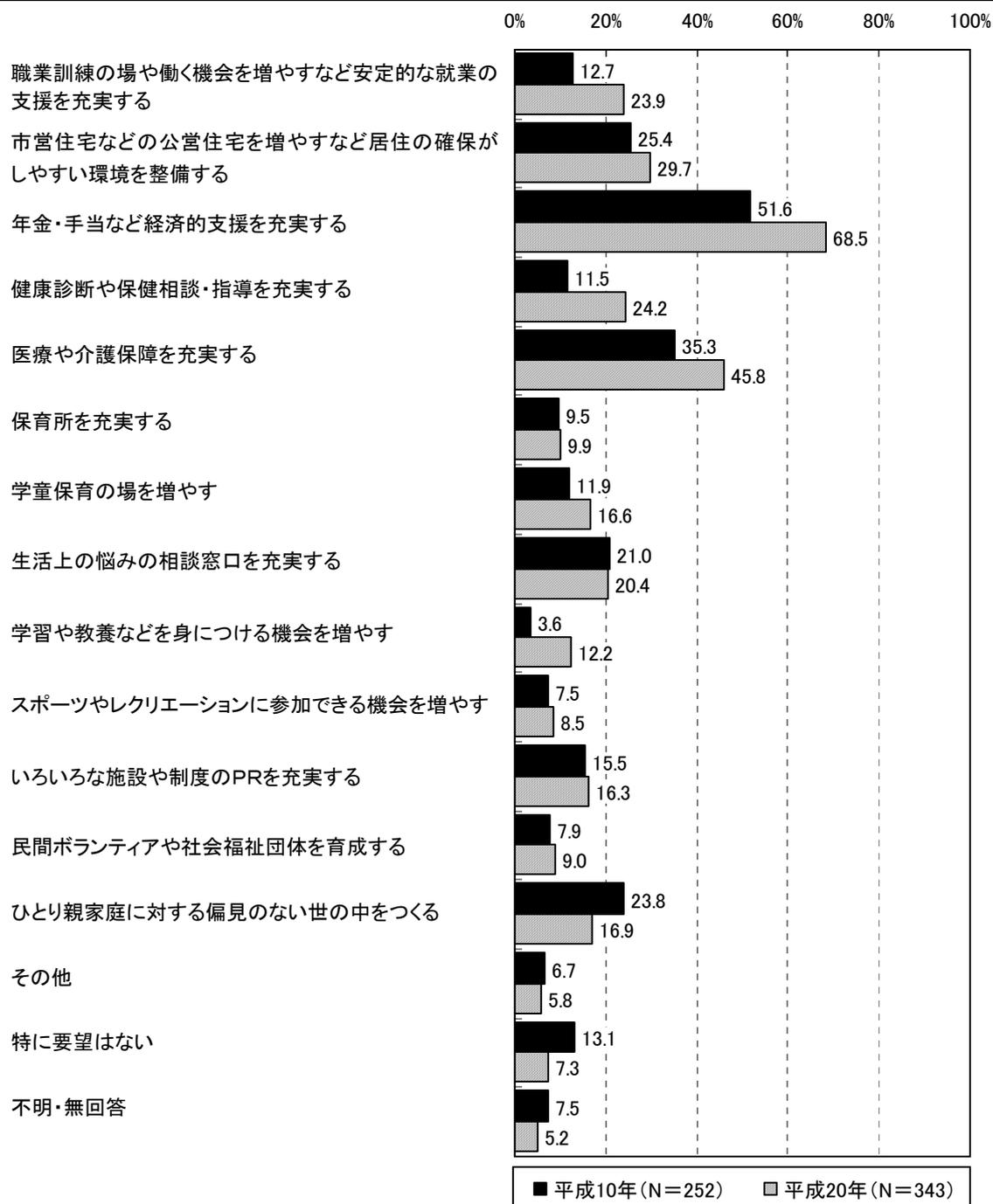


12 行政施策等について

問 43 ひとり親家庭の自立・安定を図るため、あなたが市や国に要望したいことは何ですか。当てはまるものに5つまで○をつけてください。

ひとり親家庭の自立・安定を図るため、市や国に要望したいことについてみると、「年金・手当など経済的支援を充実する」の割合が最も高く、次いで「医療や介護保障を充実する」の割合が高くなっている。

前回調査と比較すると、「年金・手当など経済的支援を充実する」について+16.9ポイント、「健康診断や保健相談・指導を充実する」について+12.7ポイントの差が生じている。



VI 資料編

京都市ひとり親家庭実態調査

秘

(母子家庭用)

調査ご協力をお願い

この度、京都市では「京都市ひとり親家庭実態調査」を実施することになりました。この調査は、これまでおむね10年毎に実施している継続調査であり、本市にお住まいのひとり親家庭の皆様の福祉施策の充実を図ることを目的として実施しています。

今回、住民基本台帳及び外国人登録台帳から一定の基準により無作為に5,000名を抽出した結果、あなたに調査票の記入をお願いさせていただきますことになりました。

本調査は、無記名であり、回収した調査票はすべて統計的に処理するため、回答内容について回答者が特定されることはありません。また、調査結果は、子育て支援の総合計画である新「京（みやこ）・子どもいきいきプラン」の次期計画策定に向けた基礎資料としてのみ活用し、調査目的以外に使用することはありません。

おにしいところ、誠に恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いたださまして、是非、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、調査結果については、平成21年春頃に、児童家庭課のホームページで公表する予定です。

また、新しい本市の計画は、平成22年3月頃の策定を目指しています。

平成20年12月

京都市長 門川 大作

【ご記入にあたってのお願い】

1. この調査票のご回答は、封筒の宛名ご本人にご記入ください。
2. この調査は、ひとり親家庭の皆様を対象としています。ひとり親家庭の方は最後の質問までご回答ください。
調査票は機械処理により無作為抽出された方すべてにお送りしているため、ひとり親家庭でない方にお送りすることがありますが、その場合は、問1のみをご回答（問2以降は未記入のまま）の上、調査票をご返送ください。他票はごさいませので、あしからずご了承ください。
3. ご回答は、選択肢の○をつけてお選びいただく場合と、数字などを記入いただく場合があります。選択肢の場合、お選びいただく数が増えますので注意書きに従ってください。
4. 「その他」をお選びいただいた場合は、その後にある（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
5. 設問によってご回答いただく方が限られる場合がございますので、ことわり書きや矢印に従ってご回答ください。特にことわりのない場合は、次の設問にお進みください。
6. 年齢、家族構成など明日の返信用封筒には12月1日現在でご回答ください。
ご記入がすましましたら、お手数ですが、同封の返信用封筒に入れて切手を貼らずに12月26日（金）までにご投函ください。

ご回答いただくことで不明な点、調査に対するお問い合わせは、次までお願いいたします。

京都市保健福祉局子育て支援部児童家庭課

電話：075-251-2380 FAX：075-251-2322

ホームページ：http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/soshiki/8-3-1-0-0_1.html

【質問項目】

問1 あなたのご家庭は「ひとり親家庭」に該当しますか。下欄の説明を参考にして、当てはまるものに○をつけてください。

1. はい
2. いいえ

※ひとり親家庭について

ひとり親家庭とは、現に配偶者がなく、20歳未満の子どもを育てている家庭をいいます。
・死別、離婚、未婚など、現に配偶者がいない方
・配偶者の生死不明、家出などで、配偶者に連絡されている方などが該当します。

ただし、婚姻はしていないが、事実上の婚姻関係にある場合は「ひとり親家庭」とはしません。また、単身赴任、出張ぎ、子どもの転居の都合などによる一時別居も「ひとり親家庭」とはしません。

※ひとり親家庭でない方は、これで調査は終わりです。調査票は返信用封筒でご返送ください。ひとり親家庭の方は、引き続き下の欄の問2から最後の質問までご回答ください。

ここからの質問は、ひとり親家庭の方のみお答えください。

■あなたご自身のことと世帯の状況についてお尋ねします。

問2 あなたの現在の年齢について、当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

1. 20歳未満
2. 20～24歳
3. 25～29歳
4. 30～34歳
5. 35～39歳
6. 40～44歳
7. 45～49歳
8. 50歳以上

(注)「年齢」は、平成20年12月1日現在の満年齢で記入してください。

問3 あなたの世帯の「同居家族数」は、あなたも含め「何人家族」ですか。

() 人家族

問4 同居の家族はどなたがいらっしゃいますか。あなたからの続き柄で当てはまるものすべてに○をつけてください。

1. 20歳未満の子ども
2. 20歳以上の子ども
3. 実父・実母
4. 義父・義母
5. 兄弟姉妹
6. 祖父・祖母
7. その他（具体的に：)

問5 あなたのお子さんは、次のいずれに当てはまりますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、右の欄に同居、別居別の人数を記入してください。(ここでは、就職、進学などで別居しているお子さん(生計上の扶養家族)も含めます)

(番号)に○印をつける)	同居	別居
1. 乳児(0歳児)	人	人
2. 幼児(1歳～小学校入学前)	人	人
3. 小学校1年～3年生	人	人
4. 小学校4年～6年生	人	人
5. 中学生	人	人
6. 高校生	人	人
7. 短大生・大学生・専門学校生、その他の学生	人	人
8. 仕事をしている子ども	人	人
9. 卒業した無職の子ども	人	人
10. その他(具体的に:)	人	人

問6 あなたとお子さんの現在の健康状態はいかがですか。当てはまる欄に○を記入してください。なお、お子さんが寝ている場合は、当てはまるすべての欄に○を記入してください。

項目	あなた	子ども
1. 健康	1	1
2. 身体が弱く病気がちである	2	2
3. 病床にしている	3	3

(注)「病床にしている」とは、現在、病氣、けがなどにより入院、又は長期治療中の場合をいいます。

■あなたのご家庭の家事の分担状況についてお尋ねします。

問7 あなたのご家庭では、以下の家事は主にあなたが担当されていますか。当てはまるすべての欄に○を記入してください。

項目	掃除	洗濯	朝食の支度	夕食の支度	日用品の買物
あなた	1	1	1	1	1
子ども	2	2	2	2	2
その他の家族	3	3	3	3	3
家族以外	4	4	4	4	4

■ひとり親家庭になったときの状況についてお尋ねします。

問8 ひとり親家庭になったときのあなたの年齢について、当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

1. 20歳未満	2. 20～24歳	3. 25～29歳
4. 30～34歳	5. 35～39歳	6. 40～44歳
7. 45～49歳	8. 50歳以上	9. わからない

(注) 配偶者と2回以上離婚又は死別している場合は、最も近い場合について記入してください。(以下の質問についても同じです)。

問9 前配偶者との婚姻期間について、当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

1. 1年未満	2. 1～5年未満	3. 5～10年未満
4. 10年以上	5. なし	

問10 ひとり親家庭となった理由についてお尋ねします。

(1) ひとり親になった理由について、当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

1. 病死	2. その他の理由による死別
3. 離婚(協議) → 問10(2)へ	4. 離婚(調停) → 問10(2)へ
5. 離婚(審判) → 問10(2)へ	6. 離婚(裁判) → 問10(2)へ
7. 遺棄(家出など)	8. 生死不明
9. その他(具体的に:)	

(2) 離婚(3, 4, 5, 6)を選択された方にお尋ねします。離婚を決定された主たる要因は何ですか。当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

1. 性格が合わない	2. 異性関係
3. 暴力を振るう	4. 浪費する
5. 異常性格	6. 酒を飲みすぎる
7. 親族と折り合いが悪い	8. 家庭を省みない
9. その他(具体的に:)	

問11 ひとり親家庭になられたとき、あなたは仕事をしていますか。当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

1. 今と同じところで仕事をしていた	2. 今と違ったところで仕事をしていた
3. 仕事をしていたいなかった	

■あなたの現在の仕事についてお尋ねします。

問12 あなたは現在、収入を伴う仕事をしていますか。当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

1. 1つの仕事だけしている	→ 問13へ
2. 2つ以上の仕事をしている	→ 問13へ
3. 仕事をしていない	→ 問14へ

問13 収入を伴う仕事をしている方だけにお尋ねします。

(1) あなたが現在の仕事につかれてから何年になりますか。当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

1. 1年未満	2. 1～3年未満	3. 3～5年未満
4. 5～10年未満	5. 10年以上	

(注) 2つ以上の仕事をされている場合は、主たる仕事(収入、就業時間により判断してください)について記入してください。(以下の質問についても同じです)。

(2) あなたの就労形態について、当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

1. 正社員・正職員	2. パートタイマー	3. アルバイト
4. 契約・登録社員 (職員)	5. 派遣社員 (職員)	6. 自営業主
7. 家族従業者	8. 内職・在宅就業	9. その他 (具体的に:)

(3) その仕事の種類について、当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

1. 専門技術を生かした仕事 (保育士、教員、看護師、介護福祉士、弁護士、医師、デザイナーなど)
2. 管理的な仕事 (会社・官庁などの課長職以上)
3. 事務的な仕事
4. 販売関係の仕事 (店員、商品配達、セールス、外交員など)
5. 接客などのサービス関係の仕事 (美・理容師、飲食店員、家政婦など)
6. 技能及び労務関係の仕事 (工具、職人、労務作業員など)
7. その他 (具体的に:)

(4) 勤務先 (自営業の方は家族従業者を含む) の規模 (従業員数) について、当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

1. 1～4人	2. 5～9人	3. 10～29人
4. 30～99人	5. 100～299人	6. 300人以上

(5) あなたの勤務体制について、当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

1. 定時制	2. シフト制
3. その他 (具体的に:)	

(6) あなたの普段の平均的な勤務時間 (残業が恒常的になっている方はその時間も含む) はどのようになっていますか。また、仕事が終わって帰宅するのは何時ごろですか。午前・午後のいずれかに○をした上で () 内に具体的な時刻を記入してください。シフト制で働いている方は平均的な勤務時間を記入してください。

○勤務時間
午前・午後 () 時 () 分 から 午前・午後 () 時 () 分まで
○帰宅時間
午前・午後 () 時 () 分ごろ

(7) あなたの仕事上の悩みについて、当てはまるものすべてに○をつけてください。

1. 収入が少くない	2. 勤務先が遠い
3. 仕事が好きない	4. 労働時間が長い
5. 休暇が自由にとれない	6. 仕事が難しい、つまらない
7. 人間関係など職場の環境に馴染めない	8. セクハラがある
9. 雇用上の身分が不安定	10. 子どもの世話や家事等で仕事に専念できない
11. その他 (具体的に:)	12. 特にない

(8) 現在、あなたは転職の希望がありますか。当てはまるものに○をつけてください。

1. ある	→ (9)へ	2. ない	→ 問15へ
-------	--------	-------	--------

(9) 今後、転職の希望がある方だけにお尋ねします。

・転職する場合、あなたは、どのような就労形態で働きたいと考えていますか。当てはまるものひとつだけ○をつけてください。

1. 正社員・正職員	2. パートタイマー	3. アルバイト
4. 契約・登録社員 (職員)	5. 派遣社員 (職員)	6. 自営業主
7. 家族従業者	8. 内職・在宅就業	9. その他 (具体的に:)

・転職する場合、あなたは、どのような種類の仕事につきたいと考えていますか。当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

1. 専門技術を生かした仕事 (保育士、教員、看護師、介護福祉士、弁護士、医師、デザイナーなど)
2. 管理的な仕事 (会社・官庁などの課長職以上)
3. 事務的な仕事
4. 販売関係の仕事 (店員、商品配達、セールス、外交員など)
5. 接客などのサービス関係の仕事 (美・理容師、飲食店員、家政婦など)
6. 技能及び労務関係の仕事 (工具、職人、労務作業員など)
7. その他 (具体的に:)

問14 収入を伴う仕事がない方だけにお尋ねします。

(1) その理由は何ですか。当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

1. 子どもの世話をしてくれる人がいない	2. 病気で働けない
3. 求職中	4. 職業訓練を受けたい/技術習得中
5. 家族の世話をすため仕事につけない	6. その他 (具体的に:)

(2) あなたは今後、転職の希望はありますか。当てはまるものに○をつけてください。

1. ある	→ (3)へ	2. ない	→ 問15へ
-------	--------	-------	--------

(3) 転職の希望がある方だけにお尋ねします。

・転職する場合、あなたは、どのような就労形態で働きたいと考えていますか。当てはまるものひとつだけ○をつけてください。

1. 正社員・正職員	2. パートタイマー	3. アルバイト
4. 契約・登録社員 (職員)	5. 派遣社員 (職員)	6. 自営業主
7. 家族従業者	8. 内職・在宅就業	9. その他 (具体的に:)

・転職する場合、あなたは、どのような種類の仕事につきたいと考えていますか。当てはまるものひとつだけ○をつけてください。

1. 専門技術を生かした仕事 (保育士、教員、看護師、介護福祉士、弁護士、医師、デザイナーなど)
2. 管理的な仕事 (会社・官庁などの課長職以上)
3. 事務的な仕事
4. 販売関係の仕事 (店員、商品配達、セールス、外交員など)
5. 接客などのサービス関係の仕事 (美・理容師、飲食店員、家政婦など)
6. 技能及び労務関係の仕事 (工具、職人、労務作業員など)
7. その他 (具体的に:)

■あなたがお持ちの資格や技能についてお尋ねします。

問15 現在持っている資格など(当てはまるものすべて)と、今後取得したいと思っている資格など(住まのを3つまで)がありますか。当てはまる欄に○を記入してください。

項目	持っている資格など	持っている資格のうち出稼(就業)に役立っている資格	取得したい資格など
1. 医師	1	1	1
2. 看護師・保健師	2	2	2
3. 栄養士	3	3	3
4. 調理師	4	4	4
5. 美容師・理容師	5	5	5
6. 弁護士・司法書士・行政書士	6	6	6
7. 保育士	7	7	7
8. 教諭	8	8	8
9. 和洋裁・縫い物	9	9	9
10. ワープロ	10	10	10
11. パソコン	11	11	11
12. 簿記、速記	12	12	12
13. 茶・華・書道	13	13	13
14. 自動車(バイク)運転免許	14	14	14
15. ホームヘルパー	15	15	15
16. 介護福祉士	16	16	16
17. 外国語(英語)	17	17	17
18. 医療事務	18	18	18
19. 歯科衛生士・歯科技工士	19	19	19
20. その他(具体的に)	20	20	20
	21	21	21
	22	22	22
21. 特になし	23	23	23

■現在のお住まいについてお尋ねします。

問16 お住まいになっている住宅の種類について、当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

1. 持ち家	2. 公営住宅	3. 社・公団住宅
4. 社宅	5. 借家	6. 間借
7. 実家や親戚の家に同居	8. 母子生活支援施設(母子寮)	9. その他(具体的に)

問17 現在の住宅に住まれるようになったのは、ひとり親家庭になる前からですか。それともひとり親家庭になってからですか。当てはまるものに○をつけてください。

1. ひとり親家庭になる前から	2. ひとり親家庭になってから
-----------------	-----------------

問18 現在の住宅について、何か悩みがありますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

1. 住居費が高い
2. 建物が狭い
3. 建物が古い・設備が悪い
4. 周囲の騒音が良くない(騒音・日照など)
5. 職場から遠い
6. 立ちのきを迫られている
7. 近所つきあい
8. 家主・同居人とのトラブル
9. 保育所が無い・遠い
10. 学童クラブが無い・遠い
11. その他(具体的に:)
12. 特になし

問19 転居の希望についてお尋ねします。

(1) 今後、転居の希望はありますか。当てはまるものに○をつけてください。

1. ある	→ (2)へ
2. ない	→ 問20へ

(2) 公営住宅(府・市営)への転居の希望はありますか。当てはまるものに○をつけてください。

1. ある	2. ない
-------	-------

■あなたの世帯の収入状況・生活費についてお尋ねします。

問20 あなたの世帯の収入は、何によってまかなわれていますか。最も収入の多いものの欄にひとつだけ○を記入してください。また、それ以外に収入のある場合、当てはまるすべての欄に○を記入してください。

項目	最も収入の多いもの(ひとつだけ○)	それ以外(当てはまるものすべてに○)
1. あなたの仕事の収入	1	1
2. 子どもの仕事の収入	2	2
3. その他の家族や同居人の収入	3	3
4. 別居している親や他の家族からの援助	4	4
5. 財産収入(預金利息、不動産収入)	5	5
6. 年金・労災などの収入	6	6
7. 離別した配偶者からの養育費や援助	7	7
8. 児童扶養手当(特別児童扶養手当を含む)	8	8
9. 児童手当	9	9
10. 預金の引出し	10	10
11. 生活保護費	11	11
12. その他(具体的に:)	12	12

(注)「あなたの世帯」とは、あなたと世帯及び生計を共にしている世帯員すべてをいいます。

問 21 あなたの世帯の昨年（平成 19 年）1 年間の収入はどのくらいでしたか（税込みで生活保護費は除きます）。当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 50 万円未満 | 2. 50～100 万円未満 |
| 3. 100～150 万円未満 | 4. 150～200 万円未満 |
| 5. 200～250 万円未満 | 6. 250～300 万円未満 |
| 7. 300～350 万円未満 | 8. 350～400 万円未満 |
| 9. 400～500 万円未満 | 10. 500～600 万円未満 |
| 11. 600～700 万円未満 | 12. 700～800 万円未満 |
| 13. 800 万円以上 | |

問 22 あなたの世帯の月平均の生活費を記入してください。

約	万円程度
---	------

問 23 あなたの世帯の生活費の中で、特に支出のかさむものは何ですか。主なものに3つまで○をつけてください。

- | | |
|-----------------|--------------------------|
| 1. 食費 | 2. 住宅費（家賃・ローンを含む） |
| 3. 光熱・水道費 | 4. 教育費 |
| 5. 医療費 | 6. 交際費 |
| 7. 税金・社会保険料 | 8. ローン（借金）などの返済（住宅ローン除く） |
| 9. 仕送り | 10. 車の維持費 |
| 11. その他（具体的に：) | 12. 特にかさむものはない |

問 24 あなたの世帯の生活費の中で、医療費、住宅費（家賃・ローン返済を含む）、教育費の月平均支出額はどの程度ですか（平成 19 年分）。それぞれ当てはまる欄に○を記入してください。また、それらの支出のためにローンなどでお金を借りていますか。お金を借りている場合は「ローンの借入」の欄に○を記入してください。

金額	医療費	住宅費	教育費
1. 1 万円未満	1	1	1
2. 1～2 万円未満	2	2	2
3. 2～3 万円未満	3	3	3
4. 3～4 万円未満	4	4	4
5. 4～5 万円未満	5	5	5
6. 5～6 万円未満	6	6	6
7. 6～7 万円未満	7	7	7
8. 7～8 万円未満	8	8	8
9. 8～9 万円未満	9	9	9
10. 9～10 万円未満	10	10	10
11. 10 万円以上	11	11	11
ローンの借入	12	12	12

(注) 教育費には学習塾などの習い事に要する費用も含まれます。

■離婚された方だけにお尋ねします。(問 25～問 32)

問 25 あなたは、離婚した配偶者との間で「慰謝料」の支払いや受け取りがありましたか。当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

- | | |
|----------------------|--------------|
| 1. 慰謝料を支払った | 2. 慰謝料を受け取った |
| 3. 慰謝料の支払いも受け取りもなかった | |

問 26 あなたは、離婚した配偶者との間に「養育費」に関する取り決めがありましたか。当てはまるものに○をつけてください。

- | | | | |
|--------|---------|---------|---------|
| 1. あった | → 問 27へ | 2. なかった | → 問 28へ |
|--------|---------|---------|---------|

問 27 「養育費」に関する取り決めがあった方だけにお尋ねします。

「養育費」は取り決めどおりに支払われていますか。当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

- | | |
|-------------|-------------------------|
| 1. 支払われている | 2. 支払われたり、支払われなかったりしている |
| 3. 支払われていない | 4. 支払や受け取りは終わった |

問 28 離婚の際、あなたはお子さんにどちらの配偶者と暮らしたいたいかを聞きましましたか。当てはまるものに○をつけてください。

- | | |
|--------|-----------|
| 1. 聞いた | 2. 聞かなかった |
|--------|-----------|

問 29 あなたは、これまでにお子さんに離婚の理由や別れた配偶者のことを話しましたか。当てはまるものに○をつけてください。

- | | |
|---------|------------|
| 1. 話をした | 2. 話をしていない |
|---------|------------|

問 30 お子さんは別れた配偶者と会っていますか。当てはまるものに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|-----------|
| 1. 会っている（会ったことがある） | 2. 会っていない |
|--------------------|-----------|

問 31 ひとり親家庭になられた直後のお気持ちはどうでしたか。当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. すでに気持ちの整理がついていたので困惑しなかったし、不安もなかった |
| 2. すでに気持ちの整理がついていたので困惑しなかったが、今後のことを考えると不安な気持ちになった |
| 3. 気持ちの整理がつかず困惑し、今後のことは何も考えられなかった |
| 4. なんとかなると深く考えなかった |
| 5. その他（具体的に：) |
| 6. わからない |

問32 ひとり親家庭になられた直後の生活状況はどうでしたか。当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

1. 自立して生活できる状況にあった（自立できる自信があった）
2. 自立して生活できる状況にはなかったが、周りの人の理解や援助があって生活の目的はすぐに立った
3. 自立して生活できる状況はなく、また、周りの人の理解や援助もなかったため、非常に困った
4. その他（具体的に：_____）
5. わからない

■お子さんの育児や教育についてお尋ねします。

問33 お子さんにはどこまで進学してほしいと思っておりますか。当てはまるものに○をつけてください。
（お子さんが複数いて進学希望先が異なる場合は、当てはまる番号すべてに○をつけてください。）

1. 中学校
2. 高校
3. 高等専門学校
4. 短大
5. 大学
6. 専修学校・各種学校
7. 子どもの意志を尊重する
8. その他（具体的に：_____）

問34 お子さんについて現在どのようなことで悩みをお持ちですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

1. 育児
2. 教育
3. しつけ
4. 対話
5. 保育の場がない
6. 病気
7. 友人関係
8. いじめ
9. 非行化
10. 進学
11. 就職
12. 結婚
13. その他（具体的に：_____）
14. 今のところ悩みはない

問35 小学校入学前のお子さんがいらっしゃる方にお尋ねします。日常、昼間お子さんの世話を中心となつておられるのはどなたですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

1. あなた自身
2. 同居の家族
3. 実家や親戚など
4. 近所の人
5. 友人や知人
6. ベビーシッター・家政婦
7. 保育所
8. 幼稚園
9. 勤務先の保育施設
10. ベビーホテル
11. 母子生活支援施設（母子寮）などの福祉施設
12. その他（具体的に：_____）
13. 誰もみていない

問36 小学校1年生から3年生までのお子さんがいらっしゃる方にお尋ねします。放課後、又は小学校長休暇中、そのお子さんなどをあなたがみていますか。当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

1. あなた自身
2. 同居の家族
3. 実家や親戚など
4. 近所の人
5. 友人や知人
6. ベビーシッター・家政婦
7. ベビーホテル
8. 児童館・学童保育所・共同学童保育所
9. 母子生活支援施設（母子寮）などの福祉施設
10. その他（具体的に：_____）
11. 誰もみていない

■お子さんや近所の人等との関係についてお尋ねします。

問37 ある人は、お子さんの団らんの時間がとれていると思いますか。当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

1. 十分にとれている
2. だいたいとれている
3. あまりとれていない
4. 全くとれていない
5. わからない

問38 家族・親戚以外で、あなたが日頃からお子さんを見てもらったりすることのできる深いつき合いのある人はどなたですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

1. 近所の人
2. 職場・仕事に関係のある人
3. お子さんを通じての友人（保育所などの保護者会やスポーツ少年団など）
4. あなたの趣味やスポーツなどを通じて活動の仲間
5. あなたの社会的活動を通じて活動の仲間
6. 学生時代の友人
7. その他（具体的に：_____）
8. 特にいない

■日頃の悩みや相談のことについてお尋ねします。

問 39 あなたが、ひとり親家庭になられた当時、困ったことは何ですか。また、現在困っていることがあ
りますか。当てはまるすべての欄に○を記入してください。

項 目	当 時	現 在
1. 生活費	1	1
2. 借金の返済	2	2
3. 子どもの養育・教育	3	3
4. 家事	4	4
5. あなたの勤職や仕事	5	5
6. 住居	6	6
7. 病気や医療	7	7
8. 相談相手がいらないこと	8	8
9. 勤務先や近所とのつき合い	9	9
10. 家族や親戚とのつき合い	10	10
11. 異性とのつき合い・再婚のこと	11	11
12. 老後のこと	12	12
13. ひとり親家庭に対する差別や偏見	13	13
14. その他（具体的に：)	14	14
15. 困っていることはない	15	15

問 40 あなたが、ひとり親家庭になられた当時、困った問題が起きた場合、どなたに相談されましたか。
また、現在どなたに相談されますか。当てはまるすべての欄に○を記入してください。

項 目	当 時	現 在
1. 自分で解決	1	1
2. 自分の子どもに相談	2	2
3. 両親・親戚などに相談	3	3
4. 友人・知人に相談	4	4
5. 近所の人に相談	5	5
6. 職場の上司・同僚に相談	6	6
7. 公的機関に相談	7	7
8. 前の配偶者に相談	8	8
9. その他（具体：)	9	9
10. 相談相手がいらない、方法が分からない	10	10

→ 問 41 へ

問 41 問 40 で「7. 公的な機関に相談」を選んだ方にお尋ねします。

あなたが、これまで悩みごとなどを相談されたことがある公の機関等はどれですか。当てはまるも
のすべてに○をつけてください。

1. 民生児童委員・主任児童委員
2. 市政協力委員や町内会長など
3. 府・市会議員
4. 福祉事務所
5. 子ども支援センター
6. 児童相談所
7. 母子福祉センター米岡荘
8. 母子養護福祉会
9. 母子生活支援施設（母子寮）
10. 市民相談・区民相談
11. 保健所
12. 隣人相談所
13. 京都府男女共同参画センター（ウイングス京都）
14. 京都府男女共同参画センター
15. 公共職業安定所（ハローワーク）・マザーズハローワーク烏丸御池・京都ジョブパーク
16. 交通事故相談所
17. 家庭裁判所
18. 警察署（困り事相談所）
19. 保育所・児童館・学童保育所
20. 学校
21. その他（具体的に：)

■現在行われている福祉施策等についてお尋ねします。

問 42 あなたが知っている、又は利用したことのある制度・施策について、当てはまるすべての欄に○を記入してください。

項目	知っているもの	利用したことがあるもの	今後利用したいもの
1. 児童手当 小学校就学前の児童を対象としている家庭に支給される手当	1	1	1
2. 児童扶養手当 18歳まで以後、最初の3月31日までの子どもを1人含む母子家庭に支給される手当	2	2	2
3. 母子福祉資金貸付制度 母子家庭の方に対する各種資金の貸し付けを行う制度	3	3	3
4. 母子生活支援施設（母子寮） 母子家庭の母と18歳未満の子が一緒に入所できる児童福祉施設	4	4	4
5. 母子家庭等医療費支給制度 母子家庭等の母子が児童養育施設等にかかったときに、窓口で支払われる医療費を助成する制度	5	5	5
6. 生活保護 所得や資産の収入が少なく、糊口も収入が少なく一家の生活維持が困難な場合、家庭の状況に応じて、最低限度の生活を行う制度	6	6	6
7. ひとり親（ひとり親）生活支援事業 ひとり親等の者が、自己生活のために必要な申請や関係機関との連携など、一時的な家事・育児に際しては、家庭内での生活支援を推進する事業	7	7	7
8. ショートステイ 保護者が、一時的な事情や出張、遊学旅行などのため、家事・育児に困ったとき、乳児や児童を児童福祉施設等に預けられる事業	8	8	8
9. トライアイトステイ 保護者が、仕事や通学などのため、居宅が遠くなる場合に、期間に児童福祉施設や母子生活支援施設（母子寮）で預けられる事業	9	9	9
10. 公営住宅の優先入居 住宅に困っている母子家庭の方が公営住宅に優先的に入居できる制度	10	10	10
11. 職業訓練手当支給制度 ハローワークを通じて職業訓練を受ける場合に訓練手当が支給される制度	11	11	11
12. 母子福祉センター事業 パソコン講座会、お茶会、おしゃべり会、母子自立支援プログラム、母子ケアミーティング、子育て相談等	12	12	12
13. 自立支援訓練給付金事業 厚生労働大臣が指定する事業を実施し、終了した場合に支給された入学金及び奨励金の交付に相当する額が支給される事業	13	13	13
14. 高等技能訓練促進事業 2年以上のキャリアアップを必要とする職種等の研修費を助成するため、専門学校の等で修業している場合に、最後の9分の1の期間に訓練進捗を支給する事業	14	14	14

■現在行われている福祉施策等についてお尋ねします。

問 43 下記の問いについてあなたの実感に近いものに○をつけてください。（項目ごとに○は1つ）

住民実感	そう思う	どちらかという	どちらかという	どちらかという	どちらかという	そう思わない
1. 一人ひとりの子どもの人格が大切にされ、子どもの権利が守られていると感じる	1	2	3	4	5	5
2. 子どもを地域ぐるみで見守ってくれるので安心できる	1	2	3	4	5	5
3. 障害や、保護者の養育が足りないなど、配慮を有する子どもの状況に応じた支援が行われている	1	2	3	4	5	5
4. 地域の団体や子育て支援機関が子育てを助けてくれるので安心できる	1	2	3	4	5	5
5. 子育て支援のニーズに応じた保育サービスが提供されている	1	2	3	4	5	5
6. ふだん子育てを楽しんでいると感じる人が多い	1	2	3	4	5	5
7. 子どもがいても仕事と生活は両立できる環境である	1	2	3	4	5	5
8. 子育てに不安を感じたとき気軽に相談できる場所がある	1	2	3	4	5	5
9. 乳幼児健診でのアドバイスやアフターフォローが充実している	1	2	3	4	5	5
10. 身近に小児医療が受けられる環境が整っている	1	2	3	4	5	5
11. 身近に子どもの居場所や遊び場がある	1	2	3	4	5	5
12. 子どもが犯罪被害にあいにくい環境となっている	1	2	3	4	5	5
13. 学校などの公共施設は子どもにとって安全な場だと思える	1	2	3	4	5	5
14. 子どもへの教育環境は充実している	1	2	3	4	5	5
15. 子どもへの通達措置は充実している	1	2	3	4	5	5
16. 青少年が健全に育つ環境だと思える	1	2	3	4	5	5
17. 世間には、ひとり親家庭に対する偏見があると思える	1	2	3	4	5	5
18. 子どもがいなかったら生活が楽になると思える	1	2	3	4	5	5

子どもを共に育む京都市民憲章



わたくしたちは、

- 1 子どもの存在を尊重し、かけがえのない命を守ります。
- 1 子どもから信頼され、模範となる行動に努めます。
- 1 子どもを育む喜びを感じ、親も育ち学べる取組を進めます。
- 1 子どもが安らぎ育つ、家庭の生活習慣と家族の絆を大切にします。
- 1 子どもを見守り、人と人が支え合う地域のつながりを広げます。
- 1 子どもを育む自然の恵みを大切にし、社会の環境づくりを優先します。

平成19年2月5日（育児ニコニコ笑顔の日）制定

3月13日 京都市会が憲章を積極的に推進する決議

京都市ひとり親家庭実態調査

(父子家庭用)

秘

調査ご協力をお願い

この度、京都市では「京都市ひとり親家庭実態調査」を実施することになりました。この調査は、これまでおおむね10年毎に実施している継続調査であり、本市にお住まいのひとり親家庭の皆様への福祉施策の充実を図ることを目的として実施しています。

今回、住民基本台帳及び外国人登録台帳から一定の基準により無作為に5,000名を抽出した結果、あなたに調査票の記入をお願いさせていただきますことになりました。

本調査は、無記名であり、回収した調査票はすべて統計的に処理するため、回答内容について回答者が特定されることは無く、また、調査結果は、子育て支援の総合計画である新「京（みやこ）」子どもいきいきプラン」の次期計画策定に向けた基礎資料としてのみ活用し、調査目的の以外に使用することはありません。

お忙しいところ、誠に恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただきまして、是非、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、調査結果については、平成21年春頃に、児童家庭課のホームページで公表する予定です。また、新しい本市の計画は、平成22年3月頃の策定を目指しています。

平成20年12月

京都市長 門川 大作

【ご記入にあたってのお願い】

1. この調査票のご回答は、封筒の宛名ご本人がご記入ください。
2. この調査は、ひとり親家庭の皆様を対象としています。ひとり親家庭の方は最後の質問までご回答ください。
3. 調査票は機械処理により無作為抽出された方すべてにお送りしているため、ひとり親家庭でない方にお送りすることがありますが、その場合は、問1のみをご回答（問2以降は未記入のまま）の上、調査票をご返送ください。他書はごさいませんので、あしからずご了承ください。
4. ご回答は、選択肢に○をつけてお選びいただく場合と、数字などをご記入いただく場合がございます。選択肢の場合、お選びいただく数が設問によって異なりますので注意書きに従ってください。
5. 「その他」をお選びいただいた場合は、その後にある（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
6. 年齢、家族構成など期日が関係する設問には12月1日現在にお返してください。

ご記入が完了したら、お手数ですが、同封の返信用封筒に入れて切手を貼らずに12月26日（金）までにご返送ください。

ご回答いただく上でご不明な点、調査に対するお問い合わせは、次までお願いいたします。

京都市保健福祉局子育て支援部児童家庭課

電話：075-251-2380 FAX：075-251-2322

ホームページ：http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/soshiki/8-3-1-0-0_1.html

【質問項目】

問1 あなたのご家庭は「ひとり親家庭」に該当しますか。下欄の説明を参考にして、当てはまるものに○をつけてください。

1. はい
2. いいえ

※ひとり親家庭について

ひとり親家庭とは、現に配偶者がなく、20歳未満の子どもを育てている家庭をいいます。
・死別、離婚、未婚など、現に配偶者がいない方
・配偶者の生死不明、家出などで、配偶者に連絡されている方などが該当します。

ただし、婚姻はしていないが、事実上の婚姻関係にある場合は「ひとり親家庭」とはしません。また、単身赴任、出稼ぎ、子どもの就学の都合などによる一時期居も「ひとり親家庭」とはしません。

※ひとり親家庭でない方は、これで調査は終わりです。調査票は返信用封筒でご返送ください。ひとり親家庭の方は、引き続き下の欄の問2から最後の質問までご回答ください。

ここからの質問は、ひとり親家庭の方のみお答えください。

■あなたご自身のことと世帯の状況についてお尋ねします。

問2 あなたの現在の年齢について、当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

1. 20歳未満
2. 20～24歳
3. 25～29歳
4. 30～34歳
5. 35～39歳
6. 40～44歳
7. 45～49歳
8. 50歳以上

(注)「年齢」は、平成20年12月1日現在の満年齢で記入してください。

問3 あなたの世帯の「同居家族数」は、あなたも含め「何人家族」ですか。

() 人家族

問4 同居の家族はどなたがいらっしゃいますか。あなたからの続き柄で当てはまるものすべてに○をつけてください。

1. 20歳未満の子ども
2. 20歳以上の子ども
3. 実父・実母
4. 義父・義母
5. 兄弟姉妹
6. 祖父・祖母
7. その他(具体的に:)

問5 あなたのお子さんは、次のいずれに当てはまりますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、右の欄に同居、別居別の人数を記入してください。(ここでは、就職、進学などで別居しているお子さん(生計上の扶養家族)も含めます)

(番号)に○印をつける	同居	別居
1. 乳児(0歳児)	人	人
2. 幼児(1歳~小学校入学前)	人	人
3. 小学校1年~3年生	人	人
4. 小学校4年~6年生	人	人
5. 中学生	人	人
6. 高校生	人	人
7. 短大生・大学生・専門学校生、その他の学生	人	人
8. 卒業した無職の子ども	人	人
9. 卒業した無職の子ども	人	人
10. その他(具体的に:)	人	人

問6 あなたとお子さんの現在の健康状態はいかがですか。当てはまる欄に○を記入してください。なお、お子さんが複数いる場合は、当てはまるすべての欄に○を記入してください。

項目	あなた	子ども
1. 健康	1	1
2. 身体が弱く病気がちである	2	2
3. 病床にしている	3	3

(注)「病床にしている」とは、現在、病室・けがなどにより入院、又は長期治療中の場合をいいます。

■あなたのご家庭の家事の分担状況についてお尋ねします。

問7 あなたのご家庭では、以下の家事は主にどなたが担当されていますか。当てはまるすべての欄に○を記入してください。

項目	掃除	洗濯	朝食の支度	夕食の支度	日用品の買物
あなた	1	1	1	1	1
子ども	2	2	2	2	2
その他の家族	3	3	3	3	3
家族以外	4	4	4	4	4

■ひとり親家庭になったときの状況についてお尋ねします。

問8 ひとり親家庭になったときのあなたの年齢について、当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

1. 20歳未満	2. 20~24歳	3. 25~29歳
4. 30~34歳	5. 35~39歳	6. 40~44歳
7. 45~49歳	8. 50歳以上	9. わからない

(注) 配偶者と2回以上離婚又は死別している場合は、もっとも近い場合について記入してください(以下の質問についても同じです)。

問9 前配偶者との婚姻期間について、当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

1. 1年未満	2. 1~5年未満	3. 5~10年未満
4. 10年以上	5. なし	

問10 ひとり親家庭となった理由についてお尋ねします。

(1) ひとり親になった理由について、当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

1. 病死	2. その他の理由による死別
3. 離婚(協議) → 問10(2)へ	4. 離婚(調停) → 問10(2)へ
5. 離婚(審判) → 問10(2)へ	6. 離婚(裁判) → 問10(2)へ
7. 遺棄(家出など)	8. 生死不明
9. その他(具体的に:)	

(2) 離婚(3. 4. 5. 6.) を選択された方にお尋ねします。離婚を決意された主たる要因は何ですか。当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

1. 性格が合わない	2. 異性関係
3. 暴力を振るう	4. 浪費する
5. 異常性格	6. 酒を飲みすぎる
7. 親族と折り合いが悪い	8. 家庭を省みない
9. その他(具体的に:)	

問11 ひとり親家庭になられたとき、あなたは仕事をしていますか。当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

1. 今と同じところで仕事をしていた
2. 今と違ったところで仕事をしていた
3. 仕事をしていたいなかった

■あなたの現在の仕事についてお尋ねします。

問12 あなたは現在、収入を伴う仕事をしていますか。当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

1. 1つの仕事だけしている	→ 問13へ
2. 2つ以上の仕事をしている	→ 問13へ
3. 仕事をしていない	→ 問14へ

問13 収入を伴う仕事をしている方だけにお尋ねします。

(1) あなたが現在の仕事につかれてから何年になりますか。当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

1. 1年未満	2. 1~3年未満	3. 3~5年未満
4. 5~10年未満	5. 10年以上	

(注) 2つ以上の仕事を並行している場合は、主な仕事(収入、就労時間により判断してください)について記入してください(以下の質問についても同じです)。

(2) あなたの就労形態について、当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

1. 正社員・正職員	2. パートタイマー	3. アルバイト
4. 契約・登録社員(職員)	5. 派遣社員(職員)	6. 自営業主
7. 家族従業員	8. 内職・在宅就業	9. その他(具体的に:)

(3) その仕事の種類について、当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

1. 専門技術を生かした仕事(保育士、教員、看護師、介護福祉士、弁護士、医師、デザイナーなど)
2. 管理的な仕事(会社・官庁などの課長職以上)
3. 事務的な仕事
4. 販売関係の仕事(店員、商品配達、セールス、外交員など)
5. 接客などのサービス関係の仕事(美・理容師、飲食店員など)
6. 技能及び労働関係の仕事(工具、職人、労働作業員など)
7. その他(具体的に:)

(4) 勤務先(自営業の方は家族従業員を含む)の規模(従業員数)の規模(従業員数)について、当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

1. 1~4人	2. 5~9人	3. 10~29人
4. 30~99人	5. 100~299人	6. 300人以上

(5) あなたの勤務体制について、当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

1. 定時制	2. シフト制
3. その他(具体的に:)	

(6) あなたの普段の平均的な勤務時間(残業が恒常的になっている方はその時間も含む)はどのようになっていますか。また、仕事が終わって帰宅するのは何時ごろですか。午前・午後いずれかに○をした上で()内に具体的な時刻を記入してください。シフト制で働いている方は平均的な勤務時間を記入してください。

○勤務時間	午前・午後()時()分から 午前・午後()時()分まで
○帰宅時間	午前・午後()時()分ごろ

(7) あなたの仕事上の悩みについて、当てはまるものすべてに○をつけてください。

1. 収入が少くない	2. 勤務先が遠い
3. 仕事がつらい	4. 労働時間が長い
5. 休暇が自由にとれない	6. 仕事が難しい、つまらない
7. 人間関係など職場の環境に馴染めない	8. セクハラがある
9. 雇用上の身分が不安定	10. 子どもの世話を家事等で仕事に専念できない
11. その他(具体的に:)	12. 特にない

(8) 現在、あなたは転職の希望がありますか。当てはまるものに○をつけてください。

1. ある	→ (9)へ	2. ない	→ 問15へ
-------	--------	-------	--------

(9) 今後、転職の希望がある方だけにお尋ねします。

・転職する場合、あなたは、どのような就労形態で働きたいと考えていますか。当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

1. 正社員・正職員	2. パートタイマー	3. アルバイト
4. 契約・登録社員(職員)	5. 派遣社員(職員)	6. 自営業主
7. 家族従業員	8. 内職・在宅就業	9. その他(具体的に:)

・転職する場合、あなたは、どのような種類の仕事につきたいと考えていますか。当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

1. 専門技術を生かした仕事(会社・官庁などの課長職以上)
2. 管理的な仕事(会社・官庁などの課長職以上)
3. 事務的な仕事
4. 販売関係の仕事(店員、商品配達、セールス、外交員など)
5. 接客などのサービス関係の仕事(美・理容師、飲食店員など)
6. 技能及び労働関係の仕事(工具、職人、労働作業員など)
7. その他(具体的に:)

問14 収入を伴う仕事がない方だけにお尋ねします。

(1) その理由は何ですか。当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

1. 子どもの世話をしてくれる人がいない
2. 病気で働けない
3. 求職中
4. 職業訓練を受けたり技術習得中
5. 家族の世話をするため仕事につけない
6. その他(具体的に:)

(2) あなたは今後、転職の希望がありますか。当てはまるものに○をつけてください。

1. ある	→ (3)へ	2. ない	→ 問15へ
-------	--------	-------	--------

(3) 転職の希望がある方だけにお尋ねします。

・転職する場合、あなたは、どのような就労形態で働きたいと考えていますか。当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

1. 正社員・正職員	2. パートタイマー	3. アルバイト
4. 契約・登録社員(職員)	5. 派遣社員(職員)	6. 自営業主
7. 家族従業員	8. 内職・在宅就業	9. その他(具体的に:)

・就職する場合、あなたは、どのような種類の仕事につきたいと考えていますか。当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

1. 専門技術を生かした仕事 (保育士、教員、看護師、介護福祉士、弁護士、医師、デザイナーなど)
2. 管理的な仕事 (会社・官庁などの課長職以上)
3. 事務的な仕事
4. 販売関係の仕事 (店員、商品配達、セールス、外交員など)
5. 接客などのサービス関係の仕事 (美・理容師、飲食店員など)
6. 技能及び労働関係の仕事 (工具、職人、労働作業員など)
7. その他 (具体的に:)

■現在のお住まいについてお尋ねします。

問15 お住まいになっている住宅の種類について、当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

1. 持ち家	3. 公社・公団住宅
2. 公営住宅	6. 間借
4. 社宅	5. 借家
7. 実家や親戚の家に同居	8. その他 (具体的に:)

問16 現在の住宅に住まれるようになったのは、ひとり親家庭になる前からですか。それともひとり親家庭になってからですか。当てはまるものに○をつけてください。

1. ひとり親家庭になる前から	2. ひとり親家庭になってから
-----------------	-----------------

問17 現在の住宅について、何か悩みがありますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

1. 住宅費が高い	2. 建物が高い
3. 建物が古い・設備が悪い	4. 周囲の環境が良くない (騒音・日照など)
5. 職場から遠い	6. 立ちのきを追られている
7. 近所づきあい	8. 家主・同居人とのトラブル
9. 保育所が無い・遠い	10. 学童クラブが無い・遠い
11. その他 (具体的に:)	12. 特にない

問18 転居の希望についてお尋ねします。

(1) 今後、転居の希望はありますか。当てはまるものに○をつけてください。

1. ある → (2)へ	2. ない → 問19へ
--------------	--------------

(2) 公営住宅 (市・市営) への転居の希望はありますか。当てはまるものに○をつけてください。

1. ある	2. ない
-------	-------

■あなたの世帯の収入状況・生活費についてお尋ねします。

問19 あなたの世帯の収入は、何によってまかなわれていますか。最も収入の多いものの欄にひとつだけ○を記入してください。また、それ以外に収入のある場合、当てはまるすべての欄に○を記入してください。

項目	最も収入の多いもの (ひとつだけ○)	それ以外の (当てはまるものすべてに○)
1. あなたの世帯の収入	1	1
2. 子どもの世帯の収入	2	2
3. その他の家族や同居人の収入	3	3
4. 別居している親や他の家族からの援助	4	4
5. 財産収入 (預金利息、不動産収入)	5	5
6. 年金・労災などの収入	6	6
7. 離別した配偶者からの養育費や援助	7	7
8. 特別児童扶養手当	8	8
9. 児童手当	9	9
10. 預金の引き出し	10	10
11. 生活保護費	11	11
12. その他 (具体的に:)	12	12

(注) 「あなたの世帯」とは、あなたと同居及び生計を共にしている世帯員すべてをいいます。

問20 あなたの世帯の昨年 (平成19年) 1年間の収入はどのくらいでしたか (税込みで生活保護費は除きます)。当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

1. 50万円未満	2. 50～100万円未満
3. 100～150万円未満	4. 150～200万円未満
5. 200～250万円未満	6. 250～300万円未満
7. 300～350万円未満	8. 350～400万円未満
9. 400～500万円未満	10. 500～600万円未満
11. 600～700万円未満	12. 700～800万円未満
13. 800万円以上	

問21 あなたの世帯の月平均の生活費を記入してください。

約	万円程度
---	------

問22 あなたの世帯の生活費の中で、特に支出のかさむものは何ですか。主なものに3つまで○をつけてください。

1. 食費	2. 住宅費 (家賃・ローンを含む)
3. 光熱・水道費	4. 教育費
5. 医療費	6. 交際費
7. 税金・社会保険料	8. ローン (借金) などの返済 (住宅ローン除く)
9. 仕送り	10. 車の維持費
11. その他 (具体的に:)	12. 特にかさむものはない

問 23 あなたの世帯の生活費の中で、医療費、住居費（家賃・ローン返済を含む）、教育費の月平均支出額はどの程度ですか(平成 19 年分)。それぞれ当てはまる欄に○を記入してください。また、それらの支出のためにローンなどでお金を借りていますか。お金を借りている場合は「ローンの借入」の欄に○を記入してください。

金額	医療費	住居費	教育費
1. 1万円未満	1	1	1
2. 1～2万円未満	2	2	2
3. 2～3万円未満	3	3	3
4. 3～4万円未満	4	4	4
5. 4～5万円未満	5	5	5
6. 5～6万円未満	6	6	6
7. 6～7万円未満	7	7	7
8. 7～8万円未満	8	8	8
9. 8～9万円未満	9	9	9
10. 9～10万円未満	10	10	10
11. 10万円以上	11	11	11
ローンの有無	12	12	12

(注) 教育費には学習塾などの習い事に要する費用も含まれます。

■離婚された方だけにお尋ねします。(問 24～問 31)

問 24 あなたは、離婚した配偶者との間で「慰謝料」の支払いや受け取りがありましたか。当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

1. 慰謝料を支払った
2. 慰謝料を受け取った
3. 慰謝料の支払いも受け取りもなかった

問 25 あなたは、離婚した配偶者との間に「養育費」に関する取り決めがありましたか。当てはまるものに○をつけてください。

1. あった → 問 26 へ	2. なかった → 問 27 へ
-----------------	------------------

問 26 「養育費」に関する取り決めがあった方だけにお尋ねします。「養育費」は取り決めどおりに支払われていますか。当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

1. 支払われている	2. 支払われたり、支払われなかったりしている
3. 支払われていない	4. 支払や受け取りは終わった

問 27 離婚の際、あなたはお子さんにどちらの配偶者と暮らしたいかを聞きましたか。当てはまるものに○をつけてください。

1. 聞いた	2. 聞かなかった
--------	-----------

問 28 あなたは、これまでにお子さんに離婚の理由や別れた配偶者のことを話しましたか。当てはまるものに○をつけてください。

1. 話をした	2. 話をしていない
---------	------------

問 29 お子さんは別れた配偶者と会っていますか。当てはまるものに○をつけてください。

1. 会っている (会ったことがある)	2. 会っていない
---------------------	-----------

問 30 ひとり親家庭になられた直後のお気持ちはどうでしたか。当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

1. すでに気持ちの整理がいたので困惑しなかったし、不安もなかった
2. すでに気持ちの整理がなかったので困惑したが、今後のことを考えると不安な気持ちにならなかった
3. 気持ちの整理がつかず困惑し、今後のことは何も考えられなかった
4. なんとかなると深く考えなかった
5. その他 (具体的に:)
6. わからない

問 31 ひとり親家庭になられた直後の生活状況はどうでしたか。当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

1. 自立して生活できる状況にあった (自立できる自信があった)
2. 自立して生活できる状況になかったが、周りの人の理解や援助があった生活の目標はすぐに立った
3. 自立して生活できる状況になく、また、周りの人の理解や援助もなかったため、非常に困った
4. その他 (具体的に:)
5. わからない

■お子さんの育児や教育についてお尋ねします。

問 32 お子さんにはどこまで進学してほしいと思いますか。当てはまるものに○をつけてください (お子さんが複数いて進学希望先が異なる場合は、当てはまる番号すべてに○をつけてください)。

1. 中学校	2. 高校
3. 高等専門学校	4. 短大
5. 大学	6. 専修学校・各種学校
7. 子どもの意志を尊重する	8. その他 (具体的に:)

問 33 お子さんについて現在どのようなことで悩みをお持ちですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

1. 育児	2. 教育	3. しつけ
4. 対話	5. 保育の場がない	6. 病氣
7. 友人関係	8. いじめ	9. 非行化
10. 進学	11. 就職	12. 結婚
13. その他 (具体的に:)		14. 今のところ悩みはない

問34 小学校入学前のお子さんがいらっしゃる方にお尋ねします。日常、昼間お子さんの世話を中心となつてされているのはどなたですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

1. あなた自身	2. 同居の家族	3. 実家や親戚など
4. 近所の人	5. 友人や知人	6. ベビーシッター・家政婦
7. 保育所	8. 幼稚園	9. 勤務先の保育施設
10. ベビーホテル	11. その他（具体的に：_____）	12. 誰もみていない

問35 小学校1年生から3年生までのお子さんがいらっしゃる方にお尋ねします。放課後、または小学校長期休暇中、そのお子さんをどなたがみえていますか。当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

1. あなた自身	2. 同居の家族	3. 実家や親戚など
4. 近所の人	5. 友人や知人	6. ベビーシッター・家政婦
7. ベビーホテル	8. 児童館・学童保育所・共同学童保育所	
9. 児童養護施設等の福祉施設	10. その他（具体的に：_____）	11. 誰もみていない

■お子さんや近所の人等との関係についてお尋ねします。

問36 あなたは、お子さんとの回らんの時間がとれていると悪いと悪いですか。当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

1. 十分にとれている	2. だいたいとれている
3. あまりとれていない	4. 全くとれていない
5. わからない	

問37 家族・親戚以外で、あなたが日頃からお子さんをみてもらったりすることのできる深い付き合いのある人はどなたですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

1. 近所の人
2. 職場・仕事に関係のある人
3. お子さんを通じての友人（保育所などの保護者やスポーツ少年団など）
4. あなたの趣味やスポーツなどを通じた活動の仲間
5. あなたの社会的活動を通じた活動の仲間
6. 学生時代の友人
7. その他（具体的に：_____）
8. 特にいない

■日頃の悩みや相談のことについてお尋ねします。

問38 あなたが、ひとり親家庭になられた当時、困ったことは何ですか。また、現在困っていることありますか。当てはまるすべての欄に○を記入してください。

項目	当時	現在
1. 生活費	1	1
2. 借金の返済	2	2
3. 子どもの養育・教育	3	3
4. 家事	4	4
5. あなたの就職や仕事	5	5
6. 住居	6	6
7. 病気や医療	7	7
8. 相談相手がいらないこと	8	8
9. 勤務先や近所とのつき合い	9	9
10. 家族や親戚とのつき合い	10	10
11. 異性とのつき合い・再婚のこと	11	11
12. 老後のこと	12	12
13. ひとり親家庭に対する差別や偏見	13	13
14. その他（具体的に：_____）	14	14
15. 困っていることはない	15	15

問39 あなたが、ひとり親家庭になられた当時、困った問題が起きた場合、どなたに相談されましたか。また、現在どなたに相談されますか。当てはまるすべての欄に○を記入してください。

項目	当時	現在
1. 自分で解決	1	1
2. 自分の子どもに相談	2	2
3. 両親・親戚などに相談	3	3
4. 友人・知人に相談	4	4
5. 近所の人に相談	5	5
6. 職場の上司・同僚に相談	6	6
7. 公的な機関に相談	7	7
8. 前の配偶者に相談	8	8
9. その他（具体的に：_____）	9	9
10. 相談相手がいらない、方法が分からない	10	10

→ 問40へ

問 40 問 39 で「7. 公的な機関に相談」を選んだ方々に尋ねします。
 あなたが、これまで悩みごとなどを相談されたことがある公の機関等はありますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

- 1. 民生児童委員・主任児童委員
- 2. 市町村協力委員や町内会長など
- 3. 府・市会議員
- 4. 福祉事務所
- 5. 子ども支援センター
- 6. 児童相談所
- 7. 母子福祉センター 岡田
- 8. 市民相談・区民相談
- 9. 保健所
- 10. 京都市男女共同参画センター（ウイングス京都）
- 11. 京都府男女共同参画センター
- 12. 公共職業安定所（ハローワーク）・京都ジョブパーク
- 13. 交通事故相談所
- 14. 家庭裁判所
- 15. 警察署（困り事相談所）
- 16. 保育所・児童館・学童保育所
- 17. 学校
- 18. その他（具体的に： ）

■現在行われている福祉施策等についてお尋ねします。

問 41 福祉施策の認知状況及び利用状況はありますか。
 (1) あなたが知っている、又は利用したことのある制度・施策について、当てはまるすべての欄に○を記入してください。

項目	知っているもの	利用したものがあるもの	今後利用したいもの
1. 児童手当 <small>小学生未満の児童を扶養している家庭に支給される手当</small>	1	1	1
2. 生活福祉資金貸付制度 <small>収入の少ない家庭の方などに対して各種資金の貸し付け等を行う制度</small>	2	2	2
3. 子ども医療費支給制度 <small>小学生6年生までの子どもに係る医療費について、医療保険の自己負担額から一部負担金を差し引いた金額を助成する制度</small>	3	3	3
4. 生活保護 <small>所得や資産の少ない収入が少なく、働いても収入が少なく一家の生活が維持できないとき、家庭の状況に応じて、最低限度生活費の援助を行う制度</small>	4	4	4
5. ひとり親家庭日常生活支援事業 <small>ひとり親家庭の方が、自立促進のために必要な事由や事情や出張、冠婚葬祭など一時的に家事・育児にお困りの場合に家庭に家庭生活支援員を派遣する事業</small>	5	5	5
6. ショートステイ <small>児童が、一時的な養育や出張、葬儀葬式などのため、家事・育児に困ったとき、児童が児童相談所施設でお預かりする事業</small>	6	6	6
7. トワイライトステイ <small>児童が、仕事や通学などのため、帰宅が遅くなる場合に、夜間に児童相談所や母子生活支援施設でお預かりする事業</small>	7	7	7

(2) 次のような事業について、あなたはどのようなようにお考えになりますか。当てはまるものにひとつだけ○をつけてください。

① ボランティアが家庭を訪問し、子どもさんが、日頃感じていることや思っていることについて気軽に相談のれられるようにするとともに、必要に応じて子どもの学習指導や簡単な家事指導を行う事業

- 1. 興味があり、是非利用してみたい
- 2. 条件が合えば、一度利用してみたいと思う
- 3. あまり利用したいと思わない
- 4. わからない

② 父子家庭の方が定期的に集える機会をつくることにより、参加者同士での情報交換や意見交換ができるようにし、相互の交流を促進する事業

- 1. 是非利用してみたい
- 2. 条件が合えば、一度利用してみたいと思う
- 3. あまり利用したいと思わない
- 4. わからない

■現在行われている福祉施策等についてお尋ねします。

問42 下記の問いについてあなたの実態に近いものに○をつけてください。(項目ごとに○は1つ)

住民実感	そう思う	どちらかという	どちらともいえない	どちらかという	どちらともいえない	そう思わない
1. 一人ひとりの子どもの人格が大切にされ、子どもの権利が守られているまちである	1	2	3	4	5	
2. 子どもを地域ぐるみで見守ってくれるので安心できる	1	2	3	4	5	
3. 障害や、保護者の養育が足りないなど、配慮を有する子どもの状況に応じた支援が行われている	1	2	3	4	5	
4. 地域の団体や子育て支援機関が子育てを助けてくれるので安心できる	1	2	3	4	5	
5. 子育て家庭のニーズに応じた保育サービスが提供されている	1	2	3	4	5	
6. ふだん子育てを楽しんでいると感じるときが多い	1	2	3	4	5	
7. 子どもがいても仕事は生活は両立できる環境である	1	2	3	4	5	
8. 子育てに不安を感じたとき気軽に相談できるところがあるので安心できる	1	2	3	4	5	
9. 乳幼児健診でのアドバイスやアフターフォローが充実しているので満足している	1	2	3	4	5	
10. 身近に小児医療が受けられる環境が整っているので安心できる	1	2	3	4	5	
11. 身近に子どもの居場所や遊び場があるので様々な体験ができる	1	2	3	4	5	
12. 子どもが犯罪被害にあいにくい環境となっている	1	2	3	4	5	
13. 学校などの公共施設は子どもにとって安全な場だと思う	1	2	3	4	5	
14. 子どもへの教育環境は充実している	1	2	3	4	5	
15. 子どもへの進路指導は充実していると思う	1	2	3	4	5	
16. 青少年が健全に育つ環境だと思う	1	2	3	4	5	
17. 世間には、ひとり親家庭に対する偏見があると思う	1	2	3	4	5	
18. 子どもがいなかったら生活が楽になると思うことがある	1	2	3	4	5	

■行政施策等についてお尋ねします。

問43 ひとり親家庭の自立・安定を図るため、あなたが市や国に要望したいことは何ですか。当てはまるものに5つまで○をつけてください。

1. 職業訓練の場や働く機会を増やすなど安定的な就業の支援を充実する	
2. 市営住宅などの公営住宅を増やすなど居住の確保がしやすい環境を整備する	
3. 年金・手当など経済的支援を充実する	
4. 健康診断や医療相談・指導を充実する	
5. 医療や介護保険を充実する	
6. 保育所を充実する (具体的に:)	
7. 学童保育の場を増やす	
8. 生活上の悩みへの相談窓口を充実する	
9. 学習や娯楽などを身につける機会を増やす	
10. スポーツやレクリエーションに参加できる機会を増やす	
11. いろいろな施設や制度のPRを充実する	
12. 民間ボランティアや社会福祉団体を育成する	
13. ひとり親家庭に対する偏見のない世の中をつくる	
14. その他 (具体的に:)	
15. 特に要望はない	

問 44 ひとり親家庭ということで、これまで何かつらい思いをされたことがありますたら、お聞かせください。

問 45 ひとり親家庭に対する福祉行政施策全般について、何かご意見がありましたらお聞かせください。

これで終わりです。ご協力ありがとうございました。

最後に記入欄等がないかどうかをご確認の上、調査票を返信用封筒に入れて
12月26日（金）までに投函してください。切手は不要です。

子どもを共に育む京都市民憲章



わたくしたちは、

- 1 子どもの存在を尊重し、かけがえのない命を守ります。
- 1 子どもから信頼され、模範となる行動に努めます。
- 1 子どもを育む喜びを感じ、親も育ち学べる取組を進めます。
- 1 子どもが安らぎ育つ、親も育ち学べる取組を進めます。
- 1 子どもを見守り、人と人が支え合う地域のつながりを広げます。
- 1 子どもを育む自然の恵みを大切に、社会の環境づくりを優先します。

平成19年2月5日（育児ニコニコ笑顔の日）制定
3月13日 京都市会が憲章を権限的に推進する決議

子どもを共に育む京都市民憲章

わたくしたちは、

- 1 子どもの存在を尊重し、かけがえのない命を守ります。
- 1 子どもから信頼され、模範となる行動に努めます。
- 1 子どもを育む喜びを感じ、親も育ち学べる取組を進めます。
- 1 子どもが安らぎ育つ、家庭の生活習慣と家族の絆きずなを大切にします。
- 1 子どもを見守り、人と人が支え合う地域のつながりを広げます。
- 1 子どもを育む自然の恵みを大切にし、社会の環境づくりを優先します。



平成 19 年 2 月 5 日（育児ニコニコ笑顔の日）制定

3 月 13 日 京都市会が憲章を積極的に推進する決議

京都市 ひとり親家庭実態調査 【結果報告書】

発行年月 平成 21 年 6 月

京都市保健福祉局子育て支援部児童家庭課

〒604-0954

京都市中京区御池通柳馬場東入東八幡町 579 番地 京都御池創生館 6 階

電話：075-251-2380 FAX：075-251-2322

http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/soshiki/8-3-1-0-0_1.html

京都市印刷物 第 2 1 3 0 3 9 号

